

気象情報の利活用状況等に関する調査

報告書

平成 31 年3月 27 日

気 象 庁

気象情報の利活用状況等に関する調査

調査報告書 目次

I. 調査概要

1. 調査目的	5
2. 調査概要	5
3. 集計・分析の記述について	8

II. 郵送調査結果

1. 対象者属性	10
2. 災害経験や防災情報	11
(1) 土砂災害や洪水災害の被害経験	11
(2) 気象情報の入手状況	13
(3) 気象情報の入手手段	15
(4) ハザードマップの認知度	17
(5) 避難の必要がある場所の認知度	19
3. 危険度分布	21
(1) 認知度	21
(2) 入手したときの状況	23
(3) 入手手段	25
(4) 追加機能の要望	27
(5) 大雨警報・洪水警報の空振りへの考え	29
(6) 今後の利用希望	31
(7) 危険度のプッシュ通知機能の利用希望	33
(8) ハザードマップの重ね表示の利用希望	35
(9) 切迫性のあるキーワードを用いた情報伝達による避難の判断	37
(10) 気象情報発表時の数字や色での割振り	39
4. 注意報・警報の新たな表示	41
(1) 注意報・警報の表示形式の認知度	41
(2) 危険度を色分けした図の今後の利用希望	43
5. 特別警報	45
(1) 大雨特別警報の認知度	45
(2) 避難時における大雨特別警報の活用状況	47
(3) 大雨特別警報が発表される前の避難の必要性の認知度	49

6. その他	51
(1) 危険度分布の認知度とリスク認知の関係性	51
(2) 普段の防災意識の高さと危険度分布の認知度の関係性	52
(3) 被害経験と危険度分布利用要望の関係性	53
(4) 被害経験とプッシュ通知希望の関係性	54
(5) ハザードマップの認知度と早めの避難行動を起こそうと考える人の関係性	55
(6) 危険度分布の理解度と早めの避難行動を起こそうと考える人の関係性	56
(7) ハザードマップの認知度と大雨特別警報の理解度との関係性	57
(8) 危険度分布の理解度と大雨特別警報の理解度との関係性	58

Ⅲ. インターネット調査結果

1. 対象者属性	60
2. 災害経験や防災情報	61
(1) 土砂災害や洪水災害の被害経験	61
(2) 気象情報の入手状況	63
(3) 気象情報の入手手段	65
(4) ハザードマップの認知度	67
(5) 避難の必要がある場所の認知度	69
3. 危険度分布	71
(1) 認知度	71
(2) 入手したときの状況	73
(3) 入手手段	75
(4) 追加機能の要望	77
(5) 大雨警報・洪水警報の空振りへの考え	79
(6) 今後の利用希望	81
(7) 危険度のプッシュ通知機能の利用希望	83
(8) ハザードマップの重ね表示の利用希望	85
(9) 切迫性のあるキーワードを用いた情報伝達による避難の判断	87
(10) 気象情報発表時の数字や色での割振り	89
4. 注意報・警報の新たな表示	91
(1) 注意報・警報の表示形式の認知度	91
(2) 危険度を色分けした図の今後の利用希望	93
5. 特別警報	95
(1) 大雨特別警報の認知度	95
(2) 避難時における大雨特別警報の活用状況	97
(3) 大雨特別警報が発表される前の避難の必要性の認知度	99

6. その他	101
(1) 危険度分布の認知度とリスク認知の関係性	101
(2) 普段の防災意識の高さと危険度分布の認知度の関係性	102
(3) 被害経験と危険度分布利用要望の関係性	103
(4) 被害経験とプッシュ通知希望の関係性	104
(5) ハザードマップの認知度と早めの避難行動を起こそうと考える人の関係性	105
(6) 危険度分布の理解度と早めの避難行動を起こそうと考える人の関係性	106
(7) ハザードマップの認知度と大雨特別警報の理解度との関係性	107
(8) 危険度分布の理解度と大雨特別警報の理解度との関係性	108

IV. 調査結果のまとめ

調査結果のまとめ	110
----------	-----

V. 巻末資料

1. 調査票
2. 自由回答一覧

I . 調查概要

I. 調査概要

1. 調査目的

台風・豪雨等に関する防災気象情報の改善・充実等を目指し、郵送調査及びインターネット調査を行うことにより、気象情報の利用者である一般国民の評価や要望等を把握し、業務の改善や業務目標の設定等に利用することを目的とする。

2. 調査概要

1) 調査対象

■郵送調査：平成 29 年九州北部豪雨・平成 29 年秋田豪雨で水害の被害を受けた区域、平成 30 年 7 月豪雨で犠牲者・行方不明者の出た区域の付近（指定の 35 地点）にお住まいの高校生以上の男女

■インターネット調査：全国に居住する 20 才～79 才の男女

2) 調査方法

■郵送調査：指定地域内の全戸に調査票を配付

■インターネット調査：インターネット上の WEB 画面に用意した質問に回答する方式

3) 有効回収数

■ 郵送調査：配付：10,714／有効回収：4,472（回収率：41.7%）

日本郵便株式会社による「配達地域指定郵便物」サービスにより、下表地点の全戸に配付。回収数は、次の通りである。

災害区域別	配布数	回収数	回収率
平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域	7362	3095	42.0%
平成30年7月豪雨で水害の被害を受けた区域	2081	897	43.1%
平成29年福岡県赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域	1200	453	37.8%
平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域	71	27	38.0%

＜災害区域別の地点詳細＞

地点ID	地点住所	地点詳細
1	広島県広島市安佐北区口田南5	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
2	広島県広島市安佐北区口田南3	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
3	広島県広島市安芸区矢野東7	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
4	広島県呉市天応西条3丁目・4丁目	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
5	広島県東広島市河内町中河内	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
6	広島県安芸郡熊野町川角	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
7	広島県安芸郡坂町小屋浦4	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
8	広島県安芸郡坂町小屋浦3	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
9	京都府綾部市上杉町寺ノ迫	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
10	兵庫県宍粟市一宮町公文	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
11	山口県岩国市周東町上須通	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
12	愛媛県今治市伯方町有津	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
13	愛媛県今治市吉海町泊	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
14	愛媛県宇和島市吉田町白浦	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
15	愛媛県宇和島市吉田町沖村	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
16	愛媛県宇和島市吉田町南君	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
17	愛媛県宇和島市吉田町立間	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
18	愛媛県宇和島市吉田町法花津	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
19	愛媛県宇和島市吉田町奥浦	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
20	福岡県北九州市門司区奥田	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域
21	岐阜県関市上之保	平成30年7月豪雨で水害の被害を受けた区域
22	兵庫県河辺郡猪名川町肝川	平成30年7月豪雨で水害の被害を受けた区域
23	愛媛県大洲市菅田町宇津乙・宇津甲・大竹・菅田乙・菅田甲・菅田丙	平成30年7月豪雨で水害の被害を受けた区域
24	福岡県朝倉市杷木赤谷	平成29年福岡県赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域
25	福岡県朝倉市杷木松末	平成29年福岡県赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域
26	福岡県朝倉市杷木星丸	平成29年福岡県赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域
27	福岡県朝倉市杷木林田	平成29年福岡県赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域
28	福岡県朝倉市杷木白木	平成29年福岡県赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域
29	福岡県朝倉市杷木池田	平成29年福岡県赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域
30	福岡県朝倉市杷木寒水	平成29年福岡県赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域
31	大仙市南外揚土	平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域
32	大仙市南外川口本町	平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域
33	大仙市南外十二袋	平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域
34	大仙市南外田屋村	平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域
35	大仙市南外大杉二夕又杉	平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域

I. 調査概要

■インターネット調査：配付：2,000／有効回収：2,000 サンプル（案内送付数：43,147 サンプル、総回収数：2,982 サンプル）

性別、年齢、居住地の分布は、平成27年国勢調査 人口等基本集計の人口分布に基づき、割付。回収数は次の通りである。

回収数	男性					女性					計
	20代	30代	40代	50代	60-70代	20代	30代	40代	50代	60-70代	
北海道	5	7	8	7	15	5	7	8	8	18	88
青森県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	4	22
岩手県	1	2	2	2	4	1	1	2	2	4	21
宮城県	3	3	3	3	6	2	3	3	3	6	35
秋田県	1	1	1	1	3	1	1	1	2	4	16
山形県	1	1	1	2	3	1	1	1	2	3	16
福島県	2	2	3	3	5	2	2	2	3	6	30
茨城県	3	4	5	4	8	3	4	4	4	9	48
栃木県	2	3	3	3	5	2	2	3	3	6	32
群馬県	2	2	3	3	5	2	2	3	3	6	31
埼玉県	8	10	13	10	19	8	9	12	9	21	119
千葉県	7	8	10	8	17	6	8	10	8	18	100
東京都	16	21	24	18	29	16	20	23	16	32	215
神奈川県	10	13	16	12	22	10	12	15	11	24	145
新潟県	2	3	3	3	7	2	3	3	3	7	36
富山県	1	1	2	1	3	1	1	2	1	3	16
石川県	1	1	2	1	3	1	1	2	1	3	16
福井県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
山梨県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
長野県	2	3	3	3	6	2	2	3	3	6	33
岐阜県	2	2	3	3	6	2	2	3	3	6	32
静岡県	4	5	6	5	10	3	4	5	5	11	58
愛知県	9	11	13	9	18	8	10	12	9	19	118
三重県	2	2	3	2	5	2	2	3	2	5	28
滋賀県	2	2	2	2	3	1	2	2	2	4	22
京都府	3	3	4	3	7	3	3	4	3	8	41
大阪府	9	11	14	11	22	9	11	15	11	25	138
兵庫県	5	7	8	7	14	5	7	9	7	16	85
奈良県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	4	22
和歌山県	1	1	1	1	3	1	1	1	1	3	14
鳥取県	1	1	1	1	2	0	1	1	1	2	11
島根県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
岡山県	2	2	3	2	5	2	2	3	2	6	29
広島県	3	4	4	4	7	3	4	4	4	8	45
山口県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	5	23
徳島県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
香川県	1	1	1	1	3	1	1	1	1	3	14
愛媛県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	4	22
高知県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
福岡県	5	7	7	6	13	5	7	8	7	15	80
佐賀県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
長崎県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	4	22
熊本県	2	2	2	2	5	2	2	2	3	5	27
大分県	1	1	2	1	3	1	1	2	2	4	18
宮崎県	1	1	1	1	3	1	1	1	2	3	15
鹿児島県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	5	23
沖縄県	2	2	2	2	3	2	2	2	2	3	22
合計	134	168	197	165	328	128	160	193	167	360	2,000

4) 実施期間

■郵送調査：平成30年11月9日（金）～平成31年1月11日（金）

■インターネット調査：平成30年11月8日（木）～平成30年11月13日（火）

3. 集計・分析の記述について

- 図表中のnは回答者の数（母数）であり、回答比率（%）算出の基数を表している。
- 回答比率（%）は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までを表示している。このため、回答比率の合計が100%にならないことがある。
- 2つ以上の複数回答ができる設問では、回答比率の合計は原則として100%を超える。
- 調査数（n値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。ただし、災害区域別の分析はn値が30を下回る場合も言及する場合がある。

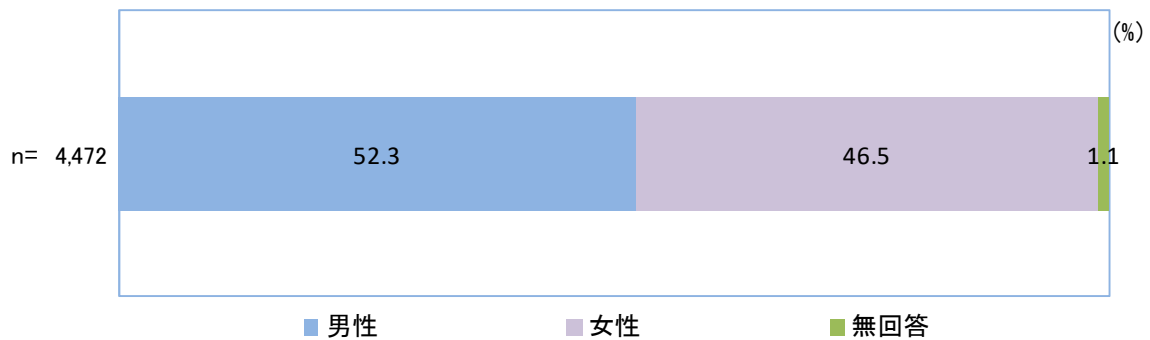
II. 郵送調査結果

II. 郵送調査結果

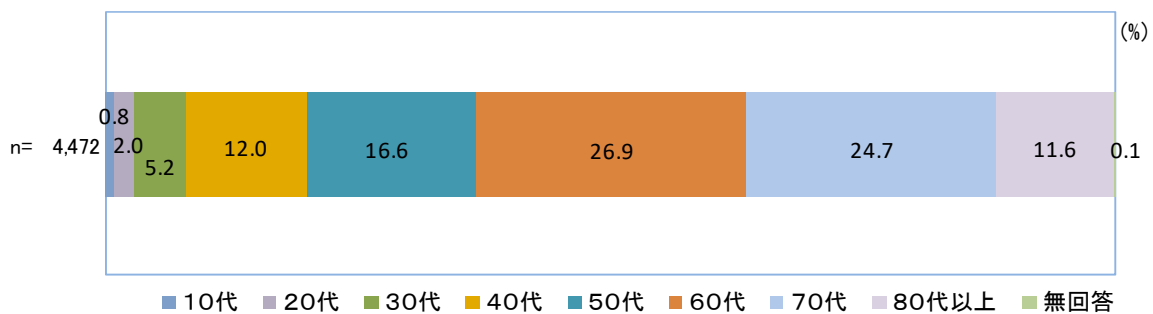
Ⅱ. 郵送調査結果

1. 対象者属性

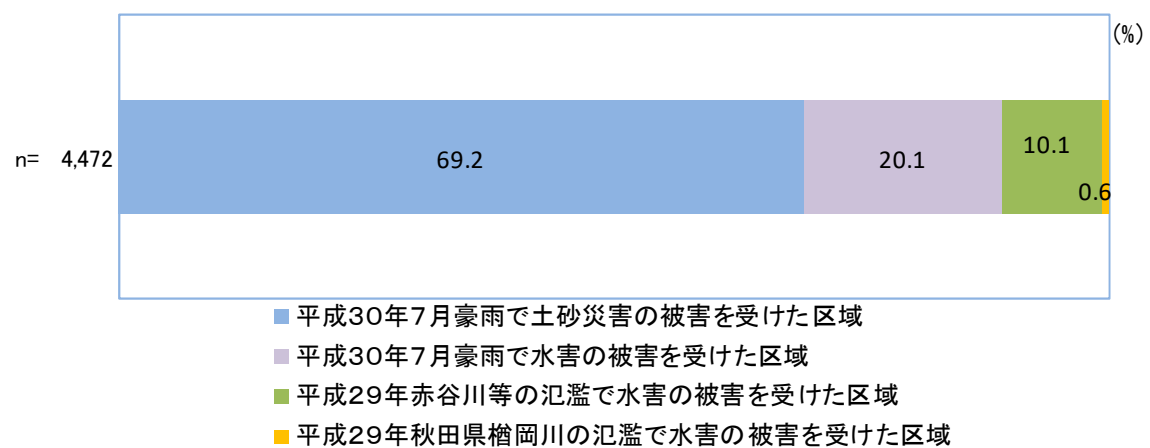
性



年代



災害区域

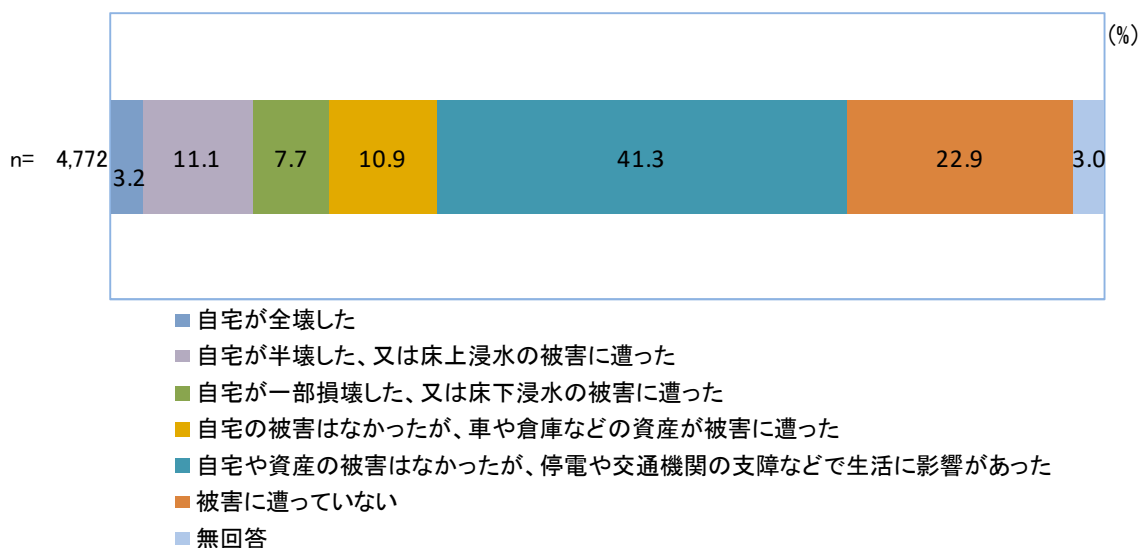


II. 郵送調査結果

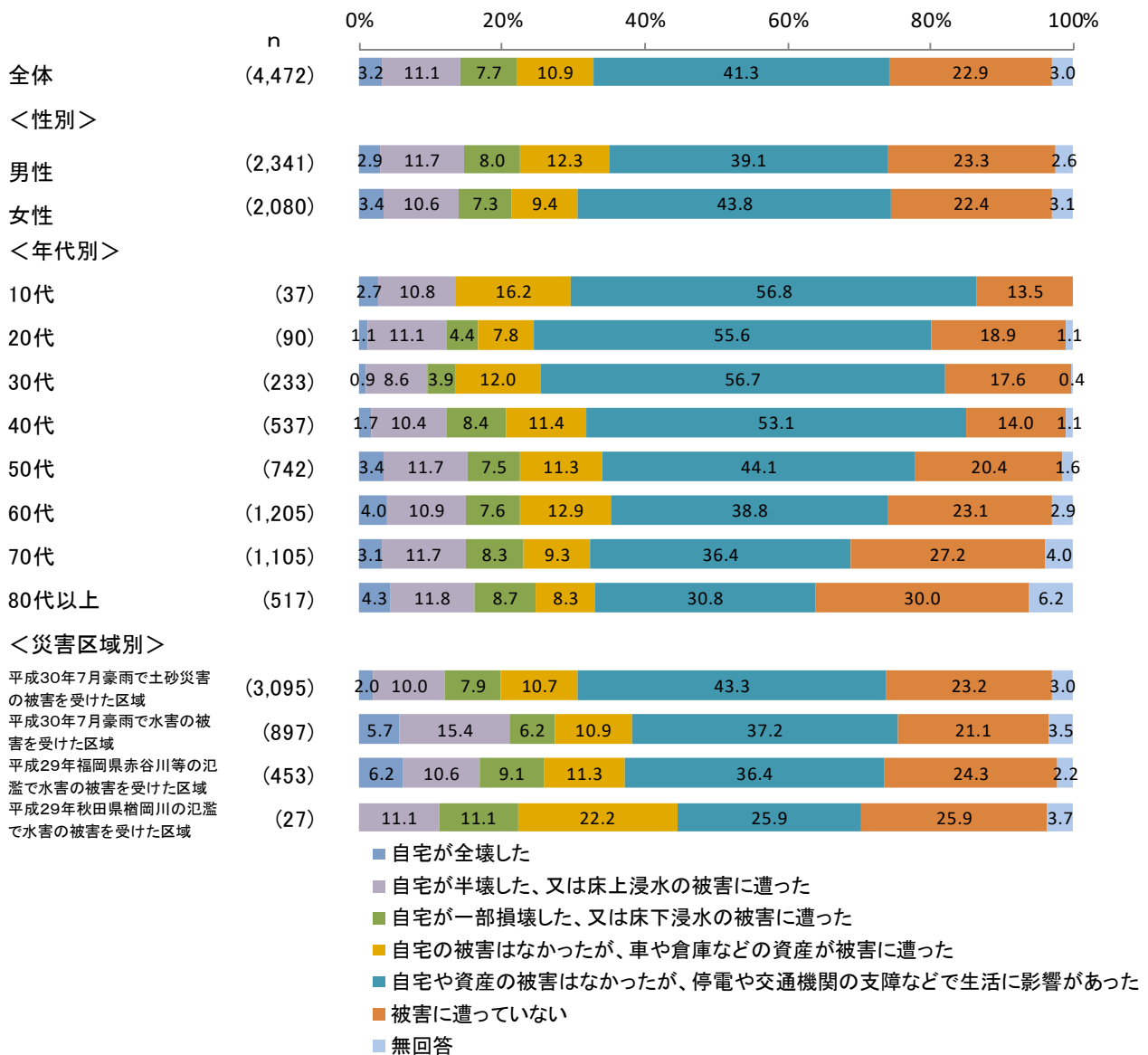
2. 災害経験や防災情報

(1) 土砂災害や洪水災害の被害経験

Q3. 昨年(平成29年)夏以降、台風や集中豪雨により土砂災害や洪水災害の被害に遭われましたか。複数回被害に遭われた方は、最も被害を受けたときの状況をお答えください。(〇はひとつ)



平成29年夏以降の土砂災害や洪水災害の被害経験について、「自宅が全壊した」、「自宅が半壊した、又は床上浸水の被害に遭った」、「自宅が一部損壊した、または床下浸水の被害に遭った」、「自宅の被害はなかったが、車や倉庫などの資産が被害に遭った」、「自宅や資産の被害はなかったが、停電や交通機関の支障などで生活に影響があった」を合わせて、台風や洪水の被害経験のある方は7割台半ばとなっている。



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

年代別にみると、40代以上では「自宅が全壊した」、「自宅が半壊した、又は床上浸水の被害に遭った」、「自宅が一部損壊した、または床下浸水の被害に遭った」を合わせた台風や洪水で自宅の被害経験のある方が2割以上と、30代以下に比べ高くなっている。

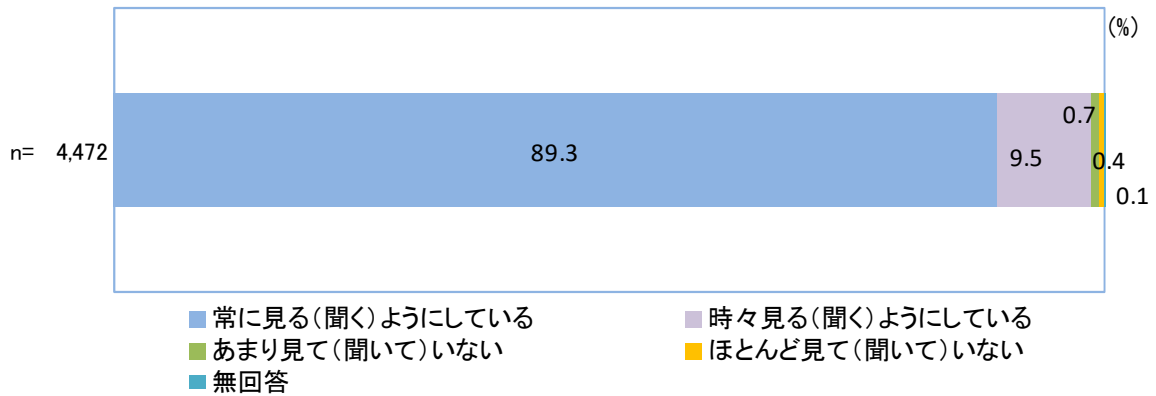
一方、40代以下では「自宅や資産の被害はなかったが、停電や交通機関の支障などで生活に影響があった」が5割台半ばと、50代以上に比べ高くなっている。

災害区域別にみると、平成30年7月豪雨で水害の被害を受けた区域では「自宅が全壊した」、「自宅が半壊した、又は床上浸水の被害に遭った」、「自宅が一部損壊した、または床下浸水の被害に遭った」を合わせた台風や洪水で自宅の被害経験のある方が3割弱と、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

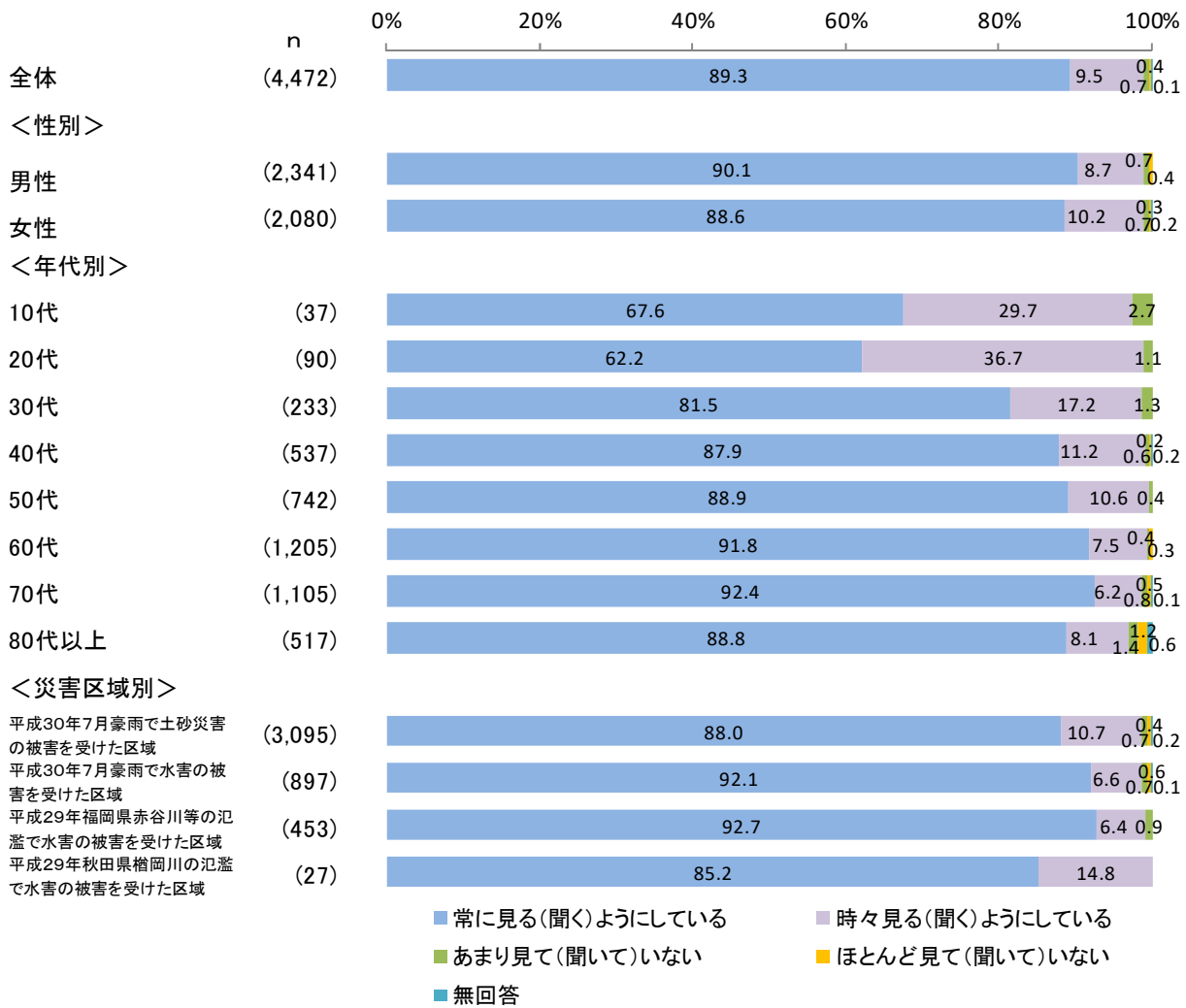
(2) 気象情報の入手状況

Q4. 台風が来たとき、大雨注意報や大雨警報、台風情報をテレビやホームページなどで見る（聞く）ようにしていますか。（〇はひとつ）



台風が来たときの気象情報の入手状況について、「常に見る（聞く）ようにしている」が9割弱、「時々見る（聞く）ようにしている」が1割弱となり、ほとんど全ての方が台風情報を見聞きしている。

Ⅱ. 郵送調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向が見られる。

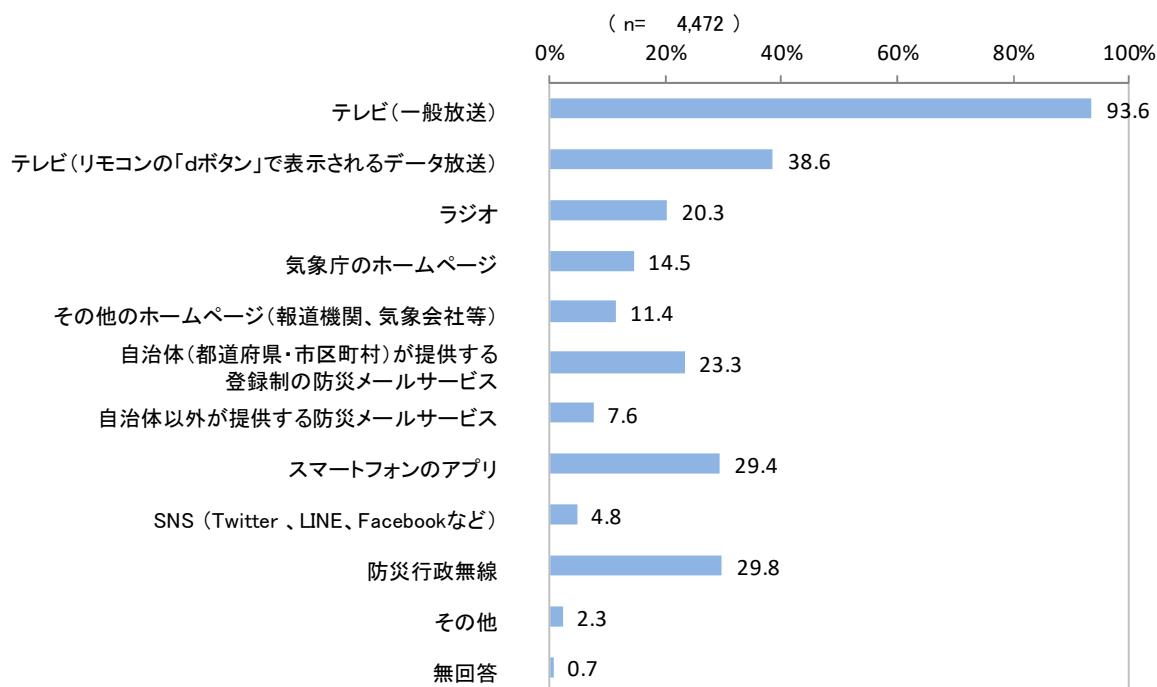
年代別にみると、30代以上では「常に見る（聞く）ようにしている」が8割以上となり、高齢層ほど、割合が高くなる傾向となっている。

災害区域別にみると、平成30年7月豪雨で水害の被害を受けた区域、平成29年赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域では、「常に見る（聞く）ようにしている」が9割強と、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

(3) 気象情報の入手手段

Q5. 大雨注意報や大雨警報、台風情報は何かから見た（聞いた）ことがありますか。（〇はいくつでも）



気象情報の入手手段について、「テレビ（一般放送）」が9割台半ばと多数を占め、次いで「テレビ（リモコンの「dボタン」で表示されるデータ放送）」が4割弱となっている。

Ⅱ. 郵送調査結果

	n	テレビ（一般放送）	テレビ（リモコンの「dボタン」で表示されるデータ放送）	ラジオ	気象庁のホームページ	等（報道機関、気象会社）	その他のホームページ（自治体（都道府県・市区町村）が提供する登録制の防災メールサービス	自治体以外が提供する防災メールサービス	スマートフォンアプリ	SNS（Twitter、LINE、Facebookなど）	防災行政無線	その他	無回答
全体	4472	93.6	38.6	20.3	14.5	11.4	23.3	7.6	29.4	4.8	29.8	2.3	0.7
性別													
男性	2341	92.6	39.2	23.1	17.0	13.5	21.7	7.1	28.0	3.4	30.5	2.5	0.6
女性	2080	94.9	38.4	17.3	11.9	9.1	25.4	8.1	31.4	6.5	29.5	2.1	0.8
年代別													
10代	37	94.6	48.6	0.0	18.9	13.5	13.5	8.1	51.4	43.2	21.6	0.0	0.0
20代	90	97.8	36.7	10.0	32.2	20.0	11.1	5.6	53.3	33.3	17.8	2.2	0.0
30代	233	90.1	48.1	15.0	27.5	22.7	29.2	12.0	57.5	16.7	24.5	2.6	0.0
40代	537	93.7	48.8	15.5	27.0	25.7	24.8	9.5	54.4	11.7	26.3	2.4	0.0
50代	742	93.9	43.5	19.9	22.0	17.9	29.6	11.3	45.1	4.6	30.7	1.6	0.3
60代	1205	92.8	44.2	21.6	13.8	8.5	23.6	8.1	28.0	1.6	35.9	2.8	0.8
70代	1105	94.0	33.8	23.8	4.9	4.4	21.7	5.4	11.5	1.3	29.7	1.7	1.1
80代以上	517	94.6	13.7	21.3	3.7	1.7	15.5	1.9	4.4	0.0	23.8	3.5	1.7
災害区域別													
平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域	3095	93.8	39.0	19.9	13.9	12.1	22.9	7.4	30.7	5.0	24.6	2.4	0.6
平成30年7月豪雨で水害の被害を受けた区域	897	92.4	39.0	18.6	14.7	10.4	20.6	7.9	27.1	4.9	43.9	2.7	1.4
平成29年福岡県赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域	453	93.8	35.8	26.0	18.3	8.2	31.8	8.4	26.5	3.3	39.3	0.7	0.4
平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域	27	100.0	33.3	29.6	11.1	18.5	7.4	3.7	18.5	0.0	0.0	7.4	0.0

※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、男性では「ラジオ」が2割台半ば、「気象庁のホームページ」が2割弱と、女性に比べ5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、若年層ほど「SNS（Twitter、LINE、Facebookなど）」が高くなっており、20代以下では3割以上と、他年代に比べ高くなっている。また、50代以下では「スマートフォンのアプリ」が4割以上と、60代以上に比べ、10ポイント以上高くなっている。

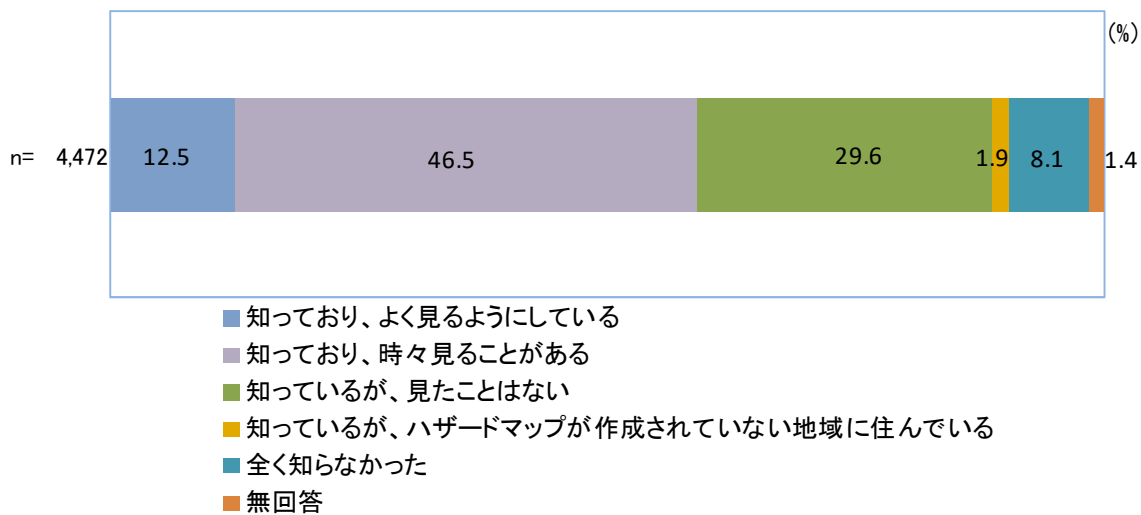
災害区域別にみると、平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域、平成30年7月豪雨で水害の被害を受けた区域では「テレビ」が4割弱と、他災害区域に比べ高くなっている。

一方、平成29年赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域、平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域では「ラジオ」がそれぞれ2割台半ば、3割弱と、他災害区域と比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

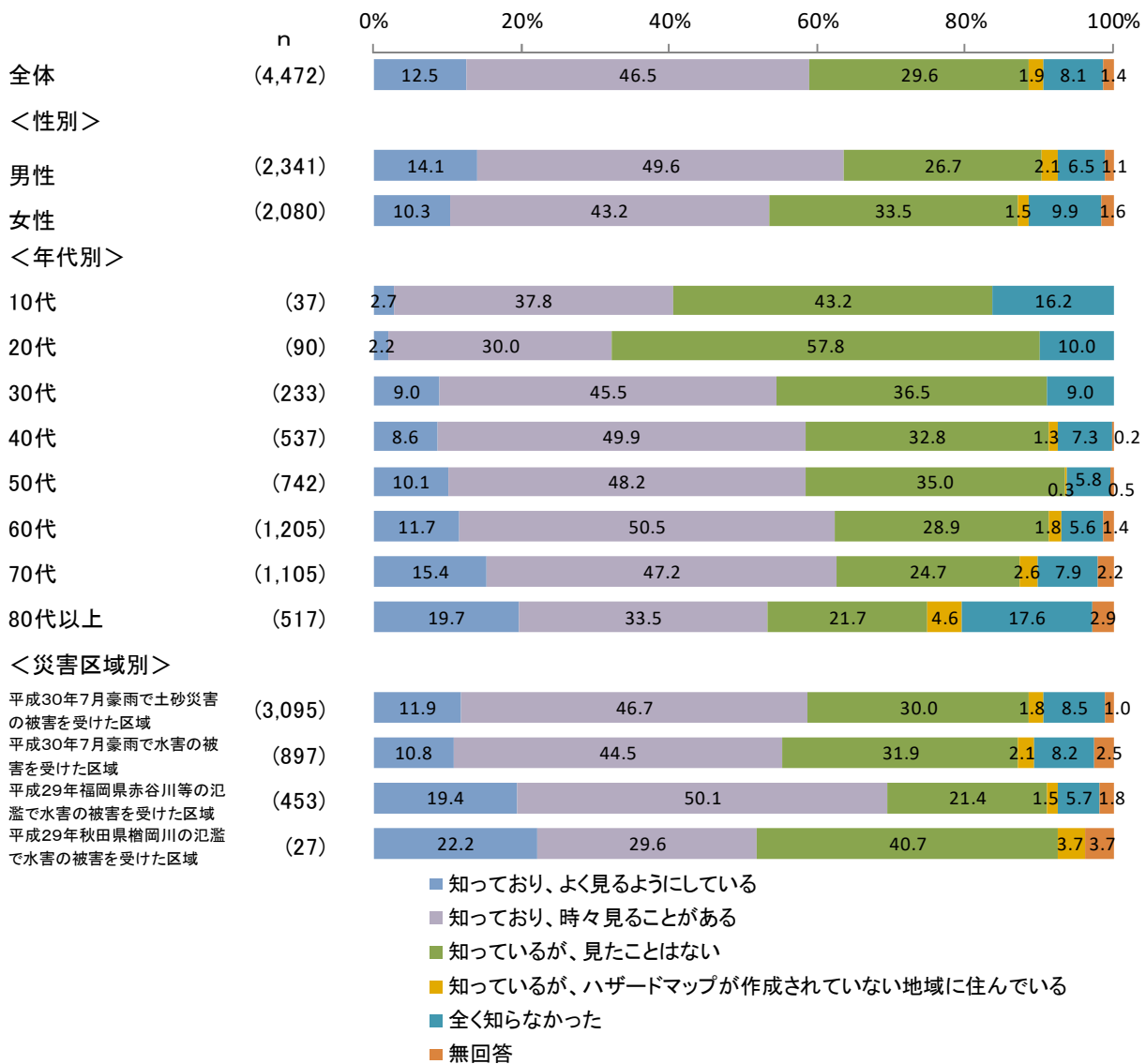
(4) ハザードマップの認知度

Q6. お住まいの地域の近くで、土砂災害や洪水災害の危険性があらかじめ想定される場所を示した地図（以下「ハザードマップ」と呼びます）があることをご存じですか。（〇はひとつ）



ハザードマップの認知度について、「知っており、よく見るようにしている」が1割強、「知っており、時々見ることもある」が4割台半ばとなり、合わせたハザードマップを見ている人は6割弱となっている。

Ⅱ. 郵送調査結果



ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、男性では「知っており、よく見るようにしている」、「知っており、時々見ることもある」を合わせたハザードマップを見ている人が6割強と、女性に比べ5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、80代を除き、概ね高齢層ほど「知っており、よく見るようにしている」、「知っており、時々見ることもある」を合わせたハザードマップを見ている人の割合が高くなっている。

災害区域別にみると、平成29年赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域では、「知っており、よく見るようにしている」、「知っており、時々見ることもある」を合わせたハザードマップを見ている人が7割弱と、他災害区域に比べ高くなっている。

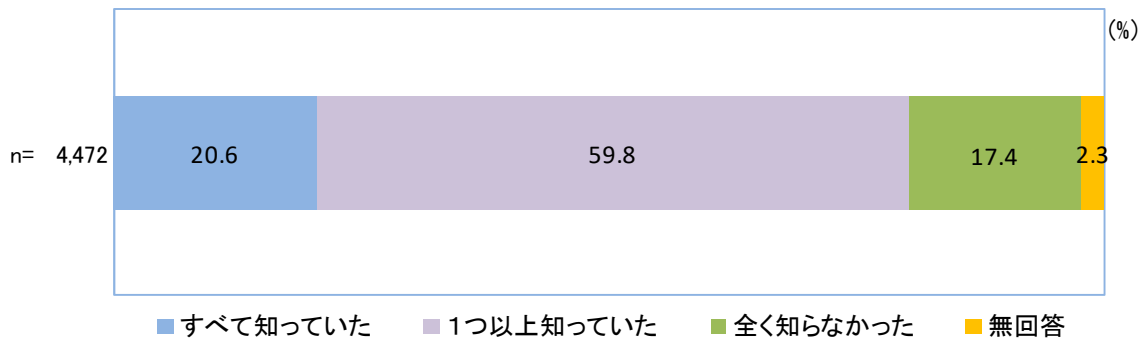
II. 郵送調査結果

(5) 避難の必要がある場所の認知度

Q7. 土砂災害や洪水災害の危険度が高まったときに、少なくとも次の場所（※）に居る場合には安全な場所に避難する必要があることをご存じでしたか。（〇はひとつ）

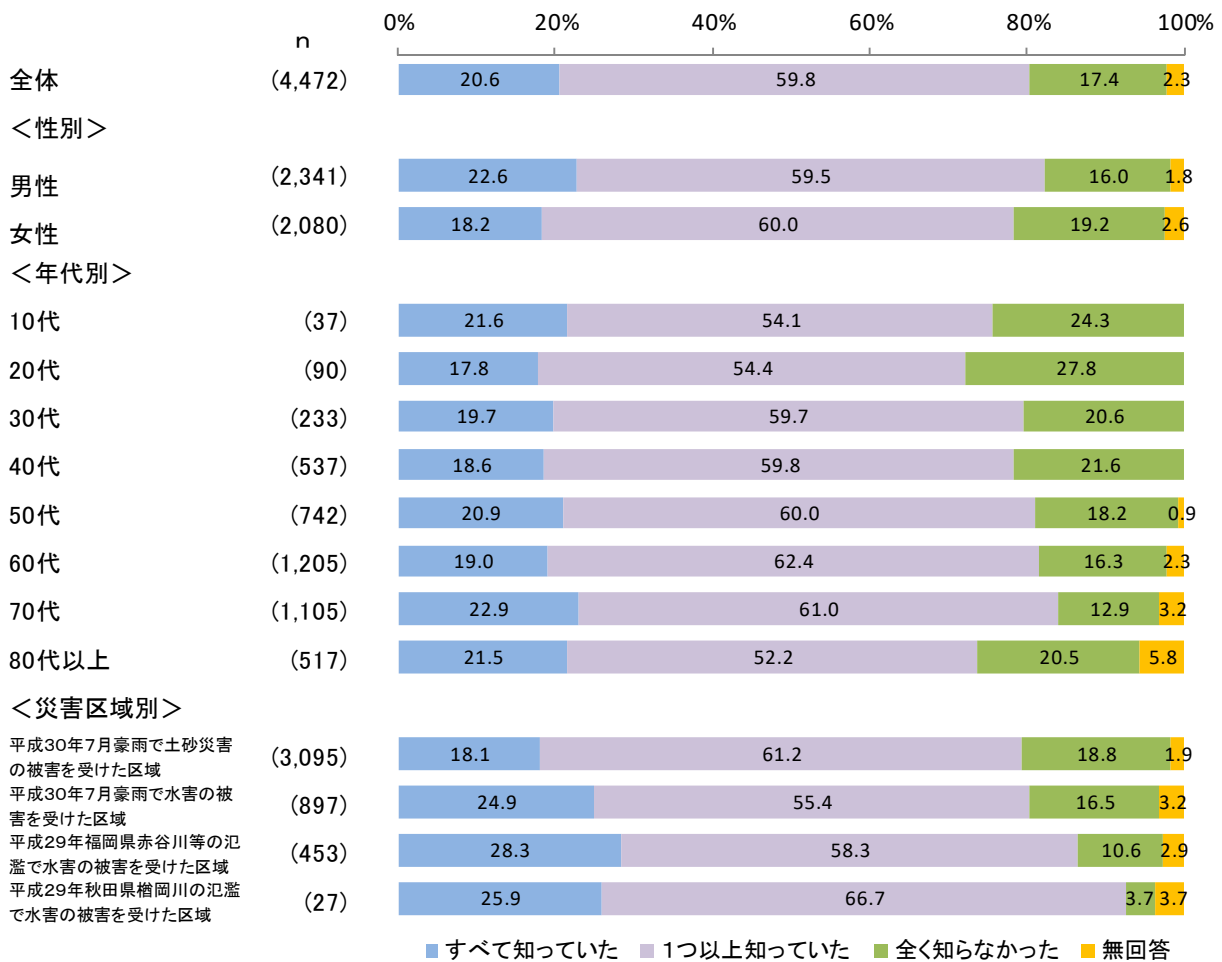
（次の場所※）

- ・ハザードマップに示された土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所
- ・ハザードマップに示された浸水想定区域
- ・山間部の河川沿いの区域



避難の必要がある場所の認知度について、「すべて知っていた」が約2割、「1つ以上知っていた」が、6割弱となり、合わせた避難の必要がある場所を知っている方は約8割となっている。

Ⅱ. 郵送調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、全体と同様に傾向の傾向がみられる。

年代別にみると、10代、20代では「全く知らなかった」がそれぞれ2割台半ば、3割弱と、他年代に比べ高くなっている。

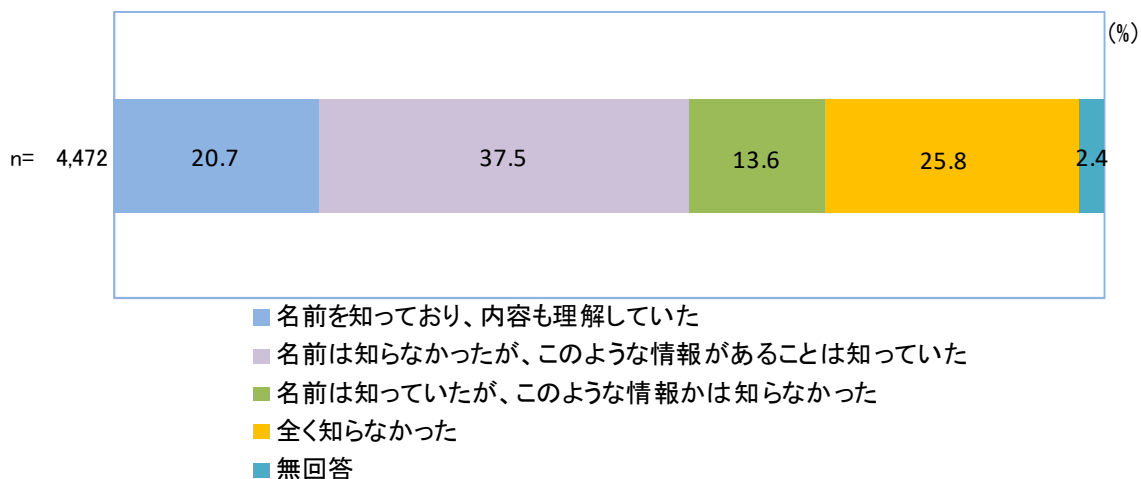
災害区域別にみると、平成29年秋田県櫛岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域では「すべて知っていた」、「1つ以上知っていた」を合わせた避難の必要がある場所を知っている方は9割強と、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

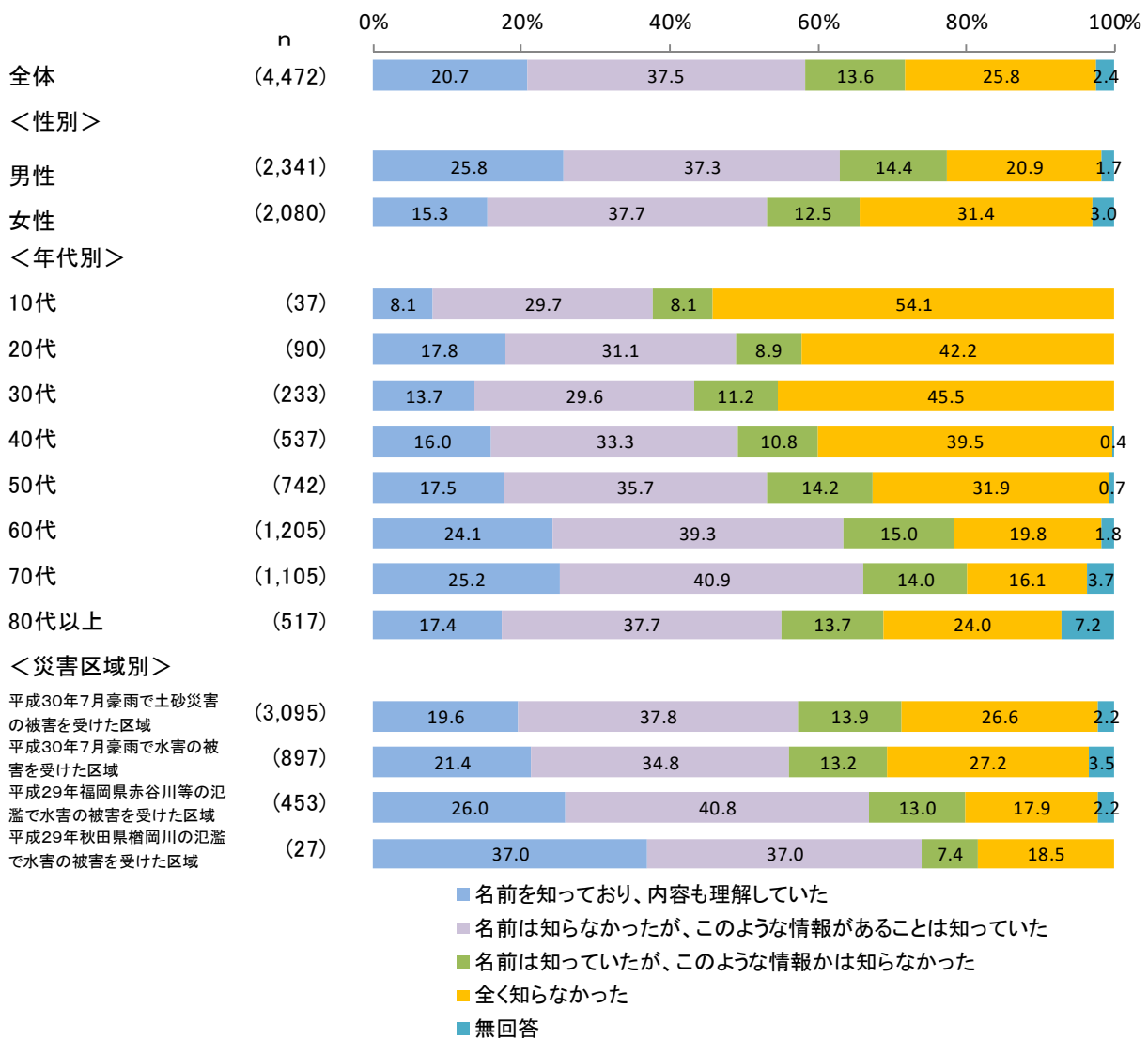
3. 危険度分布

(1) 認知度

Q8. あなたは、「危険度分布」をご存じでしたか。(〇はひとつ)



「危険度分布」の認知度について、「名前を知っており、内容も理解していた」が約2割、「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」が4割弱、「名前は知っていたが、このような情報かは知らなかった」が1割台半ばとなり、合わせた「危険度分布」を知っている方は7割強となっている。



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、男性では「名前を知っており、内容も理解していた」が2割台半ばと、女性に比べ10ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、60代、70代では「名前を知っており、内容も理解していた」が2割台半ばと、他年代に比べ高くなっている。

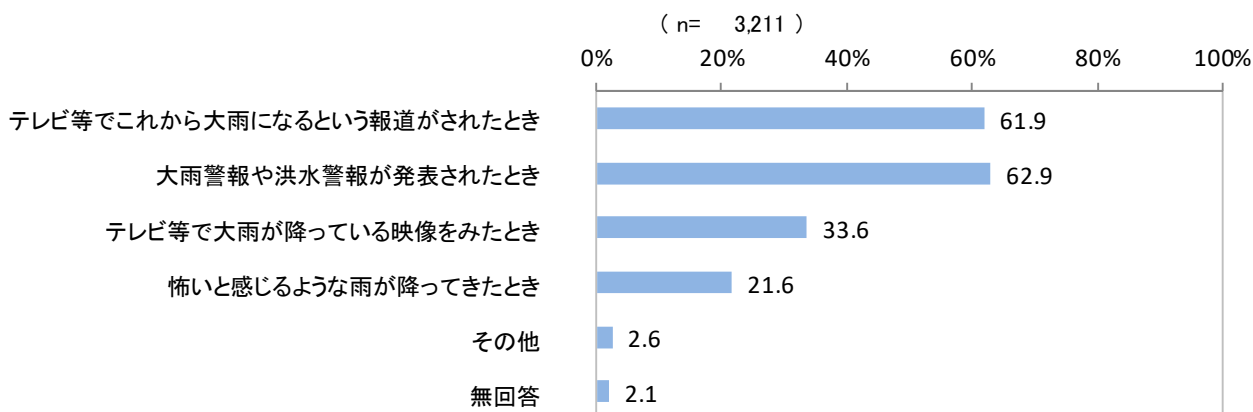
災害区域別にみると、平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域では「名前を知っており、内容も理解していた」が4割弱と、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

(2) 入手したときの状況

Q9. あなたが「危険度分布」を見た（聞いた）のは、どんなときでしたか。（〇はいくつでも）

n=3,211 : ベース=「危険度分布」を知っていた人（Q8で「名前を知っており、内容も理解していた」「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」「名前は知っていたが、このような情報は知らなかった」のいずれかを回答）



「危険度分布」を入手したときの状況について、「大雨警報や洪水警報が発表されたとき」、「テレビ等でこれから大雨になるという報道がされたとき」がともに6割強となっている。

		n	た に レ ビ 等 で こ れ か ら 大 雨 に な る と い う 報 道 が さ れ た と き	大 雨 警 報 や 洪 水 警 報 が 発 表 さ れ た と き	テ レ ビ 等 で 大 雨 が 降 っ て い る 映 像 を み た と き	怖 い と 感 じ る よ う な 雨 が 降 っ て き た と き	そ の 他	無 回 答
全体		3211	61.9	62.9	33.6	21.6	2.6	2.1
性別	男性	1813	60.9	61.6	29.7	17.6	2.6	2.2
	女性	1364	63.5	65.0	38.9	27.1	2.8	1.8
年代別	10代	17	52.9	47.1	47.1	23.5	0.0	5.9
	20代	52	51.9	57.7	30.8	23.1	3.8	1.9
	30代	127	52.0	61.4	33.9	33.9	6.3	0.8
	40代	323	57.3	56.7	26.0	25.7	5.6	1.2
	50代	500	64.2	64.6	35.0	19.2	2.4	1.0
	60代	945	63.1	64.9	35.1	20.2	1.9	1.6
	70代	886	63.7	66.3	33.3	22.0	2.1	2.9
	80代以上	356	61.0	54.8	34.6	19.4	2.2	3.7
災害区域別	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域	2205	61.7	61.9	33.7	22.1	2.9	2.0
	平成30年7月豪雨で水害の被害を受けた区域	622	61.6	66.7	32.6	18.8	2.6	1.9
	平成29年福岡県赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域	362	63.8	62.4	34.3	22.9	1.1	2.5
	平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域	22	63.6	72.7	36.4	22.7	4.5	0.0

※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、女性では「テレビ等で大雨が降っている映像をみたとき」、「怖いと感じるような雨が降ってきたとき」がそれぞれ4割弱、3割弱と、男性よりも10ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、50代、60代、70代では「テレビ等でこれから大雨になるという報道がされたとき」、「大雨警報や洪水警報が発表されてとき」がいずれも6割台半ばと、他年代に比べ高くなっている。

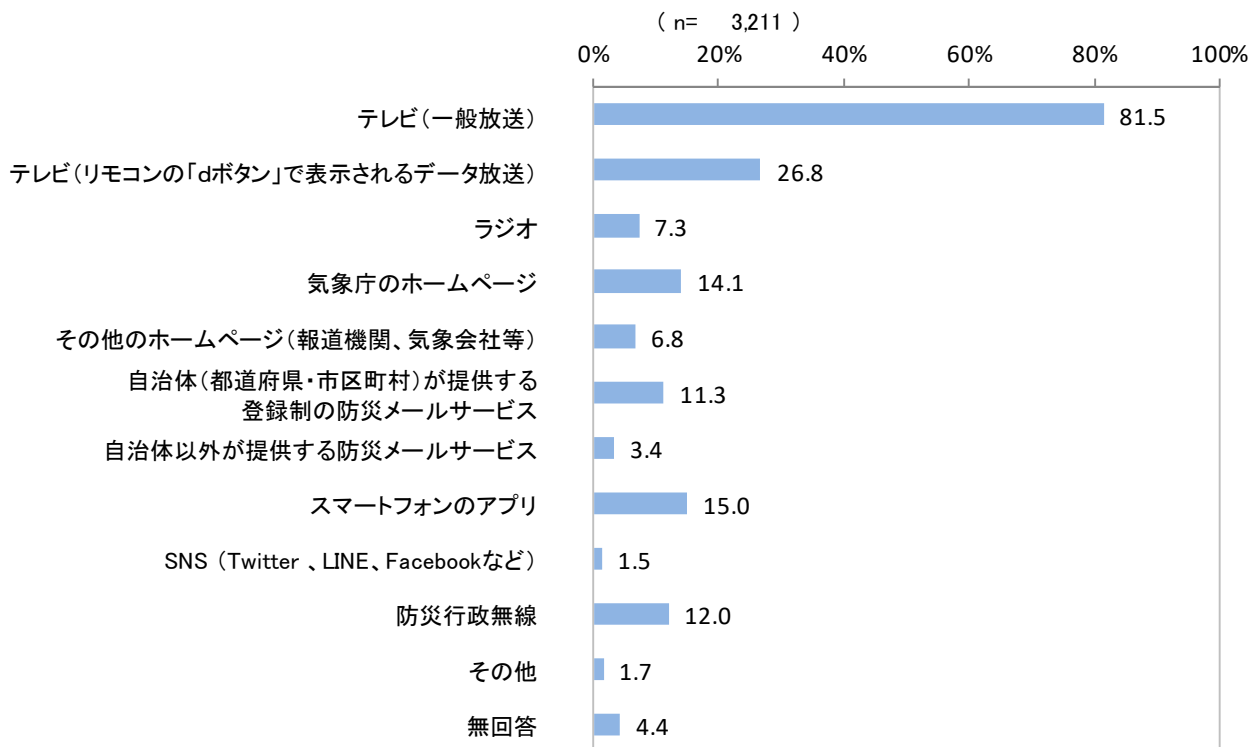
災害区域別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

II. 郵送調査結果

(3) 入手手段

Q10. 「危険度分布」は何から見た（聞いた）ことがありますか。（〇はいくつでも）

n=3,211 : ベース=「危険度分布」を知っていた人（Q8で「名前を知っており、内容も理解していた」「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」「名前は知っていたが、このような情報は知らなかった」のいずれかを回答）



「危険度分布」の入手手段について、「テレビ（一般放送）」が8割強と多数を占め、次いで「テレビ（リモコンの「dボタン」で表示されるデータ放送）」が2割台半ばとなっている。

Ⅱ. 郵送調査結果

	n	テレビ（一般放送）	テレビ（リモコンの「dボタン」で表示されるデータ放送）	ラジオ	気象庁のホームページ	等（報道機関、気象会社）	その他のホームページ（報道機関、気象会社）	自治体（都道府県・市区町村）が提供する登録制の防災メールサービス	自治体以外が提供する防災メールサービス	スマートフォンアプリ	SNS（Twitter、LINE、Facebookなど）	防災行政無線	その他	無回答
全体	3211	81.5	26.8	7.3	14.1	6.8	11.3	3.4	15.0	1.5	12.0	1.7	4.4	
性別														
男性	1813	80.6	27.7	8.3	15.8	7.6	11.9	3.3	15.4	1.0	12.6	2.0	3.8	
女性	1364	82.8	25.5	5.9	12.1	5.8	10.6	3.5	14.7	2.3	11.1	1.2	4.8	
年代別														
10代	17	82.4	23.5	0.0	23.5	0.0	5.9	5.9	29.4	11.8	0.0	0.0	0.0	
20代	52	80.8	19.2	0.0	21.2	11.5	3.8	1.9	30.8	11.5	1.9	0.0	3.8	
30代	127	66.1	22.0	2.4	24.4	7.1	3.9	1.6	22.0	3.9	1.6	0.8	7.1	
40代	323	68.4	19.8	0.9	27.6	12.4	7.1	2.2	23.2	3.7	3.1	1.2	5.0	
50代	500	80.8	25.0	3.6	22.8	11.2	10.6	2.8	23.8	2.2	4.8	1.2	3.4	
60代	945	82.8	34.1	6.9	14.2	5.6	10.6	3.5	16.2	0.7	12.7	2.4	2.5	
70代	886	86.7	27.5	10.7	6.0	5.1	15.0	4.0	8.2	0.7	18.6	1.5	4.9	
80代以上	356	83.7	16.9	13.8	4.8	2.5	13.2	4.2	3.7	0.0	17.7	2.2	8.1	
災害区域別														
平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域	2205	82.0	27.6	7.0	13.6	6.9	10.7	3.0	14.8	1.7	9.8	1.7	4.4	
平成30年7月豪雨で水害の被害を受けた区域	622	80.4	25.6	6.8	14.1	6.4	9.8	4.5	15.0	1.3	17.7	1.8	4.5	
平成29年福岡県赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域	362	79.8	23.2	9.7	17.1	6.6	18.0	3.6	16.6	0.8	16.0	1.1	3.9	
平成29年秋田県楢岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域	22	86.4	36.4	9.1	13.6	9.1	9.1	0.0	13.6	0.0	0.0	13.6	4.5	

※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

年代別にみると、50代以下では「気象庁のホームページ」が2割以上と、60代以上に比べ高くなっている。一方、60代以上では「防災行政無線」の割合が高くなっており、70代以上では2割弱と、50代以下と比べ高くなっている。

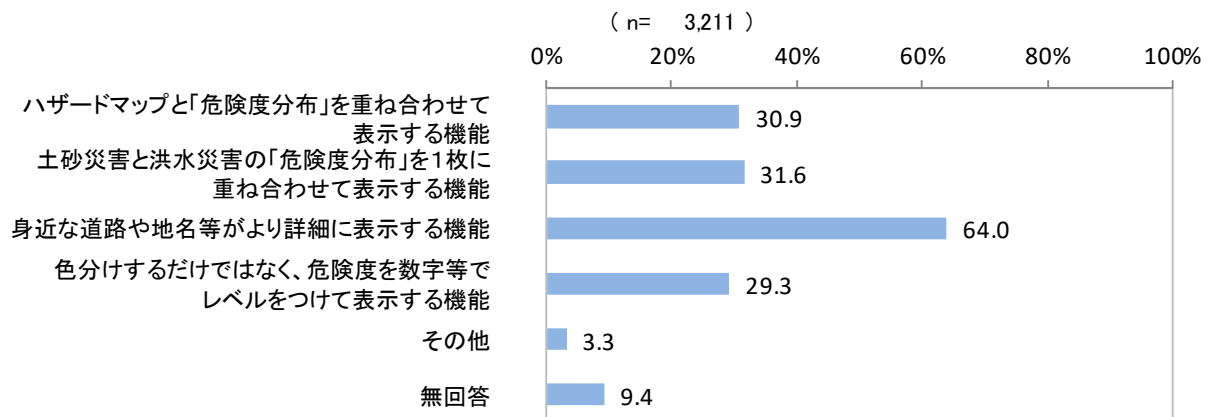
災害区域別にみると、平成29年赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域では「自治体（都道府県・市区町村）が提供する登録制の防災メールサービス」が2割弱と、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

(4) 追加機能の要望

Q11. 「危険度分布」は、上記の機能のほかに、どのような機能を追加するとより使いやすくなると思いますか。
(〇はいくつでも)

n=3,211 : ベース=「危険度分布」を知っていた人 (Q8で「名前を知っており、内容も理解していた」「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」「名前は知っていたが、このような情報は知らなかった」のいずれかを回答)



「危険度分布」の追加機能の要望について、「身近な道路や地名等がより詳細に表示する機能」が6割台半ばと半数以上を占めている。

	n	表示する機能 「危険度分布」を 重ね合わせて	「ハザードマップと 「危険度分布」を 重ね合わせて表示する機能	「危険度分布」を 1枚に重ね合わせる機能	「土砂災害と洪水災害の 「危険度分布」を 1枚に重ね合わせる機能	「より詳細に表示する機能 身近な道路や地名等が より詳細に表示する機能	「危険度を数字等でレベルを つけて表示する機能 色分けするだけではなく、 危険度を数字等でレベルを つけて表示する機能	その他	無回答
全体	3211	30.9	31.6	64.0	29.3	3.3	9.4		
性別	男性	1813	31.8	31.7	61.2	27.2	3.5	8.4	
	女性	1364	30.2	31.9	68.0	32.0	3.1	10.1	
年代別	10代	17	52.9	23.5	52.9	41.2	0.0	0.0	
	20代	52	50.0	32.7	55.8	36.5	1.9	9.6	
	30代	127	45.7	35.4	57.5	33.1	4.7	5.5	
	40代	323	39.6	34.4	70.0	26.9	4.6	3.4	
	50代	500	35.6	38.6	65.8	28.0	5.2	3.4	
	60代	945	31.3	32.2	65.1	31.9	2.5	7.2	
	70代	886	26.5	28.6	61.2	27.3	2.3	14.2	
	80代以上	356	17.1	24.4	64.3	28.4	3.7	18.3	
災害区域別	平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域	2205	30.8	31.4	64.1	29.3	3.8	9.2	
	平成30年7月豪雨で水害の被害を受けた区域	622	32.0	30.9	63.0	30.5	2.3	10.1	
	平成29年福岡県赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域	362	28.7	33.7	65.7	27.1	1.9	9.4	
	平成29年秋田県櫛岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域	22	40.9	40.9	50.0	31.8	0.0	4.5	

※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、女性では、「身近な道路や地名等がより詳細に表示する機能」が7割弱と、男性に比べて5ポイント以上高くなっている。

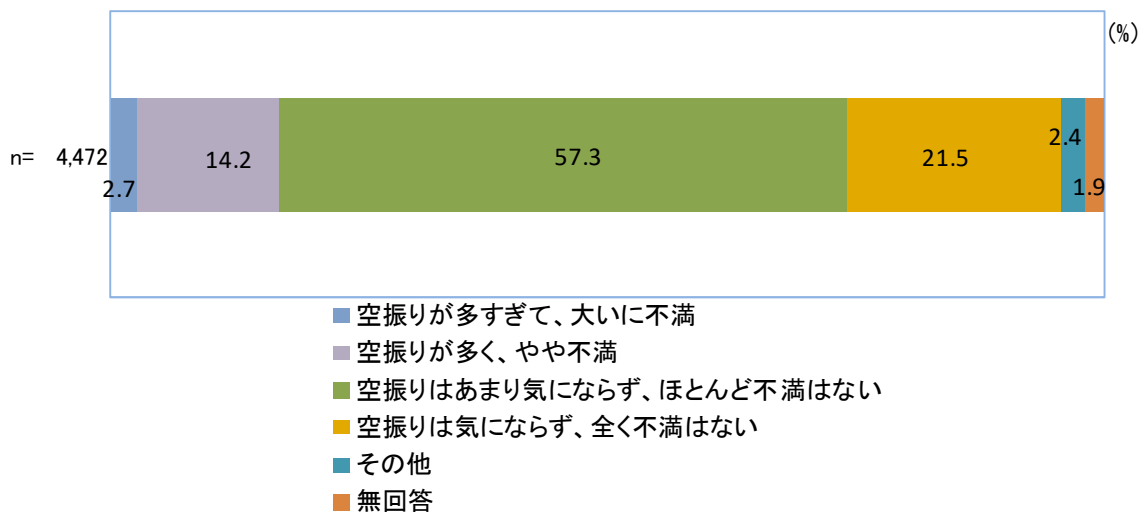
年代別にみると、若年層ほど「ハザードマップと「危険度分布」を重ね合わせて表示する機能」が高くなっている。

災害区域別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

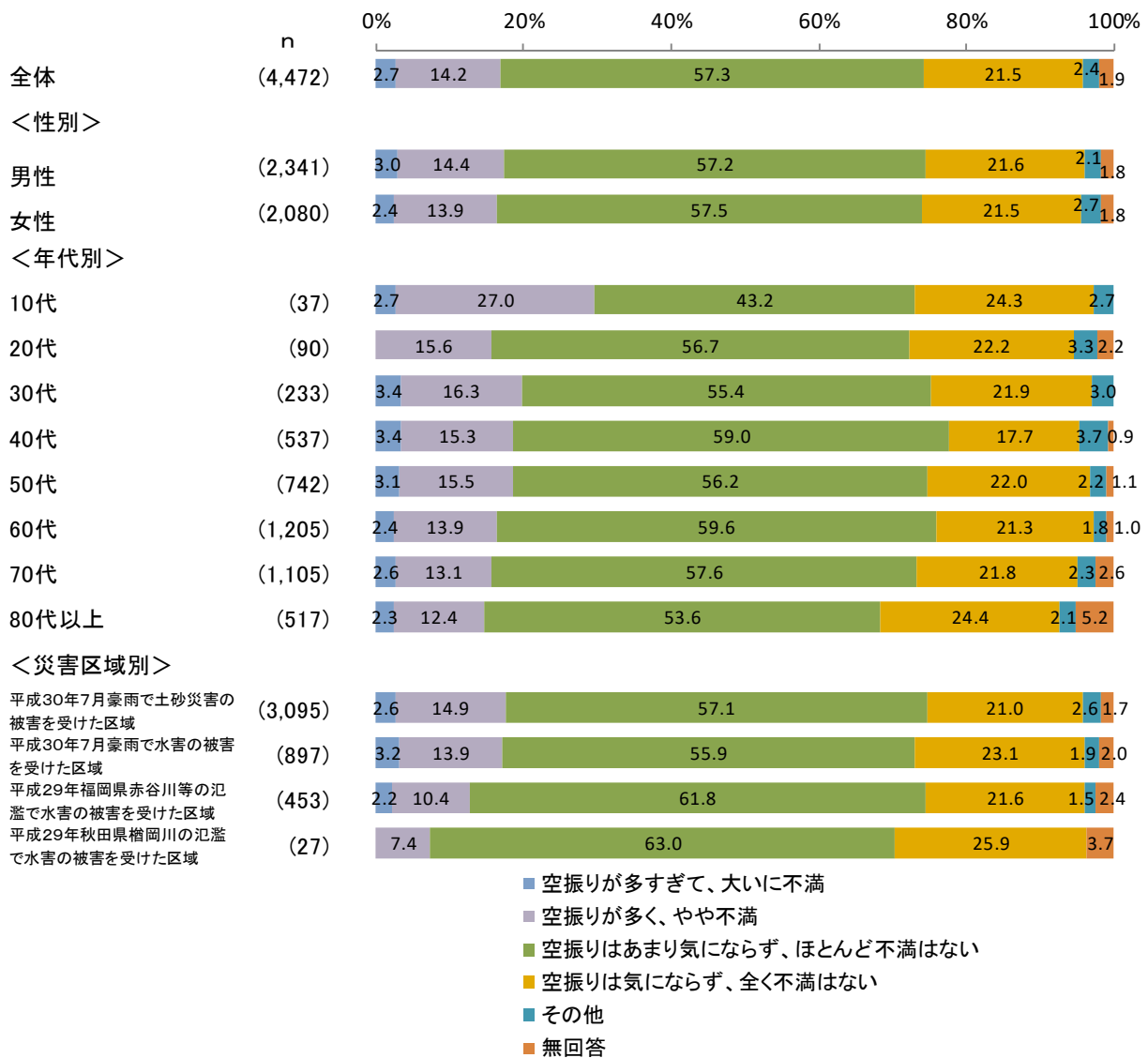
II. 郵送調査結果

(5) 大雨警報・洪水警報の空振りへの考え

Q12. 大雨警報や洪水警報が発表されても、重大な災害までには至らないこと（空振り）があります。気象庁では昨年（平成 29 年）7 月から「危険度分布」の技術により、警報と災害発生の結びつきを強めて、空振りの回数を大幅に減少させました。最近の大雨警報や洪水警報の空振りについて、あなたはどのように感じていますか。（〇はひとつ）



大雨警報・洪水警報の空振りへの考えについて、「空振りが多すぎて、大いに不満」、「空振りが多く、やや不満」を合わせた大雨警報・洪水警報の空振りに不満がある方は 1 割台半ばにとどまっている。



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

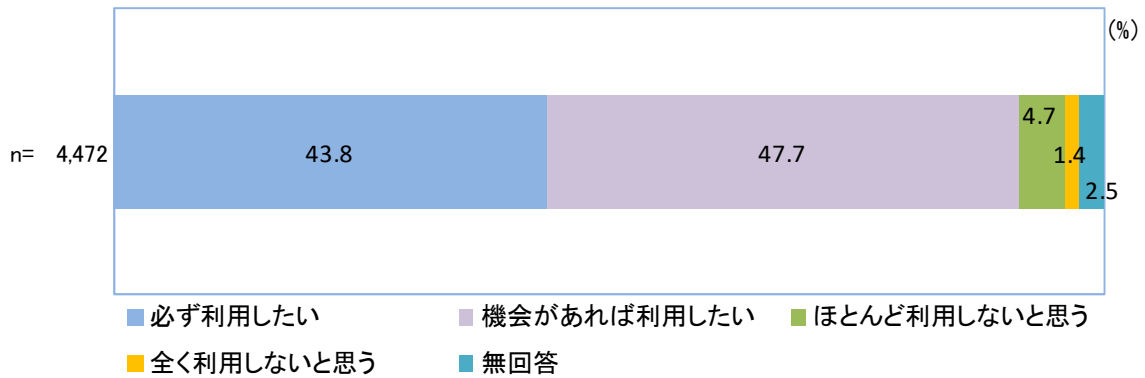
年代別にみると、10代では「空振りが多すぎて、大いに不満」、「空振りが多く、やや不満」を合わせた大雨警報・洪水警報の空振りに不満がある方が3割弱と、他年代に比べ高くなっている。

災害区域別にみると、平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域では「空振りはあまり気にならず、ほとんど不満はない」、「空振りは気にならず、全く不満はない」を合わせて大雨警報・洪水警報の空振りに不満のない方が9割強と、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

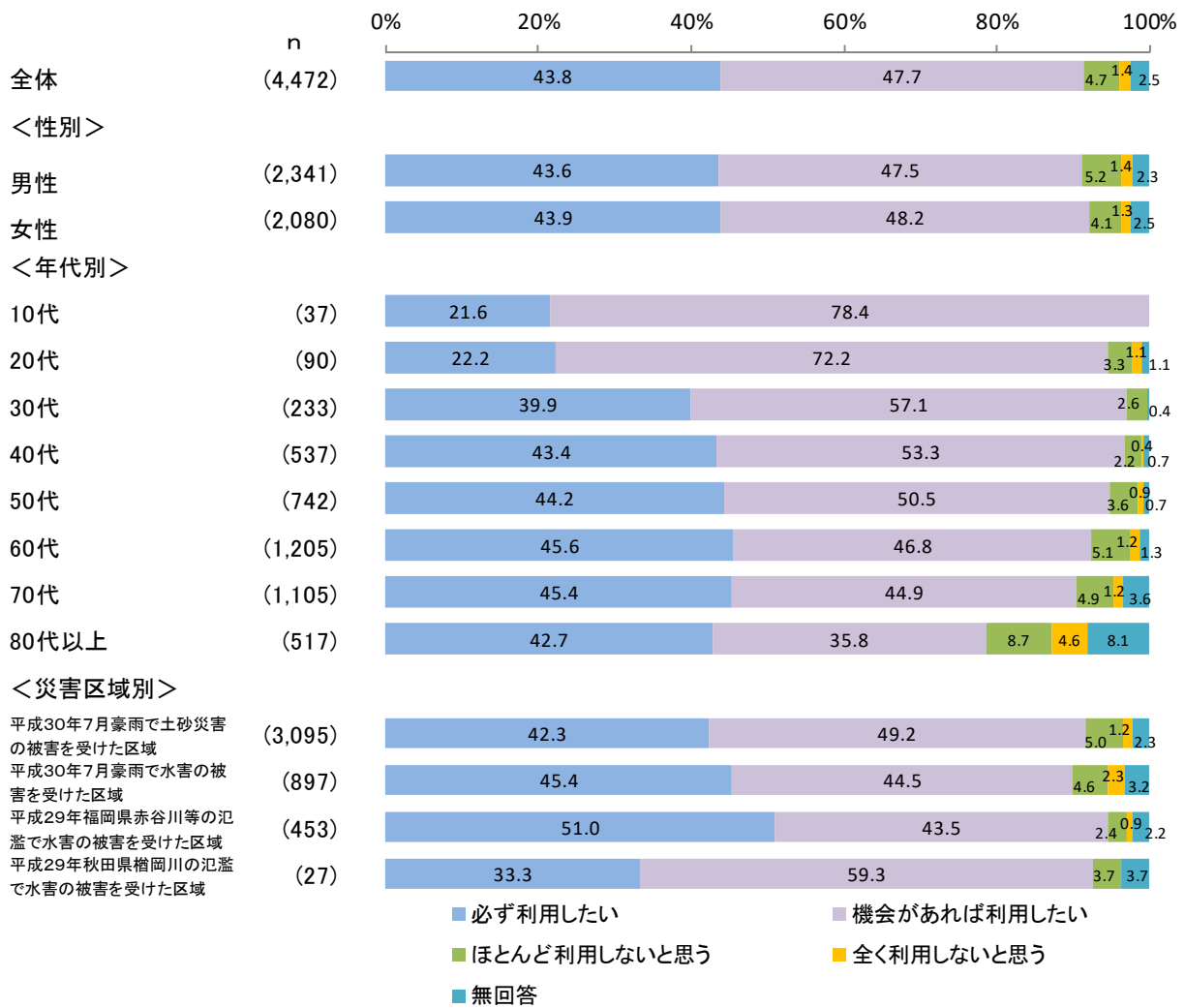
(6) 今後の利用希望

Q13. 「洪水警報の危険度分布」と災害との関係を調べてみたところ、5段階の危険度のうち最も高い「極めて危険」が出現した河川の約7割で、実際に洪水災害が発生していることが分かりました。
このような「危険度分布」を今後利用したいと思いますか。(〇はひとつ)



「危険度分布」の今後の利用希望について、「必ず利用したい」が4割台半ば、「機会があれば利用したい」が5割弱となり、合わせた今後の「危険度分布」の利用希望者は9割強となっている。

Ⅱ. 郵送調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

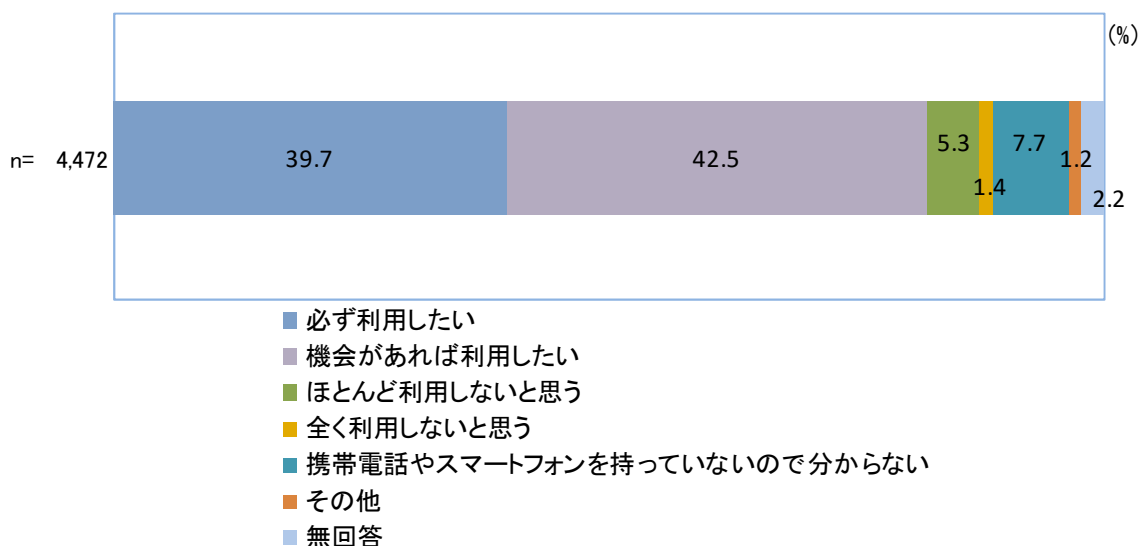
年代別にみると、30代以上では「必ず利用したい」が4割前後と、20代以下に比べ10ポイント以上高くなっている。

災害区域別にみると、平成29年赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域では、「必ず利用したい」が5割強と、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

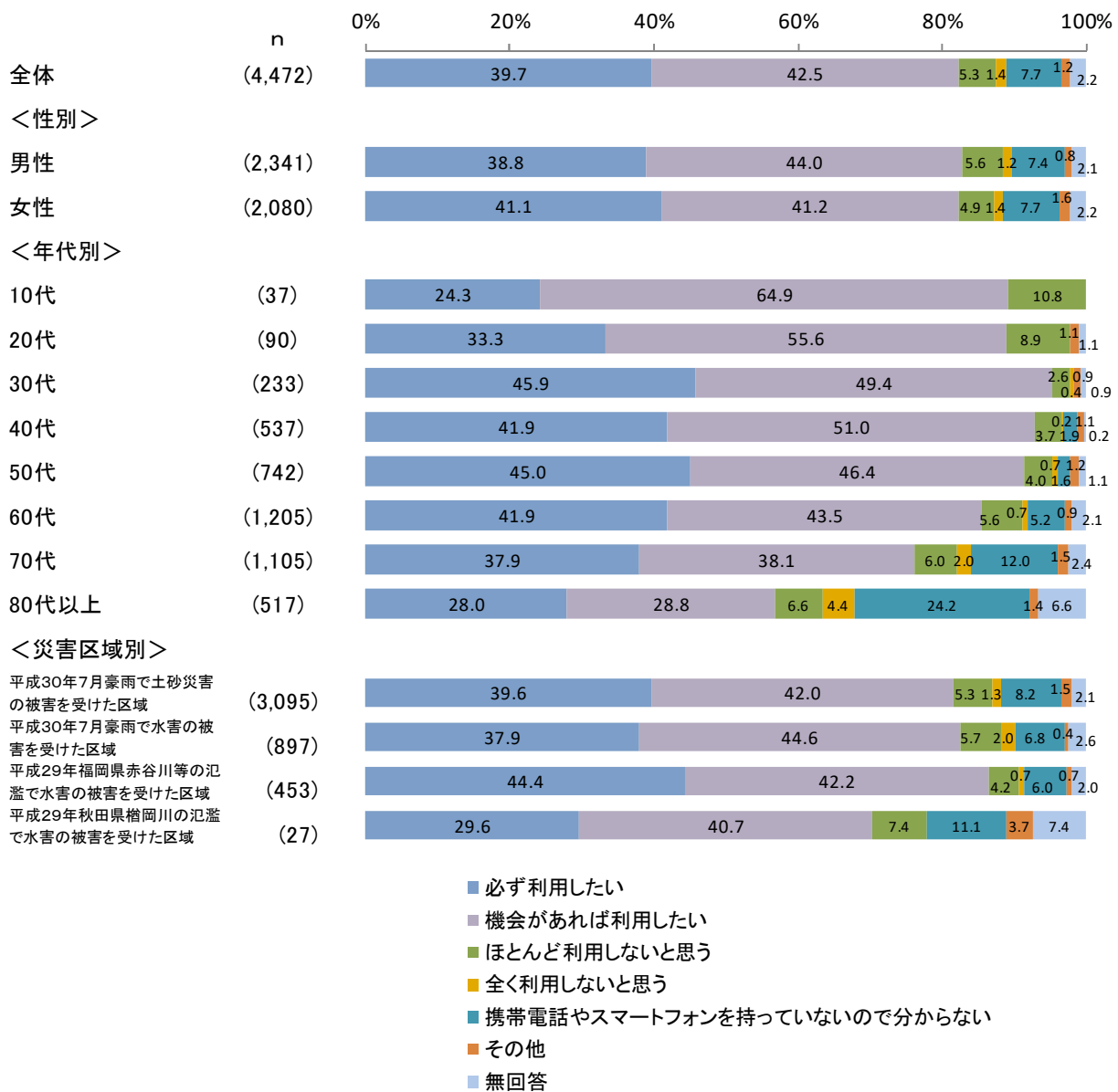
(7) 危険度のプッシュ通知機能の利用希望

Q14. 現状の「危険度分布」は、気象庁ホームページ等で公開されているものを自発的に見ていただく必要があります。
もし、土砂災害や洪水、浸水害の危険度が高まった際にメールやスマートフォンのアプリ等で自動的に通知（音やバイブレーション等）を受けられるサービスがあったら、利用したいと思いますか。（〇はひとつ）



危険度のプッシュ通知機能の利用希望について、「必ず利用したい」が4割弱、「機会があれば利用したい」が4割強となり、合わせた危険度のプッシュ通知機能の利用希望者は8割強となっている。

Ⅱ. 郵送調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

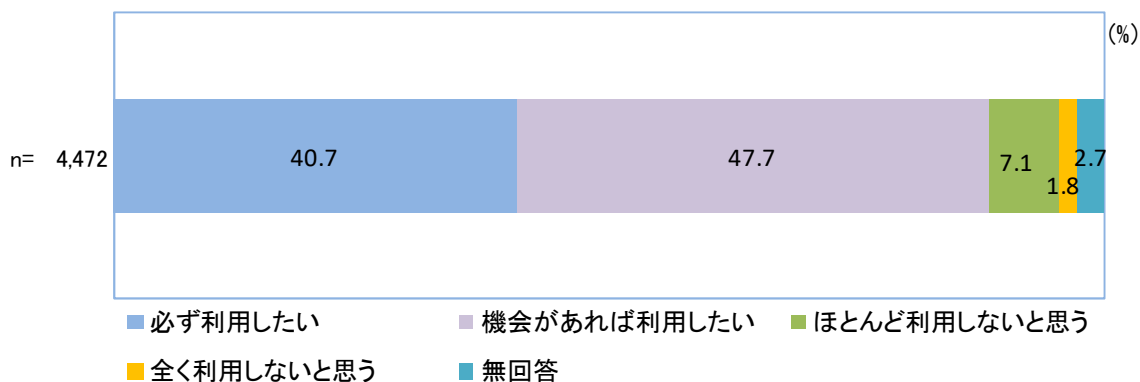
年代別にみると、30代、40代、50代では、「必ず利用したい」、「機会があれば利用したい」を合わせた危険度のプッシュ通知機能の利用希望者が9割以上と、他年代に比べ高くなっている。

災害区域別にみると、平成29年赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域では「必ず利用したい」、「機会があれば利用したい」を合わせた危険度のプッシュ通知機能の利用希望者が約7割と、他災害区域に比べ低くなっている。

II. 郵送調査結果

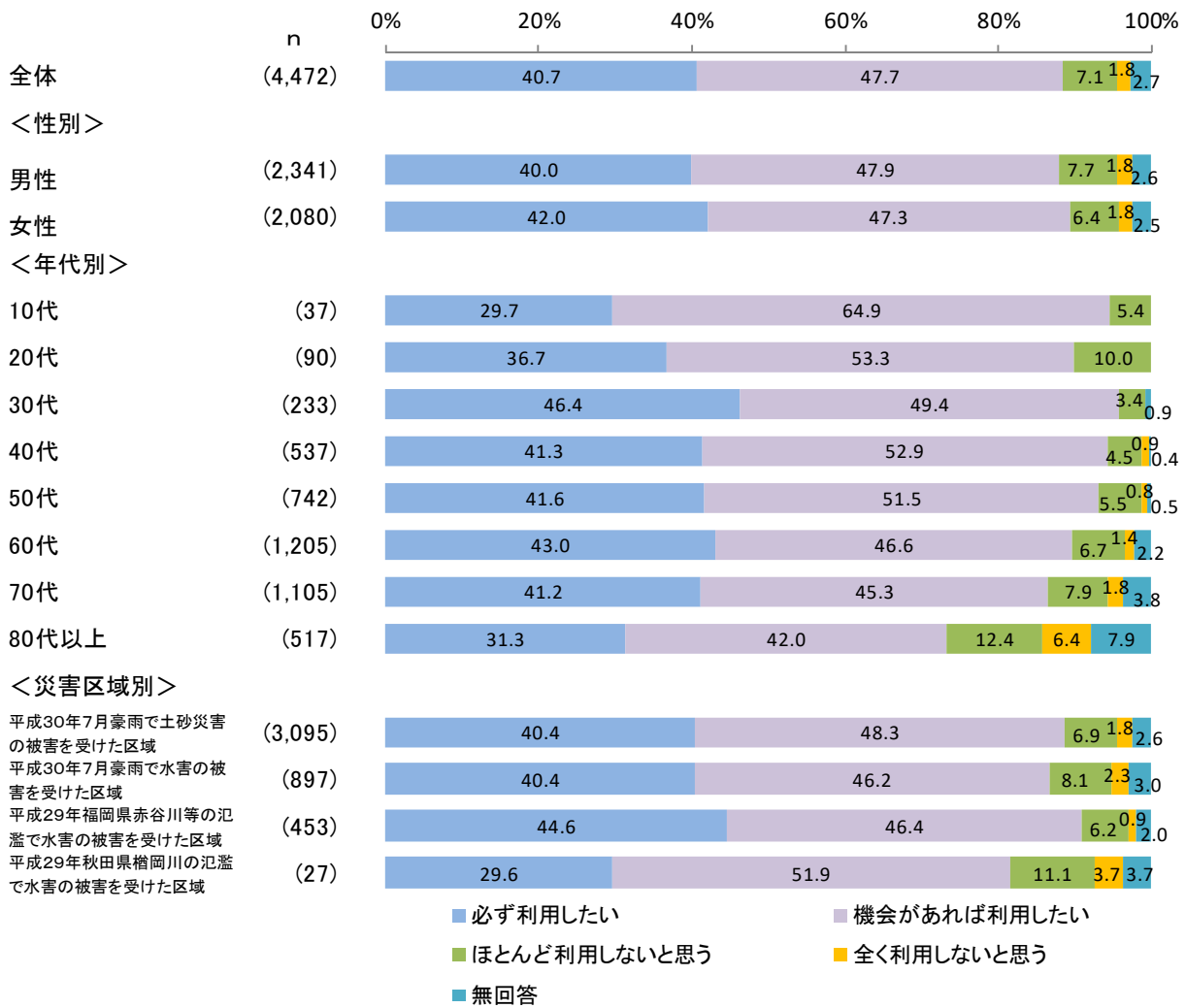
(8) ハザードマップの重ね表示の利用希望

Q15. ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域などに居る場合には、「危険度分布」で危険度が高まったときに、安全な場所に避難する必要があります。
もし、「危険度分布」の地図にハザードマップも重ね合わせて表示させる機能があったら、利用したいと思いますか。(〇はひとつ)



「危険度分布」の地図にハザードマップを重ねて表示する機能について、「必ず利用したい」が約4割、「機会があれば利用したい」が5割弱となり、合わせたハザードマップの重ね表示の利用希望者は9割弱となっている。

Ⅱ. 郵送調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

年代別にみると、30代では「必ず利用したい」が4割台半ばと、他年代に比べ高くなっている。

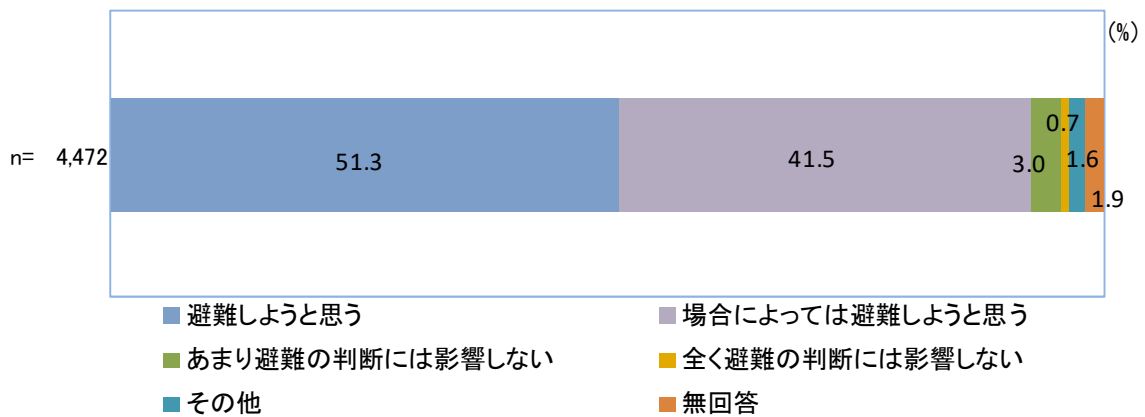
災害区域別にみると、平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域では、「ほとんど利用しないと思う」、「全く利用しないと思う」を合わせた利用希望の低い方が1割台半ばと、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

(9) 切迫性のあるキーワードを用いた情報伝達による避難の判断

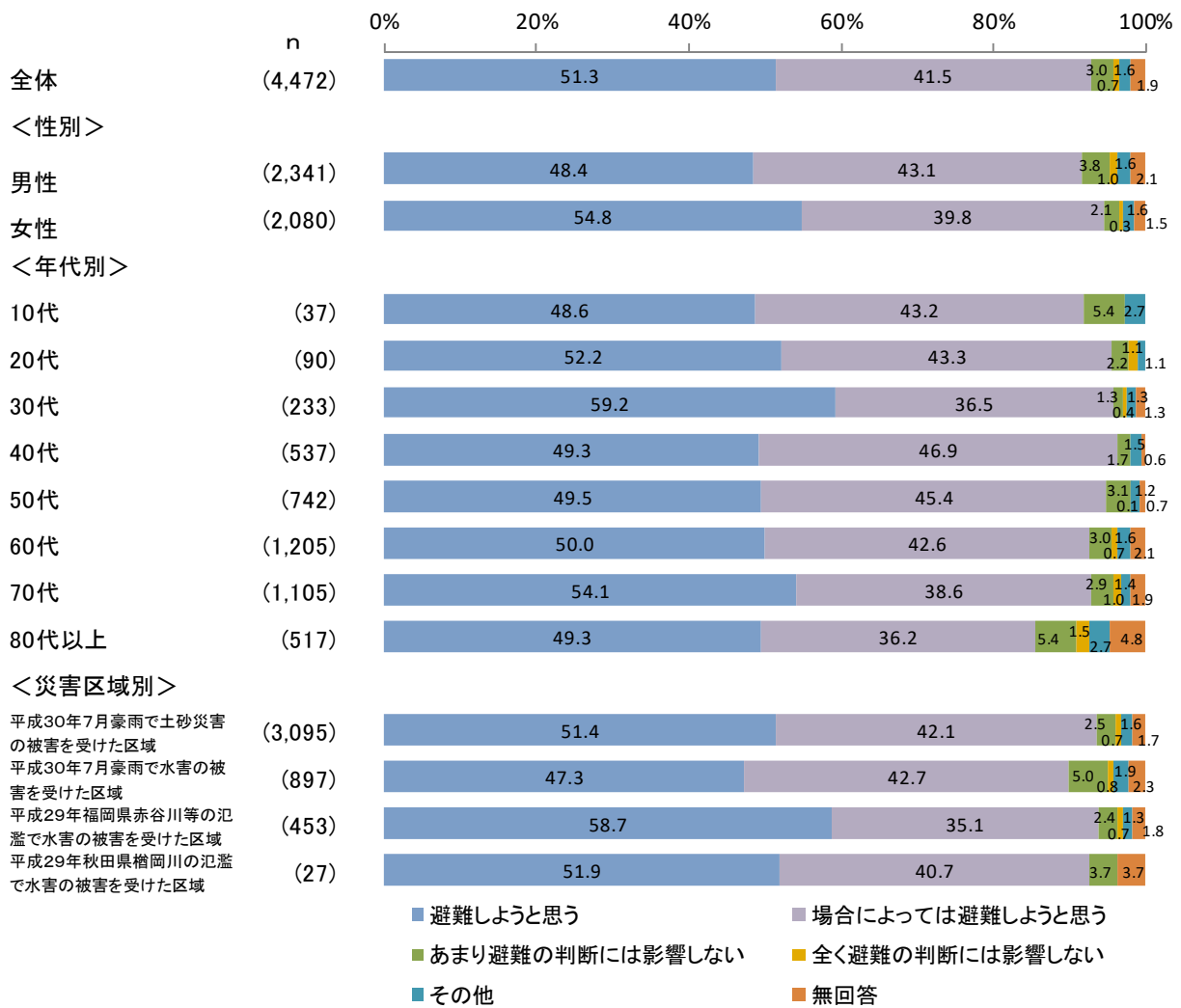
Q16. 5段階で危険度を示す「危険度分布」で、最も高い「極めて危険」(濃い紫)が出現したときには、もはや「命に関わる災害がすでに発生しているもおかしくない状況」となるため、それまでには安全な場所に避難しておくことが大変重要です。

このことを確実に伝えるため、大雨や洪水の危険度が高い方から2番目の「非常に危険」(うす紫)となったとき、気象庁が、より切迫性の伝わるキーワード(例えば「命に関わる災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況です」など)を用いた場合、従来より避難しようと思いませんか。(〇はひとつ)



切迫性のあるキーワードを用いた情報伝達による避難の判断について、「避難しようと思う」が5割強、「場合によっては避難しようと思う」が4割強となり、合わせた切迫性のあるキーワードを用いた情報伝達によって避難しようと思う方は9割強となっている。

Ⅱ. 郵送調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、女性では、「避難しようと思う」が5割台半ばと、男性に比べ5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、30代では「避難しようと思う」が6割弱と、他年代に比べ高くなっている。

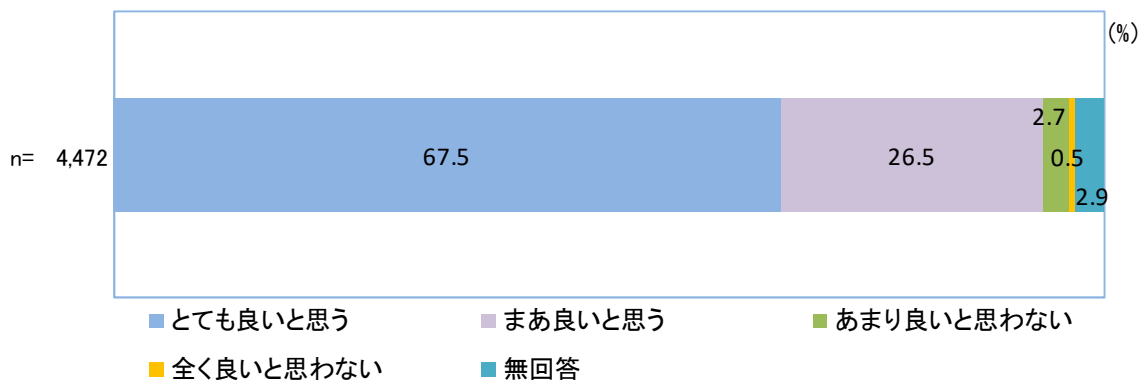
災害区域別にみると、平成29年赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域では「避難しようと思う」が6割弱と、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

(10) 気象情報発表時の数字や色での割振り

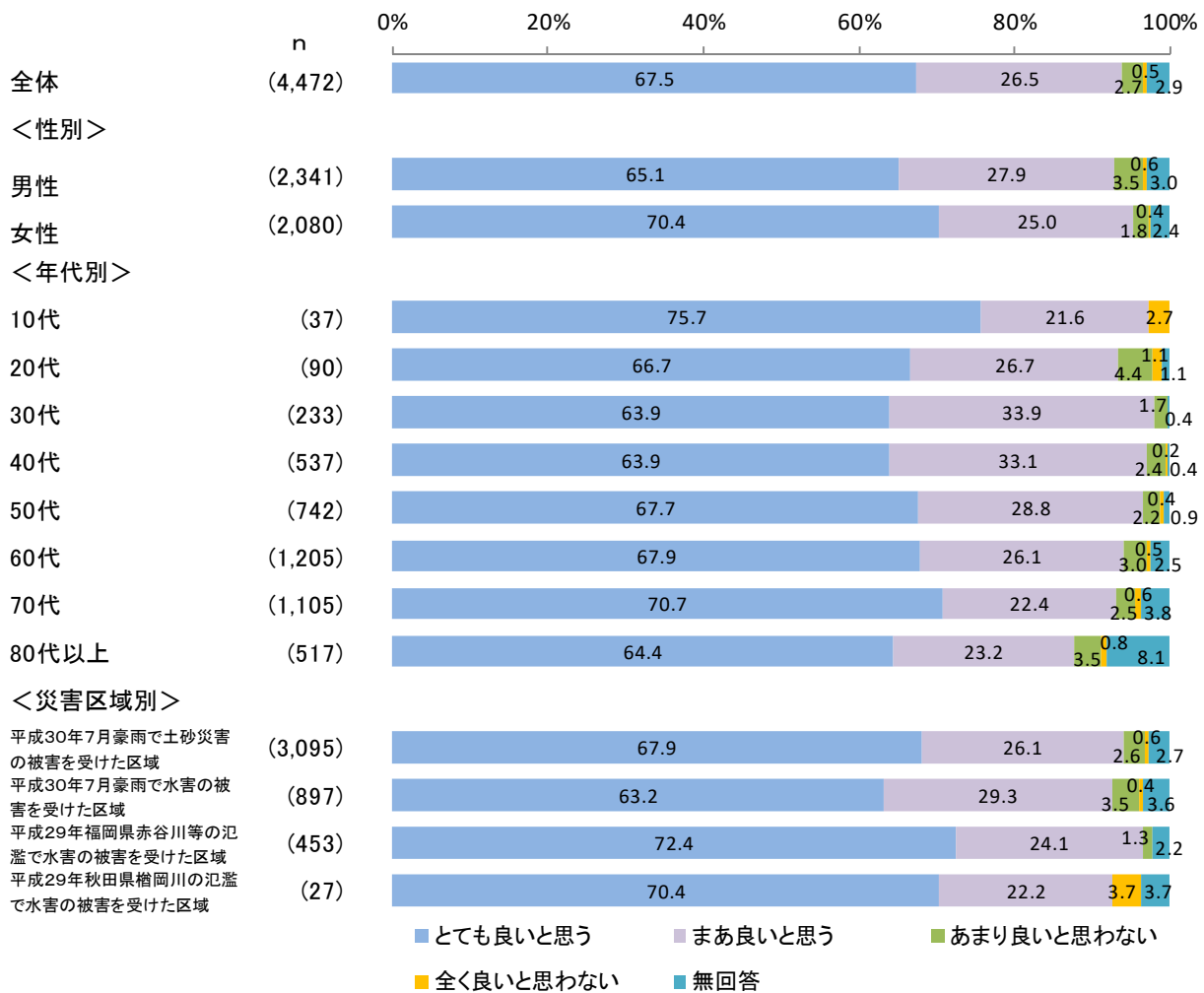
Q17. 気象庁が大雨注意報や大雨警報を発表する際、危険度の大小関係が一目で分かるよう、例えば次のように「数字」や「色」を割り振ることは良いと思いますか。(〇はひとつ)

- レベル2 : 大雨注意報 (黄色)
- レベル3 : 大雨警報 (赤)
- レベル4 : 土砂災害警戒情報 (うす紫)



気象情報発表時の数字や色での割振りについて、「とても良いと思う」が7割弱、「まあ良いと思う」が2割台半ばとなり、合わせた気象情報発表時の数字や色での割振りが良いと思う方は9割台半ばとなっている。

Ⅱ. 郵送調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

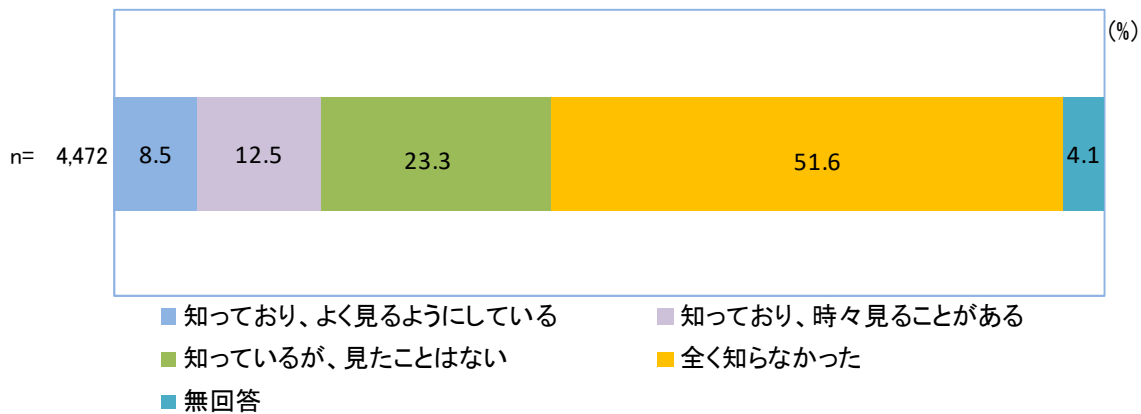
男女別にみると、女性では「とても良いと思う」が約7割と、男性に比べ5ポイント高くなっている。年代別にみると、10代では「とても良いと思う」が7割台半ばと、他年代に比べ高くなっている。災害区域別にみると、平成29年赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域、平成29年秋田県櫛岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域では「とても良いと思う」が7割以上と、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

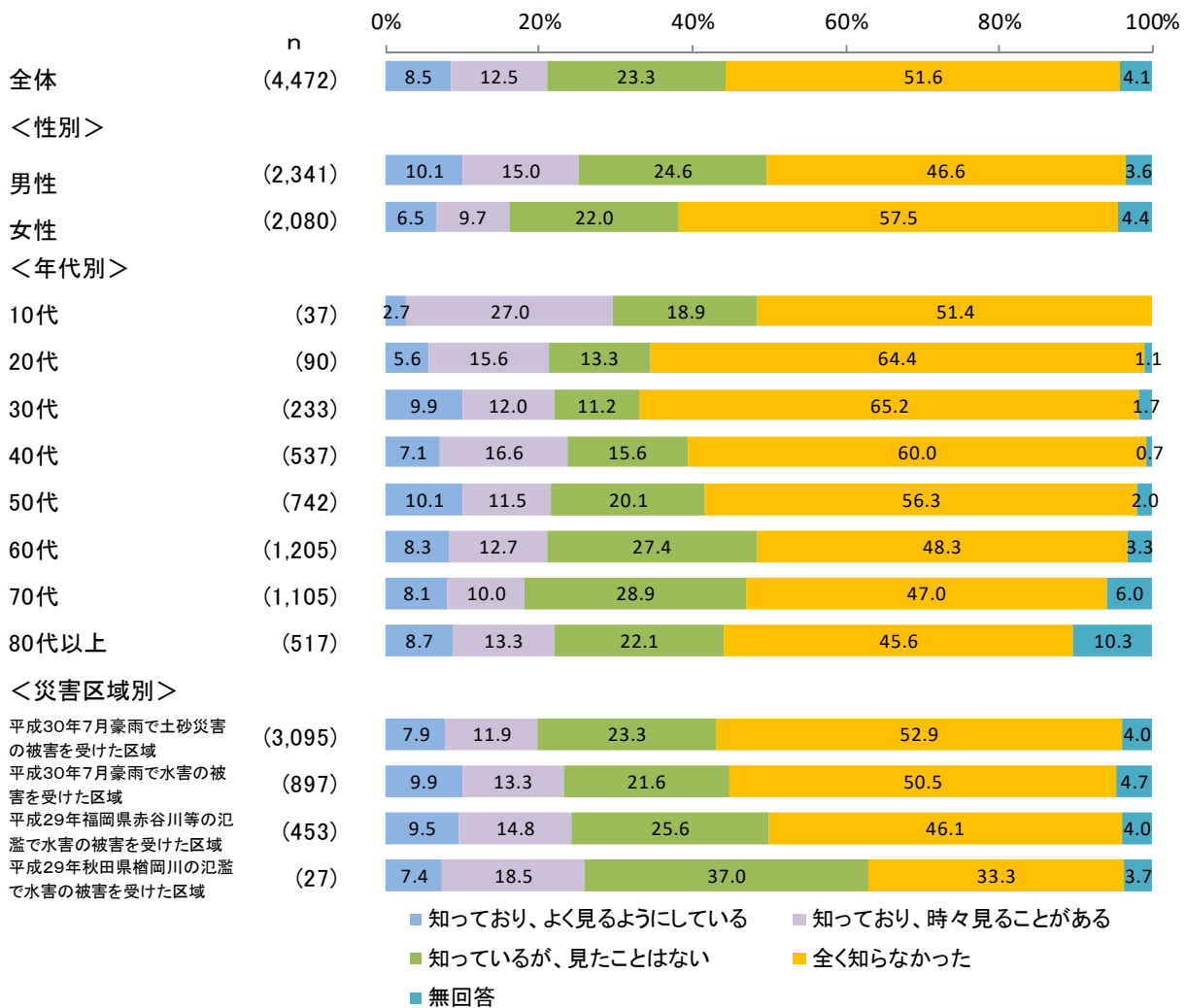
4. 注意報・警報の新たな表示

(1) 注意報・警報の表示形式の認知度

Q18. 気象庁では、注意報・警報を危険度が高まる時間帯を色分けして発表するようになりました。この情報は気象庁ホームページで、どなたでも見る您可以通过することをご存じでしたか。(〇はひとつ)



注意報・警報の表示形式の認知度について、「知っており、よく見るようにしている」と「知っており、時々見ることもある」を合わせた注意報・警報を見ている方は4割台半ばとなっている。



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、男性では「知っており、よく見るようにしている」、「知っており、時々見ることもある」を合わせた注意報・警報を見ている方が2割台半ばと、女性に比べ5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、10代では「知っており、よく見るようにしている」、「知っており、時々見ることもある」を合わせた注意報・警報を見ている方が3割弱と、他年代に比べ高くなっている。

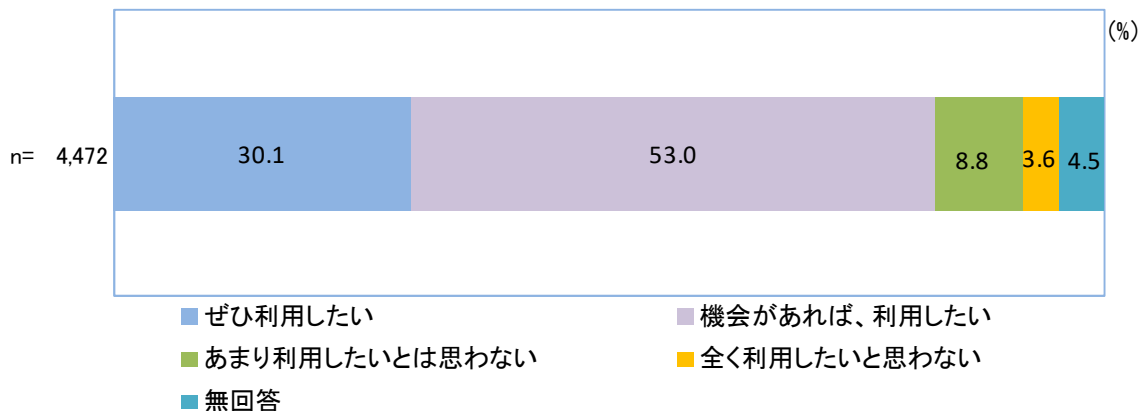
災害区域別にみると、平成29年秋田県檜岡川の氾濫で水害の被害を受けた区域では「知っており、よく見るようにしている」、「知っており、時々見ることもある」、「知っているが、見たことはない」を合わせた注意報・警報を知っている方が6割強と、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

(2) 危険度を色分けした図の今後の利用希望

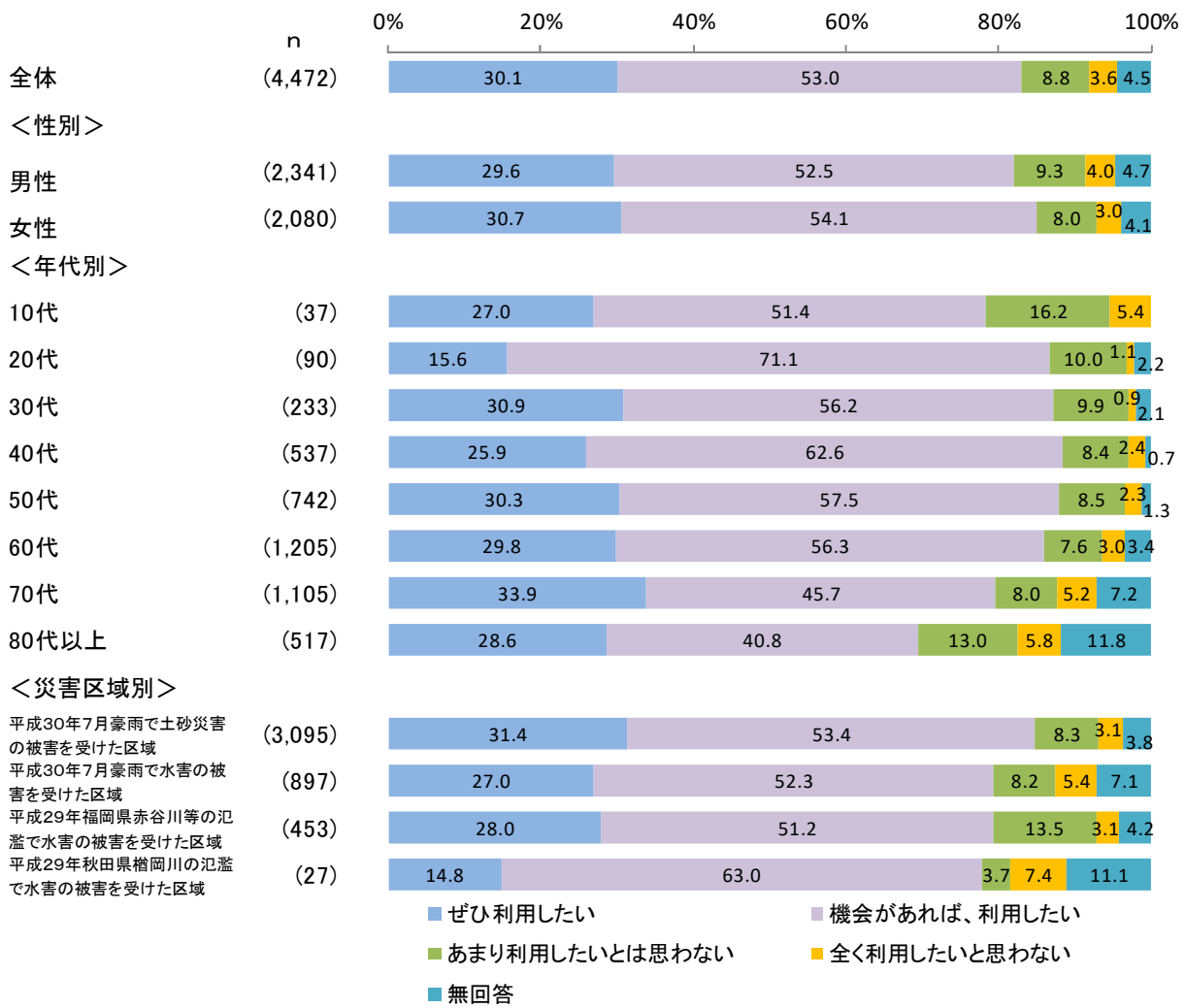
Q19. 高潮が発生するような台風の接近時には、潮位（海面の高さ）の上昇より先に暴風が吹き始め、屋外に出るのは命の危険を伴う状況となります。このため、いつ暴風が吹き始めるかをあらかじめ把握し、暴風が吹き始める前に避難することが必要とされています。

このような、暴風や高潮などの危険度を時系列で色分けした図を、今後利用したいと思いますか。（〇はひとつ）



危険度を色分けした図の今後の利用希望について、「ぜひ利用したい」が約3割、「機会があれば利用したい」が5割台半ばとなり、合わせた危険度を色分けした図の利用希望者は8割台半ばとなっている。

Ⅱ. 郵送調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

年代別にみても全体と同様、利用傾向は高いものの、20代、80代以上では「あまり利用したいとは思わない」、「全く利用したいと思わない」を合わせた利用意向の低い方が2割前後と、他年代に比べ高くなっている。

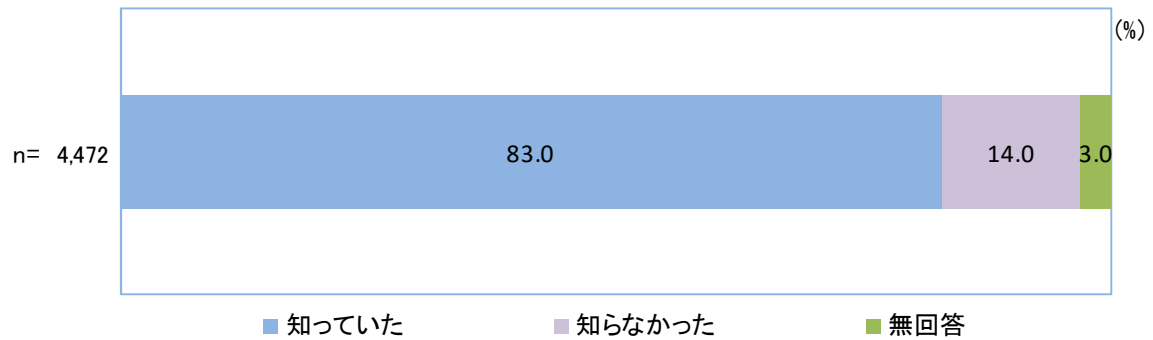
災害区域別にみると、平成30年7月豪雨で土砂災害の被害を受けた区域では「ぜひ利用したい」、「機会があれば、利用したい」を合わせた危険度を色分けした図の利用希望者が8割台半ばと、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

5. 特別警報

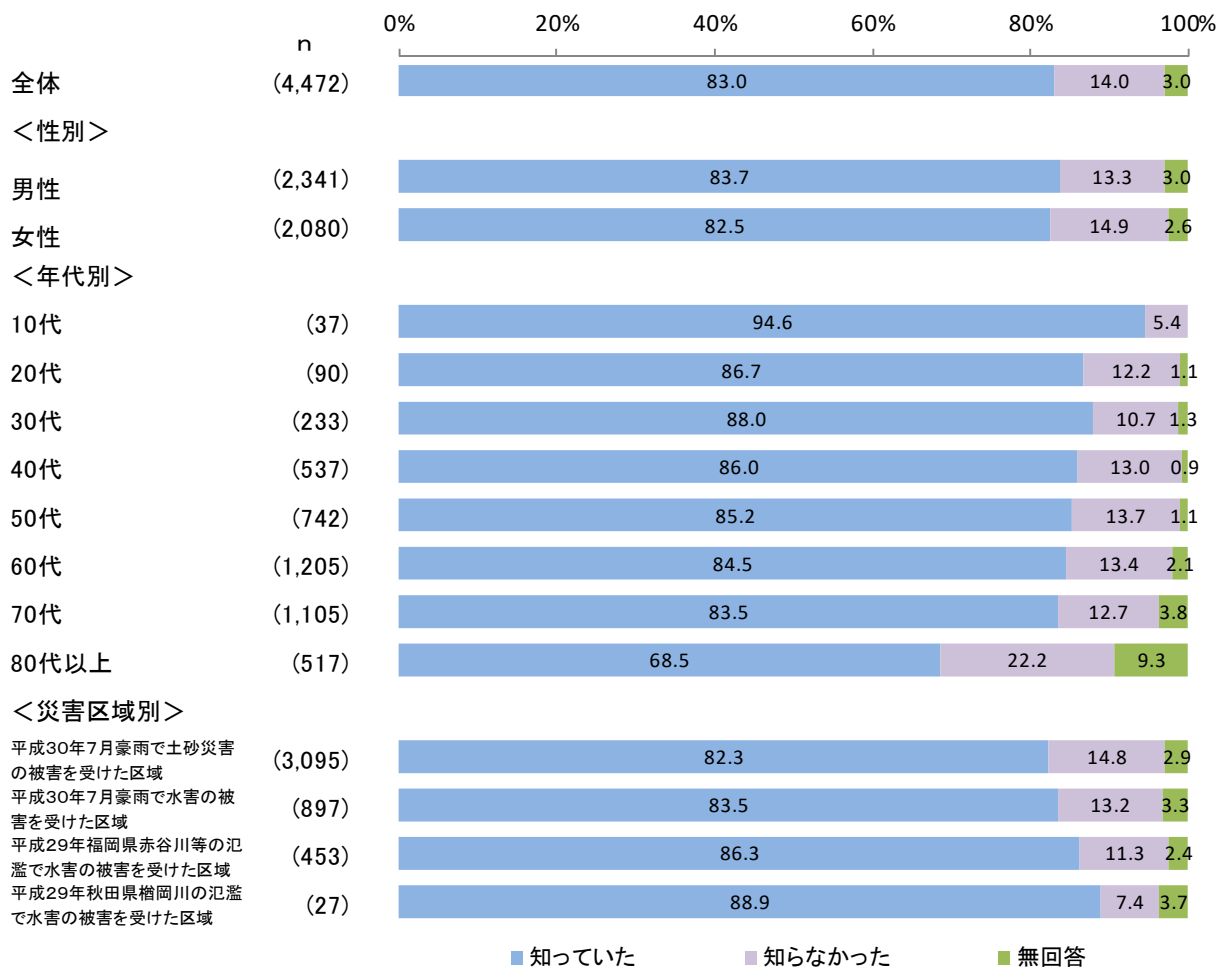
(1) 大雨特別警報の認知度

Q20. 気象庁は、大雨警報の発表基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく大きい場合に「大雨特別警報」を発表しています。
あなたは、「大雨特別警報」という情報があることをご存じでしたか。(〇はひとつ)



大雨特別警報の認知度について、「知っていた」が8割台半ばとなっている。

Ⅱ. 郵送調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

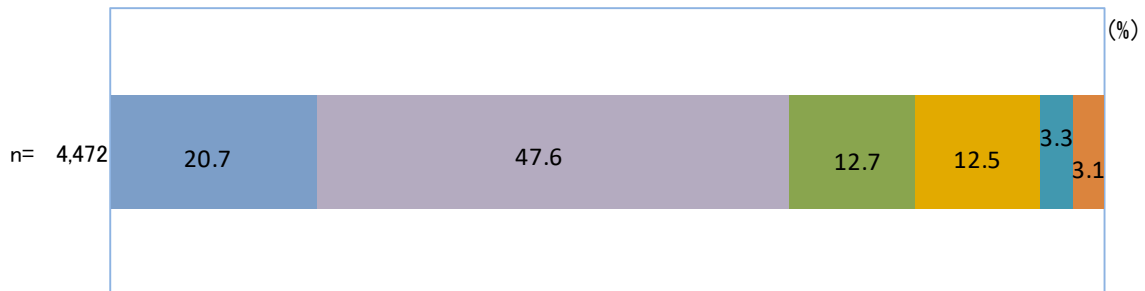
年代別にみると、10代では「知っていた」が9割台半ばと、他年代に比べ高くなっている。

災害区域別にみると、平成29年秋田県櫛岡川の氾濫で水害を受けた区域では「知っていた」が9割弱と、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

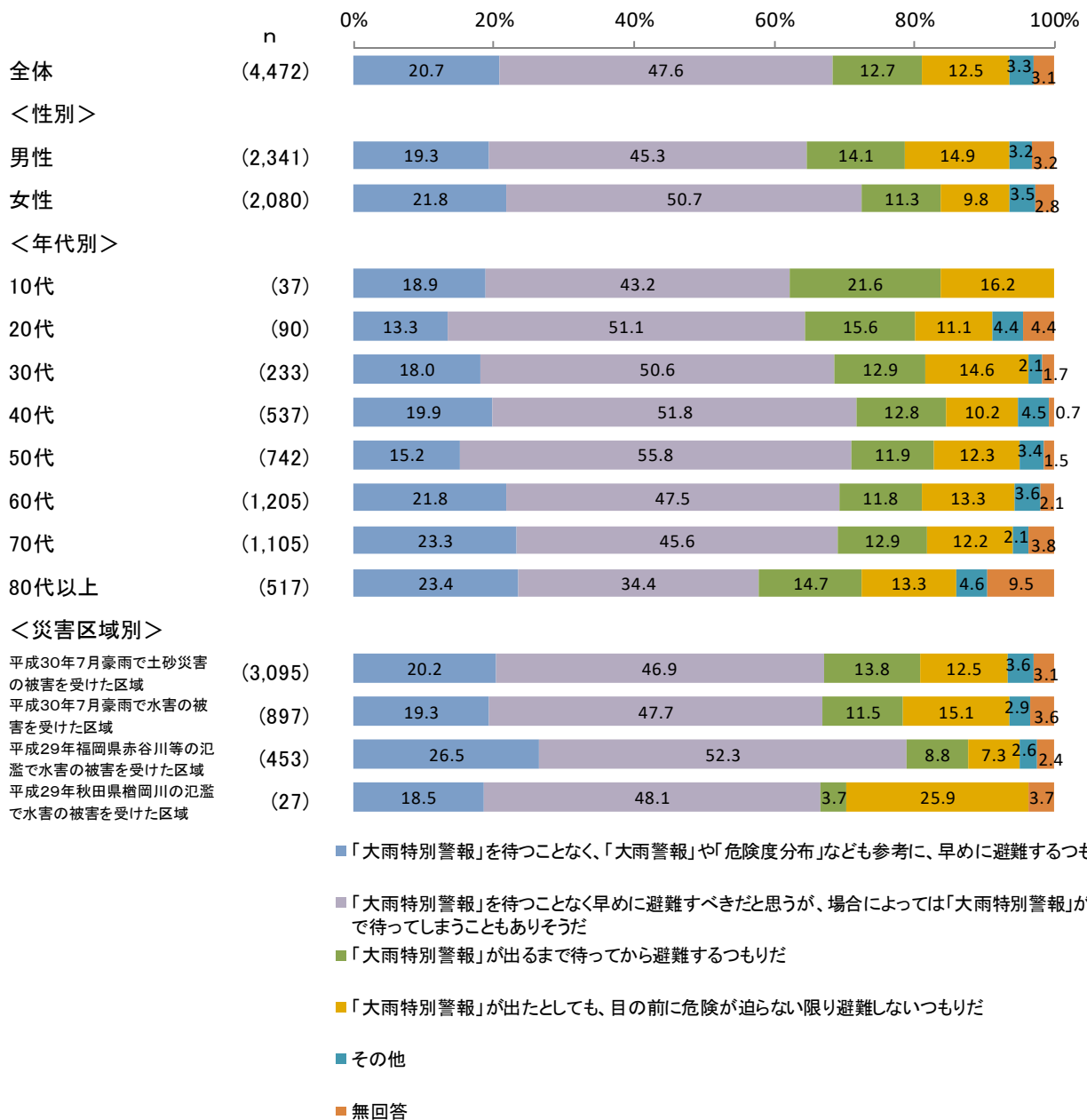
(2) 避難時における大雨特別警報の活用状況

Q21. 「大雨警報」等の後に「大雨特別警報」が発表される場合があることから、「大雨特別警報」が出るまで避難しなかった、という声がしばしばあります。もし、あなたが、ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域等に居るときならば、どうしますか。(〇はひとつ)



- 「大雨特別警報」を待つことなく、「大雨警報」や「危険度分布」なども参考に、早めに避難するつもりだ
- 「大雨特別警報」を待つことなく早めに避難すべきだと思うが、場合によっては「大雨特別警報」が出るまで待つこともありそうだ
- 「大雨特別警報」が出るまで待ってから避難するつもりだ
- 「大雨特別警報」が出たとしても、目の前に危険が迫らない限り避難しないつもりだ
- その他
- 無回答

避難時における大雨特別警報の活用状況について、「大雨特別警報」を待つことなく早めに避難すべきだと思うが、場合によっては「大雨特別警報」が出るまで待つこともありそうだ」が5割弱と半数程度を占めている。



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、女性では「大雨特別警報」を待つことなく早めに避難すべきだと思うが、場合によっては「大雨特別警報」が出るまで待ってしまうこともありそうだ」が5割強と、男性に比べ5ポイント高くなっている。

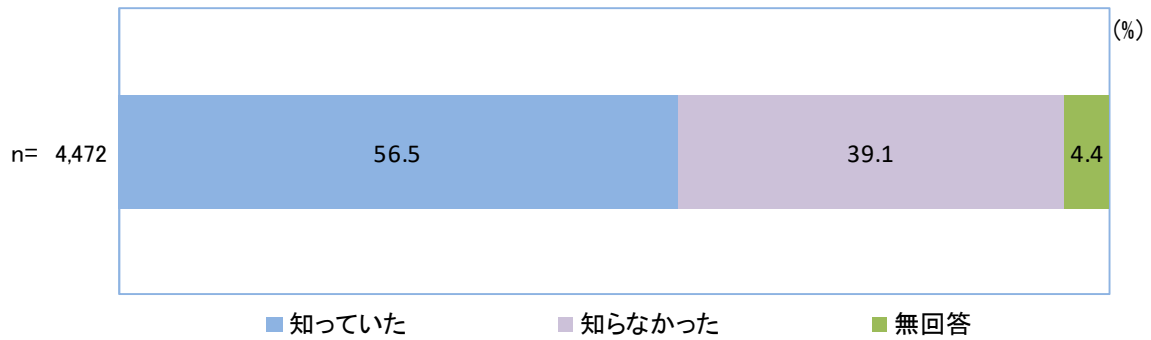
年代別にみると、10代では「大雨特別警報」が出るまで待ってしまうこともありそうだ」が2割強と、他年代に比べ高くなっている。

災害区域別にみると、平成29年赤谷川等の氾濫で水害の被害を受けた区域では「大雨特別警報」を待つことなく、「大雨警報」や「危険度分布」なども参考に、早めに避難するつもりだ」が2割台半ばと、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

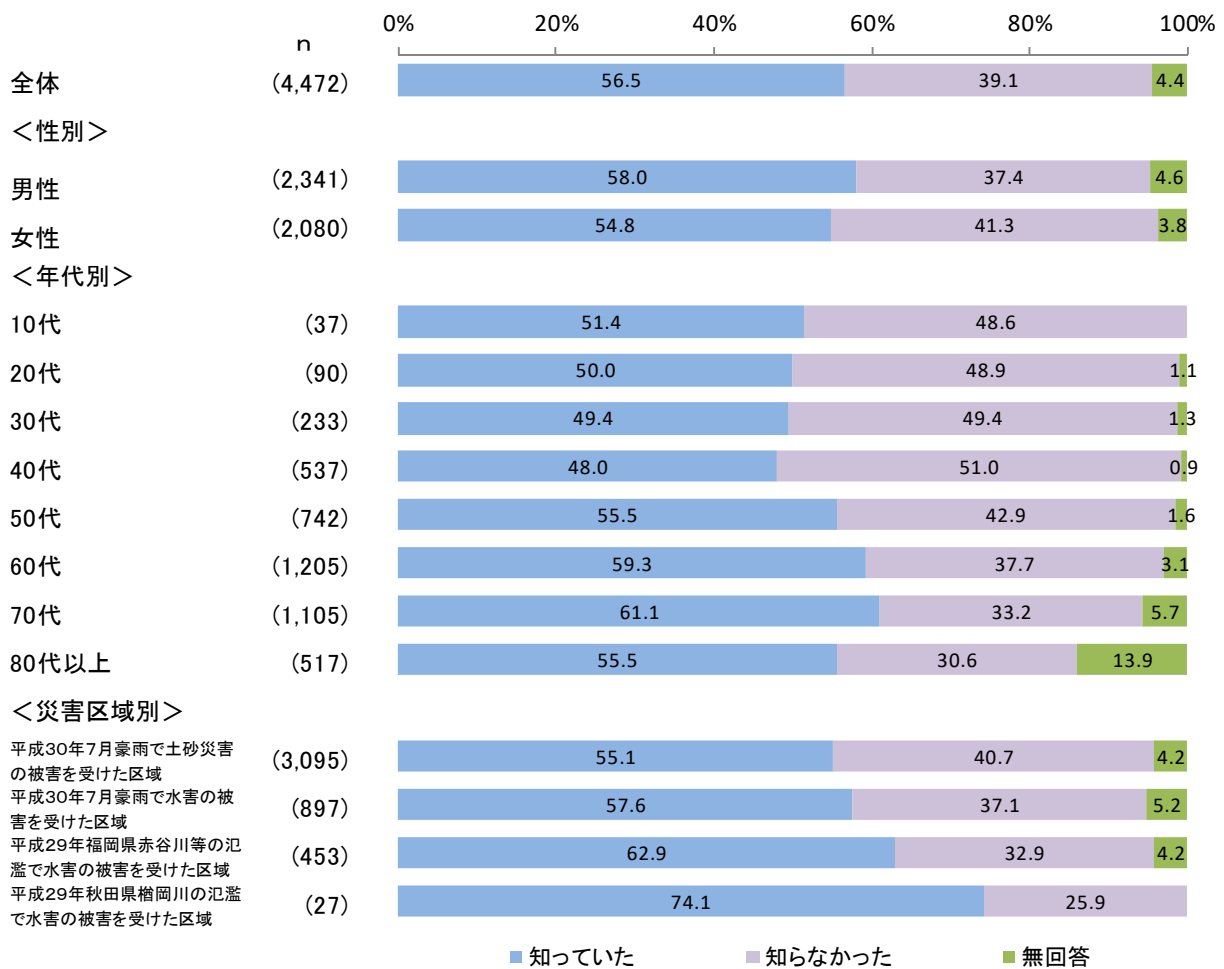
(3) 大雨特別警報が発表される前の避難の必要性の認知度

Q22. ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨特別警報が発表される前の段階で、安全な場所への避難を終えておく必要があるとされています。このことをご存じでしたか。(〇はひとつ)



大雨特別警報が発表される前の避難の必要性の認知度について、「知っていた」が5割台半ばとなっている。

Ⅱ. 郵送調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

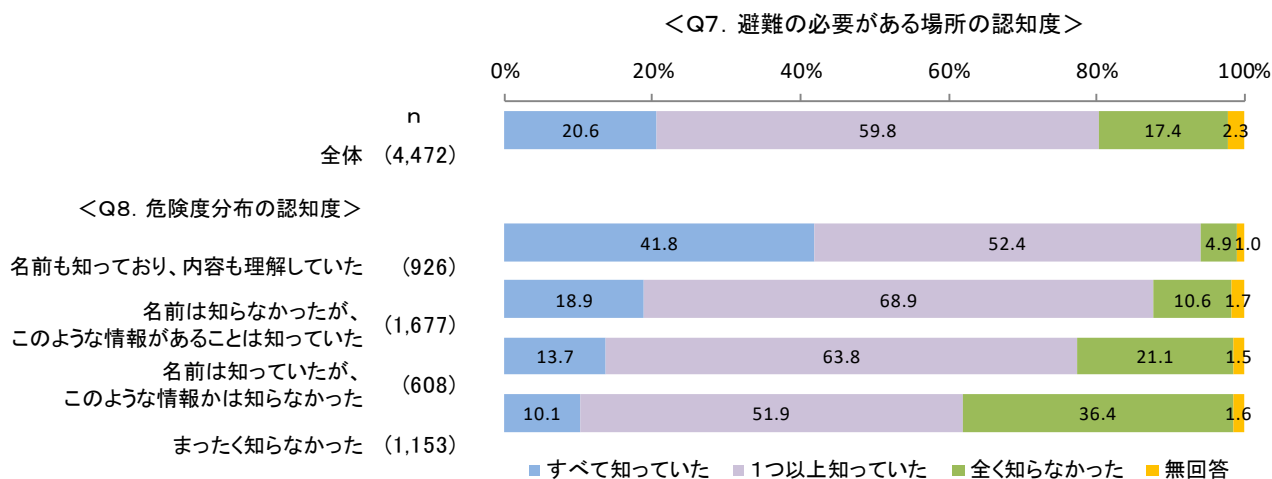
年代別にみると、60代、70代では「知っていた」が6割前後と、他年代に比べ高くなっている。

災害区域別にみると、平成29年秋田県櫛岡川の氾濫で水害を受けた区域では「知っていた」が7割台半ばと、他災害区域に比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

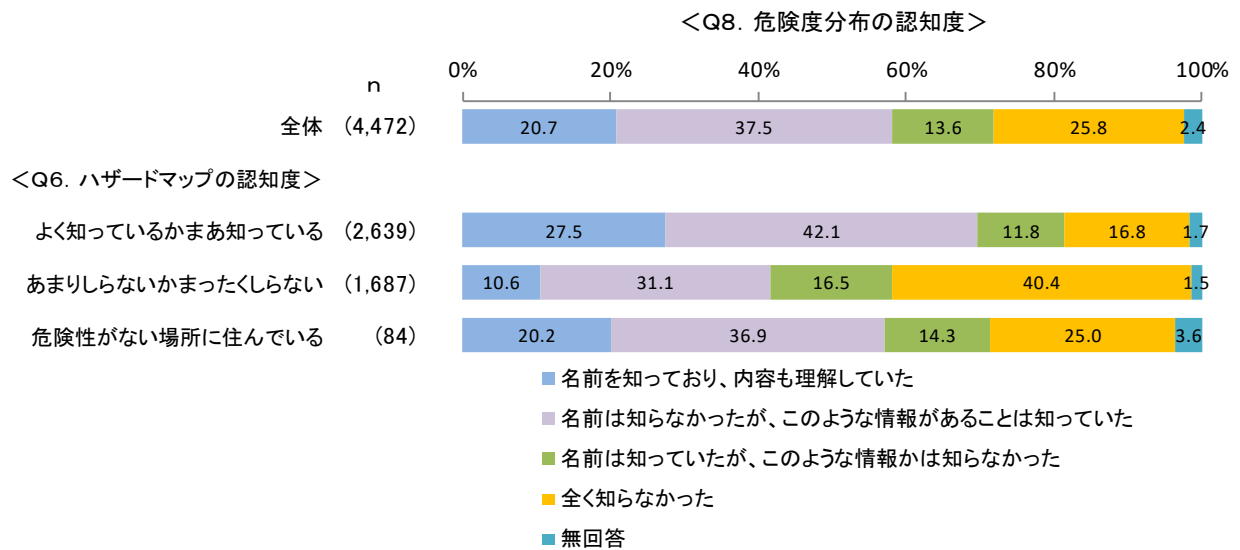
6. その他

(1) 危険度分布の認知度とリスク認知の関係性



危険度分布の認知度ごとに避難の必要性がある場所の認知度をみると、危険度分布の認知度が高まるほど、避難の必要性がある場所の認知度も高くなっている。

(2) 普段の防災意識の高さと危険度分布の認知度の関係性



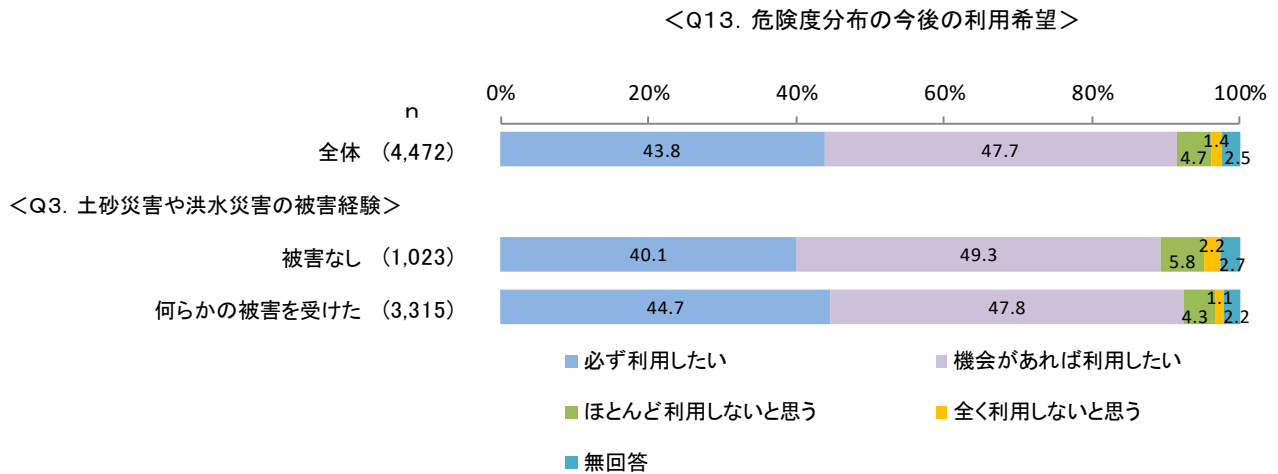
※Q6 の下記の選択肢は調査時から新たに作成

「よく知っているかまあ知っている」 = 「知っており、よく見るようにしている」「知っており、時々見ることもある」の合算
 「あまり知らないかまったく知らない」 = 「知っているが、見たことはない」「全く知らなかった」の合算

普段の防災意識の高さ（ハザードマップの認知度）と危険度分布の認知度をみると、ハザードマップを知っている人は知らない人と比べて、「名前を知っており、内容も理解していた」、「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」を合わせた危険度分布の理解度も高くなっている。

II. 郵送調査結果

(3) 被害経験と危険度分布利用要望の関係性



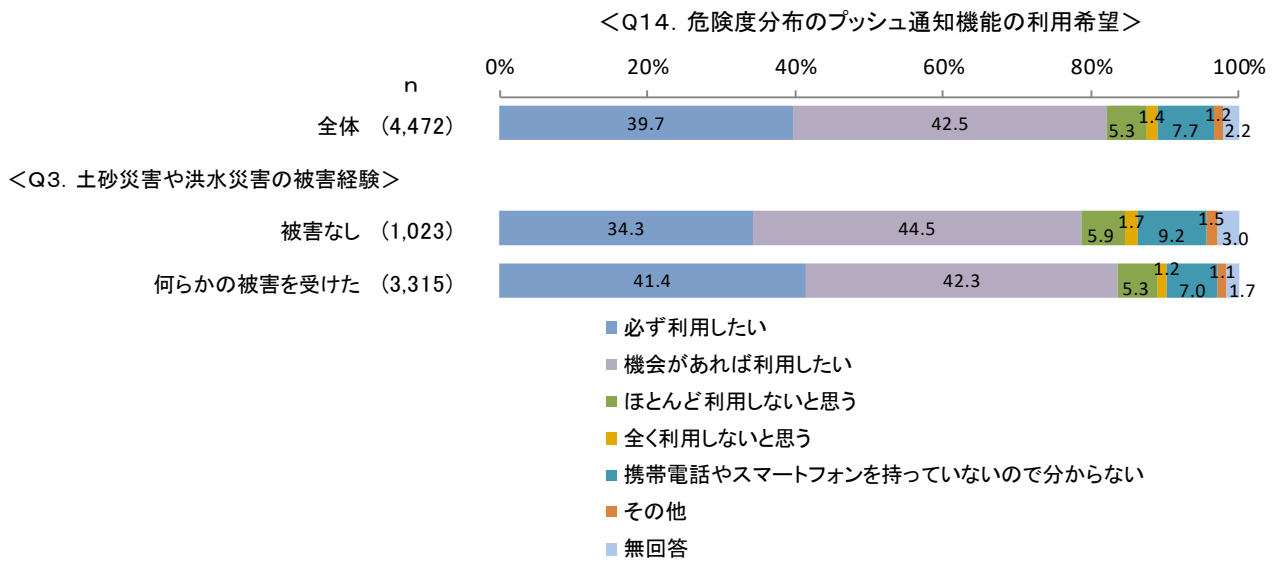
※Q3 の下記の選択肢は調査時から新たに作成

「被害なし」 = 「被害に遭っていない」

「何らかの被害を受けた」 = 「自宅が半壊した」「自宅が半壊した、又は床上浸水の被害に遭った」「自宅が一部損壊した、又は床下浸水の被害に遭った」「自宅の被害はなかったが、車や倉庫などの資産が被害に遭った」「自宅や資産の被害はなかったが、停電や交通機関の支障などで生活に影響があった」の合算

平成 29 年夏以降の土砂災害や洪水の被害経験ごとに危険度分布の利用要望をみると、全体と同様の傾向がみられる。

(4) 被害経験とプッシュ通知希望の関係性



※Q3 の下記の選択肢は調査時から新たに作成

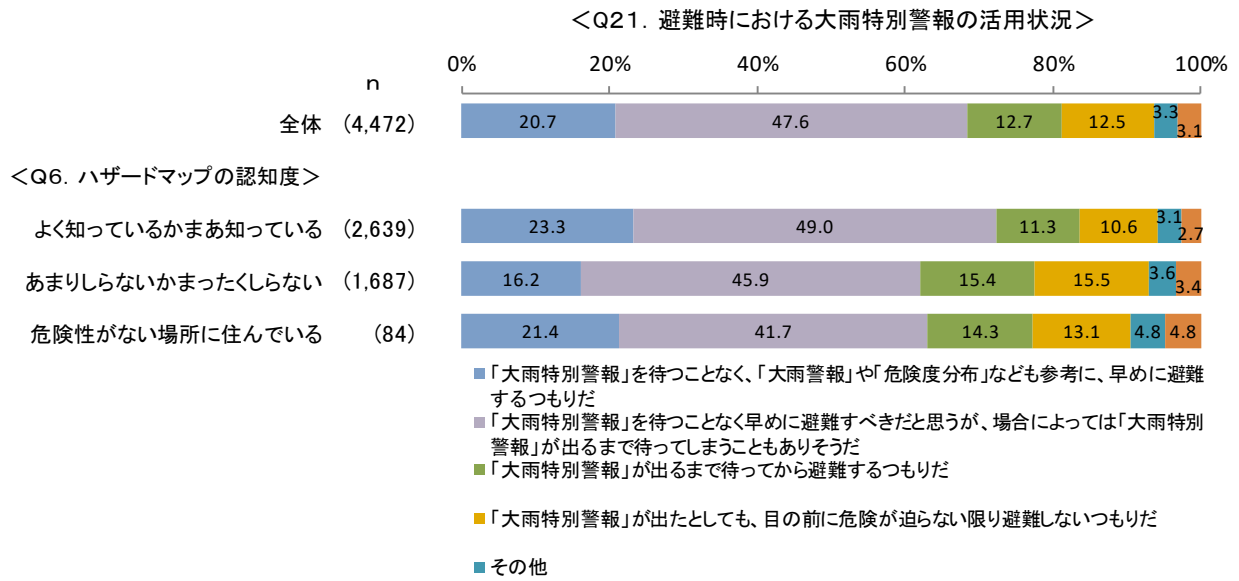
「被害なし」 = 「被害に遭っていない」

「何らかの被害を受けた」 = 「自宅が半壊した」「自宅が半壊した、又は床上浸水の被害に遭った」「自宅が一部損壊した、又は床下浸水の被害に遭った」「自宅の被害はなかったが、車や倉庫などの資産が被害に遭った」「自宅や資産の被害はなかったが、停電や交通機関の支障などで生活に影響があった」の合算

平成 29 年夏以降の土砂災害や洪水の被害経験ごとに危険度のプッシュ通知希望をみると、「何らかの被害を受けた」方では、「必ず利用したい」、「機会があれば利用したい」を合わせたプッシュ通知希望が、「被害なし」の方と比べ高くなっている。

II. 郵送調査結果

(5) ハザードマップの認知度と早めの避難行動を起こそうと考える人の関係性



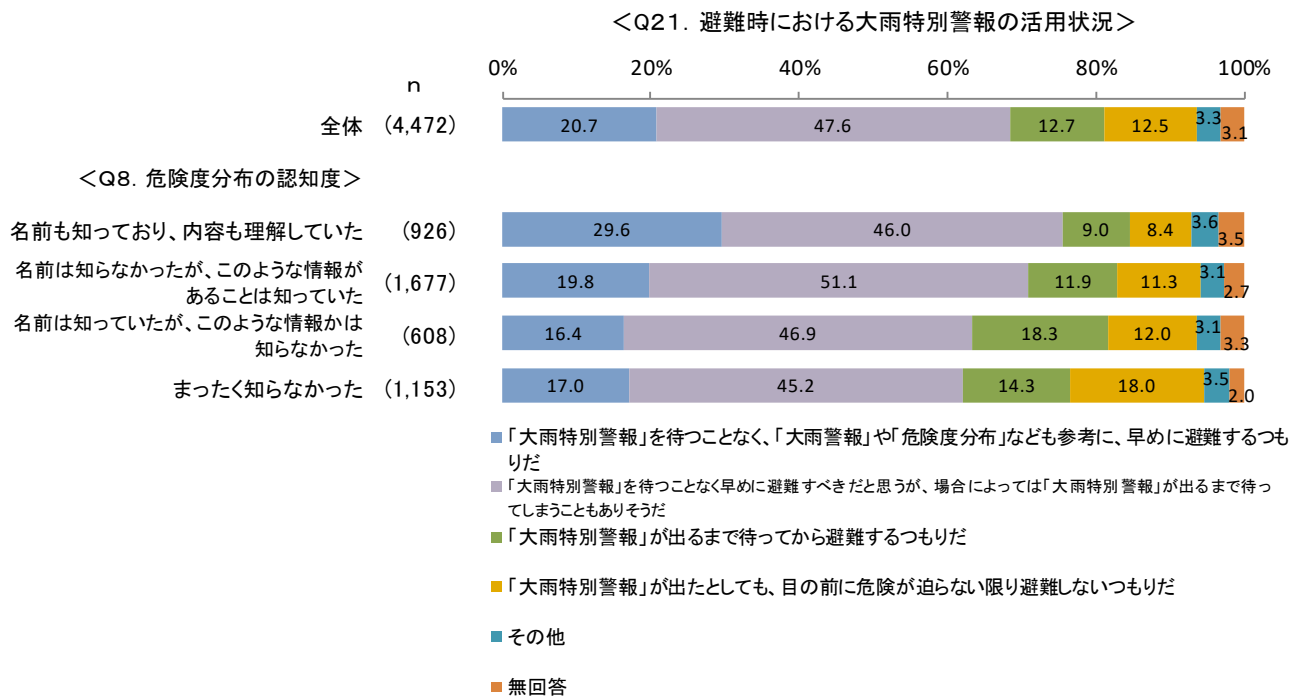
※Q6 の下記の選択肢は調査時から新たに作成

「よく知っているかまあ知っている」 = 「知っており、よく見るようにしている」「知っており、時々見ることもある」の合算

「あまり知らないかまったく知らない」 = 「知っているが、見たことはない」「全く知らなかった」の合算

ハザードマップの認知度と避難時における大雨特別警報の活用状況をみると、ハザードマップを知っている人は知らない人に比べて、「大雨特別警報」を待つことなく、その他の情報を参考に早めに避難を起こそうと考える方の割合が高くなっている。

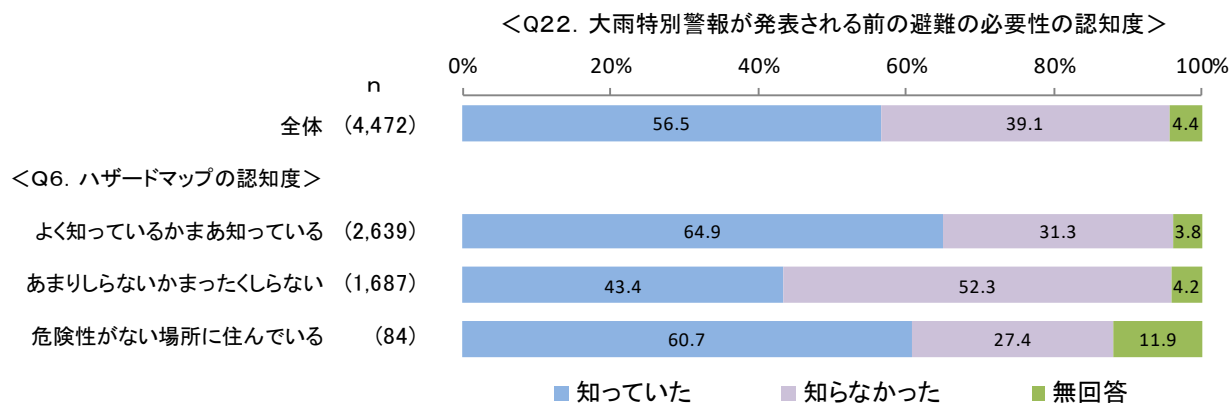
(6) 危険度分布の理解度と早めの避難行動を起こそうと考える人の関係性



危険度分布の認知度ごとに避難時における大雨特別警報の活用状況をみると、危険度分布の認知度が高まるほど、「大雨特別警報」を待つことなく、その他の情報を参考に早めに避難を起こそうと考える方の割合が高くなっている。

II. 郵送調査結果

(7) ハザードマップの認知度と大雨特別警報の理解度の関係性

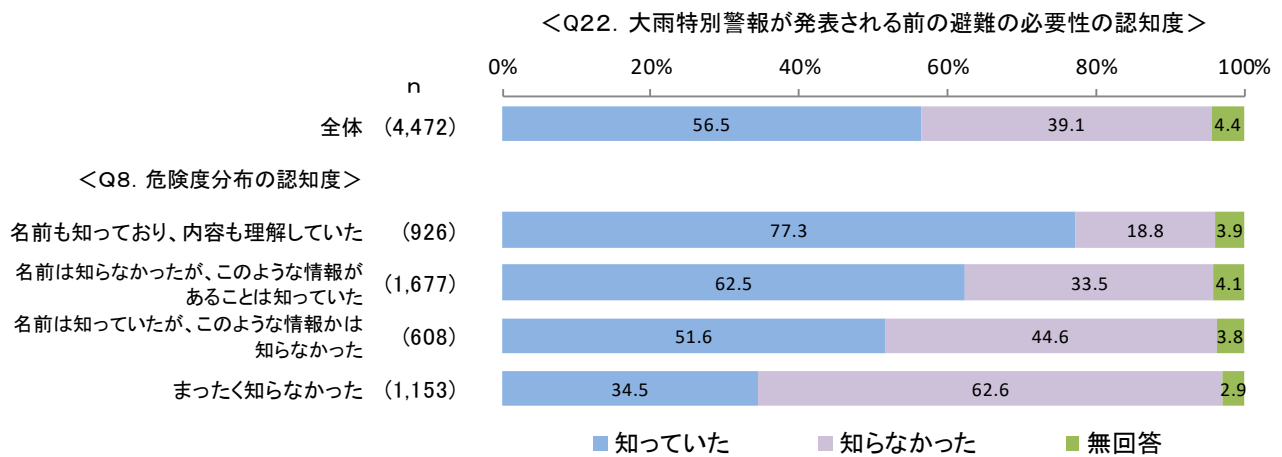


※Q6 の下記の選択肢は調査時から新たに作成

「よく知っているかまあ知っている」 = 「知っており、よく見るようにしている」「知っており、時々見ることもある」の合算
 「あまり知らないかまったく知らない」 = 「知っているが、見たことはない」「全く知らなかった」の合算

ハザードマップの認知度と大雨特別警報の認知度をみると、ハザードマップを知っている人は知らない人と比べて、大雨特別警報の認知度も高くなっている。

(8) 危険度分布の理解度と大雨特別警報の理解度の関係性



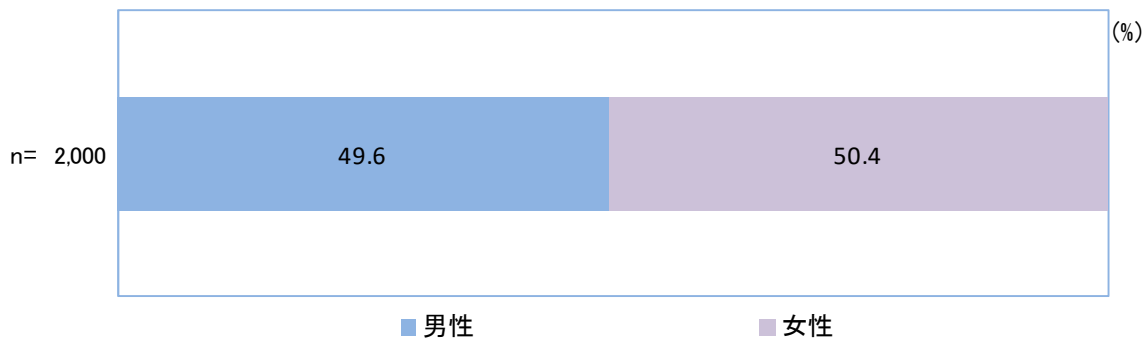
危険度分布の認知度ごとに大雨特別警報の認知度をみると、危険度分布の認知度が高まるほど、大雨特別警報の認知度も高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

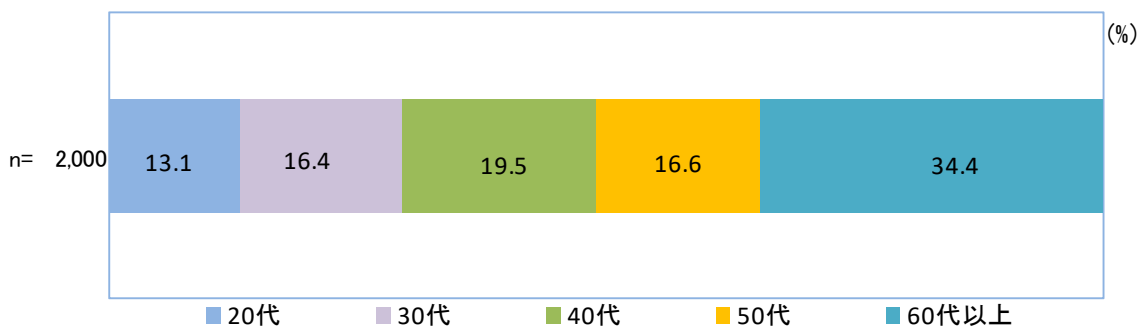
Ⅲ. インターネット調査結果

1. 対象者属性

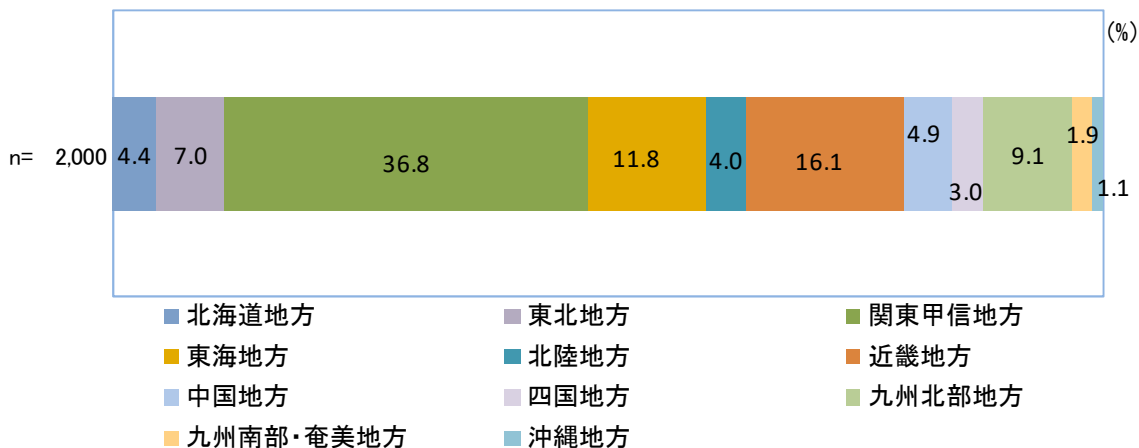
性



年代



地方予報区

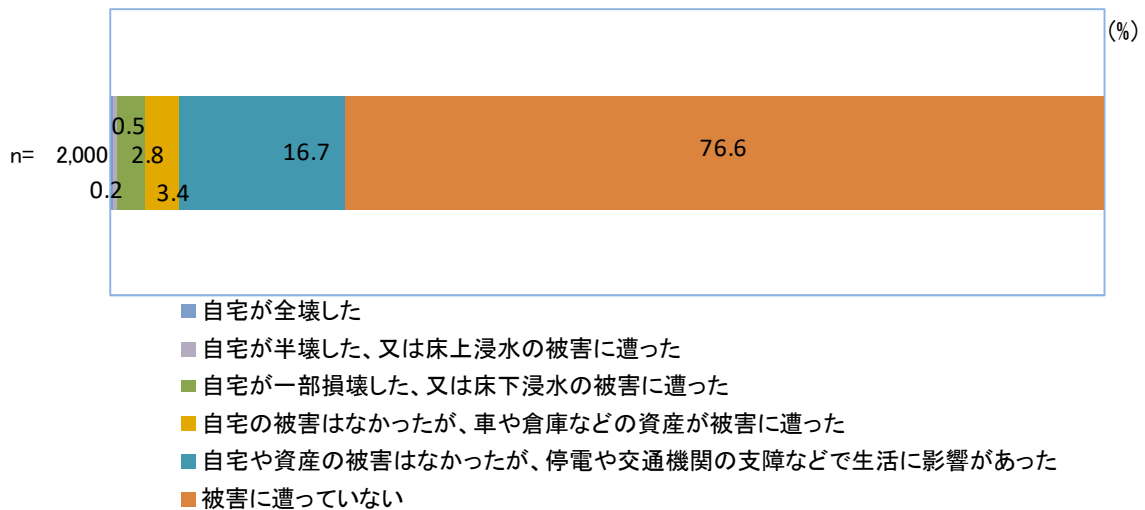


Ⅲ. インターネット調査結果

2. 災害経験や防災情報

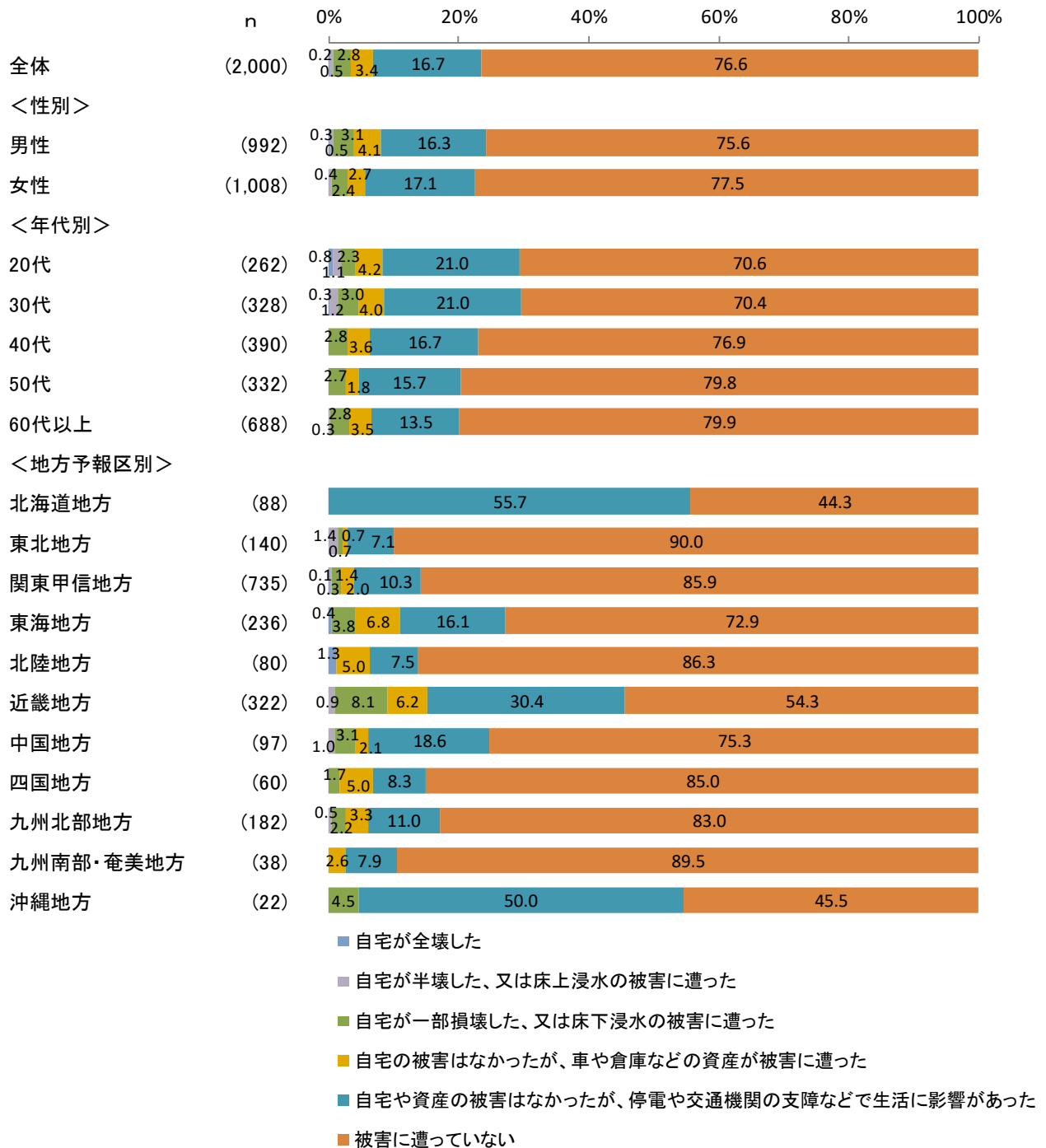
(1) 土砂災害や洪水災害の被害経験

Q3. 昨年(平成29年)夏以降、台風や集中豪雨により土砂災害や洪水災害の被害に遭われましたか。複数回被害に遭われた方は、最も被害を受けたときの状況をお答えください。(〇はひとつ)



平成29年夏以降の土砂災害や洪水災害の被害経験について、「自宅が全壊した」、「自宅が半壊した、又は床上浸水の被害に遭った」、「自宅が一部損壊した、または床下浸水の被害に遭った」、「自宅や資産の被害はなかったが、停電や交通機関の支障などで生活に影響があった」を合わせて、台風や洪水の被害経験のある方は2割台半ばとなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

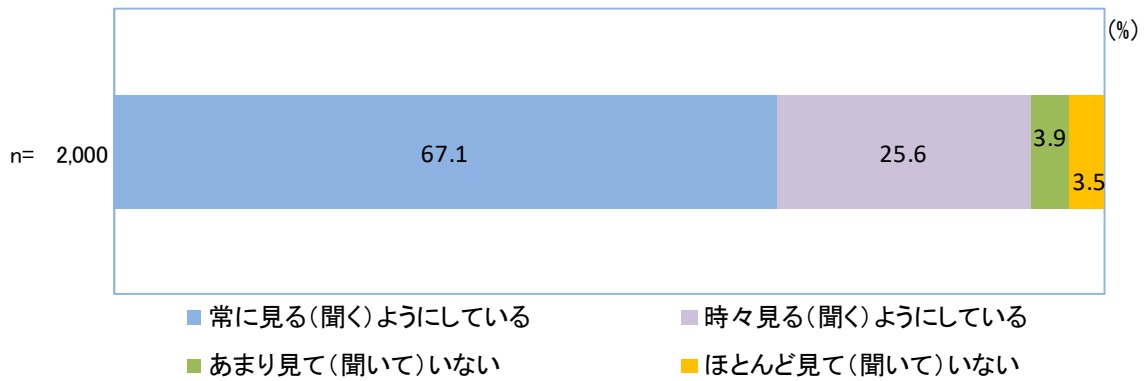
年代別にみると、若年層ほど、「自宅が全壊した」、「自宅が半壊した、又は床上浸水の被害に遭った」、「自宅が一部損壊した、または床下浸水の被害に遭った」、「自宅や資産の被害はなかったが、停電や交通機関の支障などで生活に影響があった」を合わせた台風や洪水の被害経験のある方が高くなっている。

地方予報区別にみると、北海道地方、近畿地方では「自宅が全壊した」、「自宅が半壊した、又は床上浸水の被害に遭った」、「自宅が一部損壊した、または床下浸水の被害に遭った」、「自宅や資産の被害はなかったが、停電や交通機関の支障などで生活に影響があった」を合わせた台風や洪水の被害経験のある方が、他地方予報区に比べ、高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

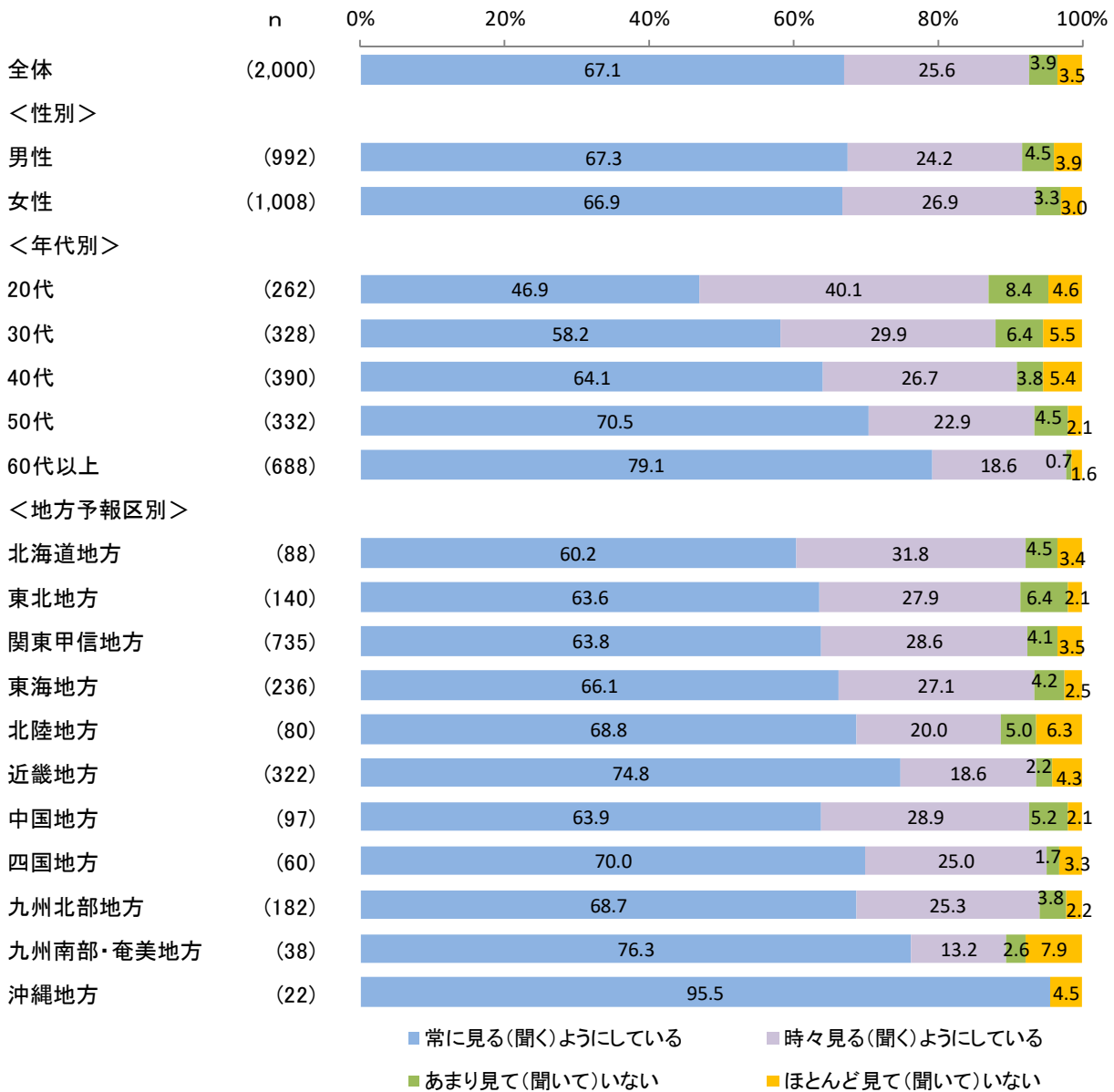
(2) 気象情報の入手状況

Q4. 台風が来たとき、大雨注意報や大雨警報、台風情報をテレビやホームページなどで見る（聞く）ようにしていますか。（○はひとつ）



台風が来たときの気象情報の入手状況について、「常に見る（聞く）ようにしている」が7割弱、「時々見る（聞く）ようにしている」が2割台半ばとなり、合わせた台風情報を見聞きしている方は9割強となっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向が見られる。

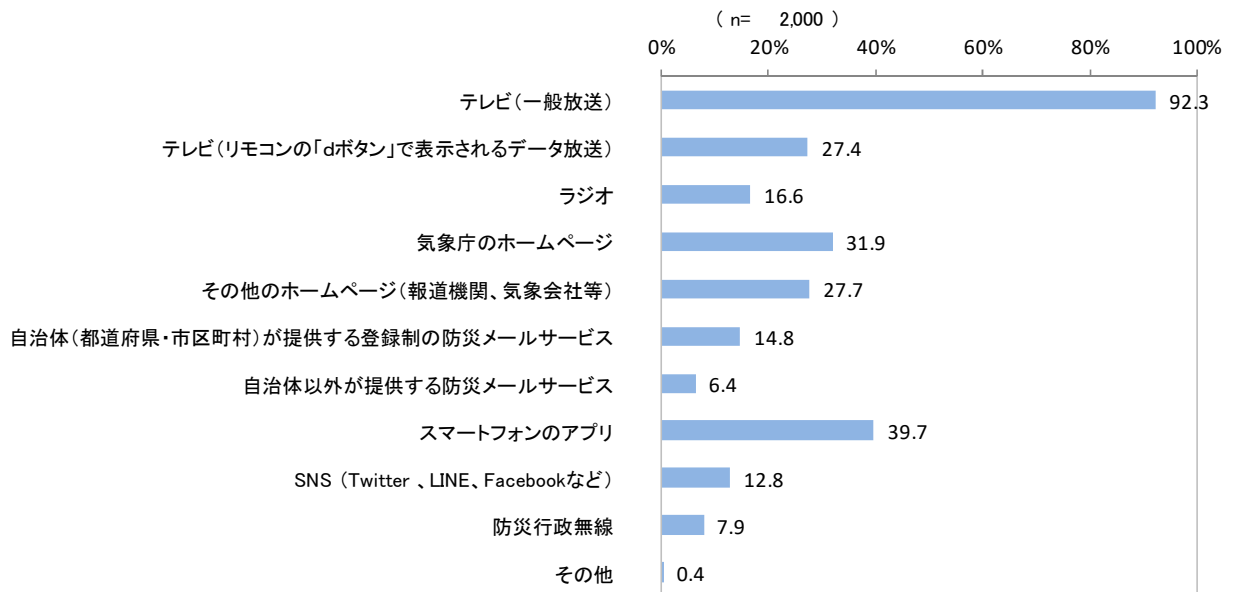
年代別にみると、高齢層ほど、「常に見る(聞く)ようにしている」、「時々見る(聞く)ようにしている」を合わせた台風情報を見聞きしている方が高くなっている。

地方予報区別にみると、近畿地方、九州南部・奄美地方では「常に見る(聞く)ようにしている」が7割台半ばと、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

(3) 気象情報の入手手段

Q5. 大雨注意報や大雨警報、台風情報は何かから見た（聞いた）ことがありますか。（〇はいくつでも）



気象情報の入手手段について、「テレビ（一般放送）」が9割強と多数を占め、次いで「スマートフォンのアプリ」が4割弱となっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

		n	テレビ（一般放送）	テレビ（リモコンの「dボタン」で表示されるデータ放送）	ラジオ	気象庁のホームページ	（報道機関、気象会社等）	その他のホームページ（報道機関、気象会社等）	自治体（都道府県・市区町村）が提供する登録制の防災メールサービス	自治体以外が提供する防災メールサービス	スマートフォンアプリ	SNS（Twitter、LINE、Facebookなど）	防災行政無線	その他
全体		2000	92.3	27.4	16.6	31.9	27.7	14.8	6.4	39.7	12.8	7.9	0.4	
性別	男性	992	90.2	28.7	20.9	35.9	33.9	15.1	6.8	42.6	11.9	7.6	0.5	
	女性	1008	94.3	26.1	12.3	27.9	21.5	14.5	6.0	36.8	13.7	8.1	0.3	
年代別	20代	262	87.8	22.5	11.1	37.8	24.8	13.7	6.1	43.1	36.6	8.0	0.0	
	30代	328	89.3	25.9	14.0	35.4	32.9	13.1	5.8	41.2	19.5	6.4	0.3	
	40代	390	90.3	29.7	13.8	29.0	27.4	13.8	5.1	47.9	13.3	6.4	0.3	
	50代	332	94.0	29.2	19.6	31.9	29.8	14.5	7.5	40.7	8.7	7.5	0.3	
	60代以上	688	95.8	27.8	19.9	29.5	25.3	16.7	6.8	32.6	2.2	9.4	0.7	
地方予報区別	北海道地方	88	93.2	28.4	29.5	29.5	21.6	10.2	2.3	36.4	9.1	3.4	0.0	
	東北地方	140	93.6	32.9	21.4	28.6	21.4	12.1	3.6	40.7	10.0	6.4	0.0	
	関東甲信地方	735	91.0	21.9	14.8	25.9	29.5	10.3	4.6	38.4	12.5	6.4	0.5	
	東海地方	236	91.5	25.0	16.5	34.3	27.1	19.1	7.6	47.0	12.7	9.7	0.8	
	北陸地方	80	98.8	23.8	20.0	30.0	32.5	20.0	7.5	33.8	17.5	11.3	0.0	
	近畿地方	322	91.9	33.2	17.4	37.3	26.1	19.3	9.0	46.3	16.5	6.8	0.3	
	中国地方	97	92.8	27.8	12.4	28.9	19.6	17.5	4.1	25.8	8.2	9.3	0.0	
	四国地方	60	93.3	36.7	10.0	43.3	28.3	16.7	8.3	38.3	11.7	13.3	0.0	
	九州北部地方	182	96.2	34.1	13.7	41.2	28.6	17.0	8.8	35.2	11.5	10.4	0.0	
	九州南部・奄美地方	38	86.8	34.2	13.2	31.6	36.8	13.2	10.5	44.7	13.2	15.8	0.0	
沖縄地方	22	86.4	31.8	31.8	68.2	50.0	36.4	18.2	31.8	18.2	9.1	4.5		

※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、男性では「その他のホームページ（報道機関、気象会社等）」が3割台半ばと、女性に比べ10ポイント以上高くなっている。

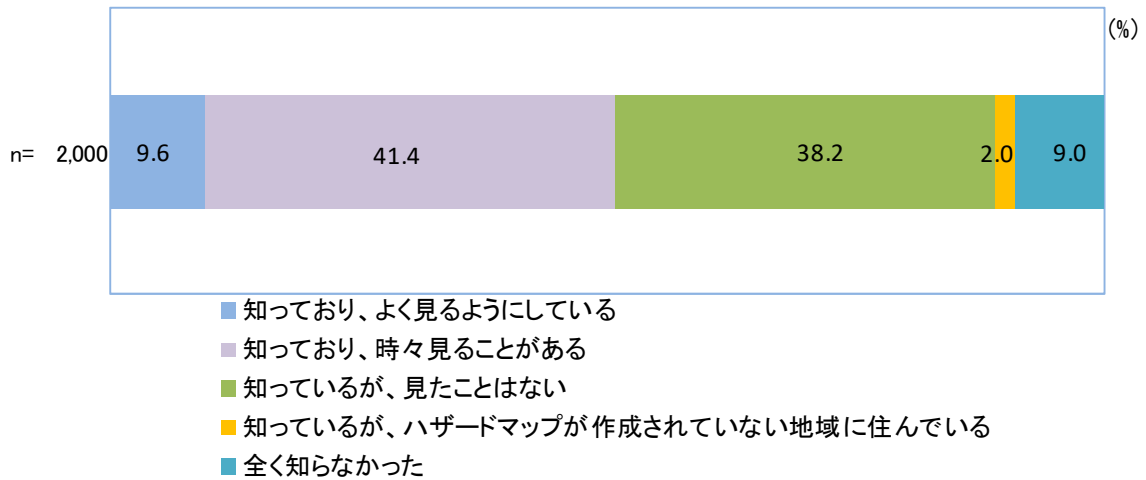
年代別にみると、高齢層ほど、「テレビ（一般放送）」が高くなっている。一方、若年層ほど「SNS（Twitter、LINE、Facebookなど）」の割合が高くなっており、特に20代では3割台半ばと、他年代に比べ高くなっている。

地方予報区別にみると、四国地方、九州北部地方では「気象庁のホームページ」が4割以上と、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

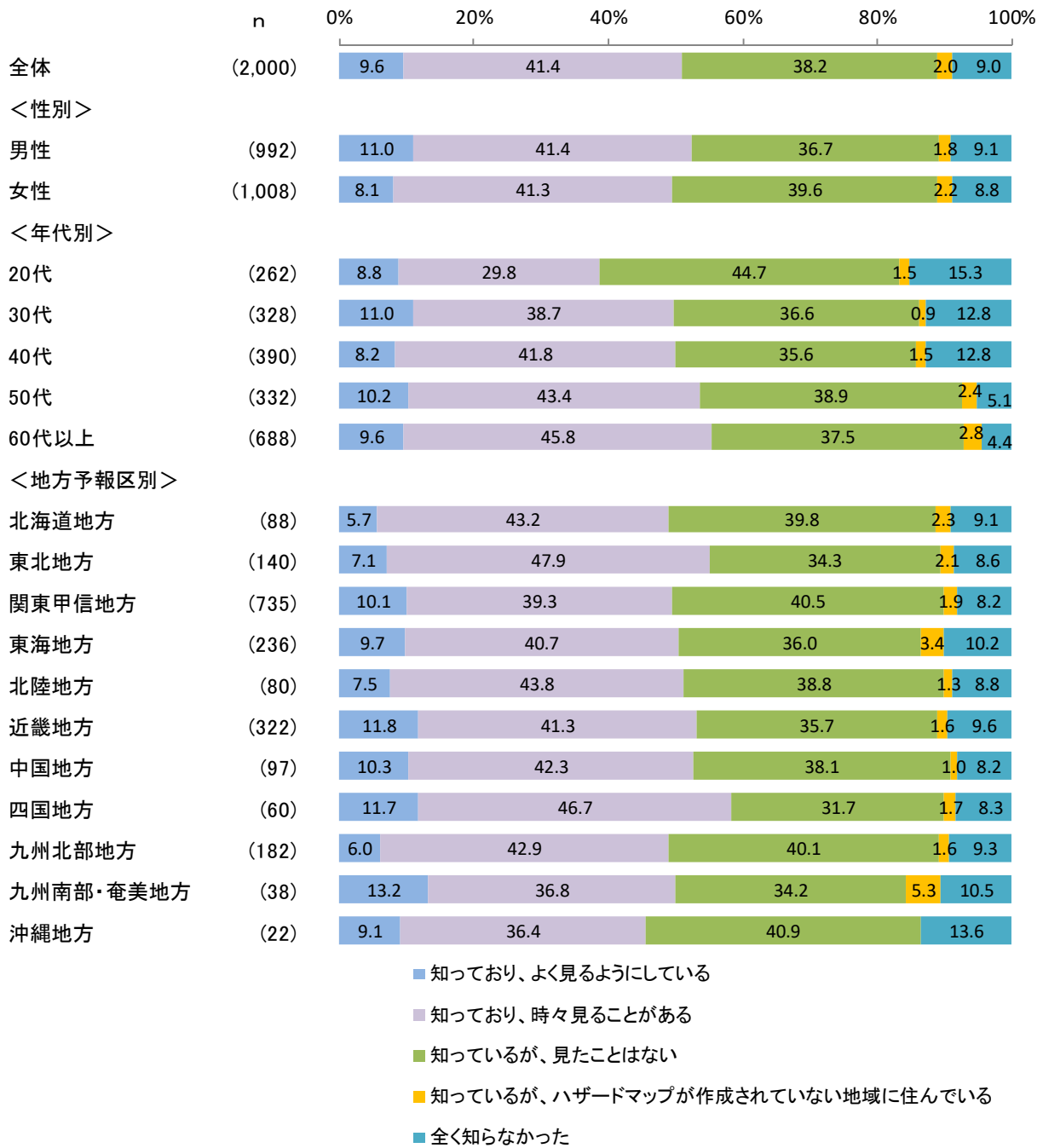
(4) ハザードマップの認知度

Q6. お住まいの地域の近くで、土砂災害や洪水災害の危険性があらかじめ想定される場所を示した地図（以下「ハザードマップ」と呼びます）があることをご存じですか。（〇はひとつ）



ハザードマップの認知度について、「知っており、よく見るようにしている」が1割強、「知っており、時々見ることもある」が4割強となり、合わせたハザードマップを見ている人は5割強となっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

年代別にみると、高齢層ほど、「知っており、よく見るようにしている」、「知っており、時々見ることもある」を合わせたハザードマップを見ている人の割合が高くなっている。

地方予報区別にみると、四国地方では、「知っており、よく見るようにしている」、「知っており、時々見ることもある」を合わせたハザードマップを見ている人が6割弱と、他地方予報区に比べ高くなっている。

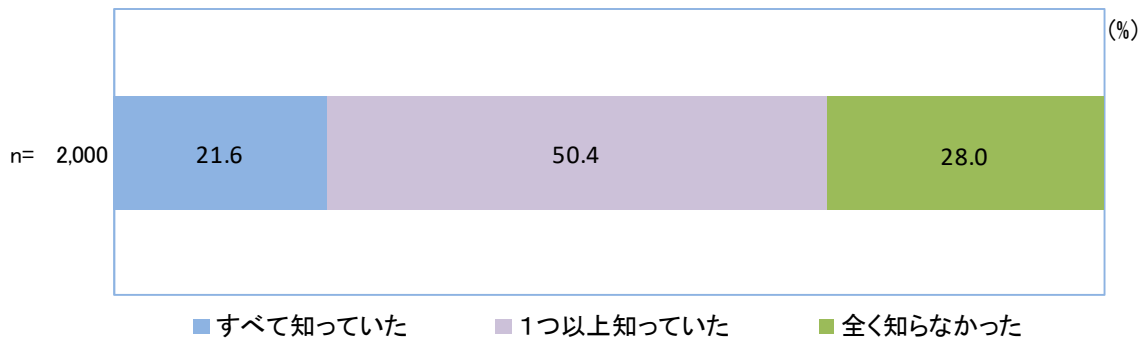
Ⅲ. インターネット調査結果

(5) 避難の必要がある場所の認知度

Q7. 土砂災害や洪水災害の危険度が高まったときに、少なくとも次の場所（※）に居る場合には安全な場所に避難する必要があることをご存じでしたか。（〇はひとつ）

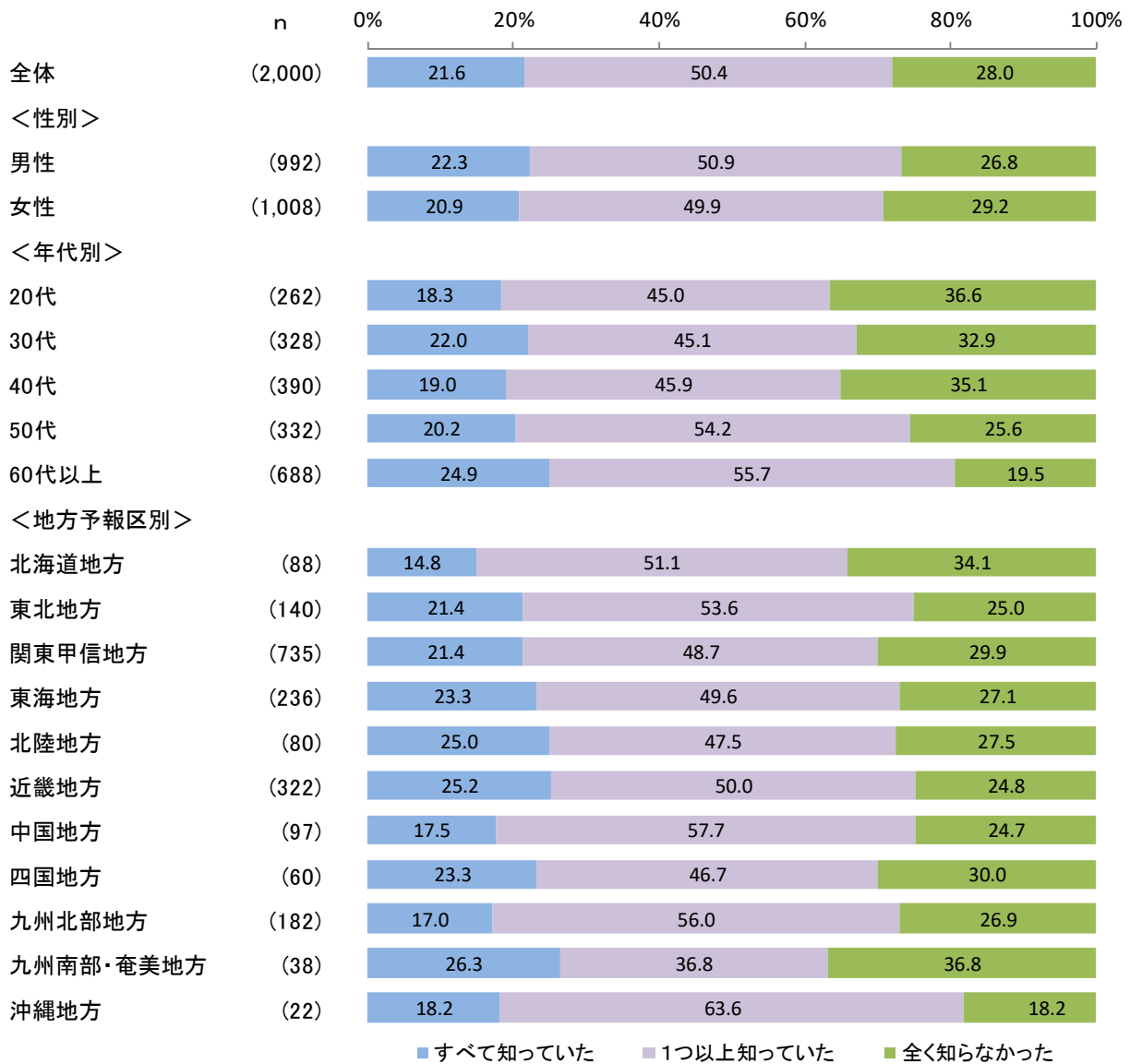
（次の場所※）

- ・ハザードマップに示された土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所
- ・ハザードマップに示された浸水想定区域
- ・山間部の河川沿いの区域



避難の必要がある場所の認知度について、「すべて知っていた」が2割強、「1つ以上知っていた」が約5割となり、合わせた避難の必要がある場所を知っている方は7割強となっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、全体と同様に傾向の傾向が見られる。

年代別にみると、40代をのぞき、概ね高齢層ほど「すべて知っていた」、「1つ以上知っていた」を合わせた避難の必要がある場所を知っている方が高くなっており、60代以上では8割以上となっている。

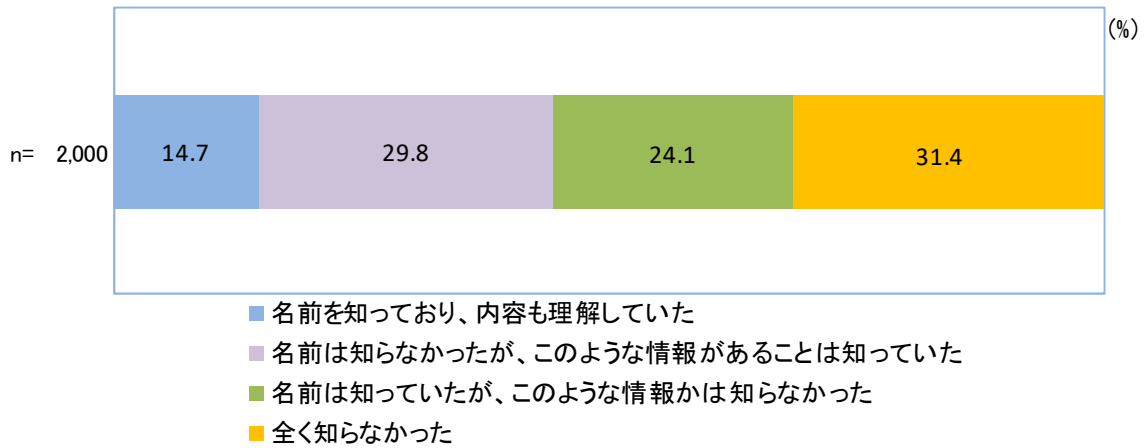
地方予報区別にみると、北海道地方、沖縄地方では「全く知らなかった」が3割台半ばと、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

3. 危険度分布

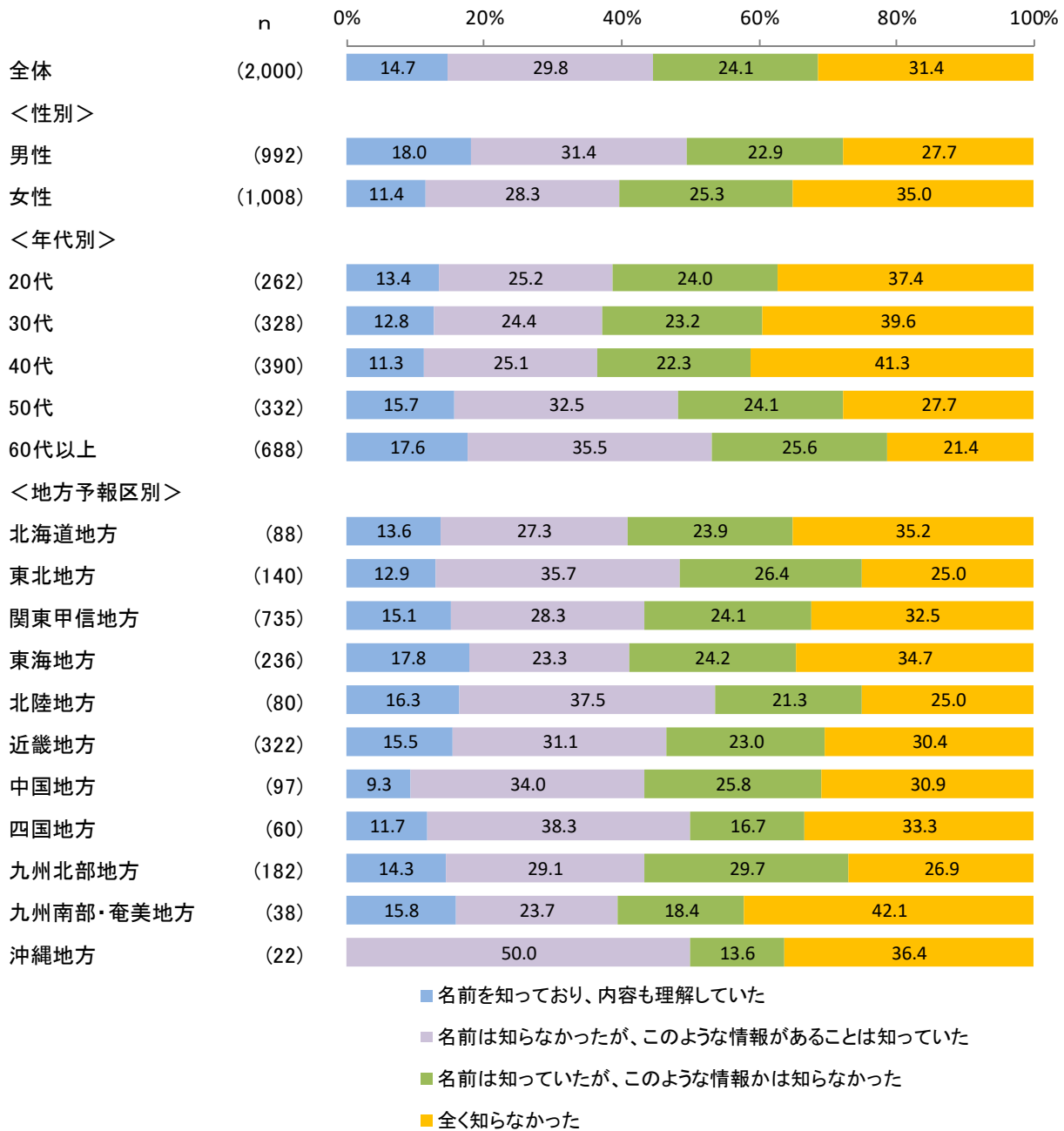
(1) 認知度

Q8. あなたは、「危険度分布」をご存じでしたか。(〇はひとつ)



「危険度分布」の認知度について、「名前を知っており、内容も理解していた」が1割台半ば、「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」が3割弱、「名前は知っていたが、このような情報かは知らなかった」が2割台半ばとなり、合わせた「危険度分布」を知っている方は7割弱となっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、男性では「名前を知っており、内容も理解していた」、「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」、「名前は知っていたが、このような情報かは知らなかった」を合わせた「危険度分布」を知っている方が7割強と、女性に比べ5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、50代以上では「名前を知っており、内容も理解していた」、「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」、「名前は知っていたが、このような情報かは知らなかった」を合わせ「危険度分布」を知っている方が7割以上と、他年代に比べ高くなっている。

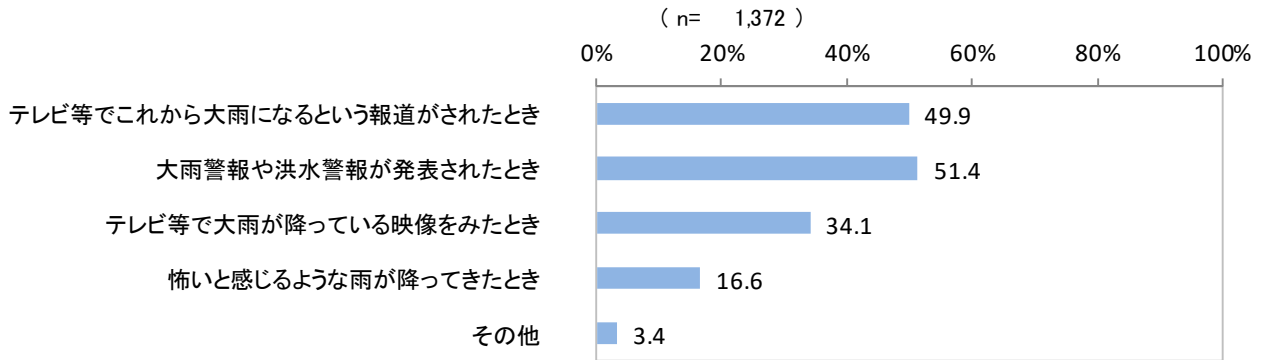
地方予報区別にみると、東北地方、北陸地方、九州北部地方では「名前を知っており、内容も理解していた」、「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」、「名前は知っていたが、このような情報かは知らなかった」を合わせ「危険度分布」を知っている方が7割台半ばと、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

(2) 入手したときの状況

Q9. あなたが「危険度分布」を見た(聞いた)のは、どんなときでしたか。(〇はいくつでも)

n=1,372 : ベース=「危険度分布」を知っていた人(Q8で「名前を知っており、内容も理解していた」「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」「名前は知っていたが、このような情報は知らなかった」のいずれかを回答)



「危険度分布」を入手したときの状況について、「大雨警報や洪水警報が発表されたとき」、「テレビ等でこれから大雨になるという報道がされたとき」がともに5割前後となっている。

		n	テレビ等 になると いう報道 がされ たとき	大雨警報 や洪水警 報が 発表され たとき	テレビ等 で大雨が 降って いる映像 をみた とき	怖いと 感じる ような 雨が 降って きた とき	その他
全体		1372	49.9	51.4	34.1	16.6	3.4
性別	男性	717	49.5	50.1	34.3	15.1	2.6
	女性	655	50.2	52.8	33.9	18.3	4.1
年代別	20代	164	48.8	57.3	31.1	18.3	3.7
	30代	198	46.0	54.0	34.8	19.7	3.5
	40代	229	52.0	48.5	32.3	14.4	3.5
	50代	240	50.0	44.6	31.3	18.8	1.3
	60代以上	541	50.6	52.9	36.8	15.0	4.1
地方予報 区別	北海道地方	57	52.6	64.9	35.1	10.5	3.5
	東北地方	105	50.5	60.0	33.3	10.5	1.0
	関東甲信地方	496	50.0	46.0	32.7	15.3	4.4
	東海地方	154	49.4	50.0	36.4	21.4	3.9
	北陸地方	60	60.0	53.3	33.3	20.0	1.7
	近畿地方	224	52.7	49.6	37.1	17.9	1.3
	中国地方	67	37.3	59.7	31.3	17.9	4.5
	四国地方	40	45.0	60.0	40.0	22.5	2.5
	九州北部地方	133	49.6	53.4	36.1	17.3	4.5
	九州南部・奄美地方	22	31.8	68.2	22.7	13.6	0.0
沖縄地方	14	50.0	50.0	14.3	21.4	7.1	

※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

年代別にみると、20代では「大雨警報や洪水警報が発表されたとき」が6割弱と、他年代に比べ高くなっている。

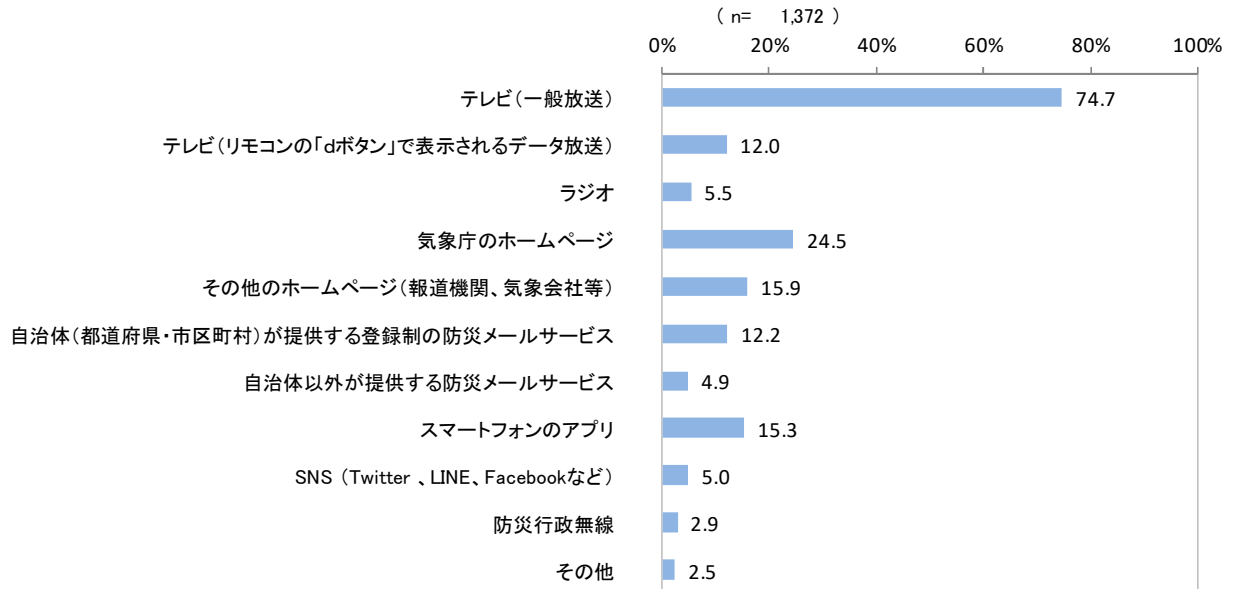
地方予報区別にみると、北海道地方、東北地方、中国地方、四国地方では「大雨警報や洪水警報が発表されたとき」が6割前後と、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

(3) 入手手段

Q10. 「危険度分布」は何から見た（聞いた）ことがありますか。（〇はいくつでも）

n=1,372：ベース=「危険度分布」を知っていた人（Q8で「名前を知っており、内容も理解していた」「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」「名前は知っていたが、このような情報は知らなかった」のいずれかを回答）



「危険度分布」の入手手段について、「テレビ（一般放送）」が7割台半ばと多数を占め、次いで「気象庁のホームページ」が2割台半ばとなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

		n	テレビ（一般放送）	テレビ（リモコンの「dボタン」で表示されるデータ放送）	ラジオ	気象庁のホームページ	（報道機関、気象会社等）	その他のホームページ（報道機関、気象会社等）	自治体（都道府県・市区町村）が提供する登録制の防災メールサービスの	自治体以外が提供する防災メールサービス	スマートフォンアプリ	SNS（Twitter、LINE、Facebookなど）	防災行政無線	その他
全体		1372	74.7	12.0	5.5	24.5	15.9	12.2	4.9	15.3	5.0	2.9	2.5	
性別	男性	717	72.2	11.7	6.4	28.7	17.3	11.6	4.7	15.3	5.3	2.5	2.1	
	女性	655	77.4	12.2	4.6	19.8	14.4	13.0	5.0	15.3	4.6	3.4	2.9	
年代別	20代	164	74.4	12.2	4.3	28.0	13.4	8.5	4.9	15.2	12.2	1.2	3.0	
	30代	198	74.7	11.1	7.6	26.8	19.7	10.1	5.1	15.7	10.6	1.5	2.5	
	40代	229	70.7	10.9	4.4	23.6	15.7	7.9	2.2	19.2	6.1	3.1	3.1	
	50代	240	75.0	12.9	3.8	21.7	20.0	11.7	5.0	16.3	2.9	3.3	1.3	
	60代以上	541	76.3	12.2	6.5	24.2	13.5	16.3	5.9	13.1	1.1	3.7	2.6	
地方予報区別	北海道地方	57	84.2	17.5	19.3	21.1	8.8	12.3	5.3	12.3	1.8	3.5	0.0	
	東北地方	105	76.2	12.4	8.6	27.6	10.5	10.5	5.7	8.6	3.8	2.9	0.0	
	関東甲信地方	496	74.4	9.1	4.0	22.0	15.1	10.5	4.2	14.5	5.4	2.8	3.8	
	東海地方	154	72.1	9.1	4.5	27.9	17.5	14.3	5.2	18.8	7.8	2.6	3.2	
	北陸地方	60	80.0	13.3	5.0	26.7	21.7	16.7	8.3	16.7	13.3	5.0	3.3	
	近畿地方	224	75.4	16.5	5.4	24.6	13.4	12.9	3.1	20.5	4.0	2.7	0.4	
	中国地方	67	73.1	6.0	6.0	26.9	13.4	14.9	3.0	9.0	0.0	0.0	6.0	
	四国地方	40	67.5	20.0	0.0	30.0	27.5	15.0	7.5	12.5	0.0	2.5	2.5	
	九州北部地方	133	75.2	13.5	4.5	24.1	19.5	11.3	6.8	16.5	3.0	3.8	0.8	
	九州南部・奄美地方	22	72.7	22.7	13.6	22.7	27.3	9.1	9.1	9.1	4.5	4.5	4.5	
沖縄地方	14	57.1	14.3	7.1	35.7	35.7	28.6	7.1	14.3	14.3	7.1	0.0		

※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、男性では「気象庁のホームページ」が女性よりも5ポイント以上高くなっている。一方、女性では「テレビ（一般放送）」が男性よりも5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、若年層ほど、「SNS（Twitter、LINE、Facebookなど）」が高くなっている。一方、高齢層ほど「自治体（都道府県・市区町村）が提供する登録制の防災メールサービス」が高くなっている。

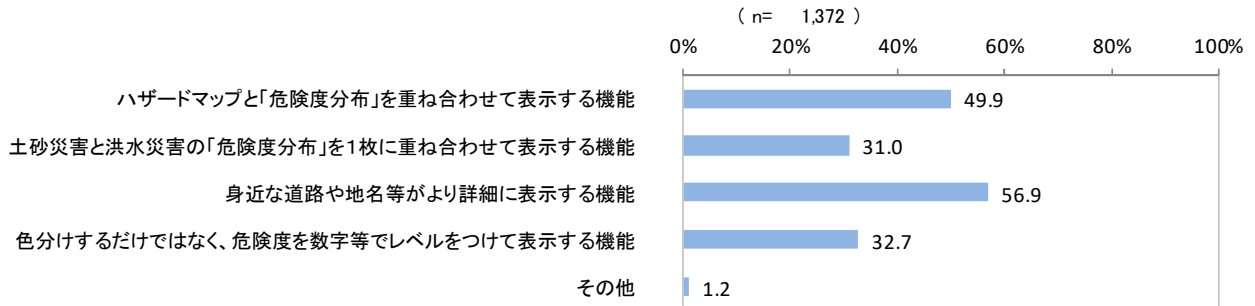
地方予報区別にみると、北海道地方、北陸地方では「テレビ（一般放送）」が8割以上、また、北海道地方では「ラジオ」が2割弱と、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

(4) 追加機能の要望

Q11. 「危険度分布」は、上記の機能のほかに、どのような機能を追加するとより使いやすくなると思いますか。
(〇はいくつでも)

n=1,372 : ベース=「危険度分布」を知っていた人 (Q8で「名前を知っており、内容も理解していた」「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」「名前は知っていたが、このような情報は知らなかった」のいずれかを回答)



「危険度分布」の追加機能の要望について、「身近な道路や地名等がより詳細に表示する機能」が5割台半ば、次いで「ハザードマップと「危険度分布」を重ね合わせて表示する機能」が5割弱となっている。

		n	「危険度分布」を重ね合わせて表示する機能	「ハザードマップと「危険度分布」を重ね合わせて表示する機能	「土砂災害と洪水災害の「危険度分布」を1枚に重ね合わせる機能	「身近な道路や地名等がより詳細に表示する機能	「色分けするだけでなく、危険度を数字等でレベルをつけて表示する機能	その他
全体		1372	49.9	31.0	56.9	32.7	1.2	
性別	男性	717	51.5	33.2	52.3	29.1	1.1	
	女性	655	48.2	28.5	61.8	36.5	1.4	
年代別	20代	164	57.9	32.3	54.3	33.5	1.2	
	30代	198	57.1	30.8	53.0	36.4	2.0	
	40代	229	47.6	32.8	57.2	33.2	1.3	
	50代	240	47.9	27.9	52.9	30.0	0.8	
	60代以上	541	46.8	31.2	60.6	32.0	1.1	
	地方予報区別	北海道地方	57	38.6	35.1	61.4	38.6	0.0
東北地方		105	48.6	29.5	57.1	39.0	1.0	
関東甲信地方		496	53.6	30.8	54.0	28.6	1.2	
東海地方		154	49.4	29.2	53.9	31.8	0.0	
北陸地方		60	58.3	31.7	56.7	30.0	5.0	
近畿地方		224	46.9	28.6	60.3	32.1	0.9	
中国地方		67	46.3	29.9	47.8	25.4	4.5	
四国地方		40	40.0	35.0	67.5	40.0	5.0	
九州北部地方		133	47.4	33.1	61.7	39.1	0.0	
九州南部・奄美地方		22	50.0	40.9	68.2	54.5	0.0	
沖縄地方		14	64.3	42.9	64.3	50.0	0.0	

※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

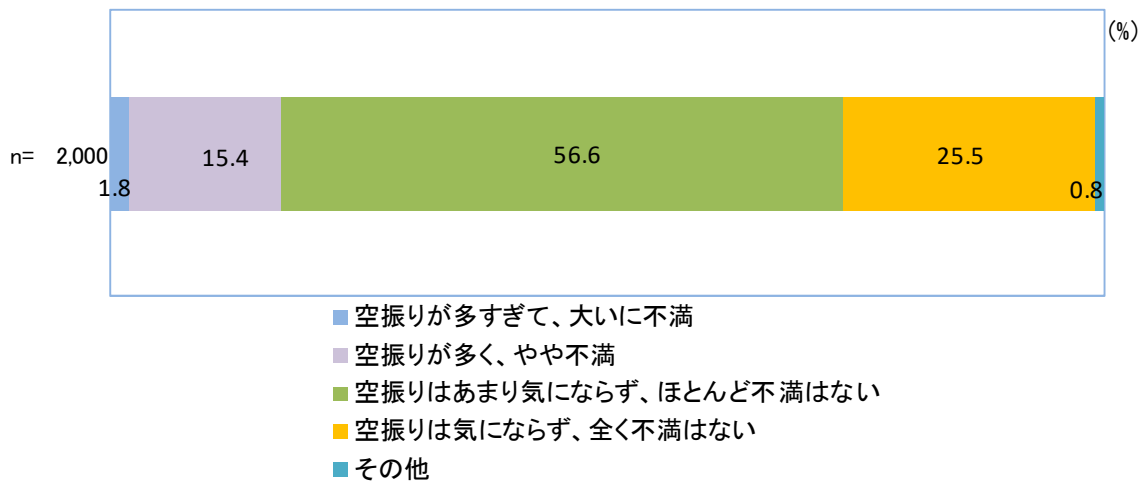
年代別にみると、20代、30代では、「ハザードマップと「危険度分布」を重ね合わせて表示する機能」が6割弱と、他年代に比べ高くなっている。

地方予報区別にみると、北海道地方、東北地方、四国地方、九州北部地方では「色分けするだけでなく、危険度を数字等でレベルをつけて表示する機能」が4割前後と、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

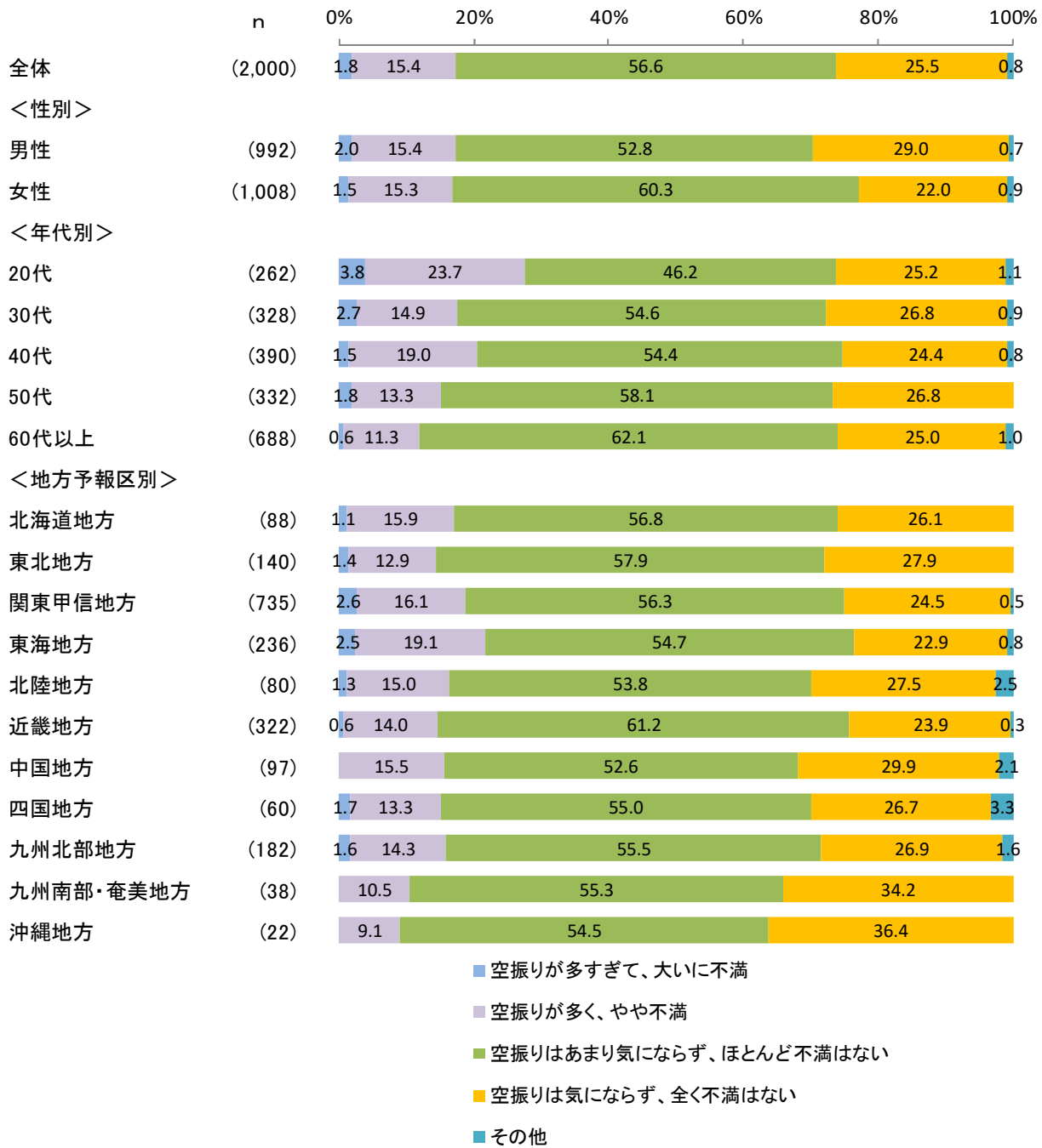
(5) 大雨警報・洪水警報の空振りへの考え

Q12. 大雨警報や洪水警報が発表されても、重大な災害までには至らないこと（空振り）があります。気象庁では昨年（平成 29 年）7 月から「危険度分布」の技術により、警報と災害発生の結びつきを強めて、空振りの回数を大幅に減少させました。最近の大雨警報や洪水警報の空振りについて、あなたはどのように感じていますか。（〇はひとつ）



大雨警報・洪水警報の空振りへの考えについて、「空振りが多すぎて、大いに不満」、「空振りが多く、やや不満」を合わせた大雨警報・洪水警報の空振りに不満がある方は 2 割弱にとどまっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

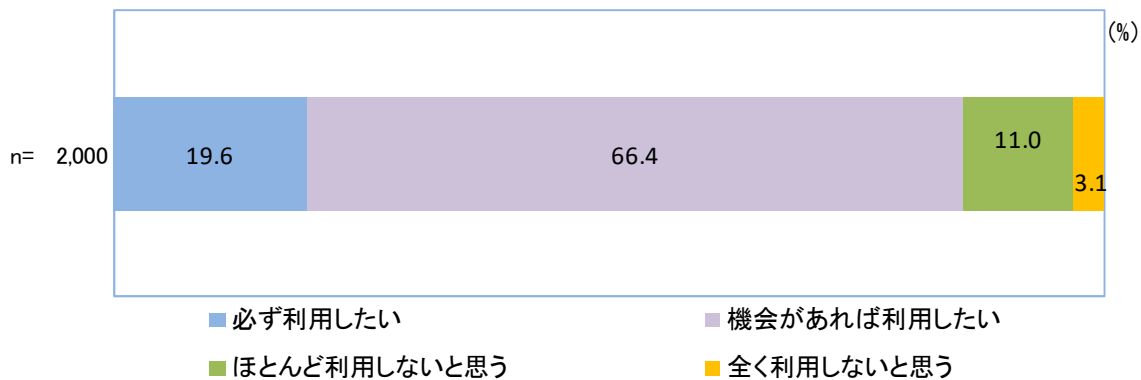
年代別にみると、20代では「空振りが多すぎて、大いに不満」、「空振りが多く、やや不満」を合わせた大雨警報・洪水警報の空振りに不満がある方が3割弱と、他年代に比べ高くなっている。

地方予報区別にみると、東海地方では「空振りが多すぎて、大いに不満」、「空振りが多く、やや不満」を合わせた大雨警報・洪水警報の空振りに不満がある方が2割強と、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

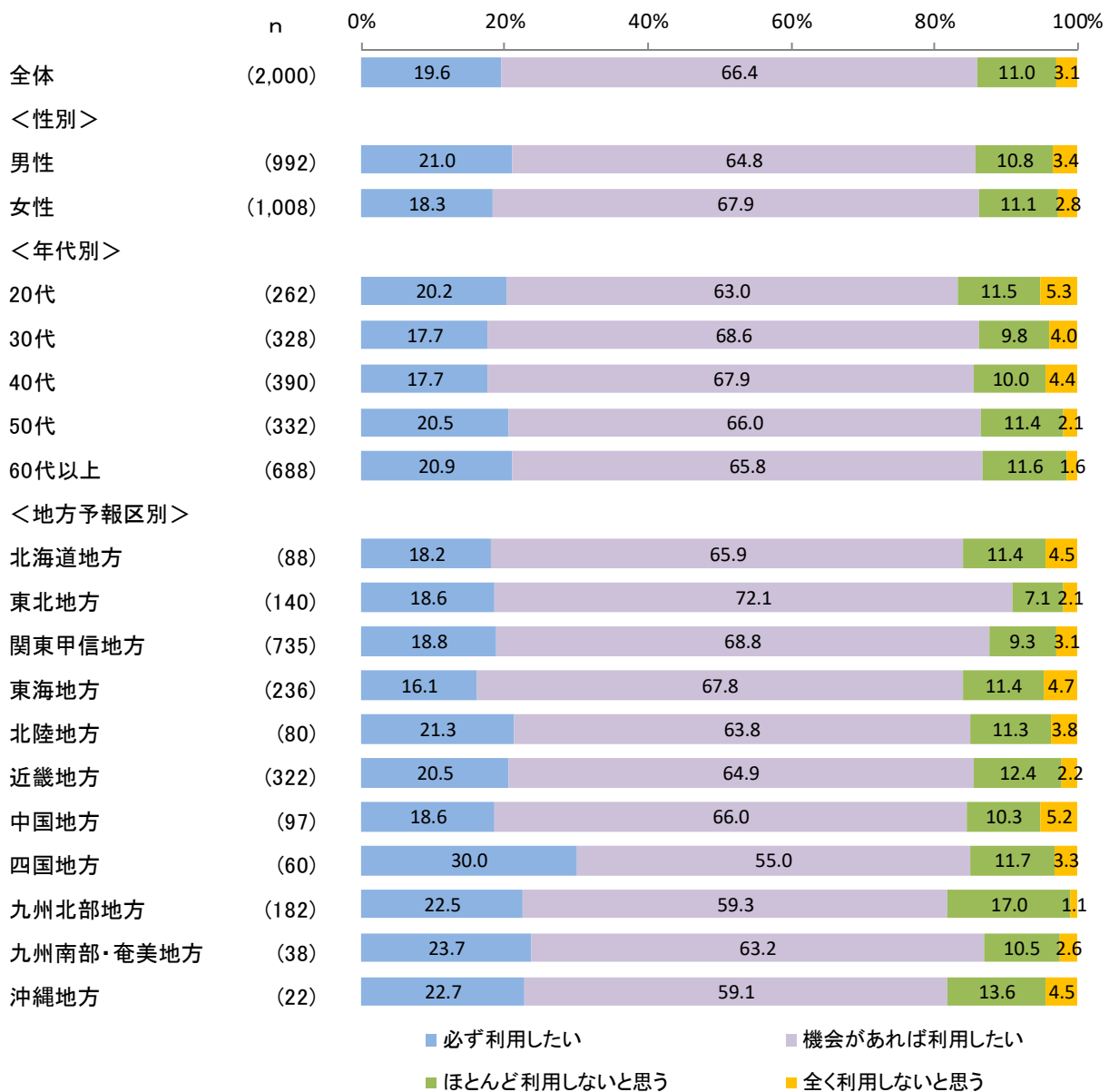
(6) 今後の利用希望

Q13. 「洪水警報の危険度分布」と災害との関係を調べてみたところ、5段階の危険度のうち最も高い「極めて危険」が出現した河川の約7割で、実際に洪水災害が発生していることが分かりました。このような「危険度分布」を今後利用したいと思いますか。(〇はひとつ)



「危険度分布」の今後の利用希望について、「必ず利用したい」が2割弱、「機会があれば利用したい」が6割台半ばとなり、合わせた今後の「危険度分布」の利用希望者は8割台半ばとなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

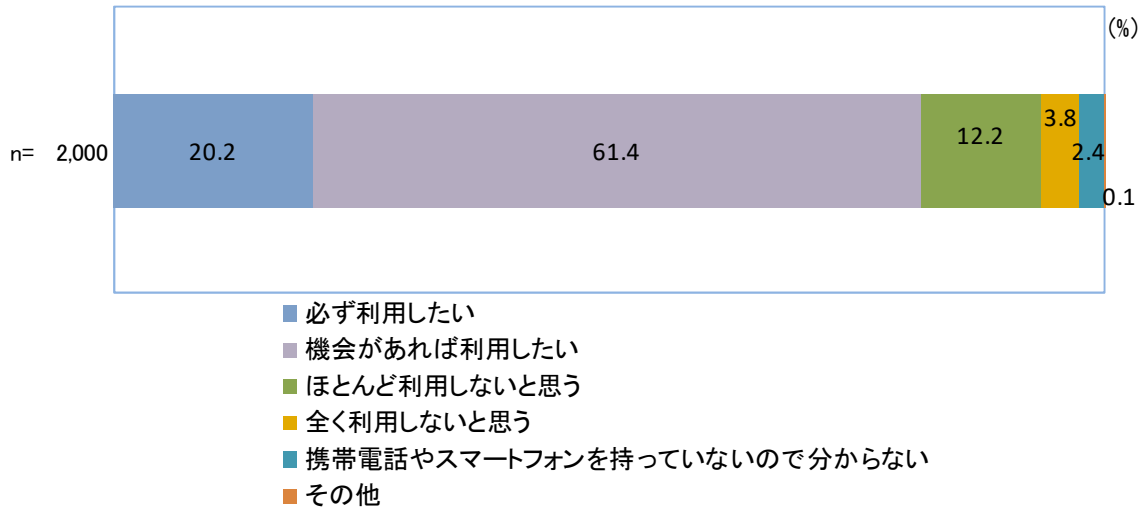
男女別・年代別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

地方予報区別にみると、東北地方では、「必ず利用したい」、「機会があれば利用したい」を合わせた今後の「危険度分布」の利用希望者は9割以上と、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

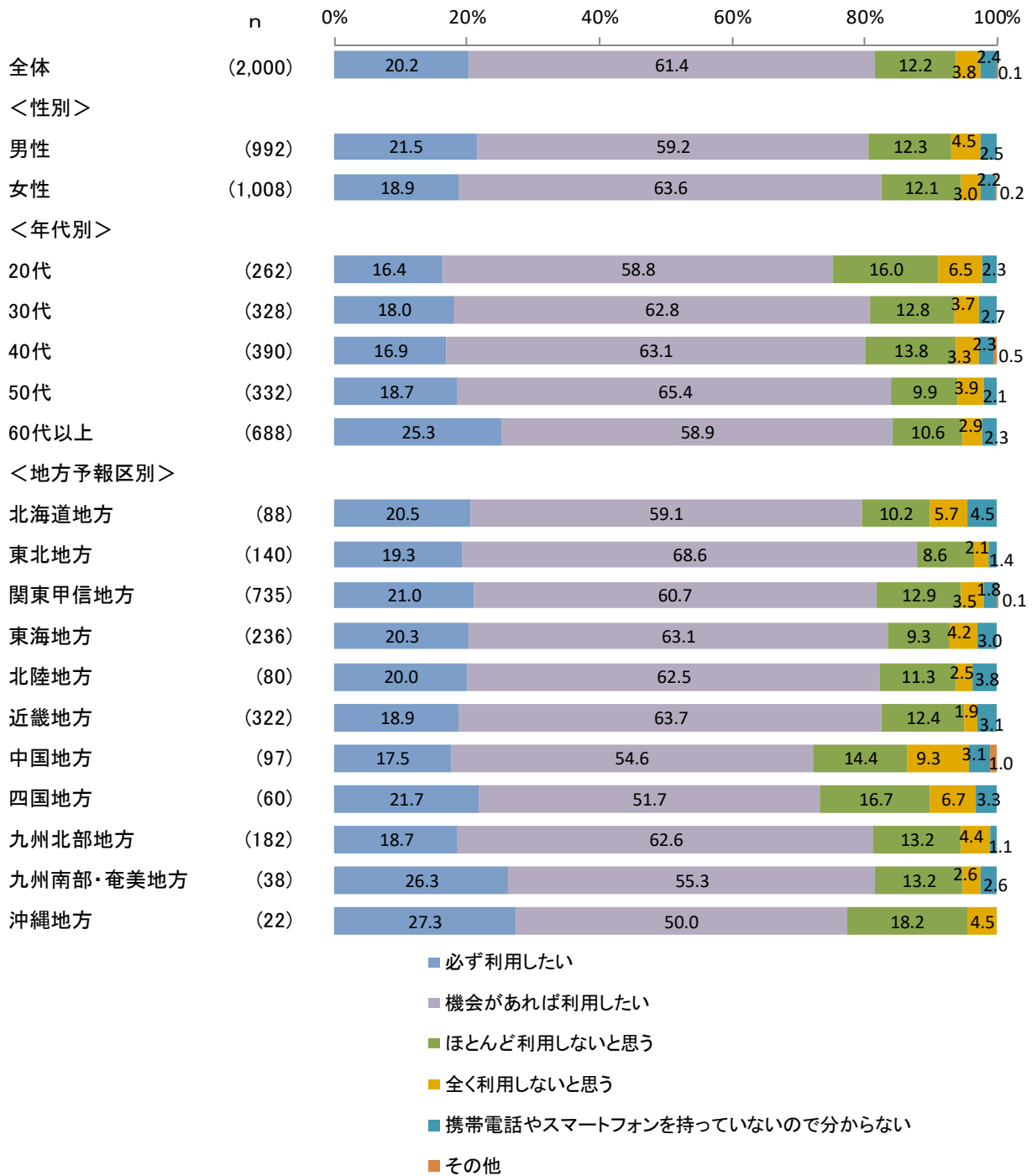
(7) 危険度のプッシュ通知機能の利用希望

Q14. 現状の「危険度分布」は、気象庁ホームページ等で公開されているものを自発的に見ていただく必要があります。
もし、土砂災害や洪水、浸水害の危険度が高まった際にメールやスマートフォンのアプリ等で自動的に通知（音やバイブレーション等）を受けられるサービスがあったら、利用したいと思いますか。（〇はひとつ）



危険度のプッシュ通知機能の利用希望について、「必ず利用したい」が約2割、「機会があれば利用したい」が6割強となり、合わせた危険度のプッシュ通知機能の利用希望者は8割強となっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

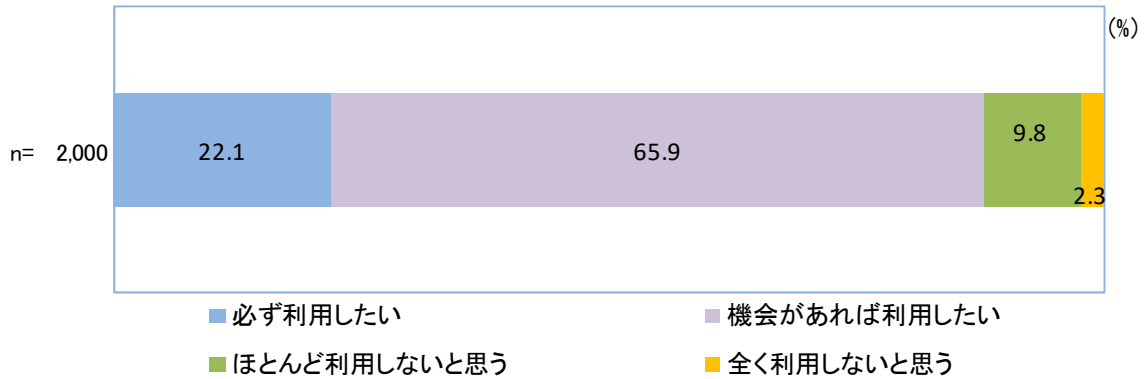
年代別にみると、50 代以上では「必ず利用したい」、「機会があれば利用したい」を合わせた危険度の自動通知機能の利用希望者は8割台半ばと、他年代に比べ高くなっている。

地方予報区別にみると、東北地方では「必ず利用したい」、「機会があれば利用したい」を合わせた危険度の自動通知機能の利用希望者が9割弱と、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

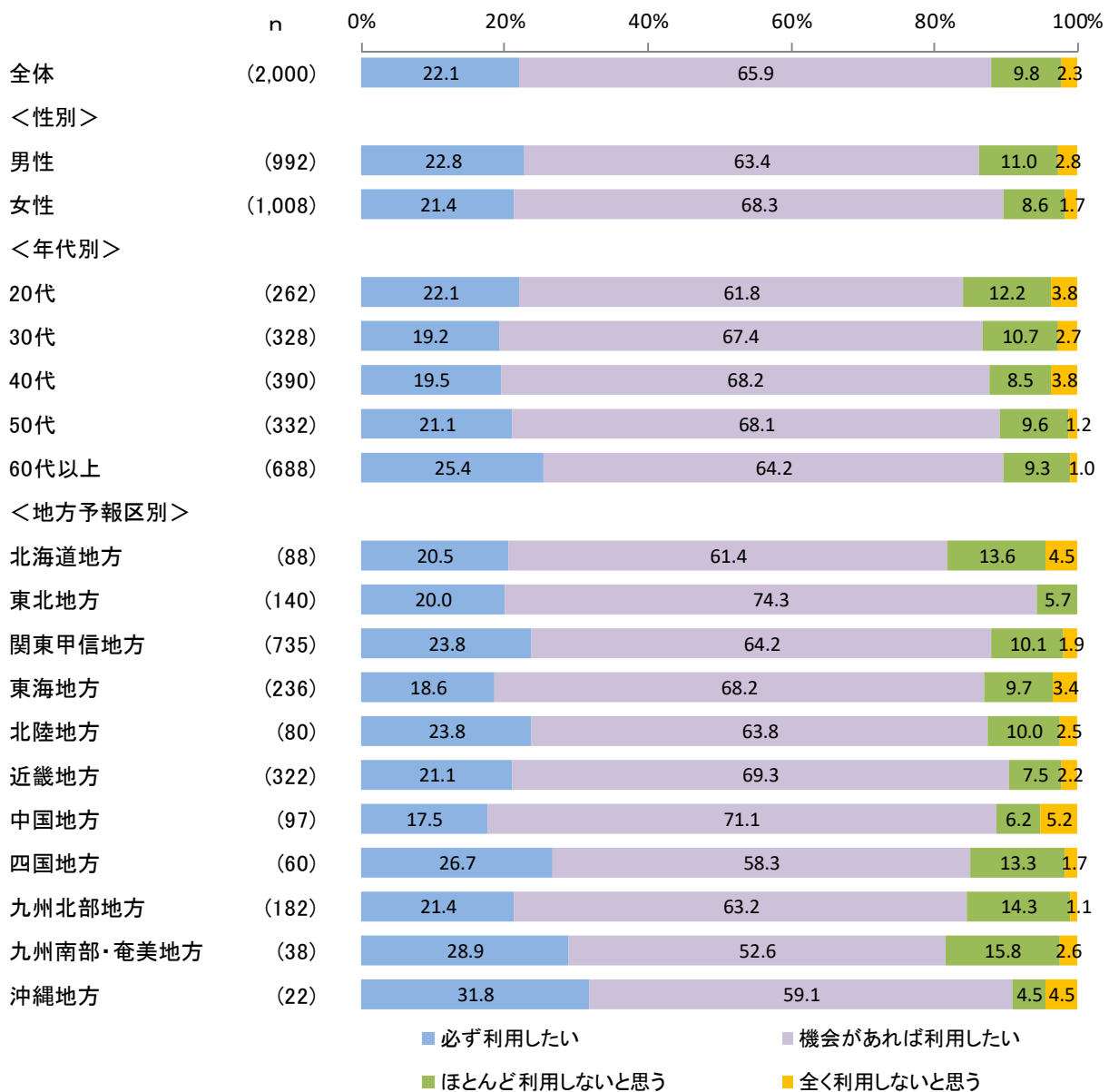
(8) ハザードマップの重ね表示の利用希望

Q15. ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域などに居る場合には、「危険度分布」で危険度が高まったときに、安全な場所に避難する必要があります。
もし、「危険度分布」の地図にハザードマップも重ね合わせて表示させる機能があったら、利用したいと思いますか。(〇はひとつ)



「危険度分布」の地図にハザードマップを重ねて表示する機能について、「必ず利用したい」が2割強、「機会があれば利用したい」が6割台半ばとなり、合わせたハザードマップの重ね表示の利用希望者は9割弱となっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

年代別にみると、高齢層ほど、「必ず利用したい」、「機会があれば利用したい」を合わせたハザードマップの重ね表示の利用希望者の割合が高くなっている。

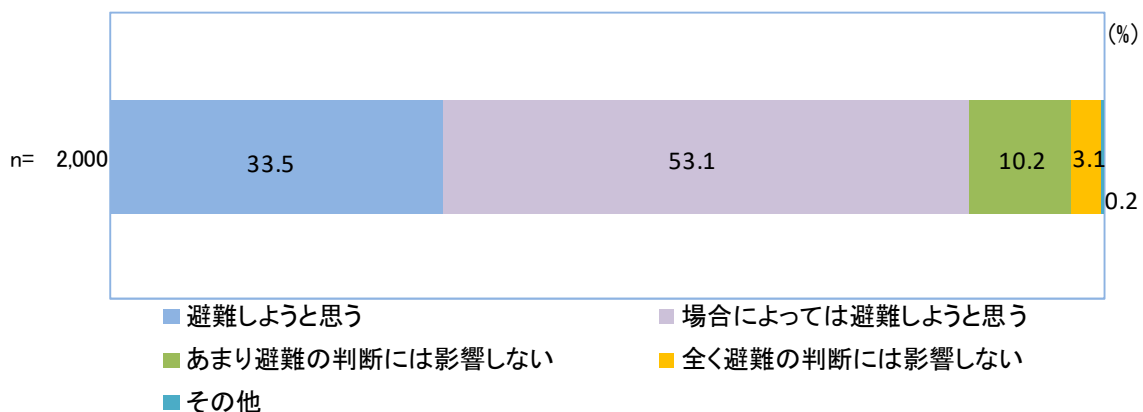
地方予報区別にみると、東北地方では「必ず利用したい」、「機会があれば利用したい」を合わせたハザードマップの重ね表示の利用希望者が9割台半ばと、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

(9) 切迫性のあるキーワードを用いた情報伝達による避難の判断

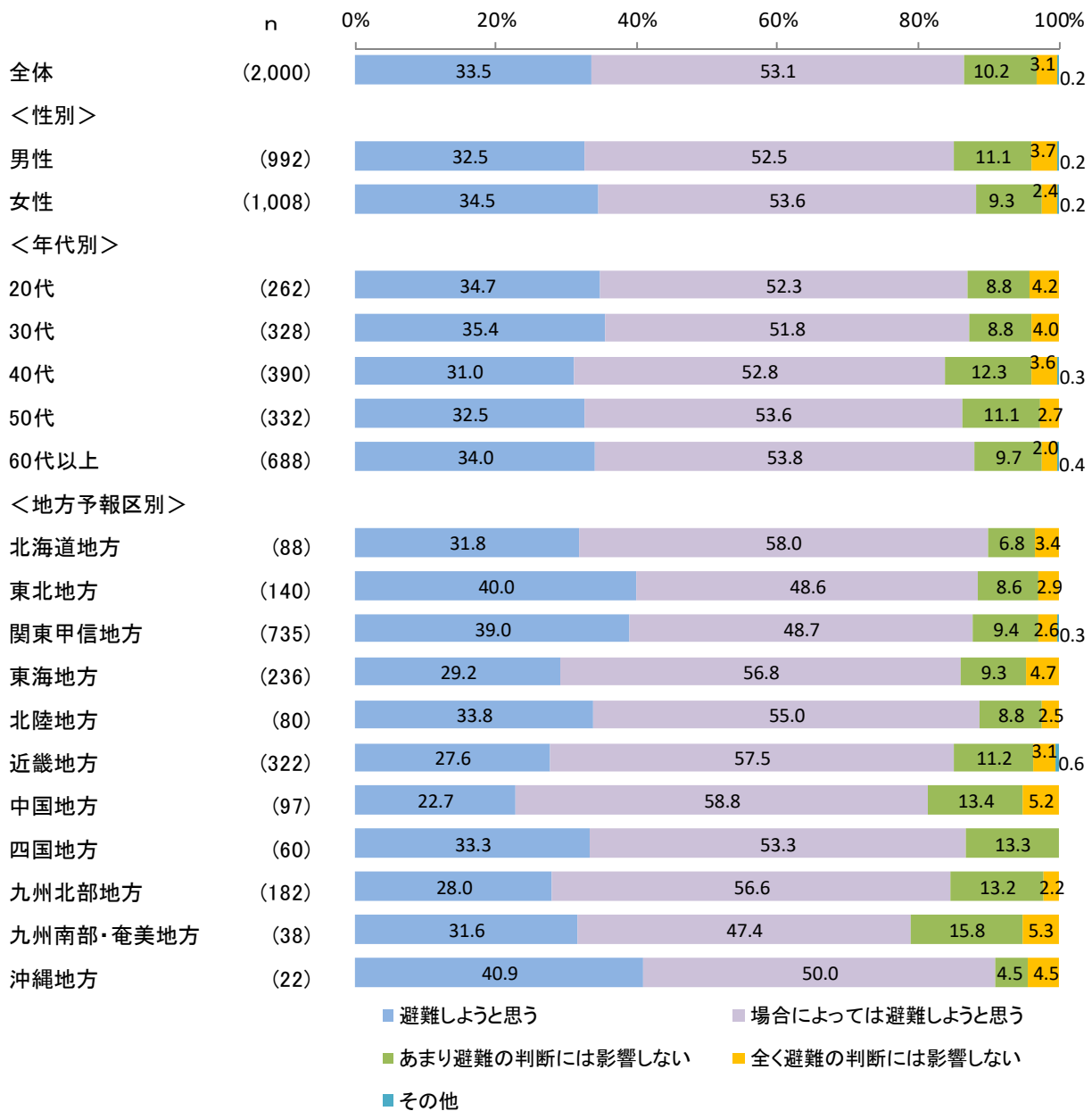
Q16. 5段階で危険度を示す「危険度分布」で、最も高い「極めて危険」(濃い紫)が出現したときには、もはや「命に関わる災害がすでに発生しているもおかしくない状況」となるため、それまでには安全な場所に避難しておくことが大変重要です。

このことを確実に伝えるため、大雨や洪水の危険度が高い方から2番目の「非常に危険」(うす紫)となったとき、気象庁が、より切迫性の伝わるキーワード(例えば「命に関わる災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況です」など)を用いた場合、従来より避難しようと思いませんか。(〇はひとつ)



気象庁より切迫性のあるキーワードを用いた情報伝達による避難の判断について、「避難しようと思う」が3割台半ば、「場合によっては避難しようと思う」が5割台半ばとなり、合わせた切迫性のあるキーワードを用いた情報伝達によって避難しようと思う方は8割台半ばとなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

男女別・年代別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

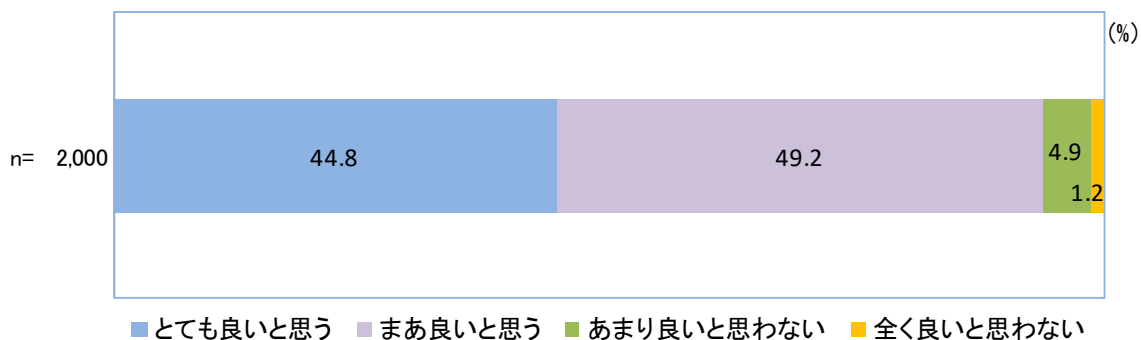
地方予報区別にみると、東北地方、関東甲信地方では「避難しようと思う」が約4割と、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

(10) 気象情報発表時の数字や色での割振り

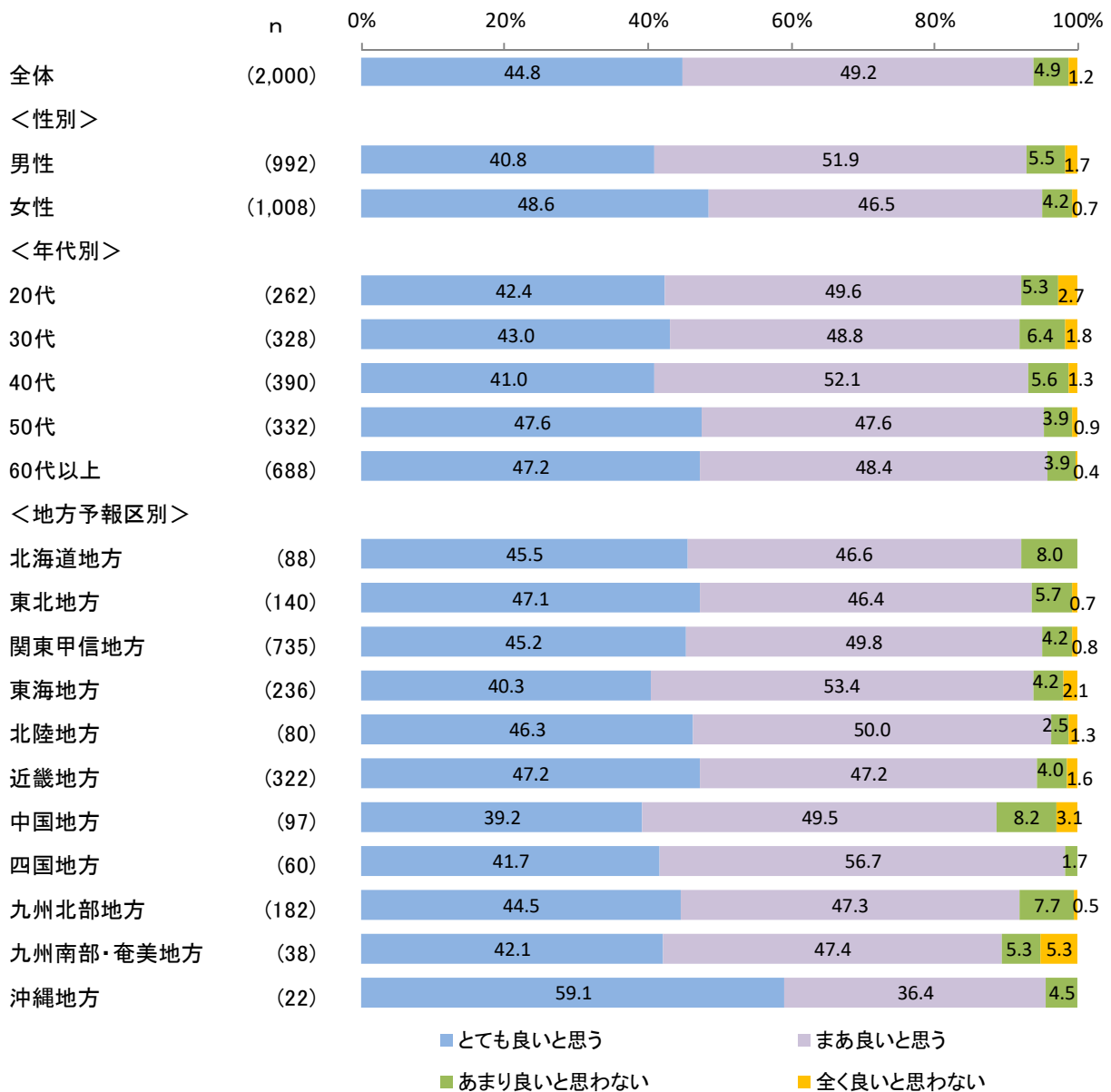
Q17. 気象庁が大雨注意報や大雨警報を発表する際、危険度の大小関係が一目で分かるよう、例えば次のように「数字」や「色」を割り振ることは良いと思いますか。(〇はひとつ)

- レベル2 : 大雨注意報 (黄色)
- レベル3 : 大雨警報 (赤)
- レベル4 : 土砂災害警戒情報 (うす紫)



気象情報発表時の数字や色での割振りについて、「とても良いと思う」が4割台半ば、「まあ良いと思う」が5割弱となり、合わせた気象情報発表時の数字や色での割振りが良いと思う方は9割台半ばとなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29 以下は参考値

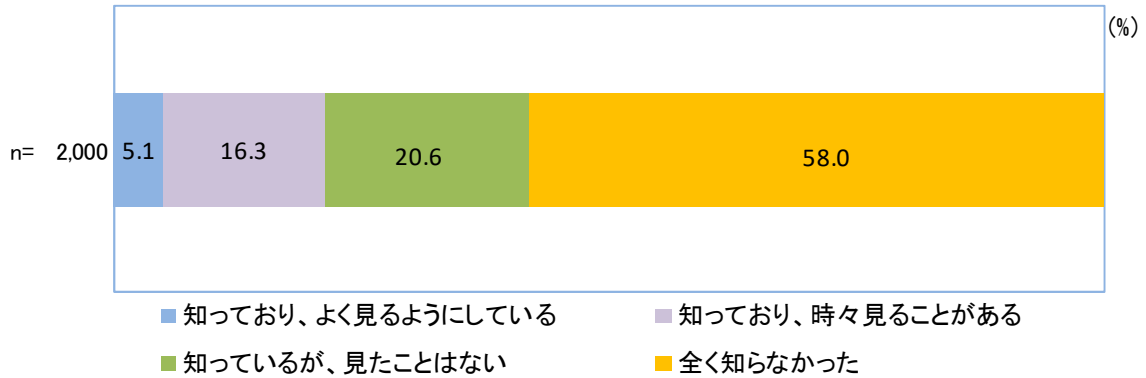
男女別にみると、女性では「とても良いと思う」が5割弱と、男性に比べ5ポイント以上高くなっている。
 年代別にみると、50代以上では「とても良いと思う」が5割弱と、他年代に比べ高くなっている。
 地方予報区別にみると、北海道地方、東北地方、関東甲信地方、北陸地方、近畿地方、九州北部地方では「とても良いと思う」が4割台半ばと、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

4. 注意報・警報の新たな表示

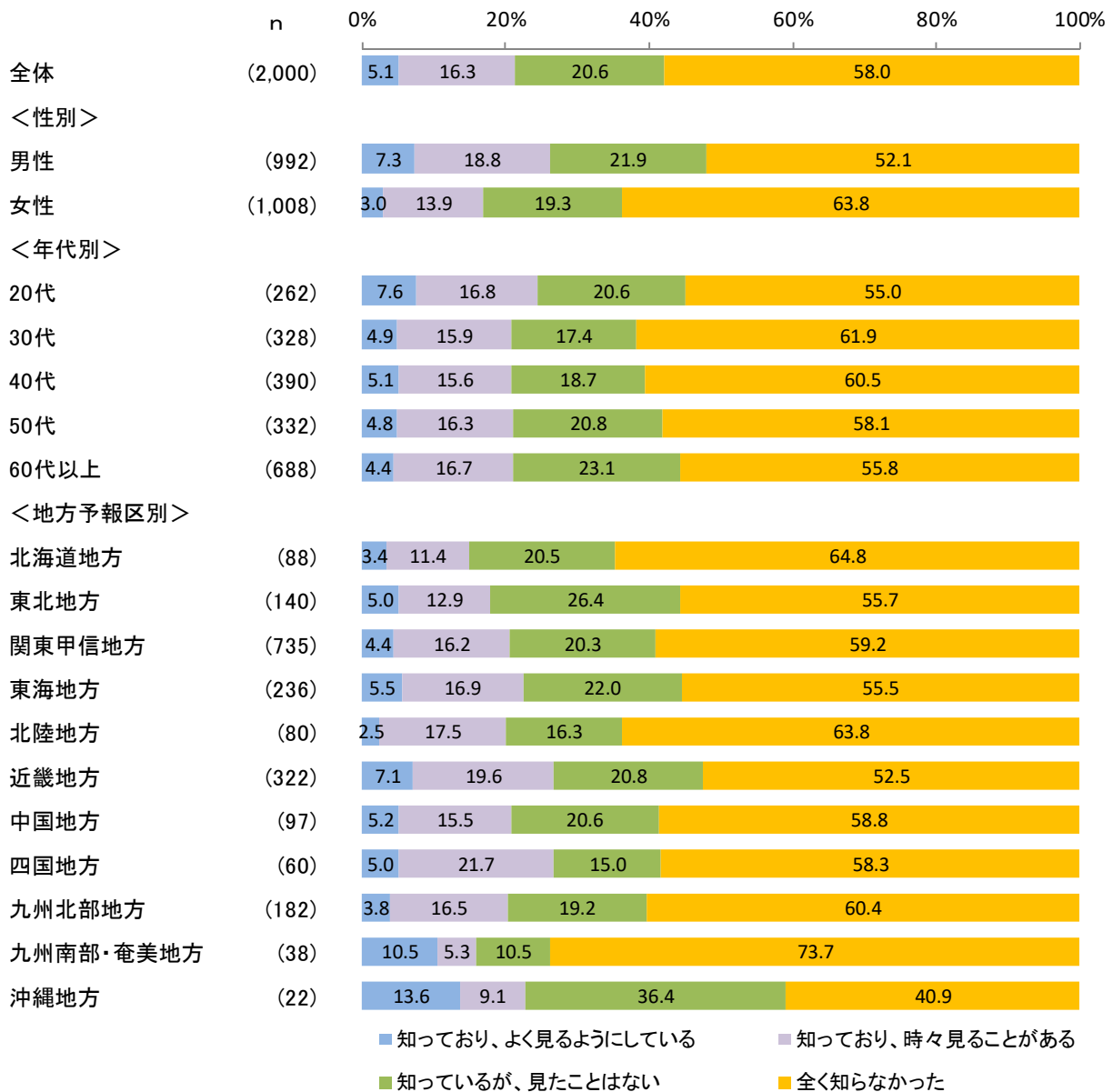
(1) 注意報・警報の表示形式の認知度

Q18. 気象庁では、注意報・警報を危険度が高まる時間帯を色分けして発表するようになりました。この情報は気象庁ホームページで、どなたでも見る您可以通过ことをご存じでしたか。(〇はひとつ)



注意報・警報の表示形式の認知度について、「知っており、よく見るようにしている」、「知っており、時々見ることもある」を合わせて、注意報・警報の表示形式を見ている方は2割強となっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、男性では、「知っており、よく見るようにしている」、「知っており、時々見ることもある」を合わせた注意報・警報を見ている方が2割台半ばと、女性に比べ10ポイント程度、高くなっている。

年代別にみると、20代、60代以上では、「知っており、よく見るようにしている」、「知っており、時々見ることもある」、「知っているが見たことはない」を合わせた注意報・警報を知っている方が4割台半ばと、他年代に比べ高くなっている。

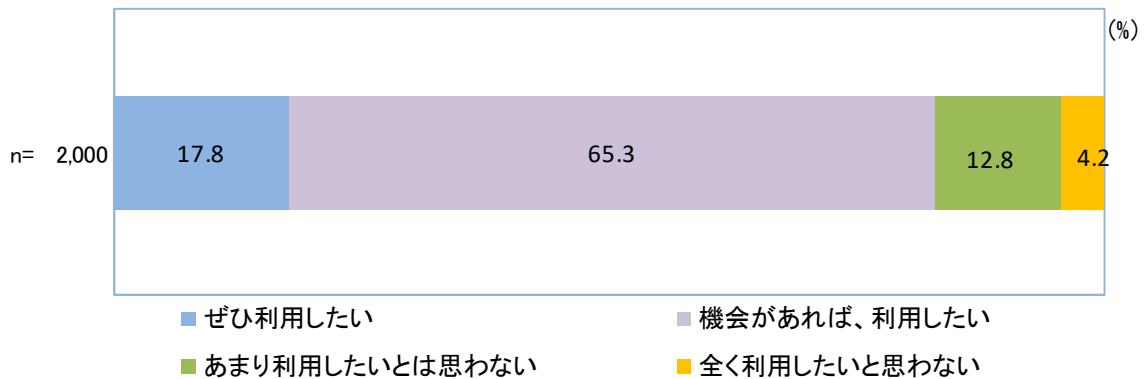
地方予報区別にみると、近畿地方、四国地方では「知っており、よく見るようにしている」、「知っており、時々見ることもある」を合わせた注意報・警報を見ている方が2割台半ばと、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

(2) 危険度を色分けした図の今後の利用希望

Q19. 高潮が発生するような台風の接近時には、潮位（海面の高さ）の上昇より先に暴風が吹き始め、屋外に出るのは命の危険を伴う状況となります。このため、いつ暴風が吹き始めるかをあらかじめ把握し、暴風が吹き始める前に避難することが必要とされています。

このような、暴風や高潮などの危険度を時系列で色分けした図を、今後利用したいと思いますか。（〇はひとつ）



危険度を色分けした図の今後の利用希望について、「ぜひ利用したい」が2割弱、「機会があれば利用したい」が6割台半ばとなり、合わせた危険度を色分けした図の利用希望者は8割台半ばとなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

年代別にみると、60代以上では、「ぜひ利用したい」、「機会があれば、利用したい」を合わせた危険度を色分けした図の利用希望者が8割台半ばと、他年代に比べ高くなっている。

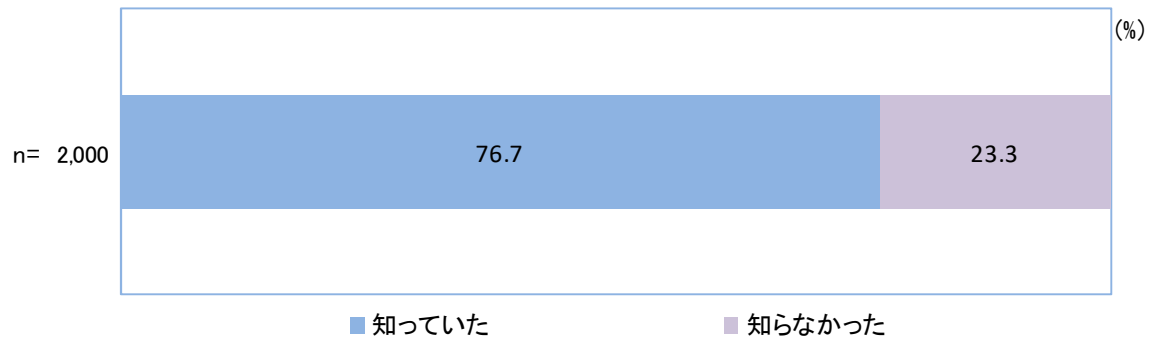
地方予報区別にみると、四国地方では、「ぜひ利用したい」が2割台半ばと、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

5. 特別警報

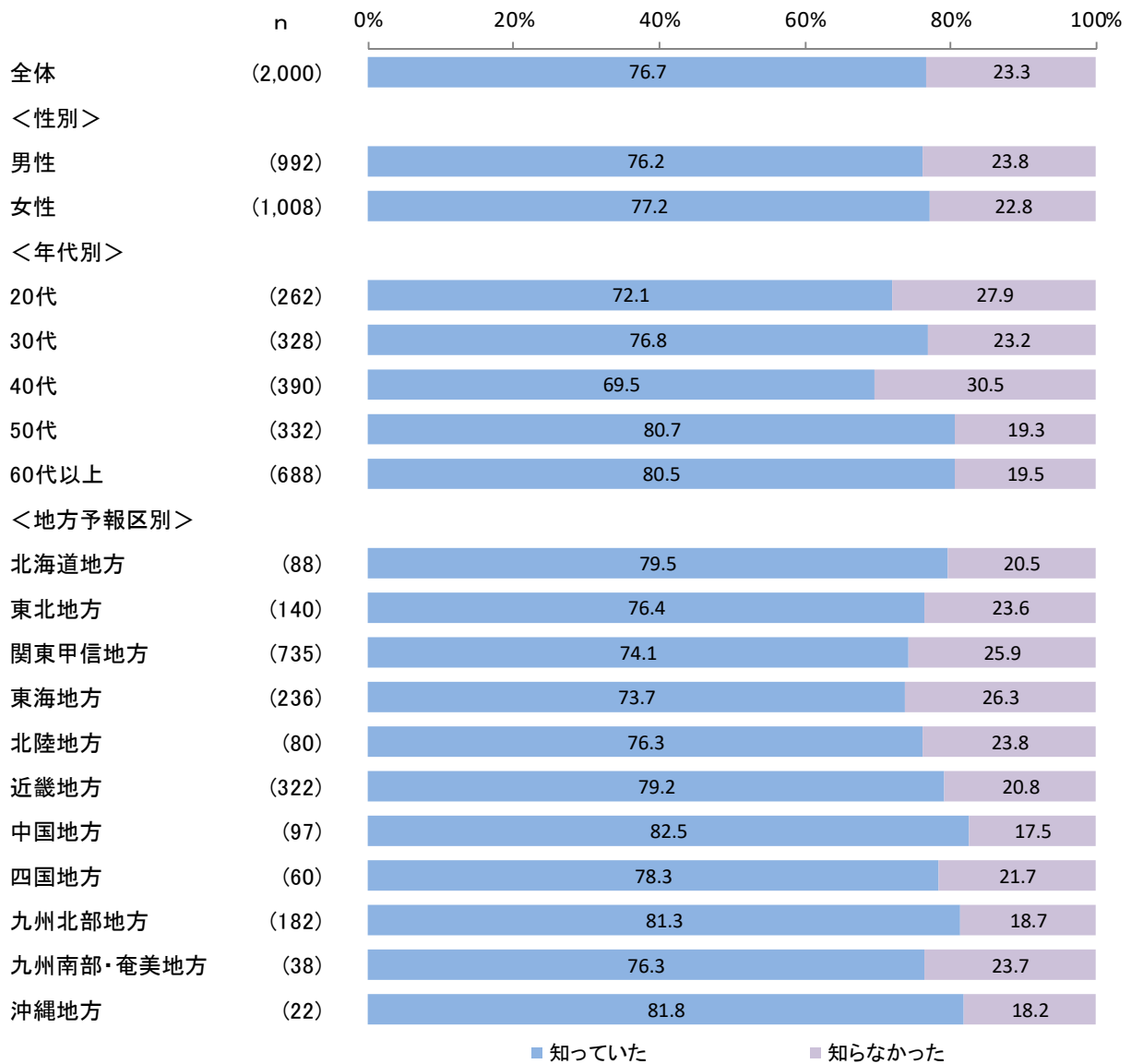
(1) 大雨特別警報の認知度

Q20. 気象庁は、大雨警報の発表基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく大きい場合に「大雨特別警報」を発表しています。
あなたは、「大雨特別警報」という情報があることをご存じでしたか。(〇はひとつ)



大雨特別警報の認知度について、「知っていた」が7割台半ばとなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

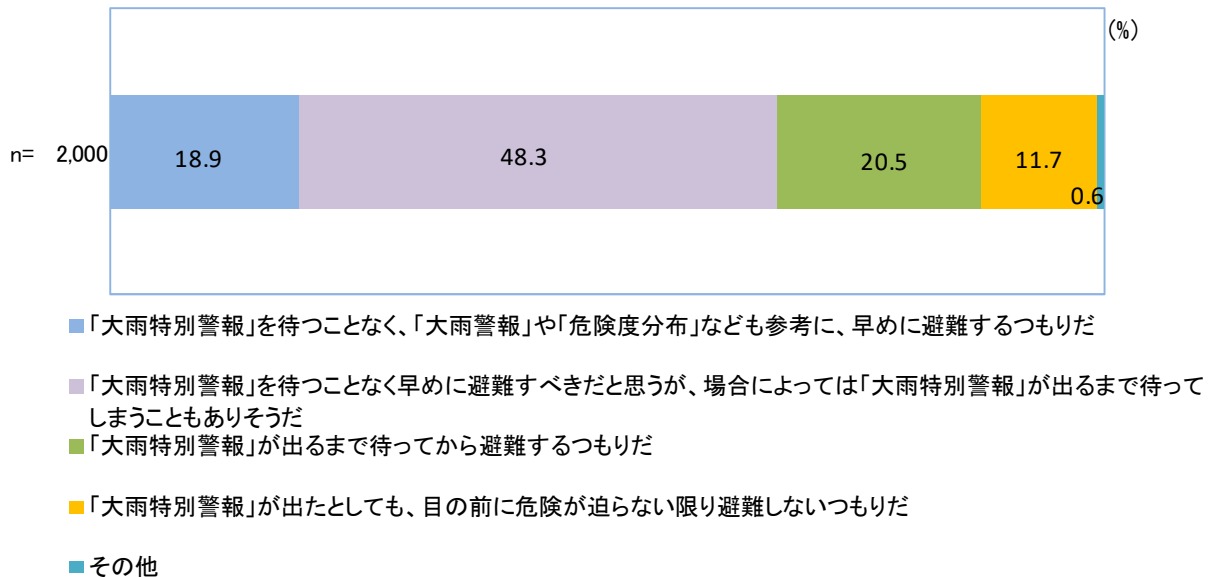
年代別にみると、50代以上では「知っていた」が約8割と、他年代に比べ高くなっている。

地方予報区別にみると、中国地方、九州北部地方では「知っている」が8割強と、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

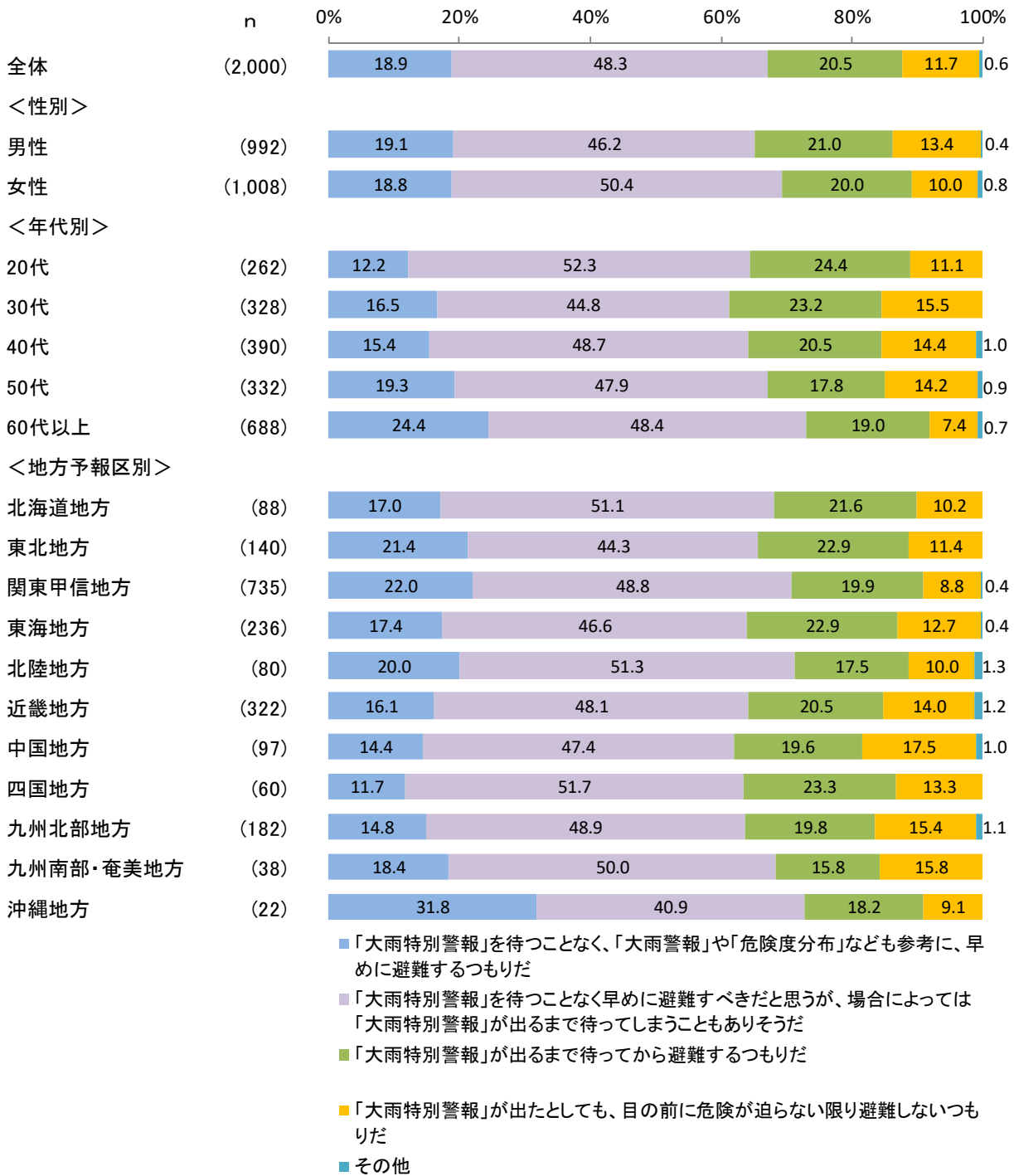
(2) 避難時における大雨特別警報の活用状況

Q21. 「大雨警報」等の後に「大雨特別警報」が発表される場合があることから、「大雨特別警報」が出るまで避難しなかった、という声がしばしばあります。もし、あなたが、ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域等に居るときならば、どうしますか。(〇はひとつ)



避難時における大雨特別警報の活用状況について、「大雨特別警報」を待つことなく早めに避難すべきだと思うが、場合によっては「大雨特別警報」が出るまで待ってしまうこともありそう」が5割弱と半数程度を占めている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

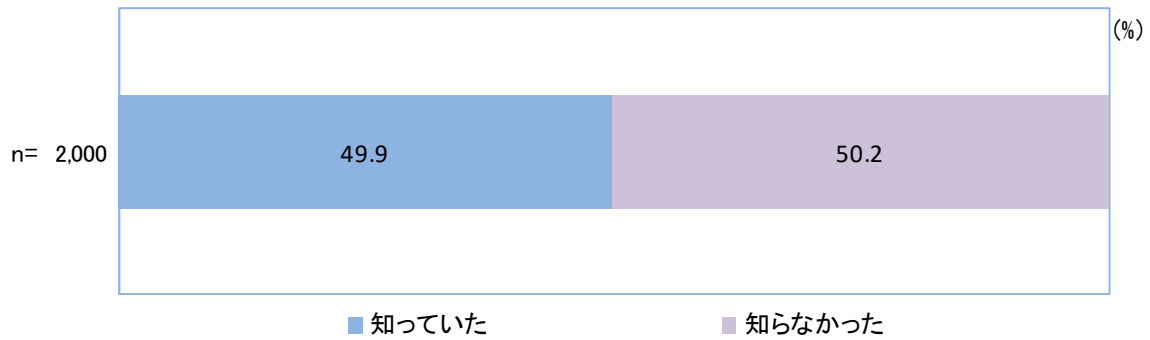
年代別にみると、60代以上では、「大雨特別警報」を待つことなく、「大雨警報」や「危険度分布」なども参考に、早めに避難するつもりだ」が2割台半ばと、他年代に比べ高くなっている。

地方予報区別にみると、東北地方、関東甲信越地方、北陸地方では、「大雨特別警報」を待つことなく、「大雨警報」や「危険度分布」なども参考に、早めに避難するつもりだ」が2割以上と、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

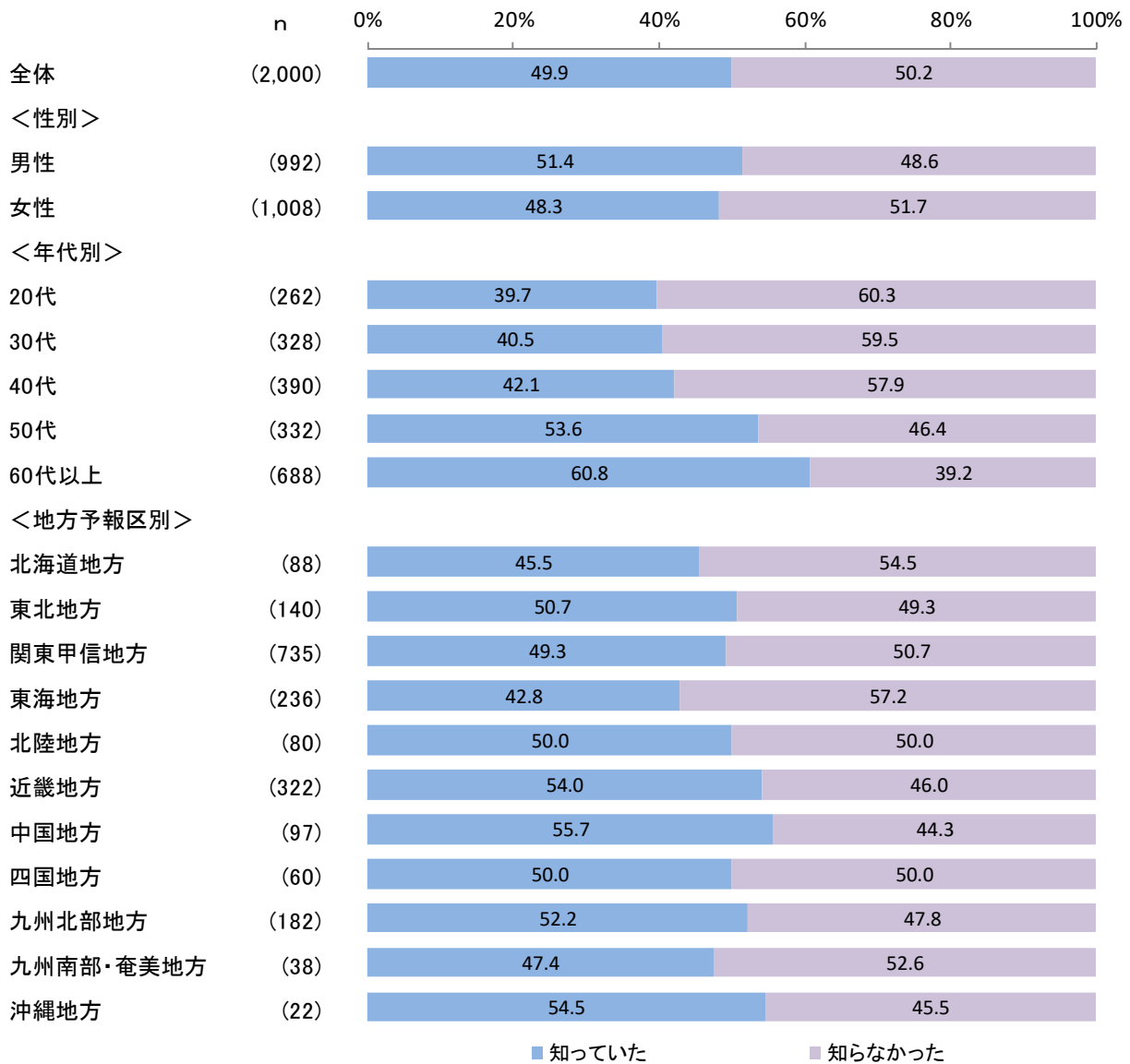
(3) 大雨特別警報が発表される前の避難の必要性の認知度

Q22. ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨特別警報が発表される前の段階で、安全な場所への避難を終えておく必要があるとされています。このことをご存じでしたか。(〇はひとつ)



大雨特別警報が発表される前の避難の必要性の認知度について、「知っていた」が5割弱となっている。

Ⅲ. インターネット調査結果



※ベースがn=29以下は参考値

男女別にみると、全体と同様の傾向がみられる。

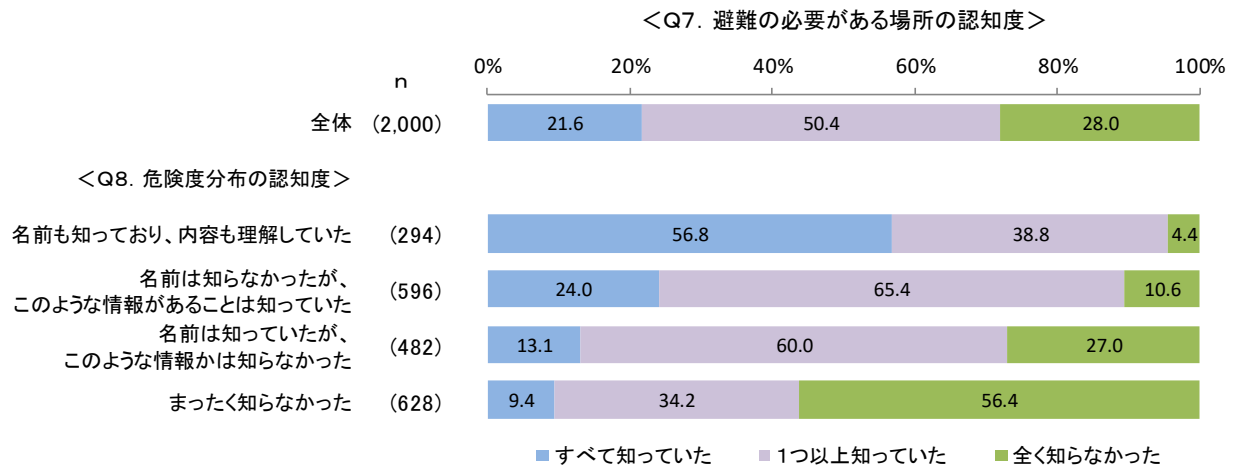
年代別にみると、高齢層ほど、大雨特別警報が発表される前の避難の必要性を知っており、60代以上では「知っていた」が約6割と、他年代に比べ高くなっている。

地方予報区別にみると、近畿地方、中国地方では「知っていた」が5割台半ばと、他地方予報区に比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

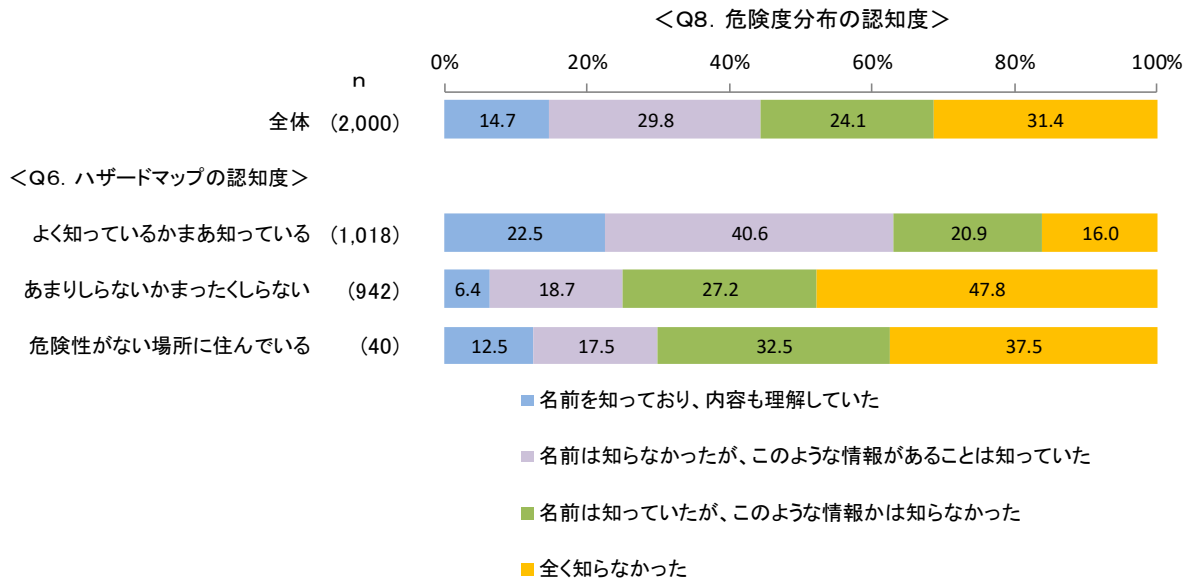
6. その他

(1) 危険度分布の認知度とリスク認知の関係性



危険度分布の認知度ごとに避難の必要性がある場所の認知度をみると、危険度分布の認知度が高まるほど、避難の必要性のある場所の認知度も高くなっている。

(2) 普段の防災意識の高さと危険度分布の認知度の関係性



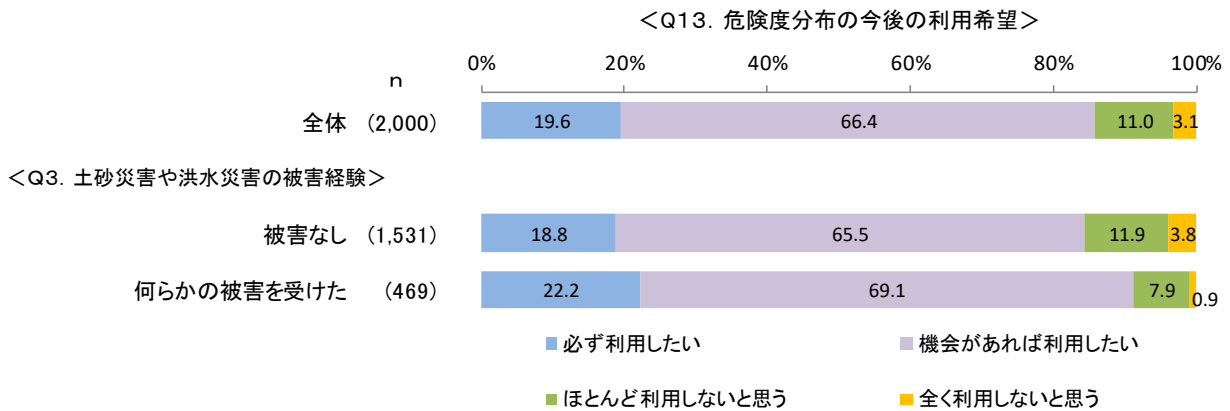
※Q6 の下記の選択肢は調査時から新たに作成

「よく知っているかまあ知っている」 = 「知っており、よく見るようにしている」「知っており、時々見ることもある」の合算
 「あまりしらないかまったくしらない」 = 「知っているが、見たことはない」「全く知らなかった」の合算

普段の防災意識の高さ（ハザードマップの認知度）ごとに危険度分布の認知度をみると、ハザードマップを知っている人は知らない人に比べて、「名前を知っており、内容も理解していた」、「名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた」を合わせた危険度分布の理解度も高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

(3) 被害経験と危険度分布利用要望の関係性



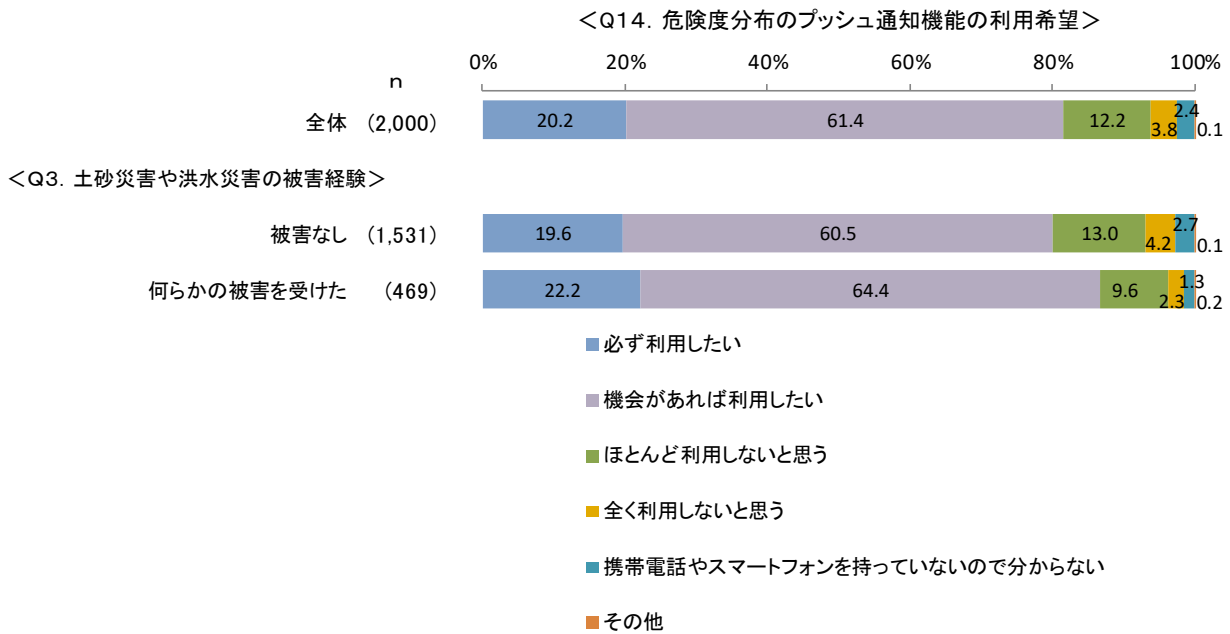
※Q3 の下記の選択肢は調査時から新たに作成

「被害なし」 = 「被害に遭っていない」

「何らかの被害を受けた」 = 「自宅が半壊した」「自宅が半壊した、又は床上浸水の被害に遭った」「自宅が一部損壊した、又は床下浸水の被害に遭った」「自宅の被害はなかったが、車や倉庫などの資産が被害に遭った」「自宅や資産の被害はなかったが、停電や交通機関の支障などで生活に影響があった」の合算

平成 29 年夏以降の土砂災害や洪水の被害経験ごとに危険度分布の利用要望をみると、平成 29 年夏以降に「何らかの被害を受けた」方では、「必ず利用したい」、「機会があれば利用したい」を合わせた危険度分布の利用希望は、「被害なし」の方と比べ高くなっている。

(4) 被害経験とプッシュ通知希望の関係性

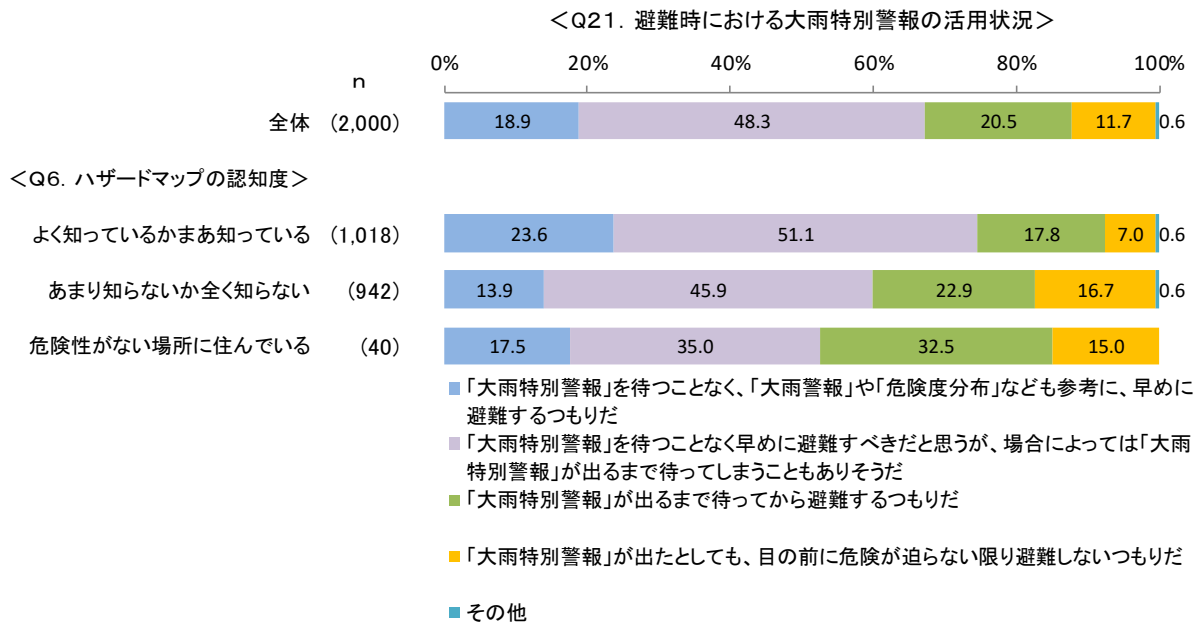


※Q3 の下記の選択肢は調査時から新たに作成
 「被害なし」 = 「被害に遭っていない」
 「何らかの被害を受けた」 = 「自宅が半壊した」「自宅が半壊した、又は床上浸水の被害に遭った」「自宅が一部損壊した、又は床下浸水の被害に遭った」「自宅の被害はなかったが、車や倉庫などの資産が被害に遭った」「自宅や資産の被害はなかったが、停電や交通機関の支障などで生活に影響があった」の合算

平成 29 年夏以降の土砂災害や洪水の被害経験ごとに危険度のプッシュ通知希望をみると、「何らかの被害を受けた」方では、「必ず利用したい」、「機会があれば利用したい」を合わせた危険度のプッシュ通知希望が、「被害なし」の方と比べ高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

(5) ハザードマップの認知度と早めの避難行動を起こそうと考える人の関係性

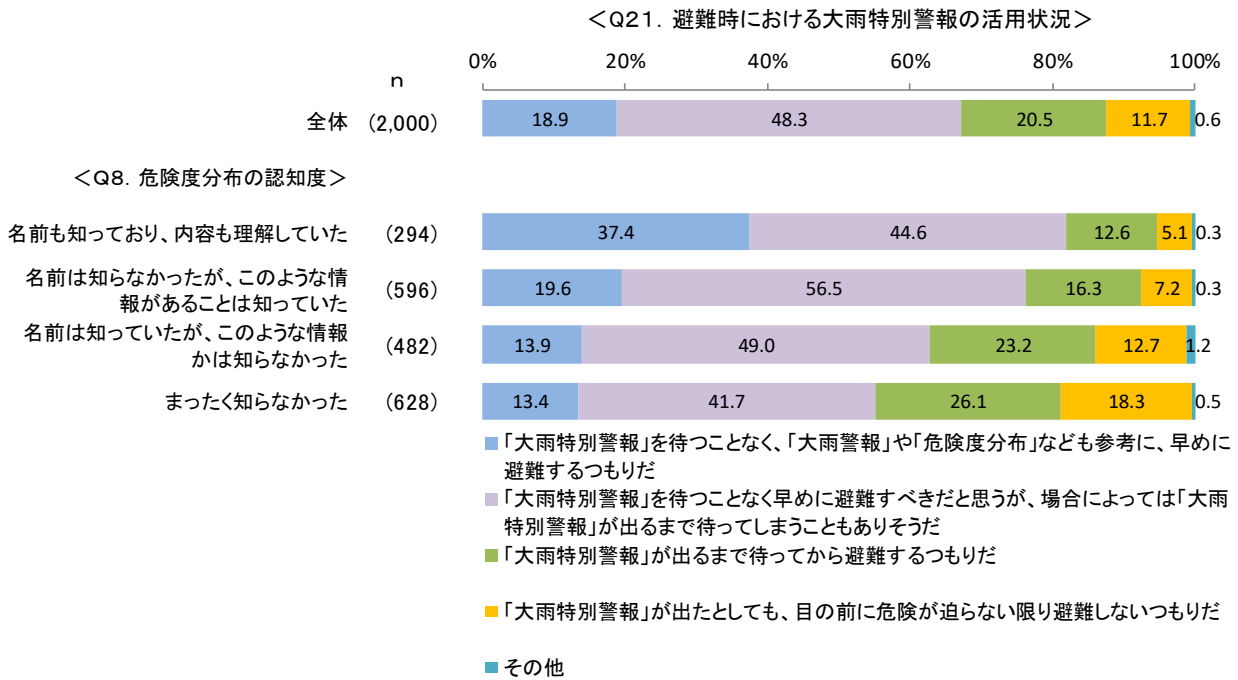


※Q6 の下記の選択肢は調査時から新たに作成

「よく知っているかまあ知っている」 = 「知っており、よく見るようにしている」「知っており、時々見ることもある」の合算
 「あまり知らないかまったく知らない」 = 「知っているが、見たことはない」「全く知らなかった」の合算

ハザードマップの認知度と避難時における大雨特別警報の活用状況をみると、ハザードマップを知っている人は知らない人に比べて、「大雨特別警報」を待つことなく、その他の情報を参考に早めに避難を起こそうと考える方の割合が高くなっている。

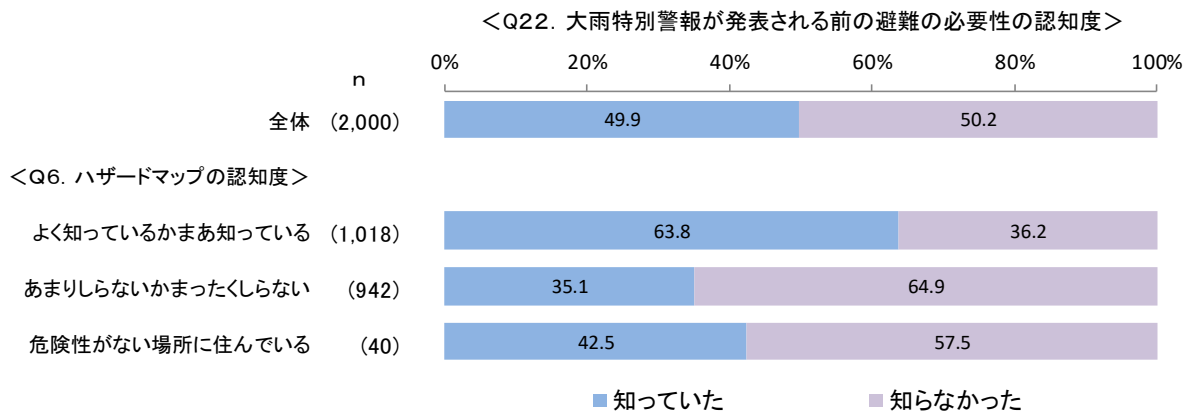
(6) 危険度分布の理解度と早めの避難行動を起こそうと考える人の関係性



危険度分布の認知度ごとに避難時における大雨特別警報の活用状況をみると、危険度分布の認知度が高まるほど、「大雨特別警報」を待つことなく、その他の情報を参考に早めに避難を起こそうと考える方の割合が高くなっている。

Ⅲ. インターネット調査結果

(7) ハザードマップの認知度と大雨特別警報の理解度の関係性



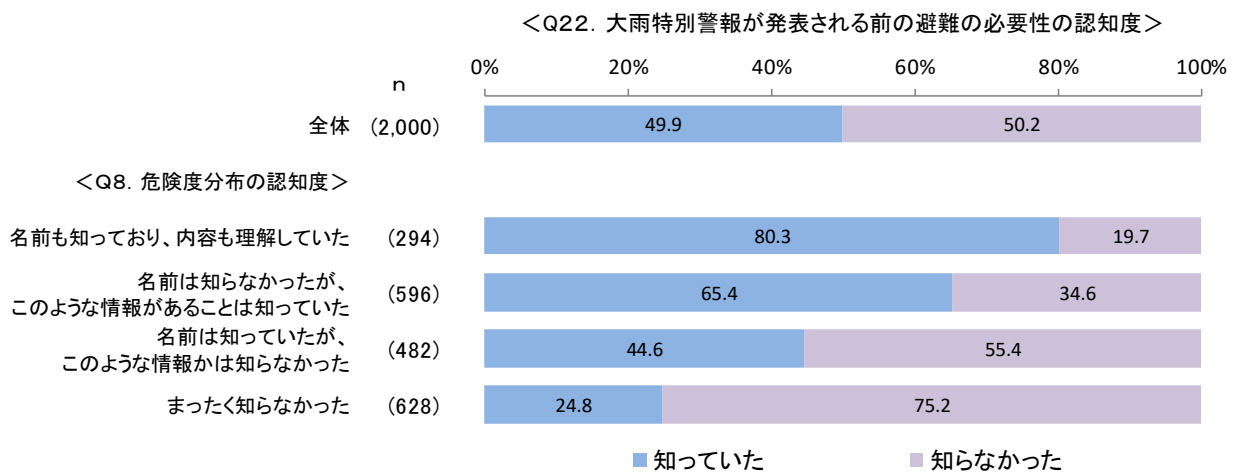
※Q6 の下記の選択肢は調査時から新たに作成

「よく知っているかまあ知っている」 = 「知っており、よく見るようにしている」「知っており、時々見ることもある」の合算

「あまり知らないかまったく知らない」 = 「知っているが、見たことはない」「全く知らなかった」の合算

ハザードマップの認知度と大雨特別警報の認知度をみると、ハザードマップを知っている人は知らない人に比べて、大雨特別警報の認知度も高くなっている。

(8) 危険度分布の理解度と大雨特別警報の理解度の関係性



危険度分布の認知度ごとに大雨特別警報の認知度をみると、危険度分布の認知度が高まるほど、大雨特別警報の認知度も高くなっている。

IV. 調査結果のまとめ

IV. 調査結果のまとめ

(1) 防災気象情報の入手・認知状況

災害時の気象情報は、9割以上の方が見聞きしており、入手手段としては、全体では「テレビ（一般放送）」が9割以上と多数を占めている。年代別では、若年層では「SNS（Twitter、LINE、Facebook など）」が高くなっている（加え、郵送調査では、若年層で「スマートフォンのアプリ」が高くなっている。一方、インターネット調査では、高齢層で「テレビ（一般放送）」が高くなっている。）。

各防災気象情報の認知度については、ハザードマップでは約9割、危険度分布では約7割、大雨特別警報では7割以上の方（郵送調査では、8割台半ば、インターネット調査では、7割台半ばとなっている。）が名前は知っていると回答しており、各防災気象情報が多くの方に認知されていることがうかがえる。

しかしながら、ハザードマップを実際に見たことがある人、および大雨特別警報の情報の意味を理解する方は半数程度、危険度分布の「名前も知っており、内容も理解していた」は1～2割にとどまっている（危険度分布の「名前も知っており、内容も理解していた」は、郵送調査では約2割、インターネット調査では1割台半ばとなっている。）。これらのことから、情報自体の認知度は高いものの、内容を正しく理解している方は少ないと考えられる。

(2) 危険度分布

危険度分布は、これから大雨になることが予想されるとき、あるいは大雨が降っているときなどにテレビ等の報道で危険度分布を見聞きする場面はあるものの、前述のとおり危険度分布を正確に理解している方は少ない。

また、気象庁のホームページ等で公表されているものを自発的に見に行く必要があるため、現状、危険度分布を有効に活用できている方は一部に限られていることが推察される。

しかしながら、危険度分布を知らなかった方へ危険度分布の説明をした上で、全体に対して今後の利用希望についてたずねたところ、8割以上が利用したいと回答していることから、情報に対するニーズ・期待は大きいと考えられる。

今後、より多くの人に危険度分布を活用してもらうためには、ひとつには情報そのものの理解を深めるための周知広報を継続して実施していく必要があると考えられる。

また、もうひとつとして、利用者がより活用しやすくなるように情報の機能改善を図っていくことであるが、現状の問題点と今後の可能性について、本アンケート結果からみていくこととする。

危険度分布を認知している人に対し、現状の機能のほかにどのような機能を追加するとより使いやすくなると思うか尋ねたところ、「身近な道路や地名等がより詳細に表示する機能」が最も高くなっている（郵送調査では、6割台半ばとなっており、インターネット調査では、5割台半ばとなっている。）。ここでは、その他の選択肢として「ハザードマップと「危険度分布」を重ね合わせて表示する機能」や「色分けするだけでなく、危険度を数字等でレベルをつけて表示する機能」等を用意していたが、これらよりも高い割合となっている。ここから、現状の「危険度分布」の問題点は、自分が危険な箇所の特定のしづらさにあることが示唆され、より詳細な情報を確認できる仕組みを付加していくことがより有効に活用してもらうことにつながるものと考えられる。

----- < 調 査 票 > -----

●あなた自身についてお伺いします。

Q1. あなたの性別をお知らせください。(○はひとつ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

Q2. あなたの年齢をお知らせください。(○はひとつ)

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 4. 40代 | 7. 70代 |
| 2. 20代 | 5. 50代 | 8. 80代以上 |
| 3. 30代 | 6. 60代 | |

●災害経験や防災情報についてお伺いします。

Q3. 昨年(平成 29 年)夏以降、台風や集中豪雨により土砂災害や洪水災害の被害に遭われましたか。複数回被害に遭われた方は、最も被害を受けたときの状況をお答えください。(○はひとつ)

- | |
|--|
| 1. 自宅が全壊した |
| 2. 自宅が半壊した、又は床上浸水の被害に遭った |
| 3. 自宅が一部損壊した、又は床下浸水の被害に遭った |
| 4. 自宅の被害はなかったが、車や倉庫などの資産が被害に遭った |
| 5. 自宅や資産の被害はなかったが、停電や交通機関の支障などで生活に影響があった |
| 6. 被害に遭っていない |

Q4. 台風が来たとき、大雨注意報や大雨警報、台風情報をテレビやホームページなどで見る(聞く)ようにしていますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 常に見る(聞く)ようにしている | 3. あまり見て(聞いて)いない |
| 2. 時々見る(聞く)ようにしている | 4. ほとんど見て(聞いて)いない |

V. 巻末資料

Q5. 大雨注意報や大雨警報、台風情報は何かから見た(聞いた)ことがありますか。(○はいくつでも)

1. テレビ(一般放送)
2. テレビ(リモコンの「dボタン」で表示されるデータ放送)
3. ラジオ
4. 気象庁のホームページ
5. その他のホームページ(報道機関、気象会社等)
6. 自治体(都道府県・市区町村)が提供する登録制の防災メールサービス
7. 自治体以外が提供する防災メールサービス
8. スマートフォンのアプリ
9. SNS(Twitter、LINE、Facebook など)
10. 防災行政無線
11. その他(具体的に: _____)

Q6. お住まいの地域の近くで、土砂災害や洪水災害の危険性があらかじめ想定される場所を示した地図(以下「ハザードマップ」と呼びます)があることをご存じですか。(○はひとつ)

1. 知っており、よく見るようにしている
2. 知っており、時々見ることもある
3. 知っているが、見たことはない
4. 知っているが、ハザードマップが作成されていない地域に住んでいる
5. 全く知らなかった

Q7. 土砂災害や洪水災害の危険度が高まったときに、少なくとも次の場所に居る場合には安全な場所に避難する必要があることをご存じでしたか。(○はひとつ)

【安全な場所に避難する必要がある場所】

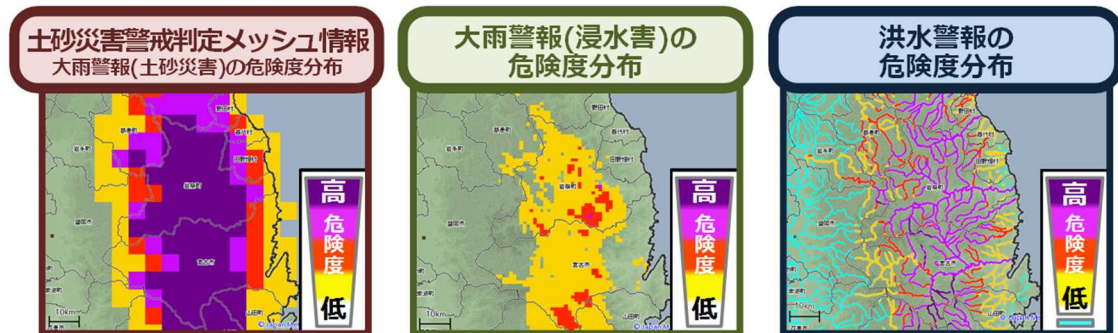
- ・ハザードマップに示された土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所
- ・ハザードマップに示された浸水想定区域
- ・山間部の河川沿いの区域

1. すべて知っていた
2. 1つ以上知っていた
3. 全く知らなかった

●「危険度分布」についてお伺いします。

気象庁では、どこで土砂災害や洪水災害の危険度が高まっているかを一目で把握できるよう、危険度を地図上で色分けした「危険度分布」を気象庁ホームページで発表しています(下図参照)。

この「危険度分布」は、10分毎に更新され、気象庁ホームページで見られるほか、テレビの気象ニュース等でも放送されています。



(参考) 気象庁ホームページ(以下の URL)でどなたでも見られます。

- ・土砂災害警戒判定メッシュ情報 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
- ・大雨警報(浸水害)の危険度分布 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
- ・洪水警報の危険度分布 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

Q8. あなたは、「危険度分布」をご存じでしたか。(○はひとつ)

1. 名前を知っており、内容も理解していた →Q9 へ
2. 名前は知らなかったが、このような情報があることは知っていた →Q9 へ
3. 名前は知っていたが、このような情報かは知らなかった →Q9 へ
4. 全く知らなかった →5 ページ Q12 へ

【Q8 で1～3を回答した「危険度分布」をご存じの方にお伺いします。】

Q9. あなたが「危険度分布」を見た(聞いた)のは、どんなときでしたか。(○はいくつでも)

1. テレビ等でこれから大雨になるという報道がされたとき
2. 大雨警報や洪水警報が発表されたとき
3. テレビ等で大雨が降っている映像をみたとき
4. 怖いと感じるような雨が降ってきたとき
5. その他(具体的に: _____)

V. 巻末資料

【Q8 で1～3を回答した「危険度分布」をご存じの方にお伺いします。】




Q10. 「危険度分布」は何から見た(聞いた)ことがありますか。(〇はいくつでも)

1. テレビ(一般放送)
2. テレビ(リモコンの「dボタン」で表示されるデータ放送)
3. ラジオ
4. 気象庁のホームページ
5. その他のホームページ(報道機関、気象会社等)
6. 自治体(都道府県・市区町村)が提供する登録制の防災メールサービス
7. 自治体以外が提供する防災メールサービス
8. スマートフォンのアプリ
9. SNS(Twitter、LINE、Facebook など)
10. 防災行政無線
11. その他(具体的に: _____)

【Q8 で1～3を回答した「危険度分布」をご存じの方にお伺いします。】

気象庁ホームページでは、「危険度分布」を利用いただく際に、以下のような機能をご利用いただけます。

■「危険度分布」を便利にご利用いただくための機能

<p>河川、鉄道、道路の重ね合わせ機能</p> 	<p>表示状態の保存機能</p> 
<p>位置情報取得機能</p> 	<p>その他:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の災害の危険度分布や雨雲の動き、今後の雨へ同じ表示領域で遷移する機能 ・アニメーション機能

Q11. 「危険度分布」は、上記の機能のほかに、どのような機能を追加するとより使いやすくなると思いますか。(〇はいくつでも)

1. ハザードマップと「危険度分布」を重ね合わせて表示する機能
2. 土砂災害と洪水災害の「危険度分布」を1枚に重ね合わせて表示する機能
3. 身近な道路や地名等がより詳細に表示する機能
4. 色分けするだけでなく、危険度を数字等でレベルをつけて表示する機能
5. その他(具体的に: _____)

【ここからは、全員にお伺いします。】

Q12. 大雨警報や洪水警報が発表されても、重大な災害までには至らないこと(空振り)があります。気象庁では昨年(平成29年)7月から「危険度分布」の技術により、警報と災害発生との結びつきを強めて、空振りの回数を大幅に減少させました。

最近の大雨警報や洪水警報の空振りについて、あなたはどのように感じていますか。(〇はひとつ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 空振りが多すぎて、大いに不満 |
| 2. 空振りが多く、やや不満 |
| 3. 空振りはあまり気にならず、ほとんど不満はない |
| 4. 空振りは気にならず、全く不満はない |
| 5. その他(具体的に: _____) |

Q13. 「洪水警報の危険度分布」と災害との関係を調べてみたところ、5段階の危険度のうち最も高い「極めて危険」(濃い紫)が出現した河川の約7割で、実際に洪水災害が発生していることが分かりました(下図参照)。

このような「危険度分布」を今後利用したいと思いませんか。(〇はひとつ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 必ず利用したい | 3. ほとんど利用しないと思う |
| 2. 機会があれば利用したい | 4. 全く利用しないと思う |

(参考) 災害発生と結びつきの強い「危険度分布」

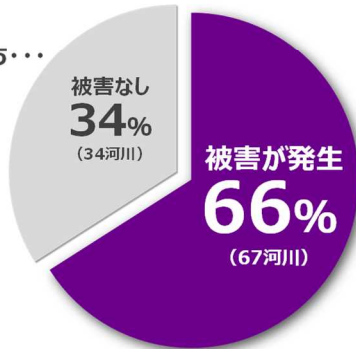
洪水警報の危険度分布と被害発生との関係を確認したところ、「濃い紫」が出現した河川の約7割で、家屋や田畑への浸水や河岸が削られる等の被害が発生していました。

「濃い紫」が出現する前の、遅くとも「うす紫」が出現した段階で、河川水位などの現況も確認した上で速やかに避難開始の判断をすることが重要です。

※「濃い紫」…重大な洪水害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。

※「うす紫」…今後氾濫し、重大な洪水害が発生するおそれが高い。水位計や監視カメラ等で河川の現況を確認した上で、速やかに避難開始の判断をすることが大変重要。

「濃い紫」が出現した河川のうち...



約7割の河川で被害が発生

遅くともうす紫で避難開始の判断を

※「平成29年7月九州北部豪雨」と「平成29年7月秋田県の大雨」を対象とした。

V. 巻末資料

Q14. 現状の「危険度分布」は、気象庁ホームページ等で公開されているものを自発的に見ていただく必要があります。

もし、土砂災害や洪水、浸水害の危険度が高まった際にメールやスマートフォンのアプリ等で自動的に通知(音やバイブレーション等)を受けられるサービスがあったら、利用したいと思いませんか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------|-------------------------------|
| 1. 必ず利用したい | 5. 携帯電話やスマートフォンを持っていないので分からない |
| 2. 機会があれば利用したい | 6. その他(具体的に:) |
| 3. ほとんど利用しないと思う | |
| 4. 全く利用しないと思う | |

Q15. ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域などに居る場合には、「危険度分布」で危険度が高まったときに、安全な場所に避難する必要があります。

もし、「危険度分布」の地図にハザードマップも重ね合わせて表示させる機能があったら、利用したいと思いませんか。(○はひとつ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 必ず利用したい | 3. ほとんど利用しないと思う |
| 2. 機会があれば利用したい | 4. 全く利用しないと思う |

Q16. 5段階で危険度を示す「危険度分布」で、最も高い「極めて危険」(濃い紫)が出現したときには、もはや「命に関わる災害がすでに発生しているもおかしくない状況」となるため、それまでには安全な場所に避難しておくことが大変重要です。

このことを確実に伝えるため、大雨や洪水の危険度が高い方から2番目の「非常に危険」(うす紫)となったとき、気象庁が、より切迫性の伝わるキーワード(例えば「命に関わる災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況です」など)を用いた場合、従来より避難しようと思いませんか。(○はひとつ)

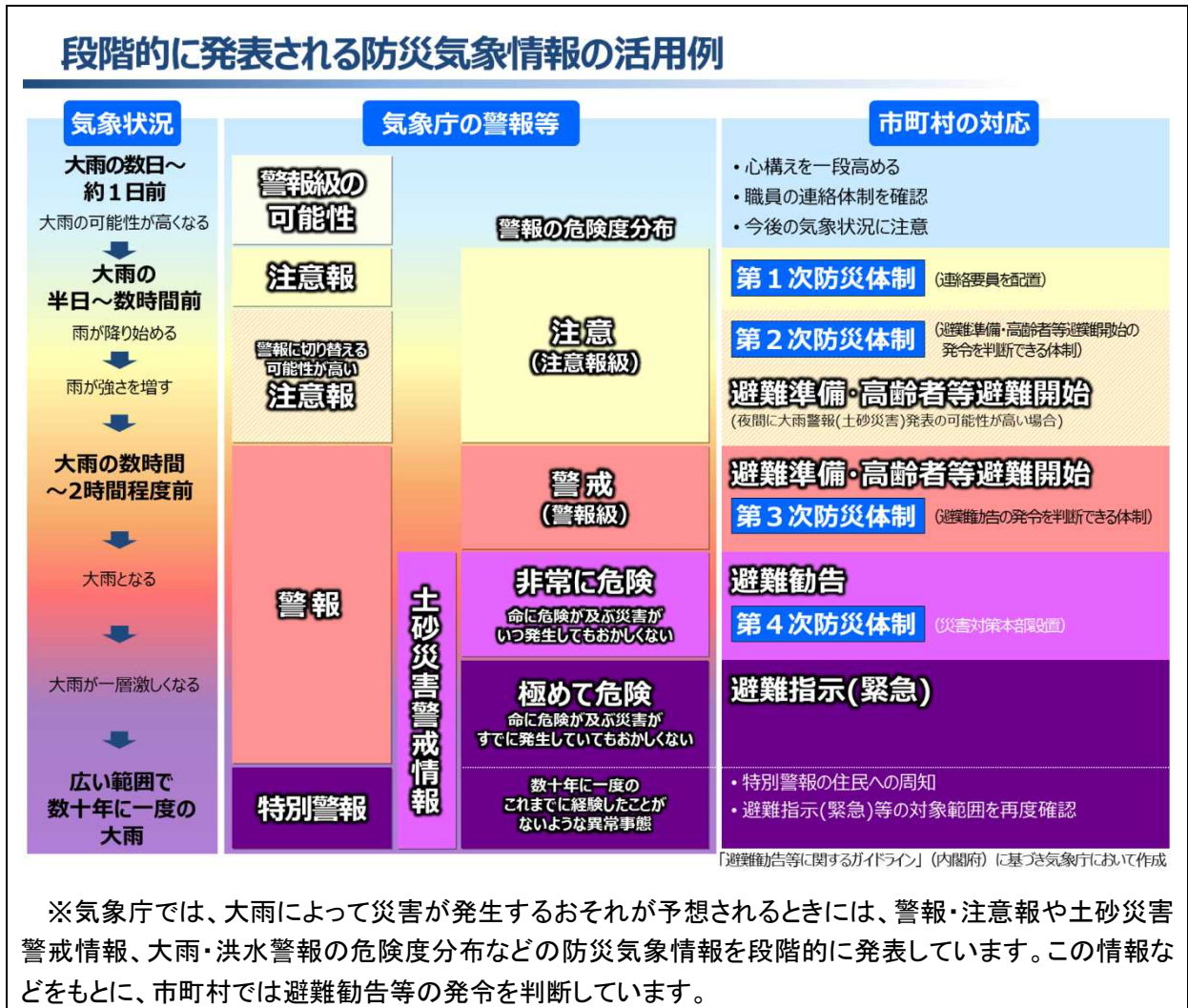
- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 避難しようと思う | 4. 全く避難の判断には影響しない |
| 2. 場合によっては避難しようと思う | 5. その他(具体的に:) |
| 3. あまり避難の判断には影響しない | |

Q17. 気象庁が大雨注意報や大雨警報を発表する際、危険度の大小関係が一目で分かるよう、例えば次のように「数字」や「色」を割り振ることは良いと思いますか。(〇はひとつ)

【危険度の大小関係の例】

- ・レベル2：大雨注意報（黄色）
- ・レベル3：大雨警報（赤）
- ・レベル4：土砂災害警戒情報（うす紫）

1. とても良いと思う	3. あまり良いと思わない
2. まあ良いと思う	4. 全く良いと思わない



V. 巻末資料

●注意報・警報の新たな表示についてお伺いします。

Q18. 気象庁では、注意報・警報を、下記の図のように、危険度が高まる時間帯を色分けして発表するようになりました。

この情報は気象庁ホームページで、どなたでも見ることをご存じでしたか。
(○はひとつ)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 知っており、よく見るようにしている | 3. 知っているが、見たことはない |
| 2. 知っており、時々見ることもある | 4. 全く知らなかった |

泉佐野市		今後の推移 (■警報級 ■注意報級)								備考・ 関連する現象		
発表中の 警報・注意報等の種別		4日						5日				
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3		3-6	
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	0	0	40	70	70	40					
	(浸水害)										浸水注意	
	(土砂災害)										土砂災害注意	
暴風	風向風速 (矢印・ メートル)	陸上	12	14	20	35	35	18	15	12	12	
		海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15	
波浪	波高 (メートル)	1.5	2	3	4	4	2.5	2.5	1.5	1.5		
高潮	潮位 (メートル)	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5			ピークは4日16時頃	
雷											竜巻	

警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大6時間前に発表します。
 ■で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。
 各要素の予測値は、確度が一定に達したものを表示しています。

Q19. 高潮が発生するような台風の接近時には、潮位(海面の高さ)の上昇より先に暴風が吹き始め、屋外に出るのは命の危険を伴う状況となります。このため、Q18の図を用いることで、いつ暴風が吹き始めるかをあらかじめ把握し、暴風が吹き始める前に避難することが必要とされています。

このような、暴風や高潮などの危険度を時系列で色分けした図を、今後利用したいと思いませんか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. ぜひ利用したい | 3. あまり利用したいとは思わない |
| 2. 機会があれば、利用したい | 4. 全く利用したいとは思わない |

●特別警報についてお伺いします。

Q20. 気象庁は、大雨警報の発表基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく大きい場合に「大雨特別警報」を発表しています。
あなたは、「大雨特別警報」という情報があることをご存じでしたか。(○はひとつ)

1. 知っていた

2. 知らなかった

Q21. 「大雨警報」等の後に「大雨特別警報」が発表される場合があることから、「大雨特別警報」が出るまで避難しなかった、という声がしばしばあります。もし、あなたが、ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域等に居るときならば、どうしますか。(○はひとつ)

1. 「大雨特別警報」を待つことなく、「大雨警報」や「危険度分布」なども参考に、早めに避難するつもりだ
2. 「大雨特別警報」を待つことなく早めに避難すべきだと思うが、場合によっては「大雨特別警報」が出るまで待つてしまうこともありそうだ
3. 「大雨特別警報」が出るまで待つてから避難するつもりだ
4. 「大雨特別警報」が出たとしても、目の前に危険が迫らない限り避難しないつもりだ
5. その他(具体的に: _____)

Q22. ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨特別警報が発表される前の段階で、安全な場所への避難を終えておく必要があるとされています。このことをご存じでしたか。(○はひとつ)

※大雨特別警報が発表された段階では、すでに屋外に出るのは命の危険を伴う状況となり、2階への避難など確実に命が助かるとは限らない行動しかとることができなくなります。

1. 知っていた

2. 知らなかった

Q23. どのようなことでも結構ですので、防災気象情報に対するあなたのご意見・ご要望があればお聞かせください。(ご自由にお書きください。)

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。お手数をおかけしますが、同封の返信用封筒に入れて、切手は貼らずに12月9日(日)までにご投函くださいますようお願いいたします。

自由回答一覧（郵送調査）

Q5.大雨注意報や大雨警報、台風情報は何かから見た（聞いた）ことがありますか。（いくつでも）／11.その他 具体的に：__

ローカルメール（福岡県・男性・70代）	町内放送（広島県・女性・30代）	市が発信するFM放送（広島県・男性・60代）
Te1110番隣人情報あるも継続情報がヒンパンに得られない（広島県・男性・80代以上）	自治体（市役所）の有線放送（愛媛県・男性・70代）	NHK防災アプリ（広島県・男性・60代）
ウェザーニュース（愛媛県・男性・50代）	地域コミュニティ放送（福岡県・男性・60代）	町内放送（広島県・女性・60代）
◎町内放送を聞く（愛媛県・女性・60代）	米軍台風情報（福岡県・男性・60代）	市～放送（愛媛県・男性・80代以上）
自分の身体や目でたしかめる（水害4回）（愛媛県・女性・70代）	新聞（福岡県・男性・80代以上）	市の放送（愛媛県・女性・60代）
息子（大阪在住）から（広島県・女性・70代）	市の有線放送（兵庫県・男性・60代）	支所が知せてくださる（愛媛県・女性・80代以上）
肱川本流の水量見に行く（愛媛県・男性・80代以上）	ネット（福岡県・男性・60代）	インターネット tenki.jp（広島県・男性・60代）
新聞（朝刊）、インターネット（広島県・男性・70代）	部落の方々（秋田県・女性・70代）	インターネット情報Auなど雨風雲の流れ（広島県・男性・70代）
インターネットの情報（愛媛県・男性・60代）	Yahoo（福岡県・男性・30代）	新聞（福岡県・男性・70代）
パソコン天気予報（愛媛県・女性・50代）	新聞や市の広報車（福岡県・女性・60代）	ホームページだのアプリだの何のことか分らない（愛媛県・女性・80代以上）
町内放送、場所によって、声がわけてわかりにくい（愛媛県・女性・60代）	県外に住む親族からの情報（広島県・女性・30代）	町内放送（広島県・女性・40代）
iPadのアプリ（愛媛県・男性・60代）	消防団（愛媛県・男性・50代）	パソコンから（愛媛県・男性・60代）
消防団（愛媛県・男性・40代）	Yahooの天気予報（愛媛県・女性・20代）	市のラジオ（広島県・男性・50代）
地域の警報（広島県・女性・70代）	ガラケー（兵庫県・男性・40代）	会社のメール連絡（愛媛県・男性・40代）
自治体の有線放送（愛媛県・女性・70代）	市のラジオ（広島県・男性・50代）	自治体のアオパト巡回放送車、娘からの電話（福岡県・女性・70代）
携帯電話器（最近購入した別名パカパカ携帯）（広島県・男性・80代以上）	地域防災放送（愛媛県・不明・60代）	町内放送（広島県・女性・40代）
常にNHKでリアルタイムを見ている（広島県・男性・70代）	町内放送（広島県・女性・40代）	新聞（福岡県・男性・60代）
家族（広島県・女性・80代以上）	町内放送（広島県・女性・40代）	新聞（愛媛県・女性・80代以上）

ケイタイで「台風」調べて（愛媛県・男性・30代）	防災ラジオ（秋田県・女性・40代）	パソコンの気象情報、台風情報（広島県・男性・80代以上）
携帯電話のメール（広島県・男性・60代）	有線（岐阜県・女性・80代以上）	職場（愛媛県・男性・30代）
10の放送はほとんどない（愛媛県・男性・70代）	市役所からの放送にて日に数回あり。（愛媛県・男性・80代以上）	市役所取扱いの防災ラジオ（有料、条件により無料も有）（広島県・男性・60代）
本船乗でした 毎日気象情報見て居ます（愛媛県・男性・80代以上）	パソコン（インターネット）（広島県・男性・70代）	四国の道路情報（愛媛県・男性・60代）
インターネット（岐阜県・男性・60代）	けいたい緊急情報（広島県・男性・80代以上）	けいたい（広島県・女性・70代）
広報車による放送呼びかけ（福岡県・男性・60代）	携帯電話（広島県・女性・80代以上）	子供、孫からラインで（広島県・女性・70代）
防災ラジオ（広島県・男性・50代）	Youtubeでライブ配信の気象情報（広島県・女性・20代）	米軍の台風予報ホームページ（福岡県・男性・40代）
携帯のエリアメール（広島県・女性・60代）	車で声かけしてくれるが雨の日は何を言っているかわからないサイレの方がよい（福岡県・女性・60代）	遠方に住む家族からの連絡（広島県・女性・80代以上）
町内ほうそう（広島県・女性・60代）	テレビの天気予報（広島県・男性・70代）	（ヤフー）防災情報（福岡県・男性・70代）
パソコン（愛媛県・男性・50代）	近所の人や出会った人から聞く（広島県・女性・50代）	子供や孫から聞く（広島県・女性・60代）
近所の方等からの情報（愛媛県・女性・60代）	インターネット気象情報を見た（福岡県・男性・60代）	ヤフー天気（愛媛県・女性・40代）
アイホン・インターネット（愛媛県・女性・60代）	愛媛県に住む娘にTELにて（岐阜県・男性・70代）	携帯電話（ガラケー）（愛媛県・男性・60代）
インターネット天気情報（愛媛県・男性・60代）	ウェザーニュース（愛媛県・男性・50代）	親類（兄弟）や隣（愛媛県・女性・50代）
Yahoo!ニュース（広島県・男性・30代）	親族のメールから（広島県・男性・40代）	youtube（愛媛県・女性・40代）
PCの天気予報（広島県・女性・60代）	携帯から警報の連絡がある（アラーム音）（広島県・女性・40代）	市内放送（愛媛県・男性・80代以上）
自治体が提供するスピーカー放送（広島県・男性・50代）	地区の有線放送（愛媛県・男性・50代）	

V. 巻末資料

Q9.あなたが「危険度分布」を見た（聞いた）のは、どんなときでしたか。（いくつでも）／5.その他 具体的に：__

市広報か自治会説明会（福岡県・男性・70代）	防災のアドバイザーに聞いた（広島県・女性・30代）
市からのパンフレット（愛媛県・女性・60代）	災害後テレビで見た（愛媛県・男性・60代）
役場からの配布図（愛媛県・女性・70代）	市町村の避難命令が出た時。（広島県・女性・80代以上）
鮎釣りに様々な河川に行くので子供達からスマートフォンにすぐに表示されるようになっている。鮎釣り中に2～3時間毎に見る。（広島県・男性・60代）	7月の災害以降雨が降ればいつも見ている（広島県・女性・50代）
名前だけで見たことがない。（福岡県・女性・60代）	NHKテレビd放送の気象情報（3時間毎雨量予測（愛媛県・男性・70代）
Youtube（兵庫県・男性・70代）	九州に住む親族からの情報で知った（広島県・女性・30代）
テレビの雨量マップインターネット（愛媛県・男性・50代）	被災後（広島県・男性・40代）
子供がスマートフォンで調べて注意してくれる（愛媛県・女性・70代）	みていない（広島県・男性・70代）
7月の豪雨災害以降（広島県・女性・40代）	毎日見る（広島県・男性・70代）
町内放送で行動してます（愛媛県・女性・70代）	フェイスブックにURLが、のっていたので。（福岡県・女性・50代）
地域を散歩してる時砂防ダムが砂でつまってダムの機能を果す事は無いだろうと常に感じていた（広島県・女性・70代）	どこかで災害があった後、思い出してチェックしてみる。（広島県・女性・50代）
17年前洪水時夕方6時ダム放流サイレン鳴りこれ以上放流したら洪水になるので放流とめてくれとTELしたが水の管理が出来る状態でないことわられた。（愛媛県・男性・80代以上）	近くの子供が言うてくる（福岡県・女性・80代以上）
危険度分布があるというテレビ番組（愛媛県・男性・40代）	危険度分布を見た事がない。（愛媛県・男性・60代）
言われてみれば災害後にニュース（特別番組）でやってたな程度です。（広島県・男性・40代）	けいたいで検索（広島県・女性・20代）
PCでインターネットを検索（福岡県・男性・70代）	みてない（愛媛県・女性・80代以上）
テレビ「dボタン」気象レーダーで予知しています。（広島県・男性・70代）	自宅購入検索時、土地が危険区域でないか、調べる為。大きな被害が地域であってから。（広島県・女性・30代）
町内にくばられた（広島県・女性・50代）	ネットで確認（愛媛県・男性・50代）
雨が降りはじめたとき（愛媛県・男性・60代）	家の向かいが山なので（福岡県・女性・30代）
近所に、山がくずれて、ブルーシートしてる所あり（愛媛県・女性・60代）	長い時間雨が降り続けている時（愛媛県・女性・50代）
消防団活動中（愛媛県・男性・40代）	自ら見たことはない。（広島県・女性・30代）
覚えていない（広島県・男性・50代）	土砂災害の地域に居住しており7/6（金）土石流が10

	0年振りに発生する前夜に予兆を捉えた被災町内会として報告資料を作成し公開予定←映像を撮映し、20分後に、川が決壊し、消防通報した。安芸知は浸水、家の前は川が決壊生活道路は冠水。7/7(土)03:50土石流により隣人がギセイとなった。(広島県・男性・50代)
家の外を確認したり、2階に上がって大空を見て、その時々(住所)変化を知って判断する。時には近所の方に相談し行動する。又様子の変化を目で確認する事が必要である。(広島県・男性・80代以上)	常日ごろからPCで確認しています。(広島県・男性・40代)
災害に関する講習会(福岡県・女性・70代)	災害後のテレビニュースで(広島県・男性・40代)
市町村からの連絡が遅い(愛媛県・男性・70代)	回覧でハザードマップが回ってきた時と、仕事場が施設のため、把握するため(広島県・女性・40代)
河川に設置してあるライブカメラを見ていた時(岐阜県・女性・40代)	西日本豪雨の時(広島県・女性・40代)
常時天気予報で(愛媛県・女性・50代)	地域の集会で(愛媛県・男性・60代)
災害後(広島県・男性・30代)	TVにインターネットを未接続だ(広島県・男性・70代)
宇和島自動車バス営業所内(愛媛県・男性・70代)	仕事で必要だったので(広島県・女性・40代)
台風の進路、予報と情報(広島県・男性・60代)	消防団で水防待機準備中(愛媛県・男性・40代)
テレビ・ニュース等で、そういった特集の番組を見た時(福岡県・男性・30代)	職場(愛媛県・男性・30代)
知人から聞いた(広島県・男性・40代)	町内放送が流れた時(広島県・女性・20代)
転居した時に確認した(福岡県・男性・50代)	町内会(福岡県・男性・60代)
特にこれと言った理由はなく興味で(愛媛県・女性・40代)	自治体の説明会で配布説明された時(広島県・男性・60代)
インターネットで(愛媛県・女性・60代)	町内での訓練の前後(広島県・男性・70代)
学習を通して(愛媛県・男性・50代)	町内からの知らせです(福岡県・女性・70代)
駅とかの貼り紙で時々見ていた(広島県・女性・70代)	行政の地図(市役所)(秋田県・男性・60代)
班長をしていた時(広島県・男性・70代)	地図がくばられた時見た。(愛媛県・女性・40代)
地区で説明会があった。(広島県・男性・60代)	インターネット(広島県・男性・60代)
仕事上、PCで(広島県・男性・60代)	実際に災害が起こった地域のニュースの中で「実はこういう分布図になっている土地でした」と紹介されていたとき(愛媛県・女性・40代)
地区の集会(愛媛県・女性・80代以上)	気象庁の高解像度降水ナウキャストを見たあと(福岡県・男性・40代)
電気が7/12~14日来て知った(愛媛県・男性・80代以上)	後日に知った(広島県・男性・60代)
地域からの連絡から(広島県・女性・80代以上)	

V. 巻末資料

Q10.「危険度分布」は何から見た（聞いた）ことがありますか／11.その他 具体的に：__

子供から（広島県・男性・60代）	公民館に表示（愛媛県・男性・50代）
Youtube（兵庫県・男性・70代）	見た事がない。（愛媛県・男性・60代）
連絡所前に大きくかんばんで出ている（愛媛県・女性・70代）	職場での話の中で知った（愛媛県・女性・40代）
市の広報誌で（愛媛県・男性・80代以上）	自治体巡回公報車（秋田県・男性・70代）
けいたい電話（広島県・男性・70代）	自治体の配布物（福岡県・女性・60代）
講習会（愛媛県・男性・60代）	県と市の防災の話し合いがあった時行った（福岡県・女性・60代）
覚えていない（広島県・男性・50代）	町が発行する町報で。（広島県・男性・70代）
インターネット（岐阜県・男性・60代）	インターネット（福岡県・男性・60代）
広報などの自治体からの冊子（愛媛県・男性・40代）	今回の災害（7/6）後、TVで詳細を報じていた。（広島県・男性・60代）
インターネット？（岐阜県・男性・60代）	ウェザーニュース（愛媛県・男性・50代）
関係者の方二人が2回程調べに来られた。（愛媛県・女性・60代）	町内放送にて（広島県・女性・80代以上）
自治体の災害マップ（ハザードマップ）（広島県・男性・60代）	3月に危険度分布で対象範囲となったが、説明会を欠席。詳細は不明状況。（広島県・男性・50代）
知人から聞いた（広島県・男性・40代）	市が配布している地図（愛媛県・女性・60代）
東広島市ハザード・マップ（広島県・男性・70代）	地域の集会（愛媛県・男性・60代）
インターネットで（愛媛県・女性・60代）	支所が知らせて下さる（愛媛県・女性・80代以上）
有線・オフトーク（福岡県・男性・80代以上）	町内の方が知らせて下さる。（福岡県・女性・80代以上）
水害報告会（福岡県・男性・70代）	区役所からの地図（広島県・女性・70代）
地域の研修会等（福岡県・男性・60代）	パソコン無し、従ってインターネット無し、ホームページ不可能（広島県・女性・70代）
自治会の集会（愛媛県・女性・80代以上）	パソコンの気象情報、台風情報（広島県・男性・80代以上）
防災ガイドブック（福岡県・男性・70代）	職場（愛媛県・男性・30代）
ハッキリとは覚えていないが表示されていたのを！（福岡県・女性・60代）	ローカルのケーブルT.V（広島県・男性・70代）
自治体の説明会（広島県・男性・60代）	町内会（福岡県・男性・60代）
ご近所の方知人からのTEL連絡など話し合い相談する（広島県・男性・60代）	自治体の資料（広島県・男性・60代）
ヤフーのトップ（兵庫県・男性・40代）	ヤフー防災情報等（福岡県・男性・70代）
P・Cがありません（広島県・男性・60代）	自治体で出している地図（秋田県・男性・60代）
防災マップ（愛媛県・不明・60代）	自治体で防災計画を策定する会議に出席した時（秋田県・女性・50代）
子供から聞く（福岡県・女性・80代以上）	

Q11.「危険度分布」は、上記の機能のほかに、どのような機能を追加するとより使いやすくなると思いますか／5. その他 具体的に：__

通報する機能、現在地の写真等UP（広島県・男性・40代）	地図は一般的になれない部分があるので地域（地名等）で具体的に色分けできないか？（福岡県・男性・60代）
時間を追っての予測機能（福岡県・女性・50代）	迂回路等の標示（愛媛県・男性・50代）
過去の被害状況を重ねる（岐阜県・女性・30代）	危険度分布自体が解りにくい（岐阜県・女性・30代）
災害時に通行できる道路の状態。レベル別に（兵庫県・男性・50代）	場所をピンポイントで（愛媛県・男性・50代）
タイムレコード（愛媛県・男性・50代）	道路、河川及び災害場所のより早急な情報（愛媛県・男性・60代）
色がついてない所は安心するのでは？（福岡県・男性・60代）	ホームページ使いこなせない（広島県・女性・70代）
何時間後に危険な状況になるかを知りたい。（広島県・男性・60代）	防災無線とラジオ、テレビで判るようにお願いします。（ケイタイでは、使用方法が出来ない）（広島県・男性・80代以上）
高令でスマートフォン等の器具は利用（活用）しきれないのでテレビや行政無線屋外の施設の提供を充実する この地域は高令世帯（若い人との同居なし）ばかりで、情報の提供が少ない（福岡県・男性・70代）	PVSH型の危険度通知（GPS連動によるメールサービス）（広島県・男性・40代）
安全な場所は？（愛媛県・男性・60代）	危険な場所を具体的に地名まで知らせて、わが町が危険であると、分かる様にする！（広島県・女性・40代）
雨量をリアルタイムに数字で表示する機能（広島県・男性・70代）	年齢に関係なく一言でわかる言葉を使用して下さい 年がいく程耳目なども悪くなるので…（福岡県・女性・60代）
スマートフォンを使えないのでただただテレビのニュースと町内放送です（愛媛県・女性・70代）	わからない（愛媛県・男性・80代以上）
dボタンの気象レーダーの活用（雨雲の動き、方向、雨量の濃度（レベル付）（広島県・男性・70代）	前年度に1回か2回か災害があった地域。（広島県・男性・70代）
パソコン不使用の為、ホームページを見ることはありません。（福岡県・女性・60代）	自分の地域の積算雨量（広島県・男性・70代）
パソコンがない（京都府・女性・60代）	気象庁のホームページを見る事自体無かった。この様な利用、活用法をもっとPRして欲しい。（広島県・男性・60代）
時系を考察して、最新情報として欲しい（愛媛県・男性・40代）	見た事がある漠然とした記憶で具体的には不明（広島県・男性・80代以上）
？（愛媛県・女性・60代）	専門家の知恵をお借り致したい。（広島県・女性・70代）
危険度により赤、黄色付して表示して（福岡県・男性・80代以上）	ひなんすべきかどうか（どこへ？含め）（広島県・男性・40代）
パソコンを持ってないのでわからない。（愛媛県・男性・50代）	避難場所・経路の表示（愛媛県・女性・20代）
上流の水位、雨量がわかるよう（兵庫県・男性・70代）	ハザードマップがよく、自宅は図表に不明示。黄色の分布図は分かりにくい。（広島県・男性・50代）

V. 巻末資料

細かい更新（時間的に）（福岡県・女性・30代）	避難所の安全度、となりの区や町へのルートなど（避難所の方が、危険度が高いことが多い為）（広島県・女性・40代）
やはりライブカメラでしょう。リアルにみれた方が良い（岐阜県・女性・40代）	分布図の拡大機能（広島県・女性・50代）
河川が今までにないぐらい、水位は上がっていませんか、数十年に一度の水位でしたら、避難してください。（愛媛県・男性・50代）	ダムของ放流情報（愛媛県・男性・80代以上）
積雪量と危険度分布の表示機能（愛媛県・男性・70代）	ユーチューブ等で使い方の動画（広島県・男性・40代）
ホームページがないので解答なし高齢なもので（広島県・女性・60代）	よくわからない。（広島県・男性・60代）
県→市→町→地区というように拡大できれば（広島県・男性・60代）	河川の最大流量と時間雨量で許容可能な数（広島県・男性・70代）
地図が、広い範囲に書かれていて、どこの地図か？わかりにくい。例で、矢野地区の時、大きく、年寄にも見やすくしてほしい。今のは、全々わからない。（広島県・女性・60代）	現在地、自宅、実家、勤務先などの登録（お互いの注意喚起）（広島県・女性・50代）
利用した事ないので、あまり分からない。（福岡県・男性・30代）	防災無線（福岡県・男性・50代）
情報が多すぎる。少なくしたほうがよい。（福岡県・女性・60代）	dボタンだけでわかるようにインターネット未接続で（広島県・男性・70代）
重要地点（道路、公園など）電光掲示板の施設など（愛媛県・男性・80代以上）	この度はダムの放流に頼り暴大な被害が多かった（広島県・男性・70代）
スマートフォンのアプリを作る（福岡県・男性・50代）	気象庁HPをひらいたとき、警告点めつしているとよい（岐阜県・男性・50代）
身近がどうなっているかがわかりにくい。一番必要な情報は自分の身近な情報です。こまかな内容の情報は知りたいです。（広島県・女性・50代）	ネット、スマートフォンがよくわからない（広島県・女性・60代）
わかりません（広島県・男性・60代）	雨量の降り始からの1～40位の積算量又、時当の雨量280ml / 50h 72h（広島県・男性・70代）
地区の避難場所の提示（愛媛県・女性・50代）	ホームページは利用出来ない人が多いと思う（広島県・男性・70代）
テレビでの情報のみ（広島県・男性・80代以上）	スマホで見れる分りやすいアプリ（広島県・男性・50代）
過去の災害実績があれば重複表示（広島県・男性・50代）	わかりません（愛媛県・女性・60代）
すでに災害発生している場所の表示（広島県・女性・30代）	規模の小さな川の氾濫についても知りたい。（広島県・女性・50代）
日頃から防災意識を高める活動が必要（広島県・男性・50代）	くわしい事は知りたいですがくわし過ぎててもかえってわかりにくくなるのではないのでしょうか（愛媛県・女性・80代以上）
1家、はなれた家などで、こまる（愛媛県・男性・80代以上）	TVのdボタンでも見れるようにしてほしい。（広島県・男性・50代）

今現在の状況を細かく（愛媛県・女性・50代）	1～4の質問の資料をつくりそれを国民にアンケートをしてもらい一番見やすいとされた機能をつけるとよいと思う（愛媛県・男性・30代）
より拡大にして、番地まで確認できるといいかな（愛媛県・男性・50代）	危険発生率を予測した分布地図の公表配布。（広島県・男性・60代）
我が家の裏のミカン山の崩壊は表示どころか、誰も知りません。今回の吉田法華津港のミカン山は、以前に知る事は出来なかったと思います。濁流に吞まれ必死で逃げましたが、テレビを信用し、前日に避難すべきだったと深く反省しております（愛媛県・女性・70代）	地図にしてくる。（福岡県・女性・50代）
ネットを利用しないから、わからない。（広島県・女性・40代）	言葉を分かりやすくしてほしい（広島県・男性・40代）
過去の災害発生場所をマップに表示（愛媛県・男性・40代）	数時間後の予想と併記（広島県・男性・60代）
4について数字レベルの具体的な説明、表示。（広島県・男性・60代）	今後の降雨・暴風・高潮等の予測アニメーション。3hr前～6hr後ぐらいの予想アニメーションのかさね合せてほしい。（愛媛県・女性・40代）
高低さが分りやすくする事（広島県・男性・80代以上）	時系列の予測を表示させる機能（広島県・男性・50代）
町名・番地まで特定しひなんマスのレベルも特定をすること。命にかかわるのだから明確に特定し認知させるべき。（広島県・男性・40代）	洪水警報の危険度分布図は見た事がなかった 大体危険度分布図は、自分の地域が危険でなければあまり見ていなかった。（福岡県・女性・60代）
もっと細かく、一軒毎に危険度を示さないと、自分の家は大丈夫と判断する。（広島県・男性・70代）	パソコンが使えません（岐阜県・女性・70代）
通行止めなどの情報、SNSで上がった被害情報（愛媛県・女性・40代）	重なる表示だと分かりにくくなるので詳細の場合は重なる画面でないものもあつたらと思います。（広島県・女性・50代）
「逃げろ」等の具体的な行動指示 避難勧告→指示→判りにくい（広島県・女性・40代）	スマートフォンでないので見れない（岐阜県・女性・50代）
ホームページ等見れるもの自体がない（愛媛県・女性・60代）	

Q10. 最近の大雨警報や洪水警報の空振りについて、あなたはどのように感じていますか／5. その他 具体的に：__

事後説明がない事が不満（広島県・男性・40代）	空振りだから幸いではないか？（福岡県・男性・60代）
天気予報をチェックする事は、日常のルーティーンになっている（福岡県・女性・50代）	不満でもやむをえない（広島県・女性・70代）
（常に用心しておく）気象状況が刻々と代るので空振りも仕方がないと思う（福岡県・男性・70代）	空振りがあるので危険度を低く考える。（広島県・男性・60代）
地域の幅が広すぎて他人事のように。空振りも他人事。（広島県・女性・40代）	河川が対象ではなく、逃げおくれの要因となった（広島県・男性・40代）

V. 巻末資料

自分の命は自分が守る私の信念！！100回逃げて100回来なくても101回逃げて！釜石市唐丹町本郷地区の（津波記憶石）これから地球は規模の大きな災害がいくらでも起きると思う危機感を持たないといけない（広島県・女性・70代）	実際に災害にあえば、空振りが多くても、状況に応じて避難する。（広島県・女性・40代）
空振りが多くても認識（身の危険）してもらうには仕方がないと思います。（広島県・男性・40代）	空振が多くなると当てにしなくなる（ガンバッテ下さい）（愛媛県・男性・80代以上）
空振りであればいいのですが、あまりにも多いと本当に大変な時との区別ができず、判断に困ります。「今回も大丈夫か～」と安心してしまふところもあります。（愛媛県・女性・30代）	野球と一所で空振りは良くないがでも空振回数多い方がいい？（広島県・男性・70代）
空振を気にしすぎて間に合わない方が大変こわいと思った。（広島県・女性・50代）	いまいち理解出来てない（福岡県・女性・40代）
空振りも、仕方ない、神様じゃないのだからでも当ってほしいかな。（愛媛県・女性・60代）	空振りは気にならないが、避難場所に不満がある。（愛媛県・女性・70代）
空振もあるが、不満はない。（広島県・男性・60代）	自然にはかてない。（広島県・女性・60代）
空振りの多さに不満はないが、それに慣れて避難しない人が増えていることに不満を感じています。（愛媛県・女性・20代）	空振りはあつて当然 訓練になるのでよい（広島県・男性・70代）
警報を聞いた事が無い（広島県・女性・60代）	空振りで良かった。（岐阜県・男性・70代）
空振りの方がありがたい（愛媛県・男性・50代）	自分の家に土砂がはいってきたので空振りでも警報は、早めにしてほしいと思いました。（愛媛県・女性・60代）
空振りはあつて当然、災害を100%予ちは不可能。（愛媛県・男性・50代）	空振りは気にならないが、信用は落ちる。（愛媛県・女性・20代）
空振りになれてくるのが気になります（兵庫県・女性・70代）	空振りが減少したとは感じないです。（広島県・女性・40代）
以前は大げさだと不満に思っていたのですが、災害があつてからは、思わなくなりました。（広島県・女性・40代）	空振りは気にならないが、あまりに不安をあおる表現は不満（広島県・女性・60代）
しょうがないと思う。（愛媛県・女性・20代）	空振りが有つても良いと思う（広島県・男性・60代）
75年前の水がいに合っていない所です。（愛媛県・女性・80代以上）	空振りが当たり前になると危機意識が薄れることが心配になる。（岐阜県・男性・50代）
今まで大災害が多発したせいか、大げさな早目の警報が多過ぎて空振りも多かった。（広島県・男性・80代以上）	今回の被災で空振りでもとても大事な事と感じた（広島県・男性・40代）
そもそも空振りという表現に非常に不快感を感じるが、重大な災害に至らなくても不満はない（福岡県・男性・30代）	7月豪雨の経験から、空振りでもよい早め早めに情報を出してほしい。（愛媛県・女性・不明）
今回の大洲市の災害への警報はどのように、どんな方法でされたのでしょうか？（愛媛県・男性・60代）	人だからはずれも…。（愛媛県・女性・80代以上）
夜危険になった場合、今回のように間に合わない。寝ていると情報や外の事がわからない（愛媛県・女性・70代）	仕方ないでしょう不満はあつても（広島県・男性・70代）
何もなくて、ホッとします。空振りではあつても皆に注意をうながすことは大事です（広島県・女性・70代）	実際災害がなくても警報が出る事により早くから心構えができるのであつてなくて良いと思う（広島県・女性・60代）

躊躇すること無く発表して欲しい。空振りであればホットする。(広島県・男性・50代)	空振りもですが日々の天気も気にしています(広島県・男性・70代)
空振りを感じたことはない。警報が出ると子供の学校が休みになるので、空振りは困ります。(愛媛県・男性・40代)	警報の前に雨や風が強い事が多く、発令されてからは、割合静かになる。(愛媛県・男性・40代)
雨の情報だけではため池の決壊等のことまではわからない。(愛媛県・女性・50代)	空ぶりがあつたら良かったと思う(広島県・女性・70代)
細い場所により状況が異なるので判断に困る。(広島県・女性・70代)	空振りで良かった様に考える(広島県・女性・40代)
しかたがないとあきらめている(愛媛県・女性・50代)	ここまで道が寸断されるとは、思わなかった(広島県・女性・40代)
空振りで良かったと思うようにしている(広島県・女性・40代)	大雨ではなくダムの操作によって起きる災害なのでよく考えて欲しい 早くダムを抜きさえすれば被害は起きない(愛媛県・女性・80代以上)
災害が無事が一番良いので空振りでも注意出来るので必要。(広島県・女性・70代)	大した事が無かったとの結果に安ド(広島県・男性・60代)
市の面積が広いため降雨の状況が全くちがっている場合が多いので困る(愛媛県・男性・50代)	呉市と熊野のさかいの為、違う情報が出て恐怖を感じた事がある(広島県・女性・40代)
範囲が広すぎてその分空振りになり、不満を感じず(岐阜県・男性・70代)	空振りは気にせず、もっと早い時期(昼間)に避難指示がほしい(広島県・女性・80代以上)
空振りは良いことと思う様意識の変革をなければならない(福岡県・女性・60代)	空振りでも不満を持たないような情報共有、教育、啓発、啓蒙が必要(広島県・男性・50代)
上記に関係なく、今回の様な事になるとは思わなかった(広島県・男性・80代以上)	良い方の空振りはまったく気にならない。(福岡県・男性・60代)
空振りで良かったと思うようにしている。(広島県・男性・70代)	明らかに自治体の責任回避を背景にした警報ばかりと感じる この状況なら軽微と感じる時でも避難指示が出る。(広島県・男性・50代)
見逃しは絶対だめ。狼少年しかたなし。(愛媛県・男性・50代)	夜中、雨の中をにげる気がしなかった。(広島県・女性・70代)
避難指示等遅い(岐阜県・男性・70代)	空振りで安どする(広島県・女性・70代)
空振りでも情報でも発信して欲しい。(広島県・男性・70代)	避難準備はしていますがなにごともなく空振りで良かったと思います(広島県・女性・60代)
警報が外れる事はいいことだが逆はきつい。(愛媛県・女性・30代)	警報の精度向上を。(広島県・男性・50代)
空振りはいいのですが、あまりに警報がありすぎてよく分からなくなってきている。(広島県・女性・40代)	空振りの方がとても良い 空振りであってほしい。(広島県・男性・70代)
早めに、警報が出た方が安心感がある(広島県・女性・30代)	携帯の警報音が鳴るたびにドキッとします。不安になります。(広島県・女性・30代)
けいほうムシしている方がほとんど。キケンちいきを特定しゆうそうや他手段でまずは「認知」させるべき(広島県・男性・40代)	不満にはなるが、ハズレて良かったと思う。(福岡県・男性・10代)
科学の進歩で恩恵を感じています。関係者の皆様に深く感謝します。(愛媛県・男性・30代)	危険を感じる場所に住んでいない(広島県・男性・60代)

V. 巻末資料

大事が起こらず良かったと思うだけ。注意する事は大事です。(広島県・女性・50代)	空振りは仕方ないと思うが、狼少年的になるのは困る。(広島県・男性・60代)
自分の地域になかった事を本当に良かったと安心する(兵庫県・女性・80代以上)	あまりおおげさにする事はマンネリ化するので注意が薄れる(岐阜県・男性・70代)
したかたがない(広島県・女性・80代以上)	空振りが多いいとも思うが、仕方のないことだと思う(広島県・女性・30代)
あまりにも、あてにならない。(愛媛県・女性・60代)	空振りは仕方がない事だと思う。発信がない方が困る。(福岡県・女性・40代)
空振りには少し不満があるが、安全に越したことはないはないので仕方ないかなと。(広島県・男性・40代)	空振りには気にはならないが、避難情報が出る度にきょうふを感じるの、体には少しよくはない(愛媛県・女性・60代)
空振りで良かったと思う(広島県・女性・70代)	空振りでも、良かったと安心する。(広島県・女性・60代)
避難しないので気にならない(広島県・男性・80代以上)	空振り表現が気に入らない！！あたかも災害が起った方が良い様な表現を改めろ！！(広島県・男性・40代)
空振りに成っても、現在の技術で出来る限り発表してほしい(愛媛県・男性・60代)	重大な災害に至らなかったら安心する(岐阜県・女性・70代)
目も耳も悪いのでテレビ・ラジオもあまりつけてません(山口県・女性・80代以上)	空振りしても被害がなくて良かったと思う。(愛媛県・女性・50代)
全く興味がない。(愛媛県・男性・50代)	

Q14. 土砂災害や洪水、浸水害の危険度が高まった際にメールやスマートフォンのアプリ等で自動的に通知(音やバイブレーション等)を受けられるサービスがあったら、利用したいと思いますか/6. その他 具体的に：__

範囲が精細に指定できるのなら利用したい(そうでないなら自発的に見るだけでよい)(広島県・女性・60代)
・活用の仕方がわからない。・活用の仕方がわかれば利用する(福岡県・男性・70代)
そのアプリの性能をためしてから考えると思います(広島県・女性・40代)
持っているが使用しない仕方わからない(広島県・男性・70代)
エリアメールもあるので混乱するかもしれない。(広島県・男性・40代)
スマートフォン等を持っていない(広島県・女性・70代)
メールをすることが出来ずスマートフォンもない(広島県・女性・70代)
若い人にいつも教わってる(愛媛県・女性・60代)
大きな音でビックリする、音はならない方がいい(福岡県・女性・50代)
メールや通知が届きすぎて重要なものを見逃す可能性がある(広島県・女性・40代)
利用の仕方が分らない 誰でも分かる方法で伝えて欲しい。(福岡県・女性・50代)
テレビでの公開を望む。(広島県・男性・50代)
スマホで大雨警報等出る時に一緒に自動通知されれば良いと思う(福岡県・男性・30代)
その地域を通る家族がいるなどの状況あれば、自主的に見ると思う。高令の方で情報に関心のないケースではアプリを入れると先におしえてもらえて良いと思う。(福岡県・女性・50代)
5は持っているが利用のしかたがわからない(愛媛県・女性・60代)
テレビ情報のみ(広島県・男性・80代以上)
持っていない(広島県・女性・60代)
耳が不自由な為(広島県・女性・80代以上)
ケイタイから音がしますが、見ますが。(愛媛県・女性・70代)

利用したいと思うが娘が電話代を払っているので話にくい。孫が大学生（広島県・男性・80代以上）
機械にうといから（愛媛県・女性・70代）
スマートフォン持っていないので（福岡県・男性・80代以上）
自分で見る 自治体のマイク放送で良い。（愛媛県・女性・50代）
ホームページ等を公開されていても、自身で見る事が出来ない人々のために、テレビ等で特別の報道局で常時放映する事は出来ないでしょうか？若い人は■でしょうが年配には自分では操作出来かねる場合があります。（広島県・女性・70代）
使えない（広島県・男性・80代以上）
情報はテレビ中心のため、もっと簡単にしたい。（愛媛県・女性・70代）
メールは入ります 携帯しかなくスマートフォンは持っていない（話をするのみ携帯を持っています）（広島県・女性・70代）
ガラケーで入手できるじょうほうがあれば（秋田県・女性・40代）
ホームページをみる事が出来ない（愛媛県・女性・70代）
安全な場所にいるのに大きな音が出るのは、自治体だけにしてほしい（広島県・女性・50代）
通知機能あるスマホに変えた（広島県・男性・70代）
自治体の方が信用できる（広島県・男性・40代）
テレビの大雨がふっている所がメニューででてくるのでその中に入れてもらったらみえます。（愛媛県・女性・60代）
常備はしておきたい。（愛媛県・女性・20代）
雨音が激しい時は音は聞こえづらい。光で反応したらいいと。（福岡県・女性・50代）
そのようなサービスが有ればよいとも思う（有っても良いとも思う）（広島県・男性・60代）
どの様に使うのか使い方がわからない（広島県・男性・70代）
けいたい電話の使い方がよくわからない（広島県・女性・70代）
年なので使えない（スマートフォンは有る）（愛媛県・女性・80代以上）
高齢者のため今の携帯についていけない（愛媛県・女性・70代）
スマホに、警報音とか入りすぎて慢性化してる。（広島県・女性・60代）
現在で十分（広島県・男性・60代）
位置情報からの情報かと思われませんが、スマートフォンに設定していないので利用したいが利用できないと思う。（愛媛県・女性・50代）
高令のためひなんのみ考える（広島県・男性・70代）
通知はあった方がよいと思うが熊本地震の時、あまりにたくさんの回数けいたいにあつて、精神的にこわさがつのってしまい、こわさが増したので迷う。（愛媛県・女性・60代）
今回の豪雨では（7月7日、早朝）最期の砦、自治体の防災無線からの通知なく豪雨の『ゴー』という雨音と濁流の『ゴー』という流れる音以外静かな1日でした。個人に伝える前に、自治体に危険さを伝えて下さい。6日の深夜、呉や真備がすでに被害が甚大で大安で起きていたんですよ。寝れずずっと情報を見つめていたんですよ。一つのサイレンも鳴らず結局、土砂災害警戒情報も出ず、停電となり情報を得ることが困難になったんですよ。ケータイやスマホはとってもべんりなツールですが、バッテリー切れや停電となったら、ただのガラクタだと身にしました。（愛媛県・女性・40代）
携帯に情報がはいる 時々。（愛媛県・男性・70代）
民間会社のものをすでに利用している。（広島県・女性・50代）
地震の緊急速ほうのようにどの端末でもアラームがなり、ポップアップすると、ホームページにアクセスするようにしたら良いと思う（福岡県・男性・30代）

V. 巻末資料

Q16. 気象庁が、より切迫性の伝わるキーワード（例えば「命に関わる災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況です」など）を用いた場合、従来より避難しようと思えますか／5. その他 具体的に：

避難先の方が大水に弱い為（兵庫県・男性・60代）	その時になっては、遅いし、外に出るのが、こわいです（広島県・女性・70代）
避難場所がありません（愛媛県・女性・60代）	避難場所と時期の問題（愛媛県・男性・60代）
もっと切迫性のある警報でいいと思います。（福岡県・男性・50代）	1人では避難できない（広島県・男性・80代以上）
正確に確実なものなら信じる（広島県・男性・60代）	避難したくても、避難場所が遠いため、家の中の安全な場所ではない。また、ひとりで、夜とか出ようとは思わない。（愛媛県・女性・70代）
自宅が一番安全（愛媛県・男性・70代）	運転も出来ませんし道路は7月に崩落してて（国道まで）（6ヶ所）通行止め状態。救急車も来れません。（山口県・女性・80代以上）
近所の状態を見て判断する（山や川のじょうきょうを見て）（愛媛県・男性・50代）	この紫色が表示された時点での避難行動は、山間部の当地域の避難路が危険な状態であり、動かない方が安全度が増す。（今年の7月豪雨の体験から）（岐阜県・男性・70代）
H30年7月災害で、真向いの谷が土砂崩れ、私方の谷も、山頂が土砂崩れいっきに二方向から濁流が道路にあふれて、下流にある避難所方向に流れました。結果、この地域は、大水・濁流が流れるので、7月からは、大雨は極めて危険、避難できないと思う。（真向いの谷は、北九州市門司区奥田1丁目（死亡（男女）2名）私方は奥田3丁目地区です。）（福岡県・男性・80代以上）	避難しようと思うが住んでいる所は山間部 避難場所に行くには橋を渡らなければならず判断がむずかしい。（岐阜県・女性・50代）
近所に自宅以外に強固で高い建物はない。自宅はマンションなのでむしろ自宅にいた方が安全。（広島県・女性・60代）	真実に近い通知を（愛媛県・男性・80代以上）
別に死んでもかまわない。逃げない（愛媛県・女性・30代）	避難場所が遠くて足が悪く行く手段がない（福岡県・女性・70代）
避難するより自宅にとどまる方が安全性が高い。立地条件（愛媛県・男性・40代）	今回西日本大雨災害に遭い、道路の両側で山くずれが起り、道路や川が埋まって、避難ができなくなり、孤立してしまった。約一週間避難できなかったのも、食料も電気も水もない状況でした。テレビが見られない中で、PCのみが頼みでした。（愛媛県・男性・60代）
一人なので、自分だけでは避難できない。声をかけてもらったら避難するが、自分からは言えない。（広島県・女性・80代以上）	当町（熊野町）は極地的な瞬間雨量でなく積算雨量の結果ではないか積算雨量情報が欲しい（広島県・男性・70代）
マンションの9Fにいるので様子みるかも知れません。（福岡県・女性・60代）	自治体の指示（岐阜県・男性・70代）

避難場所に行けないし自宅のほうが安全（愛媛県・男性・60代）	TV発信だとどうも現実みを感じないような気がした（日ごろのTVからの影響が非日常的なものだったりしてどこか他人事のような情報と受け取めてしまうけいこうがあるような気がする。）（広島県・男性・40代）
避難したいが避難場所に行くのが困難である。遠方である。行くまでの道路がすでに浸水してしまっている事がある。（車が通らない等）（愛媛県・女性・60代）	自治体の情報を使う（愛媛県・男性・50代）
マンション8Fなので安全高い（広島県・女性・40代）	避難は必要と思うが一人暮らしのため避難できないと思う。（広島県・女性・80代以上）
足のわるい老人がいるので一人では連れださない（福岡県・女性・70代）	避難しようとは思いますが、昨年よりこの伝え方が多くなり判断があやふやに思える（福岡県・女性・50代）
避難できない場所が避難場所になっていて、かえって危険だから、避難しようと思わない（岐阜県・女性・40代）	自分の所は安全だと思うので又はその様な危険にあわないと思っている（広島県・男性・60代）
避難したいがペットがいるため1人だけ逃げる事は出来ない。（愛媛県・女性・40代）	避難しようとしても避難場所が被害に遭うから自宅の二階に避難した。避難する場所がない！！（岐阜県・男性・10代）
家にいる場合は避難しない。避難する道の方があぶない為（岐阜県・女性・20代）	その時にならないと分からない（愛媛県・女性・80代以上）
高い方から2番目でもこの文章ではまだ切迫性が足りない。（広島県・男性・30代）	情報が遅い（福岡県・男性・50代）
避難場所全くありません（愛媛県・男性・70代）	気象庁以外での情報で十分みたい（広島県・男性・70代）
気象庁よりも、身近な市町村、自治体等から云われると本気になる。（広島県・男性・80代以上）	避難しようにも93才で1人暮らし歩行も杖なしでは出来ない 地理的に上り下りゆるやかな坂が多く道巾が狭い（愛媛県・女性・80代以上）
近くの避難場所のほうが安全だと思えない。（愛媛県・男性・50代）	・老人・ペットがいるので家の2階に避難しようと思いません・避難場所にペットやペットの受け入れがされていない（広島県・女性・60代）
避難場所が遠く、途中の道がキケン。（愛媛県・男性・60代）	本家の二階（愛媛県・女性・70代）
身体障害者がおりへたに避難するとかえって危険である（広島県・男性・60代）	ペット（愛媛県・女性・60代）
避難場所が遠く安全に行けない（福岡県・男性・50代）	自分におこるとは思わないと思い避難することちゅうちょすると思う。（広島県・女性・40代）
高令者で目も耳も足も不自由で避難がむずかしい（広島県・女性・80代以上）	自分の判断にまかせる（愛媛県・女性・80代以上）
警報等が発表されるが具体的な場所がハッキリしない、分かりづらい。（愛媛県・男性・60代）	7月の災害の時、テレビで放送されたので外に出たら道路がすでに川の状態で車も歩きも危険と判断し家にいたのでうす紫の時はすでにおそいと思います（広島県・女性・40代）
1人では、心が、大雨、夜はむりです。（愛媛県・女性・70代）	避難所と自宅が近いので避難所へは、しない。（愛媛県・女性・60代）

V. 巻末資料

避難場所へ移動の際、又自治会公民館・学校の位置は川の近くに有り、自宅待機と危険性は変わらないと判断している（兵庫県・男性・60代）	避難しようとは思わない。（愛媛県・女性・80代以上）
それまでににげていると思う（愛媛県・女性・70代）	避難できない（愛媛県・男性・80代以上）
身障者が居るので（福岡県・男性・70代）	家より自分の現在地の危険度で考える（広島県・男性・50代）
避難先の整備・準備状況次第（愛媛県・男性・40代）	自分の場所の状態から判断して参考にする。（広島県・男性・60代）
状況による。雨など目で判断するがぎり、あまりに違いがあると避難しようと思えない。「命」で書かれるより、説得力がある内容をテレビやラジオで説明してほしい。（愛媛県・女性・30代）	

Q21. あなたが、ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域等に居るときならば、どうしますか／5. その他 具体的に：__

野性の感で避難する（広島県・男性・40代）	1人では避難できない（広島県・男性・80代以上）
避難場所がありません（愛媛県・女性・60代）	自宅がマンションなので避難しない（福岡県・女性・30代）
年輩、独り身故近隣人情報・援助に頼る以外にない。2度目の避難場所公表も水害に会っており年寄りの独り歩行は困難。公表に疑問を感じる。今回の無事対処は近隣老夫婦の援助大（個人的に自衛隊情報か？）（広島県・男性・80代以上）	Q14、16に書いた通り、なかなか避難しにくい場所に一人で住んでいるため、家にいると思う。（愛媛県・女性・70代）
わからない その時に決める（広島県・男性・60代）	避難は無理（山口県・女性・80代以上）
避難先の備品等が気になり、すぐには避難できない（愛媛県・女性・50代）	その時の状況による。（愛媛県・男性・50代）
自分で判断して避難すると思う。（福岡県・男性・60代）	本当は避難したくない。我家の安全であろう場所とおりたい。（広島県・女性・70代）
色んな言い方が有るがかんたんな数字で表せば良い（広島県・男性・70代）	迷ってしまう。高齢なためすぐに動けず、その時の体調によっても判断がかわると思う。（福岡県・男性・80代以上）
家が安全だと思う（愛媛県・男性・60代）	避難場所に行くまでが危険（岐阜県・女性・50代）
4. で避難しないかもしれない（広島県・男性・70代）	「大雨特別警報」が出る前でも雨の降り方がひどければ避難する（広島県・女性・30代）
避難したいが、仕事があり無理だと思う 会社が休みとなる社会となればいいのに（広島県・女性・40代）	大雨特別警報が出て、危険が迫ってない時は、近所が避難しているか、又、消防団の呼びかけ等に応じて判断する。（空振りが多いので）（広島県・女性・40代）
自宅以外避難場所なし（愛媛県・男性・70代）	年令的に無理だと思う（愛媛県・男性・80代以上）
大雨特別警報が出た時には避難所へ移動できる道がない（愛媛県・男性・40代）	土砂災害、洪水災害のハザードマップが作成されていない（広島県・女性・60代）

「警報」「特別警報」も受け入れていますが、山間部は（準備勧告）の段階で避難しなければ危険を伴うことがわかりました。テレビ・ラジオで情報を見聞します。（福岡県・男性・80代以上）	地区全員が避難する場所はないと思う（広島県・男性・80代以上）
大雨警報+危険度分布を見て避難するかどうか決める（広島県・男性・60代）	1人でいるのでどうしていいかわかりません。（福岡県・女性・70代）
山、川から離れているから（兵庫県・男性・60代）	時間帯等、ケースbyケースにもよるが、避難指示が出るまで待つてしまうこともありそうだ。（広島県・男性・60代）
避難したいが避難場所に、車を駐車出来ない（広島県・男性・60代）	今回は道路が川になり、道が使えない中、歩けない母親を運ぶすべがなく、不安を抱かせないよう、寄り添うしかなく、避難どころではなかった。（愛媛県・男性・60代）
避難場所へ行くまでの道路は危険で遠いため、自宅での垂直避難になる。（愛媛県・女性・60代）	避難を考えるが、指定場所まで行くのに危険で（山奥の為）もう一度市民皆で考えた方が良い（岐阜県・女性・50代）
消防団活動に従事（愛媛県・男性・40代）	自治体の指示（岐阜県・男性・70代）
一人では避難できないので、わからない。（広島県・女性・80代以上）	避難所に災害を受ける不安がある（愛媛県・男性・60代）
土砂災害は常に心配だが、自宅より避難場所の方が低く、行くまでに橋を渡るため行くのをためらう。（兵庫県・女性・50代）	どこが一番安全な所か全くわからない？（愛媛県・女性・60代）
地しんでない限り高い所にいるので（マンション）様子みると思います。（福岡県・女性・60代）	「大雨特別警報」が出たとして、自身に危険が及ぶまでに避難しようとする要因・動機付けになるほどの信用度がない。（愛媛県・女性・20代）
ハザードマップで安全な所が今回くずれた（愛媛県・男性・50代）	今回、7月6日の災害を見たから今後は1にする（広島県・女性・20代）
その時の雨の状況で判断（愛媛県・男性・50代）	危険マップの作成にたずさわった故諸々の調査しなとくの上早めに避難する（広島県・男性・80代以上）
Q16と同じ困難である（愛媛県・女性・60代）	今回は同時に各地で災害が発生し、テレビからは必要な情報が得られなかった。土砂災害警戒区域等に居るが避難する時間がなかった。（広島県・男性・50代）
雨は危険が無い場所だから（兵庫県・男性・70代）	わからない〜。（愛媛県・男性・80代以上）
マンション8Fの為、浸水の心配ないので、家で待機するほうが安全。（広島県・女性・40代）	以前は3.でしたが、現在の気持ちは1.に近いです。（広島県・女性・40代）
足のわるい老人いるため一人では動かせない（福岡県・女性・70代）	大雨特別警報もですが自治体の出す避難指示とかで（広島県・女性・70代）
避難場所に避難するのが危険だから避難しない（岐阜県・女性・40代）	発令前に危険を感じれば、避難を考える。（広島県・男性・40代）
家が一番安全（山間部なので）（岐阜県・男性・60代）	避難時のリスクも考えると思う。（広島県・男性・40代）
地形が複雑なので、その時々に応じて行動する必要があると感じている（愛媛県・女性・50代）	足腰が悪いので避難出来ない（愛媛県・女性・80代以上）

V. 巻末資料

避難所に行きたくても交通手段がない。(愛媛県・女性・40代)	危険地域に住んでない(広島県・男性・80代以上)
自宅に居る場合は避難しない。避難する方が危険(岐阜県・女性・20代)	足が悪い為一人では避難出来ない(広島県・男性・80代以上)
居住地域の状況を自分で判断して避難する(愛媛県・男性・60代)	7月の豪雨経験から、子ども2人を連れて避難場所に行く方が危険なため、避難はしないと思う(広島県・女性・20代)
大雨の場合行政の放送が分からなかった(停電もあるし)(広島県・女性・60代)	仕事中は、職場に避難命令をしてほしい(福岡県・男性・40代)
現場を確認して避難する。(愛媛県・男性・60代)	回りの状況を見て一行動します。(福岡県・女性・70代)
ペットがいるから(福岡県・男性・60代)	動物(犬)がいるため避難するかどうかでまよう。(広島県・男性・60代)
となりの人に合す気持(愛媛県・女性・80代以上)	河川山の状況、雲などみて参考にする(広島県・男性・70代)
ペットと同行が不可能なので(広島県・女性・60代)	外に出るのが、危険と判断したら、自宅で待機しておく。その時の現状にあわせて、行動する。(広島県・男性・40代)
場所まで行けない。(広島県・女性・60代)	今年の大水で避難した時、水にかこまれたから、あまり、ヒナンしたくない(岐阜県・女性・70代)
実際に目の前にそういう状況がないと実感できないので避難はしにくい(広島県・男性・60代)	避難しない。(広島県・男性・60代)
自宅から避難場所の距離にも関係する。また、避難場所の環境にも関係すると思う。(広島県・男性・50代)	老人・ペットの受け入れが良くなったら(広島県・女性・60代)
私共は吉田町に家があります。どこに避難すれば、いつ動くか判断に迷いがあります。(愛媛県・女性・70代)	状況によっては、避難しない選択もあると考えます。(広島県・男性・50代)
避難所迄が危険で早目すぎる位でないと避難出来ない。(愛媛県・女性・70代)	避難が難しいので(広島県・女性・40代)
避難場所より自宅の方が安全だから(愛媛県・男性・40代)	地域の防災無線を参考にしている(福岡県・男性・60代)
避難場所が整備されていない。(広島県・女性・60代)	周囲の状況を見て決める。警報に頼る気はない。(広島県・男性・50代)
近くの避難場所が自宅より安全と思えない(愛媛県・男性・50代)	ダムの下方に家が居るので近くのダム放流情報が一番気になる。7/7の時にも家、店共に水害にありました。大雨警報も大事だと思いますが、この辺ではダムの放流の方がもっとキケンです。(愛媛県・女性・60代)
避難場所が遠く、途中の道がキケンである。(愛媛県・男性・60代)	時と場合による。会社に居たら個人判断は出来ない(広島県・男性・50代)
身体障害者があり、なかなか避難することが出来ない(広島県・男性・60代)	避難する場所が近くにないので家の二階に居る(岐阜県・女性・50代)

多少地域差が有るので、警報は参考にする。早く避難する場合と避難しない場合が有る。(福岡県・男性・60代)	足が悪く雨の中を出るのはむずかしい(広島県・女性・50代)
当団地は浸水、土砂災害地区ではないため(広島県・女性・70代)	避難場所へ行く迄がきけん(広島県・女性・70代)
その時にならないと判らない(広島県・男性・60代)	安全と思われる所が無い 避難所まで道中が危険な所(山崩、河川が近い)を通らなければならない。(岐阜県・男性・60代)
「大雨特別警報」が出たとしても避難する事が危険だと思ったら避難しない(広島県・女性・50代)	ここに避難すれば安全だという所がない限り早めに避難はむずかしいと思う。(愛媛県・女性・50代)
自治会に避難場所は無く指定されている避難所は遠く特に夜は避難は出来ない(広島県・男性・70代)	地域に出される避難勧告の様子をみて避難する。指示←必ず避難する。をめやすにしている。(福岡県・女性・40代)
避難所に安全に行くことができない(福岡県・男性・50代)	今回の豪雨で避難場所も浸水したため特別警報前後であっても道路も通行止めになっていたため動けず次からも2階くらいしか行く場所がない(愛媛県・男性・30代)
大雨特別警報他の人から教えてもらわないとわからない自力で避難はむずかしい(広島県・女性・80代以上)	家にいる方が安全であるようなら避難しない。(広島県・女性・40代)
高齢1人暮らしのため避難できない。(岐阜県・女性・80代以上)	避難することができない(愛媛県・男性・80代以上)
その時々状況判断による(愛媛県・男性・60代)	1. に丸をしたいが、会社におり、上司が承認しない場合、勝手に逃げることはできない。今回も会社の所在地から4日間帰れなかった。(道路の分断)の為(会社に強制できるように法律で決めてほしい。)(広島県・女性・30代)
1人でむりなので、一生に避難してほしいです。(愛媛県・女性・70代)	田舎なんで避難場所まで行く事じたいが危険(広島県・男性・50代)
避難場所へ移動の際、又自治会公民館・学校の位置は川の近くに有り、自宅待機と危険性は変わらないと判断している(兵庫県・男性・60代)	避難のタイミングが分からない。子どもが小さいので大変だし…(愛媛県・女性・40代)
3日前からわかるのでは早く老人など言えばいいのでは(広島県・男性・60代)	避難場所へ行くのに危険である。(岐阜県・男性・60代)
二人共に80代足が悪い為垂直避難します。(広島県・男性・80代以上)	地域的に避難の必要性がない(福岡県・女性・60代)
避難したくても一人では出来ない(福岡県・女性・80代以上)	・家の周囲にすぐ助けてくれる人達がいらない。・自分の家は、安全だと加心している事が多。(福岡県・女性・80代以上)
単独の情報だけでは避難決定できない(愛媛県・男性・40代)	参考はするが、自己判断をする(福岡県・女性・40代)
高台に住んでいるので避難のしようがない(福岡県・男性・80代以上)	高台の為下に下りたら逆に危険。(広島県・男性・80代以上)

V. 巻末資料

警報を待つことなく自己判断で行動する（広島県・男性・60代）	避難しない。（広島県・男性・80代以上）
被害でてから大雨特別警報（大雨警報）が出ても避難できない（愛媛県・女性・30代）	降り方や時間など色々を考えて行動しようと思っ ていますが、家族内でも考えがいつも同じとは限らず、ジ レンマを感じる時もあります。でも情報だけは正しい 情報を望んでいます よろしくお願ひします。（広島 県・女性・50代）
浸水しても水が停滞しているだけで生命のキケンはないので避難はしない。（愛媛県・男性・70代）	今回、直面した災害で、田舎は、どこに避難しても同 じだ。（愛媛県・女性・60代）
・介護している病人がいれば逃げれない。・実際、避難所へ行くまでの道が冠水して通れなかったりしたので外へ出ることも危険と思う。（広島県・女性・50代）	該当するすべての地域が危険というわけではないので、周囲の地形等で、判断する。（広島県・女性・50代）
地域の消防団の方に気をつけていただくので。（愛媛県・女性・80代以上）	1人ぐらしてすぐに避難できない（岐阜県・女性・70代）
地域の降雨予報や、地形から判断する。（広島県・男性・70代）	パニックになってどうしていいかわからない（広島県・女性・50代）
近隣と相談して決める（広島県・女性・60代）	時刻や家族状況（子どもや老人がいる、いない）や天候の状況と警報とを併せて鑑み避難をするつもりです。（広島県・女性・40代）
自宅が高い建物で安全だと思うので（広島県・女性・40代）	マンションなので避難しないかもしれない。（広島県・女性・40代）

Q23. どのようなことでも結構ですので、防災気象情報に対するあなたのご意見・ご要望があればお聞かせください／自由回答

防災気象情報は、市民と地方自治体と同じ感じ方をしなければ、生かされない。（避難所の設営は市民ではできないため。）全て自己防衛の意識を高める（広島県・男性・40代）	福岡県朝倉市杷木に住んでおります。九州北部豪雨では、私自身は被害に遭っていませんが、大変怖い、不自由な思いをしました。しかし、この経験を通して、どこに住んでいても、誰でも被害者になり得ると感じました。これは、本当に！！！全ての人にわかってほしいですが、皆さん、意識が低いように感じます。一番最悪のことを考えて行動してほしいです。また、その地域に長く住めば住むほど、変な自信をもち、“大丈夫”とひなんしない方も多いと感じました。（福岡県・女性・30代）
この地区で、生まれて、80年余り永住していますが地区を辞める、会合のば、発言した。こんな総代には、人権学習道徳を強制的に学べきです 残りの余生が、嫌です（兵庫県・男性・80代以上）	警報が「空振り」となることが多い。→この結果、確率はずれてくると今回も大丈夫ということで避難しなくなる。災害の責任のがれに、警報遅れにならないようにちゃんと出していたという行政の考えか？（小・中・高校）警報がでると土・日曜のスポーツ行事は中止になる 中止で太陽が出てる→そのしわ寄せははかり知れない。（広島県・女性・70代）
天気予報をみて2～7日後の行動予定を決めている。しかし予報が外れても気象庁は反省もない。公表する以上は責任をもってやるべきであり、外れた場合何か反省でもしているのでしょうか？（兵庫県・男性・60代）	気象情報いつも見えています。充分参考になり感謝しています ありがとうございます（岐阜県・不明・不明）
老人二人暮らしですのでホームページ等で見る事が出来ません	自然災害ならともかく、人工物（ダム）の操作ミスには対応はむ

<p>テレビの普通の放送で詳しく見る事が出来ればと思います 僻地でハザードマップ等目にする事もなく7月の豪雨で裏山が崩れ半壊と云う目にありました。消防等の指示もなく危険区域と云われた事もなくイキナリの土砂災害で只々忘然とする事この上なしです テレビが唯一の情報源ですので地区地区を細かく知らせて戴けると幸甚に思います。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>づかしい！旧建設省、その他の省庁も、もうすこし国民の生命、財産を絶対守ると言う使命感がかんじられない。(愛媛県・男性・60代)</p>
<p>これからも異常気象が続くことが予想されていますが、正確な情報を迅速にお願いします。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>・NHK天気とNHKデータの予想がちがう時が多くてわからない？(愛媛県・男性・60代)</p>
<p>天気予報や台風情報は、毎日よく見るようにしています。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>インターネットが使えない高齢者が多いのでインターネットの方にもわかりやすくしてほしい(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>今回床上浸水の被害にあったので警報には今まで以上に注意を払うようになりました。それまでは、大雨特別警報以外の時は、無頓着でした。経験しないと実感できない弱さがあります。気をつけて見るようにしたいと思います。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>☆に住んでいるが、周辺地域で今年は指定外区で死亡事故が発生した。自宅周辺は昨年までに4年程かかって工事を行い完了したが、個人的にはその必要性を感じていず、請願もしなかったが、町内で声の大きい人間が主導して工事が行われ、自然破壊がされたと思っている。工事を行う前に、キチこと優先順位を調べてから、実施すべきではないか。(むしろ、個人的に危険と思っている場所は担当者に伝えても、住民請願がないと難しい、と言われ放置されている。)(福岡県・男性・60代)</p>
<p>・被害に会って以前より気象について気をつける様になった。(福岡県・女性・70代)</p>	<p>災害は、思わぬ所におきる場合があります。西日本の場合、考えられない場所が大きな災害にあったりしています。住民の1人1人が、責任をもって、考えていく事が大切だと思いました。(愛媛県・男性・40代)</p>
<p>大雨の警報はからぶりでも良いので発表して下さい。(福岡県・男性・70代)</p>	<p>テレビなどの情報は、停電になった時、全然情報が入らず不安になりました。ネットに、もっと詳しい情報を、順次アップして欲しいと思いました。(愛媛県・女性・50代)</p>
<p>積極的に取りに行く情報としてはありがたいが、それが困難な時もあるので、アプリ等の普及をお願いします。(愛媛県・女性・50代)</p>	<p>1、50年前に墓所が流れた。3、20年前に公園が流れた。5今年住宅が流れた。2今年墓所が流れた。次は今までなかった、谷が土石流になると思う。(広島県・男性・70代)</p>
<p>その時々で全く違うので、大変むづかしいと思いますが、思うのは、年令的に、ホームページだの、ハザードマップなど、こむづかしい文章では判りにくいので、迅速に簡素に、お年寄りにもわかりやすいのがいい。今回のアンケートは専門用語が多すぎて判りにくかった。(岐阜県・男性・60代)</p>	<p>我が家は海側にあります。今回の西日本豪雨で私達が避難した場所は自宅2階です。一番近い避難所は山、川が近くにあり逆に不安だったこと今までこんなひどい雨にあったことがなくまさか土砂崩れ浸水等起きるなんて思ってもみなかったからです。今後も自宅2階へ避難を考えてます。川沿いにある避難所そこの行くのが怖いし本当にそこが安全なのか…疑問に思います(広島県・女性・40代)</p>
<p>自宅から避難所が遠方なのでなるべく早目に避難するように心掛けたい(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>7月6日の豪雨で借りてた駐車場が土砂くずれで全滅しました。幼児が3人いる為雨が降るたびに怖いです。前の川はちょこちょこみてたがとなりのトンネル下の川が氾濫してたのは気付かなかったです。車を出した後に土砂くずれがおきたので車にはししよはないですが家族5人で車を出した時に土砂がくずれた事を考えるとぞっとします。命の危険を感じます。玄関を開けたたびに毎日土砂くずれを見るのは精神的にもきついし引越したいぐらいです。二度とこんな豪雨は経験したくないです(福岡県・女性・40代)</p>

V. 巻末資料

<p>年々今までにない「大雨」や「強風」や「雨不足」などと異常気象が多く起こっていると思います。雨にしても側溝があふれたことなどなかった我が家も今年は3回ほどあふれ納屋などに水が流れこみました。このように初めてのことが起こっています。正確に情報を知り安全にしたいと思います。(兵庫県・女性・60代)</p>	<p>災害があっても県や市は何もやってくれません(福岡県・男性・70代)</p>
<p>人の助けをかりる迄は無いが足腰に問題が有り外部避難所に行くには全て土砂危険区域内を通行(歩行)しなくては行けないため、自宅の二階に避難する方が多い。今回もその様にした。よく日外部避難所に行った。(広島県・男性・70代)</p>	<p>常にテレビでのニュース、天気予報e t c. みているが、上流に大きなダムが2つもあり、又、三つ目が出来ようとしている。交流がいくつもある肱川であるのに、ダムの放流の仕方が常に心配である。大雨や地震等によって決壊する事もあり七月のようにいちどに大水になる事を思うと、ここに住まなければならない自分がつらい…。!!「うつ」になりそうである。(愛媛県・女性・70代)</p>
<p>気象庁のホームページなど使い方が分かりません テレビでの知らせが一番良くわかります。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>ここに住んで50年を越しましたが今まで、直接被害をうけていないのでこの場所を離れて避難することは全く考えていない、雨風がさけて通る、不思議な所です。(福岡県・男性・80代以上)</p>
<p>「大雨特別警報」等の発令が、ケイタイ電話等にエリアメールで送られて来た時には、すでに河川のはん乱が行っていた事もあります。大雨、台風等で大きな自然災害が予想される場合は、空振りでも良いので12~24hr前に一斉に注意喚起の連絡をしても良いのではないかと考えます。Q18の図などが前もって送られてくると、大変参考になります。(愛媛県・男性・40代)</p>	<p>防災気象情報は、とても大事だと思います。よっぽど(よほど)のことがないと、なかなか避難しない人の方が多いと思います。避難してみても…安心して過ごせますが、避難場所で過ごすことはけっこうしんどい(疲れる)と感じました。(愛媛県・女性・50代)</p>
<p>88才の男子、広島市安芸区矢野東7丁目バツ1 去年春、介護施設で家内を送り此の度の災害に合うも高台にて間一髪何事もなく過せた。前面の老夫婦(男性・病院務め)のお蔭で食事にありつき、無事現在を迎えている。家内■になる。せいしん的に大変だった。明治時代に災害にあうも認識薄く、災害の爪あと残り言葉にならない!(先祖)政府に1日も早く処置して欲しい。親戚に大臣もおもろが何んにもならない!新■にていぼうの土石について欧州状を参考に提案したが、旧態依然では何んにもならない!(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>町の避難指示が出たら町民体育館か親の家に子供達が来ます。(広島県・女性・70代)</p>
<p>・場所、地域によって違いがあるので一番に地元の連絡なり放送等が一番大事(特に老人が多い)(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>7月6日以降、気象情報は気にする様になった。空振りを気にする必要はないと思う。どの様に個人が判断するか、情報を多く発信してほしい。(広島県・男性・60代)</p>
<p>今年の7月に被災しました。早目の避難で人的な被害はなかったのですが家は全壊でした。早目に避難できたのでまわりの方に迷惑がかからなくて良かったと思っています。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>私の町内は二つのダムにかこまれています。特にダムの関図には気を付けてほしいです(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>広島県はまあ安全な場所と考えていたが考えが甘かったと思っている(広島県・女性・70代)</p>	<p>今回の様な水の出ようは60年住んでいますが初めてです こんな時こそ公報で呼んでもらいたい 大きな声で呼んでほしいサイレンも音らしてほしい早やめに(岐阜県・女性・80代以上)</p>
<p>全国の天気予報台風情報で日本を大きく分けている為情報提供に不満を持つ「四国地方」を四国山脈で分けて情報を流してほしい例えば南四国北四国とか台風時に特に必要だと思われる(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>気象情報は都会の人々も、もちろんですが我々第一次産業に携わる者にとっては特に必要な情報ですので、今後も出来る限りの正確な情報提供をお願い致します。(愛媛県・男性・60代)</p>

<p>警報の出る前に大雨が降った事がありました警報は早めに出してもらった方が良いと思います空振りでも結構です(愛媛県・男性・70代)</p>	<p>台風情報をはやく更新して欲しい。(愛媛県・女性・10代)</p>
<p>・スマホを持ってなくインターネットもしてない場合どのように情報を入手すればいいのですか。・ホームページで確認できるとしてはいますが確認することは出来ません。(広島県・男性・50代)</p>	<p>今年の夏以降、今までに経験した事のない程の気象のおそろしさを体験しました。その度に正確な情報を求めて色々なサイトやテレビのdボタンを何度も検索したものです。これからも、いち早く正確な情報を提供していただけたらと思います。(愛媛県・女性・40代)</p>
<p>NHKで何回も御願います(兵庫県・男性・80代以上)</p>	<p>この度の7月6日の豪雨災害では、近所の方がたくさん亡くなられました。ハザードマップでレッドゾーンとわかっていてもそれまでは大丈夫だろうと思ってしまっていたのですが、6日夜異常な音であわてて避難しようとしたのですが道が冠水し通行できず初めて命の危険をかんじました。私達は何時間もかけてにげましたが、近所の方は亡くなった方もたくさんいて、今回の事で避難は早めにする事の重要性がわかりました。今後は、情報を積極的に集めからぶりでも早めに避難しようと思がけていきます。そのための情報をたくさんいただけたらと思います。(広島県・女性・40代)</p>
<p>・気象庁のホームページが変わっていることを知らなかった・またQ18のような図にたどりつくまでの方法がわかりにくかった・テレビのdボタンで気象庁の情報が入手できるといい(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>防災無線が家の中ではきこえません 夜だと外に出るのは危険です。(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>マップは老人にもわかりやすく大きく読みやすく書いたものがいいです。地域の自治会長さんの判断・連絡がたよりです。(愛媛県・女性・80代以上)</p>	<p>・避難所の電気がなくては状況が分からない・避難所が安全か?(愛媛県・男性・50代)</p>
<p>たつき注意情報がよく流れるが、本当に発生しているのか?山間部に住んでいるので不要な情報に感じる。(岐阜県・女性・30代)</p>	<p>大雨の後上がりそのに成ってから警報が出る場合が多い(愛媛県・男性・60代)</p>
<p>台風の予報(予想進路・台風の規模(例強い・特に強い・猛烈とか風速等)はより具体的であるが集中豪雨線上降水帯のような大雨も台風の進路のように事前に風・雨・雷等の規模を示しながら予報を出せないか?!台風より被害が大きいののに台風のような迫り来る恐怖感が集中豪雨・線上降水帯にはない。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>避難警報と避難指示の区別が理解しにくい。(広島県・男性・70代)</p>
<p>常に最悪の事態を想定した上で情報をいかに早く伝達するかが重要だと思う(広島県・男性・50代)</p>	<p>山間部に住む者(老人)は車もなく、近所も遠く、避難は無理です。(山口県・女性・80代以上)</p>
<p>ダム放流で被害が拡大した地域があった。気象情報と、そのような(ダム放流、避難指示等)行政情報が同時に確認できる仕組み作りを「主導的に」すすめていただきたい。(兵庫県・男性・60代)</p>	<p>近所で災害があり、避難についてとても考えさせられました。今まで以上に警報を注意して見るようになってはいますが避難すべき時がいつがよいか未だにまよっています。7月の警報の時避難しようかどうかどうするか家族で別れてしまいました「すぐに避難して下さい」と出ないかぎり避難しない人が多いと思いました。(広島県・女性・50代)</p>
<p>お世話になります 神様以外正確な予報出きません。自分が被害者にならないため早く避難スルベキと思います。(広島県・男性・</p>	<p>災害が起きた後の対応で重機類の調達が遅れる場合と通行不能になる場合がある為レンタル業者や自衛隊の重機投入がスムー</p>

V. 巻末資料

<p>80代以上)</p>	<p>ズに投入出来る様へりでの輸送やレンタル会社、建設業者への重機借入が出来る対応がほしい。(愛媛県・男性・60代)</p>
<p>自分の住んでいる所でこんな災害が起るとは思ってもいませんでした。何日か降り続いた雨が豪雨になり恐ろしい力を持って大地をこわして行きました。これからはこんな被害に合わない為に情報をしっかり入手する様にしたいです。(広島県・女性・60代)</p>	<p>前は川裏は山と昔からの家にすんでいます 水は■はないと思います 山くずれは時にはあるかと思えます いわの山はだに木ははえています この前の災害の時台風の時電気と水道がとまり風呂とトイレオール電化でしたので不自由しました(岐阜県・不明・70代)</p>
<p>私の住んでいる所も今年7月水害にあいました。水がなく大変困りました。支援が早くうれしかったです。自衛たいの人にはとてもお世話になりました。ただ地域の放送が家の外に出ても聞こえずらかったので不安でした。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>予防的な事も大切だが、実際に災害が発生した際の状況が今回の西日本豪雨では必要な情報が伝わらなかった。そちらにも力を入れてほしい。新聞社のヘリで災害がはじめてわかる状況では気象庁の存在意義がないのでは。(愛媛県・男性・50代)</p>
<p>マップや図で示されていても実際に身体で感じて初めて行動に出ると思う(広島県・女性・70代)</p>	<p>今回こちらの地域で特別警報が出たのは多くの犠牲者が出てから1日以上たってからでした。なんと特別警報のむなしいことでしょう…「特別警報」→命の危険という感覚が存在するようになってから警報レベルが少し軽く思われる面もあるかもしれませんが それを考えつつ自主判断に責任を持って行動せねばと思います(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>気象庁のアプリはないのでしょうか？(広島県・男性・60代)</p>	<p>気象情報の利活用は、命に関わる問題だと思っているが、「いざ鎌倉」と云う時に行動が仲々伴わず、そちらの方が少々心配である。(年寄りや体の悪い人)。(福岡県・男性・80代以上)</p>
<p>危険度の大小関係で、紫よりも赤の方がよりインパクトが強いような気がするので最大色は赤の方が良い。(福岡県・男性・60代)</p>	<p>すぐには行動を起さないのでも早めに周知してもらえれば避難等の準備ができる。(愛媛県・男性・50代)</p>
<p>警報が発表される時刻を予想して表示するのはとてもありがたかった。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>警報の発表がおそい。雨はその前に降っている。(愛媛県・男性・70代)</p>
<p>気象情報が充実しても、自分がいる場所がどの程度危険なのか、ということがわかっていないと正しい判断ができない。家から出ないでいるのが一番安全、という場合もあるし、避難場所で体調をくずすおそれがあるという人もいる。一律に「早めに避難を」といわれても、あまり効早がないのではないか。(広島県・女性・60代)</p>	<p>昭和42年7月豪雨で呉地方はガケ崩土石流により大きな災害をうけた。この時は今の様な情報もなくなすすべもなかった。人間はもっと気象に気をつけるべきであるが50年たつとわすれてしまう。今もっと人間の心にドンとひびく表現を使って喚起させよう！！今は気象との戦争が始まったのである。(広島県・男性・60代)</p>
<p>「避難指示」や「避難勧告」という言葉や基準が高齢者には、理解しにくいと思うので、もう少し理解し易い言葉に変えたらと思う(広島県・男性・40代)</p>	<p>私は両股関節が悪い(身障者手帖) 配布されてから常日頃より要注意。特に年令的や一人暮らし内科的に(心筋梗塞)の診断等々にて身边にはリュックサックを身近に準備していますが時には忘れても…※今年は特に奥田地区私の近くにて災害にて亡くなられたご夫婦が災難に合いました知人の方々から連絡にて声をかけて下さり嬉しかった事と先ずは安心でも日頃よりマップに目を通う事には注意しております。(福岡県・女性・80代以上)</p>
<p>住んでいる区の中でもかなりの山があったり、住宅街があったりするので、地図上で現在地の状況が色分布で示されるのはとてもわかりやすいと思う。市からの防災メールがすごい数で入ってくるので、区単位ではなく町単位で数箇所の登録ができるようになれば良いと思う。(広島県・女性・40代)</p>	<p>私のように高齢者はホームページ等は出来ないでテレビは常に見て判断して行動している。又市役所からの放送が大切であると思います(愛媛県・女性・70代)</p>

<p>独居老人です。スマートフォンなど持っていないので不安です。TVやラジオの情報だけがたよりです。(広島県・女性・80代以上)</p>	<p>いろんな情報を共有できたりしても結局は自分の決断という事が今回の西日本豪雨で思った。今回は命は助かったが今後はどうなるか分からない時代だと思う。私らは特に宇和島市古内町の住民なので初めての経験だった(愛媛県・男性・40代)</p>
<p>温暖化の影響でどこにでも起き得る災害になっていると、西日本豪雨でよくわかりました。自分の命は、自分で守ることができるよう防災気象情報をしっかり心に留めておきたい。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>携帯電話が使えない状態になり主人達の消防集合も近所の避難連絡も満足に出来なかった。防災無線もわからなかった。(愛媛県・女性・40代)</p>
<p>今回災害にあつていろんな形で情報は早めにほしいと思いました。(広島県・女性・50代)</p>	<p>自己判断をもっと呼びかけるべきと思います。(岐阜県・女性・30代)</p>
<p>だれがみても、わかりやすいグラフや表であらわしてほしい。避難をするタイミング、判断がむずかしい。地域や個人の考え方などもあるが、それらの基準ができるとういと思う。また行政との連携、防災関係の連携、それらが、ひとつになって対応準備できるシステムが必要。「情報からすばやく実行にうつせるシステム」(広島県・男性・60代)</p>	<p>防災気象情を度々気にしてTVも見る事にしていますが、浸水のおそれがあるとなった時点で車や機械の避難を始めると、雨の中を行ったり来たり移動するので、防災無線を頼りにしますが、今回、危機感のある放送だったらしいですが耳に入っていないのが残念で、結局何をしても記録的な放流量で、浸水速度も早くて“まさか”の出来事でした。上流での雨量とか予想されたら、その旨も下流への影響を速やかに伝達していただきたいです。(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>7月7日水害において昼前後のTV NHK放送で肱川(鹿野川ダム)の放流情報のテロップが他に比べて、出ていなかったとの声があります(老人)特に老人でもわかりやすくTV(NHK)は公平にテロップを多めに流してほしいと思います。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>1. テレビのニュースの時間帯と町の防災放送の時間がたびたび重なりどちらも聞けない時があります2. 避難場所がミカン山(畑)になっているが山や畑が一番キケンと思う。7月の雨でミカン山も畑も流水が多くあった。(愛媛県・女性・70代)</p>
<p>・正確な情報を広域で時間別に取得できる仕組みが欲しい。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>・避難するタイミング、公民館等に避難しても人が余りきていない時等が判断がむずかしい。(福岡県・男性・60代)</p>
<p>老人には書いてある事がりかい出来ない事が多い(愛媛県・女性・80代以上)</p>	<p>◎高齢者(70、80、90代)の人々に「ハザードマップ」を日本語に訳したらと聞いて即座に正確に答えられる人が何人いるだろうか?誰に気兼ねして英単語である曖昧模糊の「ハザードマップ」と言う言葉を使用するのか理解出来ない。日本語で「災害発生予測地図」「災害発生危険地図」等、日本語を使用すべきでなかろうか。(広島県・男性・70代)</p>
<p>私も周辺には、パソコン、スマートフォン等の利用をする方が少ない為、テレビ等での情報が大切であると思います。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>・今回、自分が災害にあい、倉庫と仕事道具すべてをうしなって今までどこか他人事だったので反省してます。少しずつでも勉強して災害に強くなりたいです。(愛媛県・男性・50代)</p>
<p>高齢者には、良く解らない。解かりにくい。(福岡県・男性・70代)</p>	<p>今年7月の水害被害では、テレビにて情報を得ていたが、その日のうちに映らなくなり、ラジオとて、知りたい情報などなく、活用は出来なかった。防災無線のみが情報源であった。今回、スマホを持っていれば、情報のやりとりが出来、安心、安全の判断ができると思いました。(愛媛県・女性・70代)</p>
<p>防災グッズを備えておくべきと思っている。(愛媛県・女性・50代)</p>	<p>台風進路を世界的予想進路もホームページで見れる様にしてほしい。(愛媛県・男性・50代)</p>
<p>警戒区になっていてもその中で、キケン度は色々ちがうようで、ひとまとめにはいかないようです。(福岡県・男性・60代)</p>	<p>その日の雨量だけでなく1週間前くらいからトータルしてどのくらいの危険性があるのか山が崩れる可能性があるのか予想で</p>

V. 巻末資料

	<p>きると避難に踏み切りやすい。ひと目見てすぐわかるような注意報・警報の地図なり図にしてほしい。それぞれの狭い地域での危険度を表わすのはむずかしいと思うが地域の人々と協力して、役所の職員なりにきめ細かい政策を望みたい（愛媛県・女性・50代）</p>
<p>台風情報をもっと詳しく（今は進路が最大5日後迄）だけど、先の事も？強風区域に入っているのに全く風が無い事もあるので（ほとんど）もっと詳しくどの地域が吹くのか、雨の情報も知りたいです。（福岡県・男性・50代）</p>	<p>山の下に住んでおり、7月7日の大雨で山々が抜けおち、大変、雨が降るたびに心配である。（愛媛県・男性・60代）</p>
<p>なるべく早く避難する。（福岡県・男性・70代）</p>	<p>最近の情報は全てが大げさだと思う。それはマスコミと弁護士が私利私欲を優先して見据いを責めるからだと思っています。だから基本的に情報は求めますが判断と決断は自分でしています（愛媛県・男性・60代）</p>
<p>警報が空振りになろうとも早めに避難を呼びかけるためにも、注意報、警報を発表してほしい。（福岡県・男性・60代）</p>	<p>H30. 7. 7の水害の被害を受けた地区に住んでおります。自宅は大丈夫でしたので近所のお宅へお手伝いに行く日々でした。床下浸水などの経験ある方の予想を超えた早さと水の量でした。私も直前に降った雨の音に危険を感じました。台風情報との地域のずれ、警報のおくれ、消防団員の方の減少、河川の状況など色々ありますが自分の命は自分で守るが大事であると痛感しました。もし今回の様な事がまた有ったら高齢者の多い地区では立ち上がれるか疑問です。近くの川に水位計が設置されました。（岐阜県・女性・60代）</p>
<p>年金暮らしで現代の流れに付いていかれずラジオが頼りです（金が少ない）ただ勤一つで動物と一緒に気配で安全な場所にならざるだけ。（広島県・男性・70代）</p>	<p>※私は仕事とゴルフの関係で毎日天気が気になるのでPCのインターネットでよく見ているのですがお年寄（同居の父・母）はテレビしか見なかつたのでテレビで特に危険度が高い場合は赤の点滅や危険地域がある程度解るような映像ももっと映すといいのではないでしょうか（福岡県・男性・60代）</p>
<p>情報はたくさんあるので自分で考えて避難は早めに行うよう心掛ける。（愛媛県・男性・50代）</p>	<p>高令者にとって避難する事は大変なことです。体の不自由と共に荷物など持って避難は困難。動かずにじっとしている事の方が場所によっては安全かと考えたりします！（福岡県・女性・80代以上）</p>
<p>7月6日の西日本豪雨により、家は全壊となり、近くの方（100m以内）が6名亡くなりました。その豪雨の日家の付近では、雨はあまり降っていませんでした。18:00頃には傘もいらず、雨も降らず、家の横の川に状況を見に行きましたが増水もなく普通でした。以後強い雨もなく、19:50頃から突然川から石が転げ落ちる、ドンドンと言う音で20:00頃川に行くとき激流となっていました。我家には梅雨前には土のう袋を準備（約20個）しているので危険箇所土のうを積んで危険だといつも感じた家に声を掛け一緒に逃げるように声掛けしたが、病人がいるため避難されませんでした。（この人達は無事でした）土のうを積んでいる時も雨はそんなに降ってなくてカーブのポンチョを着けても殆んど濡れませんでした。山の頂部付近が雨が強く、砂防ダムの決壊により、このような結果になったと思います。※高</p>	<p>九州北部災害では気象情報が出た時には遅かった。（福岡県・男性・50代）</p>

<p>低差による雨の状況がわかれば良かったと思います。(広島県・男性・60代)</p>	
<p>大雨の時、行政の防災無線は全く聞こえません。高齢者はスマートフォンもないし、ただテレビからの情報のみです。近所の人々の声かけが大事です。(福岡県・女性・60代)</p>	<p>パソコン無くてホームページを開く事が出来無い人への配慮が欲しい。気象庁と国土交通庁色々な省庁との密な関係を持って欲しい。例えばダム管理(愛媛県・男性・70代)</p>
<p>・ペットがいるのですぐには動けない。(福岡県・女性・60代)</p>	<p>今度の災害は想定外でした地区のほとんど被害がある中で私の家はほとんど被害がありませんでした。それでも気象庁の情報は大変役に立ちました。今後の進歩に期待しています。(福岡県・男性・60代)</p>
<p>最近ではホームページとかスマートフォンで見れますと言う事が多いけど年寄りはその様な機器は利用してない人が大変多いのが現実です。H30.7.7の水害はダムの操作が悪い為で、国土交通省は気象情報が数日前から大雨の予報を出しているのだから早くから放流してダムの受け皿を多くするべきです。考え方を変えない限り、いくら早く予報を出しても、又浸水被害は繰り返されます。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>特になし(愛媛県・男性・60代)</p>
<p>私の住んでいる場所は、雨もあまりふらないし大風の時もあまり被害が無かったので、パソコンで台風じょうほうは(気象庁のホームページは良くみるが)他人事の様になっていたの、ひなしなかつたです。とてもこわい思いをしました。又自分の家はとても危険なくいきだと、さいがいの■知りました。(広島県・女性・80代以上)</p>	<p>避難すべきだという事は分かるが、指定の避難場所に向かうまでが危険な為場合によっては避難を躊躇してしまう。特に夜など暗くなってしまうからでは避難する方が恐い。空振りでもいいので、早目の警報発令などあっても良いと思う。(広島県・女性・40代)</p>
<p>同じ市や町でも地形によって被災状況が大きく異なる。単なるデータ分析だけでなく、現地の実態も良く調査すべきだと思う。(兵庫県・男性・70代)</p>	<p>仕事をしている時間が一定でない事もあり仕事中はテレビ・ラジオ・スマホなどを見られない事もあるので、情報があっても知るのが遅くなる事があります。人に関わる仕事なので、急に帰るという事もできません。そんな時に困るかなと思います(愛媛県・女性・40代)</p>
<p>吉田町にこんなに多くの大雨は初めてでたまげた(愛媛県・不明・50代)</p>	<p>まず数年前まで、アメダスが一般化されてない時の警報は、予報とは言いがたく、警報が発令されれば、沈下状態になるのが普通であり、その感覚は今でも持続してる気がする!!今回は2日前くらいから、警報が発令されるが(学校も休校)なんら雨も降らず??危機感はかなり、うすれていた状態であった!!関西、熊本地震(芸予)はまるで警戒外地区、十勝沖も??火山噴火の警戒度は観光産業への懸念?広島住宅地は公共団体分譲地等の懸念等々で、危険度を下げ続ける?今回の豪雨でも(線状態では1kmでも、天国と地獄)昨夜のアメダスでは吉田町の真上に)いつまでも津島町に特別警報が????大災害後は、被災地は、2段カイ以上の過度警報を続ける?天災天災で終止するが、公共事業の影響による人災(道路、舗装、特に農道等の水量と集水、さらには高単価の排水路の省略化、南予用水のパイプの配線のうめもどしのくさらない土のう袋が、いつまでも、土にもどらず、水路をあちこちに????ビニールハウス等々セメントでおった水路、河川etc)が、ここ10数年、頻繁に行っているのに対策は無し!!高温による植物体型も大きく変化しつ</p>

V. 巻末資料

	<p>つあるようだし？いづれにしても今回■やってくる南海地震対策である、避難勧告を発令しても、どこに避難しますか？大半の避難場所である、ゼロ（水上）地帯の公民館や学校ですか？それとも津ナミが来たら避難せよと言う、ガケくずれキケン地帯の急傾斜の上ですか？退避、輸送水路は寸断され、危けん家屋を通りながらのハザードマップ（今回、避難場所と、災害物資を置いてた神社が半分までに陥落しました！！）の意味は？？→もっと熟慮したものを？？より、早急な十分な防災無線（現在はアナログの家庭内でしか聞こえない）を…台風進路、アメダスもナサ・アメリカの方がかなり正確、より正確、早急な予報をどうにかありませんかい？（日本単独で行う事もない、衛星はアメリカのものだし）間違ったら間違ったとの少しは反省も？データ予報が変わるのが遅いし？）たのみます！！（愛媛県・男性・60代）</p>
<p>私共は高齢ですが、IT産業の開発や耳なれない文言が使われている。時代に沿って勉強すべきですが、なかなか理解出来ません。最近やっと携帯電話を利用する程度で十分な使用の仕方を理解しきっていません。その事が情報の収集になやんでいます。（福岡県・男性・70代）</p>	<p>ホームページも大切ですが高齢者には解説つきで分りやすくお教えて下さい（広島県・女性・70代）</p>
<p>当地（大洲市）も大変な災害にあい、皆さん復興に努力されています。災害警報を市、ダム管理者のスピーカー（部落毎）にて周知しているがダム放流については特に場所に依っては聞こえづらい 全戸に聞こえる工夫を考えて戴きたい（愛媛県・男性・80代以上）</p>	<p>自治体によるのでここで言うのもですが今回の西日本豪雨で、大雨特別警報が発令される前に避難勧告を避難指示にしておけばここまで死者はでなかったと思います。広島で大雨特別警報が発令されても自治体では避難勧告しかでていなかったのも誰もひなんせず土砂崩れが起こって避難指示になっていたのも（広島県・男性・30代）</p>
<p>土砂災害、洪水に対して安全な土地に住んでますがテレビニュース等で災害が報道されると早めに避難するのを感じます。今自分の所は安全ですがすぐ近くで土砂、水害に合われたところもあり、地域によってもっと細かな危険度の層別が必要と思う。（福岡県・男性・70代）</p>	<p>新しい危険度情報伝達方式がスタートするのは大変心強いです。が、当地域のような山間地では、近年特に倒木等により電源が遮断され伝達機器が使えません。これらの改善策も検討されたいです。（岐阜県・男性・70代）</p>
<p>・生命優先でからぶりの結果になってもかまわないので思い切った情報をお願いしたい（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>会社のインターネットでしかじょうほうをくわしく入手できない。自宅にはインターネット・スマホがないTVでも、じょうほうをリアルタイムで入手できるようにしてほしい。（秋田県・女性・40代）</p>
<p>昨今の災害により身近に危険がせまっていると感じる様になったのでより真剣に情報を取捨選択していかねばと考えます（愛媛県・男性・40代）</p>	<p>・現場の状況は、自分がいちばん認識しているのでそれに、テレビ等の情報を、かみ合せたい。（広島県・男性・60代）</p>
<p>警報が出て空ぶりになっても、気にならないので知らせてほしい。本当に避難が必要な場合は、早めに何度も放送してほしいと思う。（愛媛県・女性・40代）</p>	<p>宇和島市吉田町。7/7夜中から気になりずっと外の様子を窓ガラス越しに見ていた。TVは、普通の大雨。何の情報もない。6:00頃横の川が増水。どんどんひどくなり近所とけいたい連絡をとり合う。そのうち停電、断水。となりの地域のことも全くわからない。けいたいもかかりにくくなっていた。その頃都会にいる子どもたちから心配するメールが入る。若者たちのSNSで「吉田町が大変な状況になっている」という情報や写真を見て「これは地獄絵」と驚愕する。土砂くずれ2100カ所死者もた</p>

	くさん。ラジオからは愛媛のことは全く入らず広島・岡山のことばかり。夕方やと通電。夜になって雨もやみすごい状況になっている中やと気象庁から私たちの町に大雨特別警報がでて、危険地域なので避難するようにと報道。遅い！なぜ一日前に出さなかったのか！今回の災害の気象庁・地元市役所の対応のずさんさが見える。かんかつだけでなくもっと連携して仕事をしてほしい。命がかかっている。事故は現場で起こっている。机上での話をいくらしても、みんなに伝わって来ない。本当に悲しいできごとだった。(愛媛県・女性・60代)
短時間雨量予測の精度をもっと上げてほしい！(愛媛県・男性・50代)	家の中にいたり、大雨の時防災無線が全くきこえない。(愛媛県・女性・30代)
避難を速みやかにされるように常に心掛けておく事が大切と思います。すぐに避難されるように日頃から日用品等を用意しておくようにしています(福岡県・男性・70代)	うす紫と濃い紫は画面を通してみると、わかりにくい。(愛媛県・男性・50代)
気象庁と各自治体が密な連携(横のつながり)を持ってその地域の住民の大切な命を守ってもらえるように確実な情報を伝えてもらったらいと思います。※自然相手には難しい事ですが…。(愛媛県・男性・40代)	スマホはなく、ネットもありません。機械をつかいこなせないのです。ですので、テレビ(dボタン)とラジオでも充分に行きわたるようにしてほしいです。高齢なため、人の手をかりないと移動できません。避難した方がよいとわかっても、ちゅうちょする気持ちが出てきます。避難先のおトイレのことを考えると避難することにためらいます。避難先の情報をしりたいです。トイレは車イスOKか、とか。将来的に避難所のそのような情報もわかるとありがたいです。(福岡県・男性・80代以上)
・テレビで見る事しか出来ないので字幕でつねに流してほしい・又携帯電話しか持っていないので自動的に早く入れてくれる事を希望します(京都府・女性・70代)	2017年7.5大被災の後、隣人同士日頃の交き合具合で同じ行動を取る仲間がおのずと異って来ていることに気づく やはり気の合う同地区内の仲良し友人を常に大切にすべきと尽々思う。まず気にかかるのは日頃のつきあい次第です。肝に命じて隣人を大事にしましょう。(福岡県・男性・70代)
大雨警報の発表と同時に避難をした方が良いと発表してほしい道路通行が悪く成る事が有ると言ってほしい(広島県・男性・60代)	勤告や指示があったら早い段階で避難する意識が大事だと思う。(広島県・女性・50代)
病人がいるので避難がむずかしい。？(広島県・男性・80代以上)	ハザードマップ等である程度の状況判断はできますが道路情報、交通情報等が情報量として少なく感じます。私の所は、山間部で避難する場合に一番気になります。(福岡県・男性・60代)
今年の大雨で生命の危険を感じました。地震もこわくて頭がパニックになり、現実から逃げたくなりました。早目に情報をわかりやすく教えてほしい。(福岡県・女性・40代)	・気象庁の警報等と市町村の対応が合致していない。・情報の一本化を望む。(広島県・男性・60代)
私には、現在より以上の知恵はありません。(愛媛県・男性・70代)	大仙市は大雪地区ですので雪についても調査を行なってもらいたかった(秋田県・男性・60代)
実際に、西日本豪雨で被災しました。被害はありませんでしたが、今までに経験した事のない恐怖をあじわいました。それでも周りの家は、多分大丈夫だろうと避難する人は少なかったです。結果、流されたり、とじ込められたりして、行政に迷惑かけることになる人が多かったと思います。「大丈夫だろう」という思い、「めんどうくさい」、「はずかしい」という考えを払拭するだけの恐怖の	水害の恐怖を目のあたりにした私は老人ではあるし平素から避難の段取をして暮すつもりです(愛媛県・女性・80代以上)

V. 巻末資料

<p>ある警報でいいのではないかと思います。大げさかと思いますが「Jアラート」ぐらいの警報でもいいかと…(福岡県・男性・50代)</p>	
<p>・ホームページがあっても、使えない人が多いと思うので、あまり役に立たないと思います。(愛媛県・女性・40代)</p>	<p>西日本豪雨で被害にあったがダムは放流など貯まってから放流するのではなく早めの対応や川の整備などを進めて今後このような事がないような対策を検討して欲しいです(愛媛県・男性・40代)</p>
<p>私は、1人で生活しているので情報が早く知りたい。避難に決断考えとまどう時もある。2018台風の時一度小学校へ避難しました 心ほそく行きましたが知人もいて心おちつきました。家には、当たってなかったが木が折れるの見て避難してて良かったと心より思いました。小学校のお世話されている方(夜中まで)たいへんありがたく感謝しております。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>65年前に大水害があって被害を受け下の人は亡くなった家の周囲はたえず見廻っている 瀬戸内海の島に住んでいるので天気予報にはいつも気にしている(愛媛県・男性・80代以上)</p>
<p>歩いて行ける所に安全な避難所がない。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>今まで土砂災害などなかったので安心していましたが今頃の大雨は異常な感じで家の上の谷にもヒビ割れがあり砂防ダムをしてもらったので一安心のような感じですが山道を流れる水と生活道路を流れる水が合流してU字溝も一杯になっています。大雨の時は注意したいと思います。(兵庫県・女性・60代)</p>
<p>万が一河川決壊の危険があった時、決壊まで何メートル(水面と堤防の長さ)と表示してくれれば多に参考となり、また後何分後とか大まかな情報もあれば良いと思う。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>今年の津保川の災害時、道路が通行止めになり職場に行く事が出来ず困りました。職場は病院の為行かずにすむ所ではないです。通行止めが解除されるまで待つて行きましたが、ま、仕方のない事だとは思いますが歯がゆいです。(岐阜県・女性・50代)</p>
<p>H16年度までは水につかる事もなく平温でした。今年7月7日の水害までに4回水になやまされました 床下床上10cm、70cmでしたが今回は今までより水が多く出るとの事でしたが1m50cmぐらいだろうと思って自分達で思っていたのですが何と2階の床まで来てびっくりです 2階に何かあったらハシゴを使ってにげるようにおいていたのを思い出して上の家のヘイにハシゴをかけてにげました 下は水がいっぱい78才にてこんな思いはもういやです 今はすぐに学校の方へ行くようにしています。ダムの水出しに注意を払ってもらいたいです。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>今回広島県の豪雨災害地区に居たが携帯に警報が来すぎて、内容の確認よりわずらわしさだけしかなかった。何ミリ降るから大雨警報ではなく、この雨がどうなりそうだから、どうしなさいの方が判り易いのでは?何ミリ降ろうが避難勧告が出ようが何度かケイタイがなりわずらわしいだけでした。(広島県・男性・60代)</p>
<p>・気象庁のホームページは台風の進路予想等災害が発生する様な時には必ず見ている。・避難する準備等役にたっている。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>裏が山なので雨が降るとおそろしい 近で山がくずれた人が何人かいます 雨(大雨)が降った時は娘の家に行くようにしています(福岡県・女性・80代以上)</p>
<p>我が家にはインターネット、スマートホンなどの手段がありません。テレビのデータ放送、天気予報が情報を手に入れる唯一の方法です。大雨、台風の折はなるべく見続けるようにしますので、情報をお願いします。(広島県・女性・60代)</p>	<p>自ら気象庁のホームページを開くことはしないので、危険性の高い場合は、自動的にスマートホンにメール等が届くようにしてほしい。(情報は強制的に送られてきてもよいと思う。)(広島県・女性・30代)</p>
<p>7月6日の西日本豪雨の被災地域に住んでいます。当日、地域住民のうち、避難する為車で家の前で家族を待っていた女性が土石流に流され、亡くなりました。気象、災害予報は充分届いていました。避難のタイミングは個々でまちまちです。判断できないからです。避難勧告ということばがあります。その次には避難命令</p>	<p>気象の予測や情報発信は、その専門家がやっているので充分よくできていると思います。情報を受け取る側が誤った考えで行動したり、状況判断を劣ったりすることをどう減らせばいいのか。とりあえず、わたしは自発的にわたしと家族の身を守るための学びをがんばります。(広島県・女性・20代)</p>

<p>ということばが必要です。国民の命・自分の命を守る為、命令があつてしかるべき、従えなければ命を落とす。自己責任で…。くらはいはこれから割り切つてしかるべきではと考えます。(広島県・男性・60代)</p>	
<p>今まで気象庁のホームページを見るのが余りありませんでした。主に、NHKのニュース防災アプリ、yahooの天気予報をスマートホンで参考にしています。今後は、気象庁のホームページも、スマートホンで見るようにしようと思います。(今回の西日本の災害の時も、油断していました。)→もう少し、スマートホンで見やすいように改善して下されば助かります。(広島県・女性・60代)</p>	<p>災害については日頃から地域や地区ごとで定期的に災害対策について考え危機感をそれぞれが持つことが一番大事だと思う。防災気象情報については過剰にならず分かりやすくて確なタイミングで出してほしいです。(広島県・女性・70代)</p>
<p>この様な防災気象情報は各自が日頃から自覚を持って認識、行動すべきだと思われます。(広島県・男性・70代)</p>	<p>防災気象情報はここ最近はとても積極的に発信されていてありがたいと思う。しかし、自分の住んでいる所がどのような所かハザードマップで確認していない人が多いとこの度の災害で感じた。もう少し自分の住んでいる所の危険度を認識して、市町村からの指示を待つだけでなく、防災気象情報を上手く活用して自ら避難の判断ができるようになればと思う。(広島県・女性・30代)</p>
<p>特別警報と言われるより、命令と言われた方がピンときますが、色々難しい事は承知しているのですが。(広島県・女性・70代)</p>	<p>早めの避難が一番!!(福岡県・男性・50代)</p>
<p>6/22、自宅にて、ヘビの異常な行動がありました。最新技術と共に、そういう事象も取り入れてみては…?(広島県・男性・40代)</p>	<p>この度の災害で知り合いの子供がなくなり親は今だに心のケアが必要となっている。大丈夫だと思いこまず今回の災害を心にうけとめ行動して行こうと思った。いままで使用していなかった気象ホームページなど活用していきたいと思いました。(広島県・女性・40代)</p>
<p>結果的に7/6の災害では広範囲に被害が及んだが市や町全域に対する避難指示は情報の受け手としては、「一体どこで市民・町民の全員を収容できるのか、現実味に欠ける」と受けとめてしまった。難しいかもしれないが、もう少し地域の絞り込みができないものかと思う。(広島県・男性・50代)</p>	<p>7/6の災害では特別警報発令が遅く、出た時には、家の前は大く流で避難できなかった。それ以降は、行政も過剰反応し、警報が空振りで、避難所に避難する事がしんどい為、周りの人達も、少々では避難しなくなった。又は、警報に慣れた。適切正確な発表がほしい。(広島県・女性・40代)</p>
<p>ハザードマップで確認すると、近隣の居住地区は、災害時の危険地区だらけ、もちろん、今回避難所においても、その危険地区と想定されていた。自分の家は、危険地区外であり、今回の災害時も避難はしなかったが、とても判断に迷った。避難したがゆえに、災害にまき込まれてしまうという不安もあり、なかなか避難にふみきれないと思う。(広島県・女性・30代)</p>	<p>スマートフォン等と連携されているものがあまりなく出来れば災害アプリと危険度分布が同時に表示されるようならより分かり易いかと思いました。(広島県・女性・30代)</p>
<p>決められた、ヒナン場所に行くのが一番アプナイので外の場所にヒナンした(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>3ページの危険度分布のようにテレビの気象ニュースで見れるのが、いいと思う。遠く仙台、京都、岐阜、等に子供達が居るので、連絡を取りあっている。ごくろうさんです。(愛媛県・男性・80代以上)</p>
<p>気象情報の警報区域が広すぎると思う。(広島県・男性・70代)</p>	<p>気象庁のホームページは見るが、これだけの情報が有る事を知らなかった。ホームページの利用方法をまとめたものを各家庭に配って下さい。(広島県・男性・60代)</p>
<p>いつもご苦労さまです。ありがたいです。・最近は特に精密に雨ふりレーダーを(NHK)利用させてもらっています。・畑作業</p>	<p>空振りでも良いので、早めに警報を出してもらいたいです。学校が休みになる。これだけでもありがたいです。子供の心配をしな</p>

V. 巻末資料

<p>等にも毎日の天気予報を大変参考にさせてもらっています。その中で学校では、まじめに考えていませんでしたが最近では「晴れ、くもり雨寒くなる寒冷前線のため不安定になる」等少しずつレベルが上がってきました。これからもがんばって下さい。ありがとうございます。NHK広島勝丸予報士をこれからもずっと続けさせる様よろしくお願いたします。わかりやすく、楽しく見させていただいています。ありがとうございます。広島市安芸区矢野東6-1-22 畝田 恒彦 追伸 その地域のこれまでの100年前後の大水害の歴史をNHK天気予報の時等におしえていただけたら強い意識付けになると思いました。私共の地域に大きな「石ひ」がありますがはっきりと「水害により多くの死者が出た。」と知っている者は少なかったです。ありがとうございました。（広島県・男性・70代）</p>	<p>くては、ならないのは、大変です。昨年の豪雨時も、急に学校が終了し、交通キカンが止まり私がむかえに行き、帰れなくなり大変でした。早めの警報、よろしくお願いたします。（福岡県・女性・40代）</p>
<p>広島市内区域に住んでおりますが、緊急速報メールが、近郊の町村と広島市で発令のずれが多く、警報の意味がありません。気象庁からの指導で統一をお願いします。（広島県・男性・60代）</p>	<p>避難場所に行ったけど、あふれるくらい多く、駐車場の車の中で過ごしたなどの話を聞くと足が遠のきます。（福岡県・女性・60代）</p>
<p>7月の災害時、特別警報が鳴った時帰宅途中、大渋滞で一人車の中にいました。←車で20～30分の所6時間 避難しようにも身動きが取れず、どこがどう危険なのか分からず、「命を守る行動を」と言われても具体的にどうすべきか考える事も行動に移す事も出来ず、とても不安な思いをしました。もっと早く知り、皆がスムーズに安全を確保できるような社会になる事を切に願います。←まさか自宅前が土石流とは夢にも思わず帰ろうとしていた（避難するなら猫を連れ出さなくてはいけないので一度は帰らなかった）結局3日帰れなかった あと、インターネットよりテレビで情報収集したいです。（パソコンなく、スマホは小さくて見にくい為）（広島県・女性・40代）</p>	<p>特になし（広島県・男性・60代）</p>
<p>隣近所の方と調整しどのタイミングでどこへ避難するか決め集団行動を取る。（広島県・男性・60代）</p>	<p>実家が床下浸水しました。近所だったので私の家族も毎日の様に手伝いに行きました。娘（高校生）の友達が連日手伝ってくださり、本当に助かりました。高校生の力ってすごいと感じ感謝でいっぱいになりました。（広島県・女性・40代）</p>
<p>何もよくわからないけど早めに避難する事にしてゐます（広島県・女性・80代以上）</p>	<p>小生宅は大雨や土砂災害の危険性の低いところに位置していると考えておりますので、いささか反応は鈍いところがあると思っています。それでも気象情報は主としてBS dボタンにて日頃の天気予報は入手しており、大変役立っております。日頃のお仕事、ご苦労様です。今後ともよろしくお願致します。（広島県・男性・70代）</p>
<p>現在私が住んでる町では自治体の防災無線がマイクで雨が降ると雨の音で音声がかきこえない状態で不便である 個々に家に無線を設置してほしい。（広島県・男性・70代）</p>	<p>高齢になるほどホームページSNSメールサービス等利用する事に対応が難しい（60才でも対応に自信がない）その方たちに簡単に理解出来る方法とは何でしょうか（テレビ等停電の時利用できないから）（広島県・女性・60代）</p>
<p>日頃からの心構えが大切だと思います。農家の人々は日頃から川にゴミを流し大きなゴミ等捨てているので大雨の時に橋にゴミが引っ掛かり洪水が道路に氾濫し浸水したケースが多かったで</p>	<p>空振りと思わず早めに行動が出来る様に情報発信をしっかりと欲して欲しい。それでも避難しない人がいるのも問題だが、避難しないと危険だと思わせるような発信のやり方を考えて行って欲</p>

<p>す。道路に空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻、ゴミが非常に多く「日本人も最低になった」と悲しい日々です。(今回川に捨てた大本が橋に引っかかり上記になりました。15分間で電柱くらいな大本が23本流れるのを確認しました。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>しい。(広島県・女性・30代)</p>
<p>テレビの情報が一番です。台風大雨となると常に見てます 避難はとなりとか相談して行ってます。町内放送は何も出来ない私にしてはたよりです。今回の災害で被害こそありませんでしたが廻りが大変でしたのでとなり近所のおつき合いは大事だと感じました。スマートフォンパソコンでの情報は出来ません。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>危険度の色で表示するのは、三色まで(青、黄、赤)でないと濃淡や3色以上になると、視覚的にわかりづらいです。(広島県・女性・40代)</p>
<p>り災して転居してあまり気にしないと思う。(福岡県・男性・70代)</p>	<p>一番みじかに情報が入るのがケイタイだと思うのですがその時のケイタイの音がビックリするくらい大きな音で今回の豪雨災害の時は深夜から早朝にかけて何度もおどろきました。あの音にはビックリしてしまいます。あの音はどうにかならないものかなあと思いました。こんな事を書いていいのかわからないですけど、すいません。(広島県・女性・50代)</p>
<p>私達夫婦は78才と77才で夫が車に乗らなくなったので避難所が遠いともう年だから何かあってもいいとあきらめる事が多くなりました。なるべく近くで安全な所があればと思っています出来れば町内会の若い人達に早めにお世話をお願い出来ればと思います(広島県・女性・70代)</p>	<p>100年前に起こった大水害が100年後の今年、西日本豪雨として発生し15名の尊一生命がうばわれました。我が家も全壊し天災の恐ろしさを身をもって実感しました。これは気象情報のみでなく行政の遅れも災わいたものと思います。今後100年後ではなく来年起こることかも知れないと思っている人々は沢山いることと思います。災害は気象情報のみではないことがよく分かりました。(広島県・女性・70代)</p>
<p>7月6日の豪雨の経験から日頃から避難がすぐできるように準備しておかないといけないと思いました(広島県・女性・70代)</p>	<p>テレビ等でいろいろ情報をみますがテレビでももっとくわしく情報を伝えてもらいたいです。気象庁さんにはいつも感謝しております。ありがとうございます。(広島県・男性・60代)</p>
<p>H30. 7. 6日この度西日本豪雨災害で地域の9割が災害を受けました。いかに日頃から危機感のない生活を送っていたものかと思い知りました。15名死亡1名今だ行方不明 現在4ヶ月余り経ちました。まだまだ復旧出来ず今だ住宅を探している人もおられるようです。住民一人一人の危機感の無さ行政対応の遅さは明るくてのんびりと穏やかうしろ山有前海有りとても住みやすい地域でしたがあつという間にさらわれて行きました。まだまだこれから前向いて頑張っていくしか有りません!! 毎日ボランティアさんに感謝してます。(広島県・女性・70代)</p>	<p>勤務先が、呉市で今回大雨の時は夜勤中でした。そんな時、警報が出ていても避難のため仕事休むことは出来ないし。子供を残して出勤のこともあり、色々難しい。心配。複雑だ。(広島県・女性・40代)</p>
<p>色々な情報が空振りに終るのは気にしないのですが発令したらいつまでも解除されない時はいらいます(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>警報 避難警報 避難勧告 避難指示) よく分からない どの当りが集中して降るのか、予報が分からないでしょうか。(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>小さいなか町です。どこに避難すれば安全なのか実際はわからない地区です。ダムやため池や川や谷間の地区で7月の災害もあちこちで山くずれ等数々の災害があり今もなお道路の寸断で遠廻りしての生活をしています。もっと地区によってハザードマップの利用だけではなくその先の避難場所の見なおしが必要だと</p>	<p>テレビのデータ放送の気象情報をよく見るので、気象庁の情報も見れると便利。(愛媛県・男性・50代)</p>

V. 巻末資料

<p>思います。役場は全く開放してもらえず年寄りの避難も考えてほしいですね。(広島県・女性・50代)</p>	
<p>・Pポイントで雨の予報が出るようなシステムがほしい(雨も多く降らないのに大雨洪水警報が出る時があるので困る時がある) (広島県・男性・60代)</p>	<p>合併から十数年村から市え市とはいえ過疎かプラス80才上の高齢者、ケイタイアプリなし風水害となると、停電気象情報なし市からの個別、防災ムセンを徹底していただきたい 岐阜県関市上之保3966 杉山(岐阜県・男性・60代)</p>
<p>H30.7月に災害を経験しているので今後防災気象情報は利用していこうと思っています(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>安全へのこのようなとりくみに感謝します。(愛媛県・女性・80代以上)</p>
<p>今回の水害で被害を受けました。水は5時間がぶってひきました。ダム管理者は水を早く放流してくれたら被害がもう少し少なくてすんだのではと残念に思います。(愛媛県・男性・80代以上)</p>	<p>住んでいる家の状況にもよるので同じ地域の状況でも違ってくるのだと思う。最終的には自己判断で自己責任なのかもしれません。(愛媛県・女性・50代)</p>
<p>水害時、地名では避難指示の地域だったが、実際には自宅が高台にあったので避難はしなかった。何時に浸水しうのか、具体的にどの地域なのか市町村からも放送があるが、雨の音で聞きとれないし、携帯やTVで見られるようにしておいてほしい。(愛媛県・女性・20代)</p>	<p>災害の危険性がある時は自治体が強制的に避難命令を出せる様にして欲しい。解っていてもなかなか行動に移せない。(福岡県・男性・70代)</p>
<p>1. インターネットもスマホも使わないので頼りはTVと防災無線のみ。2. 警報が発信されても、自分の地域で大雨が降らなければ実感として重要に思わなかった。しかし、今回の災害(大洲市)で上流の地域の降水量やダムの放流量により、大変な災害が起ることがよく分った。降水量とダムの放流量を合せた警報が必要。(愛媛県・男性・70代)</p>	<p>防災意識の差や過信が判断を遅らせることが多いのだと思います。大雨の際、外からの無線は聞こえないことが多いです。雨雲レーダーでも短時間で変わるので、まだ大丈夫と思っていたら急に赤表示になっていたりして、見逃してしまう事もあるかもしれません。外の土のにおい、今までかいだことのないような土の強いにおい、本当に土砂崩れを起こします。経験しないと、早めに避難という手段を取る人は少ないのかな…経験後も住んでいる場所によって行動に差が出ると思います。どこでも起こりうる事だと認識し避難所が開設されたら自主避難できるような情報提供、意識づけにつながる教育をしてもらえると嬉しいです。(広島県・女性・40代)</p>
<p>災害の後に四日間の停電で携帯ラジオからの情報しか無くとも困りました道路も全部寸断され陸の孤島になりました。電気が通ってテレビの情報ばかり見ましたが日本は素晴らしい国だとこの度つくづく思っていますありがとうございます!!(広島県・男性・70代)</p>	<p>今回の西日本豪雨災害で、身を持って、危険を感じました。とにかく、「大げさだ!!」と思われても、警報や気象庁の発表は、細めにしてもらいたいです。高齢者は、なかなか、大変な事になるとは思っていないので、早目に、避難する事を、心がけたいと思います。(広島県・女性・40代)</p>
<p>天気予報の中で四国も大平洋側と瀬戸内外と分けて欲しい。二地域で気候が異なることが殆んど(愛媛県・男性・70代)</p>	<p>インターネットはあまり使わないのでテレビでの情報はたすかりますが、停電してしまうとどうしようもなかった(福岡県・女性・20代)</p>
<p>この度の災害で、「大雨特別警報」が出ていたらしいのですが、全く知りませんでした。何時頃に出されたかは知りませんが、7月6日19時頃にはすでに、異変が起きてました。決定的、土砂災害が発生したのは、7月7日AM. 3時50分頃でした。警報が出た時点で番組中でも常に分かる様、警報が出る事を表示してほしい。(広島県・女性・50代)</p>	<p>実際問題として、1度でも1ヵ月をこえる共同(多数家族等)避難生活を送ると、次回はしたくないと強く考える。いやでも避難行動がおくれる。もしくは、しなくなる。(愛媛県・男性・50代)</p>
<p>誰でもホームページが見れるというのが当たり前ではないのです。私の場合はテレビラジオの情報が一番大切です。スマホもパソコン</p>	<p>自分の身は自分で守る(広島県・男性・70代)</p>

ンも使えない人もいます！！（愛媛県・女性・60代）	
75才目の前に危険が迫らないと避難しないと思う。（広島県・不明・70代）	エリア全体の情報もよいですがもっと詳しくピンポイントの情報も欲しいです（愛媛県・男性・60代）
昭和18年の洪水を基準に家を新築しました（1000mm降雨）（底上1m浸水）今回は600mmたらずでしたが底上2.5m浸水し明らかにダムとおかいです2つのダムの管理の不利です（2つのダムとも廃止すべきです）（愛媛県・男性・80代以上）	・地域で流れる放送や防災無線の放送は、耳の遠い高齢者には聞こえていない 日頃から、隣近所で声をかけるようにしたい。また、スマートフォンなどの情報もパソコンも高齢者はわからない。（愛媛県・女性・50代）
土石流がおきてしまった時に情報が入ってこない食料も届かない事があり自分で1週間分の備蓄していたが一番困ったのは3、4日位電気が来ないので自分達の状況がわからない事であった。（愛媛県・女性・60代）	介護者（妻）と脱出するため早め々に車イスを自家用に乗せ脱出先の大雨の時も（午後）6時すぎ位に脱出しました 矢の南小へ助かりました 近所の人や防災無線（広島市）もありがたかった。（広島県・男性・80代以上）
・居住地区であれば、避難場所やタイミング、ルートは分かっている。・外出先、旅行先でこのような状況になった時に最寄りの避難場所まで安全なルートで誘導してくれるナビや案内があれば、知らない土地でも安心・安全に避難できるのではないかな。もちろん日本語だけの対応ではダメだと思う。・今までのことを教訓により良くなればよいと思う。気象庁だけでなく多方面の共有、連携が必要なのではないか（愛媛県・男性・40代）	1. 現実では自治体が発表する避難情報に従って行動しているが避難指示の多発で空振りになることが多い。（自治体の責任逃れの感がある）（自治体の担当者の教育が必要と思う）2. 避難するには自己責任で布帯、食糧水等）を持って行くことになっているが、老人ではこのような物品を持って行くことが困難である。改善してほしい。（気象庁には関係がないが全国的な問題として指適したい。）（広島県・男性・80代以上）
居住地は海岸と離れている事や高台にある為災害とは無縁に近かった事もあったが、今後は注意したい。（愛媛県・男性・60代）	・気象情報より避難準備、勧告、指示が一般的に住民は理解している。これらの避難情報と気象情報が混乱をまねいてもいる。一本化して分かりやすいシステムに統合すべき。・気象情報はマクロ的でもあり、身近な居住地との感覚がない 特にハザードマップには具体的な避難経路等具体的に動けるものになっていないし、今回の災害内容とのギャップが大きく見直しが必要、マップは作成しただけ。どれだけ住民が理解しているかチェックする姿勢が欲しい。（広島県・男性・70代）
今回の警報は朝からスマホ等で出ていましたが会社で仕事は、上司の許可がなければ早退できません。仕事上の警報時は各個人の判断より会社の判断が優先されます。国からの学習指導といえますか、全体的に危険についての知識が必要と思います。行政、学校、会社、個人団体等（広島県・男性・60代）	携帯電話への緊急通知で、「今すぐテレビをつけて気象状況を確認してください」等のメッセージを表示すれば、緊急度が伝わりやすいかもしれない。テレビのニュースは分かりやすいので。（広島県・男性・40代）
今回は水のこわさをしました。だけど集合住宅にいますが、坂道で水が流れるとそこを年おいた人には、その坂道を上る事さえこんなだ。その場所に対応したマップはいるとは思いますが。少ない自治会は、とり残される事もよくわかった。（愛媛県・男性・80代以上）	特に無し。（広島県・女性・70代）
以前より警報・注意報・予報等、精度が高まっており、またスマホ等で瞬時に分かる時代になって便利に利用させて頂いております。しかし、結果論にはなりますが自身の安全は自身で守るべきであるという事も国民に広く知ら示した方が良くかと存じます。（広島県・男性・50代）	避難先が適切でない、行動中に危険があるなど官の内部で情報交換を行っているのか疑問を持つレベルである。民、個人への指導には限界があると思うので、市町村への指示、指導を強化して欲しい。今回被害を受けたが氾濫した河川は、気象庁の情報提供外の河川で実際に氾濫するまで状況が解らない状態であった。町からは流域内の人口が少ないので今後も積極的に実施しない旨を聞いている。個の意識を変える事も大事だが、国として今後ど

V. 巻末資料

	う考え、施策を打つのか是非お聞かせ頂きたい。10年に1度が毎年起る、気象条件に変わってきていると思うので、余計に…。 (広島県・男性・40代)
1. この頃の気象情報は良く当る。2. このアンケートに関係するかどうか分からないが海拔mをもっと標示してほしい。56号沿いに住んでいるが道路の電柱にでもここは「なんm」と標示してほしい。799-3730-宇和島市吉町町立間 大西(愛媛県・男性・70代)	不可能かもしれませんが、TVの画面を自動で切り替え、避難を促せるような方法があれば、いいと思う。大雨時は防災無線は聞こえない。(広島県・女性・40代)
最近の台風の進行方向や速度の予報の正確さには大変驚いている。(福岡県・男性・80代以上)	いつも気をつけて情報をキャッチするようにしています。早めの対応が本当に命を救いますね。これからも情報提供よろしくお願ひします。(福岡県・女性・60代)
雨の紫色出る予報、早く気象予報出してほしい願ひです。(予報日々見えています)(愛媛県・男性・80代以上)	私は今回の土砂災害で12人の犠牲者を出した広島県熊野町の住人です。今回の山は海拔450m、熊野町自体が海よりかなり高い所に有る為、本当に低い山で、日本全国どこでもこういう山の山すそには多くの家があり、今回降った雨量が有ればどこでも災害は起ります。そこで提案です。1. 今回の雨量を周知させハザードマップに大書する2. 雨量を基準値として危険な所に居る人に「あなたの居る裏山にはこれだけの雨が降りましたよ」とリアルタイムで、なんらかの連絡をするしくみを作る。3. 連絡を受け又は、雨量を知った人は自主的に避難する。人は人に指示されるより自分で考え、行動するものだと思います。(広島県・男性・70代)
7月豪雨では、自宅周辺で土砂崩れが起きましたが、ハザードマップでは特に示されていないなかったため、大変驚きました。災害の予測について、難しいこととは思いますが精度向上に期待しております。(愛媛県・女性・50代)	私は岐阜県関市に住む独居老人家庭での生活です 去る9月7日から8日未明にかけての台風22号の影響を受けました 7日の午後11時まではテレビで台風情報を知ることが出来ましたが山間地帯のため倒木により電線電話線が切断し全くのコ立状態にありましたが停電するまでテレビにかじついて克明に知ることが出来ました 情報の有がたさを痛感しました(岐阜県・男性・80代以上)
市や区だと範囲が広いので町単位での情報が知りたいです。(広島県・女性・40代)	夫婦二人ぐらして二人共、パソコン、スマートフォンを持っていないのでホームページで検索と聞かされたりしても利用できない。情報等はTV、新聞、ラジオ地区放送のみなのでTVでの気象情報から目を離さないよう注意している(愛媛県・女性・60代)
以前は子供の学校の休校のめやすや通勤の時間帯を考える参考にしていたが、今回のことがあり、より注意深く情報を見るようになった。警報が出てもまだ大丈夫と思って自宅待機していたが気付いたときには避難所へ行く道もひざ上まで水があり流れも早く色々なものが流れていて歩くことが難しかった。警報に対しての自分自身の「これぐらいは大丈夫、まだ何もない」という気持ちを変えないとせっかく警報が出て早目の行動ができるのに判断している間に被害にあうこともあると思うので大雨警報の時点で避難しようと思います。(広島県・女性・40代)	避難場所へ行きたくてもそこまでの道路が浸水し通行不可となる。また避難場所自体も浸水する地域に住んでおり成すすべがない!(愛媛県・男性・50代)
避難指示、避難勧告がスマートフォン等を通して通知(アラーム)	人命を守るために、大変重要な仕事だと思います(愛媛県・男性・)

<p>があるのはいいのですが、重要度がはっきりわかりません。今回西日本水害にあいましたがスマートフォンの通知を認識していても、結果自宅に帰宅後災害に遭いました（災い直接の被害はなかったのですが…）認識の甘さもあるのは承知ですが、もっと強めの文言での通知をされてもいいと思います。空振りがほとんどと思いますが、周りの人も同じようなことを言っています。（広島県・男性・40代）</p>	<p>70代)</p>
<p>◎防災気象情報は大変重要な情報で助かります。早目の情報により避難する事が出来ます。◎個人の判断では無理、様々な情報の収集で早目の避難につながってくる。◎自分の生命は自分で守る為にも何度も何度も情報を流して欲しいと思います。（広島県・男性・60代）</p>	<p>特別警報は7月災害後知りました。（広島県・女性・70代）</p>
<p>普段から気象に気をつけて生活することに注意しておくことが大事なことに気がつきました。（広島県・女性・70代）</p>	<p>より細かい情報が知れるようになり、嬉しい反面、情報が（情報の入手先が）多くなりすぎても、いざという時には大変 こんらんしてしまうこともあります。細かい地域地域の情報（大字や小字）が、地域名検索でわかりやすいと一番便利かな…。ですが、大きな災害は、まずその土地の事を常に知っておくこと、住人の意識が一番大切ですね…。（福岡県・女性・40代）</p>
<p>今回の災害で、お年寄の方々が音が（雨・サイレン・近所の人の声）聞こえなかった！！が多数おられました。（愛媛県・女性・50代）</p>	<p>寝たきりの親と同居なのでつい、ベッドの位置を家の中で変えることを考えてしまう。もう少し、真剣に考える必要があると思う。（福岡県・男性・60代）</p>
<p>私個人の事を話します。避難所の在る所はだいたい分かっていますが、具体的にどのような様子の内部であって、そこに行ったら、私はどうしていたら良いのか、イメージが浮かびません。そんな事で、避難行動にブレーキがかかります。平日に避難場所や具体的なその場での生活体験を試したい。（福岡県・男性・70代）</p>	<p>広島県坂町の小屋浦地区に住んでいます。町の防災放送で避難をしていませんでした。避難勧告が出た時点で避難した人は0人。1時間後でも、5、6人しか避難していなかったそうです。土石流の発生など夢想だにしていませんでした。たかをくくっていたとしか言いようがないです。河川は7月の大雨の後、土のうで復旧しているだけです 来年の6月が心配です。（広島県・男性・60代）</p>
<p>・大雨警報が発表されて避難しようと思うが避難先が遠いのと経路が山側を通るか（土砂災害）海側を通るか（洪水）によって？家の2階へ避難となる。ホームページと書いてあるが、利用出来ない人の為テレビで放送で聞く。（広島県・女性・70代）</p>	<p>私は6日の夕方雨が良く降るので2階より外の雨の様子を見ていたら隣の息子が慌てて今すぐ避難するからと云って来たので急いだが老人なので少しモタモタしてズボンをはきかえ等して手間どりながら懐中電灯と傘だけ持って車に乗って出るが途中鉄砲水が出て引き返し帰る途中豪雨に合い流れされやっと助かった避難は5分～10分早く避難する事が分かりました。九死に一生を得て助かりました。（広島県・女性・80代以上）</p>
<p>基本的に行政に頼らず、自分の安全は、自分で守るべき、あくまで自己責任で！！（兵庫県・女性・50代）</p>	<p>緊急メールがひんぱんに鳴ってうるさい。解除の際も同じ音で鳴るので不安になりながら見て、気を揉ませないでほしい。（広島県・女性・20代）</p>
<p>年をとれば中々避難するのもしなくなる。災害にあつて人に迷惑かけるのもよくないとも思うし、複雑な気持ちになりがちである！！（兵庫県・男性・60代）</p>	<p>山間地に居住しています。最近の大雨は、山ひとつ越えるだけで降雨量が大きく違う場合が多くあります。より詳細な、メッシュ情報を提供いただけるようになることをお願いします。（岐阜県・男性・70代）</p>
<p>危険度が高い場合は速い情報を流して頂きたい（広島県・男性・80代以上）</p>	<p>スマホの緊急速報メールで他の町の避難を促すメールが何度も来ていた最初は人ごとでしたが次第に心配になり川の様子を遠</p>

V. 巻末資料

	<p>まきに見ると八分目くらいの量で「これはもしかして避難した方がいいのでは…?でもまだ地元での避難促す放送はなかったし余裕があるし、あふれた事はないし大丈夫かな…?」一応荷作りはしとこうとやっと動きました。テレビでは大雨は紫色で知らせていました。しかしそこまで深刻には捉えてなかった。荷作りの途中で「川が決壊した」と弟の声であわてて逃げました。いつ見たのか思い出せないけどテレビでやっている川の氾濫情報はあてにならないいつまでも黄色でした。(天応) 地元の川が氾濫したとテレビで放送されたのは何日もあとでした。誰がどこに情報を伝えれば良かったんでしょう。(広島県・女性・40代)</p>
<p>今回、初めて知った情報もあり、有効なツールなので活用していきたい。ありがとうございました。(広島県・男性・70代)</p>	<p>色々の事を知って現実にあったがその時自分の判断もだいじである(福岡県・女性・20代)</p>
<p>とにかく山をくずし畑をつぶし団地を作る家を建てるからこんな災害が起る。災害対策がなってない。自宅では駐車場及び道路の土間300m2高サ60cmに土砂が入り、ボランティア、友達手伝ってもらい15日位かかった(1日■3人)皆様に手伝ってもらい有難い事です。(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>・こんかいの被害はサイレンや連絡がなにもなく各自で避難をしてからのサイレンでした。ほかの地域の情報は入って来ていたけれど自分たちの情報は全くありませんでした。しっかりとした防災気象情報を連絡してもらいたいです。自分で川の水位をネットなどで見ればいいのですが。(岐阜県・女性・50代)</p>
<p>川のはんらんが想定されるばあい、何分後に水面が何センチ上昇する等、数値でのお知らせがほしいです。(愛媛県・男性・40代)</p>	<p>集中豪雨の時大雨特別警報が出ていても避難場所が近い所になるので自宅の二階に避難するしかありません。(岐阜県・女性・60代)</p>
<p>気象情報を利用、活用より、あらかじめ、大雨注意報から→警報に変わり次第に地域へ放送するか!!自治体の方へ連絡してほしいです。(広島県・女性・50代)</p>	<p>老人は情報にもうとく動作も遅いので…早目早目に情報を流してもらいたいし難しい表現でなく簡単に1目で理解できるような黄赤紫など色で表現したりわかりやすい言葉で1. 逃げる準備 2. 逃げて下さい 3. すぐに逃げて…などの方がみんな逃げると思う伝わると思う。日本は高齢者が多いのでパソコンとかスマホなど言われますが使用できない人も多いのでその点をもっと考えてほしい。又夜間の時が一番わからないのでそこを考えてほしい。自分達の逃げ道ばかり考えないで…(福岡県・女性・60代)</p>
<p>自宅は安全な場所でありへたにひなんすると事故にそうぐうする方がこわい(広島県・男性・70代)</p>	<p>情報が色々入手できる事はとても良いことですがやはり実際の状況を目のあたりにし危機感を感じないと行動できないのが事実であると思う。一番は身近な市町村、自治体などの広報、連絡が重要だと感じる。(各地区の連携)(岐阜県・男性・50代)</p>
<p>情報などはかんたんかんけつに素早くしてほしい。(広島県・男性・40代)</p>	<p>雄物川の場合警報が出される段で各調査地域(水位調査ヶ所の水位を知らせてもらいたい 私の所は全雄物川の水位があがった際のバックの水で被害がいつも起きております例えば上流ですと大曲地域の雄物川の水位、神宮寺岳見橋の水位ですこの水位が訳る事で榎岡川のバックウォーターの水位が訳ります(秋田県・男性・80代以上)</p>
<p>7月の災害で同じ町内で、多くの方が亡くなりました!自分は、大丈夫と避難が、遅れた方が、ほとんどです!どの程度で避難するか、判断がとても難しいと思いました!先読みする事は難しいと思いますが、避難指示を早めに出して欲しいと思いました!(広島県・女性・60代)</p>	<p>早めの避難は十分に理解しておりますが、空振りが多いとどうしても避難の足が重くなります。自分の事とは言え避難に対して自問自答しておりいまだその回答ができていません。(広島県・男性・70代)</p>
<p>気象庁のホームページをテレビで見るとは出来ないけど、私は</p>	<p>熊野町ですが今回避難が遅く何人か亡くなりました。ハザードマ</p>

テレビで何とか見たいです。無理はしょうちで！（広島県・男性・70代）	UPでの区域（Q22）の様に早めに避難指示が出ると思います。（広島県・女性・40代）
大変失礼とは思いますが…台風の進路の予想が気象庁よりもアメリカ軍の方が信頼性が高いと感じられます。警報・注意報は、満足しています。今後もよろしく願います。（愛媛県・男性・50代）	・「危険」や「命に関わる」などでは、数字的な具体性が無いので、「7分後」、「7時間後」にどれぐらいの雨が降るかを知らせてほしい。・国や行政が企業の経営者に社員、その家族が危険な地域にいる場合に、即時に業務を中止し、帰宅指示を出すように要請してほしい。（広島県・男性・20代）
防災気象情報は、たいへん大事な事として、受け取めています。特にダムの放流などは、広報車や防災行政無線を通じて、市民が判断しなければなりません。ただ、どこの地域においても、少子高齢化となり速行動、速判断をする事がむずかしくなっています。（愛媛県・男性・60代）	「警報＝避難」とテレビや町内放送で言っているが、避難しない方が安全な場合もあるし、うちは子どもが小さいので避難所に行くことをためらってしまう。その判断が、夜だと特に難しいと感じた。（広島県・女性・20代）
高齢者（90才以上）と同居です足もわるくベットの生活です危険が迫った時病院など受け入れ考えてほしい。（福岡県・女性・70代）	『のど元過ぎれば熱さを忘れる』という言葉が示すように災害に対する予防も含めて難しい問題だと思います。（広島県・男性・60代）
市・区等の広い範囲ではなく、もう少し狭い範囲（ピンポイント）みたいな情報が有れば良いと思う。又交通情報とのリンクが出来れば良い。理由として親を避難させる時、渋滞にまきこまれ、自分が被害に遭いそう。（福岡県・男性・50代）	気象災害が増々多くなっている現在、正しい情報を出来るだけ早く出してもらうことを期待しています。住民も周囲の状況を絶えず把握して避難する必要があります。自分も気をつけたいと思います。（広島県・男性・50代）
ハザードマップ作成において、区域の決定要因となった調査項目（たとえば地質、自然環境等）の内容が表示されていれば避難判断しやすくなるのではないかと思います。（兵庫県・男性・70代）	あまりごちゃごちゃ色々こまかい事を言っても実行出来無い現実、まずは確実な状況に近づける報道を願う 吉田町（愛媛県・男性・80代以上）
ホームページにある雨雲の動き表示時間がもう少し長くしてほしい。（広島県・男性・40代）	年をとって機械に弱くて目も悪いのでテレビもよくわかりません。けっこう山の中ですので1人で避難したくても足も悪いし、なげやりになります。（福岡県・女性・70代）
大雨警報でも晴れて天気が良い時が多かった 小学校・中学校の子供は休みになってよこんでいたが…親としては学校に行けるんじゃないか？と何回も思った。（愛媛県・男性・40代）	気象庁等のホームページで見ることが出来ると書いて有りますが、パソコン等、インターネットをしていない人はどうするか？！テレビの情報だけなので、少し困る。（広島県・女性・60代）
避難しないのは指定された避難場所が必ずしも安全な所とは思えないからです 今回の豪雨でも避難場所の小学校公民館は浸水しました 災害の後指定された所は大丈夫でしたが当所は分かりませんでした。（愛媛県・女性・70代）	色々な情報に満足しています（愛媛県・男性・70代）
情報は多くても生かされなければ空振、危険発生時の連絡体制が重要です。（広島県・男性・70代）	7月の土砂災害について現在住んでる場所に拡声機が2ヶ所ついておりますが今回は1度も警報を聞いてなく警報の音を大きくして住民に異状を知らせてほしかったです。1階が8日の朝水が胸当たり迄きていたが大事な物を取りに4回ぬれては着がえしなおし寒くて危険だった事を思い出しまっと早く避難をと住民に届くよう最大の拡声機の音で知らせてほしかった。まず拡声機の見直しをしてほしいです。（広島県・女性・70代）
警報などが発表された時は、早め早めの行動が一番大切だと思う。（福岡県・女性・60代）	テレビでの情報で分かるがホームページとかで発表されてもパソコンが使えないので意味ない。スマートホン、パソコンがない人はどうするか？（岐阜県・女性・70代）

V. 巻末資料

<p>高齢化社会の中、独居の方もいらっしゃる独居の中では認知症の方もいらっしゃいます。施設においても人が足りず大変。高齢の方だけの暮らしもあります。認知の方は状況を把握することが難しいことが現実。体の不自由な方（若くても）も災害時はだれが避難所へつれていくのか…現実はその簡単にいかないと思う。情報を理解できる方は（どの年代の人も）、災害時状況を軽く考えないよう意識を高めていく必要があると思う。理解できない場合でもどのようにその人達が避難していくか、これは、社会全体でもっと考えて国全体で考えて地域での取り組み方災害時がスムーズに行えるよう（災害がおきたらどううごいていくか）情報だけでは足りないこともあるように思います。でも情報のおかげで防げることは間違いないと思います。（福岡県・女性・40代）</p>	<p>今まで災害にあっていない大雨でも特に心配していない区域ではあるが大雨警報等が出るような時は家の周囲や近くの排水路の見まわり等には気を配っている（広島県・男性・70代）</p>
<p>・日本全国安全地帯はないと思われるが、住んでいる地形を良く理解しておく事が大切だと思う。（併し最近では予測できない）・7月の大雨のため県道が川となり2～3日は孤立してしまった。一避難所の学校まで1kmしかなくても行けなかった。・全携帯電話にGPS機能を持たせて、ハザーマップで危険と表示が出たエリアへは携帯電話でアラームを出す様にしたらどうか。（自分のいるエリアがどんなエリアなのか解らない人が多いと思う）（広島県・男性・60代）</p>	<p>危険区域に住んでおり未就学児がいるので今後はかなり早目に避難しようと考えています。避難所の開放を早目に行っていただけると安心です。（広島県・女性・30代）</p>
<p>今回災害を体験して、具体的に避難について考えたり準備したりと行動できるようになっていますが、それまではやはり無関心でした。八木の災害がこんな近くであったにもかかわらず本当に情けないです。今年初めの災害の説明会なども参加が少なかったですし、やはり住民の意識の低さは問題です。安全で安心な生活で感覚が鈍いし、体勢も出来てないし、町内会や自治体、家族レベルでどう避難するか日頃から話しておくことがとても大切だと思います。（広島県・女性・50代）</p>	<p>車で移動中のこともある為ナビにも何かしら表示されるものがあれば良いと思います（自分の走行している地域のです）（広島県・女性・60代）</p>
<p>昭和28年筑後川夜明ダム決かいで家、土地田畑全部流失したので高台に土地を購入し借金をして家をたてたけど、ようやく出来上り今度は台風で隣の瓦など飛んできて…車庫がめっちゃめっちゃ…車も。でも隣人は台風だからと何の…隣の瓦まで片づけるのに大変だった。すて場所も自分達で探して大変だったのは忘れられない…防災気象情報大切です。大変でしょうが早目に出してほしいですね（福岡県・女性・80代以上）</p>	<p>大雨が降ると予想されるときに、自分が危険な場に住んでいるのか、居るのかを、確認してもらう必要がある勝手な判断で、ここは大丈夫と思っている人が多い。（広島県・女性・50代）</p>
<p>台風情報などはテレビでよく見て参考にしているけれど、あまりあたらない事が多い。でも早目の準備が出来ておおごとにならなくて良かった。（広島県・女性・60代）</p>	<p>高齢者は、特に、「直ちに避難せよ」といわれても、すぐに行動出来ないため、なるべく、はやめの発表されたほうが良いと思う。（少々の空振りも可）（愛媛県・男性・50代）</p>
<p>高台の団地なのでそれほど気にしてないけど今回の7月6日はあのすごい音でとてもとてもこわかった。私の家は大丈夫だったけど朝回りの風景でびっくりしました。（広島県・女性・70代）</p>	<p>長すぎて読むのが大変だったので、もっとカンタンなアンケートにしないとイヤになる。（愛媛県・女性・30代）</p>
<p>となり近所の人と連絡を取りながら行動がとれるようになれば良いと思う。（広島県・男性・70代）</p>	<p>ホームページ等を見たことはありませんでしたし、なかなか見ません危険な時はスマホ画面いっぱいTV画面いっぱいに避難の必要性を活字で表示してください。音声でもおねがいします。</p>

<p>この度の西日本豪雨災害で私の住んでいる地域では多くの死者、住宅の半壊、全壊の被害にありました。今なお多くの人は仮設住宅、他の地域に引越をされています。早く皆さんが元の住まいに帰ってこられることを願っています。私の住んでいるこの地域は高齢者の人が多く、ケイタイ、又TVのリモコン等の操作が苦手です。早い情報がとれにくい。防災非常放送は雨、風により聞こえ難い。目の前に危険がせまって始めて行動を起こす、その時は災害を受ける危険度は高くなると思われます。豪雨等の気象情報は地域のTV画面に、横に小さくてもリアルタイムに写し出してもらいたい。公共、民放を問わず早いうちから準備ができより安全な場所に避難ができると思います。(広島県・男性・70代)</p>	<p>(広島県・女性・60代)</p> <p>パソコン、スマートフォン共に利用していないので情報はテレビのみで停電になったら、不安です。今年の災害でスマホの利用を考えています。(兵庫県・女性・60代)</p>
<p>高齢者が自分の周辺に多いのでスマホやパソコン、携帯TELさえ使いこなせていない人が多い。大雨や雷の中での防災放送は聞こえなかった。多分そういう人達はテレビはよく見るだろうから、それも含めて複数のメディアを通して通知し、さらに停電や危険になってから避難する意識を改めさせるしかないように思う。(福岡県・男性・60代)</p>	<p>H30年7月の大雨で自宅のすぐ先が土砂崩れにあい、不明者のそうさくにあたり交通規制と山が崩れる可能性がある為、5日間自宅への帰宅ができず、避難となりました。この大雨が降る前にも1度大雨か台風かがあり雨がたくさんふつたと記憶しています。当日の朝目を覚ましたのは少し離れた場所に住む親せきからのTELでした。“外がすごいけど、大丈夫？にげたほうが良いのでは？”そのまま外を見るとこれまで見た事のない量の泥水が向かいの山から吹き出ており地面が茶色の水であふれこちらへせまって来ていました。(AM7:30ごろ)それに加えての大雨に恐怖を感じすぐに荷物をまとめて避難しました。夜中の12:00頃天気予報でしきりに大雨だと言っていたのもあり、避難準備と1:00頃までメッシュ情報はカクニンしていましたが、まさか本当に短時間で雨がふり命をおびやかす程の土砂崩れがおきるとは思ってもいませんでした。この同じ頃、1ブロック先では山が崩れてしまい民家をのみこんでしまっていました。私達は避難しましたが、実際両隣の方達は“どうします？逃げたほうが良いですかね？でも行き場もないし、小さな子もいるし…”との事で話し避難しなかったそうです。正常性バイアスがこの会話ではたらいてしまい、逃げる事につながらなかったのではと思えてなりません。お隣さん、ウチへも来てくれたそうなのですが、すでに私達は出てしまっていました。もう少し早くこの会話が3件で出来ていれば、両隣とも“逃げる事”も考えてくれたかもしれません。また今回の雨でも大丈夫だったという経験値が増えてしまった可能性もあります。気象庁さんのメッシュ情報の色わけは、わかりやすいので、大雨のたびに利用していますが、今回の事を経験して、これまでに降った雨の量(1週間とか1ヶ月とか)+今から降るであろう量があわせて何ミリ以上になるとキケンなのか数値として見る事ができればなおわかりやすく目安になると思います。その際、過去の大きな被害があった時の雨量もあわせて見る事ができればと思います。(福岡県・女性・30代)</p>
<p>避なんが重要 (広島県・男性・70代)</p>	<p>海が近いので南海トラフの地震災害とか家屋の保険を見直して</p>

V. 巻末資料

	います。(愛媛県・女性・70代)
河川の氾濫予想が外れて大きな被害にあった地区に友人や親せきがいます。予想されていた地域には全く被害はなく、大丈夫と思われていた住人の所は大きな被害がありました。大切な物、思い出のあるもの、早くわかっていれば運び出せたと思うと残念です。(岐阜県・女性・50代)	・夏の災害の時には太田川の水がかなりあがっていたので怖かった。ネットで水位が見れたのでわかりやすかったが、防災メールでも水位が危険な所まで来ていたら教えて欲しい。・7月にすぐ近くが土砂災害にあったが朝まで気がつかなかった。くずれた時に教えて(メールで)くれていたら夜ひなんした。(広島県・男性・30代)
NHKのデータ放送と気象庁のホームページを連携して簡単にテレビでも確認できる様にしては良いのでは。(愛媛県・男性・50代)	我家は道路に面した場所にあり今回の災害の時も雨の音や、その他の雑音(車・JR、バス等)でサイレンや町内放送や、緊急放送が聞き取れなかった(広島県・女性・50代)
・50年に一度の災害が予想される…の報道が年に幾度も有り…表現方法を変えてみてはどうか。・強い雨、非常に強い雨、猛烈な雨など雨量により表現が有るが、時間雨量20mm、50mm、70mm等の実際の降雨映像をTVなどで放映して、雨量と災害(土砂、洪水等)の関連性を分りやすくすれば良いのでは。(愛媛県・男性・60代)	警朝がくわしく発表されるよい時代に身体を第一に考えて命を大切に行動される事をお祈りします(兵庫県・男性・80代以上)
避難警告が出されるが指定区域が広すぎて避難すべきかどうか判断に困惑する。(広島県・女性・60代)	年を取ると何もかも思うように動けず皆様にお世話になります、よろしく願い致します(岐阜県・男性・80代以上)
いつ避難をすればよいか、なかなかタイミングが分からなかった。(広島県・女性・30代)	今回、TVなどで、大きな災害の可能性があるとこのことで、職場(親)(東広島市)は早退するように通達が出て、直接被害は無かったが、学校(子)(安佐南区)では、その対応が出ず、公共の交通機関もストップし、土砂崩れの被害もあり、当日帰宅できなかった。個人の対応も大切だが、学校・職場での対応をもっとしっかりして欲しい。(広島県・女性・50代)
高令化の中、情報は極力簡単にしてほしい。例えば「大雨特別警報」が発令されたら避難する…等、考えている人が多い。[参考]各市町村には、命令調で情報を伝達してほしい。(福岡県・男性・70代)	1. 自治体が提供している登録制の防災メールサービスにおいて、地域毎に、それぞれの防災に関する警報メールや避難に関する情報メールが、次から次へと配信されるため、情報が混乱してしまう。2. 線状降水帯の画像や、暴風の時の風向きの画像等、一目で判断出来る情報があれば、避難等の判断材料になると思う。(わかり易い画像)(広島県・男性・60代)
高齢者になると防災行政無線をほとんど利用しにくい それに聞きにくい。(役に立たない)今は、テレビ、メールのみに頼っている。災害から4ヶ月経っているのに県道・河川の修理は今だされておらず通院に大変困っている。遠くまで迂回するのに時間を費やし体力も必要なのはその立場の人のみしか分らないと思う。(広島県・男性・80代以上)	・情報を元に外の状態を見て危険だと思えば対処したいと思う。(愛媛県・女性・60代)
特になし(広島県・男性・70代)	空振りOKです 少しでも早く情報をテレビ等で流してほしい。命あってのものであります!!(愛媛県・男性・50代)
県と市の防災メールを受信しているが同一内容のメールが大量に入ってきて、夜中に眠れないことが多い。(広島県・男性・60代)	南予の今回の大雨災害は、この90年ではじめてと老人が申されていきました。私たちの家は谷間に一列に並んでいるため、わずか800mの道沿いとはいえ、その間に10ヶ所も道路の左、右がくずれて、川や道路が埋まり、畑が沼のようになり、川となった道路には上流から大きな流木や、車や、土、石が流れてくると、逃げる方法もなく、正直死を待つしかないのかと思いました。(た

	<p>だ、地域の人には早目に避難せよとの放送があったようです。私は母について病院にいて、夕方母と家に帰って来たので、知らなかっただけかも知れません。そのまま、睡眠をとり、翌朝6時に起きると道路が40～50cmの急流になっていて身動きがとれず、逃げ場がありませんでした。) バッテリーが助けて、PCから、気象庁さんの情報などを利用させていただきましたが、テレビも見れないのは心細いですネ。(愛媛県・男性・60代)</p>
<p>・ピンポイントの情報があればより避難を早めにとできると思う。・老人やひとり暮らしの方に対して細かな指示も必要と思う(日中ひとりになってしまう人もいるのではないか)(広島県・女性・60代)</p>	<p>避難場所が離れているので、逃げるにも敬遠する人たちがいます。今年の災害で住民の意識が高まり、早目の避難が意識される様になった事は、経験から学ぶ事につながりました。今後、この異常気象の対応に自治体と一致団結して対応をお願いしたいと思います。(福岡県・女性・50代)</p>
<p>ハザードマップが家がない市からの配布がない(岐阜県・男性・50代)</p>	<p>自宅は川沿いにあり、7月8日の大雨の災害の時は、はなれが床下浸水にあいました。川向うの家はほとんどが床上浸水です。昼間雨はあまり降ってなく夜の11時頃から降りはじめ、丁度寝た頃より降りはじめ2時すぎに浸水です。避難する場所は2階しかありません。近くの公民館も川沿いです。こんな場所に住んでいるので大事な物は2階に置くようにするしかないのかなと思います。(岐阜県・女性・60代)</p>
<p>危険度等を5段階にて表示した方が、わかりやすいのでは?(福岡県・男性・50代)</p>	<p>大雨特別警報等は常にテレビニュースを良く見ている。(福岡県・男性・70代)</p>
<p>・色々な言葉が増えてきて警報が一番の重大だったはずなのに混乱します。(ニュースでの伝え方も含め)・警報が出た時点で避難すれば良いがただの警報では大してひどくない時が多いので警報では避難出来ない。しかし、7月の大雨の時の場合、突然だった時、この地域では水のつきやすい所を通らないと避難所に行けない。地域の人から(先人)からの経験も情報としてもってほしい。数字やデータでなく(例)この地域で雨が降ると水が増水しやすいとか…河事工事などで地形が変わった時の推測やあくが必要と思う(岐阜県・女性・50代)</p>	<p>1人暮らしでは思っている行動が出来ないかも。避難せず家に居るかも知れません(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>異常的気象を予知警報していただけることに感謝します。気象庁の立場から、異常気象の原因的なものを調べ、国民、各関係機関に改善提案することも大切だと思います(岐阜県・男性・50代)</p>	<p>携帯にメールで知らせてくれるのはありがたいが少しわかりづらい。すぐに見れない時もある(福岡県・女性・40代)</p>
<p>テレビでいろいろ知らせがありますが画ぞうとかさなりよみにくいので色とか字の位ちを考えてほしい。時間も、もう少し長くよんでうちに終わってしまう(きえる)(岐阜県・女性・70代)</p>	<p>気象庁の細かい情報が出されても受け取る側の意識が低ければ避難する気持ちになれない。今回の災害で、身にしみえています。色々な取り組みありがとうございます。(広島県・男性・60代)</p>
<p>今回の水害で、情報を待つのではなく、自分の地域を調べて知る事が、大切だと思いました。地域ごとに、細かな情報が入ればありがたいです。(岐阜県・女性・40代)</p>	<p>情報提供をいくら万全にしても、子供、年寄り等、付き添いの必要な方々は、当事者になっても動けない事が予測される。自治体や消防等が訪問し、非難等促す必要性がある。(福岡県・女性・60代)</p>
<p>今まで台風(風が家をちよくげき)家に風があたらない洪水、土砂、山くずれの心配をした事がなく良い宅地にすんでいると思っています(岐阜県・男性・70代)</p>	<p>気象庁・国交省・地方政治それぞれが情報を深く共有し、速やかに正しい指示を出してほしいと思います。今回の水害においても現場では、警察と消防署・消防団が一番の頼もしい存在でした。(責任のなすり合いだけはやめてほしいものです。)(愛媛県・男</p>

V. 巻末資料

	性・60代)
今年は何年にもなく各地で災害が発生した年でした。私の住んでいる所でも思っていない災害が発生してもびっくりしました。自分の地区は全く関係ないと思わずに気象情報を常にチェックして早目早目に対応していきたいと思います。気象庁のホームページをこの機会に1度チェックして見ようと思いました。(愛媛県・女性・50代)	30年7月の西日本豪雨災害では予想以上の被害となりました。自分の所は大丈夫という油断もあったかもしれませんが。万がいちどこのようなことがあるならば、早すぎるぐらいの避難が大切だと思いました。あと災害への備えも大切だと思いました。(愛媛県・女性・40代)
予報、危険告知、避難検討等、自然に対応していく事と、日本全国における人命を担う事、大変な事だと思います。この様に我々にヒアリングして下さる機会につきましても有難いとも思います。既に命を落とされている方々、被害にあわれた方々に対し、より良い将来を導いて下さる様心より御願ひ申し上げます。(愛媛県・男性・40代)	年寄、子どもに単純でわかりやすい警報にしてもらいたい。現在の避難情報はわかりづらい。単純に(福岡県・男性・60代)
色わけでなく数値を表して欲しい(新しい情報を)(愛媛県・男性・20代)	農家向け長期予報 気温、日照、降雨、降雪、降霜(福岡県・男性・70代)
高齢者にもわかりやすい情報と、マップなどの説明が必要ではないですか。(福岡県・女性・50代)	近くで災害があったが身体がふじゆの為2人が亡くなりましたがその時乗物等を用意して下さると大変助すかと思う(福岡県・女性・70代)
めったに天災、自然災害のおこらない地域に住んでいると思っていましたが、今年の7月の西日本豪雨災害では、住んでいる地域がとても普段では考えられないような被害にあいました。今だに道路等、周辺が復旧していないところもあります。(自分の家は無事でした。)いつも他人事のように考えていましたが、これからは、もっともっと防災気象情報を細めに見ようと思いました。気象庁の情報は、私にとってはとてもありがたいものです。これからもよろしくお願ひします。(愛媛県・女性・50代)	熊野町の場合は、土砂災害の日、普通に学校があり、避難メールが頻繁に入り出したのは、18時半頃だった。夜間と停電が重なり避難を躊躇してしまった。雨量が危険と分かった15時に避難メールが入っていたら、早めに避難していたと思う。空振りでも良いので、早めに避難を促してもらいたい。(広島県・女性・30代)
河川においては、ダム放流量と河口の潮位(満潮時刻)等の情報もあわせて、提供して欲しい。(愛媛県・男性・40代)	毎日の気象観測、データ配信ありがとうございます。大切なデータが有効活用されることを望みます。(福岡県・男性・60代)
避難場所の受け入れ体制が不十分と聞いたので、十分確保して欲しい。(福岡県・女性・40代)	町内放送等で、「災害危険」を知らせる時は、放送前に、「サイレン」等を鳴らして、知らせてほしい。(大雨や風等で急に放送が始まっても室内に居る為、聞こえにくいです!!(広島県・男性・70代)
・自分の住宅の上流の地形と自宅の関係を数十年前から心配していた(てっぼう水の流方)ら実際その通りになった。当日家の外で災害をカンサツしていた。(前日の夜クマモトアソ山ふきん方面がイナズマ、すごかった。)(福岡県・男性・60代)	このアンケートの質問が長い文章で読む気がだんだん失せてきました。もう少し簡潔な質問内容にされたほうが答える側としては楽だと思います。(広島県・女性・40代)
・大雨に関する、防災の意識は10年に1度とか、30年に1度とかの感覚ではなく地球温暖化による異常災害と思われる。1度あることは、2度、3度あると思われる。常に防災に対応する心構えが必要と思われる。(福岡県・女性・70代)	幼い頃からの教育も合わせて必要だと思う。今回の大雨の被害は、予測不可能だった。小学生からの教育をして、災害の意識を高める事が必要だと思う。(広島県・女性・50代)
近くの道路の状況を知りたい(どこが道路として大丈夫なのか)(愛媛県・男性・50代)	高齢なので行政放送でわかりやすく知らせてもらえれば(愛媛県・女性・80代以上)
この度の豪雨で家の中へ水が浸水する勢いの速さにはびっくり	高齢でネット環境のない生活の為、ネット情報は見ない。TVの

<p>で、二階に避難するのがやっとでした。大雨が降ってはいたけど、いきなり水が押しよせた感じで、防災どころではなかった。災害の後は、気象情報を気を付けて聞くようになった。(広島県・女性・70代)</p>	<p>情報のみ聞いている。(愛媛県・女性・70代)</p>
<p>住んでいる地域でこんなに大災害が起こるとは思わなかったのでショックを受けています。よくテレビ等で情報を聞き、警報が出たら避難しようと思っています。空振りになるとうれしかったです。(広島県・女性・60代)</p>	<p>地域の役場の支所の方が早めに危険情報を知らせていただいて助かっております。(愛媛県・女性・50代)</p>
<p>1. 避難指示は気象庁、消防庁が情報出し避難指示は市町村が判断し指示を出してるが明るい内に出して行動が取り易く出来れば良かった。今回は移動し始めた時は少し暗く土砂が家の前に流れ込み移動が困難であった。2. 現在町内放送が場所によってはまったく聞えない場所に住んでいるため情報が入らない、もっと町内放送を活用出来れば住民が早く行動が取れたかもしれない。(気象庁→消防庁→市町村→町内放送→住民) 3. 私共は高齢者のため、スマホやインターネットを使用していないため情報を得るのはテレビの情報が重要である 今回のアンケートでもスマホ情報等の事が多く記載されているが私共は情報を得る事が出来ない。(広島県・不明・70代)</p>	<p>早く避難する、させる為に、日常からその意識を持つ。西日本豪雨では、特に高齢者が自宅を出たがらないので、対応に苦労した。地域民家族を含めて高齢化社会への準備が必要。「死んでもいい」と言う人達へ「死んでもいいが、行方不明になったら、大勢の人が捜索し迷惑をかけるよ」といって連れ出した。(広島県・男性・70代)</p>
<p>避難場所が浸水した際孤立状態になるのであれば家から出ない方が安全なのではないですか(広島県・女性・20代)</p>	<p>フェイクニュースに惑わされる事のない情報(西日本災害では実際に起った)(広島県・男性・70代)</p>
<p>今回、7月の大雨で土砂災害にあつて団地の約3/1が被害に合い、民家人員などに予想もつかない状態になりました。約1.5ヶ月の避難生活を経験をしました。今後は、大雨、台風など今まで以上に情報などを一早く確認をして行動することに気を付けて行きたいと思う。(広島県・男性・60代)</p>	<p>パソコンもスマホもダメなのでテレビの画面を見ても、最後は町からの放送指示で皆んな行動しています。(広島県・男性・70代)</p>
<p>発表される警報の言葉に危機感が無いのが現状。非常に危険、極めて危険と項目が多いし、分かりにくい。地震とかは、震度〇〇と数値化されているため、この数値からは、危険と認識がある。(震度5はかなり大きな地震など)危険度を数値化や、〇〇〇せよ!!のような指示表示にしたら、分かりやすいかもしれない。(広島県・男性・30代)</p>	<p>防災の警報で近くの避難所に避難する様に報送がありそちらへ避難しようと思ったが誰も来ておらず市の職員が2名いるだけ別の避難所へ行く様に言われた。市の職員も気象庁の情報は分かっていたのか疑問その後別の場所へ避難する途中の道で車ごと土砂崩れにまきこまれそうになった。最終的に近くの避難所は山崩れで現在も使用出来ない場所である(広島県・女性・50代)</p>
<p>テレビがいてみでることができなかつたりスマホももっていない人にどのようにして危険を知らせるかを具体的にわかりやすくつたえる方法を考えてほしいです(広島県・女性・50代)</p>	<p>・今回熊野町の土砂被害地は10年前位違う谷に大きな土砂崩れ発生しておりその経験が生かされなかったのは残念であった。・今回町内連絡スピーカーが鳴らず今後の為に古い携帯からスマホに代えた・ハザードマップに危険指定なくても一律に避難指示出て判断しにくい(広島県・男性・70代)</p>
<p>気象庁の皆様おつかれ様です。私共は頼りにしております頑張ってください。今度の土砂災害で学んだ事は自分で考えて早目での行動を起こす。命があれば空振りだっていいじゃない。です。自然は思ったよりこわい 春には花が咲き秋には紅葉がありますが自然はなめてはいけなと感しました。(広島県・女性・70代)</p>	<p>ホームページを見る手段はなくてテレビだけでは情報不足です。(身近な情報がない。)7月6日の豪雨土砂災害の時は雨の音等で(町内)防災放送はほとんど聞こえませんでした。(坂町小屋浦地区改善をお願いしたい。)(広島県・女性・70代)</p>
<p>最高の警報を日々出せる様努力されていると思います。頑張ってください。なのでアンケートを取る必要があるのかわかりませ</p>	<p>最近の災害は非常に小さな地域で起るために地域の自治の判断が重要ですので上からではなく地域での団結力が無いとテレビ</p>

V. 巻末資料

<p>ん。最高のものを目指して、やりたい様にやって下さい。応援します。(広島県・男性・50代)</p>	<p>等で判断するには個人差があって危険です。(岐阜県・男性・70代)</p>
<p>今後警報発令時には情報収集につとめ避難の基準としたいと考えます。(広島県・男性・50代)</p>	<p>殆ど屋内仕事。建物の中に居ると外の気象変化等帰宅時に外に出る迄分からない。情報は大事です。知らないところで色々考えて頂いている事に感謝です 周りに気を配り危険を避け命を守りたいと思います(福岡県・女性・40代)</p>
<p>避難警報が出ていても“まあいいやそのうちおさまる”と安易な気持ちで避難せず被災してしまう方が多い。防災気象情報→行政からの避難指示をもっと強制力を働かせる仕組みにしていかないとこれからも被害者(自然災害)が減らぬのではと思います。(広島県・男性・60代)</p>	<p>随時最新の状報が知りたいのでよろしくお願い致します。(広島県・女性・40代)</p>
<p>100年に一度の大雨、50年に一度の大雨、10年に一度の大雨}に対する避難の内容を分かりやすく、危険度の情報がタイムリーに報道してほしい。(広島県・男性・70代)</p>	<p>昔に比べより細かなデータが提供して頂けありがたく思います。データや情報を読みとく力が必要なのかなどう判断するのかデータと共にリアルな人と人の力も必要なのかなと思いました。(広島県・男性・40代)</p>
<p>大雨警報が出たらテレビの気象に関する情報に通常よりも注意をはらい実際の周囲の状況にも気をつけ、避難するかどうか見極めたいと思う。七月の豪雨の際には、地元の消防団の人が家まで来て危険だから避難して下さいという事だったので指示に従いすぐに避難した。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>ハザードマップの区域設定が直線的でその境界がはっきりしない。家があるとなかろうと直線ではなく住居にあった区域設定にしてほしい。(福岡県・男性・50代)</p>
<p>ダムの下にある人のこと考えたことがありますか？ダム管理の国土省の人にしっかり勉強会開き気象に役立ててもらいたいです。かなり川があさくなっています。気象庁から運動して深く掘り大雨にそなえてもらいたいです。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>・警報がでていても今回のように災害にあうような川など渡って避難場所に行かないといけないのでどうしても家にいてしまう・自分の住んでいる所がどの程度の危険地域なのか今まで安全だと思っていたので今度災害にあってもう一度見直すことが必要だと思いました(広島県・女性・60代)</p>
<p>災害は特に気をつけて自分の責任で行動する事が大切である。そこで色々な情報を自分が判断し安全な方法場所等を常に身につけておく必要を感じております。(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>小さな河川の情報も見れるようにして頂きたい。(広島県・男性・50代)</p>
<p>テレビしか頼るのがありません。(パソコンがありますが、操作する気がありません。)(広島県・男性・70代)</p>	<p>最近では台風の接近に共って、天気予報がテレビで度々報道されるので、それに備えての行動が出来るので助かります。今回の豪雨で4回空振りの避難をしましたがい教訓となりました。気象庁からの情報が十分であっても市町村の行政関係者は日頃から怠慢なので、対応がとても鈍いです。(広島県・女性・70代)</p>
<p>特に台風の時はNHKのライブとスマホの台風情報を見ています。頑丈な建物と言われますが、体育館へ行くのも行きにくいのが実情です。私の場合特に風に対してが敏感で常にテレビとスマホを見えています。7月の大雨の時は夕方7時頃だったのでまだ明るく対応できました。案の定土砂が流れたのが明け方3時半~4時頃の為土砂にうもれた亡くなった方もありました。私は夕方の特別警報がテレビでスマホで流れたので高台に避難しました。でも道路は渋滞し川のようになっていて大変でした。早目の避難が大切だと思います。(広島県・男性・70代)</p>	<p>テレビ画面では、細かいところなど小さくせまくてはつきり分からない時もあった。(地区、地方)色分けも濃い紫淡い紫など区別がつかない場合もあった。線状降水帯が真っ赤に次々と表われてくるのは、本当にこわく思った。(岐阜県・女性・80代以上)</p>
<p>空振りでもよいのでどんどん情報を早目早目に出してほしい。特にスマホやケイタイで確認できると外出先でも助かります。(広島</p>	<p>裏が山で谷川沿いに自宅があり、大雨が降ると常に谷川のごう音と水量で命の危険をいつも感じているので、ピンポイントでの情</p>

県・男性・40代)	報が欲しい。雨の降り方の予想(レーダー:雨雲)をスマホで時間ごとのチェックをしないと安心してられません。谷川の水量や谷川の水の流れを地形で判断し、1ヶ所に水が集まらないよう土木(国の)事業とタイアップして治安の為すすめて欲しい。いつも雨が降ると危険を感じ、転居しようといつも思い辛いです。(愛媛県・女性・60代)
インターネットやスマホを使わない高齢者でも情報が入るように工夫して欲しい(福岡県・女性・50代)	これからもたしかな大雨情報をよろしくお願いします(愛媛県・男性・70代)
7月の災害にあいとても神経質になるくらいよくいろんなデータを見るようになりました。なるべくわかりやすく知らせてほしいと思います(広島県・女性・60代)	平成30年7月7日の西日本豪雨災害により、想定外のダム放流で、所有建物が浸水被害にあったもので、所々に応じた防災気象情報を求めます。(愛媛県・男性・70代)
家から歩いて2分ぐらいの所で土砂くずれがました幸い家には危険は有りませんでした。が畑がだめになりました。(広島県・男性・80代以上)	7月の洪水は初めての最大水位であったが水位の上ることは経験上わかりサイレンのならずよう要請したのに要請より40分後のMAX時にサイレンが鳴った。今回の最大の反省の1つであった。(岐阜県・男性・70代)
出来るだけ市、町などの狭い範囲の情報がほしいです。スマホのアプリを充実してほしい。目で見えて確認出来て、時間ごとの予報がほしいです。レーダー画像など(広島県・男性・50代)	災害に至らなかったことが大事である。災害が発生してからでは遅い。からぶりでも良いと思います。(広島県・男性・50代)
高齢者の世帯が多く、避難する手段について、考えなくてはなりません。自動車のない家庭もあります。避難した場所が過密状態だったということも聞きました。(福岡県・女性・80代以上)	危険度は色でなくメモリなどで示す方がわかりやすい(広島県・男性・60代)
・ハザードマップを1件ずつ紙面で配ってほしいです。・地域の住宅地図と重ねて見れるようなハザードマップ(詳しいもの)ほしいです。(広島県・女性・40代)	大雨特別警報が出た時、ダムの放流情報も流してほしい。今日ダムの放流で床上浸水しましたが、ただ避難せよだけの指示では、動かないと思う。具体的な情報があれば良いと思う。例ダム放流をいつもの何倍したから浸水するとか…。(愛媛県・女性・60代)
H29.7.5九州北部災害で、近くの地域が大変な被害にありました。(我家は車庫がつかり、1台は全損、1台は修理済み。)浸水した家を取り壊され平地になり草が生えてきています。亡くなったり他の地域で生活したり。もと通りの再建の道があるのかと、悲しくなります。山肌がえぐられ、白い筋がいくつもあるのに、今度の大雨で又くずれるのではと不安になります。(福岡県・女性・60代)	台風の情報はテレビより気をつけて見えています。海ぞい、川のそば回りに家、木々が無いので風のあたりも強く雨もり等時間をみてやっていました。今回はあつというまに停電しかろうじて自治体のマイクが聞こえる中、今まで一度も水が来るなどなかったの床上浸水等予想外でした。(愛媛県・女性・60代)
・大雨特別警報が発令された場合避難したいが身近な自治会館は避難に適さない。よって自治体の避難箇所の開設を早期に行なってほしい。(理由)・避難箇所まで遠距離で道中危険箇所あり・警報予報前に避難箇所を開設してほしい。(兵庫県・男性・70代)	私は年を取って耳も遠く娘が知らせて来れます自分達だけでは行かないのです娘につれて行ってもらいます(広島県・女性・80代以上)
病人がいると、避難場所へ行くのをためらってしまう。(兵庫県・女性・50代)	今回の豪雨災害で地域は悲惨な状況に成りました。この様な目に合っても最初の1・2回しか警報に従い避難しなく成りました。慣れる事への不安が存在します。様々な危険情報も多ければ良しでは無く、シンプルにしかも強烈に発信して欲しい。情報のタレ流しは危険の慢性化に継がる様に思う。(広島県・男性・60代)
以前から警報や避難指示が出た場合は近くに安全な所を個人で指定して移動することになっている。今回もその様にして安全だっ	災害等の被害に遭わない様にする為には、防災、気象情報はとても重要です。(広島県・男性・50代)

V. 巻末資料

<p>た。1ヶ所ではなく2ヶ所にしている。又夜間は遠くに避難は無理なので実行しない。特に夜間に避難して被害にあった人を多く見聞しているため。(広島県・男性・70代)</p>	
<p>もっとわかりやすく色別を！！(兵庫県・男性・50代)</p>	<p>何事もむずかしすぎる。かんたんにわかりやすくしてほしい。あぶないなら早く警報なり放送なりしてほしい。まちがいがあっても早めがいい。知らせてほしい(愛媛県・女性・40代)</p>
<p>私のように山間部で住んでいれば山一つ、谷一つ離れていけば災害の大きさは全々違います。特に近年の集中豪雨の様な時はどの山の上、どこの川のの上流で集中豪雨になっているかで避難警報を出す地域をしぼった方が住民も信頼すると思う。今年の夏に災害が起きた後では広範囲にすぐ避難指示が出ていて、又かぁ、大げさやなぁと思う事もありました(兵庫県・男性・50代)</p>	<p>・場所によって風の受ける影響は様々。風向きと、風力の予想を時間別によりっきりやってもらいたい。Q18の様な図はとても参考になる。・台風の予想で世界各国の予測を早い段階から(台風来る1週間前位)集結させているのを見たことあるが早い段階で対策の必要性を考えられるので参考になってよい。(愛媛県・男性・40代)</p>
<p>異常気象が続く中、気象庁の正確かつ迅速な情報提供をお願いします。(兵庫県・男性・60代)</p>	<p>大雨暴風波浪高潮雷注意報警報図テレビと違ってよく学習出来ました。自然天災には勝てないので… 心構えと出来る準備は努力中です(愛媛県・女性・70代)</p>
<p>大雨の時期を過ぎると用語の意味を忘れることが多いのでTV番組等で年間を通じて防災用語やマップを紹介してほしい(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>避難準備、避難勧告、避難指示の言葉の重要度にとまどうことが多い。一見しただけで重要度のわかる表現がほしい。重要度によって色分けされているが、赤を一番の重要度にするべき(特別警戒)ではないでしょうか。紫では緊急性がすぐにわかりません。いちいち凡例を見て確認しなければいけませんね。(広島県・女性・60代)</p>
<p>今回の水害は予想を越えひどいものでした。板取側ばかり情報があり上之保地域は全く×でした。このことを今後の教訓として行政、私たち地域住民、アンテナを張って備えていきたいです。(岐阜県・女性・40代)</p>	<p>気象庁ホームページも大切ですが、台風情報などはTVで見ることが見近く見えてわかりやすいと思っているんですが、TVでも、ホームページの様な情報を流してほしいです。(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>警報の意味(段階)が十分に把握、又は実感としてまだまだの所があります。(災害場所にいるにもかかわらず)常に防災意識を持つことができるよう広報等でわかりやすく毎月ページを決めて色分け等で目につくよう忘れないようにして頂ければ幸いです。(福岡県・女性・60代)</p>	<p>警報発生時などに、年齢を重ねている者には行政機関、メール、報道など様々な情報が■そうし、混乱している面もあるのではないのでしょうか。(広島県・男性・60代)</p>
<p>スマートホンを持っている世代の人は各自で情報を得られます。年配の単身世帯は、防災無線が雨音で聞こえないと情報を得られません。平成30年7月豪雨の際、仕事で災害対応にあたっていましたが、テレビでは穏やかにいつも通りの番組が流れていたと聞いて信じられませんでした。NHK以外のチャンネルでも切迫性の伝わるメッセージを受け取れるようにならないかと思いました。HPやプッシュ通知だけでなく、より対象の広い周知の見直しをお願いします。(愛媛県・女性・20代)</p>	<p>同一区域にあっても個別建物の立地場所や条件によって危険度が大幅に異なり、現在の警報システムでは自分の所が、どの程度危険なのかの認識が十分にできていないと思う。気象庁と自地体が連携して個別指導を行なう必要を感じます。避難指示も町全体あるいは、谷合筋、尾根筋が混在する区域全体に出て、一般人でもまず危険はないと判断される場合でも避難指示を受けることがある。(広島県・男性・70代)</p>
<p>年寄りには雨の中、夜間等、ましては年寄りだけの家庭ではなかなか遠くまで避難しにくいもの。考えさせられます。(広島県・女性・60代)</p>	<p>熊野町に住んでいますが、熊野町の中には、安全な地域に住んでおられる方もいます。熊野町全体に避難指示を出すのではなく、危険な地域の方のみに避難指示を出した方が、信ぴょう性があると思います。ピンポイントで言われた方が、危険な地域に住む方の危機意識が高まると思います。(広島県・女性・40代)</p>
<p>昨年の九州北部豪雨を経験しました。狭い町の中でも、山の方は</p>	<p>Q19はスマホがないのでQ18の絵がみれませんでしたので回答で</p>

<p>大雨でも自宅の方はほとんど降っていないくて、気が付いた時は、前の道路は川でした。水道が出なくなって気がつきました。落雷で、テレビは壊れて、停電も発生して、情報はほとんど入って来ませんでした。現在は、市の方針で、警報の一段階前の勧告と指示で避難が決っていて、早めに自治で決めた場所に避難します。防災気象情報は必要です。早めの避難の為に。災害が発生してからではどう対処仕様もありません。ハザードマップも役に立ちません。(福岡県・女性・70代)</p>	<p>きません。(福岡県・男性・70代)</p>
<p>常に水害、地震は考えています。畑の土は流れて今も工事が始まってませんが命が一番大切です。民間のテレビは番組を中止しても大雨情報を流してほしい。(福岡県・女性・60代)</p>	<p>・特になし(広島県・男性・60代)</p>
<p>地域を絞りこんでほしい(広島県・男性・60代)</p>	<p>年配になると情報の入取は、テレビが主になっているようです。データ放送が年配でも簡単に利用できるような工夫をもっとして欲しいものです。年を取ると使い方が分からないので使わない、見ないという人が多くいます。又、スマートフォンの利用も一部の人になっているので、何か簡単に知れる方法があればいいのですが。(福岡県・男性・60代)</p>
<p>避難指示は出来るだけ早目をお願いします。足が悪く避難所に行くのに時間がかかりますので(福岡県・男性・80代以上)</p>	<p>ほんとにききがせまった地域があるならば、そのTVが避難かんこく放送しか映らないようになればいいと思う。そうでもしないとなかなか重いこしは動かないと思う(愛媛県・女性・50代)</p>
<p>高齢者2人の生活で、ホームページを見るのがわかりづらい。わからないので困る。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>特に無し(広島県・男性・70代)</p>
<p>大雨警報が出て、避難所に行っても、準備が整っていないときいたり、避難場所自体が、危険区域を通らないと行けない場合など、行ってみてさらに危険にさらされるのではないかとちゅうちよする。実際避難したばかりに亡くなった方もおられるのでちゅうちよする。車で行ったら渋滞するし、徒歩ではこわいしまよう。(広島県・女性・40代)</p>	<p>台風や大雨の際に、被害が割と少なくとも、都市高速道路や、トンネルが、通行止めになる事が多いが、その状況もテレビなどで早めに知らせてもらえるとう有難いと思う。今後とも、国民の安全の為に頑張って下さい。(福岡県・女性・60代)</p>
<p>私達の住んでいる場所の避難指示場所は洪水するし第2の避難場所に行くにはまわりが洪水し身動き出来ません地区の避難場所も土砂災害のおそれがありますので自分自身が安全な避難場所を見つけるしかありません。雨、風の場合常に気象情報を気にしています。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>全、ダム放流情報も流してほしい。…地域の。(広島県・男性・60代)</p>
<p>今年7月6日の安芸区矢野東における豪雨・土石流で大変怖い思いをしましたので、今まで以上に気象情報を活用し、早目の避難をしようと思います。(広島県・女性・60代)</p>	<p>気象庁 大雨注意報の段階 警報 特別警報 市町村 避難準備 避難勧告 避難指示 私はこの段階の言い方が、同じではないので混乱します。特に市町村の言い方強さの段階がわかりませんでした。(これは市町村の問題でしょう。)(福岡県・女性・60代)</p>
<p>今住んでいるこの地域も7/8日の川の氾濫により床上浸水にあいました。深夜だったためまた警報がおくれて鳴ったため、とび起きて外に出た時には道路も川になっていました。警報等今回はあまり役にたちませんでした。雨の降り方、量の多さが以前とは確実にちがってきているので、自身の目で見て確認し対処していかねばと感じました。(岐阜県・女性・50代)</p>	<p>町内放送があるのですが聞きとれません。防災の時だけけいたいで聞きます。88才の一人暮らしなのでハザードマップが理解できません。(広島県・女性・80代以上)</p>

V. 巻末資料

<p>今年の水害で、避難しようと思ったが、道路が川と平行してあって、道路の上に、土石流が流れていた。結果として、自宅より避難所の小学校の方がひどくて、あぶなかった。安全な避難所を指定しておいてもらわないと、警報だけでは、どうして良いか決められない。(広島県・男性・50代)</p>	<p>アプリ等で誰でも、すぐ、手軽に分かりやすい物があればもっと危機意識を持ちやすくなると思うので、ぜひアプリを作って欲しい。(広島県・男性・30代)</p>
<p>スマートフォンでないので詳細は分らない、テレビの情報が一番たよりになる(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>後期高齢者2人居いなのでなかなか避難はむづかしいと思います。家で1番安全な所に避難するのが精一杯です。(広島県・女性・70代)</p>
<p>とても分かりにくい。利用したいと思わないじゃなくて、分からなくて利用できない。私のような人が多数ではないかと思われる。一目で分かる説明のいらない物を作って下さい。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>・大雨〇〇〇と表示されても危険度が実感できないのもっと分かりやすい文言→「特別」ではない文言です」を入れて表示をおねがいがしたい。・仕事中はTV・PC・ラジオ等は観たり聞いたりできません・ケイタイ、町内放送巡回車等をもっと活用して頂きたいです。(広島県・女性・50代)</p>
<p>とにかく市町村の連絡が悪い 自分ではんだんするしかない。はっきりとした指示がほしい。(愛媛県・男性・70代)</p>	<p>老齢なので(85才)体が自由に素早く動かないので、一人で、何もかもしなければならぬ事はちょっと苦しいです。それに自宅が一番安全な場合もありますので、人の命令に左右されず、自分でよくかんがえて、行動することにしてます。その代り何があっても自分の責任ですから、それでよいのです。(広島県・女性・80代以上)</p>
<p>避難するに越したことはないが、何度も携帯で警告音が鳴るがたいしたことない→またかと思ってしまう→避難しなくても大丈夫だろうとなってしまうので、本当にひどい時がこわいと感じる(愛媛県・女性・20代)</p>	<p>高令夫婦で携帯電話しか持っていないので情報の入手はTV、ラジオ放送がすべて。出来るだけ、TV各局からの危険度分布等々詳細な情報提供、メールサービスの充実を願っています。(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>本船乗で以前は自分等でラジオをきいて天気図作成本に航海に■して居ました(愛媛県・男性・80代以上)</p>	<p>ハザードマップがどの地区にどのように示されているのかわからなかった。もっと誰でも解かるようにしてもらいたい。(福岡県・男性・50代)</p>
<p>おつかれ様です。色々と向上にむけて御尽力されている様でありがたいです。(福岡県・女性・40代)</p>	<p>気象情報の精度がもっと向上すればいいと思う ハザードマップの危険区域が安全になる活動を進めて頂きたい。(広島県・男性・40代)</p>
<p>この間の災害の後、家の上手に砂防ダム？が出来ました。試験の警報がありました。全ったく聞えませんでした。午前中の静かな時間でした…。(広島県・女性・60代)</p>	<p>矢野町役場等からの避難サイレンを出してほしい。(広島県・男性・60代)</p>
<p>主にテレビより情報を得ていた。町内放送は雨音や窓を閉めきっていてほとんど聞いてない(聞こえなかった) 避難する時長ぐつは危ないことを体験した。お年寄りには逃げるのに時間がかかる。大雨が予想される時など「土のう袋」など早目に欲しい。(広島県・男性・70代)</p>	<p>高齢になり若い人達と同じ動作が出来なく、避難もだんだんと困難(心の負担)に感じ夜中でも雨の音に敏感 危険な場所より遠く離れる気持が多いです。なかなか平穏な日を待っている所です。(広島県・女性・70代)</p>
<p>今回の災害時早い時間に停電になり、周辺の異常にも気がつかなかった。結果としてあの時避難していた方が危険だったと感じた。もっと早い時間に周辺の異常を知らせてくれる何か手段があればいいと思う。(広島県・女性・40代)</p>	<p>・ホームページの検索する場所が多すぎるのもっと災害が出そうな場合は総合的な形で観ることができないのか?・災害がせまりそうな状況の気象の場合はもっとテレビで放送してほしい。(広島県・男性・50代)</p>
<p>高齢化により目・耳が不自由になりつつあるので何か方策を考えてほしい。(まして高齢者2人世帯)(兵庫県・男性・60代)</p>	<p>老若男女、その他、ひと目でわかるような工夫が必要(広島県・男性・40代)</p>

<p>今回の豪雨で避難所は安全でなかった。川が水量が多くなると通ることができなくなるのでかさあげをしてほしい（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>避難中避難後も安全か。（愛媛県・男性・60代）</p>
<p>住居40年で初めての土砂災害を経験しました。日頃から気象情報に関心を持ち早めの避難に心掛けたいと思います。（広島県・男性・60代）</p>	<p>今までひとごとのように思っていた災害が、自分の家にきた場合、ほんとうに情報というものの大事さが、わかりました。（愛媛県・女性・60代）</p>
<p>何とか警報とかいってもとしよりは、わからないので簡単な言葉（すぐに避難するように）と言う方がよい（福岡県・男性・60代）</p>	<p>7月6日（雨）近くのローソンに食料品買いに行くずっと雨は降り続くその間テレビの字幕を見続けていた今迄にない状況を感じた。大川、菅田の地名がテレビに出るダム放流もテレビの字幕で知るサイレンなど鳴った記憶は無い。前頃はダム放流のサイレン良く聞こえていた。今回は非常にテレビにかじり付いていた。7月7日（土）朝地区班長さんから避難して下さいの電話もらった。自分は団地で一人暮らしで声掛けてもらった。皆さんされるんですか？と一口言った私も行くからの事今迄テレビで避難の様子見た位で何んの用意もしないでバツ1つ持って近くの中学校体育館に行く1人2人位だった班長さん家族も座布団お茶など持って来られ貰ったり色々いっぱい親切にして頂いた。11時頃1度家に帰って来ると伝えリュックに色々詰めて行く前に今回始めて団地に水が入り込んでいたのを見て避難所に行く今回初めての避難となり大変勉強になった（愛媛県・女性・80代以上）</p>
<p>危険度分布を数字でレベルをつけて表示する機能があるとわかりやすいです（愛媛県・女性・50代）</p>	<p>自然相手のお仕事大変な作業かと思います。色々な声もあがり気がめいる事もあるでしょうがどうぞがんばって下さい（愛媛県・男性・40代）</p>
<p>坂町小屋浦ですが、今回の災害について、もっと地域に即した予報、警報を出してほしい。（広島県・男性・70代）</p>	<p>命を守るのが第一ですので皆さん問いには各自が気を付けているのだらうと思います 失礼しました。85才大洲市です（愛媛県・男性・80代以上）</p>
<p>土砂災害のおこらない地区に住んでいても雨の量により思いもよらないじたいになる事を身を持って思いました 気象情報を出る方もたいへんだと思います（広島県・女性・70代）</p>	<p>ハザードマップを力を入れて作成するよりも居住地域の調査を徹底し住宅としての許可を許さない様にするべきだと思います。日本の国土が狭い核家族となり住宅が多く必要な事は理解しています。少しでも危ない土地は夜間人のいない工場やトラグアンなどに利用する様に考えたら良いと思います（広島県・女性・60代）</p>
<p>かつてない大雨が急に降り出しどこへ、何で避難するのが安全なのか判断できなかった。ハザードマップも少しずつでも改善を進めて頂きたい（愛媛県・男性・50代）</p>	<p>住んでいる地域にも避難勧告や指示があったが自宅が河川の側でないこと山際でないこともあり自宅から出て避難しようという判断には至らなかった。被害に実際にあわれた方々も同じような気持ちで自宅で過ごされていたのだらうと思います。その結果たくさんの命が奪われることになりました。誰もが見直さなければならぬ問題。まさかとは思っても気象庁の情報にはしっかりと耳を傾けたいと思います（広島県・女性・30代）</p>
<p>地域で降水量が詳細に分かる情報を流してほしい。雨量計の設置を増やしてほしい。（場所ごとに降水量が違うと考えられる）川の集水面積の表示（何箇所かに分ける）土砂災害警戒区域についても谷すじの集水面積の表示を。（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>このような災害（水害）にあったのは、はじめてだった。避難所も浸水し、どこに避難すればいいのか、あらためて考えさせられました。山道もくずれ、山くずれもおおき、高い所の避難もむずかしいなあと思いました。これから津波の時はやはり高所だと思</p>

V. 巻末資料

	ます。私達の地域は小学校くらいしか高所はありません。避難ビルみたいな所がほしいです。(愛媛県・女性・60代)
今回うちの家は、ブロックベイにより被害がなかった。ラッキーである。(愛媛県・男性・60代)	西日本豪雨で自治体・気象情報の遅さに命の危険にさらされました。とくに今年の台風の予想の外しまくりの予想はあまりにひどいと思います。危険をあおるばかりで実際は大した被害もない場合が多かったです。ウェザーニュースに負けてはダメ(愛媛県・男性・50代)
従来と比べ精度も高くなり、情報も多く発令されるようになり参考になる。ただ本地区ではダムの操作での被害がほとんどでありダムの情報がすべて出されてなく公開されることを望む。緊急放流量の情報があれば判断できる。(愛媛県・男性・60代)	Q22、知っていても実際は避難場所が遠くて又、特別警報の出し方よくわかる様に(広島県・女性・70代)
情報も大切だが、災害はいつ来るかわからないと言う事をいつも考えておくべきではないか、状況判断(愛媛県・男性・50代)	大雨の場合防災無線が聞こえなくて、困る、ケーブルTVでも放送してほしい。ケーブルTVで河川の様子など映してほしい。どんな状況かわからないので、よけい不安になる。大きな地区で避難勧告が出ても自分家はそれにあてはまるのかわからず避難しにくい。(愛媛県・女性・50代)
異常気象が最近多い中、防災メール、スマートホン及びテレビ等で警報・避難勧告等情報が早くとても助かります。(愛媛県・男性・50代)	近年、過去に例のない大雨や台風が多くなっていると思います。空振りになっても良いので、重大な災害の起こりそうな時はどんな情報を出して下さい。(愛媛県・男性・40代)
私は台風・大雨などの情報はテレビのニュースで知ることがほとんどですが、今回の災害で自分でも情報収集を積極的にしていく必要があると体感いたしました。これは当然のこととして、更に気象庁としては情報の提示を少しでも早く国民に伝えるよう、そして各自治体としては、その情報を自治区民(特にハザードマップ区域の方)の誰も知らなかったと言えないような伝達をして頂ければと思います。(愛媛県・男性・40代)	各自治体には防災無線があると思うが、大雨や暴風時には情報が聴きとれない。室内でも可能な情報が流れるよう気象庁からも県や市町村に指導は出来ないか。(福岡県・男性・70代)
今年の夏には、今までに経験した事のない大型台風、スピードも早く予想外の事が多く発生した。従って今後は細心の注意をもって対応してゆきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。いつもありがとうございます。(愛媛県・男性・70代)	*避難所自体が家よりも安全なのかどうか不明で避難することを選ぶ事がよくある*→この表はスマホ苦手世代でもすぐ見れるようケータイの初期段階ですすでにインストールされてるアプリにするとか認知度をあげて誰でも知っていて活用できる様にするといい。時間帯別は助かる。地域も詳細だと分かりやすい。(現在地で検索できるとか)(広島県・女性・60代)
自然災害はいつどこで起こるか分からないことが今年7月の豪雨災害で身にしみるほど痛感いたしました。日頃から防災気象情報を他人事と思わず、意識していきます。(愛媛県・女性・40代)	「大雨特別警報」を待つからの避難ではなく、早めに避難出来るよう心がけたい。又、その為にも警報等、気象情報がすぐに得られる様、日頃から気にしておきたい。(広島県・男性・40代)
ハザードマップの表示を、気象庁のみならず、地方自治体のホームページ等からでも入れるようにしてほしい。(津波のハザードマップも同様に非常にわかりにくい。)(もっとわかりやすく見られるように)(愛媛県・男性・40代)	この夏の豪雨で大変な被害にあった地区にいます。テレビや地区の行政無線で、普通でないと感じ、他の人にも声かけし早めに避難しました。家に帰ってから全体の被害状況が分かりませんが、落ちついて現状が分かり、本当に大変なことになってしまったと思ひられました。いろいろ情報を流していただいても、ここら大丈夫となんとなく思っていました。これが最後ではなく、これから先の環境の変化が本当に心配だと実感しています。「からぶり」であったほうがありがたいですので、早めに警報をだしていただきたいです。(愛媛県・女性・60代)

<p>山と海では危険内容が異なるのでその土地でのリスクマネジメントが違おうと思う。気象庁としてはその土地ならではの危険予測をしてもらいアドバイス等の情報周知を期待します。今回の調査票設問に関しては年配者や自己管理能力がおとる方々は難しいよう思いました。もっと簡素化すべきです。(福岡県・男性・30代)</p>	<p>少し気象警が遅い(広島県・男性・70代)</p>
<p>避難場所の安全性等を考えた時家にいる方が良い事も考える。安全性も知りたい。(愛媛県・女性・30代)</p>	<p>・日本気象協会(tenki.jp)様提供による1時間ごとの降雨量予測の様な物を御提供頂けると、数値による降雨量を把握する事ができより、避難行動へ移る目安とし易いと思われる為導入の御検討よろしくお願い致します(広島県・男性・50代)</p>
<p>避難したくてもQ16のようにできない。年寄りが動けない。地域の避難訓練に参加しようと思っても「もーいいです。」と実際にはできていないのでいざ避難できない。自治体でできにくい人の対応を具体的に実施できるよう指導して頂きたい。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>気象情報はいつもテレビ等で見ています色々参考になりますが、高令者なのでテレビの情報からしかわかりません(岐阜県・男性・70代)</p>
<p>津波の情報をもっとほしい(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>気象庁、テレビのニュース等で大きな情報に戸惑う事が有る(岐阜県・男性・70代)</p>
<p>今の予報・警報で良いと思いますが情報の対象区域のメッシュを細かくしピンポイント的に提供してもらいたい。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>停電になったため情報(HP等)を見ることがあまりできませんでした。いくらテレビやHPで危険と言われていても停電になるとその情報もなくなります。防災無線も家の中にいるとほとんど聞こえません。(愛媛県・男性・30代)</p>
<p>最近の異常気象(高温等)が心配(兵庫県・男性・70代)</p>	<p>今回7月の災害で、早めの避難が大事ということを感じた。てい電がおこると防災ラジオが役に立った。ケイタイも良いが電池切れになる人が多く、発電機が役に立った。避難場所に発電機があるとうれしい。今回は近所の人がもちよった発電機で対応した。←情報あつめる為に 特別警報をもう少し早くお願いします(愛媛県・女性・40代)</p>
<p>気象庁の情報はたまかな事、川の情報は国土交通省を利用しています。このアンケートによって気象庁の情報をよく見ました。気象庁にも気象情報がありその中で指定河川洪水情報があるのを始めてみつけました。内容は現在入っていない。どのような情報かわからないが今後見たいと思いますがもう少し画面の前で出せないかと思えます。大雨のたびに避難している者には自宅上流の雨量水位が一番のたよりです。(兵庫県・男性・70代)</p>	<p>今回の水害にあつて、防災の情報があることを知ったので、今後は情報をもっとよく見るようにしたいと思う。しかし、今回は雨音も強く夜中にたくさんの雨が降ったためTVも見ておらず、地区の防災無線の注意もぜんぜん聞こえず、ケータイにもなにも入ってこなかったため、避難もぎりぎりになってしまった。エリアメールも早めに出していただくとありがたい。(愛媛県・女性・40代)</p>
<p>家族に歩行困難者が居ます。避難所へ行っても迷惑をかけるだけだと思ってしまう。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>ホームページに情報を載せて行くのはありがたいが、自分自身で見に行かないといけない事で、情報の入手の難しさがネックになっているのではないのでしょうか。メールで送る事もよいが、データをスマホであればアプリを作って手軽に見られるようにしたり、情報が上からおりてくるだけでない共有方法が必要ではないのでしょうか。(愛媛県・女性・20代)</p>
<p>正確な情報がいいです。(愛媛県・男性・40代)</p>	<p>災害が発生する前に危険予知に役立つ情報を視覚、聴覚より分かりやすく得る取組みについて知る事が出来ました。(愛媛県・女性・50代)</p>
<p>・ダムの放流量で、下の地域がどこまで浸水するのかわかるよう</p>	<p>大雨特別警報が発表される前の段階で安全な場所への避難を終</p>

V. 巻末資料

<p>にしてほしい！・ダム放流の仕方が悪い！何の為にダムなのか？・ダムを造るより河川の整備をする！！・愛媛県肱川まじめにちゃんと税金を払っているのに命の保証のない所に人は住めない！（愛媛県・女性・50代）</p>	<p>えておく必要が全体あると今回の災害にあいつづくそう思いました。（広島県・女性・80代以上）</p>
<p>警報を知らせる自治体の拡声器を使った周知が、聞きとりにくい。強い雨でも降っていると、何を言っているのかわからない。周知方法を「受け取る側」から見直していただきたい。（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>H30年7月6日にあった災害を広島市安芸区矢野東で経験しました。それまで自分がこんな危険な所に住んでいると思ったことはありませんでした。一言で言うと…気象庁の表示はぱっと見て理解できません。又自治体のHPで見れるハザードマップももう少し見やすいようにしていただくと見る人が増えるのでは？と思います。ボタン1つおせば見れるわかりやすくする必要があります。本当に情報を必要としている人がすぐ見れる知れるための対策をもっとして欲しいです。今回のことで本当に怖い経験をしないと人は行動にうつせないのだとわかりました。周りの方も自分は大丈夫と今でも思っている人がいます。（広島県・女性・20代）</p>
<p>今年は学校も警報が出て休みになっても雨もあまり降らずこれ台風が来てるのかな？と思う休みがあり、本当にむずかしいのだなと思いました。家がわりと安心な所にあるせいか、ありがたいですが畑に沢山水がたまり、傘をさしてクワを持って水ぬきをしよと行き、アゼを渡る時足をすべらせてバランスをくずし、仙骨を骨折してしまいました。外に出る時の注意 風がなくても要注意する事身にしました。（兵庫県・女性・70代）</p>	<p>最近NHK総合での天気予報で広島県の予報がマビカれる時がありますが今迄通りかならず入れて下さい。大阪福岡の間無し広島県は中間として必要よろしくお計下さい。（広島県・男性・80代以上）</p>
<p>夜間に避難勧告が出る事が多いので避難をためらってしまう。（兵庫県・男性・60代）</p>	<p>私の住んで居る所は山間地で山ひとつ越えると郡上八幡：反対の山を越えると飛田金山と言う所です。砂防壁の下に家が有ります避難所まで遠く、危険な所を通らないと行けません 7月6日の夜は2階に避難しました 天気予報は郡上、金山、関とどこが本当かわからない時が有り思わぬ大雨や高温の時が有ります 今回の7月6日の夜は本当に大変でこわかったです 雨の降り方がバケツの水をひっくり返した様で長い時間でした 川上ですので水は川下に流れ私共は良かったのですが川下の人は大変でした 関市上三保（岐阜県・女性・70代）</p>
<p>TV・ラジオで早め早めの注意報・警報の発信をお願いします。（福岡県・男性・60代）</p>	<p>空振りが多いことも、早めの避難が必要なことも、もちろん心得ているつもりだが、実際には、なかなか行動にうつせていない。八木の土砂災害でも口田の場合でも、いつ、どこで大きな災害が起こるのか、予測不可能であると頭ではわかっている、いまひとつ危機感にかけている人も多いのではないかと思う。危険度を、レベル別表記や色わけするのもわかりやすいですが、やはり言葉で、オーバーな表現でもいいので表記の方が、身の危険を感じやすいのではないかと思います。高齢者は、ホームページをひらくことも少ないでしょうし、dボタンを利用することも少ないのではないのでしょうか。どんなに空振りが多くても、警報は早めに、そして、こまめに更新して発表し続けてください。（広島県・女性・30代）</p>
<p>より細やかな情報（時間も地区も）が手軽に知る事が出来ると良</p>	<p>やむをえず避難した場合自宅を留守にするのが心配。地域の自</p>

<p>と思います。不安の減少に繋がると思います。よろしくお願ひします。(福岡県・女性・30代)</p>	<p>治会、町内会等と各家庭が連絡を密に取り合えば良いと思う。(福岡県・男性・70代)</p>
<p>私は岐阜県関市上之保の地域に住んでおり7月の豪雨で床上浸水し、車も2台廃車になりました。今回の豪雨は本当に想定外の雨量で自然の怖さも知りました。テレビでの気象情報は私たちの年代には情報が得やすいので避難の目安になります。(岐阜県・女性・60代)</p>	<p>・広島市とか何町目とかと同時に団地各迫名で具体的場所を示してほしい。・避難勧告、指示と同時に「降水量何mm、必ず土砂災害、河川の決壊が起こります、すぐ避難して下さい」と呼びかけがほしい。・広範囲な、情報ばかり入ると、とりあえず全部に勧告を出しているのかと思いました。これは、携帯のアラーム情報がずっと鳴っていた時に思いました。(広島県・女性・60代)</p>
<p>早めにテレビなど情報を出してくれるので気を付けているつもりです。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>・100年に1度の土石流が発生すると前夜に確信したが、ギセイ者1名発生が非常に残念だ。10m横は破壊的な状況だった。・町内会会長が優秀な方で、被災から復旧までを一元的にとりまとめた。・町内会で被災していない町民を集めるため、仮設の休憩所を開設し、毎日2h×2人をローテーションで確保。・町内会に防災無線が有れば良いと思った。知らせる方法がない。(広島県・男性・50代)</p>
<p>予測できない災害が多くなり、この地域も昨年7月の豪雨で大きな被害を被りました。我が家の下の川も氾濫して庭に流木や生活用品が流れ込んできました。今だに復旧の途上にあります。以来防災情報は常に関心を持って見ております。テレビ、スマホは常に活用しています。体験した者として心して記入させていただきました。(福岡県・女性・70代)</p>	<p>私は介護・福祉施設(通所)に勤めていますが、高齢の方の中には教育を十分に受ける機会に恵まれず、字を読めない方がいらっしやいます。有益な情報であってもまず理解してもらわないと次の行動に移せないため、危険度の大小がわかるよう色の割り振りを行うことはよいと思いました。ただし、その色が何を表すかを十分に周知する必要があると思います。高齢者の1人暮らしは多いため、早急に対策していただければと考えます。(福岡県・女性・40代)</p>
<p>緊急時はテレビの電源が停止していても自動的に作動させて、(テレビゲーム等していても)放送できるシステムが有れば有効と思います(広島県・男性・70代)</p>	<p>ペットを連れて避難ができる様に(気がねなく)してほしい(福岡県・女性・40代)</p>
<p>メールが来るのが一番大切と思います。テレビ、ラジオは、見ていないといけません、スマホはいつも持参出来ます。いつも、部屋にいるという考えはしない方がいいと思います。現実■水害も、すでにテレビ等からはなれておりました。メール、メッセージ等を、今からは一番利用すると思います。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>?(愛媛県・男性・80代以上)</p>
<p>避難しようと思った時は大雨で暗く出来ず2階に居た。次の日は避難先の中学校が土砂くずれで出来ず支所へ消防署の人がこられ避難したが1階も浸水にしていたので2階以上に居た。水が無かったが支所迄は余りに遠く年寄りは無理で、娘と孫が迎に来て来たので焼山熊野矢野を通過して坂の娘の家に1ヶ月少々居た。(広島県・女性・70代)</p>	<p>ネットでの情報が多く、普段ネットを使わない為、情報が伝わりにくい。(愛媛県・男性・80代以上)</p>
<p>台風の進路予報を少しでもせばめて欲しい(予報円)(福岡県・男性・50代)</p>	<p>いくら気象庁が良い情報を得て発表しても(今回ダム管理する国土省の担当者がマニュアルにそって処理したと言えればそれで終り)当時、気象庁は雨が400ミリ降ると云っていたので先に放流すべきであったがしなかった。これではいくら良い情報を得ても意味がないと思う。(愛媛県・男性・80代以上)</p>
<p>防災気象情報と共に、ライブカメラで河川をリアルタイムで見れ</p>	<p>H. 60. 7. 7豪雨は、私達の地区は、ダム(上流)は、2ヶ</p>

V. 巻末資料

<p>れば、危険意識が高まって、早く避難できると思う。カメラの設置場所を増やすべきだ。風台風の時は、予報で早く、自宅に戻れたので良かった。(岐阜県・女性・40代)</p>	<p>所有り。放水の量により、川の水位が特別に、上昇し避難も充分に、出来ない様でした。放流が同時に、(野村、鹿ノ川) 通状の量3倍～5倍、放流したためです。(この様な、放流は止めて下さい。(愛媛県・男性・70代)</p>
<p>避難勧告の発令段階で行動するが、川の増水が早く防災気象情報で発表されていない小さな川の情報がほしい。今年の災害では増水で孤立状態となって避難できなかった 細部に河川の情報がほしい(福岡県・男性・70代)</p>	<p>役場・市役所等との連携、判断基準を地域別とするか全国統一とするか。TVで日本だけでなく、アメリカ等からの、気象(日本の台風の進向etc)など第三者的な、情報共有もあり、メディアの活用が必要。防災に関しては地元がどう活用できるか地域に情報を具体的に提示していかないと困る。(愛媛県・女性・50代)</p>
<p>私の住んでいる場所は山と海に面しているので、警報等はそういった場所でのものであってほしい。今年の7月7日の激甚災害を目の当たりにしているだけに、少し敏感になっています。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>一人暮らしや何かの理由で避難が必要と思っても、実際は出来ないことが多いと思います。障害の方などや介護保険を利用している人は手をさしのべてもらえるだろうが、比較的元気な年寄りも、何の手もさしのべてもらえず、行政の網からもこぼれてしまい、とりのこされるのではないかと感じています。(広島県・女性・80代以上)</p>
<p>防災気象情報と地域の防災連絡が遅れが無い様になれば良いと思う。(岐阜県・男性・70代)</p>	<p>大雨警報が出て、雨が降っていたら高令者は、1人で避難場所迄行く事が出来ないと思います。(福岡県・女性・80代以上)</p>
<p>今の情報で満足しています。これからも「大雨特別警報」などはテレビを通して何回も注意を伝えてほしい。(岐阜県・男性・50代)</p>	<p>今回の水害も豪雨災害ではなく“ダム災害”なのです 国交省の過去も勉強しない人間が操作してると言う無責任さが生んだ人災なのです。その中で気象庁の雨の予測は分らない旨の発言もありました。こんな人達にダムをまかせる訳にはいきません。7月7日の日も市内が水没していたのは知らなかった。(愛媛県・男性・70代)</p>
<p>絶対災害はないと思わないでいつ自分の身近に来るかを常に感じて早目の行動するよう心構えたいと思います。(広島県・女性・60代)</p>	<p>よく避難するよう発表があっても家に居つづける人をテレビ等で見ますが私はいつもとちがうと感じたら避難しようと思います。なぜなら屋間は一人ですし夜も夜勤の子供がいるので自分から行動しなくてはと思っています(岐阜県・女性・70代)</p>
<p>誰が見ても(老人・子供)分かりやすいようにしてほしい。(愛媛県・男性・30代)</p>	<p>いつもホームページでリンクをはらせていただいております。ありがとうございます。7月の災害から5ヶ月たちますが、その時普通のホームページを災害リンクページにして、情報発信に活用させていただきました。サーバーの負加などありますがアクセス数がとても高いのでこれからも別サイドで(リクエストコメントなど必要とされている方が多かったです)直リンクなど、技術面等どうぞよろしくお願い致します(熱中症予防サイトのよう)特に英語や他言語のリクエストがとても多くありました。(ハッシュタグ#地域名等)(広島県・女性・40代)</p>
<p>高令所帯で避難指示が出て、すぐには行動に移せない。場合によっては途中で危険を感じると思うとちゅうちよする。(福岡県・男性・80代以上)</p>	<p>高齢者は色々な情報をテレビで見たり聞いたりしていることが多いので誰でもが内容が理解しやすいようにしてほしい市区町村でもどうしたら情報が皆に伝わるか考えてほしい。(車で回っているが、何と知っているか聞かえない)(福岡県・女性・60代)</p>
<p>同じ市・町・村でも海側と山側ではかなりの距離があり山の方に住んでいて「高潮」といってもほとんど気にしないので、難しい…。今回の豪雨でこの町にこんなに川があったと知った。住んでいる場所をよく知る事ができるマップなどがあったらいいなと</p>	<p>今回の災害の前に、何の警告も、通知も有りませんでした。雨が良く降ると思っていただけで、突前の山くずれでした。自分の意志で、自分の見目で避難する以外ないと、思いました。(広島県・女性・70代)</p>

<p>思います。(土地とか、昔は山だったとか海だったとか)(広島県・女性・40代)</p>	
<p>・内陸部に住んでいるため、Q19は関係ないと思われる。・特別警報という名前では、危険が迫っているというインパクトが感じられない(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>異常気象と言えば仕方ないように思うけど気象庁の人達やその他の行政の人達に言いたいのは人命や財産を本気で守るのであれば前例とかしがらみとかにとらわれず今何が必要とかを真剣に考えて行動してほしい。たぶん無理だとは思いますが。(愛媛県・男性・50代)</p>
<p>テレビがわかりやすいのでこれからもテレビでの情報よろしくお願いします。(広島県・女性・50代)</p>	<p>・私は75才です。昨年主人が亡くなり1人で生活いますが、家の裏が山になっており恐いです。今年7月近くで山がくずれご夫婦が亡くなりました。恐いです。人ごとではありません。恐いです。(福岡県・女性・70代)</p>
<p>明るい時間帯に「ただちに避難」強いことばで、市町村から発令して頂きたい。(広島県・男性・60代)</p>	<p>台風や大雨の時はいつでもテレビを見ています。(福岡県・男性・70代)</p>
<p>雨量計の設置数を増やして地域ごとに詳細な状況(情報)を発表し安全が確保出来るようにして欲しい。(広島県・男性・60代)</p>	<p>私は朝倉市の住民です。H29の災害により他の地域より災害に対する考え方が変わりました。早めの避難が必要だと思います。被災していない地域の方々もそうした考えになってもらう啓発などが必要で、それが人の被害を減らすことになるのではないかと思います。(福岡県・女性・50代)</p>
<p>・気象情報の確認はテレビを使うことが一番多いです。そのためホームページで自発的に見るよりも、各テレビ局の気象コーナーで「危険度分布」や「大雨特別警報」がでていること伝えるようにしてほしい。(広島県・男性・20代)</p>	<p>大雨洪水警報は大きな河川は報道されるが小さい河川は報道されないので洪水警報がほからぬ大きな河川ではたいしたことないが小さい河川では危険な事がある。パソコンのない人はホームページを見られない。(広島県・男性・70代)</p>
<p>雷が鳴ることが少ないのに雷注意報を出しすぎると思う。(広島県・女性・60代)</p>	<p>大雨の時等自治体の放送(避難指示が出ました)とかが聞こえない事が多い。でテレビの情報で動く事が多いしこの7月豪雨の時はご近所と連絡を取り合って避難しました(広島県・女性・70代)</p>
<p>このアンケートは考えが甘いことばかりきかれています。山間地はそこ地域の気象状況が違って、平地とは違う天候があらわれます。道も蛇行した道や坂道が多く、考えられない水量が上から流れてきて道があつという間にわからなくなります。山間地特有の気象状況は災害時すごく恐ろしいことがおこります。(福岡県・女性・50代)</p>	<p>NHK d放送をさらに充実して下さい。(広島県・男性・70代)</p>
<p>警報発令で学校は休みになるが、特別警報でも仕事は休めない。(欠勤になりペナルティがある)国をあげて、会社にもそのあたりを(特別警報や、ひなん指示などで、会社を休めるよう)働きかけてほしい。ひなんかんこくが多すぎて信じよう性がなく、帰れない。(愛媛県・男性・40代)</p>	<p>気象庁でいろいろ取り組みを強化して頂いてますが、まず自分自身も防災意識を高めていかなければ、と思っています。「安全な地域に住んでいる」と思った矢先の出来事でした。(広島県・女性・40代)</p>
<p>7月豪雨の被災地域に住んでいる者です。当日停電により情報がいっさい入ってきませんでした。また救助など作業する者などは、SNS等でも確認する時間が無く、時が過ぎました。また、2日目には大雨特別警報のサイレンが鳴りましたが、初めて聞く音に皆「？」となっていました。周知徹底はもちろんですが、情報伝達のありかたを小さな行政にも伝わる様な話し合いを重ねていただきたいです。(愛媛県・男性・40代)</p>	<p>テレビ画面での文字表示でなく、(高齢者は見ない)大雨特別警報等の情報を気象庁、テレビ局を通じて説明をしながら回数を増して流していただきたい 特に該当する地方は。※高齢者は見過す事が多い。(広島県・男性・70代)</p>

V. 巻末資料

<p>停電でテレビ・ラジオが使えなくても、スマホなどでの気象情報が益々充実するようお願いいたします。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>昨平成29年7月の大雨災害の時行政当局からの通報が無かった罹災地は甚大な被害を受け、未だ復興も進んでいない状態である。昨年遅れて大雨特別警報が発せられた。当局は、もっと迅速に知らせるべきと思う。(福岡県・男性・80代以上)</p>
<p>大雨や土砂災害や台風などの警報があっても、空振りが多く、毎回対したことないだろうと思ってしまいます。(福岡県・女性・20代)</p>	<p>ホームページではパソコン・スマホ等で見ることの出来ない者にはその情報は伝わらないので県や市等と連携しその地区のみの情報を紙面で配付してほしい。(福岡県・男性・70代)</p>
<p>ひと目見てわかる警報にして下さい。(福岡県・女性・70代)</p>	<p>現実、警報発令時の避難のタイミングがわかりにくい。(兵庫県・男性・60代)</p>
<p>災害は突然やってくる。7月豪雨は良い教訓となりました。私達のまわりには色々なコンテンツで情報を得る事ができる時代となりました。行政には限界がある事、自分達で情報をとり命を守る事の大切さを、学ぶ事ができました。地域の3人組・5人組で10人組で情報を共有しながら自助・共助で命を守りたいと思います。これからもよろしく願いいたします。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>ダムなどの放流などテレビ、ラジオでながしてほしい。(愛媛県・男性・50代)</p>
<p>今年7月7日朝、4時40分川の水位が、今までにないくらい増えていた。テレビでdボタンをおして見たが、特別警報が出ていないので、まだ、大丈夫と思い、出るのをまっていた。今後は、水位の上昇があれば、小地区の消防団、区長に連絡する。大雨特別警報が出る前に、避難指示の発令権限を小地区の消防団、区長に与えるべきだ。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>防災気象情報については、非常に頼るところがあるので高齢者にとっては、より正確に、その状況をはっきりと伝えられる何らかの方法を考えていただきたいと思います。(愛媛県・女性・80代以上)</p>
<p>昨年から、今年にかけて、身近に土砂災害等があり、大雨が降ると、とても心配です。急な事で、何も持たずに避難した場合、これからの生活が、とても心配です。(福岡県・女性・50代)</p>	<p>自然現象には人の知恵のおよばない事があり、災害を100%止める事は大変むづかしいと思います。この間の肱川の水害も判断(ダムの放流等)がむづかしかったとは思いますが、各省の話を聞いていると決められていた中で判断しやったという事ばかりで、災害に合われた方でなくても腹立たしかったです。まずおこってしまった事に真摯に向きあってあやまれとは言いませんが反省すべきを素直な言葉で伝えて欲しいです。(愛媛県・男性・60代)</p>
<p>いくら情報を流しても行動に移すのは個人です。危険の認識度の改革が必要です。自分の命は自分で守る。行政はサポートだと。今後も頑張ってください。(広島県・男性・50代)</p>	<p>大雨の時に防災行政無線で放送されても何を言っているのかわからない。雨音で聞こえない。これは地方の行政にお願いする事?かな?(愛媛県・女性・40代)</p>
<p>☆少子高齢化に伴い、ホームページ等をご使用、ご利用下さい…これは、いかななものか。高齢者、子供に理解できる、表示にして欲しい。今年7月に西日本豪雨に見舞れた、大洲市での国交省からのダム放流放送が非常に聴きとりにくかった。女性の声、大きさ等考えて下さい。(愛媛県・女性・50代)</p>	<p>私の上は山ですので雨が来たら風がつよく、くさや木がふつてくるからあぶないです(福岡県・女性・80代以上)</p>
<p>雨戸を閉めていて、外の様子を見て、自宅玄関先に、水が入って来て初めて避難した。車で、警報を言っていたと、言われるが、雨の音で、かき消されていた。常に、テレビ等は、付けて気をつけていたのだが、水の、いきおいの強さに、ただびっくりする方が先でした。川の深さの見直し等、行政は、対策をたててほしい、3ヶ所合流させて、その川の深さは、子供の遊び場にも、なって</p>	<p>ダム放流は通常の6倍もの水量だった。異状と思われる大雨のときは特別用語でなく何分以内に水が来るとここの地区はスグ逃げよと表示されることは望む。→テレビ・ラジオ・スマホ(愛媛県・男性・80代以上)</p>

いる状態。(福岡県・女性・70代)	
近年の土砂災害の多発及び局所的に集中豪雨が発生する原因は世界的にも地球の温暖化が原因ではないかと思われます。この対策を広く、強く実施してもらいたいと思います。(広島県・男性・80代以上)	気象の情報と避難経路の安全が同時にわかる地図があるとうれしいし、確実に避難できると思う 気象庁だけでなくいろんな部署の方が協力すべきです。気象の情報を活かして避難に直接使える情報になるといいな～ (広島県・女性・40代)
家が山側にあり、避難所となっている体育館口田小学校は山の傾面のすぐ下にあります。体育館へ避難しても、がけ崩れや、浸水の危険がある様に思い、前回の大雨の時避難しませんでした。近くに安全と思えるところがないような気がしています。(広島県・女性・40代)	今迄こんな災害がなかったのであまり感心がありませんでしたがこれを今後役に立てる様にしようと思います (広島県・女性・70代)
子供が心配するので、今回の大雨以後は早く避難しております。(広島県・女性・60代)	どんな状態でも、ペット(犬)がいるため、避難はしにくいです。ペットは家族といっしょなので、なかなかおいて避難できない。(広島県・女性・50代)
テレビで放映したらより効果があると思う。スマートフォンなんか、この年で持たない!! テレビでの気象情報をもっと充実させてほしい。(広島県・男性・80代以上)	気象予報士をT Vラジオに出さないで普通のアナにやらせるべきでしょう。うっとうしいから。(広島県・男性・50代)
不安ながらも、子どもは避難させて(実家の方へ)自分達は家からはなれる事ができませんでした。家も、思い出もこれからの生活用品、全て車へ運んだりしていました。でも次に台風が来た時に、命が一番だと思えました。二度と同じ思いはしたくないですが、今回いろいろな事を考えさせられました。情報がないのが一番不安です。分かりやすい、一番確かな情報を伝えてもらえるようにこれからもよろしくお願いします。こんな時は気象庁とNHKばかり見ていました。(広島県・女性・40代)	南海トラフ巨大地震の危険度が高まっている事が1番気になってます。想定される被害など見るともっと分かりやすく注意喚起をすべきではないかなあとと思います。(T Vなどでも…) (広島県・女性・30代)
避難勧告と避難指示の文字としてのとらえ方が勧告の方が緊急の様に音の響きがあるので「避難指示」の表現方法を別の言葉で表示してはどうか。(愛媛県・男性・70代)	7月の豪雨では家の近くは川がはんらんし洪水になりました。7/6は夕方早くに停電となり大雨特別警報のことは知らなかった。7/6の夕方避難しようかと悩んだが小さい子どもがいることもあり自宅にいました。今思えばその時避難しなくてよかったです。避難していたら命をおとしていたかもしれません。とてもこわい思いをしました。(広島県・女性・40代)
7月6日の豪雨災害で多量の雨とともに、土砂が流れてきた。この土砂が川を埋め、道路も川として機能するようになった。土石流の危険予報が欲しい(広島県・男性・70代)	坂町小屋浦で被災しました。気象庁から発信される防災気象情報に加え実際の川の状況(今回砂防ダムが決壊した場所など)をライブカメラ等で確認したい。今は空振りでも毎回避難勧告でも避難しています。自分の身にふりかかって初めて避難勧告の重要さを知りました。まだ被災していない地域の人々にそれを伝えてほしいです(広島県・女性・40代)
現在の気象情報は今までに経験のない事が起こりうると感じる様になりました。仕事に関わる方々、住民の方々が命を守ることが重要なので、それぞれが一つずつ先を読んで行動することが大切だと感じています。高齢者も多い事からより早めにとは頭でわかっているつもりです。現在の情報以外、以上に何が必要かはよくわかりません。テレビ、ケイタイ、スマートフォン、行政無線、ラジオで流し続けるしか…。(愛媛県・女性・50代)	前は川後山さで逃げ場所なし今夜の様な水は動かない方がよい(岐阜県・女性・80代以上)
1. 大雨時は無線放送が聞こえない。2. もともと障がいがあり	回線の容量を大きくしてほしい(特にアクセスが集中する場合ア

V. 巻末資料

<p>避難するのが困難（愛媛県・女性・40代）</p> <p>・私の地区でも7月に土砂災害が発生して一名がなくなった。その時感じたことは、防災無線が雨の音で聞こえない、電柱が倒れテレビ、パソコンが使えなくなり、情報を得るものがなくなった。災害用の屋内受信機があれば購入したい。・警報について、台風が過ぎ去って青空が出ているのに、いつまでも警報が解除されない。このようでは発表されることが信用できなくなる。（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>クセスが遅くなる）（広島県・男性・50代）</p> <p>小さな河川の特に上流の雨水の異常な降雨を早く知りたい。（岐阜県・男性・70代）</p>
<p>災害の種類により避難場所が変更されない様一ヶ所でも対応出来る様避難場所の充実を図って欲しい。（愛媛県・男性・70代）</p>	<p>防災情報の中に専門語が多すぎ混乱する。平易な用語で行動を誘発できるように！（広島県・男性・70代）</p>
<p>子どもや年配の方にもわかりやすい表現を希望します。（愛媛県・男性・50代）</p>	<p>これまで災害の経験がなかったので甘くみていたと思います。テレビ等で情報が流れても自分と結びつかず行動出来ないでした。これからはもっと早い段階で行動しようと思うのでしっかり情報提供をしてもらいたい。（広島県・女性・60代）</p>
<p>今回の7月豪雨被害対象地域に居住しており、大雨特別警報も早い段階から出されていたが、発表時晴れており有効活用されなかったことにより、甚大な被害を受けた世帯が多数発生しました。今後は、特別警報や危険度分布を有効活用し早期対応をする必要性を強く感じた。（岐阜県・男性・50代）</p>	<p>近所で12名の方が亡くなりました。今まで想像したこともない災害で誰も考えられなかったようです。その後は警報が出るたびに動いておられる様です。雨が降るたびに雨量が気になるようになりました。（広島県・女性・70代）</p>
<p>雨量を計るところがない場所が多く、家では大量の雨が降っているのに、4k~5km離れた場所では降っていないところもあり、川の水位が急に増えることもある。もっと地区にこまかく、分析できるといいと思います。（岐阜県・女性・20代）</p>	<p>昼間は避難出来るけど夜は一番安全な部屋にいるようになります（愛媛県・女性・70代）</p>
<p>「死の危険があります」「もう我々（行政）は助けられませんか」くらい切迫した表現の方が、危機感を感じて避難につながると思う。（広島県・男性・30代）</p>	<p>特になし（福岡県・男性・60代）</p>
<p>自宅に大事な物が多くあり、よほど命の危険を感じないと、自宅を出られません。避難後の盗難被害が心配です。（福岡県・女性・50代）</p>	<p>私の家は町中より（川）より100m高く山より1kmほどはなれた場所にあります。（福岡県・男性・80代以上）</p>
<p>注意報、警報が早い段階で出すぎる為現在では、特別警報が出るまで気にならなくなっている。（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>※各支流の川の高さの情報がほしい。河川の大きい所や今までに災害あった場所には川の高さを測定する設置場所があるが、山奥の支流にはほとんど設置していない。ぜひ支流にも川の水の高さを測定する設備をしてほしい。（岐阜県・男性・60代）</p>
<p>・防災気象情報の進歩、充実に尽力されていることに感謝いたします。・防災については、一人一人が自分の住んでいる地域の自然環境や生活環境について日頃から気をつけて、自分の命は自分で守ることが大切であると思う。防災に限らず多くの面で自己責任ということが希薄になっているようにも思う。（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>私たちの部落にも各家に防災無線がありますが、無線の感度がわるく役場の方に言ったら（10年ぐらい前のはなし）ぜんぜん来てもらえず、アンテナを引きちぎり、防災無線はわかりません。（岐阜県・男性・60代）</p>
<p>雨の時は窓も閉めているので、防災無線が聞えない。大音量のサイレン等に変更すべきだと思う。又言葉「命にかかわる」など、注意に対するレベルを考え直す必要があるのでは？（広島県・男性・60代）</p>	<p>現在の気象情報はかなり精度が高いので安心しております。今後ももっと精度が上がるようがんばって下さい。（秋田県・男性・60代）</p>

この度の災害では避難ヶ所・避難する場所は全部水害と土砂で全滅でした どうしたらいいかわからなかった。(広島県・女性・60代)	毎年、どこかで起きている大雨で、被害があり、今回自分の地域も被害があり、人事ではないと思いました。(福岡県・女性・10代)
今回の災害で、いつ避難すべきなのか、どこまでの地域の人たちがあぶないのか、全くわからず、困った。大雨だけでなく台風も気にするようになったが、様々なサイトによって情報が違い、正しいものを見つけることができない(広島県・男性・20代)	民間の気象予報(情報)やSNSを活用し、局地的な情報を収集することで地方行政と連携した適切な避難指示を期待します(岐阜県・男性・60代)
空振りナシ。正確に伝える。こと！(広島県・男性・70代)	私は犠牲者が3名出た、口田南地域に住む者だが、外に出た際、土のにおいがしたので、山がくずれるのはと言う不安になった。そこで普段は声を掛けない隣人や親族に声を掛けたが避難を渋るので、自分もバカバカしくなって止めた。この「正常バイアス」の知識について知りたい。(広島県・男性・40代)
台風が発生時、又は進行中は平日以外でも度々詳しい情報を報道して下さい(愛媛県・女性・70代)	地域の細かい情報、細分化。(広島県・男性・50代)
防災情報今後ともよろしくお祈いします(愛媛県・男性・80代以上)	Q22のように、特別警報が出てからでは遅いと言うなら、「大雨警報」と「大雨特別警報」の間に、「大雨避難警報」みたいなものがあれば避難しやすいと思います。大雨警報は子どもの頃から知っているのであまり危険な感じがしません。特別警報だと、「やばいなー…」と思いますが、その時点では遅いと言われると、出す意味はあるのかな、とも思います。7月の豪雨でも、消防からのメールは夜になってからひんぱんに来ましたが、夫が流され、家にいなかったで、子どもを2人連れて家を出る選択肢はありませんでした。また、今回のことで、避難場所も危険区域になったので、外に出るより家の方が安全だと思っています。そう思っている方はまだまだ多いと思うので、警報が出たから避難しなさい。だけでは、これからも変化はないんじゃないかと思ひます。どこが安全か、どの道が通れて安全かを発信してくれないと、家からは出ないと思ひます。(広島県・女性・20代)
早めに放送、又はくわしく放送してほしい。他人ごとでは有りません。自分の命は、自分で。(福岡県・男性・70代)	特定の地域に短時間に通常では考えられない程の大雨がふり続けておこった今回の災害など自然現象ではなく人為的におこされたとの情報も目にします。普段でもケムトレイルがまかれた後は必ず雲が広がり雨になるなど。気象庁の存在もうたがっています(広島県・女性・50代)
自分の身は自分で守る事！(愛媛県・男性・40代)	注意のレベルとして『警報』までは聞きなれていてなんとなく分かっているつもりだが『特別警報』は聞いたことがない…という聞きなれていないので「警報」とあまりかわらないのかなと思ひてしまう。災害のおきた日はケータイにも多くの情報がありすぎたと思ひます。ピンポイントの情報であればもっと早く避難できたように思ひます。こちらは矢野ですが瀬野川の方その他いろいろの情報まで入ってくると…うちは川のそばに家があるので川の状況などを見て避難しました。実際に見て避難の判断をしたので何も見えない所では警報・特別警報などの情報で避難するしかないと感じた。〇〇警報は大風や大雨でよく見聞きしているでそんな大変なものだとは思ひないので特別警報もほんとに大変なら

V. 巻末資料

	もっとちがう言葉にした方が良いと思う。(広島県・女性・40代)
地域にある防災のマイク放送は大雨の時は聞こえない。TVで見ましたがPHSの電波でそういう放送ができるようですが普及して欲しい。(愛媛県・男性・60代)	どこまで発表されても最後は自己せきにんだと思います(広島県・男性・60代)
今回の豪雨災害で日頃の備えの大切さ、避難訓練の大切さ自然を甘くみず早めの判断、空振りでもよい避難すること。警報の空振りについては、重大な災害に至らなかったらこれ幸いと思います。危険度を示す色分けはとても分かりやすく、避難先でも次の行動のめやすになり助かりました。今後も利用してご近所声を掛け合い助け合っていきます。ありがとうございます。よろしくお願い致します。(愛媛県・女性・50代)	この度2日間(7月の大雨の時)避難所でお世話になりましたがその後の台風情報の時も避難を考えましたが毛布とか食事の持参をお願いしますと地域からの放送が流れて来たので家で待機してましたがたいした事がなくて良かったです。年寄が(足、腰が悪い)いるので物質の持参はむづかしいです(広島県・男性・60代)
土砂災害のおこりやすい場所その原因などを細かく放送してほしい。(愛媛県・男性・60代)	立派なシステムを構築してもそれを使いこないとダメ。住民に何が出来るのかどうすれば良いのか等の周知徹底を行う啓発活動をする必要がある。又スマホの小さい画面でハザードマップ等の画面を見るのは非常に困難である。簡単に見たい画面(自分の住んでいる場所)が見える様改善してほしい。(広島県・男性・60代)
特に重大な災害が起こると想定される場合は、地元自治体、河川事ム所等と連絡を密にし、夜中の避難等のないよう、早目の対処を行うべき。愛媛県野村町の災害は明らかに人災である。(愛媛県・男性・50代)	高令でパソコン、スマホ等操作方法を知らない為情報を得るのはテレビが多いです(広島県・男性・70代)
テレビで情報をえている。そして現実として行政無線で動いている。気象情報はよくあたり正確さがありません。情報はずれは、台風の方向がそれた時でしょう。今年の西日本の夏の災害で、自分の事として聞くようになった。(愛媛県・女性・60代)	本年7月の大雨(西日本災害)で我が地域は大きな被害が出ました。この事を教訓として毎日の生活をおくりたいと思います。(広島県・男性・60代)
市全体の警報ではなく、市の中の地区別に警報を出してほしい。(愛媛県・男性・50代)	自分の住んでいる所が対象となっていない。(広島県・男性・70代)
大雨情報も大切ですが、ダム放流情報を、もっと細かく、河川の水位だけでなく、放流量も具体的に、知らせて欲しい(愛媛県・男性・50代)	テレビは停電になった場合は利用できないのでラジオで聞いています。ラジオを充実させて放送をお願いします。(広島県・男性・80代以上)
平成30年近くで大雨のため死者2名が出る災害があり、無感心だった水害のこわさを知りました。改めて土砂くずれを警戒する様になりました。子供達に家を建てる時に注意する様にと話しています 警報、避難は早目に情報を知らせて欲しいものです(福岡県・女性・70代)	「命を守る行動を取って下さい」とテレビで聞いて、あの表現は良いと思います。市民センターからの避難情報の放送が聞こえず困惑する(広島県・女性・70代)
インターネットは使用していない。NHKの気象情報(データ放送)を見て判断している。特に大雨情報は役に立っていると思う。(福岡県・男性・70代)	7月の豪雨災害を受けた地区です。今まで七十数年大きな災害はほとんどなく油断があったと思う。当日も多くの人が家に残り、避難指示が出た時は、もう避難出来る状況ではなかった。早めの避難が大切などという事がわかったのは、あまりにも大きな被害が出た後でした。(広島県・男性・60代)
私は主人を亡くして来年8月で4年目になります。1人暮らしです。どんな災害になるのか?不安ですが?被害に遭われた人	土砂災害警戒区域に居ながら未だ防災無線の設備が整っていない事に極めて残念な思いです。(福岡県・男性・70代)

<p>達を思うと、人事ではありません（慰さめと励ましと力を与えて下さいと祈る）事しか出来ません。この年に成ると身を守るため、警報出して下さった、皆様について行くしかないのです。息子は2人おりますが遠方なので…宜しくお願い致します。（福岡県・女性・80代以上）</p>	
<p>現在住んでいる場所はレッドゾーンになっているので今後は早めの一応避難しますが避難場所の設備を少し考えて（行政）ほしい。いつも行ってはいるが場所が狭いのと愛犬がいるのでどうしても車の中に避難し駐車場にいる状態である。むずかしいですが？（福岡県・男性・70代）</p>	<p>今回のような北部九州の災害後は、特に気象予報を良く見るようになりました。気象庁でもいろいろと正確な情報が伝わるように工夫され努力されていることがよく理解できました。自分の命は自分で守ると言うことを常に考え、情報が出たら早目に避難することになっています。（福岡県・女性・70代）</p>
<p>異状が多い時程役所等からのれんらくを早くして下さい一人住まいの方が多い地区には特に早くれんらくして下さい。国や県・市が認めた災害被害は1日も早く助けてやって下さい。（福岡県・女性・70代）</p>	<p>家に居る場合は情報が早く見て行動が出来ますが、買物等戸外に居る場合スマホ等持たない人の為に市の警報器等で知らせ、知った人はお互いに知らせる事が大切ではないかと思っています。（福岡県・女性・70代）</p>
<p>・空振りでもいいので明るい時間帯（逃げられる時間帯15時頃）に避なんするよう知らせてほしい・「大雨特別警報」を出すまでなく「大雨警報」で避難するよう指示してはどうでしょうか（広島県・男性・60代）</p>	<p>情報によって早くしたいと思う 自分の所は、大雨で大変でしたが被害はなく水が出なかった今までなども台風で被害を受けたけど頑張ってきた 近所と仲よくする事が一番助け合いです（福岡県・男性・70代）</p>
<p>けいたいに警報が鳴っても、会社で仕事だと、かんたんに自分だけが、避難できない。会社が避難指示を出さなければ、避難出来ません。上司の判断次第で命の危険が変わるかも。（福岡県・男性・50代）</p>	<p>いつもありがとうございます。弱者といわれる高齢者、障害者、外国の方にも伝達できる方法も重ねて御考慮お願い致します。（岐阜県・女性・40代）</p>
<p>住民全員に安全が届く様な行動がとれる情報が伝ってほしい（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>Q16でもお伝えした通り、自分達の家より避難場所が低く、そして川に近い場所にあります。避難場所より自分の家の方が安全です。市役所（被災しそうな地域の市町村の役場と）と気象庁がしっかり連携してやってほしい。（岐阜県・男性・10代）</p>
<p>この度の災害で想定外の出来事！！実際経験した人でないと恐さがわからなかった。特にNHKのdボタン、スマホの緊急メールetc。情報ありがたいと思いました。且し、最近では全てホームページetcで情報得られますが、高齢者はホームページetcで見る事の出来ない人、多いと思います。自治体の情報（防災サイレンetc。）が必要だと思います。（広島県・女性・60代）</p>	<p>現在の情報で結構満足しています。（岐阜県・男性・80代以上）</p>
<p>たとえ空振りするかもしれない情報でも、人が移動出きる時間帯の発表を、19時までとか？（愛媛県・男性・50代）</p>	<p>自治体の大雨警報は我が家が浸水した時点でもまだ本日のお祭りは雨のため延期しますの放送が流れていた。何を聞いてもわからない初めてのことからとの返事で、役に立ったことがなかった。その後雨の度、避難して下さいとの放送があり、基準を理解していない自治体にしっかり教育して欲しいと思う。今回の浸水は人災と言っている人が多い。信じられるようにしてほしい。（愛媛県・女性・60代）</p>
<p>8ページにある気象庁ホームページで見られる表を簡単に誰でもが見れる様、テレビに映して欲しい！2、3時間後の情報だけでなく10時間後、それ以後の情報が知りたいです。（広島県・女性・60代）</p>	<p>私は愛媛県宇和島市に住んでいる80才代の老人ですが今回の大雨災害はあまりにも早く、警報が間に合わなかった様に思います。突然の大雨で避難する時間もあまりなかった様に思われます。今後もこの様な雨の降り方が予想されます。一早く適確な予</p>

V. 巻末資料

	報をお願いいたします（愛媛県・女性・80代以上）
近年、地球温暖化の影響も関係していると思われる大規模な災害が頻発しています。ここ秋田県大仙市でも昨年7月、8月の大規模な河川の氾濫で、今年から災害復旧工事が始まりました。これからは、今までの常識が通用しないような災害が多くなると思いますが、何とか乗り越えて次の世代に伝えていけたらと考えています。（秋田県・男性・50代）	気象情報については、大いに参考すべきだと思うが、避難場所に問題があつて進んで避難しようと思えないところがある。それらの整備がまず必要かと思えます。（愛媛県・男性・60代）
市町村への連絡が正しく伝達していなければ、せっかくの情報が無駄になってしまいます。市町村の係の人が正しく伝達出来る全国统一のマニュアルがあるといいと思います。（福岡県・男性・50代）	防災放送が聞こえにくい。自分が意識して情報を取りに行くのも大切だが、ラジオやテレビ、携帯など無意識でも、目に入る、耳に入るようにしてほしい。（広島県・女性・40代）
避難準備が発令した時、市の方が放送（車で回っています）していますが、居住地は高齢者が多く、わからない場合があります。大雨の場合は、声が聞こえないです。町の状況がわかれば（道路状況）避難する経路も安全に移動できるかと思えます。（福岡県・女性・60代）	気象庁と自治体とのリンクがされてない気がします。避難場所は有りますが、そこへ行くまでの道でどこが危険かも情報もなくネットだけでなくテレビラジオでも情報を得られたら良かった（広島県・男性・60代）
一般の者が気象庁のホームページを見ると云う事はごくマレだと思います。新しいシステム等TVの天気予報の時間に予報士の方が、又かと思われる位いに紹介して下さいと多くの人が知る事が可能になると思えます。が…？（岐阜県・男性・70代）	仕事で地区外に出る事が多いのでその地区での危険度がわからない事がある。情報の取り方を考えたい。（愛媛県・男性・60代）
避難したいと思うが、現実的に安全な避難場所が無い。避難経路もある程度整備されつつあり、訓練等もあるが、不安が大きい。避難場所が古い神社や50年前の公民館では、とあきらめが大きい。せっかく最新の情報をいろいろと段階を追って知らせてもらうけど、問題は、なかなか大きい。高齢者が大半の海沿いの小さな集落は情報だけでは避難は困難と思える。でもありがたいと思う。（愛媛県・女性・60代）	愛媛県大洲市に住んでいます。今年の水害では町全体が浸水するくらいの大きな被害にあいました。自宅は大丈夫でしたがすぐ下に見える家に徐々に押し寄せてくる水を目の当たりにして、つらい思いをしました。実家も床上1mと2ヶ月くらいは大変でした。いたる所の道路が浸水しますので、身動きできません。河川の工事もしていますが、道路が高くなることはありません（愛媛県・女性・60代）
今回は受け手であるわたしたちの知識不足により避難勧告、避難指示等の意味を理解できず逃げおくれた人も多数出たと思えます。普段からの色々な情報提供やわかりやすい言葉で伝えること、そして時にはもっと強い言葉で避難をうながすことも必要ではないでしょうか。（広島県・男性・50代）	1人での生活なので個人の判断で不安である。（広島県・女性・70代）
・山間部の所に60代70代の夫婦二人だけで生活しており、台風事には常に気に成りテレビでの情報を常に見ている・住居の裏は割と急な（元は畑）斜面でハザードマップで危険区域で有る事は関係者の方に知らせて頂いている 自分の所有地は草からし等はせず常に手入れをしているが最上部は他人の所有地で有り常に草枯をしているために雨が降ると想定外の水が流れ来て不安にかられます。がけくずれが一番恐いです。（愛媛県・女性・60代）	今回の災害で道路が陥没して仕事に行けない日があつた。ニュースで自然災害などのニュースはやっているが、まさか自分の住んでいる場所では起きないだろうと思ってしまう。それが避難をためらう理由でもある。もし、災害が起こった場合は色々な情報をもとに、生き延びていきたいと思う。（広島県・女性・20代）
実際被災した人にとっては2度目以降の備え等理解できて次の行動に移せると思う。現状の危険度は、何も知らない人にとってはどうしてもスルーしてしまいがち？（実際私はそうでした。）「ひとごと」的な感覚をいかに「わが身のこと」としてとらえて	もともと土砂災害危険区域ではないのに被災した。気象情報だけで避難するかどうかは今はわからない。それより速やかに避難できる道路、経路をわかりやすくすること そして整備することの方が重要だと思う 小屋浦は道路も橋もせますぎて被害が増

<p>もらって行動していけるか…難しいところではあるかもしれませんが、広く意見を聞くことは何か発見があるかもしれませんね。(愛媛県・女性・30代)</p>	<p>えたと思う(広島県・女性・40代)</p>
<p>避難指示ではなく命令など、本当に避難が必要な場合は強い意味の言葉を使わないと、高齢者は分からない。TV等で避難が必要な場合はCMをカットして何度も避難を訴えてほしい(愛媛県・男性・30代)</p>	<p>・大雨の予報も大切だが、河川の増水量(水位)と併せて、情報を提供してほしいと感じる。関市の水害では、水位増加のスピードが問題だったと思います。(岐阜県・男性・50代)</p>
<p>交通機関に支障が出た場合、生活に影響が出る為、問い合わせに対する対応が、素早い又適切な答えが出てくることに期待しております。(広島県・女性・70代)</p>	<p>ととてもいい天気なのに大雨警報がずっと出ていて、とても困ります(愛媛県・女性・30代)</p>
<p>1. ダムの必要性を聞く 何の為のダムか!! 2. 大雨情報を知って居たか!! (管理者) 3. 放水情報を早く流せ。(愛媛県・男性・70代)</p>	<p>停電とかあって、災害にあった時には防災無線の意味がなかった。(愛媛県・男性・50代)</p>
<p>PCを持ってないので、TV・ラジオの情報を大事にしている。不明の事等は近くに住んでる長男に問い合わせる事しているので、少し安心。自分もPCを持てる様、勉強をしたいと思う。(愛媛県・男性・70代)</p>	<p>危険度分布図や時間帯の危険情報等、色分け等、分かりやすくてとても良いと思う。後はどれ程の緊急事態なのかを過去の映像などでもっと認知度が上がる様、積極的にメディアに取り上げてほしい。(広島県・男性・40代)</p>
<p>私は老人でして何にも考えが出来ません。それに足が不自由なため人に迷わくをかけること計りです。(愛媛県・女性・80代以上)</p>	<p>・色わけは若い人にはよいが高齢者は区別が付きにくい。・又、いろんな段階があるようだが文字が多いのと、業界ではあたりまえの区分は、一般の人にはわかりづらく、言葉もまぎらわしい。・メール配信は必要だが頻回だと必要なとき無視をしやすく、位置情報と連動するとか、音の区別やバイブレーションの間かくをかえるなどが必要。・又、みている暇がその時はとれないので警察や消防行政が動けるよう一般向けとは別に訓練、指導、テストなどこまめにする必要がある。※結局避難した時は、近所の連携5分くらいの情報交換でした。(口田南5丁目在住)(広島県・女性・40代)</p>
<p>年齢が高いので甘くみないで若い人の話をよく聞き早めの避難を心がけようと思っています(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>このたびの災害は、初めての経験で大変でした。今後は意識も高まり耳を大きくし、情報をきき、前回の経験で敏感になって行くと思います(広島県・女性・60代)</p>
<p>情報はなるべく早めに知りたい。避難するタイミングがむずかしい。(福岡県・女性・50代)</p>	<p>災害級の大雨が降った時は、サイレンや消防車の避難指示も聞こえないので、早くて正確な避難情報と避難誘導をしてほしい。(福岡県・男性・40代)</p>
<p>地域には高齢の方も多いです。もってまわった言い方ではなく、シンプルな言葉で危険がわかれば避難することができると、思います。ex.「勧告」と「指示」の違いが7月災害時点はよくわかりませんでした。(広島県・女性・50代)</p>	<p>今回7月の災害では、水の怖さを知りました。今住んでいる所は、高い場所で、低い地域の実態が余りわからなかった(今まで)今回はダム放流と重なり、今までにない被害で、ダムの町は2階まで浸水し屋根まで逃げた等驚ろくことばかり。組内の方が天井まで浸かり、ピアノ、冷蔵庫が浮いた等、信じられないことばかり家の中は泥とガラスの破片、手伝ってあげたい気持ちはあっても年齢的に無理。情けない気持ち、気の毒な思い…。少しずつ復興に向かっている段階。この年でもし我が家が、我が身が、考えると暗くなってきます。今回初めて断水経験し「水の有がたさ」痛感。今後異常気象で何が起きるか…。年老いてくるので、早目に避難・行動に移すよう心がけたい。台風は、準備を早目に! ※最</p>

V. 巻末資料

	近テレビでの気象情報を刻々とされるので、助かります。“から振り大いに結構” お願いしま〜す。(愛媛県・女性・70代)
老人ですので早め早めの行動を取りたいです(福岡県・女性・80代以上)	1人暮らしのため、スマホやテレビでのわかりやすい事(広島県・女性・70代)
避難すると、災害にまきこまれるリスクがある。(岐阜県・男性・40代)	子供でも説明すれば分かる程度でかまわないので、さし絵等もあると分かりやすいかなと思う時がある。実際に土砂災害や、浸水がおこった地域を、例えば台風がさった数日後位に、マップで分かるようになるかというのでは？(既にあるのかもかもしれませんが…)(愛媛県・女性・40代)
広島市からの警報の情報がテレビ、携帯の防災メールから発信されるが、居住区が、飛地で安芸郡、坂町と海田町には、警報が出ていない場合があり、市の警報を無示して、坂町、海田町の情報を重用しているので、もう少し極め細に、発信は出来ないのか。(広島県・男性・60代)	93才で一人暮らしをしております。情報源はテレビのみです。避難が必要になっても一人では避難できません。(近所の方にお世話になるしか方法がありません)代筆です。(愛媛県・女性・80代以上)
・今回(七月豪雨)で近隣が被災し4日間停電だった。たまたま家に保存食があったのでしのげたが今後意識的に備蓄したい・防災無線は屋内にいと聞こえない。各家庭に行政の端末が欲しい・町内会の自主防災が全く機能しなかった再考していきたい(広島県・女性・60代)	台風予報がよく外れている。いつも外れるとついついゆだんする。(広島県・女性・70代)
地図をキーポイントに、大きく、見やすくしてほしい。今の伝え方では、年寄には、むずかしい。早く歩けない事。30分以上も遠くに、避難場所だと行けない。この度も、娘達にも「あきらめて」とメールをして、犬と一緒に2階へ、3日位たつて、娘が迎えに来てくれました。日頃から、缶づめなど備蓄していたので、それは良かったです。皆様の手助けには、感謝しております。(広島県・女性・60代)	◎ダム担当者 ダムそう作する担当に適かくにわかるように通知出来るように早く考えて下さい！！大洲市大雨で住宅地は災害に会う事少ない ただし畑は災害に会う。(愛媛県・男性・70代)
少しでも早く、正確な情報が知りたいです(広島県・男性・60代)	本当に危険でない場所が知りたい！(岐阜県・男性・60代)
ハザードマップで危険な地域に避難場所の名称と地図の看板があれば良いと思います。(どのレベルで避難したら良いかも含む)(広島県・男性・60代)	気象庁に関しては毎日の天気予報での予報士の方が説明されるのですが、雨の可能性があり。雨のおそれがあります。等とどちらにも受け止められる言葉を使っておられます。視聴者としては気持が宙に浮いた感です。このような表現は止めて下さい。??%の雨の確率のような表現の方がすっきりと受けとめることが出来ると思います。(福岡県・女性・70代)
テレビは、ほぼ全ての家庭に有ると思いますが携帯&スマホは持たない人もおります。テレビでは、停電時には使えないため、いつでもどんな状況でも使用できる携帯&スマホの普及に格安で使い易い(高齢者)機器を考えて欲しい(広島県・男性・70代)	大雨土石流地しん等の災害に対し3日位前から知らせてほしい。3日位あれば災害に対して、対処する考える事が出来るかも。(広島県・男性・70代)
HP(ホームページ)をみて確認とか、TVをみてとかラジオをきいてとかよく言われますが、特にホームページは年よりには扱うことが、できません。もっと身近な方法で避難をうながして欲しいです。例えば、実際に人が来て指示するとか、そうでないとなかなか行動は起こしにくい。パソコン・ケータイ・スマホありきの情報収集方法以外で考えたい！！みんなが、持って	一番近い自治体の活動が重要と思われる。(福岡県・男性・70代)

いるわけではない！！（広島県・男性・60代）	
気候変動や温暖化などによって最近は毎年のように災害がどこでも起きるようなので、防災気象情報は大いに必要とされと思いますので、これからも高い基準で、わかりやすいものを出して下さることを期待しています。（福岡県・女性・60代）	雨つぶの大きさとふる時間（広島県・男性・70代）
今まで経験した事のない災害に遭い警報とか安易に考えていましたが、今回自分が体験し避難（早めの）準備の大切さがわかりました。（広島県・男性・50代）	危険度を色で分けて表示しているが、そもそも、その色がどれだけ危険なのかイマイチ、ピンとこない。色＝危険度はどれくらい周知されているのか疑問。幼い頃より慣れている信号のように青○、黄△、赤×にしてほしかった。紫は危険度に実感がわからない。（兵庫県・女性・40代）
今回の調査はとても大事なことなので今後共よろしくお願ひ致します。（広島県・男性・80代以上）	国民の命はこれで良い言う事はない。自分さえ助かれればと心の中で思っているのが日本人の欠点。救急車等ほんとうに有がたい生まれ変ったら消防隊員になりたい。（福岡県・男性・60代）
高齢者が多い地域です自治体の早い対応が必要です。（岐阜県・女性・50代）	大雨の時に、流木（雪倒木等）により、橋げたに引っかかり、そこから川の水があふれ浸水する事例が最近特に多く見られる。ハザードマップに関係なく、山間部でも、洪水になる恐れが高くなるように思われる。橋の付近の対策、ハザードマップの検討も必要ではないかと思う。（兵庫県・男性・60代）
7月の大雨、助けを求めても電話何時間も誰も出なかったです（愛媛県・男性・70代）	高齢者でもすぐにわかる情報がほしい（広島県・女性・60代）
危い所（山の麓）に民家が有る場合等危険と思われる。山（箇所）は、けずる等、今後、想定外、想像を越える災害は毎年ありと思うので早く、手入れを。（広島県・男性・50代）	・ふだんから大雨の時、ドロ水などが流れている所をみつけたら（自宅周辺だけでなく）行政に連絡しておくことを呼びかけてほしい。次の大雨の時のために、又、山の下草をかっていない山の持ち主にも、下草刈りを呼びかけてほしい。・広島県安芸郡熊野町川角の被害に遭われた所は造成して売り出す頃から地元の者たちは「危ないね！！」とささやいていました。・ずさんな造成地に許可を出した行政の責任も有ると思います。今後は台風も大型化します。今の内に点検を！！（広島県・女性・70代）
パソコンがないのでホームページを見る事ができません。ケータイもいちばんかんたんなものです。テレビで情報をえることが多いです。土砂災害をうけた時停電で何も情報を受ける事ができませんでした。ラジオを買って家においておこうと思います。（広島県・女性・60代）	気象情報の通りに雨風がというのは、今回実感しましたが、自分だけは被害にあわないという根拠のない自信に…浸水が始まった時は、転寝していました。寝耳に水というのですか。2階に避難して外を見たら道が川になっていて、そのまま留まりました。道が川になるかならないか、判断できないなと思いました。（広島県・男性・60代）
高令なので何があっても急には対応できない（愛媛県・男性・80代以上）	早めの避難の必要性は理解しておりますが避難場所の受入条件がネックとなっています。※ペット受入れ（広島県・男性・60代）
携帯やスマートフォンをつかいこなせない人達でも情報が伝わるように考えていただきたいと思います。（福岡県・女性・50代）	1 ハザードマップの特に赤線の部分を正しく表示してほしい。2 ホームページは、パソコンとかスマホを持っている人しか見れない（福岡県・男性・70代）
とにかく早め早めの情報を送ることが大切。（愛媛県・男性・60代）	携帯電話を持っていない。扱い方もよくわからない（特に英語、記号など）（広島県・男性・70代）
特にありませんが迅速な情報をお願いします。（広島県・男性・	身体障害者のろうあ者で心配が安心か目の神経をよく使います。

V. 巻末資料

60代)	まだけいけんが浅いのでスマホの勉強がたりなかった。今から努力します。(広島県・男性・70代)
気象庁ホームページは、ほとんど見ていない。会社では、パソコン(YAHOO!)自宅では、テレビ、スマートフォンが大半である。早めの避難は、必要であると考えているが、数時間~1日程度避難するとして、避難場所の環境(公民館、学校体育館他)自宅からの距離(駐車場、空調、寝具、飲み物他)(広島県・男性・50代)	今回の災害で初めて耳にする大雨特別警報や、指示勧告それらの意味、日ごろは、そういう情報は入って来ない様に思います。日常のテレビでの天気予報などで常に警報の意味などを口頭だけでもいいので説明していただければ良いのではないかと思います。インターネットをしない高齢者の方もおられるのでテレビ、ラジオなどでも情報が入って来る様に考えて頂きたい(広島県・女性・50代)
ハザードマップがよく云われるのでPCで出して見ましたが、近くの地名もなく判り難かったです。近所で過去2度程大きな土砂災害がありましたが決って同じ所でした。考えるに山の地形とかが大きく影響しているのかなと思う安心感もありました。これは駄目ですか。(広島県・男性・80代以上)	気象庁は専用のテレビ電波を持って常時気象に関する情報を流す様にしたらよい。(広島県・男性・70代)
情報が多すぎて、判断にまよう。後は自分で判断します。警報の統一が必要かなあ?(福岡県・女性・60代)	ホームページありきの情報発信はいかがなものか、考えてもらいたい(広島県・男性・60代)
いつも、時間雨量を気にかけていますが、まさに想定外の大雨だったので、雨量計も役にたたなかったのだと思うんですが?特に大州市のダム放流のタイミング、前日からダムの水を殆んどなしの状態でないとの雨では対応は無理だし、“人災”だと思います。(過去、何度も浸水していて、腹立たしいかぎりです。(愛媛県・女性・70代)	大きな災害がある度に、自分の家は、大丈夫だったと安どする事が度々あるが、今回7月の災害のような事にそうぐうするとやはり、早めに避難することにこした事はないと、肝に命じました。※ちなみにわが町は、5人の方が犠牲にられました。わが町はすり鉢の底の中に大きな川、口道、線路が3本になって走っているので道路の復旧は5ヶ月たっても今でも隣町には行けません。(現在11月24日)東広島市河内町中河内住人(広島県・女性・70代)
防災気象情報には、非常にたすけてもらっています。本当にありがとうございます。(岐阜県・男性・60代)	放送では何度も避難するよう有っても、雨も風もなく迷う時があるので、自分だけの判断では不安も有るので、近所の人に声をかけてもらって一緒に行くようにしています。(愛媛県・女性・70代)
土砂災害の予そくはむずかしく砂ぼうダムも携態してないので不安です。(広島県・男性・40代)	洪水被害にあっている場所に住んでいるものは、上流のダムの放流量とか、川の水位がどのくらいかでどこまで浸かるかの予想がたちます。たとえば〇〇〇流域での注意情報がでたとしても、流域は長く、自分の住んでいるところは参考情報にしかならない。〇〇〇地区までしぼり込まなければ効果は薄いと思います。(カメラの設置場所を増やして、危険度と実際の状況を画面でみて各々が判断できるような情報の伝達を希望します。)(愛媛県・男性・60代)
・2017年では勤め先が被災し、断水・停電・職場周辺は浸水(泥)している状況で、避難所に移動する方が危険だと思い職場で一夜をひとり明かすことになったが、非常に不安だった。今年の7月においても職場で避難指示が出たため、早めに帰路についたのは良かったが、住んでいる所でも避難指示(のちに大雨特別警報)が19時位に出されたため、今年の場合においても結局は自宅待機しかなす術がなく、夜が明けて自宅周辺が浸水になっていない事を祈るしかない状況だった。当方はひとり暮らし。通勤	市町村からの細かい情報が大切だと思います。(愛媛県・女性・不明)

<p>時間は一時間。県外に実家があるため、身寄りの人間はいないため、災害などに遭うと生活そのもの自体がとても大変だった。昨年の災害のときは直後の混乱期で渋滞の発生も多く、通勤だけでも田舎道の場合普段の倍近い時間を要した。勤務している職場においてもどういうわけかサポートは全くなく、退職し、実家に帰ることも考えた。地域のコミュニティ（居住アパート内）のつながり（の関係性）の薄さを痛感し、災害時における交通渋滞を緩和することの大切さを感じた。（福岡県・男性・30代）</p>	
<p>山奥に住んでいるので県道・町道・広い所まで出るのに時間がかかり家の中にいる方がよいと思います。このごろは、天気がよく当るのでよいと思う。（兵庫県・女性・60代）</p>	<p>1. まだ山間部辺りではガラケー、スマホ通信で電波が受信したい場所が往々にしてあり（とくに年配判らない点数々有り）2. 年長者によってはスマホ、ガラケー所持しない人がまだ全国に多数居られると思う（P. Cも含め）3. TVの場合色で区別は大変よいと思うがもう少し拡大と地区をより以上ズームアップして■しい 4. 発生前後の放送・情報を普段メディアを通じて身につけるように促進をお願いしたいものです。（広島県・男性・70代）</p>
<p>今回の西日本豪雨での、大学での対応が遅かった。通学の昼すぎに電車が止まったが、学校は、対応していなかった。その辺の対応や、ひなんのdashikataが少し遅かった様に思う。（広島県・男性・40代）</p>	<p>全世界の気象情報が分かりやすく発信していただきたい 特に北極圏の低、高気圧の動きと原因。インド洋の気象等 日本に関係する情報が聞きたい（広島県・男性・80代以上）</p>
<p>いろいろなデータ解析はされているが、やはり地域の防災情報が大切だと思う。気象庁のホームページなどはまったく見ません。（危険状態時）やはりテレビやラジオ情報しか頼りません。（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>災害前には、ほとんど考えていなかったが身近に感じ目の当りに経験し情報の収集、声かけの必要性を強く感じています。それによつての行動の方向性も含めて（福岡県・不明・60代）</p>
<p>・大雨警報が放送されても横なぐりの雨や風の中外へ出るのは却って危険と思ひ様子を見て避難指示まで待つてしまう。・地区、場所によつて状況が異なるのでなかなかむつかしい。・地方自治体のご苦労はよくわかります。個人個人の責任において決断すべきことが多いと思う。・近所での声かけが一番必要。（愛媛県・女性・70代）</p>	<p>テレビで見るメッシュ情報は、わかりにくい。（愛媛県・男性・50代）</p>
<p>頑張つて下さい（愛媛県・男性・30代）</p>	<p>雨量の情報について、県、市単位で発表されているが、特に中国地区では、山間部が多いため町、村、あるいは、地域毎の情報があればと思っています。今回の災害をいい経験とし、どこでどの位降つたら、災害が、自分で判断出来るのでないか、あるいは流域面積に合わせて表示するとか。（広島県・男性・70代）</p>
<p>愛媛県大洲市です。水害には慣れているつもりでした。今回の被害は甚大です。我々はまだ若く（あまり若くはありませんが）なんとかやり直せるかもしれませんが、被害にあわれた老人の方々を目にするとあわれでなりません。私の父も、今回の水害の2次災害で命を落としました。このような災害が、世界中でおこらないことを心から祈るばかりです。（愛媛県・男性・40代）</p>	<p>ラジオテレビのアナウンサーの伝え方を考えた方がよい！ほとんどの情報はラジオテレビから入るので、『伝える力』が大切で、『どの地区』『先日の〇〇での災害のような…』『命を落とす危険があります』等、具体的に伝えて欲しい。今回の災害は、『広島県西部・南部で、九州豪雨（朝倉市）での被害のような規模で、死者が〇〇〇人出るような土石流の危険があります。』とアナウンスして欲しい。（特に川沿いに住んでる方たちは…）と呼びかけて欲しい。（広島県・女性・40代）</p>
<p>私共は山間部であり土砂くずれ等が心配です。大雨の際は巡回し</p>	<p>危険を知らせる色分けは、黄→うす紫→こい紫→（赤）が、自然</p>

V. 巻末資料

<p>ています。(愛媛県・男性・70代)</p>	<p>だと思う。赤→行動に結びつく様に条件付けがあるから、(年寄りには、暗い色は、見にくい!)(愛媛県・男性・80代以上)</p>
<p>線状降水帯の発生予測とダム の事前放流を適性に行い減災に努めてほしい。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>西日本豪雨で被災したので、以前より意識は高くなりました。しかし避難所で、理不尽な嫌な思いをしたのもトラウマで二度と行きたくありません。(広島県・女性・50代)</p>
<p>この先異常気象による災害が発生する危険が、今以上あると思います。そのため、今後浸水、土砂災害警戒区域所内に宅地を造らせないようにするとともに、避難先が遠ければ、避難をためらうことになり、結果災害にあうことになると思われるので、警戒区域内に住まれている方のため、国が安全な避難場所を早急に造め必要があると思います。(広島県・男性・60代)</p>	<p>避難場所が水害にあってしまっている見直し、警報が出ているにも関わらず、ダム運用に問題あり。天気予報の精度がこれほど上がっている。運用しなければ、危険回避出来ない。(愛媛県・男性・70代)</p>
<p>2018年水害・浸水はまぬがれましたが避難経路が浸水しました。今後は、早目に避難しようと思います。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>高令なので図面で知らせていただいてもわから無い事が多いのでわかりやすい言葉で教えていただきたい(広島県・女性・80代以上)</p>
<p>大雨になると町内放送が聞こえないので情報が分からないので大変困ります。何か良い手段はないですか？(広島県・女性・60代)</p>	<p>NHKの天気予報をいつも見ている朝の予報で今日不安定でたつまきの予報もあり、気にはしていましたが昼すぎには雨かみなりがひどくなったけどNHKのデータ放送では、だんだんと雨はよわまるようになっていました。その日くもりの予報でしたので、夕方には雨もよわまり、こんな災がいいとなるとは、思いもありませんでした。データ放送をしんじていました。はずれました。その後のNHKのデータ放送はいつも見えています。(福岡県・女性・70代)</p>
<p>町の防災メールがよく判らない。(聞きづらい) のでもっとハッキリ発音して欲しい。(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>H30年7月の災害は、ダム操作の判断ミスによる2つのダム放流が原因と思うので、ダム操作の基準を変えて対応出来ると思う野村ダムが治水目的の物でなくて用水確保が目的である事が、今回の災害の大きな原因と思われる。→建設省が変更してほしい。(愛媛県・男性・60代)</p>
<p>病人やお年よりは早め対応が必要です。大雨警報が出される前でも状況によってはすぐにも避難する場合が考えられる。(広島県・男性・70代)</p>	<p>防災に係る情報(注意、警報避難等)を聞いても範囲が広くて早目の避難をと考えた。他人事と云う気持が先行してしまう。地域差が有りもう少しピンポイントでの情報が入手出来る事を望む。(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>・テレビ等放送で各局によって相違があり、判断しにくい時がある。(NHKと民放等)(広島県・男性・60代)</p>	<p>・ダムの管理、調整・避難場所へ行く道がすぐ水没する・平屋で大規模半壊になりました 屋根と柱だけ残り、すべて流失し寝具も何もない2階の人は寝具も寝る所も有り、mで区別するのは不公平だと思います(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>大雨警報が発表されると雨が弱くなり、気象レーダー図でも降りそうにないのに、なかなか解除されないように思うが？(洪水警報等が継続されるのは分かるが)(広島県・男性・70代)</p>	<p>・7月の豪雨のときは7日(土)に特別警報が出なかったことに疑問を感じている。8日(日)より7日(土)の雨の方がはるかにひどかった。「宇和島市」といっても広域になっている現状では、警報が空振りになるケースが多くなっているのではないかと。旧市町ぐらいの地区区分は難しいのだろうか。(愛媛県・女性・50代)</p>
<p>私は高令者で、スマートフォンを使用しないので、ガラ系でも簡単に情報が分かるようにして下さい。(広島県・男性・70代)</p>	<p>今回の7月の災害は、普通ではありません。多くの人が悲しみ苦しんでいます。ダムさえなければ、ここまでの被害とは…と言われてる人もいます。自然には勝てませんが、より早く、正確に情</p>

	報を伝えてもらい、私たち自身も、このくらいで…と思う事はしないようにしたいです。(愛媛県・男性・60代)
今回の災害は色々意見あると思いますが、大雨の前あまり雨が降ってなく梅雨らしくないと思っていた時いきなり的大雨、しみ込みが間に合わない程の大雨で災害につながったと思います。よく降るなと思って寝ていたのが気がついた時は間に合わなかったと思います もう少し早くサイレンなどで知らせて欲しかったと思います 放送があった時は時すでに遅し、とても逃げれる場合じゃなかった 気象庁いつも私達は本当にあてにしています。よくやってもらっていると思います。これからも国民の為、よろしくお願い致します(愛媛県・女性・70代)	7月7日の西日本豪雨では避難指示の無線放送が全く聞こえなかった。(愛媛県・男性・70代)
気象情報に関する意見ではないけれど、1. 避難先の小学校の方が危険な気がする。(広島県広島市安佐北区口田南3丁目) 2. 犬がいるので避難しにくい。気象庁と自治体が連携してほしい。(広島県・女性・50代)	今は消防の人に相談して動いています。年を取っていますので雨や風で行くまでにたおれたりしたらと思っています。ほんとうにありがとうございました。分らないことばかりでごめんなさい。お元気で皆さんの為頑張ってください。(愛媛県・女性・80代以上)
今後わかりやすくテレビとかでおしえてほしい！！(愛媛県・女性・60代)	私は子供が島外に住んでおりますので情報はほとんどテレビから入りますのでテレビの報道を宜しくお願い致します。(愛媛県・男性・80代以上)
停電、ネット回線が×になり、情報の収集ができず不安なときを過ごしました。警報(大雨)は出ていましたが、夜で外の状況を把握しきれず、家の近くでは、土砂崩れが起き、孤立しました。(1日)「もっと早く避難できていれば…」前日の夕方くらいにでも避難して下さい!と言われていれば、安全に避難できていたのでは、と思います。でも、今まで、あのようなことがなかったので、「ここは、大丈夫。」と思っていたかもしれません…。雨のこわさが分かったので、今では、情報を収集するようになりました。今後同じことがないように、今まで災害によるひがいを受けたことがない人へ、強く宣伝してほしいです。(愛媛県・女性・60代)	今回の豪雨災害であらためて恐さを知りました。早めの避難など冷静な判断をしたいと思います。(広島県・女性・60代)
ダム管理事務所(国交省)はもっと気象庁のデータを利用すべきではないか!と思う。災害が発生した後は必ず想定外と言う。困ったものだ。(愛媛県・男性・50代)	今はまだ避難に対しては警告は出来るが強制は出来ない。高齢者及び子供の避難は自警団等でも誘導出来るような方法はないものだろうか。(広島県・男性・60代)
別にありません(福岡県・女性・70代)	7月6日の西日本豪雨災害にあいました。今回まだいいだろうと思っていましたが大規模半壊の判定でした。これからは、市町村の防災無線の放送で避難勧告・及び避難指示あれば避難しようと思います。(広島県・男性・70代)
NHK d ボタンの気象情報とテレビの気象情報は少しちがいます。(広島県・男性・70代)	町の放送が聞こえない(広島県・女性・70代)
防災情報の精度が向上しているのは良いと思うが使用者の選択肢が多くなるのは使い勝手が悪くなります。(広島県・男性・70代)	私の住んでいるところは、川ぞいです。大雨の時は目の前の川の水がいつも気になります。区長さんが避難するかどうかが1戸1戸訪問して聞いてまわられます。ですが雨が降ると外に出ること自体キケンです。川の水が多くなると橋を渡ることが出来ません。橋を渡らないと避難場所に行けないのです。必然的に自宅待機に

V. 巻末資料

	なってしまう。(広島県・女性・80代以上)
近年は四季のバランスが崩れ気味で異常気象が発生しており、長年の住んで居る地域の気象状態も変化に富んでおり、警戒情報などが発生されると避難をする前に考えられない災害が行っている通常の天候に置いての異常と言う天候に対してのアドバイスなどあれば、日頃の注意力も増すかも知れません。(広島県・男性・70代)	全ての人がインターネットとかデジタル世代や、スマートフォンを持っているとは限らない。便利のリスクと犯罪がつきまわっているのが現状と考えている(福岡県・男性・50代)
エリアメールにて居住地区が避難指示になると危険感を感じます。(広島県・女性・60代)	温暖化で予想もつかない異常気候が何年も続いています。先生皆様のたえまないご努力で、早めの避難が出来、多くの生命が救われています。心から感謝致します。もっと我々住民が素直に謙虚であるべきだと思います。(福岡県・男性・70代)
サイレンを強弱に鳴らして知らせてほしい(広島県・男性・70代)	・雨の音で町の外部スピーカーの音が聞こえない・公報車消防・その他消防団の車での指示等・TV・ラジオ ケータイ等で知らせる(福岡県・女性・50代)
妻が足が悪いので早めに避難したいと思います(広島県・不明・80代以上)	スマートホンでは時々見たりするがほぼテレビでの情報町内放送ではほぼ聞こえない マップでの避難場所で大丈夫なのか不安あり まだ家の2階の方が良いのではと思う事がある(広島県・男性・60代)
7月の西日本豪雨によって知ったことが多かった。それまでは自分の住んでいる地域は大丈夫だろうと思ってしまっていた。なので心を入れ替えて注意していきたい。また、避難状況が悪いという反省を生かし、避難情報についても知識を深めたい。(広島県・女性・10代)	日頃より防災気象情報をかくにんしながら気をつけたいと思います。(福岡県・女性・60代)
愛媛県大洲市の住人 今年(30年)7月豪雨で床上浸水で甚大な被害を受けた 地域には多数の死者も出ている 県内最大肱川の上流には野村ダム鹿野川ダムがありこのダム操作に問題ありと指摘されている 管理者に災害情報の指導が必要と考える(愛媛県・男性・80代以上)	TVが遅い、今回の災害ではツイッターからの情報の方が正確で、TVはほぼ変わらない情報ばかり流し続けており役に立たない。(広島県・男性・40代)
今回、大洲市が水害にあったのは、ダムの放流の仕方に問題がありました。大雨であれば、少しづつダムの放流を前もって置くべきでした。大洲市では、10年に1回程の水害が発生しています。国と市がもっと考えてほしいものです。(愛媛県・女性・60代)	パソコンやスマホを持っていないのでホームページと言われても分からない。テレビだけがたよりです。(広島県・女性・60代)
豪雨災害により、テレビの契約しているケーブルテレビも災害にあい、テレビがつかなくなり、テレビからの情報がまったく得られなくなり、家の外の状況、町のようなすがまったくわからず不安でした。防災無線ラジオが必要だと思います。そして、災害時、市内がどのような状況なのかも知らせてもらえると、少し不安がへるかと思います。(愛媛県・女性・40代)	昨今スマホやPC、TVとインターネットとの接続がないとみれない 高令者にはこんなもの無縁なんです。公共機関市役所などの広報車でしっかりやって下さい 気象庁は近辺に住む住人より行政との連携をしっかりと行政はそれを徹底させるようにしましょう(広島県・男性・70代)
備えあれば憂いなしです。重大な災害に至らずとも用心にこしたことはありません。がんばって下さい。(福岡県・男性・50代)	※設問の意味が解りづらいです。もう少し簡潔をお願いします。警報よりも、山から流れてくる水の様子で避難の判断をしています。風の場合、避難は考えていません。避難所開設の情報は安心します。(愛媛県・男性・40代)

<p>年をとって足が悪く、一人では避難がむずかしい。情報はテレビぐらいしかなく行動をおこしづらいのが現状です。近くにいる息子に頼る以外はありません。(愛媛県・女性・80代以上)</p>	<p>・気象防災情報を、現場状況を理解した上でレベル判断出来る場所が必要と考えます。(愛媛県・男性・70代)</p>
<p>空振りでも、かまわないので早目、早目の予報、警報をお願いしたいと思います。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>7月の大雨で私が生れて70年あまりになりますが大変な災害があり一人なくなりました。大変ショックでした。今でも気象情報は見ていたのですがよく見るようになりました。(愛媛県・男性・70代)</p>
<p>自分たちが住んでいる地区は、河川上流に2つのダムがあるがダムの放流のしかたや、予測でもっとうまく放流できたのではないかと思う。人災がおこる前にもっと国と自治体とが話し合っておくべきではなかったか、今となってはとてもざんねんに思う。又工事にしても早く行なうべきだと思う。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>これまでいるんな災害などテレビのニュースで見て、人ごとの様に思っていました。今年の災害で本当に身近な事だと体感しました。やはりテレビなどの情報が唯一の頼みになります。最初「命を守る行動をして下さい」と言われた時は何を、どのようにと考えていたので、もう少し具体的な行動の表現をしてもらうと高齢者の人もわかりやすいのではないかと思います。(広島県・女性・60代)</p>
<p>・我が家は、大雨になると(ダム放流)ほとんど道路は冠水します。・30年7月の豪雨の時は、いつもよりは、水が増える速度が早く、道路上の2階建住宅は、2F床上80cm浸水し、その上に建っている平屋は、床上15cm浸水しました。上の家には、水がきた事がなかったので、避難したのがギリギリでした。・情報(防災放送)は、聞きとりやすく、ダムの放送は、充分気をつけてほしいです。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>難しい事とは思いますがどのような情報でも、狭い範囲に、せめて大字(オオアザ)単位くらいに、地区名が出れば唯れでも本気度が増すし地域の連携も強固になります。そんなシステムの開発を祈る。(広島県・男性・70代)</p>
<p>ニュースとしてスマホに表示されるとよい。アプリ(福岡県・男性・50代)</p>	<p>1何もかも異常です 国全体で河川を見直してほしい(広島県・男性・70代)</p>
<p>特になし(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>・大雨特別警報の発表に、(命にかかわる雨)とか、わかりやすい(日本語)強い言葉使いが欲しい。・高齢者にもわかりやすく、強い、弱いを、数字で表現した方が、わかりやすいと思う。・通信手段を確保する事が大事。(日頃の電柱の管理)(広島県・男性・70代)</p>
<p>特別警報の特別をもっと違った言い方にしたい方がいいのでは?例えば大雨危険警報とか…(愛媛県・男性・40代)</p>	<p>障害者の方でも簡単に理解できるように、表示なども分かりやすくして頂きたいです。(広島県・女性・40代)</p>
<p>ハザードマップで示された土砂災害警戒区域を指定するだけでその為の災害防止策の手を差しのべる必要が大いにあると思う。今年の夏(7月の西日本豪雨災害)以降、大雨警報が多発するはずれる事が多い(はずれる事は良い事だが…)。2~3回は避難したが空振りだったので台風25号の時は避難しなかったら一番ひどかったとの声も聞いた。(愛媛県・女性・50代)</p>	<p>避難した時は、スマートフォンの情報がたよりになります。スマートフォンから、いろいろな情報が見れるようになれば便利です。(広島県・男性・40代)</p>
<p>今は高齢化時代です。高齢者でもすぐ理解できるような優しい内容の情報を発信するようお願いします。(愛媛県・男性・80代以上)</p>	<p>・今年7月6日~7日、防災気象情報が不十分であった。・町内の連絡も不十分であった。・ダムの放水の情報が特に不十分であった。(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>警報が当たらないのが幸いであり早めに行動出来る様発令してほしい(岐阜県・男性・60代)</p>	<p>70才以上の方はパソコン、スマホを持たない方も多と思われる。どうなさるつもりですか?(広島県・男性・70代)</p>
<p>2回水害になっている為、とにかくこわかった 主人が認知症の為避難するのをいやがり雨がふった時(強い)とてもこまった</p>	<p>・避難所の環境がよければみんな早めに避難するのでは?(TVで見る避難所には行きたいとは思わない。)(避難したいと思える</p>

V. 巻末資料

<p>雨や風が強い時は天気（テレビ）をいつもみています。お疲れ様です（福岡県・女性・60代）</p>	<p>避難所を、わがままでしょうか（広島県・男性・60代）</p>
<p>7月の水害により半壊しました。雨の音で、防災無線が聞きとりづらく、不安ばかりがつのりました。たとえば、NHK、ローカルなどで、地元の最新の状況や映像（川の様子など）を常時流してほしい。（NHKでは、四国各県でした。）近くの川がどれだけ増水しているか、家にいてわかるので、外に確認に行く人が減るのでは…？テレビの画面も、難しい説明は、すこし減らして、“危険！！”“今すぐ逃げろ！！”など“目”からのメッセージが大事だと思います。（愛媛県・女性・50代）</p>	<p>水にかこまれて車もこわれてそこまでなくても家にいた方が命がたすかかると言うのがわかりました。ハザードマップは、大切に見れる所にあります。（岐阜県・女性・70代）</p>
<p>住んでいる場所の地形等で、避難する方が、かえって危険な場合もあるので、避難しようと思う（避難経路も含めて）タイミングが、とても難しいと思います。7月豪雨では、避難経路の国道は、肱川沿いで浸水しました。（愛媛県・女性・40代）</p>	<p>情報は最大限利用する様に心掛けるが、夜中に停電となり翌朝近所で死者が出た事を聞いたが情報が遮断され、ケイタイ電波が弱く読込めず情報が利用出来ず（3日間）困ったが被害はなかった。情報遮断対策が必要と感じた。対策は未達（愛媛県・男性・70代）</p>
<p>ハザードマップが、確か、H7年に出された物で、古く、新しい物がほしいです。（愛媛県・女性・60代）</p>	<p>私の地区は警報のたびに避難をしています。あまり空振りが多いと、わかってもやはりつかれます。時には自分のはんだんで自宅の様子を見ることもあります。空振りの回数が少ないことを願っています。（愛媛県・男性・70代）</p>
<p>老人にも判るように目視出来るような施設（電光掲示板等の活用）◎警報では聞取にくい（愛媛県・男性・80代以上）</p>	<p>大雨の時危険と分かった時点でサイレンとか鳴らしてほしいです。西日本豪雨の時は明け方で起きてみると陸の孤島と化していました。たくさんの方が朝早くにこっちに避難してきました。その時にはもう肩まで水が来ていました。私はアパートの2階に住んでいますがものすごく恐怖を感じました。子どももまだ小さく、だきかかえて避難所まで行くのは困難です。これ以上水が増えませんかのようにと祈る事しか出来ませんでした。もう少し早く起きていればと後悔ばかりしていました。横の山は崩れました。もっと早くにこのような事になる事が分かっていたら子供と一緒に避難していたと思います。みんな豪雨の後にはこんな災害は初めてだ。テレビでしか見た事のない風景と口々に言っていました。もっと身近で何が起こるか分からないと言うことを災害に合っていない皆さんにも知ってほしいです。災害が起きた後はちょっとした台風でも恐くて避難しています。本当にいつ洪水になるか、いつ土砂崩れに巻き込まれるか分からないんです。早めの避難呼び掛けを自治体にも徹底してほしいです。（愛媛県・女性・20代）</p>
<p>ダム放流の際、水位がどれくらいあがるのか前もって連絡してほしい。（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>避難準備→勧告→指示の順がわかりにくいです 避難「命令」と言うことばは使えないという事ですがもっと危機感を感じるほどの「ことば」があれば良いですね「緊急事態！！」「緊急避難！！」などもっと良いことばを見つけていただき、避難せずにはおれない！様考えていただきたいです。（広島県・女性・60代）</p>
<p>国と地方の連絡をもっと密にしてほしい。（愛媛県・女性・60代）</p>	<p>特になし（広島県・男性・50代）</p>
<p>スマートフォンの気象アプリで雨の動きを見る機会が今年は多かったが、避難を呼びかけられても、なかなか実際には動けない</p>	<p>自治体防災放送が聞きとりにくい。今年7月の大雨の時も聞こえにくかった。土砂災害も気付かなかった。早めに知りたいと思っ</p>

のが現状だ。(愛媛県・女性・60代)	た。(愛媛県・男性・60代)
危険な所は早目に対処し直して欲しい もっとみんなも身の危険を感知する必要があると思います。(広島県・女性・50代)	今夏の大雨で初めて被災しました。家、人は無事だったが周りが大きな被害を受けた。とにかく「まさか」という言葉しかない。避難する意識がなかった。ニュースでの情報が一番目に入るのでTVニュースが一番効果があると思うが停電になると使えない。スマホがあれば便利だが毎月の料金が問題で持てていない。こういう面からも通信料の値下げは、進めてもらいたい。町内会も機能しなかった。(広島県・男性・40代)
H28九州北部豪雨にて私達の所も被害に合い情報の大切さを知る事が出来た。(福岡県・男性・60代)	とにかく早く知らせてほしい。(愛媛県・男性・40代)
30年7月6日の豪雨土砂災害にあい命かながら助けもらった夫婦。あまりにも大雨の音、家の前の川の流れる音で警報は聞えなかった すぐに停電になり、水は家の中に入り命の危険を感じ、2階に避難し、夜が明けて、どうにか助け出されました。もっと早く、テレビ、ラジオなどで知らせてほしかった。年を取ると、ホームページ、スマートフォンなど、たよる気は出来ずいます。(広島県・女性・80代以上)	避難が必要な時の指示・警報は分かり易い言葉にすべき。(広島県・男性・70代)
気象情報が、必ずしも自分が住んでいる場所にあてはまるとは限らないのが、避難を遅くしている原因ではないかと思う。年をとればとる程、これまで大水は出なかった、とか、経験がかえってじゃまになるのではないかと思われる。ホームページなどをすぐに見れない老人は、どうしても避難が遅れてしまう。(愛媛県・女性・60代)	現在の地域は危険地域でないので台風以外の事には感心がわかない。全体的な情報を言われてもこまる。(広島県・男性・50代)
地域の防災無線から情報が来るのを気をつけたい。“～地区”と避難勧告、指示が出るが、場所が小高い所(川からも山からもはなれている)にあり外出せず、自宅の様子をみました。同じ地区でも川に近い所、小高い所とあるので、(なるべく)客観的に大丈夫と判断して在宅しました。(避難所もすぐ近く。)(福岡県・女性・50代)	大雨特別警報が出たのは、生まれて初めての体験だったが、これがあったおかげで、今回(7月の大雨)のような時に、とっさに子供と避難することができて、結果としてよかったと思う。実際は、家族などに被害はなかったが、幸運だったと思い、近所の方とも協力して早めににげるようにしたい。また、職場が窓がなく外の見えない屋内なので、メールなどのサービスをもっと利用しようと思った。(広島県・女性・30代)
避難勧告と避難指示が解りにくい。(福岡県・女性・30代)	・テレビでの情報にたよるでしょう・町内放送もいいと思う(広島県・女性・50代)
どうしようもない行動判断を間違えれば…の地球環境です。(福岡県・男性・50代)	全く予想しなかった規模の災害が近くで発生した。似たような状況(地形、地質等)にある方(知人等)には、身近で生じた経験を吹聴しようと思っている。—している。—(広島県・男性・80代以上)
7月の広島の災害は雨が集中して降り、山あいの谷間を水の流れ立木の具合でどの様に曲るかわからない上石をまき込み流れ落ちる水のこわさ、現在でも一寸大雨、長雨が降れば不安です。テレビの画面で紫の網目が早く消えろ、早く消えろと祈った一日でした。近所で声をかけ合い逃げるのみ。自然には勝てない(広島県・女性・80代以上)	避難指示、警告、勧告がどれがより強いシグナルかわかりづらいです。(愛媛県・女性・30代)
国土交通省との連携を強化して、インフラのコントロールに積極的に関与できる体制を作って欲しい。特に治水ダムのコントロー	7/7生まれてはじめておそろしい体験をしました。水のおそろしさに改めて実感。人間って何もできないんだな一つ。でも協

V. 巻末資料

<p>ルは人命に係わることであり、気象情報は生命線です。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>力しあって声かけあって手をつけることができない片づけをする事ができて感謝ときずなと人間ってありがたい。テレビ・ラジオからの気象情報は私たち果樹農家にとってはなくてはならないものであるのを利用してもらっています。宇和島市吉田町(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>ダムの水を何トン出すといってもどの位、水位が上がるのかわからない。今回の水害は日中だったので避難せず水の増えるのをポーと見ていた。床上まで水がくるのがわかっていたら、色々な物を少しでも高いところに上げられたのにダムの水の出し方を考えてほしい(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>テレビで情報を知る、聞くことが大半ですが、今までは、昔は…とか、この風・雲行きは…とか、以前の自分達の頭の中とか、経験とかで判断していました。今回の災害被害にあい今までの考えは無用にしなければと感じております。(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>各省庁の連係を密にする事が大切 市民の身に役立つ仕事を祈る(愛媛県・男性・70代)</p>	<p>それ以前にダムや河川の管理者の能力値(判断能力、適応能力)を上げる教育を徹底してほしい。(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>利用の有無に関係なく必要と思う。(愛媛県・女性・80代以上)</p>	<p>私は広島市安芸区矢野東七丁目に居住しています。この度の災害は自宅の5m先の友人宅まで大被害でした。幸い人災はなくて済みましたが今迄以上に気象情報をくわしく知る様にしたいと思っています。(広島県・女性・70代)</p>
<p>・スマホのアプリ等の見やすいものがあると助かる。・わざわざ気象庁のHPまで見に行かない。(広島県・女性・50代)</p>	<p>自宅は、ハザードマップなどで安全とされる位置にあり、万一特別警報がでて、道中や、避難先での安全が心配。(広島県・男性・60代)</p>
<p>対象地域の詳細な情報の提供を是非お願いしたい(広島県・男性・70代)</p>	<p>スマートフォンに来る、アラームの音が、不安な音なので、余計に怖くなる。(広島県・男性・40代)</p>
<p>私の家(又ハ近隣)は大雨でも、大水になるような所ではないので“ピン”と来ませんが、150m位■れた所は危険な所があるので注意は必要と思います。(福岡県・男性・80代以上)</p>	<p>例えば、避難勧告or指示の発表が“全市”と全地域を指す場合の発表がありますが、地域が広いのでイマイチ信用する気になれない。もうすこし、細かなメッシュで報道できないものでしょうか?(広島県・男性・70代)</p>
<p>高齢の両親を持っています。私が仕事に出勤中補聴器が必要な父と白内障の母達が避難出来るのか心配。(福岡県・男性・50代)</p>	<p>・高潮の場合は、老人・ペットを車に乗せて移動しようと思うが大雨の場合は自宅の2階へ移動しようと思う。・避難場所の駐車スペースが?(広島県・女性・60代)</p>
<p>ホームページがみにくい。(愛媛県・男性・40代)</p>	<p>特になし(広島県・男性・70代)</p>
<p>早目の情報収縮で早目の自己非難すること!!(福岡県・男性・50代)</p>	<p>避難所の収容人数が限られているから我家に居ようか、と思う。(広島県・女性・60代)</p>
<p>災害区域の山に、真砂土取りの所があるとぜったい次回の大雨で又災害がおこるので災害区域には、山をくずしていかない用していただきたい。災害状報を出しても原因の1つでも、なくしていかなくてわ。(福岡県・男性・60代)</p>	<p>道路をはさんで山がくずれ大量の土砂が玄関の前やうら庭迄土砂が流れ大変でした。10日間息子の所や妹の所へ避難しておりました。(広島県・女性・70代)</p>
<p>最近、防災気象情報が早目に発表されるために、情報がすぐに耳には入ってくるのでとても助かっています。(福岡県・男性・70代)</p>	<p>昭和20年以来(いえそれ以上)の災害ではなかったかと思いません。人間は大変だった事も過ぎて行く中で少しずつ風化して行く気がします。私がそうでありますので…これからは何がおこるかわかりませんが、次の世代に伝えて行かなければなりませんね。これからも、しっかり情報をお願い致します。(広島県・女性・70代)</p>
<p>今回の災害は(口田南5丁目)、被災のなかったすぐ近くの人々の体験で、かみなりがなりバリバリというので後を向いたら近くで</p>	<p>・警報は、「〇〇市」として発表でなく、その中でも、地区を細かく分けてほしい。(岐阜県・男性・50代)</p>

<p>どどつと流されていたそうです。逃げてとかいう間もなく一瞬のことだったそうです。(広島県・女性・70代)</p>	
<p>・テレビなどで警報が出ても、自宅周辺の状態を見て行動する。・防災気象情報はテレビしかない為情報がおそい。停電になったら情報はわからない。(広島県・男性・60代)</p>	<p>もっと天気(雨の降る時間帯)を当てるようにしてほしいと思います。(広島県・女性・40代)</p>
<p>高齢のため、HPやスマホ、けいたいが使えない方がたくさんいる。田舎と言われる地域の方への対策も考えてほしいです。車がない、運転できない、身内が近くにいない…。そんな方がたくさんいらっしゃいます(岐阜県・女性・60代)</p>	<p>ハザードマップ外の住居なので意識が薄い。むしろ地震情報が最大の関心事である。(広島県・男性・60代)</p>
<p>・居住地が川、山から離れているので真撃に受けとめていなかった。近所で土砂災害があり目のあたりにして事の重大さを知り、真撃に取り組もうと思った。・報道、ハザードマップ e t c 年齢がいく程理解しがたく局力簡潔にしていきたいと思います。※こんな時は(テレビ等で流す場合)こんなだから、こういう名目で調べて下さいとわかりやすく報道してほしいな。何からどうしていいやらわからないのでご迷惑おかけします。(広島県・女性・70代)</p>	<p>今まで気象庁ホームページを見たことがなかった。(テレビ中心)これからは参考にしたいと思った。(愛媛県・女性・50代)</p>
<p>特にありません。私は、アナログで、ホームページ、スマートフォンとは無縁です。7月の豪雨でも、頼りにしたのは、テレビと行政無線でした。ただ停電が長かったので、7月は、主に、行政無線でした。気象庁のみなさんのお仕事は、命を守る、大切なお仕事だと思い、日々感謝しています。ありがとうございます。(愛媛県・女性・50代)</p>	<p>大雨が降ると山から水が流れ家の裏にある水路に土砂、石、木の枝や葉のゴミを運んできます。水路の流れを止めない様に木枝や葉をその都度注意して夜中でも見回りをしている状況です。台風時期や大雨の時は本当にハラハラしています。(愛媛県・女性・50代)</p>
<p>土砂災害警戒区域に住んでいる人達は早く避難すべきだったと思う。そんな場所に家を建てる許可が出来ないようにすべき…(広島県・女性・50代)</p>	<p>河川の増水状況やライブカメラが少ない(岐阜県・男性・70代)</p>
<p>最終的には、自分の身は自分で守る。1人1人意識し、命が第1に考え行動する。(福岡県・女性・30代)</p>	<p>高齢で歩いて避難は出来ないし、場所的に安全なところへ行ってもトイレ等生活で来ないと思う 犬を置いては行けない(広島県・女性・80代以上)</p>
<p>ハザードマップやNHKのデータ情報などで、いろいろと知る機会は(アナログながら)利用しています。危険度が差し迫ったことも(あとで)あります。明日は我身と痛感しつつも避難場所の状態を知るにつけ、自宅にいようと決心しています。安佐南区の災害の時は、前日の天気予報では、たいしたことはないの認識で起ったことの恐ろしさが、十分注意して、聞いています。正しく、正確な予報を、お願いします。(広島県・女性・60代)</p>	<p>7月に付近で土砂災害があつてから、気象庁の防災情報をこまめに見るようになりました。個人的には、位置情報を使って、上記のメッシュ情報に加えて今後の雨の動きを見ながら行動するようにしています。自分の住んでいる地域に合わせてテレビなどで簡単に情報が取得できるようになれば、より早く行動できるので、と思います。(広島県・男性・40代)</p>
<p>ハザードマップの一部重複しているかも知れないが、過去、水害のあったエリアと年度の詳細マップがあるとわかりやすいのだが。(広島県・男性・60代)</p>	<p>皆さん体に気を付けこれからもよろしく 国民の為によろしく(岐阜県・男性・80代以上)</p>
<p>昨年の水害から、雨が降ると今後どれくらい降るのかスマホやテレビでこまめにチェックするようになりました。昨年大雨の時、出産予定日3日前、上の子は嘔吐下痢、主人は仕事で帰れず…避難すべきだったのですが、とてもできる状況ではなく、ギリギリまで家に居るしかない。とスマホやテレビの気象情報が頼り</p>	<p>・避難指示の文面をもっと強く言っても良いと思います。自分は、大丈夫とゆう気持ちがどこかにある為、命の危険があることの重大さを判断できる言葉を考える必要があると思います。(愛媛県・男性・60代)</p>

V. 巻末資料

<p>でした。これからも、より正確な情報を宜しくお願いします。(福岡県・女性・30代)</p>	
<p>役場の警報を鳴らす。(福岡県・男性・70代)</p>	<p>大雨警報が出ると、自宅に居る時はテレビ(dボタン)で状況を見る事が多く、雨量予測(レーダー予測)が見る事が出来ると便利に感じます。(広島県・男性・50代)</p>
<p>・避難勧告と指示の差が分かりにくくて、ピンとこない。・濃い紫色が大変な色だと思いが、地図上にその色が出てると字が分かりづらいので、読みやすいようにしてもらいたい(福岡県・女性・70代)</p>	<p>77才老女です朝倉杷木に20年住んでいます。昨年の災害で心がとても不安と同じ流された方々何とも言う事が出来ずお会いする事が出来ませんでした 日が立つにつれお手伝も年をとっていますので体が動かず悲しい思いでした 人間自然災害はどうする事も出来ないと言う事が良くわかりました。命の大切さとおそろしさいくら科学が発達してもむつかしいと思います たゞ未来の若い人達■一人でも命を大切にしていきたいのです 特別警報が出たら近所の人の伝えで行動します 私はメカによわいのでメールをうつ事が出来ません メールを見るのはできますがはずかしい事です。(福岡県・女性・70代)</p>
<p>昨年の豪雨で、隣の小学校では土砂降りなのに、わが子の通う小学校ではそれ程でもない時間帯があり、徐々にひどくなっていきました。子どもが留守番している時、同じ市内でも親がいる地区とは天候が異なる場合、通信機器を持たない子どもは避難できるのか、とても不安に感じています。梅雨や台風の時期に留守番させる時には常にテレビをつけたままにした方がよいのか、携帯を持たせた方がよいのか、いまだに迷っています。同じ市内で働いているのに、自宅に帰り着いたのが夜中、という保護者も見られました。とりとめのない文章で申し訳ありません。(福岡県・女性・40代)</p>	<p>1. 地図上を雨雲を表示移動したりする時、雨雲が地図を覆いかぶり位置が分りにくい 2. 大雨時の降り始めから1日~4日位の雨量の積算量を分りやすく(又、時間当りの雨量も) 3. テレビでのdデータ放送での画像を動かして予測を表示できる様にする 4. 台風の進路予測と実際の進路(現在位置)を表示出来る様にする。(広島県・男性・70代)</p>
<p>緊急の場合、テレビ等で7ページのように字幕がいっぱいより映像等の方が分かりやすいと思う。地域にあった映像がよい(福岡県・女性・50代)</p>	<p>現在は市の放送で早めに案内有り。(福岡県・男性・70代)</p>
<p>*自治体にも情報を入れていると思いますがより詳細な情報を入れて、自治体より避難準備情報を流して下さい。(福岡県・男性・70代)</p>	<p>地いきへの情報を細かく教えてほしい。(福岡県・女性・40代)</p>
<p>今住んでいる家から避難せよと言われても避難する場所がない。小学校は家より低い 近所と防災について話し合うこともなく、どこへ行けばよいかわからない。単身だし不安を感じている。(広島県・女性・70代)</p>	<p>実際に災害が起きたことを想定し、地域住宅(小単位毎)が全戸参加(高齢者、障害者、子供等も)で防災訓練を行う事を義務づけて、自分はもちろん相互の命の大切さを感じとれるといいなと思います。(広島県・女性・70代)</p>
<p>ダム放流量を知らせてほしい(愛媛県・男性・80代以上)</p>	<p>この度の災害には、被害にあってませんが、大雨には、すごくこわかったです。自治体も放送するばかりで、具体的なアドバイスを早目にして欲しいです。(例えば、大原ハイツとか新宮地区とか…場所など)(広島県・女性・70代)</p>
<p>耳が遠いので大きなサイレンをならしてほしい。(愛媛県・男性・80代以上)</p>	<p>・警報e t cは、大変重要でありがたい情報ではありますが、その地域一律に、例えば、市全域に、避難勧告を出されても、どこに避難する(収容できる施設)があるのかなど)のか、ということもあります。市民約19万人です。・気象庁の出される情報の精度が高まること、わかりやすくなることは、有難いですが、使う</p>

	側が、どう活用するか教育、学習が大切ではないでしょうか。ややもすれば、『指示を出したら、避難』のようなことも語られはじめていますが、地域、場所、年齢 e t c など、避難する必要のない人も多いと思います。まず、個々の人々が、自分の家、地域を知り、どの状況で避難するのかを知ることが、重要ではないかと思います。・メッシュでの情報ばかりでなく、標高も加味したのも検討いただければと思います。(広島県・男性・50代)
私達の地域に於いての災害、特に浸水災害については、上流のダム放流のタイミングが重要だと考えます。(愛媛県・男性・60代)	・ホームページで情報が見れるという事はわかりますが、パソコン等ない者はどうやって情報を得ればよいですか?・携帯に「～警報」が受信された場合、避難地区などもっと具体的に知らせてもらう事はできないのですか?〇〇市〇〇区〇〇町ぐらゐまで表示されないですか?(福岡県・女性・50代)
平成30年7月豪雨の際、肱川が洪水であふれているにも関わらず、洪水警報が、出ていなかったと思うが、どうしてか教えてほしい。地域によって、きめ細かな、注意報、警報を出せればと思う。(愛媛県・男性・40代)	H30.7.5の豪雨災害で私の家は災害を免れましたが50m先のお宅は全壊となりました。あの後から、常に明日は我身と思いは情報は非常に役に立っております。命にかかわる事ですからしつこいほどに情報を流して構わないと思います。(福岡県・女性・50代)
独居老人となったので災害後区長さんが避難するように言って呉れますので避難指示があったら自ら避難するようにしています。今度の災害で遠くの人達がボランティアに来て下さって徳島の方が水を運んで下さってとても有りがたかったです。(愛媛県・女性・80代以上)	市、テレビ、早めに情報があれば良いと思う(愛媛県・女性・40代)
7/7の3～6時に大量の雨が降りそうな予報を見聞してなんとなく今まで、一番大変なことな事になりそうな気がして、前日の夕方から、危険を感じていたが、市も地区も現状たいしたことないので、何も、なかった。(災害のあとになってから数日してからは放送があったが、終ってからではねえ。)それで前日の対策だが、近くに小学校や公民館があるので家族をひなんさせたかったが、カギがかかっており、ひなんできないので、最悪初めて山から、一番遠いへやにどうさせるしかなかった 公共機関は早めに、開放してほしい。今までなかったのでみんなききいしきが、なかったのもしかたがないが(愛媛県・男性・60代)	小さな子供をつれての避難所は、とても気を使うので警報が出て避難しにくいです。避難所を快適化していく事を願います。そういう家族が、多いです。日本は、子供に対して優しくない。避難所では、子供の泣き声にグチを言う人々もいます。(広島県・女性・30代)
天気予報は見当する時代が来ている。昔と同じ事をしている。〇〇県はとか、〇〇地方はと広すぎる、山も海もある。細かい地図の上に気象の分布図を示すべきだ。テレビもやるのなら時間をかけて具体的に説明すべきだ。合掌します。(愛媛県・男性・80代以上)	誰もが簡単に見れて、通知もしてくれる気象庁のアプリが欲しいです。(広島県・男性・40代)
7月の西日本災害で被害に合った地域に住んでいます。夕方から夜にかけて大雨が降っているのはわかかっていても住んでいる地域のまわりがどうなっているかはまるでわからず救急車の音が激しくなっているなど感じるだけで翌朝になってはじめてたいへんなことになっているのに気づく状態です。緊急避難場所に指定されている小学校にも土砂が流れこみ避難場所には適さないと思いました。避難するのめいつ行動をおこすのも最終的には自	市の防災気象情報の放送を聞いて(広島県・不明・80代以上)

V. 巻末資料

<p>己責任だと感じました。(広島県・女性・50代)</p> <p>・最近JRは早目に計画運休するので気象情報の精度を上げて頂きたい。(広島県・男性・50代)</p>	<p>わたしの回りのお年寄りの方は、PCもスマホも持たず、携帯の自治体防災メールの登録の仕方も解からないという方が多い。テレビは見ているが、テロップは眺めてるだけという人も、危険地域だけでも、「番組の途中ですが!」というように、警報が出た時に放送すればと思う。(広島県・女性・60代)</p>
<p>私達の住む宇和島市吉田町白浦地区は昔から雨の少ない地区でありしたがって特産のみかんはとても甘いと評価されてきました。気象情報で四国地方は300mm~400mm降雨量と発表がなされても短時間に地面にしみ込む程もない位の雨量で終ることが普通になっています。だから情報きいても「又か」といった感じであり警報にもマヒしていて危機感がないのでは?それが適時の避難をくるわせるのではないかと思います。30.7.7は当方豪雨による大惨事が起りました。(愛媛県・女性・80代以上)</p>	<p>今回の災害は本当に突然で自分にふりかかるとは思いませんでした。今回は夕方~夜にかけての大雨で家の外の様子を見ることに気をかけていませんでした。なにかのついでに外を見るとすでに家の前の車のタイヤ1/3に茶色い水が来ていました。もう避難は無理でした。テレビでは大雨情報は見ていましたが、もっと深刻な表現での情報発信を要望します。(広島県・女性・40代)</p>
<p>自然災害なので予測が立ちません。命にかかわり色々な人に助けてもらうようになる前に自発的に逃げる事、第1です。近くで土砂災害にあった人がいます助けられる人も助けていただく方も大変な思いと労力でした。今回は身にしみて感じています。人の言う警告に耳を傾むけて考える力を持たなくては自然に立ち向けない!(福岡県・女性・60代)</p>	<p>避難する場所が遠いので、誰かの助けが思うので、平日から、親しくして車便を借りたいと思う。大雨になってからでは、動けないでしょう。(愛媛県・女性・80代以上)</p>
<p>すぐ近くの方が亡くなられて、土砂災害の恐さは実感しました。出来るかぎり情報に気をつけたいと思っています。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>気象観測地点が少ない(平地、山手のちがい 甘木と朝倉、杷木地区に差あり)(福岡県・女性・60代)</p>
<p>H29.7.5の災害により、とてもおそろしい事を知りました。今までに見た事も会った事もない事を初めて体験し、とにかく自分の命は自分で守るという事が一番大切と思いました。早目、早目の避難を心がけています。(福岡県・女性・60代)</p>	<p>・防災無線は、はっきりしゃべって放送してほしい。避難場所が分からなかった。・雨雲レーダーを広範囲で見ても雨雲がないのに、警報が出ているのがよく分からない。・毎日利用する高速道路の通行止の情報をリアルタイムでスマホで確認できればよい。メールが送られてくるとか。(愛媛県・女性・30代)</p>
<p>避難先は学校の体育館、集会所が多いが、避難してもトイレとか食事の問題がある。イタリアのようにシェフがきて料理をするわけでもなし、ダンボールのベッドで一週間以上眼るのもきつい。環境整備も完全に出来ていないのに避難してもストレスがたまるばかり、この点をしっかり考慮していただきたい。(広島県・男性・60代)</p>	<p>太田川からの防災無線が大雨の時には雨の音で全く聞こえないので意味がない。かすかに聞こえるが不安をあおる。確実に聞こえるようにしてほしい。(広島県・女性・30代)</p>
<p>避難場所が逆に危険、または、避難場所へ行くまでの途中の方が危険かもしれない…と考え、今回の災害は自宅(マンション)ですごしました。しかし、山の崩れる場所、によっては油断できない階数ですので、考えるところです。(広島県・女性・40代)</p>	<p>色々な情報が出て、内容が分かりやすくて良かったと思います。今後ともよろしくお願いします。(広島県・女性・40代)</p>
<p>年寄りなので、停電になったりすると、何も出来ない 耳が遠いので、外の声も聞こえにくい。ケイタイでの見方がわからない。誰かに大声で声かけ、チャイムをならす 1人で行動しにくい (広島県・女性・80代以上)</p>	<p>年もとっているのでもいそいでにげる事が出来ないで早めに避難するようにしています。近くに長男夫婦が住んでいるのでたすかります。七月の大雨の時も長男にたすけてもらって、長男の家へにげていました。(愛媛県・女性・70代)</p>
<p>10月頃に、試験的にサイレンを鳴らした事がありました。家</p>	<p>山沿いや川沿いに住んでいる人に比べ、団地など災害への危険意</p>

<p>の中ではあまり聞こえませんでした。ましてや、雨の中だったらなおの事、無理でしょう。したがって、自発的に行動するしかないと思いました。(広島県・女性・60代)</p>	<p>識をもちにくい地域に住む人は最高段階の避難指示が出るまで待つ人が多いと今年の災害を通して感じた。「次の段階の避難指示」の存在によってまだ大丈夫といった安易な考えはとても危険であることを多くの人に伝え強く避難を呼びかける対策をとってほしいと思う。(広島県・女性・10代)</p>
<p>裏が山なので大雨のたびに避難します。(車)いつも不安でストレスを感じます。ハザードマップも見たことないし、地域がこまかくわかるものを普及してほしい。自分の家が危険な区域や箇所なのかもわからない。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>今回の豪雨で近所で土砂災害(安佐北区口田南)で死者が出ました。しかし4年前の安佐北区・安佐南区の土砂災害の時の雨の方がひどく感じました。その経験から今回はそこまでではないだろうと思っていたので、ニュースを見て驚きました。自分の感じる危機感と、警報とのギャップをどう失くしていけばいいのか、改めて考えさせられました。(広島県・女性・50代)</p>
<p>家屋や車に災害は無かったが、裏や横のどてがくずれて後片づけが大変だった。土もどこにすてたらいいか解からず区役所に連絡するが連絡が遅かったのと何々、進まず(福岡県・女性・70代)</p>	<p>べつに、実際に目で見ないと現実見が見えないと思う。今回の被害は、思った以上であったが情報より、自分の目で確認して、実感した。(広島県・女性・40代)</p>
<p>現在使われているひなん情報は勧告指示命令?などどれが一番重要なのかよくテレビで説明しているが実地に身に付いているとは言えない。危険度が具体的にパッと頭に浮ばない。当地にはハザードマップはあるが、大雨の時にひなんするという人は少ない。昨年死者があつてからは多少増えていると思う。我家も情報が出てもひなんしたことはない(兵庫県・男性・30代)</p>	<p>今迄テレビで台風情報(特に進路、風の強さ)、大雨の地域等よく見ていてこれなら大丈夫が「まさか」この地域がと現実のものとなりあらためて自然の怖さを認識させられました。今後は今以上に気象情報をしっかり聞き(ずっ~とその情報ばかりの映像が流されていると見飽きてしまう)警報が出たらすぐに避難できるよう準備しなくてはと感じました。(広島県・女性・60代)</p>
<p>今回(平成30年)の広島市の災害時はスマートフォンの情報があまりにも激しかった為(安佐北区口田南3丁目)に居住)、午後8時頃避難しました。自宅は無事でしたが町内200m先は土砂災害で1名の死亡がありました。スマートフォンやTVの情報のおかげで避難できたと思います。しかしご近所には要介護者や高齢者世帯が多く、避難当時は避難の旨をおとなりにT e l しましたが、一緒に避難はしませんでした。市の指定の避難場所は遠く、なにより避難時に危険があります。今度も色々不安な事が多いです。情報はとても大切ですが、それをどう生かすかは各々の受けとり方だと思います。ありがとうございます。(広島県・女性・50代)</p>	<p>災害で避難しようと思っても、介護の必要な義母がいるので、避難所での生活を考えると、なかなか避難する事ができなかった。(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>私の街は今迄大きな災害が比較的なかったが今年の七月豪雨災害では大変恐ろしい体験にあい一寸強い風や雨でもテレビの予報やスマートフォンをすぐに見る様になりました。これから先地球はどうなっていくのでしょうか心配です(広島県・男性・50代)</p>	<p>気象情報の事では何も云う事はありません。国土交通省の方にお願ひしたいのはダムを流す時には満潮の時と早目に流すことをお願ひしたいです これだけは考えて下さい。私はもう一ヶ月すれば87才です こんな歳寄にアンケートは考えて下さい(愛媛県・女性・80代以上)</p>
<p>最近の異常気象で人々はマンネリ化している。しかし想定外の事が起こるのが現状です その意味で気象の情報は特に大事だと思う その点情報はよりいっそうのきびしさをもってほしい例えば命にかかわる気象状況であれば人々の避難を促す言動を強烈に訴える!又人々はそれを素直に従う義務をもつ事が大事である。(広島県・男性・70代)</p>	<p>自主避難の目安として、直近の時間雨量や、累積の雨量の情報があれば避難の目安になりやすい。今までは行政の情報で動いていたが、警報が出た時にすでに災害がおきていたり、避難が出来る状態ではない時もあったので個人の判断で自主避難の目安がほしい。(広島県・男性・60代)</p>
<p>地方気象台のHPと各自治体の防災サイトの連携がイマイチ。広</p>	<p>電気が来ている事で、テレビが見れています。当り前の事ですが、</p>

V. 巻末資料

<p>島県では防災ポータルの更新が遅く、通行できない道路などが表示されず困惑した。防災関連の情報を一元化できないものか。避難所との綿密な連携にも期待（広島県・男性・30代）</p>	<p>事が起こってからでは、テレビの情報も知る事が出来ない。ラジオを使おうと思っても、乾電池もない。買いに行く事も出来ない。防災の大切さを知りました。吉田町在住。（愛媛県・男性・50代）</p>
<p>・町内のアナウンスが山の上なので全く聞こえない（広島県・女性・60代）</p>	<p>ホームページ、スマートホンを活用した知識の共有であるが高令者夫婦等は、どうすればタイミング良く情報を得ることが可能か今後、課題の一つでもあると思いますが…？自然災害の被害を可能な限り、少なくするため、行政と住民が一体となり個別の自宅、団地を巡回し、多くの人の眼で現状の確認を定期的、1回/年に実施する施策が、各町村の行政にお願いしたいものであります（広島県・男性・60代）</p>
<p>色々工夫してありがたいですがどの情報も、もっとわかりやすくしてほしい。わかりやすくいえば避難まだ避難しろの2択で良い。（福岡県・男性・30代）</p>	<p>・防災無線が聞こえずらい（会社にいる時）←場内を歩いている時。・ケイタイでハザードマップをダウンロードしてみましたが、もっと画像を拡大した時に鮮明に見えたらいいのと思います。（愛媛県・男性・40代）</p>
<p>H29年7月の朝倉・東峰村の大雨時は、約20km四方の雨量は、80■以上の赤マークを超えていたのに、気象庁からの警報が出たのは数時間遅くなっていた。早い所では、午後1～2時には、災害が発生していたので、官庁発表も大事だけれども各人の天気予報の雨量等（アメダス図等）などの理解力が大切だよ。何か1つが大事ではなく、今やってる事全てが大切！！（福岡県・男性・60代）</p>	<p>私の家は7、8豪雨で一階が流出しました！川端の家なので自分で警報の出る前で安全な場所に避難しました。帰ったら全部流れて今でも不眠に悩み通院して居ます！高令なのでアンケートに答えて無い所有だと思いますが！思い出すのも嫌でしたが協力しました。（岐阜県・女性・80代以上）</p>
<p>テレビ等の情報の方が信じ易く自治会からの情報があいまいなことが多いと思う。（広島県・女性・70代）</p>	<p>☆電信柱が何本もおれたら、テレビも見れないし、固定電話も線が切れるので伝えたい事も聴い事も相手と話せません！！☆個人情報は知らせられず地域内の各係り委員に連絡を取るのに（固定電話の線）電信柱がたおれたら携帯電話だと連絡が取れるがとても仲良しでないとお互いに知らせてもらえず…大事な事が伝えられない?! 本当に携帯電話がなければ何も出来ないと思った。大雨情報も知る事が出来ない!! ☆高令者の多い僻地はどうすれば良いのか？それが心配です。あぶないよ!! と知らされる、手は、ラジオしかないのか？災害にあい強く思った。（広島県・女性・60代）</p>
<p>7/6はTVの画面から目、耳を離さなかった。気象情報の字幕が切れ間なく流れ雨雲の位置もわかり「異」と「怖」を覚え4:00にはもう避難していた。特定の危険地を表わすのは難しいと思いますが私は「これって我町だ」と判じられたのがよかったのでできるだけ詳細に場所を伝えて欲しい（広島県・女性・70代）</p>	<p>広島県の災害の時、交通機関がマヒしたのですが、その情報を得るのに各交通機関の会社ごとのホームページを見るのが少しめんどうでした。どこかで一元化してもらえるとありがたいです。（広島県・男性・40代）</p>
<p>テレビだけが頼りの当家ですが、上の団地（ふじランド）に防災無線がなり、放送がありましたが、どしゃぶり等の時は、とぎれとぎれしか聞こえませんが、地震なら、口田小学校に避難しようと思いますが、雨なら小学校より、家にいる方が危ないので高期高令者2人動かない方が良と思う。（広島県・女性・70代）</p>	<p>昨今の異常気象により、いつ何が起こるか分からないままの生活には情報が非常に大切だと痛感させられました。気象庁さんの情報を利用したいと考えておりますので、迅速な正確な情報提供をよろしくお願いします。（福岡県・男性・20代）</p>
<p>豪雨による警報発令で、3度避難したが、家では、テレビ、PC等で情報を得られたが、避難場所によっては、テレビすらなく、</p>	<p>災害の時テレビでは気象庁からの大雨注意報は見ていましたが全体的で町内の放送もなく携帯電話にエリアメールが入った時</p>

<p>SNS情報しか得ることができなかった。スマホも電源の考慮から短時間ごまかしながらの使用で不便を感じた。学校の体育館がよく避難場所に当てられるが、上記改善を働きかけて欲しい。(広島県・男性・50代)</p>	<p>にはすでに道路に水があふれ家から出る事が出来なかった(広島県・女性・70代)</p>
<p>テレビのすみに10分毎に更新される、気象ニュースをよく見ていました。ずう〜と見ていた。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>・危険度分布について、土砂災害、浸水害、洪水と細分化されているが、これらから状況を的確に判断できる人はごく少数。本来は各個人がこれらの情報から判断しなければならないことは理解しているが、実際にできるかという無理。もっと端的に分かりやすく情報が伝われば良い。それによって空振りへの不満が多くなるかもしれないがまずはわかりやすい情報であることが第一であると思う。その上で空振りに対しては地道に理解を求めていくしかないと思う。(広島県・男性・60代)</p>
<p>国民に貴重な情報を提供下さり、感謝しております。高令者にも理解出来ますような情報提供をお願いします。ありがとうございます！(広島県・男性・70代)</p>	<p>テレビ、スマホ、気象庁、自治体、防災無線(私の場合)、情報量が多すぎるので比べて判断をしている。同一地域内でも差がありこれをどう判断するか。どの媒体が比較的マトを得ているか、日頃からチェックはしています。庭で雨量を測ったり。近頃の傾向として首長が記者会見を開いたり、消防に避難を直接指示し、住民に避難を促したり。オオカミ少年的要素が強い。大事なものは最少単位のコミュニティに。(広島県・男性・70代)</p>
<p>特になし。(広島県・男性・60代)</p>	<p>7月の豪雨災害で被災し、早目の避難の大切さを身にしみて感じました。7月以降は避難準備の段階で家族全員避難するようにしています。しかしそれ以前は大雨警報等が出て避難したことは一度もありませんでした。多くの人は実際に危険な目にあわないと、他人事なのだと思います。危険性を自覚してもらうために、もっと細かい地名を出す(「宇和島市」だけでなく、「宇和島市、吉田町、〇〇地区、〇〇地区…」)とか、具体的な避難場所まで伝える(どこが安全か分からなければ避難できない)とか、気象情報のみならず、もっと積極的に避難を促す情報をセットで出さないと、人は避難しないと思います。また、すぐに避難できないお年寄りのために、明るい時間帯にテレビ・ラジオ・防災無線で避難情報を流してほしいです。重要な情報は、ホームページだけではだめです。「気象庁のホームページでどなたでも見ることが出来ます」は、つまり、パソコンのない人は見ることが出来ないという事です。田舎のお年寄りはそのことが分からない人が多いと思います。そういう人を切り捨てない配慮をしていただきたいです。その土地で長年大きな災害が起こらないと住人の中には「ここは安全な土地だ」という認識が生まれます。そして、高齢になればなるほど、その認識は強くなるように思います。実際に豪雨災害のあと、「ここは災害の少ない、良い所と買った」と話す人がいました。ハザードマップでは、この辺りは土砂災害危険箇所、警戒区域が多く、あまり安全とはいえません。しかし、たまたま、運よく災害が起こらなかったために、「災害の少ない土地」という思い込みが定着していたようです。市町村の職員の方も例外ではないのではないのでしょうか。私の住む地域では、災</p>

V. 巻末資料

	<p>害発生前、あまり切迫感はなく、避難の呼びかけもありませんでした。7/9 ページに、市町村は気象庁の情報をもとに避難勧告等の発令を判断しているとありますが、気象庁は、市町村に直接警告したりすることはないのでしょうか？あくまで地元の判断まかせなんでしょうか？個人レベル・自治体レベルで危機管理能力、判断力が高まれば、それは結構なことですが、「50年に1度」の大雨があちこちで発生する時代になり、従来の防災の感覚では、判断が難しい事もあると思います。まずは、大災害が予測される時は気象庁がもっと早く、積極的に市町村に呼びかけるのが良いと思います。ホームページの整備よりも、もっと現場との連絡に力を入れるようにした方が、救える命は増えると思います。(愛媛県・男性・40代)</p>
<p>スマートフォン、ホームページ、インターネットなどと言ってもそれら扱いきれない者にとっては、何の役にもたないと思います。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>いつ、どこにいても、いろんな地域の状況が調べられるようなネットがあったらいいと思う。7月の災害の時子供の安否がわからなくて不安な1日をすごしたので…特に他市町の避難所が知る事が出来れば安心できるかも(広島県・女性・40代)</p>
<p>今回は床下浸水に遭いましたが、水位が上がって、浸ってから、数十分くらいで引いていきました。ダムからの大量の水が通り過ぎて行った印象です。なので、ダムの情報の方が重要な気がします。(愛媛県・男性・40代)</p>	<p>これからも、情報収集をお願いします。(広島県・男性・40代)</p>
<p>ありません。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>私自身昭和25年台風で川の氾濫にて家を流した事があるので常に注意してテレビ其の他の情報は聞く様にしている 自分自身を守る様にしている。(福岡県・女性・80代以上)</p>
<p>ひなん勧告とひなん指示の重さ？がやっぱり分かりにくいような気がする。「勧告」の方が強いイメージなので、言い方というかももう少し分かりやすい指示の名前が良いと思う 「ひなん指示」→「ひなん警告」とかだったら強制力が強いように感じる。(広島県・女性・40代)</p>	<p>警報が出た時避難するかしないかは自己責任だと思いますが近所の責任者(組長等)さんよりの声かけをしてもらいたいと思います。(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>大雨や強風時は屋外のマイク放送は聞こえない。屋内の防災ラジオも1軒に1個しかなく、別の部屋では聞こえない。複数台の配布希望(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>テレビ放送で日本地図に降水量が棒グラフで量を表されています。中国地方と四国地方がかさなって降水量がよくわかりません。(広島県・女性・60代)</p>
<p>◎「避難指示」では切迫感が感じられないので思い切って「避難命令」にしてはどうか。←アメリカの山火事のニュースでこの言葉を見ました。「命令」と言われるとさすがに行動するのでは?? ◎地域の防災放送が聞こえず、大変不満◎スマホを持たないのでTVが一番の頼りです。データ放送などでの情報発信を充実させてほしい。◎「大雨特別警報」の気象庁の会見(?)の中継は、もっと厳しい表情で伝えると良いと思う。優しそうな顔の人が伝えるとあまり切迫感が感じられないので。コワモチの人をお願いします。(真剣な話です。)(広島県・女性・40代)</p>	<p>避難勧告→避難指示(緊急)の上に「避難命令」があると思っていました、まわりにもそう思っている人が多数いた。「避難指示(緊急)」より「(緊急)避難指示」等の方が危機感があるので「緊急」と言う文字を前側に持って来た方が良いと思う。(広島県・女性・30代)</p>
<p>極力正確な情報を提供しないと住民は甘く見て大災害になるのでタイムリーな適格情報をお願いします(愛媛県・男性・70代)</p>	<p>・テレビを見て危険度分布の見方について私達老人にも解りやすいようにP5のようなのが解っていればもっと早く知りたかった(愛媛県・男性・80代以上)</p>
<p>警報が発表された時には、雨も風もピークを過ぎている場合が多</p>	<p>老いて行く年令で少しは理解が出来無理な所も有り70代と言</p>

<p>い。注意報の時の方が雨も風も強い。・スマホに隣の地域の警報音が鳴る。自分の地域の時は鳴らない。土砂災害警戒区域の避難場所の方が危険な場所にある。停電でTVも見れず、携帯も使えなかった。ラジオ情報を得ようとしたらサッカー放送をやっていた…。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>っても80代に近い年齢ですのでハザードマップの意味がよく分からない今の所は周りの人達とのつながりを大切にしています 自分も日頃からの一日の生活を大事にして通報により行動に移す作業をしていく事に心掛けたいと思います。今年は台風が多く天気予報のお仕事は大変だったと思います。分りやすく説明されていました。これからも宜敷しく願います。(福岡県・不明・70代)</p>
<p>大雨時音声が聞こえずらい為イヤ〜な音などで「特別な事が起きている」って事、ダメかな？(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>特別警報がなぜ紫なのか分かりません。危険といえば真っ赤じゃないでしょうか？(広島県・男性・50代)</p>
<p>マンション住いの為防災に対しては安心しております。(広島県・女性・70代)</p>	<p>具体的にわかりやすく。専門用語を並べられても理解出来ないし、聞く気がなくなる。アンケートなども読む気がなくなり、わからない。答えが適当になる。(広島県・女性・60代)</p>
<p>・小さな地区単位で、体の不自由な方の把握と担当的な役割の選定を前持って決めるような話し合いが必要。・もし、住民の承諾が取れたら、夜間や雨の日の防災訓練も必要。気象情報に関する事でなかったですね。すみません。・住民1人1人が自分の住んでいる地区がハザードマップ等のどこに位置しているのか把握する事。スマホに気象庁あてに、現在の住んでいる地区のお天気や災害の状況を直結できる、アプリがあったら細かい情報をやりとりできるかも。(愛媛県・女性・50代)</p>	<p>住んでる場所が避難場所に行くまでに(道中)川があり避難場所も余り安全と思えない。(福岡県・女性・70代)</p>
<p>地域によって、大雨、暴風など違いますから、やはり地域の情報提供をするテレビ局をはじめから決めていくと助かります。NHKとか他局で色々変っていることもありますし、情報過多も困ります。(福岡県・女性・80代以上)</p>	<p>災害にあうまでは気にしてなかった 被害にあってから気象情報も気になる様になった(広島県・男性・40代)</p>
<p>・河川の氾濫とか避難するのもタイミングがあり、道路事情、夜は停電とか避難場所に行く事も必ずしも安全でない。足元の悪い中では外出しないでとりあえず我が家の2階で様子を見る。避難場所徒歩は無理。車も渋滞、電話も不通、安全を確かめる判断がむずかしく結局自宅で安全を確認する迄外出は出来ない。(広島県・女性・70代)</p>	<p>情報を早く知らせたい(広島県・女性・60代)</p>
<p>この度福岡県朝倉杷木の豪雨につき甘木朝倉方面よりいままでに見た事のない黒龍が山のように寄ってくる光景を初めて経験しました。防災情報に関して、この時の記憶がなく私だけかと思いますが、黒雲が沸き上がると共に雨が降り出した事思い出しました。私事ですみません。(福岡県・男性・60代)</p>	<p>地域に応じた情報が避難の際でも大事だと思う。いなかには、自由に動く事が出来ない方が多いので。(福岡県・男性・60代)</p>
<p>自分だけの判断で避難するのは心配もあるのでご近所さんはどうするのかと気になったりする。日頃から繋がりを持って一緒に避難できるような関係、相談できる関係を築くのも大事だと思う。この辺は集会所もなく、行事も特にないのであまり会うこともないので。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>住んでいる場所は山のすそのと川の間。したがって増水すると避難路自体が危険となる。高齢者がいればなおさら困難。避難所が安全な場所にあるわけでもない。(広島県・男性・50代)</p>
<p>体の不自由な家族がいるため屋外に出ることはできない(広島県・女性・70代)</p>	<p>一般のテレビのニュースしか見ていませんが、とてもくわしく放送されますので大変助かります。ただ、Q22にも書きましたが、ダムは放流の仕方がもう一つダメなのか、大雨が降ったという程でもないのに、一気に放流されて(野村ダム、肱川ダム)肱川ダ</p>

V. 巻末資料

	<p>ムの下に住んでいる人は、あっという間に水につかり我が家も住居と道の駅の店とニヶ所全滅です。残念でなりません。これ程進んだ情報が見れるのに、それが上手に生かせないのはなぜでしょうか。(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>避難場所が遠すぎて大雨の中行けない。自宅の二階へ避難すると息子には言っている。(広島県・女性・70代)</p>	<p>最近の自然災害は、過去の体験は参考にならないので情報は厳しい表現で発表してもよいと思います。(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>気象庁の情報が私達の一番身近な情報です。今後も高齢者にもわかりやすい内容で情報提供下さる様宜しくお願いします。頑張れ気象庁(岐阜県・男性・60代)</p>	<p>今年の災害があった日は会社から帰って外が暗いときに雨も大雨で川の流れを見ていたので避難所に行く気はおきなかった。川の側の橋をわたる気はなかった。その後日も、サイレンがなったり拡声器で車をまわしていたが、止まってしないと、家の中にいたら、よく聞こえなかった。最初から最後まで車をとめて放送してほしい。途中で動いたら何を言っているかわからない!!(広島県・女性・60代)</p>
<p>それぞれの住んでいる場所、条件によって危険度に大きな差があるように思うので避難の判断がむずかしい。避難するとなるとそれなりの準備、荷物も必要になるのでできれば自分の家に留まりたいと考えます。(広島県・女性・70代)</p>	<p>半身まひで車イス生活です。警報が出れば、避難していますが、大変です。最近、再三あれば、“今日は、まだ大丈夫だろう”と勝手に判断したりして、見送る事も再三です。(広島県・男性・70代)</p>
<p>西日本豪雨災害時雨がすごけれどテレビ等で降雨量を何度も確認するが記録的な雨量とわかったのがずいぶん後になってからだった。もっと細い地域での情報をより早くテレビ等でも知らせてもらいたい。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>スマートフォンなど使えないので情報が入らない(広島県・女性・70代)</p>
<p>土砂災害がおこる前にスマートフォンに警報があったけれど、地区がのっていませんでしたので大丈夫だと思った。防災無線の音も聞こえない。(遠すぎて)(広島県・女性・30代)</p>	<p>土砂崩壊等危険箇所指定箇所の早期対策・部分的でも何らかの対策案を指示してほしい。(広島県・男性・70代)</p>
<p>高齢、急傾斜地に住んでいると避難場所へ行く事が困難地域で避難場所への(安全な場所)一人暮らしの高齢者は避難しがたい(広島県・女性・70代)</p>	<p>近年自然災害が多発し怖さがひしひしと伝わってくる。人事と思えず自分だったらどう行動するかと常に考えるようになってきた。防災気象情報が細かく色別けされひと目みてわかりやすくなった。今、一番心配なのが河川の氾濫。情報を見逃さないようにし命を守っていききたいと思う。(愛媛県・女性・50代)</p>
<p>大雨警報などの空振りは、災害にならなくて良かったと思う 大雨警報が出れば一応は備えができるから(広島県・女性・60代)</p>	<p>年寄りが多い住宅なので、SNS等の機器は十分活用できず、流れてくる情報を耳にするのが精一杯。一人住まいも多く、判断も甘くなる。(愛媛県・男性・50代)</p>
<p>情報がえい老人ですから、テレビでしか状況を知る事が出来ません。早めに正確な情報がほしいと思う ハザードマップがないので、個々に配布してほしい。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>裏山から土砂が流れて、床下浸水した。(6宅)市役所へ裏山の土砂の崩れの状況について、調査を依頼したが無視された。大きな被害地だけでなく、耳を傾けていただきたい。早めの早めの調査が必要。(広島県・男性・70代)</p>
<p>自分が住んでいる所が、想定及び警戒区域になっている事が新しい団地とかで、その地形等は、昔と違ってわからないのでまさか等となかなか避難にむすびつきにくくなっていると思う。日頃からそういう所に住んでいる人は、防災気象情報にびんかんになって、自分達が困るだけでなく、後から、搜索等で迷惑等を考えないといけないと思う。(広島県・女性・50代)</p>	<p>今回の豪雨で、脱出できずに、自宅の2Fで丸2日過ごした。テレビの視聴ができず、スマホも不安定で、十分な情報を得ることができなかった。スマホをあてにして、ラジオを準備していなかった。また、大雨で、防災無線などの放送は、ほとんど、ききとれなかった。現状、ラジオが、一番有効なのだろうか?他の情報を得る方法はないのか?地域の、どの避難所も、あまり安全な場所(地理的に)にはないので、鉄骨造の自宅の2Fが、一番安全だと思い、今まで避難してこなかった。また、大雨警報とかが、</p>

	発表されても、あまり危険感がなかった。今回、被災したので、早めに避難するつもりだが、もし、このような経験がなければ、今後、早めに避難するということはしなかったと思う。もっと危機感を持って、避難しなければ！と思わせるような情報の伝え方が、あればいいと思う。今後も、どこでも、今まで想像していなかった災害が、起こりうるのだから。 (広島県・女性・50代)
この度近くで大災害があったので本当に警報には気をつけたいです。(広島県・男性・60代)	防災行政無線がありますが、私の家の中に居て、全く聞こえないです。大雨や強風時は、特に聞こえません。改良してほしいです。(愛媛県・女性・60代)
職場から自宅へは明るい間に移動することは以前から実行していた。今回、自宅から避難所への移動は考えられなかった。家族がいる場合など、より良い避難方法を考えておく必要があると感じた。(広島県・男性・40代)	災害時にどこが通れてどこが通れないかスマホで見れると便利だと思います。(広島県・男性・40代)
質問によっては知っていた事もあるが知らない事、わからない事も多かった。今回もこんな大豪雨災害になるとは思いもしなかったし、避難するつもりもなかった…。今、考えると、みなさんそうだったと思う。家・家財が失くなり、初めて命だけでもあって助かったと思う。(広島県・女性・60代)	特になし(福岡県・男性・50代)
避難場所が安全な場所にあるか?と思うと不安な所もあるので避難場所の気象や災害情報を把握できればいいと思う(広島県・女性・40代)	線状降雨帯で多くの被害が毎年、各地で行っていますが、その際いつも50年に1度か数年に1度という表現をしていますが、毎年、各地で行っている事を今の異常気象が原因であり、いつどこで行っても不思議でないという事をもっとアピールすべきではないでしょうか?(岐阜県・男性・70代)
今後も危険意識を高めるため、ささいな事でもスマートフォンでの通知はするべきだと思います。スマートフォンが鳴らなかつたら、「今回は大丈夫なのか」と危険意識が薄れてしまうような気がします。(広島県・女性・30代)	スマートフォンの活用手順をテレビ等で懇切に説明して欲しい。(テレビ局と協議すべき)(台風等の接近した地域の港やメインストリートの映像など無駄なもの(劇場化)は減らして説明時間帯を増やして欲しい。)(愛媛県・男性・70代)
高齢者であるためすべての事が理解が難しく他者の手を借りないと難しい(広島県・女性・80代以上)	気象庁から出される情報は、県や市単位なので、最近の局地的豪雨の情報にはなかなか対応しきれないような気がします。(福岡県・女性・40代)
70~80才くらいの一人暮らしの人はスマートフォンなど持っていない人が多いのでテレビで一番多く情報を発してほしい(愛媛県・女性・60代)	菅田地区在住です。前回の大雨の時、自宅近くまで道路が水につき、避難しようとしても、周りが内水氾濫状態になりましたが自宅は少し高台の場所にありますので、自宅で待機しました。防災気象情報を早目に地区内の放送で流していただくと助かります。(愛媛県・女性・60代)
以前と比べて、正確な、雨、かぜ、雪、など、天気予報も、当たる確率も良くなったと思います。今後も、安定した、早めの正確な状報を出して頂きたいと思います。あまり、警報の安売りはしないでネ。台風も地形によって、曲がり、方向が変わるのでそれも考えて下さいネ。(愛媛県・女性・70代)	年々用語が増加する中で、正しい行動がとりづらくなっていると感じる。(特に高齢者や子供などの情報弱者)「ホームページでどなたでも」と言われるが、農村ではその「どなたでも」が当てはまらないこともある故、実地の地道な周知も心がけて頂きたい。(愛媛県・男性・20代)
Q14にあるように気象庁のHPに自発的に見に行くよりも自動的にアプリなどを通じて配信してもらおう方がよいと思う。緊急地震速報のように、そのエリアに滞在している者のすべてに通知がいくようなシステムだと、ただ情報を受信できるというメリッ	各市町の防災行政の方に勉強を望みます。(愛媛県・男性・60代)

V. 巻末資料

ト以上に一人一人の災害に対する深刻さや危機意識が高まり早期避難の空振りが減るのではないかと考えます。(愛媛県・男性・40代)	
早めの気象情報を提供していただきたい。(福岡県・男性・60代)	気象庁の情報は大変参考になる。しかし、それは自宅に居る時の話であって、会社や車を運転している時、外出している時は情報を正しく掴む事は大変難しい。情報の精度や方法を向上する事も大切だが、その情報を得るインフラを整備する方がもっと大切ではないでしょうか(広島県・男性・50代)
避難場所を増やしてほしい。防災無線放送が聞こえずらい(福岡県・男性・70代)	いつも的確な情報有難う御座います。空振りに終わったとしても、情報は私達市民には、計り様が無いので気象庁様等、いろいろな省庁で検討されると思いますのでこれからも頑張られて下さい。(福岡県・男性・50代)
広島県の口田南地区では1回くずれた事が有ったのに今回又水が出てしまい1人死亡1人が人をふせぐ事が出来たのでは無いでしょうか?もう少し事前に手を掛けてほしいと思います。全体が見る事が出来ないのでしたらもう少し県や市や地域を使って早めの手を打ってほしいと思います。税金の使い方ももう少し透明にして国民の為災害の為に使ってほしい。(広島県・女性・70代)	先程も記入しましたが、地元を流れる小規模の河川の状況がわからないため、避難のルートがむずかしくなります。そのあたりの情報もわかれば良いのですが。(広島県・女性・50代)
スマホ、インターネット等持っていない高齢者はテレビ、ラジオ以外情報は得られない。(岐阜県・女性・80代以上)	町内放送等で早めの情報を出してほしい。(広島県・女性・70代)
特別警報が頻繁に出ると何が危険かよくわからなくなる。(広島県・男性・40代)	7月の豪雨災害以降、注意して情報を得る様にしています。雨曇レーダーは、正確でとても助かります。台風の暴風被害もおそろしいのでQ18の表を活用したいと思います。テレビでも流して欲しいです。(広島県・女性・40代)
Q18今後の推移の時間帯の図がわかり易い Q19色分け(広島県・女性・70代)	“数十年に一度”というひびきを何回も聞くようになって、危険という感覚がうすれてしまっている気がします。今後避難する時に逃げ遅れることがないように様々な情報を正確にとどけていただきたいです。(福岡県・女性・50代)
ツイッターなどでしか、災害発生の状況が分からなかった。実際にどこでいつ災害が発生したか分かれれば危機感が増していたと思う。川角5丁目の北側に住んでいるが、大原ハイツの土砂災害を知ったのは、土砂災害がおきてから1日くらい後。2年前に引越してきて横のつながりが無いので、分からなかった。(広島県・女性・30代)	今年の7月の豪雨では、会社が広島市安佐北区口田南にあり、大雨でしたが、事務所の中に居たので周りの状況が違うという事を退社する時に気付きました。市かどこかの車の放送も通っていたのはわかっていましたが、何を放送されているのか車の速度が速いため聞き取れませんでした。IoTでもっと便利になったら良いと思います。(広島県・女性・50代)
気象に興味があり、毎日ホームページを見ています。(愛媛県・男性・70代)	広島市安芸区矢野東7丁目17-5に住んでいますが、夜ゴロゴロと音が聞こえたが雨も降り、雷なのかと思って、二階にねていました。朝起きて見るとガードレールが見えなくて、驚き大きな石が道路にあるのにビックリして、大変なことになっていることを知りました。ひなんはなかなか出来ないものですが小川の側の家の人は、ひなんされ死亡された方はありませんでした。(広島県・女性・70代)
ひなん途中の安全誘導が行われるかどうか。(広島県・女性・70代)	・何度もスマホの警報が鳴る。なれてしまって、いいやと思ってしまいましたがこの度の災害で大雨後のサイレンの音いつも使

	用している道路が使用できなくなり、いままで人の事と思っていました。早めに避難警報もよく見るようになりました。以前に比べて、この時間帯で風が強く吹きますなどより具体的にTVでは伝えていると思う（広島県・女性・50代）
災害は忘れたところにやって来ると言いますが、そのとおりで、「まさか」という気持ちが必ずあります。よって、常日頃から機会あるごとに防災意識を高揚させるための活動なりが大切と感じました。今回の災害は最高レベルだと思いますが、早めに避難していれば、人命はもう少しすかったのではと感じています。今の時代、「まさか自分が」がおこる可能性があるので日頃からの防災意識を高める活動をお願いします。（広島県・男性・50代）	私の家は、昨年の朝倉災害で被害をうけた松末地区の下流に有りますが、幸いだった事に、家が高台に有り、無事でしたがこの事が有り気象情報には、前よりも注意して見るようになりました。これからも、重要な情報をよろしくお願い致します。ありがとうございます。（福岡県・男性・60代）
県・市という大きな区分で知らせる事も必要とは思いますが自分の住んでいる地区別、地域別に知らせてもらえると身近かに思えて避難しやすくなるのでは。（広島県・女性・60代）	今回の災害で大雨特別警報がでていたが、のんきにしていた様に思う。自分の命は自分で守るという意識をもちたいと思う。（広島県・不明・70代）
この度の災害で7月6日（金）の夕方からメールが頻繁にくると思っていたが、こんなにひどいことになるとは思っていなかった。ふり返るとこんなにメール（避難の）がきたことは1度もなかったのに危機感がなかった。もしまた同じようなことが起きたら避難を早めに考えようと思う。情報を自分のこととして考えようと思う。今回の災害でいろいろ勉強することがあった。今後にかしたい。（広島県・男性・60代）	上之保水害は関市上之保事ム所の裏で発生しましたが4～5日雨が続けていたのに上之保事務所は通常の勤務で夜間は誰もいませんでした。自治体と気象庁の連絡体制がもっと強制力を国がもつべきであると思います よく死者が1名だったと思います。又上流では河川はほとんど管理されていません。問題山積です。（岐阜県・男性・60代）
国土交通省ダム放流の対応について※愛媛県野村、鹿野川ダム管理事務所に予測される降雨について、発生3～4日前、事前ダムの放流を行う様気象庁より事前連絡をしてほしい…事前放流をしていけば被害を軽減する事となる◎ダム管理者による人的災害である事を周知下さいダム災害であった野村大洲地域である（愛媛県・男性・80代以上）	同じような大きな被害が出ないように早めの避難を心がけたいです。（広島県・女性・30代）
私達の地域では、山一つで気象状況が変わるのでもう少し実態にそぐう情報がほしいです。（愛媛県・男性・60代）	地震のことが以前から気にしてそればかり注意していましたが、先に水害があるとは思いませんでした。最近雨の降り方が昔に比べて違って来たように感じています。裏山が崩れますので大雨が降る情報があったり、台風がきたりした場合は避難をします。山崩れを早く対策していただく事をお願いします。（愛媛県・男性・70代）
私が今住んで居る場所は浸水想定区域、土砂災害警戒区域以外の所ですが七月の災害の時には近くで同じ地区で重大な災害が発生しましたので非常に関心が有ります。我家ではインターネットを使っていないのでテレビの情報を非常にたよりにしています。（広島県・男性・70代）	いろいろな警報や情報があるので良くわかってないです。（愛媛県・女性・80代以上）
特別警報・警報が区毎、郡毎に表示されるとよいと思う。（広島県・男性・60代）	・老人は、TVからの情報が一番理解しやすいと思う。・インターネットやスマホは、あまり役に立たない。・情報内容も専門的な表現より具体的な表現で分かり易くする。（愛媛県・男性・60代）
今回の豪雨災害ですが、私達の感覚としては、大雨が降った気がしません。4年前の雨のほうが、よほどひどかったです。長く降り続いた雨がとても危険な事が分かりましたので、超長雨災害と	私はパソコンをしないので情報がどうしてもテレビでの情報でしかありません。もっとテレビで具体的に詳しく報道して頂ければ良いと思います。もし停電した時は、スマホでの情報もメール

V. 巻末資料

かと伝えてほしいと思います。(広島県・女性・50代)	などで見れるといいと思います。(広島県・女性・50代)
土砂災害を防ぐのは、非常に困難だと思いますが山間、谷間等の土砂災害の発生する恐れがある場所の地質調査をして、どの程度雨量で発生するか検証ハザードマップを作成して地域住民と相談し防災対策を検討する。(愛媛県・男性・60代)	気象庁は発表に際しまして、空振りを心配されている御様子ですが、全くその心配はいらないと考えます。逆の面を考えますとゾーとします。(愛媛県・女性・70代)
今回の大雨災害時、避難の緊急度が分かりにくかったです。「避難指示」など命にかかわる事なので、しっかりと理解しなければ、と強く感じました。(広島県・女性・50代)	宇和島市吉田町の住民ですが、7月7日早朝に豪雨災害が発生しました。前夜にテレビで広島県方面に大雨特別警報が出ているのを見ました。愛媛県も大雨特別警報に相当する大雨が降ったのではないのでしょうか。なぜ大雨特別警報が出なかったか疑問です。警報が出ていれば対応がちがったかもしれません。(愛媛県・男性・60代)
・広島県に居住していますが、7月6日の大雨の際、少し前の予報では、中国地方は九州、四国に比べてさほど大雨ではない、と出ていたと思います。いつ大雨になったかの記憶はありませんが、予報・警報そのものの精度をより高めていただきたいと思います。(広島県・男性・60代)	もう少し命の危険を感じる放送をしてほしい(愛媛県・男性・50代)
・ハザードマップは更新されると思うが、今まで何十年も災害がない。何故(土の構造上、雨の流れ、等)指定されているのか不明。・想定外の災害がおきている気をつけたいと思う。・市から細かい注意がほしい全員入り切れない場所が避難所になっている。駐車場も少ない(愛媛県・男性・60代)	避難路途中に掛る橋の強度が心配。水位上昇時には「通行止め」となるが、平常時に於ける橋の強度が不安。自治体から明確な強度や耐用年数等のデータを開示して欲しい。(河内町中河内の「城渡橋」)(広島県・男性・70代)
台風、地しん、等ケイタイが、知らせてくれるが、夜、一人で、行動が、出来ない時は、声をかけて下さんと、心が、おちつきませ。(愛媛県・女性・70代)	避難場所に移動し待機する際に、天気に関する情報や土砂災害に関する情報がほとんど無かったので、「いつごろ自宅に戻れるのか」「いつごろに落ち着く(天気が)のか」が全くつかめず、ただただ待機していたので全ての避難場所に情報が分かるような環境にして欲しいです。特に私は電子媒体を利用する人間なので、Wi-Fiの設置に関して企業と連携して欲しいです。ただ、どんな状態かを気にかけてくださった方々にはとても感謝しております。(広島県・男性・20代)
私方面は島しょ部です 定時(通勤前とか夕方など)天気予報で波の高さなど表示されて助かっております(愛媛県・女性・80代以上)	7月の豪雨災害の時は、危機感がまったくなく、いつもと変わりなく過ごしていました。今回の事で早めの避難が重要だという意識が変わりました。一人暮らしの方も多く、近所の声かけとか、日頃から警報がでた時の行動など、地域で話し合うのも良いと思います。これからは情報を利用しながら早めの判断をしたいと思いました。(広島県・女性・50代)
対象範囲が広すぎて、自分の事に思えない。(福岡県・男性・60代)	とにかく明るい内に行動を用意しておいてすぐ出かけておく事がこの度よくわかりました。(広島県・女性・80代以上)
今年の豪雨迄私達の地区は災害とは無縁の地区でした。息子達が一緒に居ますので指示に従っています。(愛媛県・女性・70代)	大雨注意報や台風情報がテレビに警報が発表されると同時に避難場所が開設されたとコミュニティより各家庭にオフトークで流れますので情報がわかります。私は一人暮らしですので助かります。(福岡県・女性・70代)
地域の今までの歴史を参考に考える。(以前も100年以内であった事がある)(広島県・男性・50代)	パソコンが無いからホームページなど見れない。(福岡県・男性・60代)

<p>Q22の赤線部の内容は全く知らなかった。ラジオやテレビ等で大雨警報が出た時点で避難を伺すアナウンス等をしていただきたい。(広島県・男性・30代)</p>	<p>川角5丁目に住んでいます。現在も家から大きな岩が見え、雨のふる度に岩が落ちるのではないかと心配をしています。一人ぐらしなので気象情報には気をつけています。広島県安芸郡熊野町川角5丁目35-18 (広島県・女性・80代以上)</p>
<p>生まれて初めての経験でとてもこわかった。雨が続きとこわい天気予報で雨の日が続くと不安になります。被災後、必ずテレビで天気予報(週間天気予報、台風)は必ず見る様にしています。(広島県・女性・50代)</p>	<p>今年7月の災害で、自治体が町民への情報周知に力を入れており、気象庁の情報を見なくても町内放送や町からのメール、ラインなどで危険を知らせてくれています。(熊野町) 気象庁から二重に情報が入ることでもいいことかもしれませんが、しつこく感じ、メールの通知機能をオフにする可能性もあと思いました。(広島県・女性・40代)</p>
<p>高令者地区で水災等を心配しています。早め早めに連絡と避難場所方の異動の指示をして下さい。85才(福岡県・男性・80代以上)</p>	<p>私は安芸郡坂町小屋浦に住んでいます。去る10月6日の災害で9割ぐらいの地区が被災しました。町消防団の避難のよびかけがあった数分後には自宅前の道路が洪水・土砂で川となり家屋に浸水し悲惨な状況でした。山には立派な堰堤もありましたが長年月放置の状態です。土砂は蓄積し堰堤の高さと変りなく機能されませんでした。しかし今回の災害は堰堤があっても大量の洪水・土砂は防げなかったような気がします。原因を解明し被害のない町を願っています。(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>昼間であればテレビ、インターネット等で情報を得やすいが、夜中などねている時の情報は得にくい。(広島県・女性・50代)</p>	<p>以前に比べ情報がずっと良くなり、頼りになります。我家は川より高く、馬の背の下にあり、浸水の心配はなく、土砂災害の心配もないので家でじっとしています。(愛媛県・男性・70代)</p>
<p>現在地域ごと放送されていますので助かっています(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>昨年の被害の大きさに驚き今後の動きが変わりました。以前は、そんなに気にもならなかったのが本当の思いでした。(福岡県・男性・70代)</p>
<p>今回家のすぐ近所で、大きな土砂災害が起きました。ものすごい雨の中、警報が出て、一晩中サイレン等が鳴りひびいていましたが、外は暗く、雨もひどく、外ばかりのぞいて不安な一夜でした。まさかこんな事になっているなんて、思ってもなく、歩いて5分ぐらいのところなのに、テレビでの情報で被害を知りびっくりしました。もっと早目の避難が必要なのだと、改めて感じました(広島県・女性・40代)</p>	<p>パソコン、スマートフォンはありません。もっぱら、テレビ、ラジオの情報で行動したいと思います。(携帯電話にメールで入る情報は助かります)そして、7/6の近所で起きた土砂災害では、3人が亡くなられました。4年前の阿武山(緑井地区)の時も、供に数日前から雨が降り続いている事を、そして、災害発生を感じています。高齢者はリュックを背おって避難も大変、実際経験してみてもショックでした。早目に避難!! (広島県・女性・70代)</p>
<p>PCでは情報収集が自由にできる。PCがなくてもデータ放送も同じレベルになればと思う。(広島県・男性・60代)</p>	<p>特になし(広島県・女性・20代)</p>
<p>野村ダムの無謀なる放流がなかったらこのような大災害はありませんでした。お上のマニュアル通りであると言われることに腹立たしく思います。ダムが無かったらこんな被害で住民は苦しむことはありませんでした。せめて大雨が来る前には前もっての放流を願います。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>近年、雨の降り方、被害の状況が昔と異なり年々酷くなっていると感じます。この夏、私の職場は、天井まで浸水する被害を受けました。片付けの苦勞を味わいながら近隣の家々の悲惨な状況に心を痛めたことでした。この経験を心に留め、今後の大雨への警戒、情報収集、避難への心掛けをしなければならぬと思っております。どうか今後もテレビ、新聞、インターネット等での大雨情報を詳しく提供いただきたいのでよろしく願いいたします。(愛媛県・女性・50代)</p>
<p>町役所の町内放送に注意をするようにしている(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>これからも近所の人達に声をかけて、助け合うことが必要です。去年もこの地域は、それで皆助かりました。(福岡県・女性・40)</p>

V. 巻末資料

<p>特別警報は50年に1度ではなく数年に1度に変えなくては行けない。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>代) 私達の年齢ではいろんな種類のケイタイなどが若い者についていけないのでテレビと地区の放送を聞きのがすと大変です 耳もはっきりきこえない人が多いので気づいてもらうのに大変でした 私の住んでいるところは山はあるけどちかくではないので川の水ばかりを気にしていました ふり向いてみたら歩道が大水になっていて通りは皆家に水が入りこみ山がくずれると何が起きたかわかりませんでした 農業がある所はため池などがあそこがこわれてしまうのかと思いつきませんでした(愛媛県・女性・70代)</p>
<p>きめこまかい情報と予報を的時、的確に流してもらいたい。市町村との連携をしっかりとってもらいたい。異常気象が多発する時代になりました。今後も気象庁の立場は大変になると思います。さらなる進化をして頂き、人命がなくなることのないような対策、対応をよろしくお願いします。(愛媛県・男性・40代)</p>	<p>町民全体に気付かせるにはサイレンで知らせるのが一番分かりやすいと思います(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>高齢の者にも理解のしやすい様なのにして下さい!(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>日本中のあちらこちらで災害が多発している近年だと思えます。災害にあわれた方々の言われる事の中の一つが「何十年も生きて来ましたが、こんな事は初めてです。」と言う事です。いつ、どこで、誰が…人事ではない気持ちで一杯です。気象庁の発表は、(天気の予報)は、いつも頼りです。今回のこのような目的でのアンケートは、とても素晴らしいと思います。個人々の災害に対する意識の向上を高めていく必要を感じています。(広島県・女性・60代)</p>
<p>今年度7月8日の豪雨災害で被災しました。自宅は床上30cmまで水が来て畳他、色々な家材がだめになってしまいました。情報は逐時入手したのですが、急な豪雨により水量が増し、どうする事も出来ませんでした。しかしながら復旧には多くのボランティアの方々、又たくさんのお見舞やら、多くのはげましのお言葉を頂き、立ち直ることが出来、感謝しています。(この災害で人々の有り難たい情を知りました)(岐阜県・男性・60代)</p>	<p>どこが安全なのか?又、どの道を通れば安全に行けるのか?今回の災害で道路、橋、など通れない まだ、修正できていないなど有る(広島県・男性・50代)</p>
<p>床下浸水という生まれて初めての経験だったので、テレビで観ているだけの様子だと思っていたのでボランティアの方々も大変頑張ってくれていた姿を見て防災に関して気にかけるようになりました。自然のすごさを改めて感じました!(岐阜県・男性・60代)</p>	<p>72才で経験した災害、7月6日から今日まで体力的にも精神的にも大変でした。雨がふるたびに不安です。主人の身体が良くないのでこれからがどうなるか、避難も仲々、むづかしいです。(広島県・女性・70代)</p>
<p>市単位の発表でなく細かい地域での情報を提供して欲しい(愛媛県・女性・20代)</p>	<p>Q17の件ですが、危険度の大小を色分けした場合、色そのもののレベルを常に覚えていられるか不安。危険度は文字で表わす方が良いかと。例えば小、中、大等で文字を大きさと表わす等はいかがですかね Q18も同じような気がします。(福岡県・男性・60代)</p>
<p>地元自治体の防災意識が乏しいのが不安でなりません。気象庁が地方自治体の代わりに避難を促すような施策を展開していただきたい。避難指示等を出す能力のない自治体の代替者として気象庁の積極的な活躍を期待します。防災行政無線を地元FM局や</p>	<p>色々な事を知ったのはあの豪雨以来のことです。町内の高齢者が集った、教養講座、又教室が終った時点雨:風が命にかかわることなど思いませんでした。せめて職員の方にはラジオなりで緊急に。伝わっていたなら川辺にある住いに急いで帰って命を失</p>

<p>ケーブルテレビの利用でごまかさないでほしい。今後の自然災害に対して不安でなりません。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>うこともなかったらうに…と1年余りが過ぎた今でも悔まれません 恐ろしかったらう無念だったらうと思うと今でも涙が出てきます。(福岡県・女性・80代以上)</p>
<p>私が住んでいる所は高台で、地盤もかたく安全です。←ハザードマップも安全带 しかし、移動中となるとどういう所なのかはあくするのは難しいです。7月の大雨の時はバスの中で、ケイタイのアラームがかなり鳴ったので普通ではないなと思いました。「大雨特別警報」という言葉が何をさしているのか知らない人も多と思います。すぐに逃げるとか誰でもわかる言葉をつけ足して説明することがみなさんわかりやすいのでは。災害時NHKテレビで広島県防災webの説明をしていました。情報の使い方を説明されるとTVだけでなく目と文字で確認できるのはOKです。(広島県・女性・50代)</p>	<p>年よりはホームページと言われても見る事ができない。有線放送や消防団など、直接教えてもらいたい。(岐阜県・女性・80代以上)</p>
<p>発生から衰退までテレビによる台風情報は実にありがたい。それにしても、気象庁が先進で緻密な気象情報を提供していることを改めて知ることが出来ました。これらの情報提供が自治体行政にどの程度生かされているのかを知りたいものです。(福岡県・男性・80代以上)</p>	<p>高令者の為パソコンを開いてホームページを開いて見る余ゆうがない 市の報道車が大きな声で回ってるけど全々聞き取れなく逆に迷惑。テレビの声が聞き取れないから…(広島県・女性・70代)</p>
<p>〇〇市に「雪崩警報」「大雪警報」等一部北部地域に出て、南部の学校も晴れにも関わらず、休校となるケースが多い。警報が出た場合、休校。もう少し、発令基準(時間等)を見直し、実際に合う情報であってほしい。Q12解答(兵庫県・男性・60代)</p>	<p>メディア(テレビ)でのニュースでは大まかな地域名しか出ない為、近所の災害さえ分かりませんでした。もっと細かい地区番地まで伝えてほしいと思いました。(広島県・女性・40代)</p>
<p>どこに避難すればいいか?水難の場合高い場所へ土砂くずれの場合、山から遠い(低い)場所。どちらへ避難すれば安全?(広島県・不明・60代)</p>	<p>わかりません 知らない事ばかりです。(岐阜県・男性・60代)</p>
<p>テレビの気象情報でdボタンを押して情報の様子を見る様にと説明されても一度もdボタンをさわった事ありません。以前ボタンの何処かさわって写らなくなった事があるのでこわいからです。(85才女性)子供達は遠方です。(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>特記することはありませんが防災気象情報には気を付けております。災害に関しての明細(アンケート)ありがとうございます(愛媛県・男性・60代)</p>
<p>「避難勧告」「避難指示」ちょっと気を使った言葉だから切迫感がない。ダイレクトに「避難命令」とした方が日本人は指示されるのが好きな民族だから早く行動ができるのでは?(広島県・女性・60代)</p>	<p>耳がきこえないので気象情報を車などで通知してほしい(広島県・不明・80代以上)</p>
<p>町内防災放送は大雨の環境下では聞こえない。視覚的に分かる工夫が必要。ただし、停電時にも確認できるように。(広島県・女性・40代)</p>	<p>河川からの浸水は、ない地区ですが、すぐそばに、谷川がらで、それだけが心配です。(愛媛県・女性・80代以上)</p>
<p>気象庁より身近な自治体、テレビラジオで情報を得ることが多い(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>TVのデータ放送ともしっかりリンクしては。(福岡県・男性・60代)</p>
<p>7/6の土砂災害がおこるまでこの地域がそれほど危険な場所だとは思いませんでした。雨がふり続けるなど続く場合はテレビや気象庁ホームページを参考に避難するように(車が避難場所)したいと思います。(広島県・女性・50代)</p>	<p>自分の意識の中では警報や避難勧告等が出て、実際に避難する行動をとるという事に結び付かない。TVや携帯で情報を得る事があっても避難する行動に躊躇してしまいます。避難所が開設しているか、車を駐車できるのか等の避難所側の情報も知る事ができれば、避難する決断のきっかけとなるのではないかと思います</p>

V. 巻末資料

	す。(愛媛県・女性・30代)
土砂災害警戒区域に家半分がかかっています。大雨のたび危険は感じていますが、避難場所も遠く道幅もせまく車で移動等、どの時点で動くかをまよいます。家族でよく話しをしたいと思いません。(広島県・女性・60代)	様々な情報のほとんどが電子機器によって供給されるのが現状である。今年の場合、スマホのバッテリーがあっても、自宅や基地局が停電の場合、情報が入ってこない状態だったので、困ることがあった。(岐阜県・男性・60代)
災害に関する教育を若年齢から認識できるよう行なっておくべきだ。私の年代ではそういう教育はなかった。(愛媛県・女性・30代)	Q21でも答えた、避難所じたいが、今ある建物(しせつ)の中でひかくてきじょうぶなというだけで指定されているが、実際に、きけん区域の中にあたりして、安全とは思えない所があるので、いくら避難を情報でよびかけても目の前に、きけんがせまってこない、行動にはおこせないと思う。(愛媛県・女性・50代)
山の上に家があるので、こまる事が多いです 川はその日5mほどでした 現在は8mになっています 1年に河内川5回~6回は池になっていました。←S18年の台風の水が、水の高さより7.7日方が水高い。■のカイダン6ダン、7.7日7ダンを見えています(愛媛県・男性・80代以上)	・ハザードマップと気象情報を連携し、具体的な避難区域の情報を早く、出せるようにして欲しい。(広島県・男性・70代)
気象以外でもライフライン(停電や道路情報等)も併せて確認できると良いと思う(愛媛県・男性・40代)	テレビでの気象情報を視聴するのが手取り早いので、常に気にして視聴している。最近は、雨の降り方が、以前とは違うので、市町村単位よりも、もっと狭い範囲での降り方がテレビの気象情報(Dボタン、データ情報)で分かればと思っている。(愛媛県・女性・60代)
水害のすくない所に家がありますが風に対しては特に気を付けて情報を確認しております(愛媛県・男性・70代)	今まで、人事の様に思っていた災害が起きて、びっくりしていません。テレビでニュース等は見ていましたが、まさか、自分達の身近で起きるとは…今は、放送等でわかると、すぐ近くに「ヒナン」します。ちゃんと荷物を作って、いつでも逃げられる様に、しています。1人暮らしなので、心細いのでいろんな情報が大事です。(福岡県・女性・70代)
西日本豪雨のときは台風と違って警報なども気にしておらず、わけがわからないうちに浸水してあわてて2階に避難しました 台風のときは身構えるのに西日本豪雨のときはノーマークでした(愛媛県・女性・40代)	・水・停電に困った。(愛媛県・女性・60代)
今までの台風・大雨では全然大丈夫だったため今回の7月の水害の時も人事のように考えていました。まさかここまで水がくると思っておらず1階の物はほとんど使い物にならず何もはこび出せない程でした。もっと勉強しておくべきだったと反省しています。ただ今回の水害はダムや放流にもかなり問題があると思っています。(愛媛県・女性・50代)	公的機関の防災情報、一般のテレビ放送・地域のFMラジオ放送自治組織からの防災メール等情報を得る手段が多い為気象庁のホームページを見る必要を感じないために今迄一度もアクセスした事は御座いません。今後は気象庁のホームページへのアクセスを試して更に情報量を増したいと思います。(広島県・男性・60代)
よりの確な情報を迅速に伝えてほしい。避難遅れがないように、特にダム管理者をお願いしたい。2度と洪水被害が起こらない対策、堤防や川の整備を早急にしてほしい。(愛媛県・男性・70代)	この度の災害は私の家の1km先でおこりました。今も目やにや目のかゆみが続いています。阪神大震災以来、リュックに、水、ラジオ、電池、かい中電灯、1回分位の食料、ビニールの水を入れる袋など準備しています。台風や防災気象情報がでると朝までおきています。先日の災害時も近所の方とお話ししましたが、みなさん大丈夫と云われ気にされていませんでした。私は裏山の水が流れてくるのが心配で準備だけして、ニュースをずっと見てい

	<p>ました。自分はなんとか無事でした。全体的に、みなさん危機感がうすく感じられました。私達の地区は避難をする時は近所の集会所に集まり、みんなそろって行きましようと、会長さんが数年前より取り組んでいらっしゃいました。防災気象情報は大切です。早ければ早いほど良いと思います。なにことも無かったらそれは良いことだと思います。子供の頃大きな台風がきて雨の中を避難をしたのを思い出しました。広島ですが中心の中区でした。刑務所の官舎に避難しました。この度は交通も大変でした。本当にすごかったです。災害にあった人、あわなかった人（それぞれ一生懸命にボランティアされました）。しかし災害にあった人はいろんな方がいらっしゃいまして、（うその様なお話を聞きました）私は災害にあわれた人は（災害病）になられたのだと思いました。人はたいへんな事があった時ほどその人の本当のもって生まれたものが表われると思いました。災害は人の心までさみしくします。この度の災害は、調査を通して、もっとふかく考えていただきたいと思います。（広島県・女性・60代）</p>
<p>最近の気象情報本当に良くなったと思います。感謝します。（愛媛県・男性・80代以上）</p>	<p>高齢者はパソコンもスマートフォンもありません 情報はテレビか普通の携帯電話だけです。それに対応した方法も力を入れてほしいです。（愛媛県・男性・60代）</p>
<p>・この地域は、光通信の設備が届いてないパソコン通信が難しい・高齢者にはパソコンが利用できないのでホームページなど閲覧できない・情報はテレビ、dボタン気象情報得ている（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>市の防災無線の音が反響して何を言っているのか分からないので、そのへんの対処をお願いします。（愛媛県・女性・50代）</p>
<p>一人暮らしの女ですが今年は異常気象に世界的に思わぬ天災の報をテレビで見て又ハザードマップの市の人の説明で人事ではなく始めて近所の土砂崩れを経験して市の予定された避難所で一泊させていただきました。近所のつながり町内会長さん警察の車で大変お世話になりました。自治会の会長さんのお話を伺うことが出来ました感謝でした。（福岡県・女性・80代以上）</p>	<p>避難した方がよいのはわかっていますが歩いて行ける場所ではないので出来ないのです 高齢者や子供とか早く避難する様に放送されますが交通手段がありません タクシーを呼ぶ事も困難です 大荷物を持って避難する事はできません 命の危険があるかも知れないと思っています（愛媛県・女性・80代以上）</p>
<p>空振りでも良いのでどんどん安気にお知らせ下さい。色々お気づかいありがとうございます。いつも予報などよく当たるので感謝しています。西日本豪雨は川の水位を知らせる設備にもその他色々原因はあったと思いますので気象庁の方々のせいとは思っていません今後ともお世話になります。よろしくをお願いします（岐阜県・女性・50代）</p>	<p>新しいハザードマップを早く出してほしい（広島県・女性・50代）</p>
<p>安全な場所へ避難するまでに道路がすぐに浸水して避難するのが困難なので提防ももちろん大事ですが今回の水害で一番強く思った事は道路の事です。整備、修理が必要であるし田舎ならではの木々や枝等が道路の見通しも悪くしています。伐採して避難できるような道路整備を希望します 避難できる高さを考えた道路をつけて欲しいです。（愛媛県・女性・40代）</p>	<p>誰にでも分かりやすく、簡単で、迅速な避難指示なり勧告等、出していただきたいです。（愛媛県・女性・50代）</p>
<p>テレビで台風情報を見てからはんだんしている 部落の放送で気をつけている（愛媛県・女性・60代）</p>	<p>山間部で、土砂災害にも合はない地域（平坦な所）に住んで居るので、外出を控えるのみ。（広島県・男性・70代）</p>
<p>私の地域も100年以上になりますが、今年の雨降りはずごと</p>	<p>大雨警報の後に、停電の場合情報確認はどうしてもスマホが頼り</p>

V. 巻末資料

<p>しか言いようがありませんね 台風も1週間ごとにやって来るし、災害が有りました。3人死亡 皆んな敏感になり、あぶないなと思った時は、となり近所と一緒に公民館に避難するようになりました。(京都府・女性・60代)</p>	<p>になります。ハザードマップや危険度等の表示は大変必要だと思います。ですが、気が動揺している場合、身近な地域や道路の正確な情報を解り易いメッセージ形式等で見れると安心だと思います。(広島県・女性・60代)</p>
<p>気象庁ホームページから今後の雨雲の動き(1時間以内)を活用していますが、精度が思ったより良くないです。(岐阜県・男性・60代)</p>	<p>※全てのテレビ放送局が危険が迫った地域地区にテロップで流がすと良い。(岐阜県・女性・70代)</p>
<p>耳が不自由で…色分けでわかりやすくして頂けると助ります。(福岡県・女性・70代)</p>	<p>何も被害はありませんでしたが、自治体からの「避難せよ」との放送が流れた時は、すでに周辺は浸水して避難は出来ない状態でした。(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>家族とも、身の安全を確保するために早目の避難する様にしています(福岡県・男性・60代)</p>	<p>7月の西日本豪雨の際、警報や避難指示は出ていたが仕事で早く帰れず、帰宅時は川がすぐそこまで増水していたが家に子供を待たせているので帰らねばならず川ぎりぎり近い橋を通って帰宅。しかしその後ニュースで情報を気にしていると特別警報が出て、やばいかな…と思った時にはもう外はまっくら、川も危険なのを帰宅時に見ているので避難が危険と判断し自宅待機した。(川を渡らないと避難所へ行けない為)。7/7翌朝川は氾らんし、団地に一時孤立することとなった。→今回の豪雨のように、朝は大丈夫でも夜には危険になった場合。子供(7/6警報で学校休みなので)のもとに一度自宅へ戻らねばならない、が、特別警報が出たときには既に危険。子供を1人で先に避難させる事も不可能。どのタイミングでどうすればよかったのか?未だに答えが出ません。「早めの避難を」と言うは簡単ですがそうもいかない状況下はたくさんあります。(うちは母子家庭で大人は私しかいません。気象が大きく左右する仕事の為(情報提供)、休むことも早めに帰ることもできません。)答えがあるなら教えてほしいです。避難がムリなら2Fなど高い場所へ…それが出来る限界でした。が、近所は家ごと土砂に潰されました。どうすれば良かったのか教えてほしい。又、テレビでしきりに特別警報・避難を、川などへは近付かないで、と流れていましたが、川がまだギリギリでも渡れるのか?それとも完全にアウト危険状態なのか?(家にいた方がよいのか?)ライブカメラで川の状態を見たかったです。見に行っただけではいけないのなら見れるものを提供してくれると、ギリギリでも避難しようと思えるかも。(広島県・女性・30代)</p>
<p>土砂災害警戒区域に住んでいる為常に注意し情報を、確認し行動をしている。以前に比べて気象情報には敏感になっている。今後も注意しながら生活をしていきたいと願っています。(福岡県・女性・60代)</p>	<p>パソコン・スマートフォン等が無くても利用出来るよう、テレビ、防災無線にて対応してほしい。(広島県・男性・70代)</p>
<p>日々とても大事な事、日本の大地がこわれな様一番に願う事です 防災気象情報にたずさわっていらっしやる方々日々大変でしょうがこれからも国民のために頑張ってお仕事されます様心より願って居ます(福岡県・女性・60代)</p>	<p>住いが山間なので土砂災害一番気にかけている 情報有難く思います(愛媛県・男性・80代以上)</p>
<p>もう少し簡単でひと目でわかるような状態にしてほしい。色わけ</p>	<p>大雨警報が出た時回りをよく見てこれ以上いたら危険であると</p>

も似たりよったりで見づらい。(秋田県・男性・20代)	思えた時、家族と相談して避難する事にしています。地しんの時の津波の時の事もよく話し合っていますにげる道順の事も(愛媛県・女性・70代)
気象庁として国民の生命・安全・財産を守るため行政機関とのタイアップ、情報提供、更に広報活動、マスコミ報道対応などに力を注がれている姿勢に敬意を表します。気象観測、予測の精度が向上する中、運用面、情報活用にご尽力下さい。麻生拝(福岡県・男性・70代)	心配なので、空ぶりでもいいから、早めに、メールがほしいと思うのですが、メールを見る事で、九州豪雨災害で、怖い思いをしたので、その時の恐怖が思い出され、どう行動したらいいのか、や、安全な場所が分からなくなり、逆に、何も、状況が分からない方が何も、考えず、怖い思いをしなくていいのでは?と思ったりします。(福岡県・女性・40代)
関市上之保地区にいます。水災がひどいでした。下流も、床下・床上など山間の地区なので、雨の量でかつてない災害!真夜の出来でした。警報もあまりなかったようで、夜中の午前2時、サイレンで気づいたがすでに、浸水状態、遅った!警報おそし!地元(岐阜県・男性・60代)	・警報等の根拠となる今後の降雨予測等の精度を高めるとともに、実況値(降雨量等)とレーダー観測等との誤差を小さくするため、特に雨量計の増設を希望する。(実況レーダーで紫になっているのに雨が降っていない事もある。)・愛媛県南西市に住んでいるが、台風等の影響で、東から雨が近づいている時、降雨予想と実際が大きく違う場合が多いように感じる。精度を高めて欲しい。(愛媛県・男性・50代)
洪水時のダム管理状況(広島県・男性・80代以上)	H30、7月の災害で、床上浸水にあったのですが、行政からの避難勧告等が当然あるものと思い直前まで自宅におり、その後、サイレンで近所に急きよ避難する。自分達も、大丈夫かなと心配しつつ、でも行政からの防災無線連絡もないし、と行政に頼っていた部分がある。(岐阜県・女性・60代)
特にありません(福岡県・男性・70代)	今回の災害で初めて恐いと思いました。(愛媛県・男性・70代)
・気象情報に注意し、その情報によって行動判断する人が多い。しかしあまりにも実際と異なるとその情報に対して油断してしまうことがある。また、狼少年になる可能性が高い。私の市では範囲が広く、地形も異っているのに、気象情報は同じで、つい気持ちがゆるんでしまう。ぜひ、各市町村ごとの気象情報にこだわらず、広範囲の場合は、市を分けて情報を出してほしい。正しく、正確な情報こそ次の安全な行動に結びつきやすいと思う。7月豪雨災害で私たちの地域は大きな被害を受けたことから、ぜひもう少しピンポイント情報を出すよう配慮してほしい。情報化社会であるならばよけいに的確に正確に!!(岐阜県・男性・70代)	台風場所地図上に分布してほしい(岐阜県・男性・80代以上)
昨年7月5日の北九州豪雨を体験したので気象情報は(TV・地域の情報によるもの)重視し、安全につとめている。(福岡県・男性・70代)	自分の体は自分でまもる。今まで以上に気象予報に気を付ける。(愛媛県・男性・60代)
特になし。(福岡県・男性・70代)	・台風や大雨、高潮より地震の防災意識を高めたい!・避難所の生活の安心感をもてるか不安です。(愛媛県・男性・50代)
私は、いつも携帯電話の天気アプリで、雨雲レーダーや降水量を見えています。今年の西日本豪雨災害の時は、何日も雨が続いた後の今までに見たことのない線状降水帯と降水量で甚大な被害となりました。避難をすることはしませんでした。それは今までに経験がなかった為、まさか、こんなことになるとは!!でも、今後は、やはり、雨や台風など敏感に反応するようにもなりました。又、活用できる情報はしっかり利用して対応、行動していきたい	大雨が予想される時、ハザードマップの存在、また注意を促す程度を、都度知らせて頂くことが被害を軽減すると思います(広島県・男性・50代)

V. 巻末資料

と考えています。(広島県・女性・50代)	
ひなん所まで徒歩で行くのがむずかしい場合、ひなん所(市民センター)に駐車が出来るのか?を確認しておくつもり。(福岡県・女性・50代)	地方自治体がこのような情報を基に、きめ細かな、タイムリーな情報発信を発信手段も含めしてもらえるといいと思います。(岐阜県・男性・40代)
今回は早目避難したが、雨が強い中を家を出る時にすこしとまどった。(広島県・男性・70代)	近年は、常識を逸した自然現象が発生するため、空振り情報となることは、当たり前と考えるべきである。情報が後追いにならない様に発信すべきである。(広島県・男性・50代)
今回の豪雨で、絶対安全という事は、ない事を、実感しました。日頃から、身の回りをを整え、即、動ける様、準備していきたいと思っています。(岐阜県・女性・50代)	私の住んでいる地域には川も小さく、山も低く、住宅地へ浸水してくるよりも、海からの津波だけが心配な地域である。だから津波がきそうなときにどこへ避難すべきか、それを知りたいということしか関心はない。それ以外は■のみ。(愛媛県・男性・80代以上)
実際に被災して自然災害の怖さを改めて認識しました。警報、注意報に今まで以上に注意して早めに避難するよう心掛けたいと思います。(広島県・男性・60代)	精度の高い情報はもちろん大事なのですが、その情報を高齢者などに分かり易くシンプルに伝えられるかというのが避難を早く決断する為に必要になってくると思います。(愛媛県・男性・40代)
言葉がわかりにくいと思う「危険です。ひなんの準備をして下さい」「避難して下さい」など誰でもわかる言葉がわかりやすいです 勧告とかはどうとらえたらよいかわかりにくいです。子供～高齢者までわかりやすい言葉はどうでしょうか(愛媛県・女性・50代)	地域での周知が徹底していない。アナウンスが聞こえない パソコンは高齢者は使えない。(愛媛県・女性・60代)
テレビ、ラジオで簡単に分かりやすく、言葉、数字等で何回も伝えてほしい 高齢者に分かりやすく(愛媛県・男性・70代)	今年の大雨は激しく河がオーバーフローしてレール道路の決かが多く発生しましたので今後は極力決かい、破かきのなきような国交省で建設業者への指導をお願いしたいと思います。とてもむずかしいとは思いますが!!(広島県・男性・70代)
大雨の時にはテレビをつけたままで常に雨の情報を見ています。d放送で地域の情報を詳しく放送してもらいたい。(広島県・男性・70代)	今まではニュースで見ていた場面だった。(他人事)今回、本当にこわいと思った。(愛媛県・男性・60代)
あまりにも無知で専門用語が多すぎるとスマホ等機械でコントロールされていて使い方がわからない。又、現地の状態をしらなすぎると思う まず現場の理解を(愛媛県・女性・70代)	これからもより正確な情報提供をお願いします。(愛媛県・男性・50代)
どんなに早く情報を発表していただいても実際に避難するのはむづかしい まわりの状況が大変悪い中でのことです。口では言うけど実際に行動に移すの困難。個人判断にまかすしかないのではないか「自分の命は自分で守る」ここにつきると思います。(広島県・男性・80代以上)	今回の豪雨災害では停電もありテレビで情報を取っている人は情報が入ってこなかった。ラジオやメール等もあると思うが音声や文字だけでは伝わりづらいことも多いと思う。映像で情報が取れなくなるととても不安で現状もわかりづらいスマホも持っていない人も大変であると思う 地方自治体と気象庁が直接やり取り出来る仕組みや気象庁が直接自治体の防災行政無線から放送できる仕組み等があればよいのではないかと(愛媛県・男性・30代)
きめ細かく情報を流して頂けるので助かります(愛媛県・男性・60代)	パソコンの利用出来ない家庭を考慮してテレビとスマートフォンには徹底してほしい。→但し災害時に停電が多いのでこの場合を考慮する!(愛媛県・男性・80代以上)
身障者と2人暮らしのためしかも高令で有り具体的に動く事が出	大雨、土砂災害等もっと早く地区の指定をしてほしい(広島県・

来ない今の所不幸な状況に追い込まれた事は無いが今後は大変不安で有る。(福岡県・男性・70代)	男性・60代)
状況はすぐ変わるので自分の身は自分で守る様少しおおげさでも表示したほうが良い。恐いという事を知ってもらおう。(福岡県・女性・60代)	テレビ、の気象予報、時に、その後の想定区域や、状況を早めに発表すべきであると思う。又地区地域の細部の状況が、なにですぐ見えるか、わかるか、つど、説明をすべきである。農村では避難するのも手段が、自分の車位であるので、地区の※せめて、市単位の細部説明。自治体発表では、すでに遅いと思う(愛媛県・男性・50代)
もう少しどの年代の人にも分かる様なものと良いと思う。あまりこまかくしすぎても見づらい。(福岡県・女性・40代)	天気予報はハズレても誰れも責任はないのですか？気象庁の発表する長期予報や3ヶ月予報などはある程度ハズレても仕方ないですが、せめて週間天気予報はハズすと罰則があってもよいと思います。仕事に更に、真剣にとり組むようになるのでは？！(広島県・男性・60代)
高令の為(独居) 災難指示が出て足腰が弱っている為どうしようもない。(福岡県・女性・80代以上)	今回の豪雨災害では、近所の家が2軒も土砂崩れにあわれ、地域でできることをして支え合いました。集会所に避難し、20日近く炊き出しもしました。その間水道が止まり給水車を頼りに生活しました。早めの避難の大切さを身をもって知りました。今後も更に実践したいと思います。(広島県・女性・60代)
・いろんな情報があっても自分自身の経験、体験等が避難行動の基準になりがち。・TVのdも必要だが、時にNHK等の地方局でテロップ等で報道して欲しい(福岡県・女性・60代)	スマートフォンは持っておりません。一人暮です。情報はテレビです。ダムの下流で、川の増水等の情報が一さい市から、近所からも入らず、こわいです。テレビでの画面情報見たら、今年の災害、大変こわい思いをしました。6日大雨、夜はげしく降っていたが、そのまま家で寝て、7日朝外へ出て異状・体がふるえ、親類へ避難しました。こんな思いは50年住んでいますが、初めてです。来年こわいです。(広島県・女性・70代)
大雨特別警報の出し方が遅いと思う。(出てから避難は、場所によっては遅すぎる)(愛媛県・男性・50代)	この様な大事がおこる事がない町でした。おどろきでした。大雨警報はテレビで普だんは注意はして見ていました。JRの通勤で必要な位でした。大雨特別警報避難■に対する心がまえが必要だと思いました。津波・地しんでの防災での放送での訓練はありました。大きな雨でした。見た事のない太さの雨でした。山の方は雨がふっていても、家の近くはふっていないのでどうしてなのかと思っていました。土砂で大雨で排水機能がだめでした。(広島県・男性・70代)
今回のアンケート調査で気象庁の色々な情報があることがわかりました。しかしながら、少々、専門的(むずかしい) すぎるので、もう少し簡単にしていれば、有難く思います。(72才男性)(福岡県・男性・70代)	簡単でわかりやすい情報が判断になる(広島県・女性・60代)
・これらの情報は、全てライフラインがある時です。・電気が止まった状態。携帯端末も制限を受けている中。ラジオも入りにくい状況の場合、どう情報が入手できますか。実際、西日本豪雨の時、雨はものすごいなかで(夜)アラートでしりましたが、その報告のあとすぐに停電し、携帯端末も電波が届きにくい状況で、防災行政無線も気にしていたが、放送があったのかなかったのかわからないなか、夜のまっくらの中の逃げるのは自己判断でした	携帯等へのエリアメールはもう少し具体的に地域名などを知らせると避難する目安になると思います。(福岡県・女性・60代)

V. 巻末資料

<p>が、事前に情報が入っていたが、逃げるところが、浸水地域で高いところは、山でしたので屋根もないところでの逃げるは、逆に危険としました。(ライフラインの止まっている場合せめて、携帯端末の情報を解放してほしい。気象庁の情報をすごく助かる情報としています。逃げる場合の判断は、最終的には、自己判断になりますが、常にどんな状況の中でも、情報を見れる携帯端末を国の最後の最後の情報として、残してほしい。ラジオでは、具体的な正確なものが見えにくい。携帯端末を非常時は、メーカーにさせないで、国でコントロールしてほしい。気象庁の情報は、正確無比でいいのですが、ライフラインの究極的な時にも知れるように、他の関係機関とも連携して常にどんな情報でも状況でも知れるように要望します。(愛媛県・男性・50代)</p>	
<p>7/7日の豪雨以後、何度も台風が来たり大雨になったりし集落の公民館へ自主避難をしに行きましたが、役員さんより遠くの指定された公民館へ行くように言われ本当に困り、98才の母をつれて移動せねばならず、母がイヤだと言々、結局、大雨の中自宅へ帰りました。これが二度あり、どうにか大雨の時だけでも安心して休める近くの公民館(安全な場所です)を利用させていただきたいと思いますが～。7/7日の時だけは集落の公民館でお世話になりました。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>ありがとうございました 気象防災の情報ベストを命を守るためどうぞよろしくお願ひ致します (広島県・女性・70代)</p>
<p>まさか大事には…(洪水、ガケ崩れ)のまさかの気持は無くしたい(愛媛県・男性・80代以上)</p>	<p>川があとどれくらいの雨が降れば、はんらんのかのうせいがあるかを川ごとにほうどうしてほしい。(広島県・男性・50代)</p>
<p>・現在も避難場所を認識できていない。山、海がせまっている職場どこに避難すればよいのか?・警報注意報と種類が多すぎる。もっと簡単な誰でもわかりやすい言葉、言語にしてほしい(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>テレビとかラジオばかりではなく声をかけに来てくれるといいなと思っています(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>スマートフォンなどのアラートがありびっくりして確認しますが全く危険がないことがよくあり本当に危険な時の行動がにぶるおそれがあります。関係ないですが地震のアラートが空ぶりが多いです。(愛媛県・男性・40代)</p>	<p>私は、けいたいとテレビしか情報が見れないので、とにかく早めにひなんしています。(広島県・女性・70代)</p>
<p>テレビで見ていて大雨うんて出てなかったので安心していましたが裏の川の増水が気になり見て居たが気にする量でなかった。その時は今迄なかった事がおきて居た。前の道路に大水が流して居た。家に入る水を止めるのに精いっぱい物置が流れて居るのも気が付かず2度ねて寝てしまった。(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>大雨の時、どの辺が崩れるかを、もっと細かく表示してほしい。自分の家が大丈夫なのかどうか、分かりにくい。避難所も大変なので、その都度避難は大変すぎるので、大丈夫なら家にいたい。地区ごとの避難勧告等では、範囲が広すぎる。1軒1軒の指示にしてほしい。避難所でなく、大丈夫な近所のお宅に避難することもできる。地域の人みんなが、小学校などの施設に避難は無理がある。どうすればよいのか非常にみなさん迷っておられます。・危ない道路は早めに封鎖するなどしてほしい。(広島県・女性・40代)</p>
<p>エリアメールの音を定期的に変えてほしい。(広島県・女性・40代)</p>	<p>大雨特別警報の前に避難することを心がけます(広島県・女性・70代)</p>
<p>スマホやパソコンで見ることのできない方にホームページに出してはならずわかりやすくテレビなどでも流して欲しいです。(広島県・女性・50代)</p>	<p>・大雨や台風の時には気象庁のホームページをよく利用していません。空振り等の批判はあると思いますがこれからも頑張ってください。(愛媛県・男性・40代)</p>

町内のテレビ（放送）があれば良いと思う（広島県・男性・40代）	次警報が出れば必ず避難します。1. 自分の判断での行動は行なわない。2. 今回の災害は夜間であった為避難が遅れた。昼間に避難出来る様早めの避難指示をお願いします。（広島県・男性・70代）
年を取れば非難することがむずかしくなる 幸いにして100mぐらいの所が非難場所になっているのが有難いと思う（広島県・女性・80代以上）	7月6日の夜のNHKTVの気象ニュースで、大雨警報を見た。レーダーの予報が表示された時、黄色や、赤色が帯状になって、南から北へ我が吉田町を流れてゆくのを見た。「明日は大雨になりそうだ」と思った。そして翌7月7日朝、予報通り大雨が我が吉田町を襲い、80年の私の人生で経験したことのない土砂災害が発生、吉田町だけで11名の命を奪った。予報の正確さに驚くと共に、早目に予報を知り、早目の避難を心がけたい。（愛媛県・男性・70代）
だんだん技術が進歩していると感じています。今後ともよろしくをお願いします。（広島県・男性・70代）	自分の地域がどれぐらいの雨で避難が必要か知りたい（広島県・男性・70代）
転居して今、住んでいる所のハザードマップを知らない。（どこでもらえるか？どこが危険かなど）（広島県・女性・50代）	1人暮らしで、息子、娘、スマートフォン、テレビで情報を得て居ます。むずかしい事はわかりませんし、今の所はこれでも良いと思っています。（広島県・女性・80代以上）
仕事柄災害等があると仕事が増えて避難どころではなくなる事が多くあります。早めに避難をしようと外に出たために被害に遭われた人、避難をせずに被害に遭われた人、いろいろな方と話す機会があり、万人に最適な情報が届いていない又は届けられない為に情報による二次災害がおきている様な気がします。特に日本は平和慣れし、危機意識がなく、危機が迫った時の対処をする習慣がない為、みなそれぞれ人間本来の五感等を使う必要があるのではないのでしょうか？（広島県・男性・30代）	気象庁含め、メディアの報道の方法に物申したい。誇大表現が多すぎ。全く心配無さそうな天気や台風でも、危険を感じさせる表現にはウンザリです 国民が警報への危機感が低いのはこのためです（広島県・男性・30代）
国土交通省と連携して、じゅうたい情報も併せて知りたいです。（広島県・女性・30代）	避難所が遠く、最初から避難することは考えていませんでした。今回6日夜の豪雨の時は、7時？ごろから停電で、テレビをずっと見ていたのですがその後の情報が入らず、薄暗く、近所と接していないこともあり、周辺がどうなっているのかわからず、不安でした。スマホを持っていましたが、充電が充分でなく、いつまでスマホの電源が使えるか不安でした。ラジオは、ありましたが音楽の流れる時間が長く、なかなか情報が入らなくて、他県にいる娘たちからのラインで、情報が一番多く入りました。避難指示が出ていましたが、2日間家にいました。水、食料があったから。県警の方の説明により、ダムが満杯になっていることを聞き、避難を決め、警察官の方の誘導で、無事市外に脱出しました。あまり、ラジオを聞くことはないのですが非常時の場合、テレビのNHK放送のように、ずっと、情報を流しつづけてほしいなと思いました。（広島県・女性・60代）
呉市天応で災害に合い、大雨や台風の時の、心構えや行動が変わった。（広島県・女性・40代）	高令者はパソコンとかスマートフォンなどっていない人が多いと思う（特に田舎では各自自治体の対応にたよるしかない）（広島県・男性・80代以上）
地震や台風、大雨や災害の際はすぐにテレビを付けますのでこの際に各テレビ局でマップ等を見せてくれると助かります 全国	適切な避難場所が高い所に在れば時間に余裕が持てる。（広島県・男性・60代）

V. 巻末資料

<p>ネットのテレビでなく地元の局でのハザードマップや危険の図などを放送してほしいです。今回の雨は大変でしたが今は地震の心配もあります日本は地震も多いのですごく心配です。(広島県・女性・50代)</p>	
<p>地域は高齢者ばかりで設問の理解が難しい(愛媛県・女性・80代以上)</p>	<p>格段の技術向上に驚いております。今後も、より一層の向上を期待しています。頑張ってください。(広島県・男性・70代)</p>
<p>・高齢者、情報端末を持たない者にとってはホームページ情報は意味がない。・T、V dボタンの気象情報を一番良く見たが、それさえも高齢者には、むずかしいのでは？(T、Vのリモコン)・私は(大洲市菅田町菅田2143-26)今回ご近所の声かけにより避難しましたが、地域の防災放送は全く、エコーがかかって理解できませんでした。国としてなんとかならないのか？(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>気象庁のこのような情報がいつでも手軽に得られるといい。お年寄りにはホームページを見るのが難しいと思われる。テレビやラジオなどでいつでも確認できると安心だと思う。(愛媛県・女性・40代)</p>
<p>警報は空振である事は願望です。常に精度をアップして頂き、転ばぬ先の杖としたい。(岐阜県・男性・70代)</p>	<p>7月豪雨の時町内で大きな被害が出てしまいました。我家は警戒区域には入ってなくてメールが度々来ても避難しませんでした。町内放送は雨の音で聞こえず暗い中外出ることがこわかったです。その時には町内の団地で災害がおきていた事は翌日のテレビで知りました。これからは自治体町内会個人が強い意志を持って協力する必要があると思います。(広島県・女性・70代)</p>
<p>インターネット、スマホ保持者等利用出来ない人が多量の情報が得られない人が多いと思います テレビ、ラジオ、有線放送等身近に伝達が伝わる対策を重点に考えてほしい(岐阜県・男性・70代)</p>	<p>・町内放送が普段でも聞こえにくいのに大雨だとほぼ聞きとれない。・ペットをかつているので避難がすぐできないと思いました。(広島県・女性・50代)</p>
<p>気象庁の情報をテレビのdボタンで見られるようにしてほしい。(岐阜県・女性・40代)</p>	<p>私の地域では防災放送がありますが雨が降ったりしたら全然聞えません テレビ、携帯が一番今回はすごく助かり離されませんでした 台風の時気象庁で地図が出ますがもう少し発きりした地図が出てほしいです(広島県・女性・70代)</p>
<p>正直、災害にあわないと、身の危険を感じてすみやかに行動するという事は難しいかもしれません。私の町では、昨年の経験から皆さん「大雨」という言葉には敏感です。笑われてもいいから大雨が降ると分かるとすぐ避難するという方ばかりです。この先も「何十年に一度」というフレーズを度々聞くことになるかもしれません。そのためにも気象庁さんに頑張ってください、私たちはその情報を素直に信じ、先もって行動していかなくては！と思っております。空振りでも気にしません！気象の研究、調査の向上願っております。これからも情報提供よろしくお願ひします。(福岡県・女性・40代)</p>	<p>気象レーダーの進化は感心するばかりですが…が、なんでダム熟练操作を怠ったのか、おそまつ、情なや、それなりの行動があれば防げた、浸ることのないのに床上55cmになった者です。インターネットも、スマホもねえ(ない)時代について行けない古一い者です激悪天候の時も、普段に予定を立てるにしても天気情報は、とても大事です。宜しくお勤め下さい。(愛媛県・男性・70代)</p>
<p>気象庁テレビで見ます。又放送されますが、あてにならない？まず天気放送など？もっとしっかりしてほしいですね。(福岡県・女性・70代)</p>	<p>危険性は承知しておりますが、体の調子もあり避難できません。(愛媛県・女性・80代以上)</p>
<p>平成29年九州北部豪雨災害で自宅は床下浸水した。筑後川の洪水は予想したが、まさか山の崩落・流木は考えられなかった。その後は、特に天気に関して、TVを用心深くチェックしている。(福岡県・女性・70代)</p>	<p>自分が住んでいる所の情報が入ってこない。もっと範囲をせばめて、情報が入ってくれば何とか避難ができると思う。インターネットを持ってないので気象庁の情報等は何も見れない。(愛媛県・男性・80代以上)</p>

<p>この度の西日本豪雨で災害にあった吉田町の者です。今回命にかかわる様な思いをし、今まで経験してなかったもので、皆さんのん気にかまえていたように思います。今回の経験を肝に命じて気象情報を良く確認して早目の避難を心がけようと思っています。 (愛媛県・女性・60代)</p>	<p>大雨警報が出てても安居に考えていたが実際に合うと、本当に怖いと思いました。これから警報が出たらただちに避難したい(福岡県・男性・70代)</p>
<p>今年の7月豪雨は大変な被害でおどろきました。今までは他人事の様子に思っていたのですが、今回、地区内で山崩れがあり亡くなった人も出て、とても辛い思いをしました。今後はニュースや警報などに注意して行動したいと思います。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>H30.7.5に家の向かいの山が崩れて町内の方が2名家の中で亡くなりました。夜中に雷が鳴ったと思ったのが地鳴りで朝になると道路が川になってました。道路を岩や木が流れたので避難し自衛隊の方もたくさんいて家に1週間入れませんでした。夜中のうちに避難できていれば近所の方も亡くなることがなかったかもしれません。夜中の寝ている時間なので難しいとは思いません。(福岡県・男性・40代)</p>
<p>平成30年7月豪雨では避難所の多くが水没した。各省庁、地方自治体で協議などを行い安全・安心な避難所の設置が優先されるべき。(愛媛県・男性・40代)</p>	<p>今年7月の災害が発生する迄、気象情報に気をとめることが、あまりなかった。警報が出れば、学校が休みになるとか、台風がどういふ経路で来るかくらいの感覚で。実際に体験して、初めて今迄様々な災害にあった人達の思いに致った。注意報、警報、特別警報という言葉の意味も認識していなかった。災害後は防災行政無線の指示に従って避難をした。広範囲への呼びかけでは対応できにくいので、身近な、行政区からの広報が適切な時期にされることを望みます。(愛媛県・女性・70代)</p>
<p>自分の家は、海から少し離れていて少し高い所にあるので津波はこわくはないが、それ迄の地震が心配。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>避難に関して、避難警報とか避難準備とか、よく分からない。言葉のニュアンスは人それぞれ感じ方が違うのできちんと説明してほしい。私自身も大雨(2017年の秋田大仙地方)で孤立していた地区住民の一人なので、避難に関しては敏感になっている。(秋田県・女性・30代)</p>
<p>気象庁ホームページとか、よく言われますが、年配の方には、わかりづらく思います。大雨等の際停電も予測出来ればと思う。ラジオ等で詳細はわかりづらい。(愛媛県・女性・50代)</p>	<p>90才という高齢で一人暮らしのため、スマートフォン、PCなど使用しない。そのため情報はテレビか口頭でしか入手できない。耳も遠い。7月豪雨で河川が氾濫し自宅が被害を受けたが、避難しなかった。情報が伝わってこなかったためと、近所の人達が避難しなかったから。結果的によく助かったと思う。以上の経験からまさに災害弱者として一人ではどうしようもないことを実感。何とか対策を考えて欲しい。(広島県・女性・80代以上)</p>
<p>とても良いアンケートでした。気象庁のHPを利用します。(愛媛県・男性・20代)</p>	<p>インターネットの速度制限の解除(災害時)(愛媛県・男性・50代)</p>
<p>スマートフォンを持っていない高齢者は、地方行政からの呼びかけがないと情報不足だと思う。気象庁から→行政→家庭への周知の徹底がとても大切なことだと思います。危険度が高まる時間帯の左図はとても良いと思いました(予測がつきやすいので早めの準備が可)(福岡県・女性・50代)</p>	<p>今年7月の水害で被災しました。にも関わらず、このアンケートの設問は答えられないことばかりでした。大変になることが多くあるなあと思いながらもなんだか見たり確認したりめんどうだなあというのも正直あります。高齢者の方ならなおさらでは。避難の目安は複雑でない方がいいようにも思います。因みに7月6日私共は恐い状況になる前に避難をしました。半信半疑、訓練・体験のような気持ちでした。家の前の川がいつもより水量が多く流れも速かったし、何より気象庁の更に降水量が増えるピークはこれからという情報を20代の娘から知らされていたので18時前に帰宅し即ちに準備し避難できました。有難うございま</p>

V. 巻末資料

	した。(広島県・女性・50代)
7月の特別警報は遅かったように思います。自然あいてのお仕事で、気象庁の方々はとても大変だと思います。これから私たちのため、ご家族のために頑張っていただけたらと思います。(愛媛県・男性・50代)	6ページに記載がありましたが、大雨や洪水の危険度が高い方から2番目「非常に危険」となった時、より切迫性の伝わるキーワードを用いて発信してほしい。最大レベルの大雨特別警報も特別がっただけで切迫性を感じない。もっと切迫性を感じるキーワードを用いてほしいと思います。(広島県・男性・40代)
警報が出た時点、既に道路は渋滞し、徒歩では避難所に行ける距離ではなく、危険とわかっていても自宅に居るしかなかった。早めに行動するのが必要とは知っていても、校区内の市民センターは60人位で満員。校区何千人もの人は、「避難しなさい」と言われても年寄り、子供に遠慮していて、とても全員は避難できないでしょう！！？逃げる場所も無いのに避難せよと言わないで下さい。小学校も中学校もここは遠いです。大雨の時はバスも道路も封鎖されていました。(子供は公立小にもバスで通学していました)(福岡県・女性・50代)	気象庁HPはくわしくて、専門的なので、かえって分かりにくいことがある。アプリで位置表示ONにしておけば、ビービー鳴ってくれるあの警報はとても役に立ったしすかった。しかし何度もなると慣れてしまうので、避難完了する前の最後の警告みたいなものをもっと分かりやすく、子供のころから全員知っている状態にする必要がある。自分には関係ないだろうと思うのは人間誰しもだと思うので、「思っちゃダメ！！」ってことを、小学校くらいから、くり返しくり返し教えることが大切と思った。(広島県・女性・30代)
奥田4丁目土砂災害(死亡事故)の時、玄関の戸を開けたら川のように山水が流れ、慌てゝ避難致しました。あとで死亡事故を知りました 独居で高令の為、もう少し早く避難指令を発令して欲しいです。(命令方式)(福岡県・女性・70代)	・何処へ避難すればよいか良く分かりません。(愛媛県・女性・80代以上)
台風情報の次の更新時間を表記するようにして欲しい。何回も同じ情報を見てしまうので…(福岡県・男性・40代)	もよりのひなん場所の中学校には、「ひなんする時は事前に区役所に連絡してからきて下さい。」とあるが、緊急時に区役所に電話してたらまにあわないし、ひなんしにくいと思います！！(福岡県・女性・50代)
大雨で自治体の放送などが聞き取れにくい為なるべく早い時間帯で情報が出たら高れい者、身体障害者等が避難しやすいのではないかと。思います。(愛媛県・女性・50代)	老夫婦2人暮しですので心配して居ります。(愛媛県・女性・80代以上)
自分の命は自分でまもると日頃から教育されている若い人はしっかりと考えてその時必要な行動がとれる。問題は老人や幼い子をつれた親など弱者にあたる人に正しくはやく情報が伝わる方法が必要だと思う。また地域のコミュニティーも大切にしなければいけないと思っている。(愛媛県・女性・30代)	今回の災害で、初めて地域のまわりの様子や池がどんな所にあるかどういふ被害にあいどんな準備が必要か初めて身にしみました 今後は、注意して情報をきいていきます。ただ町内放送だと聞き取れないことがよくあります(広島県・女性・50代)
7/8、今回の大雨では、他地域に大雨警報の危険度分布が重点的にあり、それが突然住まい地域に移動をしたことについて、市の防災担当者が、有線放送で住民に知らせなかったことが大きな災害になったことは明らかであり、特に責任者(日本中隔々まで)には、一般人以上に、情報をよく把握させて住民に伝達するように新たな情報表示とともに正確な情報を住民につたえるように指導を気象庁にやっていただきたい。(高齢者にとっては、有線放送はたいへんありがたいことです。) 最近の雨は降りかたがかわってきて、1~2時間集中して降ったりして、パソコンで水位計を調べていても実態にあわなかつたりして判断がむずかしいのが現状です。現場をよく知る人たちが、直接水位の増え方や水の濁り等を観察することを気象情報の活用と合わせて、行うことをもっと、気象庁から防災担当者に周知徹底をしていただきたい	警報が出ても何事もなければ、ホッとします。空振りはあるても仕方のない事だと思います。良くて悪くても気象庁のせいにするのは間違ってると思います。大変なお仕事だと思いますが、これからもよろしく願います。お疲れ様です。ありがとうございます。(兵庫県・女性・50代)

と感えます。(岐阜県・男性・70代)	
近くで災害、人身事故がありこの時からすぐ警報が出たら避難するようになった。そのような経験のない方は、まだ避難されないとと思う。(京都府・女性・80代以上)	気象庁ホームページを見ることのできない者をどうするかが必要と思われる(広島県・男性・60代)
早目の警報や避難をこれからもよろしく願います(福岡県・男性・60代)	本当に避難しなくてはいけない時に避難出来るよう。情報は、発令されたが何も大事に至らなかった等、本当に大事な時のため、オオカミ少年的な情報の繰り返しにならないよう気象予測の精度を上げ、大災害による人的被害を最小限に防げるようお願い致します。また気象予測による警報において、地域ごとの避難の目安となる時間帯の予測も出して頂ければ行政が出す避難情報とリンクして準備の時間が取れると思います。(愛媛県・男性・60代)
どのような事があっても危険と測定機器等で判った時点で発表して下さい。命がたいせつですから。(岐阜県・男性・60代)	独居老人対策が大変ですね。(福岡県・男性・70代)
今年は身近で災害が起こり、防災避難の大切さを、身にしみて、経験しました。気象情報を参考に、各自で自分の命を守るため、行動をする事だと思います。(広島県・女性・50代)	特別にない(山口県・女性・70代)
7月の豪雨災害で帰宅難民になった。サービス業(テナント)に入っておりお店自体が警報が出た時に閉店の判断をしてもらわないと勝手に避難する事が出来なかった。駐車場で車も水没し大変な被害を受けたので、大ききでいいので、早めに特別警報は出してもらいたい。被害が出てからでは遅い(広島県・女性・50代)	夜間に発生した場合は、全くわからない。(福岡県・女性・60代)
気象情報はいつも気をつけています(福岡県・男性・80代以上)	スマートフォンを利用しているが、不要なアプリばかり入っていて、(ゲームなど)このような欲しい情報がワンボタンで入手できると良いと思う。ので、ケイタイ会社と連ケイをお願いします。毎回サイトに行くのは、大変です。また、その際も難しくない見たい情報を見たい時に入手できるようなアプリをお願いします。(愛媛県・女性・50代)
昨年7月水害後、市の防災無線で朝倉市全域に避難勧告が出されることがたびたびあったが、本当に全員が避難したら指定された場所に入りきれないことは容易に想像できた。無責任で信用できないと思った。後の責任問題を考慮してとにかく警報を出しておこうということか?(福岡県・女性・60代)	実際の災害現場と自宅付近の条件は違うので地震以外での災害がピンとこないで、自分の住んでいる土地周囲にはどんな時にどんな危険があるのかを知っておきたい。(福岡県・男性・50代)
今回の水害被害を受けて、分かりました。2階への避難が最も現実的で安全な確率が高い。低いところから浸る。地形による。その地区それぞれ一概には言えない。(愛媛県・男性・40代)	・大雨の音で防災行政無線の屋外放送は、全く聞きとれなかった。屋内でも電波状況が悪く、あまり情報が入らなかった。(愛媛県・女性・40代)
私にいつでも避難しなさいという指示がほしい。(愛媛県・男性・60代)	・より詳しい情報を提供するよう活動していただき、感謝します。ただ、年をとるとホームページをみるのが難しい人も多くいると思いますので、テレビでより多くの情報が見れるようにしていただくと多くの人が情報を得ることができると思います。・「数十年に一度の…」という表現は抽象的でよくわかりません。〇〇災害/豪雨並/以上のとか、今まで観測したことがない等々、より具体的な表現の方が、危険度が伝わるように思います。(広島県・

V. 巻末資料

	男性・60代)
テレビからの情報だけです。有線放送などを利用して知らせしてほしい。(愛媛県・女性・60代)	1. 豪雨前にはダムを空にしておく。道路冠水・欠壊時の通行止め、センサー設置等、折角の予報精度UPに関連部門の対策遅れないか2. 災害発生時の近隣住民への速報が少く、避難遅れの原因になってないか?3. 避難発動は個人の状況判断と責任によるしかない。(広島県・男性・80代以上)
一つの市であっても大雨になる所とそうでない所がありますので、大雨になる地域がわかればよいと思います(福岡県・男性・80代以上)	パソコンがないのでTVで情報が見れるようにしてほしい d ボタンでもよい。(広島県・女性・60代)
今回自宅が全壊しました。坂町の役場の車が避難しましょう!と呼びかけて回ってくれました。そのお陰で、避難をして家族全員無事でした。ありがたく思っております。(広島県・女性・60代)	私の住む広島県本郷・東広島地区では椋梨ダム下流域では河川氾濫や家屋の浸水で大変な被害に見舞われました。豪雨のはじまる3~4日前から今まで経験したことのない大雨が降ると言われていました。それなのに椋梨ダムは豪雨前にダムの放流は全くせず、豪雨の真っ只中に放流をしました。誰が考えても放流のタイミングの完全なミスは明らかです。しかし、ダム管理事務所の職員は放流に過失はないと言います。公務員は本当に責任を取ろうとしない人種です。こうした悲劇を繰り返さないために、管理事務所に的確な指示を出せる機関がないものかと強く感じるものです。(広島県・男性・60代)
具体的な地域がもっと分かりやすいと良いと思います。(愛媛県・女性・40代)	・防災の気象情報は具体的でわかりやすいように進歩していると思います。情報をうける側の操作のし方を学ぶ場も必要と思う。しかしその情報で避難行動をとるかどうかには、またちがった大きな問題が多々ある様に思います。(福岡県・女性・60代)
いつ土石流が発生しても、おかしくない場所に住んでいるので大雨が降れば不安です。大雨警報が予想され、災害の起こるおそれ大きい場合は速やかに情報提供が欲しいので、あらゆる手段で知らせて下さい。(広島県・男性・60代)	・警報や特別警報が出すぎて緊迫感が伝わりづらい・警報が昔と比べると出やすく解除されにくいため子どもの学校の自宅待機が多くなった。(愛媛県・男性・40代)
一人暮らしで歩行も困難近隣の方に負担をかけるのが精神的に辛い。(広島県・女性・80代以上)	市町村単位で発表される警報については、同市内でも地域による各差が大きい場合があるので、(特に山間部を含む場合)さらに細かく地域を限定して出せる様にした方が良いと思います。(岐阜県・女性・40代)
なるべく空振りは少なく正確な情報を伝えてください。(広島県・男性・60代)	※気象庁は、気象の変化に伴って国民の命に関する情報は速やかに発表して下さい。その情報を整理・分類して行動を起こすのが行政(県市町)や自治の役割だと思っています。私たち(国民)は現状を見たり、聞いたりすることはできますが、先を予想する知識に乏しいのが実情です。体に障害があったり高令で機能低下にある方々なら、なおさらです。私たちもせっかく流していただく情報を消化するだけの力を身につける必要があります。最近ではテレビの天気予報も工夫していただいているように思いながら聞かせていただいています。今一度、テレビ画面を見るだけの人(聴覚障害者) 聞くだけの人(視覚障害者) がどのように活用すればよいのか考えた情報を流していただけるようお願いいたします。乱筆をお許し下さい。(広島県・男性・60代)
HPで色々見れる事は有難いがお年寄りの人はパソコンや携帯電	変に大雨だが、この大雨がいつまで続くのか、まだまだ続くのな

話等所持していなければHPで見る事は出来ないのでは気象庁は随時テレビでHPで見れるような内容を流してほしい。(福岡県・男性・40代)	ら危険だと判断するので雨雲レーダーを頼っているところが大きいです。(愛媛県・女性・40代)
身障者のみならず日常生活に支障はないが視力の弱い方、聴力の弱い方等にも伝わる方法を考えて頂きたいです。(広島県・男性・50代)	前に病院と橋があるため、この位置が危ないと感じた時には、カンで前日から避難しました(愛媛県・女性・60代)
大変勉強になりました。被害が大型化して参りました。今後この傾向は一層高まると思います 一人一人自分の命です 自分で守らなければ。情報が頼みです。(兵庫県・女性・70代)	この度の七月たなばた大雨災害と土砂災害恐さを知り大変に勉強になりました。皆で注意をして安全な場所へ避難する事を頭に覚えこませました。◎車でアナウンス等は雨で全く聞こえませんでした。◎大きなサイレンの音や鐘、大きな音の出るもので気付かせて下さい 宜しくお願い致します。(広島県・女性・70代)
レベル1、レベル2といった発表の方が解かり安く思います。(広島県・女性・60代)	気象庁のホームページ内をもっとわかりやすく表示してほしい。(福岡県・男性・60代)
より細かな地名で避難指示等を知りたい。例えば町名だけでなく〇丁目や〇〇川から何m以内に居住している方等。(広島県・女性・50代)	昨年のような場合は事前の情報もなく、とても避難する状態ではなく又安全な場所もない 当日は携帯も通じず自然の力には何も出来ない。あの様な雨、雷では動けない、とくに高齢者は…(福岡県・女性・80代以上)
ピンポイントの情報はもちろんの事、一人ひとりにその情報が確実に伝わる様システムの構築が必要。(個人的な行動ではなく、近隣での行動がよい。)(広島県・男性・60代)	今回の大雨で、ずっと降り続いていた印象があります。特別警報が出るのも遅いですし、今まで、どれだけ降っているのかわかりづらい。(広島県・女性・30代)
スマートフォンに届く災害情報等のエリアメールが画面をタップするとすぐに消えてしまうので、内容を確認できない。通常画面を開いた後でも確認できる機能があるなら、わかりやすく表示してほしい。(広島県・女性・20代)	地域によっても違うと思うのですが降水量がどれだけの量で警戒しなければならぬものなのか？この度の豪雨災害にみまわれたがはっきり言ってわからない。台風の時は降水量を確認しながらの避難でした。(広島県・女性・60代)
特別にはありません 今までは気象情報をテレビ、ラジオ等で知り避難してました。(広島県・女性・80代以上)	現行よりももう少し狭い範囲で可能ならば各市またはそれに近い規模に気象予報士を配置し、その地域により密着した気象情報をテレビや防災無線などを通じて周知徹底を図る制度は如何なものでしょうか。(愛媛県・男性・80代以上)
ガンバって下さい 日本の空にバリアドでもするか。(広島県・男性・70代)	空振りすることもあるかもしれないが、情報の発表をしてほしい。今回、災害にあってみて、避難指示の情報を軽くみていた。情報内容の工夫だけでなく、国民の危機管理の意識を高めるような、特集(TV)をしてほしい。(愛媛県・男性・30代)
自分の居る地域を詳細に見えるシステムにして頂きたい。(広島県・男性・70代)	自宅周辺は比較的 안전한場所に有り、雨風よりも地震が心配です。(広島県・男性・60代)
7月6日の災害で早めの避難の大事さを痛感しました。(広島県・男性・70代)	避難勧告とひなん指示の危険度が逆だと思っていて、勧告が出る時にそんなに大変な状況ではなさそうだから今回も大丈夫と思っていた。うちは高台でガケくずれの心配も全くしていなかったが、通勤道路が全く使えなくなることで想定していなかった峠道とかは全くにげ道がなくなるので早めに通行止めか周囲の整備をしないと危ないと思う峠道で警報が出ても逃げる所はない(広島県・男性・40代)

V. 巻末資料

<p>大雨特別警報が発表される前の段階で安全な場所へ避難をしても、ダムの手違いで水位が上がってしまった場合、逃げる事ができません。危険区域に住む方に伝えるのは当たり前ですが、被害が増える前にダムとの連携もちゃんとしてほしいです。防災気象情報には関係ないかもしれませんが、最善を尽くして下さい。 (愛媛県・女性・30代)</p>	<p>近くの土砂くずれ、家がつぶされた時は公民館に一夜すごしました。2回目も早くからひなんしました。(福岡県・女性・70代)</p>
<p>体に障害が有り耳が聞こえにくい。家の中にいると外の事がわかりにくい。(広島県・女性・70代)</p>	<p>今回川角地区は大きな被害に合い、多くの方が亡くなられました。被災された方が2ヶ月あまり、避難所に住まわれていました。体調を悪くされる方も多くいたと聞きます。家の前(少し離れています)の山が大きく頂上から崩れ土砂が木々を倒し流れ落ち、被害を大きくしました。道路はあちらこちらが寸断され私の息子も2日間家に帰れず車中泊でした。この後雨が降る度避難警報が鳴ります。この頃の異常気象にとても怖い思いです。気象庁の方々これからもより良い情報をお願い致します。(広島県・女性・60代)</p>
<p>早め早めの情報があれば待つことなく避難しようと常に思っています。(広島県・女性・80代以上)</p>	<p>ホームページについて。7月豪雨発生時に、見たいページになかなかどりつけなかったことがある。平常時と災害発生時(又は災害が起こりそうな時)とでは、ニーズが異なるので状況によって、ホームページのトップを変更してもらえると、より見安くなると思う。(広島県・男性・20代)</p>
<p>現在住んでいる所は山の多い山間部です 2kmの違いで雨量の差が出るので雲の流の情報が重要です。(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>・レベル1と4はどちらが小でどちらが大なのかパット見てわからない。・赤と紫はどちらが危険なのかパット見てわからない。 (広島県・男性・60代)</p>
<p>山間部に住んで居ます。台風(23号?)で近くで山崩れで二人亡くなりました。危険区域になっているので警報が出たら避難を何回かしました。引越して1年弱ですので地形の安全性みたいな部分が、よく分らないので現時点では避難しています。(自分では山崩れ等は大丈夫だと思っていますが…) ※警報等が出たら、「もしも」を考えて避難をしたく思います。(福岡県・男性・70代)</p>	<p>もちはもち屋。プロの方からの指示にしたがいたいです。消防団は素人。防さい土も素人に毛がはえたもの。お金をもらっているプロの方がもっとリードするべきです。7/7の早朝、どれだけのプロの方が仕事したのでしょうか?(愛媛県・男性・40代)</p>
<p>市内でも今は合併などで広いのできめ細い天気や雨量などをしてほしいと思います(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>天気予報は信用して生活しています。特に問題を感じた事はありません。今まで通りでも全く問題ありませんので感謝だけです。 (広島県・男性・60代)</p>
<p>土石流がとにかくこわい。そこらじゅう、土石流の通り道のようにになっている がぱっとくずれている所の土はどれくらいの雨でくずれるのかコラストーンは、どれくらいで動くのか、雨がふっている時の山や岩の様子がみたい。サイレンが鳴りすぎて、マヒしてきている(広島県・女性・40代)</p>	<p>先の7月豪雨は、自治会、ボランティアの奉仕活動に対し、心より感謝します。後1時間、早く、広報のサイレンが早ければ…(岐阜県・男性・70代)</p>
<p>危険予知→空振り大いに結構 転ばぬ先の杖早め早めの情報提供してつかあさい。(広島県・男性・60代)</p>	<p>警報の空振りは余りにしていません。細かな予報をお願いします。気象庁の皆さん頑張ってください!(愛媛県・男性・60代)</p>
<p>今回の災害では、早めにひなんして、難を逃れた人、避難しようとして、被害にあった人、ひなんしないで、家にとどまり、被害にあわなかった人、家において被害にあった人、様々です。避難するのなら、早めのが絶対条件です。しかし、1人暮らしのお年寄り</p>	<p>スマートフォンやホームページを見ない人は、テレビ等で情報を得ています。地域の有線放送も聞きにくかったり、聞き逃したりします。年をとった人が気づきやすい情報提供は何かないか? (愛媛県・女性・70代)</p>

<p>などは、動くのを、いやがります。町内で役員が車で乗りあってひなをうながすなど対策が必要、気象情報は、何日も前から注意して見れば必要な情報は、だしていると思います（広島県・女性・50代）</p>	
<p>・年をとっているので今後もインターネットを利用することはないと思います。NHKのデータ放送を見ているがデータ放送の内容を拡充してほしい。・避難指示などの区域が大雑把である。避難の必要がない安全なところも指示勧告が出されるので正確性に疑問がある。又、避難しても受け入れができない事態もおこりうるのではないかと。私の家も床上浸水（1.8m）の被害を受けたが浸水しても水流がなくよどんでいるだけなので生命の危険は感じない。今回も2階へ上るなど垂直避難をした。（愛媛県・男性・70代）</p>	<p>大雨が降っていても、周囲に河川や山がない地域では大雨特別警報が出ていても、避難しない人がほとんどだと思います。私は九州北部豪雨の被災地の者ですが、あれだけ大雨が降りましたが、周りに大きな河川があっても、川より山手の方に住んでいる人や、すぐ裏に山がない人は避難はしなないと思います。早めに情報を知るの大切な事と思いますが、実際に避難するのはその人の危機管理の在り方だと思います。（福岡県・女性・40代）</p>
<p>スマートフォンをもう少し利用できるようにならないと停電の時にテレビからの情報がなくなるのでこまると思った。（愛媛県・女性・60代）</p>	<p>アンケートは専門用語が多く、高齢者に分かりにくいのでは？又、この地区では、パソコン、スマホが無い人が多いです。テレビ、ラジオの情報は停電が多くて分からない。（岐阜県・男性・60代）</p>
<p>私達は現在門司に住んでいます。この前の災害では下関のメールがけい帯に入りあまりにも多いので、たいへんこまりました。小さく分ける事は出来ないのかと思っております 又災害があると人口も少なくなりだんだんと大都会へと引越し町内の方もこまるので残されるのは老人である このためにもこまめに情報を流してほしいです（福岡県・男性・70代）</p>	<p>今回の7月豪雨発生時、当地域の河川洪水状況等（避難に関する情報等）が全くなく、北西（当地域の）側の情報のみで、特別警報は発表されていたものの安心感があり、避難が遅れた。（岐阜県・男性・60代）</p>
<p>大雨の場合ダムも増水すると思うので警報が出るよりも前からダムの水を放流するなどした対策を取れば良いと思われます。（愛媛県・女性・30代）</p>	<p>この度の大雨、土砂災害は、山からの支流小川が山の葉、木くずが流れを遮断して、小川の橋をふさいで土砂が溢れ、下流へ行く程、大きな被害になる。山を下る道路下の小川の流れが、見えず椎木葉等で暗渠が詰っている。※広島は砂防堤のある所に団地あり。※山の清掃、雑木の伐採等が大事。（広島県・男性・70代）</p>
<p>防災気象情報はなるべくこまやかに放送してほしいです（愛媛県・男性・70代）</p>	<p>7月の豪雨災害まで、身近で危険に迫ることがなかった。これからは油断しないで早めに避難したいと思います。（広島県・女性・70代）</p>
<p>ホームページの見かたが分からないので勉強します（広島県・男性・70代）</p>	<p>近所の人々声かけあってにげる必要を今の度感じました！！現にさそって呉れたから助かった人 数人に聞き、人助けに良い事とつくづく必要性を感じました！！（広島県・男性・70代）</p>
<p>今回の豪雨災害で、ため池決壊のおそれがありましたが、避難しなければならぬという情報が消防車の巡回で知ったのでスマホのアラームや他の情報があればよかった。（広島県・女性・40代）</p>	<p>・高齢なので災害の大きさを知る事が出来ない・有線放送等で的確に示持して貰えると安心（福岡県・女性・80代以上）</p>
<p>・町内放送は聞きとりにくい。・避難指示、避難勧告など言われてもピンとこない人が多い。「必ず逃げる事」などことばを分かりやすくすると年配の人にも分かりやすい。（広島県・女性・50代）</p>	<p>私は海のすぐ側に住んで居ます かなり高齢で一人で居ますで、他人に迷惑がかかるといけないので少し大きな大風でも来そうだとすぐに姉妹の家に避難します この地方には避難所がありません 一応津波の避難訓練が有りましたが、山向いて2、300メートル歩いて上り山の入口まで行って帰りました 避難所がほしいです（愛媛県・女性・80代以上）</p>

V. 巻末資料

<p>広島県安芸郡熊野町5丁目に居住しているが、防災無線が、ほとんど聞こえない。音が鳴っているなという状況、改善してもらわないと、命の危険がある。(広島県・女性・10代)</p>	<p>まだ自分が、判断できると思っているが、たぶん具体的な言葉や言い方でないと、家の中で待ってしまう状態であるという状態がありうる年齢?になると思うので、指示的な言い方が、高いキケンの場合はありがたいです。スマホに届く防災訓練の情報を見えています。助かっています。(岐阜県・女性・50代)</p>
<p>特別警報が出た時点で自宅にいるとは限らないので移動中であるとか、職場にいたり、外出中の時の避難場所がすぐわかる機能があるのか?(広島県・男性・40代)</p>	<p>関市は東部(津保川地域)西部(板取川地域)では、気象状況が全然違う為、気象情報は、東部、西部に分けて情報を出してほしいです。(岐阜県・男性・60代)</p>
<p>早目に警報を出して欲しい。(広島県・男性・70代)</p>	<p>私の家は、川から離れていまして、遠いのでいつも大丈夫と思っ ていますが、7月におきた災害で少し身が思いやられました。今後は、気をつけたいと思いましたネ。(岐阜県・女性・60代)</p>
<p>自宅前数mに河川があり今度の豪雨災害で増水し、田・畑がすべて浸水し自宅目の前まで増水して来たので町の避難場所に避難しました。自宅裏には、竹藪がありそのに大木があり台風の時には、その大木が折れ自宅に倒れかかるのではと心配しています。(広島県・男性・70代)</p>	<p>防災は、全て、自己責任だと思う。住んでる町や場所、家によってそれぞれが、条件が違うので、色んな事を、考え、いちばん、いい方法で、災害にあわない様に行動する事が大切だと思います。気象情報は常に見ています。警報だけではなく、近くの山や、水の流れを見ながら避難等も考えています。(福岡県・女性・40代)</p>
<p>安芸区矢野東6丁目に住んでいます。県外から転勤で広島に来ており、水害にあいました。子2人は小さく、主人も自宅に居ないことも多く、水害の日も私と子2人でした。「大雨特別警報」が出ても、すぐにひなでできない状態にありました。近隣の方々によくしてもらい、情報ももらってひなんしました。もう少し早く警報が出たり、土地の情報を知っていれば早めの行動ができていたかと思えます。今だに雨が降るとこわいです。(広島県・女性・30代)</p>	<p>・一番災害の少ない場所に住んでいるので、気象庁が出される情報が一致した事がありません。だから近頃ではほとんど信用しなくなっています。もう少し小さいさな区域毎に情報が出ればよいと思う。“大変な事だと思えますが、頑張ってください!”(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>常に自宅に入れば気にかける事もできますが普段生活していると出かけた時職場等で外出することの方が多きこともあります。出来るだけ早い段階で正しい情報が欲しいです。職場でも判断が違っているので正しい知識も知りたいです。(広島県・女性・50代)</p>	<p>大雨の場合避難地所の土地が低く、我が一番安全かと思うが最近中の木が大きく被さるので山崩れも少し心配されて来ている行政がこんな時に気に掛けてくれたらよい。(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>この度の豪雨で家の前のドブに色々流れ大きな物小をおし海水と山水でドブを終がれて家の中に全部入って来て家の中は水大変な思いをし80才になって始めてと事であった昭和20年に小学校が流された時より大きくひ害にあった私は小二年生の事を思い出し宮の階段で勉強した事を思い出しました(広島県・女性・80代以上)</p>	<p>これからはきをつけてききたいと思えます(愛媛県・男性・60代)</p>
<p>アンケートに回答するのが途中であきました。公務員(行政)として命を最重要課題として対策して下さい 増税OKですが私事に使うヤツは即クビ。収支報告求ム砂防ダムつくれ。税金ムダにするな。アンケートとるからには対策進捗報告しなさい。アンケート取ることを目的とするな(広島県・男性・40代)</p>	<p>今現在報道機関等がとつてもすぐれていますので防災に関しても警報等すぐに皆さんに分かる様になっており報道をきちんと聞き、判断し行動をすることで、身の安全を守れると思っています。(福岡県・女性・70代)</p>
<p>消防団に入っているのですがなぜこれくらいの雨で出勤しなければならぬのかと思う事が多い。もっと確実な情報を提協していただきたい。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>1. 避難所までが遠すぎる2. 避難する道路に問題がある。道路がせまい。側溝が小さく水があふれる。(福岡県・女性・70代)</p>

<p>気象庁さんには関係ないですが私の居住区も職場でも自治体のスピーカーによる放送がされますが音が回ってしまって何を言っているか全く分からずもどかしいです（広島県・男性・40代）</p>	<p>気象庁のホームページ、台風が来た時など、よく見ます。しかし、少し見にくいので、アプリの「weathernews」がとても見やすくわかりやすいので、そちらも併せて見えています。特に雨雲の移動の動画が分かりやすく、それを見て、今回の7月の豪雨時には特別警報前に避難し、その30分後に裏山が崩れました。ケータイやインターネットがある時代で良かったなあと思いました。いろんなデータを気象庁が取ってくれているのでありがたく思っています。（愛媛県・女性・30代）</p>
<p>ペットがいるので車で行くべきか歩いて行くべきか考えてしまいます。特に夜間の場合（広島県・女性・60代）</p>	<p>足が不自由なため、人の助けないと動けない。（岐阜県・女性・80代以上）</p>
<p>雨がふってもその線の人がどの位地にあたるのか手前の人の所しかわからないような棒で色でしるしてあるの本州は後の人達の地位きがわからないのでこんな色わけは良くないと思う（広島県・女性・70代）</p>	<p>自治体の防災対策が不十分と考えている。山や河川の安全性を高める取り組みを自治体に指導して欲しい（広島県・女性・60代）</p>
<p>・HP等で、Q18下の図のような情報を発信されていても、こまめに見ないと気づかない場合があります。幅広い年齢に伝えるためには、気象庁のツイッターを市ごと？につくり、こまめに発信してほしいです。・大雨注意報（黄色）、大雨警報（赤）、土砂災害（うす紫）というように、色分けされていますが、色が多すぎて覚えられません。特別警報レベルを赤色にしてほしいです。（岐阜県・男性・20代）</p>	<p>スマートホンを持っていないので、あるていどの不安があります。（愛媛県・女性・80代以上）</p>
<p>もっと詳しく何百t放流するか、水位はどれくらいまで上がるか情報がほしい。（愛媛県・女性・50代）</p>	<p>最近は、正確度が増してきていましたが、今回は思わぬ災害に会い、人間の弱さを思い知りました今後は、より慎重に行動しなければと思いました。これからも防災気象情報は、多いに活用したいと思います。（広島県・女性・60代）</p>
<p>ホームページを見ることができない人も多くいます。車、バス、電車、船等いろいろなもので移動中、スーパーで買い物中の人もいます。日中だけとは限らない。どんな状態でいても、情報を聞いたり、見たりするシステムが欲しいです。（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>・この異常気象は地球全体で考える問題である（福岡県・男性・60代）</p>
<p>TVなどでこれまでにない災害のおそれ…と言われても、全く予想がつかみませんでした。雨の音で放送も聞こえず、避難しなかった事である意味命が助かったと思っています。気象庁の方も予想できない事が国民の私達にはもっとわからない被害に遭ってしまいました。これから高齢化も進み、PC、携帯では伝わらない事も視野に入れていただきたいと思います（広島県・女性・50代）</p>	<p>何時も気象につきご精進感謝申し上げます。みなさんご身体に気を付けてください。（岐阜県・男性・80代以上）</p>
<p>愛媛県今治市伯方町在住ですが、役場からマイクで放送している内容が、音がわれて、外へ出てききとれません。戸別の防災無線もないので困っています。（愛媛県・男性・60代）</p>	<p>7月7日の西日本豪雨では、大雨特別警報が出ても良いはずなのに、事がほとんど終わってから出されていたので、全く意味がありませんでした。田舎は軽視されるので仕方ないと諦めています。全てが東京中心、東京が良ければよいという考えだと思います。（愛媛県・女性・50代）</p>
<p>H. 30. 7月、西日本大洪水時、大洲市でおきた大洪水では、大雨警報から大雨特別警報までの時間があまりにも短かった</p>	<p>やはり早目にする事が第一とは判っているが、今まで危険な現状にあっていないと、つい油断してしまいそうです。7月の大雨に</p>

V. 巻末資料

<p>と思われま。大雨警報以前の状況がちゃんと把握されていないからではないでしょうか？日頃から末端の施設、管理をよろしくをお願いします。防災気象情報と関係ないかもしれませんが二度と災害のおきないようにお願いいたします。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>あつてからは早目がより良いのは実感している。(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>今回、想定外の災害で、行政の方も大変な思いをしたと思います。自助、共助、公助とあるように市民一人一人の防災意識を高めていく必要を感じました。今後一人でも、命が救われるよう祈っています。調査集計、お疲れ様です。(愛媛県・男性・30代)</p>	<p>スマホでなかったり、パソコンを常に開いていない場合、ホームページなど利用する機会を持つことができないと感じてます。何よりも自分の防災に対する意識が大切だと身にしみました。(愛媛県・女性・30代)</p>
<p>予測の精度が上がり、空振りが減少すれば、それを利用活用する人が増える。予測には、AIを導入し、精度を上げる必要がある。(愛媛県・男性・50代)</p>	<p>農業に従事しています 農作業をするにあたって明日の仕事は明後日の天候次第で決定します。故に明後日の天気予報を正確に、よりくわしく報道されることを望みます。(愛媛県・男性・80代以上)</p>
<p>気象情報で、はじめて聞く専門用語(例えば「線状降水帯」など)がでてきます。2017年の九州北部豪雨で聞いたのが最初ですがその後2018年の各地の豪雨災害のときもたびたび耳にしました。NHK、民放などでの気象情報の際、危険を伴うかも知れない情報で、そういった専門用語をあらかじめレッスンして下さい。気象庁のお仕事は、国民生活に直結します。期待しています。(福岡県・男性・60代)</p>	<p>温暖化による気象変動も予想される事もあるので、テレビ、ラジオの気象情報と市町村の対応を重視して行きたいと思います。(愛媛県・男性・80代以上)</p>
<p>レーダー、ナウキャスト・降水状態がややずれてる気がする。(降ってもないのにナウキャストでは降ってる、また逆もあり)・降水より地図が見えづらくなる。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>◎情報等をホームページで見ようといわれているが、設備もしていないし見るすべがわからない 又7月6日豪雨時全く情報も得ず、得ようとしなかったので反省している。(広島県・女性・70代)</p>
<p>・空振りでも情報は念のために出した方が良い。・ひなんは、ペットが連れていけないので、なるべくしたくない。・地震津波のハザードマップには入っていない地域だった。(愛媛県・女性・40代)</p>	<p>地域で、場所でも異なりますが、高齢者が避難する時、歩くのが精いっぱいなのに、自分の荷物、水、食物、特に毛布類をかかえての移動して下さいの放送あり、困難きわまり、ひなん場所が遠くだと「動かない」と希望せざるを得ないのでは…人背負って逃げられない 我が身で一生懸命状態と思うが、難しい問題だと思う◎全体が高齢者多大なので、特に、切に思います(広島県・女性・60代)</p>
<p>私達の地域である杷木は、28災害は、筑後川のはんらんで被害が多く出たと思いますが、今回は、地元の山、(米の山)中心に大雨でこの様な被害が出たのでおどろきました。私が子供のころ、(70年)前、里芋を米の山まで、うえつけ収穫までしていた事を思い又山林の手入は出きていたが、現在の山林は手つかず。今度の災害は、人災といわれているとうりかなあと思う。でもまさか、あのきれいな米の山が！(福岡県・男性・70代)</p>	<p>情報があつても自分に今必要なものがどこで手に入るのかわからないことがあります 結局まわりを見て自分で判断するしかないとは思いますが(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>7月7日の西日本豪雨で地区が壊滅的な被害を受けました。極力素早い情報をお願いします。(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>今回の7月豪雨の中、車で熊野の自宅へ帰る途中、熊野分かれで矢野峠を通るか熊野トンネルを通って帰るか迷ったが熊野トンネルを通り、間一髪被害をまぬがれることが出来た。その際の体験では局地的な詳細な情報が得られない中での想定外の災害に対する対応のむずかしさを痛感した。(広島県・男性・60代)</p>
<p>テレビで情報を追っているのに、停電が困りものです(広島県・</p>	<p>西日本豪雨があつた7月6日土石流があつたのですが、早めの避</p>

男性・80代以上)	難の声かけがあったのですが甘くみて結果、団地内に数時間閉じ込められ真夜中にやっと避難しました。(広島県・女性・60代)
情報もとても必要ですけど、あぶないと思ったら自分自身で安全な所に逃げるしかないと思います。(福岡県・女性・60代)	自分の居住地がどの程度の危険か安全かを経験を踏まえて対応して行くべきと思う。周囲の状況を充分把握しておれば安心である(愛媛県・男性・80代以上)
両親は年を取っていて、パソコンはもちろん、スマホもありませんテレビだけが唯一の情報源ですが、停電になったら何の情報も得る事ができません。この西日本の災害では停電になり私も回りがどうなってるのか、道があるのかわからないのかわかりませんでした。ただビクビクしながら家でジーっとしてたのです 大雨の中、電気もなくまっくらの中でロウソク1本たてて夜をひとりで過ごすのはとてもこわかったです(広島県・女性・60代)	いつも正確な気象情報ありがとうございます。とてもたすかっています。でも…わかりにくいです。(私だけ??) 洪水警報の危険度分布などは細すぎで「わからん…」と思いながら見ていたらNHKの齊田さんが深夜2時「ココと、ココ！」とマルでかこつてくれやっとな「ああ、そこか…」と理解しました。もっと気象庁さんがくり出してくる気象データを読みとく力をやしないとと思っています。気象データの見方も伝えてもらえるとうれしいです。私の住んでいる地域は悲い別れのあったとなりの地域です。3人のうち1人は息子と同じ小学校に通う男の子だったんですよ。私たちが同じ被害に合ってもおかしくなかったと思ひ生きています。(愛媛県・女性・40代)
自分の住む地域の地形や気候に、日頃から興味を持ち、自ら防災情報をとって逃げる。人まかせにしない。(広島県・女性・50代)	・土砂災害警戒区域内に自宅が入っていないためH30、7月西日本豪雨の避難情報があっても町内放送や緊急メールが届いても避難しなかった。どの場所にどの程度の被害が発生するか住民に分かり易く想定等を説明してほしい。空振りはある面で仕方ないと思うが、空振りが多過ぎると「狼少年」のように情報の信用性は無くなる。被害予測の精度をより高めてほしい。(広島県・男性・50代)
自治体の防災無線でたいおうするように(福岡県・男性・70代)	災害時、非常に短時間の間に状況は刻々と変化。どれだけ情報収集、情報処理が出来るのか「不可能な状態」も多いのでは一情報発信の可・不可と案じながら、アンケートに記入しました。(福岡県・女性・60代)
日頃から、防災情報は気をつけているけど今度、被災してみても、なおさら、気象情報が気になるようになった。(愛媛県・女性・60代)	ホームページを見ると良いと言われるが、パソコンがない場合どうすれば良いのですか?持っていて、停電の場合使えないのでどうするのか?年寄りでもわかりやすい情報や地図をお願いします。(広島県・女性・50代)
世界中が何かと心配な天候が続いて本心この世の終りかと思う事があり不安ですよネ!米国はたつ巻がスケールが違う日本のせまい所で起ってないのでまだ助かってますがこの小さな日本でおこったら…と思うと勝手ですがどうしたらよいのと思ひます。地球よ。どうぞおだやかな状態で!(福岡県・女性・70代)	今回、西日本豪雨の被災地に住んでいますが、事前の大雨特別警報は、なかった(知らなかった)様に思ひます。突然の土砂くずれでした。ハザードマップも、時々見っていますが、津波が中心で山や地形からくる危険は、把握しにくいように思ひます。田舎では、高令者や独居老人が多く(同居世帯は、問題ないのですが)ケータイやスマートフォン中心の情報提供のあり方では、危険性を伝えるにいいのではないかと考えます。※普段の気象情報もスマートフォンのアプリは、正確にわかりますが、テレビのデータ放送では、予報と異なる場合が多い様に思ひます。(愛媛県・女性・60代)
高齢なのでわかりません。宜しく願ひ致します。(愛媛県・女性・80代以上)	上流に県営ダムが有るが放流時の警報または合図が無いので不安が有る 西日本豪雨で後にスマホで148m3/秒放流されたと知り驚いた。(東広島市河内)(広島県・男性・40代)

V. 巻末資料

<p>・予報があたり易くなった気がする。・大雨特別警報が、終わった後に耳にすることがある。・警報が出ても、驚ろかない人が居るのは腹が立つ。要保護者の居る家族にその考えを示すのはもつての他である。(愛媛県・男性・70代)</p>	<p>数年前に近郊で同様な災害が発生した。危険な場所等について、事前に把握されていたと思われる。災害前の状態を災害後のテレビで放映していた(砂防堤) 災害発生前にすべき事がある。行政の怠慢である 事後の対応より、予知的処置を希む(広島県・男性・70代)</p>
<p>安全な山の上、高い場所に行く途中に川などがあって、水で橋が渡れなかったりする場合、遠回りを考えるが広い平地や畑だと少し心配。時間がかかりそう。(愛媛県・女性・70代)</p>	<p>子供でもわかるようなマップを作る事(広島県・男性・60代)</p>
<p>今回の災害時、近隣、区、町の警報の中に自区の警報が埋没し、必要な警報を見逃したことが多かった。真に必要な情報のみが届く様にならないと、どんなに有用な情報も活用されないと思う。(広島県・男性・70代)</p>	<p>防災気象情報について勉強する機会をあたえて頂きありがとうございました。(広島県・女性・60代)</p>
<p>今年、少しはなれた所で水害被害が出た。これからは人ごとやと思わず大雨特別警報に注意し避難したいと思う。(岐阜県・男性・70代)</p>	<p>もう少し簡単に情報が入手出来たら良いのでは。「土砂災害」「大雨」「洪水」と情報が多く戸惑う。ホームページへのアクセスを簡単にして、情報開示も、もう少しわかり易くしてほしい。使い易くしてほしい。「大雨特別警報」の言葉に切迫感がない。説得力がない。(広島県・男性・60代)</p>
<p>毎日テレビで気象情報を見て生活しています。今後もまわりの人と話合ったり聞いたりして自分の出来る範囲で生きていきたいと思っています。(兵庫県・女性・80代以上)</p>	<p>警報の空振りが多く、伝え方、表現を工夫しても切迫性が伝わらない。(広島県・男性・40代)</p>
<p>大雨警報などが出た次の日、晴れていても大雨警報が続いていることがH30で2度以上あった。警報の情報がきちんと出てほしい。(愛媛県・女性・40代)</p>	<p>私は、スマートホン等は持ちませんので、家に居る時が多いので警報等の発表に、テレビのスイッチを切っても、警報がわかる様な方法が無いでしょうか(広島県・男性・70代)</p>
<p>この前、全く降っていないのに大雨警報が発令されました。安易に警報を出しすぎて、かえってひなん意識を低くしてしまっていると思う(広島県・女性・40代)</p>	<p>過去の自然災害は他人事のように思っていたが7月の豪雨災害を身をもって体験し自然災害の怖さを知った。今後は気象情報を十分に活用し身の安全を図っていきたい。(広島県・男性・70代)</p>
<p>暴風雨の中で、ヒナンするよういわれてもかえって危険と思う。とくに80才も超えた年寄りは何もしない方がいいのでは?(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>現在住んでいる町で土砂災害警戒区外で死亡事故が発生しました警戒指定の見直しも考慮しては(福岡県・男性・80代以上)</p>
<p>気象庁の発表が文学的過ぎる。もっと具体的に数値表示にできないか。(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>大雨特別警報とテレビで言っていたのですがテロップでなされる地名が私が住んでいる所と方向が違うから“大丈夫”と思い寝たら午前2時半頃の防災無線でビックリして起きたら川の水が家の近くまできていてだんだんと水位が上がり家が床上浸水になり泥、泥で乾いたら“ホコリ”で大変でした。(岐阜県・女性・60代)</p>
<p>自分の家はだいじょぶと思っていた 大雨特別警報が出たら避難する(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>各自の自覚・察知など自己責任が問われると思われるが人はそれをどう行動するかがこれからの課題だと思います。(広島県・男性・50代)</p>
<p>防災気象情報感謝して居ります。(愛媛県・男性・70代)</p>	<p>近際の土砂災害があり改めて地区でのハザードマップなど地区役員などで再確認した。いつ自分達の地域で起こるかもわからない事を、自分の事として考え対応していく事が大切と思う。又、今回の事で情報のとらえ方の大切さを痛感した。より正確な情報の発進に、耳を傾けていきたい。(広島県・女性・50代)</p>

<p>テレビなどで言葉でいってもらおうのがわかりやすい 1人の時は。(広島県・女性・80代以上)</p>	<p>高齢でスマートホンなど使いません 自治体の防災メールで放送してもらおうので助っています テレビの一般放送をよく見えています(福岡県・女性・80代以上)</p>
<p>おつかれ様です ありがとうございます(愛媛県・男性・40代)</p>	<p>返信の期限を過ぎてしまいました。大変申し訳ありませんでした。(愛媛県・女性・40代)</p>
<p>治水に関してのダム操作マニュアルは最悪でアル 特に管理者のマニュアル通りの対応では洪水を大きくしている 少しも小さくなっていない ダムは治水をはずし常にゲートはオープンすればいい(愛媛県・男性・60代)</p>	<p>土砂災害がおきたらおこりうる不便とかも知ってもらいたい。(広島県・女性・20代)</p>
<p>・防災の前に気象情報を見たいと思っても(台風)テレビでなかなかやってくれないから、イライラする。・この度の土石流もここまでひどいと思えなくて、情報は出ていても考えてる内に近くの土しゃくずれで、ひなんする途中で川から水が流れて来て家に帰った。ひなん先は川を渡った所にあるから、今度からは早めのひなんをするようにする。・テレビの情報しか手に入らない(普通の天気予報)その他はわからない(広島県・女性・70代)</p>	<p>大雨でも、浸水害、洪水でも避難しないと思う。(広島県・男性・80代以上)</p>
<p>自分から自発的に情報をみることはあまりしないのでテレビなどのマスメディアに必要なことはその都度教えてほしい。ホームページの見方なども必要な場所をそのたびに教えてほしい(広島県・男性・70代)</p>	<p>今回、土砂災害を間近で経験して、感じたのは、特別警報に切り替えるのが遅かったように感じました。空振りでも良いので、午後4時ごろ出ていれば避難もスムーズだったかと考えています。(広島への発令は、午後8時過ぎだったと記憶しています。)☆早くしないと安全に「ひなん」できません!(広島県・男性・30代)</p>
<p>2018年7月の豪雨災害にあいましたが、避難指示が出た時間帯には雨も強く、道路が川となり、避難することができませんでした。(大雨の予測時間帯気象庁)と(避難準備～勧告～指示を出す自治体市町村)との連携を期待(広島県・女性・40代)</p>	<p>まさかうちは…という甘い考えが、皆さんに多大なご迷惑をかけます。早い避難を心がけます。(広島県・女性・50代)</p>
<p>現在マンション居住のためあまり危機感がありません。防災グッズを備えて早目に対応するつもりです。(広島県・男性・60代)</p>	<p>各地域で、雨量が違う為(同地域内でも)雨量計の設置を各河川ごとにお願したい。水位計では、あまり参考にならない様に思える。早めの避難の参考にしたい。(福岡県・男性・60代)</p>
<p>椋梨ダムの下流に住んでいるが、気象庁はダム管理者に対して。事前に連携して。前もってダムの水を抜くなど今後の雨の量などの予想など提供しては、どうか?このたびの災害は、ダムの放水の出しすぎが原因だと思っている。バカタレ(広島県・男性・70代)</p>	<p>大雨特別警報が発表されても避難場所(集会所)の方が危険だと思った。実さいに水がついた。夜中に避難するにも大雨でできなかった。気象情報はずーと見ていたが、どうする事もできずに家にいた。気象情報を見ても祈る事しかできなかった。(岐阜県・女性・70代)</p>
<p>警報はNHKだけでなく民放も最優先で放送して危険をいしきさせるべき現状の人ごとみたいな気象庁の会見では全然危険度が解らない(広島県・男性・50代)</p>	<p>今までの環境とは変化していることを理解したので今後は「避難する」タイミングを考えようと思いました(福岡県・女性・40代)</p>
<p>・全ての気象情報について、かなりの精度とスピードで情報が得られているので心強い。・各情報用語について、住民の理解が不十分であったり誤解があると感じる。・TVでの情報は用語の解説をしながら伝えてくれているのでわかりやすい。(広島県・女性・60代)</p>	<p>特にない(広島県・男性・70代)</p>
<p>高潮になれば1mで浸水になるので何年も前からその対策とし</p>	<p>ハザードマップの見方がよくわかりません。近所との付合いもあ</p>

V. 巻末資料

て1. 5mの波よけをして頂く様願して、何度も調査をして頂いたけどその場所で災害がなければ対応していただけない。(愛媛県・男性・70代)	まりないので、どの場所にいつ避難するかわからなかったのですが、今後は早めに避難するようにしたいと思います。(広島県・男性・60代)
・年配の方がもっと危機感をもって避難できるような知らせ方を工夫してほしい。※7月の豪雨の時に、祖父母が「どうせ大丈夫よ」と全く避難してくれなかった。(愛媛県・女性・10代)	ひまわりが見たい。台風の時に。(愛媛県・女性・70代)
避難場所等に避難者が集中した場合駐車場等が少く避難しにくい。大雨特別警報が発表された場合に避難しようとしても風雨が強く避難しにくいのでいつ避難したらよいか迷うことが多い。(愛媛県・男性・60代)	特になし。(愛媛県・女性・60代)
1. 私共はテレビの情報をずっと見ている状態です。優しい言葉でなく強い口調で言って下さい。(絶対に) 2. 今まで安心、安全と思って過ごしてきましたがこれからは一日一日その日の天気と共に自分自身も考えます。不平、不満は個々あります。(私はありません)でもこれからも情報をお教えて下さいお世話になります。(広島県・男性・60代)	H30. 7/7の豪雨災害時、避難勧告や指示が出ていないか、チェックはしていました。結局、私の住んでいる地域には、なかなか出ず、自発的に怖くなり避難した。停電もしていたので、なかなか通常時のような気象情報が入ってこなかった。ゲリラ豪雨のようなもの凄い雨が降る予報がある場合は、町内放送等、周知する必要があるのかなと思います。現在も土砂崩れのあった現場は雨の日に通行するのが怖いです。西日本豪雨で被害の有った地域には、大雨の情報を詳細に教えて欲しいと思います。(愛媛県・女性・40代)
ダムを流す場合は下の人達のことを思ってもっと早めにたいしょしてほしい。多くの人々の生活を大切にしてほしい。(愛媛県・女性・50代)	気象庁の方々の努力に感謝しています。これからも国民に対する警報等を発信して頂きたいです。(広島県・男性・40代)
私は老いて逃げ遅れは仕方ないと思う。余り情報に責任は無いです。今までどおりでこんなアンケート無意味と思っています。天気予報等(又国費ですよね)(広島県・男性・70代)	警報や避難勧告など適切な時期に早めに発令しているようだが、これまでは「そうは言ってもまあ大丈夫だろう」とたかをくくっている住民も多かったと思う。今回西日本豪雨で被災した地域に在住しているが、今後はこの災害が教訓となって、自分の命を守るために早め早めの避難を心がけるようになるのではと思う。(愛媛県・女性・40代)
わが地域にて土砂災害(7月6日)が有り自然災害を身近に感じ恐怖の年でした。これからも災害に備える必要性を感じました。只避難場所に指定されている小学校と体育館の方が土砂災害が恐い場所です。(広島県・女性・60代)	「避難指示が出ているよ。避難して!」と回る消防団の人の危険が心配。人が回らなくても、地区や戸別に無線で知らせるシステムがあればいいのに。(秋田県・女性・50代)
気象庁orマスコミが原因か判りませんが“アオリ報道がひどすぎる冷静な予報が必要。予報と結果をリンクして解説すべき“全て言いばなし”では信用度が低い。(広島県・男性・70代)	命は助かりたいけれど何ごととも運命ですので(広島県・女性・70代)
世界中異常気象で今後どこで何が起こるかわからないということをもっともっと言うべきだと思う。7月に被災したが実際自分がこうなってみないと何を言っても聞いてもやはり「他人事」だったと思う。まさか自分の地域が…いまだに信じられない気持ちがある。(愛媛県・女性・50代)	小屋浦に住んでいる者ですが、現在の坂町の行政では、無意味に感じられるように思えます。気象庁が、きちんとしていただいても坂町の市役所が、放送する時とか、分かりやすいように、言葉をえらび放送するとか、考えて、くれないと現状聞きとりにくい場所もあります。こちらの(私の意見)坂町の行政に見せていただいてもよろしいので今回のアンケートのお願いこの度は、広島の方が主だったみたいですが、他県でも、このようなアンケートのお願いされて見たら良いと思います。(広島県・女性・50代)
・避難するにしても小学校(学区内)1ヶ所だけだと思うとちょ	天気情報は注意して見えています。町内会長をしていると、早目に

<p>っと考える（非常でなければ）多分家にいると思う。・何でもかんでも「ホームページ」とか「検索」とか言われてもパソコンもスマホも持たないものにとっては意味がなくテレビの気象特別番組を見る事しかできない。・34年前に山崩れにあい身にしみてはいるもののいざ避難となると（午後2時頃）明るい時はいいけれど年をとっているものにとって暗くなってからだが多分家にいると思う。（広島県・女性・70代）</p>	<p>避難させるため、その為に今年も町内の老人には特に早目に報告しています。気象状況は助ります。（福岡県・男性・70代）</p>
<p>我が家はこの度の西日本豪雨災害で沢山の被害が出ました。広島市安芸区矢野東7丁目です。お陰様で当家は被害に会いませんでしたが娘は通勤出来ず2週間ホテルに避難していました。私達夫婦は指示が出る度にホテル別宅へ明るい内から避難致しました。全然空振りでしたがとても大事な経験を致しました。今後も指示に従うつもりです（広島県・男性・70代）</p>	<p>現在地に住んで37年間、これほどに（5人も近所の人が亡くなられて）大きな災害に会った事が一度もなく、油断していました。これからは、テレビのdボタンを押して、ひまがあれば見る様にしたいと思います。（広島県・男性・80代以上）</p>
<p>7月豪雨の際、雨雲の動きを注意（スマホで）していて早めに避難したので（車2台を移動して助かった）家は大規模半壊したが、命は助かりました。（床上160cm）御庁の特別警報と雨雲レーダーのおかげであり感謝しています。岐阜県関市上之保15010-2 長尾 利久夫（岐阜県・男性・70代）</p>	<p>今回の西日本豪雨災害は今だかつての危険を感じ命の大切さを感じたことはありませんでした。現在は、いつ、どこで、何がおこるかかわからないと、恐怖心があります。だから、気象庁の知らせは、第一号です。私は独居なので、早めに行動したいと考えております。（愛媛県・女性・80代以上）</p>
<p>私達が住んでいる場所は、肱川流域であり、常にダム放流、川の状態を確認しています。放流量を早めに放送あったりしますが、以降増量しても放送されていません。今回7/7大洪水被害では、過去経験したことない野村ダム3700t放流されたそうです。しかし、我々には全く、放流量を知らされる事なく、逃げる事もできず大変な被害にあい恐怖が未だによりがえります。せめて放流量を何らかの方法で知らせてもらえればと思います。今後は、ダム放流量も加えて未だに自宅で住む事ができません。メディア、ホームページで提示して頂ければと思います。（愛媛県・男性・50代）</p>	<p>今回の土砂災害に至る雨は経験からは想像不可能な雨が狭い地域に集中的に降りました。自分の生活と命は自分で守るという意識がきめ手だと思いました。「この雨」は違うと強く危機感を、持つ事が重要だと思います。気象情報の送り手も受ける側も、TV、ネット等の言葉の使い方、聞き方、考えているところです。（広島県・男性・60代）</p>
<p>もっと単純でわかり易くして下さい。地域は、高令者ばかりで、人をたよれません。特定の避難場所の開設は、いつでも24時間出来ませんか。この度の避難勧告は、有りましたが、車の運転も、出来ない状態でした。特に夜は、困難です。（広島県・女性・70代）</p>	<p>7月の大雨警報が出た後すぐ、避難する為に車で避難所に行ったのですがまだ開設しておらず近くの知り合いの家に、急遽避難せざるをえませんでした。早目の対応をお願いしたかったです。（広島県・女性・60代）</p>
<p>実際に災害を経験し、気象情報を利用することが多くなりました。災害時、東京に関係する場合は、頻回に情報提供がありますが、地方の場合は、情報提供が少ないように感じています。地方の場合でも十分な情報提供をして欲しいと感じています。（広島県・女性・60代）</p>	<p>空振りをおそれず早目の避難を学びました。（広島県・女性・60代）</p>
<p>危険箇所をより具体的（場所）に詳細に報道する様にしたいと思います。範囲を小さくして、より深い内容とする事を望む。（広島県・男性・60代）</p>	<p>西日本豪雨災害では、6日朝に警報発令されたことにより、子どもたちの小学校が休校となり、私自身も無理を言って仕事を休ませてもらった。元々、土砂災害警戒区域と過去に氾濫した川の前に自宅があり不安だったため、当時気象庁が予報として出していた天気をスマートフォンで細めに確認し、市の指定していた避難所に身を寄せた。その後、大雨特別警報・市内全域に避難勧告が</p>

V. 巻末資料

	<p>出て自宅は無事だったが裏山崩壊のおそれや、停電・断水が続いたため1週間避難所ですごし、その後1ヶ月義実家で過ごした。目の前で家屋が土砂とともに流され知人が命をおとし悲しい日々を送ったが、子どもたちを安全に守れたのは、早くから出してきていた大雨の予報のおかげです。降水量の予報も避難しようと思えました。過去にないような数値だったので、とにかく子どもたちを守るために早めに行動できたのがよかったです。ありがとうございました。(広島県・女性・30代)</p>
<p>インターネットとかスマートフォンは持ってなく利用することが出来ない(広島県・男性・60代)</p>	<p>早めの避難が必要であることはわかっているが、隣近所までが遠く、坂道でもあるため、一人で逃げることは難しい。(広島県・女性・80代以上)</p>
<p>農家ですので1日に天気予報を3回以上見えています(岐阜県・女性・70代)</p>	<p>パソコンはあるが、使えないので、どうしてもNHK(テレビ)を見えています。それによって行動をおこそうと思っていますが猫2匹いるのでおいていけず、そこを思案しています。この7月の大雨の時も色々考えましたQ19テレビで見ますがこれほどくわしくない様に思います。パソコンを使えるようおしえてもらおうと思います(広島県・女性・70代)</p>
<p>この度の災害でTVで情報を見る事が多かったです。地域の放送がからぶりに終わる事も何度もありましたが、仕事等に行っていると、放送だけが聞こえ不安がつのりました。アンケートをとる事で今以上に良い物を作ってもらえたらと思います。(広島県・女性・40代)</p>	<p>西日本豪雨災害で、身近に大きな土砂災害が起き、尊い生命が失われました。道路の寸断や交通機関や物流への影響で直接被災はなかったものの、生活が落ち着くまで3か月間を要しました。防災気象情報があるお蔭で、早めの避難も出来、安心して生活が来ております。たとえ空振りがあったとしても、より精度や利便性の高まった情報を取得し、自分の身は自分で守る姿勢が大切であるとあらためて痛感しました。今後とも宜しくお願い致します。感謝(広島県・女性・50代)</p>
<p>この度の災害を受け、情報を取りに行く大切さをまなんだ。「命に危険が迫っている」というもっと判りやすい表示が必要と思う「信号機のように」(避難準備→勧告→指示)わかりにくい。・土砂災害を経験し、我々はとても雨に対し敏感になっている・今後の南海トラフも事前にわかりやすい対策を講じる必要があると思う。被害を最小限にとどめるために。(広島県・女性・40代)</p>	<p>このごろは天気予報が良く当たっている(広島県・男性・70代)</p>
<p>停電でTVからの情報が得られない時に、スマホでの情報を分かりやすく発信していただきたい。自治体や消防車からの呼びかけは、聞こえにくく、混乱してしまいます。(広島県・女性・50代)</p>	<p>高解像度降水ナウキャストの雨雲の移動予測が単調すぎるように思うことがある(予測は難しいのでしょうか) (福岡県・男性・40代)</p>
<p>被災を経験した事で防災気象情報への関心は高まった。命を守る為には早目の行動がとれるよう、今後も意識して行動に移していこうと思う。(愛媛県・女性・60代)</p>	<p>ダム放水時、警報、放水告知が今までは聞こえていましたが、今回の災害時は、聞えなかった。地域の方も皆いわれていました。東広島市河内町中河内(広島県・女性・50代)</p>
<p>防災気象情報に対するものは殆んど知らなかったテレビ情報のみであった。もっと信頼の出来る情報が欲しいです。(広島県・男性・80代以上)</p>	<p>体が元気で自分で動ける場合は、何とかなる意識が強い。避難する限度を判断するのが難しい。(広島県・男性・70代)</p>
<p>7月の災害では、特別警報が出る恐れは、テレビの報道より他県だと思っていたので大雨でも避難は考えてなく、家事とかをしてホームページをチェックする間もなかったので、スマホにエリアメールが来てあわてて準備をして家を出ました。スマホで簡単に</p>	<p>ハザードマップがあるのだから、前もって、対策をねってほしい。私のエリアは、地デジがとどきません。総務省に聞いてもなにも返事がありません。(広島県・男性・60代)</p>

調べる機能があるのなら利用したいです。(広島県・女性・50代)	
子供時代より大雨の時のふり方量などは、祖父母達に聞いていた事が今だ身に近く地域をしておく事が大切に思います。自分達が若い人達に話しておく年と成りいち早く情報のわかる時代命は大切に守りたいと思います。(兵庫県・女性・70代)	数年前にもダム放流で、当地方は浸水害を受けていたのに、また今度も、一度に大量の放流をされた。もう少し、放流の仕方(量、時期など)を考えて、対応していただきたい。(愛媛県・女性・70代)
今年7月の西日本豪雨のとき、雨の音、サイレンの音、携帯の注意メール、消防車のサイレンいろいろな大きな音のなか近くで土砂くずれがありました。しかし当時刻は何がおこったのかまったくわからず翌日テレビニュースをみて知りました。数日前より雨が降り続いており、地盤の含雨量が異常に増えた為のようでしたが、またいつこのようなことが起こるかわかりません。実際の総雨量の他に地盤の含雨量ももっと報道があると良いと思います。(広島県・女性・50代)	今後益々の気象予報の進化を期待します。(広島県・男性・70代)
年、年、気象災害が大規模になって来ています。気象庁の確度の高い情報を大切にして、行動を起こしたいと思っています。期待しています。お願いします。(岐阜県・男性・70代)	空振を感謝しなければと思っています。(広島県・男性・80代以上)
初めて記入しました。大変良いと思う。(福岡県・女性・60代)	Q21にも書きましたが、空らぶりでもO。Kと思える人間と、そう毎回避難を…と考える者が居る難しい家庭内でも葛藤があります。(そこはもう自己責任に成ると思いますが。)日が暮れての避難はとても危険も高まることもあるので、早々と…したい気持ちと様子を見ながらと思う気持ちが交錯します。今回は停電もしていたらTVは見れないラジオとかになります(情報源)ケータイ、スマホは充電がなくなれば情報は得られないので、あまり、使わないように思ったりしました。自分の住む地ばんのことなどを知りたいと思いましたし、私達にも只、ここは危険区域ですよだけではなく、こういう土地性なのでといった各々にちなんだ詳しい情報をまぜてもらいながら、説明会があっても行かなければそのままになるので、説明会に来られない、行こうとしない人もいますので、文書にして頂いてのフォローもして頂けると助かります。※この地区はこれ位の雨量で災害が起きたとかの詳しい情報とかあると切実さが良いと思います。(広島県・女性・50代)
小学校もまわりが非害にあい、どこにひなんしたら大丈夫なのかわからない。各地域ごとに安全がある所を知りたい。マンションの方が安心な気がする。(広島県・女性・30代)	今までは、大雨特別警報が発表されても、自分の地域は大丈夫だと思っていたが、7月の水害で、自分の所も安全ではないと思うようになった。今後、防災気象情報を注意したいと思う(岐阜県・男性・60代)
・気象情報の精度のより高い情報を望みます。・地震の情報の高度な発展を期待します。(愛媛県・男性・70代)	津波、高潮はあまり心配はしていない海からはなれている島に住んでいるので、西日本被害は地域によってバラつきがあり自分の住んでいるところは少なかった。でも山がくずれれることも考えとかないと。(愛媛県・男性・70代)
7月7日の大雨で床上1mの水がつかまりましたのでその後の台風の時1度は姉の家に(車で30分)所へひなんしました。2度目(24号だと思う)時は上之保小学校へひなんしましたが私(地区)1人でとてもはずかし思いをしましたこれから先がとても心	大雨時は町内放送は音がわれ、全く何を放送しているのか分からず、テレビや気象庁HP、SNSで情報をあつめました。今年はずっと、気象庁HPの暴風や高潮などの危険度を時系列で色分けした図はとても助かりました。(愛媛県・女性・30代)

V. 巻末資料

配です（岐阜県・女性・70代）	
せっかく便利な機能があるのに認知度が低いともったいないなと思いました。（広島県・男性・10代）	九州北部豪雨で実際に被災しました。仕事も高齢者福祉で目の前で川が決かいし、利用者を避難させました。知り合いも犠牲になり、本当に災害はすぐそこにあると実感しています。情報は少しでも早くリアルタイムに欲しいです。今後とも宜しくお願いします。（福岡県・男性・40代）
避難場所の環境がもう少し整っていれば良いと思います（広島県・女性・50代）	高齢者への情報提供用の便利アイテムの開発（広島県・男性・50代）
大雪のとき、この地区は大雪のとき警報がでずに歩いて子どもが登校し、空振りの時、警報で休校になったりする。ある程度学校の探はいで休校を決められないものか（兵庫県・男性・40代）	テレビも停電になれば見れず、ラジオだけの情報だけでは表示されず、スマートフォンも使えず、意味があるのだろうか！今回、災害を経験して、何も役にたたず。（愛媛県・女性・60代）
気象庁のHPなどは、なかなか自発的に今まで見ようと思った事はない。今回の災害で色々知ったが、もう少し、分かりやすく周知して欲しい。HPリニューアル時などTVや町内広報などにピラを入れるなどしてもらえたらありがたいです。（広島県・男性・40代）	地域ごとのより詳細な情報が提供されることで、危険性の認識がさらに高まると思う。（広島県・女性・50代）
・浸水を防ぐための土のう土のうに入れる土がないため防ぐことが出来なかった。・急に水位が上がって逃げ場所を失った。・避難のタイミングなどなど動くことが出来ない。（広島県・男性・60代）	身近な地名を詳しく、具体的に発表してほしい。（どこまで水没するのか）（愛媛県・男性・60代）
大雨が降っても安心出来る様水の通り道とかダムをしっかり作ってもらいたい（気象庁に云ってもしかたないけど）（広島県・女性・40代）	防災行政無線で、普段のお知らせも多いので、「又、大した事じゃないのかな？」と注意しない事がある。お知らせと、緊急時等の呼び掛け音を変えたりする方が、注意を引けるのでは？と思います。洪水の時、「第1堤防堰を越えました」と放送されても場所がよく分かりません。具体的地名の方が分かり易く避難の目安になると思います。放送をきく全ての人が、防災マップで堰の場所を把握しているとは限らないので。（愛媛県・女性・40代）
ハザードマップをメッシュで区分けすることも良いが、川などからの高さ（標高）を加味しないと、低い場所でも、メッシュの区分け位置によっては、危険度に差が出るのではないかと思います。（広島県・男性・50代）	警報のお知らせを何回もお年寄りにも良く分るように放送してほしい。（愛媛県・女性・70代）
今回の身近での災害で自然災害の大きさが身にしみて判りました。早目、早目の行動を心掛ける様にする事が大切だと良く判りました。自分達で出来る事を地域でとり組み協力して命の大切さを一番に考えて行きたいと思います。（広島県・女性・60代）	各家ごとの土砂災害、洪水災害の危険を数値でわかると良い（岐阜県・男性・60代）
気象庁のホームページはあまり見る事がありません テレビ等のニュースを参考にしています。今後は、ホームページを見て確認をします。（福岡県・男性・60代）	町内のスピーカーが雨が降ってなくても聞こえずらい。一番重要な部分がほとんど分からない。戸を開けて耳をすましてもやっぱり分からず、不安です。どうにかならないものですかね。（広島県・女性・40代）
気象庁の危険度分布について知らなかった事もあるが、前回の災害時に治地体からの避難指示が出た時には既に避難ができない状況になっていた。うす紫の時点で災害発生確率が非常に高く、紫になった時点では災害が起きていておかしくないとするのであれば、なぜうす紫の時点で避難指示を出さないのか。（広島県・	P3、P7、P8の図色あい（色割）書体文字サイズなど考えて見なければいけないような見づらさを感じましたどの年齢層にももっと受け入れやすいようなわかりやすさ見やすさがほしいのと高齢者はPCスマートフォンの操作しない人も多いですね。（岐阜県・女性・50代）

女性・20代)	
雨が降る雲等を5分間隔でデータ放送されるのでわかりやすかった。(福岡県・男性・60代)	田舎は特にインフラ整備が遅れている。災害情報を知るにもw i f i環境が整っておらず、4Gや3Gの電波も届きにくい。w i f iを無料で利用できればスマホさえ持っていれば緊急時でも対応できると思う。全ての計画が都市を中心に考えられており、山間部や農村部は置きざりになっていると感じる。H30、7月西日本豪雨は山間部で多くの被害が発生していることを国の職員は目で見て肌で感じてほしい!(広島県・男性・40代)
自身に災害に対する事に感心がなければどんな時でも無感心となりますが、何時も気軽に見ているテレビ番組などで気象情報をまめに知らせてもらえると気楽に目にする事が出来るのではないかと思いますのでこれからも気軽に危険度を知らせてもらえる様にしてもらえたらいいと思います。(広島県・女性・70代)	市町村合併により、拠点が粗くなり、合わないと思われる時があった(7月の集中豪雨) 拠点の見直し、増設。夜間の対策、現在の状況(映像)をくみ込んだ(災害の)情報、子供にも興味を持ってもらえる、キャラクターやアニメを使った放送、(子供が大人を動かす。)(岐阜県・女性・60代)
水害以降、停電、交通遮断、新聞も来ず情報が入らず困った。(広島県・男性・80代以上)	年配者は、ホームページが判らない。(岐阜県・男性・80代以上)
このたびの土砂災害では早くから停電となり災害情報もみずらく、又意識も低かったので気を付けたいと思う(広島県・男性・70代)	・避難所の受け入れ人数の不足で、避難を躊躇することがある・ピンポイントでの情報を知りたい。(広島県・女性・70代)
気象庁発表の地域分けがおおまか過ると思う事がある(特に一般天気予報等の時)・例・東日本西日本、北海道の分け方が多い様な気がします。・九州北部、南部の分け方※九州、西部、東部、中部、南西諸島等(福岡県・男性・60代)	今年は本当に怖かったし、とても大変だった。(広島県・女性・50代)
特になし(福岡県・女性・50代)	今回の豪雨災害で被災しましたが、毎日降り続く激しい雨が災害になるとは思いもよりませんでした。警報が発令されていればテレビやインターネットで情報収集を行いはしますが、それらの情報がどのような現象や災いにつながっていくかは点ではなく線で、時間経過とともに判断していくことが大切だとこの度痛感しました。災害が増えている昨今これからもそれぞれが今後の予測を立てながら行動し判断できる情報発信をお願いいたします。(広島県・女性・40代)
避難などもうしたくないけど雨の日はいつでも避難する様になっています。(広島県・女性・70代)	今回西日本豪雨災害で地域の多くが被害を受けました。→土砂災害で亡くなられた方もあります。(近所で)自宅には被害はなかったものの、誰も住んでいない古い家は床下浸水被害がありました。今回は大雨特別警報が出されるレベルだったのではないかと考えます。被害が想定を超える災害となったかもしれませんが、早目に警報、特別警報が出されると安心です。(愛媛県・女性・50代)
最近の災害はどこにあるか分からないし、事前に予報する事はむづかしいと思うが事前に行政等が把握しておくべきだ(福岡県・不明・70代)	P7の活用例の関連性がわかりにくい!!(このアンケートは設問が多すぎて、興味のある人しか回答しないのでは?と思われる。)(広島県・男性・60代)
空振りでも早めの情報がほしい。全国各地の安全な避難場所を作ってもらいたい。私の町では首長が場所をきめている気がする。広島安芸郡坂町(広島県・男性・70代)	避難については、同じ場所でも危険度には差がある場合があります。日頃から危険箇所を調べておき、「自分の身は自分で守る。」という事を、あわせて周知していただきたい。情報をすみやかに周知していただければ、判断は各自で行うべきだと考えていま

V. 巻末資料

	す。気象庁がすべての判断や責任を負う必要は無いと思う。(広島県・男性・40代)
今回の被害に遭われた方々がたくさんいます。今後同じようなことがないよう、早めの対策が必要だと思いました。お年寄りの方々はスマートフォン、携帯をつねに見る環境にないと思いますので、TVでつねに流すなどお知らせ情報を徹底するべきだと思います。逃げ遅れがないようにしたいものです。(広島県・女性・30代)	危険な状況は早めに全員に知らせるようにしなければならないが、「狼少年」にならないようにしなければいけない。(広島県・男性・60代)
熊野防災無線は大雨時には、何を言っているか全く聞きとれず家の中に設置するタイプを国で配布、設置して欲しい。(広島県・男性・30代)	ホームページを見ない(じじ、ばばはどうすればいいのかと思う。(愛媛県・男性・30代)
同じ地区の隣の〇丁目では甚大な被害があったけれど、こちらでは特に影響はなかった。指定されている避難所は土地の低い場所にあり、まわりに崩れるものない地盤のかたい自宅にいる方が安全と判断して今回は避難しなかった。警報など地区ごとに出されるけれど、個別の事情で判断すべきところもあると思う。(広島県・女性・50代)	この度、初めて地域で土砂・土石流が発生し、火失も起きました。人も死亡しました。今まで大きな災害に合った事が無かったので人事と思っていました。災害の気象情報もスマートホンでみられるようになったと説明があり、早めの避難を考えないといけないと思いました。自然災害でもあるけど1人1人が自己責任の重みをもう少し考えて行動すべきだと思っています。(広島県・女性・70代)
ケータイなどで降水量を気にすることはあっても、土壌雨量指数を気にする事はなかった。地域でどこが土砂災害警戒区域かは知っていたが、どのくらいで避難すべきかは家族で話した事がなかった。(広島県・女性・30代)	世の中にある監視カメラを災害時には上手に利用できる仕組みを構築して欲しい。(広島県・男性・50代)
特別警報が空振りでも何ら不満に思う事はありません。避難せずに災害にあっても自己責任だと自分自身は理解しています。(福岡県・男性・60代)	今まで何度も家が浸っているので、どのタイミングで避難するのか、何となくわかっています。近所の方も、昔から住んでいる方も同じで、声かけあっています。何度も水害が出るのは、自治体が対策をとってくれないから、と何十年も言っているのです。川底の砂を取らないと、堤防をいくら作っても、水が出る度、砂がたまっているのに、と憤りを感じています。気象、防災をもっと積極的に取り入れなければならないのは、自治体だと思っています。(愛媛県・女性・40代)
前ページにも書きましたが高齢の一人暮らしです。前回の水害時はたまたま子供が居たので良かったのですが一人だとどうして良いかわかりません。御近所さんとの声かけなど地域とのかかわりがとても大切だと思いました。(岐阜県・女性・80代以上)	ダムの放流は真面目にやる様に。(愛媛県・男性・70代)
今後、気象庁のさらなる正確な情報により、県市町からの情報を受けて自治会の住民への指示を徹底して行く仕組みを機能させてほしい。(広島県・男性・80代以上)	今年は大型台風の風による災害が多かった。風の危険度も、雪のように、色に分けて、発表してほしい(福岡県・男性・30代)
避難時の言葉の解釈が難かしい。より具体的に優しい(わかり易い)言葉にして欲しい(福岡県・女性・60代)	今までのハザードマップでは(市が作成)私たちの地域は凡例にかくされて見る事が出来ませんでした。又、今回作成されるマップはアウトソーシングされる様です。気象庁や、防災のプロが関り、より精度の高いハザードマップが作成されるのが望ましいと考えます。市町村等の自治体へ働きかけられる様になることを希望します。(福岡県・男性・60代)
川はありませんが山が近いので油断はできません(福岡県・女	7月のごう雨災害ではずっと、警告が鳴らされていたが、実際に

性・80代以上)	のような被害で、どこの道路が通れない等詳しい状況を教えてほしい。(広島県・女性・40代)
気象情報により想定される主な道路情報も必要。(福岡県・男性・70代)	福岡県朝倉市杷木に住んでおります。九州北部豪雨では、私自身は被害に遭っていませんが、大変怖い、不自由な思いをしました。しかし、この経験を通して、どこに住んでいても、誰でも被害者になり得ると感じました。これは、本当に!!!全ての人にわかってほしいですが、皆さん、意識が低いように感じます。一番最悪のことを考えて行動してほしいです。また、その地域に長く住めば住むほど、変な自信をもち、“大丈夫”とひなんしない方も多かったです。(福岡県・女性・30代)

自由回答一覧（インターネット調査）

Q5.大雨注意報や大雨警報、台風情報は何かから見た（聞いた）ことがありますか。（いくつでも）／11.その他 具体的に：__

地元の無線放送（岐阜県・女性・40代）
インターネットニュース（神奈川県・女性・60代）
自治体の河川情報、ライブカメラ（兵庫県・男性・70代）
米軍（沖縄県・男性・30代）
ネットの天気予報（静岡県・男性・60代）
ネットニュース（茨城県・男性・60代）
yahoo!（千葉県・女性・50代）
市政便り（千葉県・男性・70代）

Q9.あなたが「危険度分布」を見た（聞いた）のは、どんなときでしたか。（いくつでも）／5.その他 具体的に：__

市の広報などで資料などが配布されたとき（長野県・女性・70代）
大雨にあって（佐賀県・女性・60代）
市の広報にて（宮城県・女性・60代）
前から（千葉県・女性・40代）
日常的に（栃木県・男性・40代）
研修（熊本県・女性・20代）
知りたいとき（熊本県・女性・60代）
自治体から書類を受け取った時（福岡県・女性・30代）
激しい雨が降り始めた時（神奈川県・男性・40代）
なし（愛知県・女性・60代）
現住所に転居を決める前（沖縄県・男性・60代）
防災訓練（鳥取県・女性・60代）
マップが配られた時（栃木県・女性・30代）
情報番組で紹介されたとき（広島県・女性・40代）
地域・職場の避難訓練前（東京都・女性・50代）
参考に（大阪府・男性・60代）
忘れた（栃木県・女性・60代）
特に見たことなし（山口県・女性・70代）
防災の講義（愛知県・女性・30代）
災害地域の危険度分布（北海道・男性・60代）
なし（広島県・女性・30代）
地域回覧が回ってきたとき（群馬県・男性・40代）
職場で（大阪府・女性・60代）
人から聞いて（東京都・女性・30代）
避難訓練の前日（石川県・男性・70代）
通常時（山口県・女性・60代）
ニュース（千葉県・女性・40代）

危険度分布を知ったとき（愛知県・女性・60代）
見てない（静岡県・男性・60代）
現場の計画書類作成時（茨城県・男性・40代）
引っ越し検討時（東京都・男性・30代）
住宅の購入時（岐阜県・女性・20代）
仕事の関係上（愛知県・男性・20代）
浸水地帯なので、敏感にチェックしている。（高知県・女性・60代）
yahoo!（千葉県・女性・50代）
業務上（和歌山県・男性・20代）
村の防災訓練に参加した時（長野県・男性・60代）
何でもないとき（茨城県・男性・60代）
引っ越した時（神奈川県・男性・20代）
興味を持った時（千葉県・女性・50代）
家を建てる時（神奈川県・男性・30代）
見てなかった（東京都・男性・40代）
このようなサイトがあることを知った時（千葉県・女性・70代）
みたことはない（東京都・男性・20代）
日常（神奈川県・男性・70代）
市からメールが届いた（北海道・女性・70代）

Q10.「危険度分布」は何から見た（聞いた）ことがありますか／11.その他 具体的に：__

自治体の配布物（栃木県・男性・40代）
ポスター（鳥取県・女性・60代）
マップが配られた時（栃木県・女性・30代）
広島市のホームページ（広島県・女性・40代）
チラシ（鹿児島県・男性・40代）
忘れた（栃木県・女性・60代）
見たことなし（山口県・女性・70代）
防災の講義（愛知県・女性・30代）
自治体の回覧板（愛知県・女性・40代）
覚えていない（群馬県・男性・40代）
家族から（愛知県・女性・20代）
主人から見せてもらった（神奈川県・女性・40代）
直接話題で（東京都・女性・30代）
自治体のホームページ（岡山県・女性・30代）
自治体発行のチラシ（新潟県・女性・60代）
携帯で調べたニュース（千葉県・女性・20代）
防災訓練の時（神奈川県・男性・50代）
夫（愛知県・女性・60代）
見てない（静岡県・男性・60代）
防災に関する研修（島根県・男性・30代）
自治体から自宅に配布された（富山県・女性・70代）
ネット（茨城県・男性・60代）

V. 巻末資料

ポストに入っている紙の媒体。(高知県・女性・60代)
yahoo! (千葉県・女性・50代)
自治体提供資料(和歌山県・男性・20代)
村の防災訓練に参加した時(長野県・男性・60代)
防災マップ(茨城県・男性・60代)
自治体の冊子(神奈川県・男性・20代)
市政便り(千葉県・男性・70代)
一般Web 掲示板(千葉県・女性・50代)
見てなかった(東京都・男性・40代)
みたことはない(東京都・男性・20代)
自治体ホームページ(神奈川県・男性・70代)
自治体の配布地図(千葉県・女性・60代)

Q11.「危険度分布」は、上記の機能のほかに、どのような機能を追加するとより使いやすくなると思いますか/5. その他 具体的に：__

国道などの表示(宮城県・女性・60代)
わからない(埼玉県・男性・50代)
なし(石川県・女性・60代)
アクセスした端末のGPS 情報から現在位置を把握して、現在位置の危険度が高くなったらアラームなどで警告してくれる機能。寝ている時に起きる災害などに少しでも早く対応できる気がします！(富山県・女性・20代)
拡大 自宅近くの詳細(広島県・女性・40代)
分からない(栃木県・女性・60代)
なし(広島県・女性・30代)
スマートフォンのGPS を利用した現在地の危険度照合(愛媛県・男性・30代)
音声(千葉県・女性・50代)
Google マップなどに重ねて表示できる機能(愛媛県・男性・20代)
今後の予想(兵庫県・女性・30代)
各自治体の避難指示、避難場所などが分かるサイトへのリンク(長野県・男性・40代)
避難経路を誘導してくれる機能(福井県・男性・30代)
最近の災害は、ピンポイントで発生する事が多いので、ゾーンでの表示は危機感を持たない。(大阪府・男性・70代)
親戚宅のように、複数箇所についてプロットできるようにしてほしい。(神奈川県・男性・40代)
解らない(岡山県・女性・60代)
よく分からない(神奈川県・男性・70代)

Q12. 最近の大雨警報や洪水警報の空振りについて、あなたはどのように感じていますか/5. その他 具体的に：__

警報の回数が多過ぎて全く意味を成していない(広島県・男性・40代)
報道が上げさで空振りではないかと思ってしまう(佐賀県・女性・60代)
空振りを恐れてはいけない、不満はなく、個々人の判断力を養うことが大事(神奈川県・男性・40代)
テレビを見ないので気に留めない(奈良県・男性・60代)
気になりませんが、オオカミ少年にならないためにも精度が高いに越したことはないと思います！(富山県・女性・20代)

相手が自然災害だから諦めてます。(福岡県・男性・60代)
未来を予測することは不可能なので空振りになるのは仕方ないと思う(岐阜県・男性・20代)
なし(広島県・女性・30代)
興味なし(神奈川県・男性・40代)
何事も無くて良かったと思う(福岡県・女性・20代)
空振りが多くて軽視してしまう(愛知県・女性・60代)
空振りがあっても出して欲しい(富山県・女性・70代)
可能性はあるのだから、空振りだろうが通知しないよりマシ(愛媛県・男性・30代)
何故 空振りになったのか理由に納得できれば不満はない。理由を報告してもらいたい。(高知県・女性・60代)
空振りは不満だが、仕方がないと思っている(東京都・女性・60代)
用心に越したことはないので空振りしてもいいと思う(東京都・女性・30代)

Q14. 土砂災害や洪水、浸水害の危険度が高まった際にメールやスマートフォンのアプリ等で自動的に通知(音やバイブレーション等)を受けられるサービスがあったら、利用したいと思いますか/6. その他 具体的に：__

工作中だと逃げることができない(広島県・女性・40代)
都内在住で、山も川もないので災害に直面すれば利用すると思います。(東京都・女性・40代)

Q16. 気象庁が、より切迫性の伝わるキーワード(例えば「命に関わる災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況です」など)を用いた場合、従来より避難しようと思いますか/5. その他 具体的に：__

状況次第(佐賀県・女性・60代)
川の近くに住んでいないので守れ無さそうに思える(神奈川県・男性・40代)
工作中だと非難できない(広島県・女性・40代)
避難するより自宅の方が安全と思っている。(滋賀県・女性・70代)
あったことがないので、分からない(群馬県・男性・40代)
雨の被害の危険が少ない所に住んでいる(岐阜県・女性・60代)
警報が出ていることがわかっただけでは判断しにくい、警報が出たので直ちに避難しないと命が危ないと言われればすぐ避難する。(東京都・男性・40代)
避難する道中も危険なため避難を遅らせることになると思う(大阪府・女性・50代)
避難する方が危険(兵庫県・女性・60代)
高層階のマンションなので非難しない(新潟県・男性・50代)
家のほうが安全と思う(福岡県・女性・60代)
マンション住まいで、ここより安全なところが他にあるのか?疑問に思う。(大阪府・女性・50代)

V. 巻末資料

Q21. あなたが、ハザードマップで示された浸水想定区域や土砂災害警戒区域等に居るときならば、どうしますか/5. その他 具体的に：__

災害の起きにくいところに住んでいる（長野県・男性・60代）
自宅の近くに河川がないので避難はしないと思う（兵庫県・女性・60代）
ちゃんと判断して行動できるか不安は残る、身体の不自由な家族もいるので（神奈川県・男性・40代）
高台で、マンション住まい（大阪府・女性・70代）

Q23. どのようなことでも結構ですので、防災気象情報に対するあなたのご意見・ご要望があればお聞かせください/自由回答

早めに情報が欲しい（福岡県・男性・50代）
なし（東京都・女性・60代）
最近異常な強さの災害が増えているので気をつけたい（沖縄県・男性・20代）
全ては運（山口県・男性・30代）
ツイッターなどのSNSをもっと活用すればいいと思う（京都府・男性・30代）
現在の居住地でのハザードマップの確認方法が分からない。（東京都・男性・70代）
警報が出た場合、会社は全部休みにしてほしい。出社しない人間が悪いという、考えがあるため、家族のことが心配だが、避難できず、出社してる。（北海道・女性・50代）
もう少し精密にしてほしい。（埼玉県・男性・60代）
スマホのアプリでGPSでの現在地と指定した地域が見れるようにしてほしい。出張が多いので（大阪府・男性・40代）
とくになし（愛媛県・女性・40代）
空振りもあるだろうが、情報発信は必要だと思う（滋賀県・男性・40代）
テレビに避難先も記してあるといいと思う。（福井県・女性・20代）
特になし。（滋賀県・女性・40代）
土砂崩れなどの危険性のある個所を自治体から発行してほしい我が家は12階なのでそれほど大雨の被害は予想できない（埼玉県・女性・60代）
とくになし（静岡県・女性・70代）
小さな子供がいるので、そういう人向けの防災情報アプリとかあるといいな（滋賀県・女性・30代）
特にありません。（兵庫県・女性・60代）
特になし（北海道・女性・70代）
・空振りがあることは安全を確保する上で必要なことなので、もっと危機感を持たせるためにも、慎重なくらい警報を出しても良いと思います。（北海道・女性・30代）
どこまでが避難するべきなのかよくわからない（香川県・男性・40代）
アプリなどからもっとわかりやすく手軽に情報を得たいです。（神奈川県・女性・30代）
特になし（北海道・男性・30代）
頼りになる情報を期待している（岐阜県・女性・60代）
特になし（東京都・男性・70代）
テレビでは気象情報が出る番組と出ない番組があるため統一して出して欲しい（鹿児島県・女性・20代）
自分たちが住んでいる所は河川から離れているので洪水被害が現実的に考えにくいと思っています。台風も、山脈があるおかげでいつも被害が少ないと思っています。それでも、情報等は常に最新の情報を得るところがけています。（長野県・女性・70代）
特になし（鹿児島県・女性・50代）
9月の北海道地震を経験して、市などの対応が早いと感じた。給水など（北海道・女性・60代）

最近の台風や大雨による被害を見て、自分の住んでいる地域はまだ大きい被害はないがまったく他人事ではないと思う。テレビを見ていていつも思うのは雨がいつ頃強く降るのかの雨雲レーダー？の予想の映像の時間の進め方が早すぎてとても見にくさを感じる。自分の住んでいるところの色の濃さを見てそれが何時頃か目を早く動かさなければならぬので…（静岡県・女性・40代）
なし（福島県・男性・30代）
とくにない（高知県・男性・50代）
高齢者は、ガラケーだったり、身近にスマホを置いておかず就寝したり、耳が遠かったり、老眼鏡を必要として画面を見たりと、かなりリスクが上がります。そういった高齢者が今後増えていくので、音もそうですが、画面に大きく『危険！避難しろ！』とテロップのように表示されるとわかりやすいと思うそれか、画面が赤く点滅するとか、紫に点滅するとかテレビを見ている時間帯ならばアナウンサーの方が教えてくれるけれど、そうでない場合の対策が、自治体によって防災ラジオなどの普及がマチマチだと思う（新潟県・女性・40代）
色分け表示は色弱の人にも区別がつく色を使ってほしい。（北海道・男性・60代）
なし（鹿児島県・女性・40代）
もっと更新を頻繁にしてほしい（徳島県・女性・30代）
特になし（埼玉県・男性・20代）
とても怖い。とても怖い。（高知県・男性・30代）
地域のハザードマップを緊急対応の場所に整備しておく（福岡県・男性・70代）
台風情報とかでニュース以外の番組をL字放送にしないで欲しい。データ放送でして欲しい。（宮崎県・男性・30代）
強制的に情報を受信できるようにしないと周知徹底はむずかしいとかんじる（福岡県・男性・30代）
とくになし（千葉県・女性・20代）
外れでもいいので早めに情報が欲しい（愛知県・男性・60代）
特にない（東京都・男性・20代）
自分は、さいたま市に住んでいますので、高潮・大雨等又、マンションの7階に住んでいますので、あまり、関係ないと思っています。（埼玉県・男性・70代）
特になし（東京都・男性・20代）
災害を我がこととして捉えにくいので、何らかの方法で啓発などがあればいいと思います。（愛媛県・男性・60代）
特にない（北海道・女性・60代）
危険度の優先順位を知りたい（埼玉県・男性・40代）
見る人は素人なので、なるべくシンプルな表現にしてほしい。（岩手県・男性・30代）
とても参考になる。ホームページで見れるのでとても良い。（青森県・女性・40代）
空振りでもいいから情報は欲しい（神奈川県・女性・60代）
早目早目の情報が欲しいです100%の情報でなくても、80~90%でいいので迅速にお伝え頂けたらと思います（宮崎県・女性・50代）
線状降雨帯・竜巻発生状態になる気象現象を何から読み取れるか知りたい。（香川県・男性・70代）
年々気象条件が悪くなる方向に進んでいる為早めの対処が必要不可欠である（宮城県・女性・60代）
使用する地図は航空写真等できるだけ詳しい地図等を使用して作成していただけたらいいと思う（長野県・男性・60代）
2018年は台風や大雨、地震による災害がとても多く、その度にテレビやネットの防災情報がとても役に立った。実際自分が住む場所は被害はなかったが、いつどこでどんな災害があるかわからないから、これまでに知り得た情報を生活に活かして、自分が災害にあったときに役立てたいと思った。テレビ等の情報はその時災害にあっていない人にも、今後の教訓になると思う。（山形県・女性・20代）

V. 巻末資料

避難指示などには空振りもあるでしょうが、人命第一と考え、科学的に危険とみなされる際は直ちに情報発信をしていただきたく考えます。(福岡県・男性・60代)
危険度は赤色にして欲しい(沖縄県・女性・50代)
日々情報は変わるとは思いますが、インターネットを使う世代はホームページなどを見れば良いが高齢の方はインターネットで情報を得ることが難しいので、ハザードマップなどの大方わかっている情報は、チラシなど紙媒体を配った方が良いと思います。(福岡県・女性・30代)
最近台風、地震、山崩れと頻繁にあり人ごとではないと思っています。情報はしっかりと見ていたいと思います。(三重県・女性・60代)
特になし(大阪府・男性・50代)
地域のサイレンのテストでもとても怖かったので、実際に鳴ったら本当に怖いと思う。(静岡県・女性・30代)
テレビを持っていない、見る機会がないので、スマホなどに標準で警報が通知されるといいと思います。その際、未知の場合があるので、警報の説明も含めて欲しいです。(東京都・男性・20代)
未曾有の被害が多い。今後、想定外の被害が多くなりそう。(神奈川県・男性・60代)
早めに防災気象情報をTV等で流してもらいたい(長野県・女性・60代)
空振りになっても全然問題ないと思う。危険があるならば情報を貰えた方が有難い。パニックになるからと情報を隠される方がよっぽど怖い。空振りになると、大げさなのなんだのとケチつける人がいるが勝手に言わせておけばいい。(愛知県・女性・40代)
なし(熊本県・男性・30代)
避難したいがそれを理由に仕事を休めない。とりあえず職場にこいと言われる。防災ハラスメントともいえる。そっちは危なくてもこっちは大丈夫なんだから、仕事にこいみたいに実際はなっている。(青森県・男性・30代)
なし(東京都・女性・40代)
特になし(神奈川県・男性・60代)
特にない(山口県・男性・50代)
災害の形態が複雑になってきて対応が難しくなっている。よく対応していると思う。(福島県・男性・60代)
緊急地震速報のように、即座にスマートフォンにアラームが流れる機能があると便利(茨城県・男性・20代)
地震予知ができればいい(福岡県・女性・40代)
過去のデータにない規模の災害など、判断が難しい災害が多い年だったが各方面本当に努力したと思うので、これからも頑張りたいと思う(北海道・女性・50代)
避難指示と避難勧告はいつも迷います もっとわかりやすい言葉はないのでしょうか。(三重県・女性・60代)
特にない(山口県・女性・60代)
スマホやテレビ等で情報は得ているが、常時接しているわけではないので、その時は防災無線が頼りとなる。しかし、肝心の防災無線は聞き取れないことがほとんどで、役に立っていないのが実情。これをなんとかしてほしい。(山形県・男性・60代)
常に、天気の変化には気をつけたいと思えるようになりました(福岡県・女性・60代)
特になし(山形県・女性・40代)
大雨警報が出て実際に自分の家の場所は避難しなくても大丈夫なことが多かったです。なので、私を含めてその他の方も避難しない傾向があると思います。(高知県・女性・20代)
普段から避難先は頭に入れてもし別れてもだいたいここにいるからと普段から家族と話している(青森県・女性・60代)
早めに避難する事が大事だ(香川県・女性・50代)
特になし(神奈川県・女性・20代)
とくになし(大阪府・女性・40代)
とくになし(大阪府・女性・20代)

もっと情報が精査されればいいなと思います（大阪府・女性・20代）
近年は台風や大雨の予報の精度が上がっていると感じる。自宅は海も川も離れているので、むやみに非難はしないが、外出は控えるようにする（兵庫県・女性・60代）
何かあってからでは遅いので、空振りでもかまわないから、警報等は早めに出した方がいいと思う。（北海道・女性・40代）
気象庁から公表される情報が正確でない場合が多い。また自治体が発表する避難情報も適切でない。真の危険度を正しく認識できないように思います。（広島県・男性・40代）
甚大な被害が予想されるときは、緊急地震情報のようにJアラートをならしてはどうか（徳島県・女性・50代）
なし（宮城県・女性・40代）
川の近くで決壊しないか大雨の時は心配だ（佐賀県・女性・50代）
本当に避難所がそこでいいのか不安な事がある。（香川県・男性・50代）
誰でもわかりやすく状況を把握できるようになると良いと思う（岐阜県・女性・40代）
確定情報でなくても良いので、早めに知らせてほしい。空振りでも可です。（神奈川県・男性・60代）
躊躇泣く情報をしらせてほしい（和歌山県・男性・30代）
正確な情報がタイムリーに提供されることが重要（東京都・男性・60代）
誤報等は気にしないので、危険がある際は必ず通知してほしい（栃木県・男性・20代）
特になし（静岡県・男性・60代）
スマートアプリの防災情報で居住区の情報を随時チェックし、避難するか否か考え、又そのような場合には避難準備の荷物をまとめている（長崎県・男性・30代）
特になし（静岡県・男性・30代）
避難準備について言葉から受ける印象と伝わり方に差異がある。（鹿児島県・男性・60代）
特になし思い付かない（東京都・男性・30代）
前に警報で避難したことがあったが、他に誰も避難していなくて幼児、老人などがいる家庭の意識の低さに驚かされた。もっと啓蒙が必要だと思う（千葉県・女性・60代）
特別警戒情報や警報、注意報など、どれがどのくらいの危険性なのか、どの地域が明確に含まれるか、などの情報の取り方を詳しく知らせてほしいです。（宮城県・男性・30代）
特にない（福島県・女性・50代）
ない（大分県・男性・30代）
他県に引っ越して、土地勘がないのでニュースとかで地名を言われてもわからないことがある。（長野県・女性・30代）
居住地は高台にあり大雨については大丈夫かとおもうが――。土砂災害はわからないので今度調べてみたいと思う。（神奈川県・女性・70代）
なし（北海道・女性・40代）
情報自体の存在を何らかの方法で周知させるべき（知らない方も多いかと思います）（千葉県・男性・40代）
防災情報には耳を傾けない人も災害情報には興味を持ち、ワイドショーのネタのような風潮になっている事を懸念してます（長崎県・男性・30代）
死ぬ奴は死ぬしかないでしょ（栃木県・男性・60代）
近くに河、海や山もなく、大雨警報台風以外気にしてないですね。（鳥取県・女性・60代）
いつも大げさに言っというて毎回たいしかことない（埼玉県・男性・20代）
大雨や大雪も大変だけど最近は特に強風が怖い。強風に対する警戒もわかりやすく見れるところがあればよいと思う。（神奈川県・女性・40代）
特にない（千葉県・男性・70代）
あまりに頻繁に警報を鳴らすとオオカミ少年になる重大なレベルまで鳴らさないと意味がないバランスが大事

V. 巻末資料

(千葉県・男性・20代)
近年の災害を見ていると、今まで大丈夫だったから、というのは通用しなくなっていると思います。例え空振りであっても危険を回避できるような情報は出すべきだし、ありがたいと思います。防災気象情報は、ますます必要になってくると思います。(福岡県・女性・60代)
正確に情報を早めに知りたい(東京都・女性・50代)
ありません。(北海道・男性・30代)
地域により条件が異なるので、細かな地域ごとの情報が提供されると利用しやすい(宮崎県・男性・60代)
自分には関係ないと思いがちだが 油断しないで情報を活用したい(石川県・女性・60代)
テレビで防災情報は見ているが避難対象になったことがないので危機感がない。高齢者がいるので、災害時の対応が不安ではある。(鳥取県・女性・40代)
空振りは気にしないで良いと思います(東京都・男性・40代)
いざという時、最終的に避難するかどうかとても迷うと思います。誰が見てもわかる、情報はたくさん欲しいです。(埼玉県・女性・40代)
どちらかというと我が家は土砂災害警戒区域であるので大雨には敏感です。市の防災行政無線や市の気象情報は頻繁に確認するようになりました。(東京都・女性・50代)
自己のみは自己責任が必要で有る事。(静岡県・男性・60代)
特になし(神奈川県・男性・60代)
大雨による、交通規制情報など、道路の通行止め箇所の情報が知りたい時がある。(千葉県・女性・40代)
タイムリーに情報がほしい(福岡県・男性・20代)
なし(宮崎県・女性・30代)
特にない(千葉県・男性・60代)
短時間で内容が正確に理解できる方法が必要。(長野県・男性・60代)
うちの地方で災害考えてなくて(奈良県・女性・60代)
なし(千葉県・女性・40代)
予報が外れて災害が起らなかった場合、無知な市民から無駄な非難があがらないようマスコミと協力する必要がある(栃木県・男性・40代)
ない(熊本県・女性・60代)
避難勧告。避難指示等 ちゅちょなく発令してほしい(山梨県・男性・60代)
ない(青森県・男性・60代)
自分の身は自分で守らなければ(兵庫県・女性・60代)
なし(静岡県・女性・50代)
気象予報は、いつも頼りにしています。ありがとうございます。(兵庫県・男性・40代)
使っている用語で重大性が判断できるようにして欲しい。アンケート内で大雨警報と大雨特別警報の用語があったが、重要度の違いが一覧表で見比べないとわからないようでは意味がない。本当に重要なら「特別」という用語ではなく、もっと危機感を覚えるような用語、にしてはどうかと思う。たとえば「大雨警報」の上に「豪雨警報」を作るとか。(神奈川県・男性・60代)
空振りを恐れず警報を出してほしい。(静岡県・女性・60代)
地震の警報と同じで、結果空振りであったとしても早めにアラートを出してもらった方が良い(千葉県・男性・40代)
なし(愛知県・男性・20代)
今回のアンケートのようにどんどんみんなに知らせて行って欲しい。(青森県・男性・60代)
沖縄県民ですが台風が来た時の細かい情報がなく仕事に支障が出る時があった。ヘルパー派遣業なので安全確保が不安になる。地域(本島中部東側、本島中部西側)などの細かいポイントで情報が欲しい。(沖縄県・女性・20

代)
家族のため、自分のために安心安全な行動を心がけたい。(愛知県・男性・40代)
危険度マップを見たことがあるけど、田舎は情報が薄いと思う。(静岡県・女性・20代)
一刻も早く知らせてほしい。(東京都・男性・30代)
ない(富山県・女性・40代)
川の増水スピードや、降水量との相関関係。(埼玉県・男性・30代)
警報を出すタイミングが早すぎると思う。(香川県・女性・30代)
災害が多すぎて危険と分かっているがまだ大丈夫と軽視してしまう。特別警報も最近多くて危ないという認識が薄れている。(兵庫県・女性・30代)
特にありません(富山県・女性・60代)
一番身近なテレビでこの情報を見聞きできればもっと活用できると思う(茨城県・男性・70代)
最近の天気の異常現象に気象庁は良く対応していると覆う。(東京都・男性・50代)
早め早めに知らせてほしい(山口県・女性・60代)
とくにない(大阪府・男性・50代)
特にない(埼玉県・男性・30代)
なし(栃木県・男性・30代)
NHKニュースアプリのような公共的なものを強制的にスマホにいれるようにすればよいのではないか。(愛知県・男性・60代)
停電した場合の情報収集はどうしたらよいのか。(愛知県・女性・70代)
管轄は違うが、合わせて避難場所も確認できたらわかりやすいと思う(東京都・女性・30代)
避難所まで行くのが大変だったりするので安全な通路ナビがあれば嬉しい(栃木県・女性・30代)
防災について、もっと勉強しなければと思います。(沖縄県・女性・40代)
つい我が家は安全だと思ってしまう。(東京都・女性・70代)
なし(神奈川県・女性・30代)
特にない(神奈川県・女性・40代)
特にない(東京都・男性・20代)
台風には情報に気をつけている(愛知県・女性・60代)
特になし(神奈川県・男性・60代)
特になし(京都府・男性・40代)
警報の名前が難しく、危険度の判断がつきにくいのでわかりやすいものにして欲しい。できるだけ狭い地域ごとの情報が欲しい。(静岡県・女性・50代)
気象庁と自治体の的確な情報(東京都・男性・60代)
段階を増やして確率を上げる(高知県・男性・40代)
よくわからない…(新潟県・男性・30代)
特になし(愛知県・男性・60代)
おおかみ少年情報も困るが早めの誤報はやむおえない(秋田県・男性・50代)
災害が発生した際に避難所に避難するが、避難が長引いた場合プライバシーの確保が難しくなる。何かで仕切りなどを作って最低限のプライバシーは確保出来るようにしていただきたい。(群馬県・女性・50代)
災害時の避難警報、状況に応じて音を変えるとか携帯やテレビの画面を危険色で覆う等、市民が慣れない対策も必要かなと思います。(埼玉県・男性・40代)
災害予報の災害に対する感度が高ければ空振りが増えて、それはそれで困る人、文句を言うような人がいるだろうし、特異度が高ければ、被害が起きた時に深刻なものになってしまうこともあるかもしれない、マスコミとかはここぞとばかりに騒ぎ立てることもあるかもしれない。難しいところだと思いますが、ビックデータ解析?や ai

V. 巻末資料

などの技術や知見を積み重ねること、また、スマートフォン等を活用した情報伝達の工夫等により、より良い災害情報の提供に期待します。(富山県・男性・30代)
備えあれば憂いなしなので前もった警報・注意喚起は必要だと思う(東京都・男性・30代)
誰にでもどんな時もどこにいても平等に情報が得られたらいいと思います。(大阪府・女性・50代)
特になし(埼玉県・女性・20代)
番組内のテロップでも場所がはっきりわかるから、現状でもいいと思います。(東京都・女性・60代)
特別警報ではなく、緊急避難警報というべき。特別警報ではピンとこない。(三重県・男性・60代)
災害が発生した場合、通常の方(肉体的、精神的に普通の方)は、自分自身で避難をすることができます。しかし、それ以外の方(特に老人、子供)は、自分自身での避難が難しいと思います。そのための対策のひとつとして、近隣の方々の協力がひおつよと思います。また近隣の方々が協力できるように自治体が連携しなければならないと思います。そして日々の避難訓練を住民と自治体とで積極的に行っていくべきと思います。(福岡県・男性・60代)
特になし(大阪府・男性・20代)
予報が外れたり空振りだったりすることもあるだろうが、被害が出てから想定外だった等と言うことなく、常に早め早めの避難指示や警報を発令して欲しい。家は再建できるが人命は取り返せないから!!(兵庫県・女性・60代)
特になし(鳥取県・男性・20代)
今は大雨暴風情報が比較的高い確率で当たってるので、その前に避難準備ができるので良くなったように思います。(和歌山県・女性・40代)
自分の住んでる所の、自治会からの放送が流れれば 身近に思うと思います(兵庫県・女性・50代)
お年寄りでもわかりやすい情報(広島県・女性・30代)
このように精密な情報提供がなされるのはとてもありがたいと思う。(神奈川県・女性・60代)
なし(静岡県・女性・40代)
出勤すべきか判断できない(静岡県・男性・40代)
警報の言葉使いをもっと強調された言葉にしてもいいと思う。(沖縄県・女性・70代)
特にない。(神奈川県・男性・20代)
特にない(福岡県・男性・60代)
もっと狭い身近な地域の情報がほしい。地域のスピーカーで放送されるときがあるが、雨や風の音でよく聞こえなかった。(佐賀県・女性・60代)
なし(富山県・女性・50代)
警報などは早め早めに出してもらって、避難などしたいと思う。(兵庫県・女性・40代)
いつも福祉避難所の不備が問題になるので、その対象者の把握と誘導を最優先にしてほしい。(広島県・男性・50代)
特別危険な地域に住んでいるとは思わないが、どのような事に注意しておけばいいのか、詳しく知っておくべきだろう(山口県・女性・50代)
災害の発生が今までない居住地ですが、スマホで緊急連絡が入るので最近は気を付ける様にしています。(和歌山県・女性・70代)
日ごろからよく天気予報など見るようにしています。危険度に応じて色分け、数字分けされることで分かりやすくはなっただと思いますが、それだけを見て判断してしまうのは危険を伴うことだと思います。レベル分けだけで判断しないようにするというのもあわせて伝えたい方がいいのではないのでしょうか。また、予報が外れることを空振りと呼ぶようですが、災害情報においては空振りが一番いいと思います。不要不急の外出は控えるように、とのあいまいな言葉ではなく、はっきりと外出しないようになど伝えることによってスムーズにインフラが進むようになるのではないのでしょうか。命の危険を感じるほどの気象もそうですが、大変な思いをしてま

で行動することがないようになっていけばいいと思います。そのためにも、空振りを歓迎するような世の中になっていけばいいと感じます。(東京都・女性・30代)
より精度を高めてほしい(北海道・男性・60代)
特になし(滋賀県・男性・20代)
特になし(山形県・女性・50代)
命にかかわる危険な大雨など、最近の異常な気象に対応していくよう心がけようと思った。(京都府・女性・50代)
防災気象情報を発信する媒体は多過ぎても損ではないと思うので、色々な媒体で発信していくべきだと思います。(茨城県・男性・20代)
もう少し正確な情報であれば避難しますが、空振りや大げさな情報が多いとあまり緊急避難する気になれません。空振りのないシステムがあれば常に信じて行動が取れる人が多くなると思います。(静岡県・男性・30代)
災害から命を守るため情報は大切です。警報・避難などは敏感に対応したいです。(兵庫県・女性・70代)
空振りを恐れずに早め早めの情報を出してほしい。精度の高い「台風進路予想」がほしい。(鹿児島県・男性・60代)
特になし(大阪府・女性・40代)
降水確率のような数字でわかる表示(千葉県・男性・50代)
常に注意を払う(埼玉県・男性・50代)
気候が穏やかで、災害には縁が無い安曇野にすんでいるので災害は他人ごととして住んでいたが、マップは見てみたいと思った(長野県・女性・60代)
危険予知の啓発をもっとすべき(青森県・男性・60代)
なし(東京都・男性・30代)
住まいしている場所は川・海・崖がなく高い場所であるが出先などでいつ災害にあうかわからないので気象情報は大切だと思う(神奈川県・女性・50代)
危険地域に住んでいないと思っているので、避難することはない。(秋田県・男性・70代)
特になし(埼玉県・男性・60代)
趣旨はちがうが、明らかに危険な場所に家が建てらるのを見ると、建築規制が必要な必要に思えるが、危険な場所に好んで住みたいと思う自由もある。危険が予想される場所はもう少し周知とお馬鹿な人を教育出来るような情報を提供すると良いのではないかと(神奈川県・男性・40代)
周りに海や山がないため、災害に対しての意識が低い(群馬県・男性・40代)
予想外のことが沢山あるので大変。(山形県・男性・20代)
時には空振りもあるでしょうが、自分の生命を守るためには空振りを恐れず非難するべき。無事に通り過ぎてくれたときはラッキーと感ずるべき。特に最近気象庁は防災重点で情報を多く発表しておりとても頼りになる。(北海道・男性・70代)
実際私の地区は、山・川がないので、少しは油断しているが、怖いです(愛知県・女性・60代)
避難勧告という勧告とは他に使わない言葉です。避難警報と比べどちらが危険なのか認識有りません、バカやこどもでも判る言葉を使用しないのは、役所の、又は気象庁の怠慢だと言える。直ぐに直して欲しい。(奈良県・男性・60代)
私の住んでるところは災害がすくないのでわからない(佐賀県・女性・30代)
荒川沿いなので迅速な情報提供が必要(東京都・男性・20代)
災害が起こりにくい整備が必要だと思う。(青森県・男性・50代)
各種の事前警報が整備されることは良いが、現段階では精度が高くないので、このまま増やせば「狼少年」になって逆効果になる虞があるので注意頂きたい。(東京都・男性・60代)
ハズレを恐れずに早めに避難指示を出してほしい(愛知県・男性・50代)

V. 巻末資料

<p>会社はあまり警報を気にしていないため、いくら気象庁が警告してくださってもなかなか帰宅などの判断をしてくれません。そのせいで交通手段が無くなり結局駅の外で雨宿りするなど余計に危ない状況を強いられます。警告の種類や段階を増やし、数値化することで誰もが危険度をはっきりわかるようにしてほしいです。また、あるレベル以上は強制的に帰宅させる事ができる規則があればと思います。(京都府・女性・20代)</p>
<p>特にない(大分県・女性・60代)</p>
<p>地盤が固く高緯度なので、あまり心配していない。(愛知県・女性・60代)</p>
<p>空振りでも良いから、早めに情報を出して欲しい。(愛媛県・女性・60代)</p>
<p>特にない(埼玉県・男性・70代)</p>
<p>地理的に土砂災害高潮洪水とは、無縁に近いところに済んでいるので、自宅にいるときは地震以外、あまり切迫感がない。外出先などでは、しっかり情報が欲しいと思う。自分がいる場所の危険性(石川県・女性・70代)</p>
<p>とくになし(千葉県・女性・70代)</p>
<p>地震警報みたいに携帯にメール送信してくれるとありがたいと思います。(群馬県・女性・40代)</p>
<p>色々な情報をフルに活用したいと思います。何が起ってもおかしくないこの頃なので。(滋賀県・女性・60代)</p>
<p>現在の居住地は、多摩川が氾濫した場合に1.5mほどの浸水が想定される地域で、それ以外の大規模災害についてはハザードマップに掲載がない。その点では、避難開始は遅くなる可能性がある。(東京都・男性・70代)</p>
<p>警報は狭い範囲で教えて欲しい。同じ札幌市でも区域によって天気はかなり違うから(北海道・女性・60代)</p>
<p>特になし(三重県・女性・20代)</p>
<p>避難場所の小学校は低い位置にあり、洪水や津波の時には安全でないと思われる。正しい避難場所を教えてください。(神奈川県・女性・60代)</p>
<p>これからの自然災害は想定を越えることを当たり前としなければいけなくなってきているので、空振りは恐れず警報をだしてほしい(秋田県・女性・60代)</p>
<p>自然の災害は人の予想を裏切ることがあると思います。少しでもあやしいことがあれば事前に知らせておくのも一つの方法だと思います。(岐阜県・女性・50代)</p>
<p>どんな大雨、大雪であれ、仕事に向かいます。避難しろと言われて、避難しても誰かが仕事にいかなければいけない。いくら情報がきても、人の生命に関わる仕事をしている人たちは、我が身のことだけを考えて行動するのは難しいと思います。だから、ただの情報として受け入れるしかないのです。(石川県・女性・20代)</p>
<p>警報がなくても避難しない人がいるどうすれば、避難するか考えてほしい(東京都・男性・30代)</p>
<p>精度を高めてほしい(福島県・女性・40代)</p>
<p>避難指示や避難勧告などの言葉では、重要度が分かりにくいので、大人も子供も全ての人が理解できる言い回しに変えた方がより人命が守られると思う。(大阪府・女性・30代)</p>
<p>予報のはずれは今後改善は必要だが、命にかかわる事なので、臆せずに発表してほしい(大阪府・男性・30代)</p>
<p>特に無い(東京都・男性・50代)</p>
<p>なし(鳥取県・女性・60代)</p>
<p>災害の少ない地域に住んでいますが、その分万が一の時には動けるのか不安もあり、精度の高い予測や情報システムを作っただけで、感謝です。緊急地震速報でスマートフォンのアラームが鳴り出すのと同じように、事前に甚大な被害が予測される場合(台風や歴史上に残り得る大雨など)は、その被害の見込まれる地域に避難勧告が出た場合などにその地域の方々にアラームが鳴るようなくみがあってもいいのではないかと思います。もちろん、日頃から災害に対する意識が低いと避難に結びつかないでしょうし、各々が気をつけて情報収集することも必要ですが！だからこそ、アラームが発信されることは、緊急性を訴えかけるものとして強い影響力を持っている気がします。(富山県・女性・20代)</p>
<p>テレビで専門チャンネルを作してほしい。(山形県・男性・60代)</p>
<p>特になし(長崎県・女性・60代)</p>
<p>特になし(埼玉県・男性・60代)</p>

特にありません（大阪府・女性・20代）
今のままでいいと思う（北海道・女性・50代）
なし（大阪府・男性・40代）
空振りをしてよいので、避難指示は、きびしくするべきだと思います。（奈良県・女性・60代）
なし（山梨県・男性・50代）
県境だと隣の県の情報が入ってきて分かりにくい（東京都・男性・50代）
防災についての講習会を自治体を通してもっとして欲しい（和歌山県・女性・60代）
自己判断でなく、情報をしっかり集めて、迅速に行動できるように、日頃から心構えをしたいと思う。（広島県・女性・60代）
良く見るようにする（神奈川県・男性・60代）
特にない（埼玉県・男性・50代）
相手が自然なので、天気予報当たらないこともままあると思うのですが、予報の確実性について精度をあげてほしいと思います。（福島県・女性・40代）
特になし（長野県・男性・50代）
空振りを気にしないで発表してほしい（千葉県・男性・30代）
もっと範囲（地域）を狭めて情報が得られると良い（愛媛県・女性・50代）
自然の力なので、どのようになるかは予測不可能なところもあります。自己判断もよくありませんが、自分の命は自分で守るようにしたいです。（岡山県・女性・50代）
情報が非常に大事だと思います。ささいな情報でも出し続けたほうが良いと思います（兵庫県・男性・40代）
範囲を狭くしてほしい（三重県・女性・60代）
気象庁や各自治体は防災のための情報発信をしているとは思いますが、高齢者は若い人に比べて情報を受け取る環境が必ずしも整っているとは言えないように思います。高齢者の逃げ遅れが出ないような十分な体制が来ているのか不安はあります。（新潟県・男性・40代）
特になし（愛知県・女性・50代）
北海道で地震の被害に遭いましたが、地震速報のお陰であらかじめ身構えることができました。世間ではJアラートなどに否定的な意見が出るがありますが、むしろJアラートが鳴ったのに特に被害がなかったことを喜ぶくらい心構えで生活してほしいと思います。（北海道・男性・20代）
自然災害で毎年必ず死亡者が出ている現状は文明の力も及ばないむしろ文明が被害をもたらす部分もあるかも知れない。（神奈川県・女性・60代）
何回も同じ事ばかり連絡が来るから何が重要な情報なのかわからなくなるので unnecessaryな情報を流さないでほしい。（広島県・男性・20代）
県境を越えた情報をしっかりしてほしい（島根県・女性・40代）
わからない（埼玉県・女性・30代）
すごい（大阪府・男性・20代）
自宅は高台にあるし川も近くにないので心配はしていない。（兵庫県・男性・50代）
家にいるときはマンションなので比較的安全だが、職場では、警報が出ようが、海のそばなのに潮位が上がろうが本部からは大丈夫かの連絡さえなく、職場を離れることができない。中小企業なので、どうしようもできない。（広島県・女性・40代）
割合気象災がいが少ない地域に住んでいるため日ごろの関心がうすい（埼玉県・女性・70代）
正確、迅速であれば、特にいうことはない。（京都府・男性・60代）
ころころ変わるのが不満（山形県・女性・60代）
細かく放送をしてほしい」（三重県・女性・60代）
気象予報で、九州北部、九州南部と地域を分けて予報されているが、台風の場合九州山脈の西側と東側とでは、

V. 巻末資料

まったく気象が変わるので、九州西部、九州東部と分けて予報すべきではないかと思います。(熊本県・男性・60代)
特になし(愛知県・女性・30代)
分かり易い予報だと良いと思う(福井県・女性・60代)
高齢独居の人口が増えているので、もっとわかりやすい文言での情報提供を工夫してもらいたい(東京都・女性・50代)
早め早めの警告はいいことだと思う。(京都府・女性・40代)
命に関わることなのでとてもありがたいと思っている。(岐阜県・男性・20代)
特になし(兵庫県・女性・30代)
特になし(奈良県・女性・30代)
なし(愛媛県・男性・50代)
高潮時の避難場所に学校が避難ビルに指定されているが、学校より自宅の方が海拔が高い、よって状況によれば自宅の方が安全な場合もある。(兵庫県・男性・70代)
警報は、早く出して欲しい。(長崎県・男性・60代)
細かい情報を頻繁に出すのも助かるのですが、被災時には携帯の充電状態も気になるので、出来るだけまとめた情報にして欲しい。(福岡県・男性・30代)
なし(愛知県・男性・40代)
今住んでいる地域は非常に天気が細かく分かれていて地域の予報を見てもあっていることが少ないどこの予報が正しいのか判断できない。地区の広報が一番良いと思う(長野県・女性・60代)
もっとわかり易いように避難命令と言って欲しい(岡山県・女性・40代)
特になし(埼玉県・男性・40代)
住んでいるところの災害情報に関して簡潔なメルマガがあると非難等の契機になる(茨城県・男性・70代)
以上のことから特には無いですね(青森県・女性・50代)
なし(東京都・男性・40代)
昔に比べると、警報が早い目にできるようになったので教育機関等の休講等の判断が素早くできるので有難い。(和歌山県・男性・60代)
特に無い(東京都・男性・60代)
慎重に行動したい(東京都・女性・40代)
近年、異常気象が増えている。空振りでもいいので、早めに警報などを出してもいいかと思っています。(鳥取県・男性・30代)
今後は注意したい(東京都・女性・40代)
特にはない(愛知県・男性・50代)
自分の家はハザードマップで安全地域なので、あまり気をつけていない。(岩手県・女性・50代)
私の場合は、仕事はしていない為ほとんど家にいます防災気象情報は、TVや地域防災情報等などにて情報を知る事しかありません。TVやラジオ等にて速報を常に流して欲しいと思います。(茨城県・女性・60代)
災害がほとんどない地域なので、避難情報が出てもなかなか動き出せないのではないかと思います。(栃木県・男性・50代)
特に危険な地域、川の近くや海の近く海拔の低いところなどは特に役所や地域の回覧などで地域での意識付け学校での意識付けは子供たち主体で教えこんでおくべきだと思う。避難の時どんなものがあるのかどのようにすればいいのか子供にもきっちりルーティンワーク位で頻繁に教えるべきだと思う。(大阪府・女性・50代)
特にない(北海道・男性・40代)
特にない(茨城県・女性・20代)
スマホへの情報が一番身近に感じやすく、行動に移りやすいと思う(福島県・男性・30代)

特に無し（茨城県・女性・50代）
自分の家の近所のハザードマップを見たことはあったのでこれからは参考にしたい。早めの避難はどんなに呼びかけても呼びかけすぎることはないので今後とも呼びかけてほしい。（熊本県・女性・60代）
ハザードマップは少し見にくい（神奈川県・女性・70代）
予想が外れてもよいからこれからも危険を早めに知らせてほしい（鹿児島県・女性・60代）
頑張ってください（宮城県・男性・20代）
私が住んでる所には近くに高い避難所がありません。もし津波が来たら、もう諦めます。（静岡県・男性・60代）
最近スマートフォンで手軽に情報を入手できるようになってきたので便利だと思う。（静岡県・男性・20代）
最近話題になることが有り、理解しやすい（愛媛県・女性・60代）
自分の住んでいる地域は、従来ほとんど被害が無い。それに甘んじることなく危機意識を持つべきだと反省した。（岐阜県・女性・60代）
危機管理は自分でしなければならないと思う。自己管理して命は自分で守りたい（長野県・女性・20代）
風雨がとても強くなっているのに、警報が出ず、峠を越えてから、警報が出るがよくあります。あらかじめ荒れると予想されている天候以外で、予想以上に荒れた場合の情報伝達がとても遅いと思います。（北海道・女性・50代）
テレビで避難を促されても既に停電になっている場所では意味がない。（神奈川県・女性・60代）
体裁や責任の擦り合いは無視して、予測 把握 対応を迅速にしてほしい。（熊本県・男性・50代）
災害時の対応の仕方が大まかで具体性が欲しい（宮崎県・男性・70代）
ネット関連でしか知ることが出来ないのが現状。拡声器を搭載した車で道路を走って知らせてほしい（佐賀県・男性・40代）
特にない（大阪府・女性・50代）
テレビのニュースで、以前の被害状況をテロップを入れてはいるが、今の状況と誤解するから、あまり好きではない（熊本県・女性・50代）
どのような情報があるのかを広く教えてほしいです。（福岡県・男性・50代）
情報の重要さの判断が難しい（富山県・男性・40代）
可能ならより細かいエリアの情報を発信してほしい（和歌山県・女性・50代）
特になし（埼玉県・男性・20代）
大雨大雪警報を発令、解除の基準を見直して欲しい。すぐ休校になり、なかなか解除されない。（岐阜県・女性・40代）
特になし（千葉県・女性・70代）
ハザードに関係ない場所に居住しているが、知り合いへの情報共有にも役立つので早目の発信をお願いしたい。（大阪府・男性・60代）
少しの雨しか降っていないのに大雨警報が出ることもあるので、その理由が知りたい（広島県・男性・60代）
特になし（栃木県・男性・60代）
これからは、スマホで情報を取りに行く事が重要だと思っています。防災情報のアプリを充実させてほしいです。（石川県・女性・40代）
特にない（埼玉県・女性・30代）
ライブで周辺状況が把握できる（大阪府・男性・60代）
情報が錯そうしてわかりにくい。窓口を1本化したほうがわかりやすいのでは？（福井県・男性・50代）
特になし（東京都・女性・20代）
大地震の携帯に危険アラームが来るように、危険地域にいる際は有料でも構わないので、警報が出た際は携帯に連絡が来るシステムが欲しい。（東京都・男性・40代）
お疲れ様でした（福岡県・男性・60代）

V. 巻末資料

自治体ではなく気象庁や消防等が避難を伝えると早めに避難等行動が伴うと思う。(山口県・女性・40代)
特記なし(福島県・女性・70代)
最近では異常気象が多いので注意して情報収集をしようと思います(秋田県・女性・40代)
人間の心理として、危険な状況にあっても自分だけは大丈夫という心理的な回避がはたらくため、情報を提供する側はそのような心理状況があることを加味した上で情報を発信していただきたい。(熊本県・男性・40代)
防災放送が窓を開けないと聞こえない。大雨や台風では窓を開けることができないため改善必要と思う。(東京都・男性・50代)
交通機関との連携の情報があったら便利(大分県・女性・30代)
とくにない(千葉県・女性・50代)
ない(岡山県・女性・30代)
なし(広島県・男性・50代)
まだ地震検知が信用できない。(京都府・男性・20代)
自己判断が必要ない情報にしてほしい。(東京都・女性・60代)
心配が増すような報道は控えて欲しい(奈良県・女性・70代)
大げさでも警報を携帯やタブレットに多くても流してほしいです(北海道・女性・60代)
特にありません(山形県・男性・50代)
年々細かい情報が発信されるようになってきているのでとてもありがたいと思っている。(福岡県・女性・50代)
警報のエリアが広すぎるので、無駄に学校が休みになる。(大阪府・女性・40代)
気象情報と真逆の自然現象が起こることが多いと感じる。一度被害が大きいと次の台風が来ると厳重注意警報となるが、大した被害がない。正確な情報が常にほしい。(福井県・女性・60代)
正確な情報をできるだけ早く欲しい(沖縄県・男性・20代)
有線放送が必要だと思う(鹿児島県・女性・60代)
家が川の近くなので、大雨の場合はすぐに避難できるように情報収集衛には気にかけています。(栃木県・男性・30代)
海や川の近くには住んでいない為、おおきな被害にあったことがない。なので実感するような体験がなくどこか他人事のように申し訳なく思います(群馬県・女性・60代)
リアルタイムで(愛知県・男性・40代)
備えあれば患いなし!(岐阜県・男性・20代)
特にない(東京都・男性・20代)
自然災害の恐ろしさをもっとアピールしてほしい。(鹿児島県・女性・60代)
命を預かる程の大切なことをして下さっていると感じる(大阪府・男性・30代)
あまり大袈裟に報道しすぎると肝心な時に避難しそびれそう(岡山県・女性・50代)
より迅速且つ正確な情報を通知してほしい(千葉県・男性・30代)
この辺りでも、例えば、微妙な高低差によって水害の危険度が随分違ってくるが、よりピンポイントでの、洪水や暴風・土砂災害の危険度が分かるとありがたいと思う(徳島県・女性・60代)
初めて知る事もあり、参考になった。(栃木県・女性・60代)
住んでいる地域(町や村くらいの単位で)の風向きや風速の予想が出るとありがたい。物が飛んでくる可能性を考える際に役立つ。(奈良県・女性・50代)
とくにない(静岡県・女性・30代)
偏在住んでいるところは水害、土砂崩れ、高潮の危険に遭うことはない場所ですが台風の風は心配なところではあります風邪の強さによって家の外のを飛ばされないように、しています気象情報の際風邪の強さを伝えるのに、ものが飛ばされのたとえを伝えてくださるのは大変わかりやすいです(京都府・女性・70代)
生活と直結してリンクしないように感じる。通達手段なのか、ミクロな情報ではないから分からないが、生活

の一部感が必要に思う。(千葉県・男性・30代)
どこに避難したらいいか分からない(新潟県・女性・30代)
特になし(香川県・男性・20代)
無駄になってもよいので早めお対策を促してほしい(東京都・女性・60代)
特にない(大阪府・女性・30代)
自分から情報を集めるのが困難な人にも確実に伝わるよう、自治体での取り組みも始まっていますが、まだ地域によって温度差もあるようです。自治体への働きかけやノウハウの普及が必要かと思います。(群馬県・女性・50代)
特にない(大分県・女性・60代)
ありがとうございます。(大阪府・女性・60代)
全住民に確実に警報が行き届くようにしてほしい(愛知県・男性・30代)
台風が温帯低気圧に変わった後も、危険が去るまでは予報円を描いてほしい(埼玉県・男性・30代)
特にない(北海道・男性・50代)
正確な情報(東京都・女性・40代)
なし(山梨県・男性・40代)
ニュースでは探さなくても情報が手に入るのは良いが、危険度がどのくらいなのか把握しづらい。数値化したり、現在地に応じた情報が手に入りやすいとよい。アプリなどで通知機能があればと思う。(千葉県・女性・20代)
あまりにも何回も同じような情報が出てしまうと、気をつけなければという思いが弱まる(愛知県・女性・60代)
最後は個人の判断で、自己責任(山梨県・女性・60代)
避難できない障害者や高齢者などは、どうしたらよいのか疑問を持つ(愛知県・女性・60代)
ダイレクトメールを多く活用してもらいたい(山梨県・男性・30代)
最近では早めに情報が発表される事が多くなったとは思いますが、より早く確実な情報が欲しいですね。(愛知県・女性・50代)
特になし(静岡県・男性・20代)
空振りになっても細かい情報がほしいと思います。(北海道・女性・60代)
危険な目に遭ったことがないので、特別な措置がなければあまり頼りにはしないと思います。それよりも地区の防災放送を優先して行動をしたいと思います。(長崎県・女性・30代)
特にない(茨城県・男性・50代)
空振りでいいので、災害時は避難を進める情報を積極的に出してほしい(福岡県・男性・20代)
日頃から防災意識を高めておく必要があると思います。(広島県・男性・40代)
素早い情報が欲しい(東京都・男性・40代)
無し(兵庫県・女性・70代)
停電になってしまったら、テレビからなどの情報が入らないため、携帯電話からの情報の発信を期待する。またはその他の方法で。(京都府・女性・20代)
特になし(北海道・女性・40代)
天井川が近くにあるので豪雨、浸水の危険性が高い地域に住んでいるので、雨には最も心配している。内水面排水の機場が正常稼働できるか常に心配してる。(島根県・男性・40代)
市町村と連携して情報を流してほしい(大阪府・男性・40代)
私の住んでいる所は余り災害が無いところで防災訓練等あるが参加したことがない(三重県・男性・70代)
街中の高層マンションに住んでいるときは、洪水等の心配がなければ避難の必要はないのか判断に迷います。(北海道・女性・70代)
なし(熊本県・男性・30代)

V. 巻末資料

特にない（京都府・男性・60代）
PCは使っていますが、タブレット類は持っていません。テレビは朝昼夕と夜点けていますが、それ以外は常時ラジオを聞いています。災害時、停電とかバッテリー切れを考えるとラジオが一番長く利用できると思い、電波時計とともにあちこちに置いています。ラジオは点けていると、地元の情報や緊急情報が入りとても重宝です。（石川県・女性・70代）
特にない（新潟県・男性・40代）
なし（大阪府・女性・50代）
常に防災意識、危機意識を持つことが大切。（大分県・男性・40代）
情報を判断するのは個人の責任であるが、避難指示等は強制も必要（福岡県・男性・60代）
自治体が出す防災情報は暴風雨の時に聞き取れないことが多く、役に立たない。（埼玉県・女性・70代）
分かりやすく多少煽る形でも良いかと思う（北海道・男性・30代）
時間帯ごとの予想、例えば、いつ頃特別警報が発令される見込みなのか、などの情報提供を充実させてほしい。避難行動は、早すぎても空振りの場合などに無駄が大きいし、遅すぎて手遅れになるのも困る。（東京都・男性・40代）
テレビで避難が遅れて取り残されたのを見ると「自分は大丈夫」という考えは甘いと感じた。もしもの時に早めに行動する気持ちを持つと思う（大分県・女性・20代）
危険（埼玉県・男性・40代）
早目の情報は必要だと思うが、地域ごとに何処に避難すれば良いかなどの細かい事とその都度わかると良い。（外出時等）（大阪府・男性・60代）
いろいろな情報が多く、取捨選択が難しい。（京都府・女性・20代）
自分で見に行かなくても自然に見られるようになれば良いと思います。（大阪府・女性・40代）
災害に会ったことが無いので 良く解らない（山口県・女性・70代）
その地域にいたことがないので実感がわからない、警報が出た時に避難するのも危険じゃないのかとってしまう。（東京都・男性・20代）
なし（福岡県・女性・20代）
空振りに終わっても良いので、新しい情報を配信して欲しい。（山口県・男性・40代）
自然相手に予測難しいですが、事前に情報を出して貰うことは大事。外れたとしても。（福岡県・男性・30代）
備えあれば憂いなし（東京都・男性・60代）
あまり気にしていない（大分県・男性・40代）
特になし（岩手県・男性・70代）
過去にあった災害の提示（栃木県・女性・50代）
判断することが難しい（岡山県・女性・70代）
災害の発生予想を一斉にメール配信してほしい（滋賀県・男性・40代）
特にない（栃木県・女性・60代）
テレビの情報が一番わかりやすいので、詳しい情報を流してほしい。（神奈川県・女性・60代）
警報は空振りでも良いのでだしてほしい（神奈川県・女性・60代）
情報が充実しており、とても助かっている。（沖縄県・女性・30代）
マンションの26階で、下肢が不自なので、下手に避難するより（滋賀県・女性・70代）
台風など危険性が高い場合、不要の外出は避けるようにとのテレビなどで呼びかけているが、あらかじめ予測できるなら、通勤、通学しなければならない人のための交通手段の確保など、自治体と連携して、スムーズな移動ができるようにならないかと思う。（宮城県・女性・50代）
特にない（山梨県・女性・30代）
特になし。（栃木県・男性・50代）

特になし（岩手県・女性・40代）
正確な情報を早めに欲しい（岐阜県・男性・30代）
個人個人が常に危機感を持つべき（大阪府・男性・60代）
特になし（新潟県・女性・40代）
色々な表示はありがたいが 文字が小さいと判読できかねる。ある程度の文字サイズは考慮していただきたいです。（東京都・女性・70代）
避難経路は海側にあるため洪水が起きてからは遅いのと避難しにくいのはどうにかしたいと思います。（大分県・女性・40代）
危険が少しでもあったら避難をする。それが空振りでも万が一を考えたほうが良い。（神奈川県・女性・50代）
監視カメラを多く設置して目で見える災害危険情報を増やしてほしい。（岡山県・男性・50代）
なし（石川県・男性・30代）
鉄道網が以前より、情報でマヒしてしまうことが多いように思うそれが不満である（東京都・女性・50代）
避難指示とか避難勧告とかどちらが危険か未だ理解があやふや（神奈川県・女性・60代）
知らない（茨城県・男性・20代）
大雨特別警報が出るような気象状況の場合、30分毎ぐらいにTVで見れる高齢者にもわかりやすい気象情報を提供して欲しい（福岡県・女性・60代）
特になし（埼玉県・女性・30代）
最近は自然災害による被害が多く怖いので、ハザードマップや警報など、気象情報をみて安全を待つ盛りたいと思う。（新潟県・女性・20代）
特になし。自己責任で自己防衛するだけ。的確な情報の提供を期待しています。（秋田県・女性・60代）
空振り警報が多くて信用できない（岐阜県・男性・50代）
いつも利用させていただいています。（長野県・男性・50代）
特になし（広島県・男性・60代）
思いつかない。（奈良県・男性・60代）
確実な情報を伝えて欲しい（長崎県・女性・40代）
今年は気象異変で災害が多く大変な年でしたが、これからも続くのではないかと心配です。情報はとても大切だと思います。早め早めの準備と大げさだと言われても情報を伝えてほしいです。（兵庫県・女性・50代）
私の場所では、大雨、大雪、台風、強風等の情報が必要なところですが。心配の時は、テレビ(nHK)を夜中でも見えています。（群馬県・女性・60代）
正確な情報（岩手県・女性・60代）
毎回台風が来た時、避難してくださいと出るが、そんなに風雨強くない時がある。本当に避難した方がいいのかよくわからない（徳島県・女性・40代）
旅行中や移動中は大雨や洪水の危険がわかりにくい。交通関係の情報も連動すると良いと思う（北海道・男性・60代）
自分の家がハザードマップで危険とされていないため、台風などの時家の外にあるものはしまうようにしている。竜巻警報が出たときカーテンと、窓を閉めるくらいしかわからず、待っている時間も長いのでどうしていいかわからない。（山形県・男性・30代）
すぐに情報を得られるようにしたいです（東京都・女性・40代）
特になし（新潟県・男性・30代）
もっと細かい地域の情報がほしい（岡山県・男性・40代）
ない（広島県・男性・20代）
危険がどのくらい続くのかわかると対処しやすいと思う（愛知県・女性・60代）
異常気象が深刻化しているので、多少大袈裟でも早めの非難を促すような気象情報をすべきだと思う。（埼玉県・

V. 巻末資料

男性・30代)
離島に住んでいるため、船の状況などもケータイに情報がすぐ入るなどの情報が欲しい。警報が出ると確実にわかっているときは、事前に今日は警報が出るなど知らせて欲しい(香川県・女性・20代)
なし(北海道・女性・20代)
特にない(東京都・女性・70代)
高解像度ナウキャストのような解像度の高いものは非常に有効だと思うので、解像度を上げた情報を提供してほしい。(愛知県・男性・60代)
例え 空振りになったとしても 早めの情報を提供して欲しい(新潟県・女性・60代)
旅行にいった先での不安がある。(富山県・男性・60代)
危険が差し迫っていると予想される時、カラ躁りを気にせず積極的に警報を出してほしい。(兵庫県・男性・70代)
天災は来る。人は自然にはかなわない。人はおごっている。肝に銘じるべき。(東京都・女性・30代)
携帯電話への緊急速報も危険度に合わせて音色や音量を変えてほしい、(関係ない地域にても連続して鳴るとストレスになる)(北海道・男性・50代)
自分が住んでる市の防災センターが屋外で流す放送が聞き取りにくいです。この辺りは災害が起きてませんが、ニュースを見ているとどうしてもそこは自分の目で見た判断となりがちなのだと思います。危険が迫る地域の人は就寝時もラジオをつけっぱなしで寝て、何か音で気象庁からの指示がわかるようにするとか、何か方法があるといいのですが…(埼玉県・女性・50代)
雨も油断できない(兵庫県・男性・30代)
色が分からない人にも分かるようにした方がいい(埼玉県・男性・30代)
ない(群馬県・男性・40代)
携帯へ緊急連絡が欲しい。(茨城県・男性・60代)
とにかく、予報はより正確にして欲しい(青森県・男性・30代)
老人には、行政が早めの避難誘導を徹底したら良いかと思います。(埼玉県・女性・60代)
普段から災害に備えることが大事。(千葉県・女性・40代)
益々、気候がおかしくなり、防災の回数も増えると思いますが、何故か自分は大丈夫と言う根拠のない自信が誰にでもあると思います。様々な情報があっても意識変革をしないと宝の持ち腐れだと思います。(大阪府・女性・50代)
なし(宮崎県・男性・40代)
テレビで こまめに 情報を流して欲しい(大阪府・女性・60代)
はずれが多い。降水量などを盛りすぎて、大げさに予報しすぎ。嘘のてんこ盛り予報。(三重県・女性・50代)
特にない(新潟県・男性・70代)
想像を超える気象の今、危険を専門家が感じたら、外れてもいいのでみんなに知らせていく必要があると思います(神奈川県・女性・60代)
早めの判断が大事(沖縄県・男性・50代)
防災情報には強制力がなく、強制力を持つレベルも設けてはどうでしょうか?空ぶっても問題ないと思います。災害が起きた時には救助等が必要になり、救助する側にも危険が及ぶと思います。非難も個人に任せすぎではと思います。(栃木県・男性・40代)
もっと精度を高めてほしい(京都府・男性・40代)
自己責任で判断する。迷惑はかけないようにする。(山形県・男性・40代)
なし(神奈川県・女性・40代)
この前の台風で恐ろしさを思い知ったため、気をつけ泣けなければならないと思った。(大阪府・男性・20代)
サイトによって違うときがある(兵庫県・男性・30代)
いわき市に住んでいるが警報が出ても面積が広すぎて場所が特定しにくい(福島県・女性・60代)

予報が外れることがあっても、責任を追及しない（栃木県・男性・60代）
特にありません。（大阪府・女性・40代）
スマートフォンにあらかじめ、オフラインでも使える防災、災害時マニュアルのアプリをのせることを義務化した方がいいと思う。（東京都・女性・30代）
危険には、早めに対応することが重要だが、残念ながら老人には情報が十分伝わらないだろう（大阪府・男性・50代）
何処に避難するのが良いか予め調べておく事がとても大切だと思う。（山口県・女性・50代）
誰が見てもすぐにわかりやすいような図になるといい。（広島県・女性・20代）
いつでも逃げれるように準備する（千葉県・男性・20代）
津波とか土砂崩れとか、間に合うように報告して欲しいなと思う（栃木県・女性・20代）
台風の到達日時を現状より正確にしていきたいと思います。（神奈川県・男性・20代）
情報をもっと発信して周知する必要があると思う（鹿児島県・男性・50代）
今後ともよろしく願いいたします（愛知県・男性・30代）
今年は特に自然災害が多かったので、より一層、一般市民は防災に関する情報を求めていると思います。防災気象情報もさらに利便性が高まり、速報などで危機感などがもっと伝わり、早めの避難ができると思います。ただ、高齢者などの避難の迅速化が求められると思いますが、そこは課題だと感じます。（新潟県・女性・30代）
特にない（愛知県・男性・60代）
今ある情報内容を体系的に整理されその情報内容がどこで見ることのできるのかわかるような資料があったら良いと思う（静岡県・男性・60代）
別になし（奈良県・男性・70代）
特になし（滋賀県・女性・40代）
今思いつくことは特にない（大阪府・男性・60代）
台風の通過、停滞時間、威力、被害予想がわかりづらい。（石川県・男性・40代）
あの時、避難しておけばよかったという後悔が絶対に無いように、その地域場所や地形地勢がどのような場所であるのか？を過去の災害も含めて、自治体発行の広報誌で必ず報せて欲しい。人口流入の多い都会では更に、入転居届時に、地域災害情報誌を配布することを望みます。（東京都・女性・50代）
竜巻警報をスマホでお知らせする機能があってもいいと思います。（岩手県・男性・30代）
特になし（神奈川県・男性・30代）
オオカミ少年にならないように精度を上げてほしい（大阪府・男性・60代）
とくにない（静岡県・女性・70代）
早め早めの対処が大事だと思うが、実際は危険を感じてからの行動を取るような気がする。（東京都・女性・50代）
最近天気予報に限らず災害情報など非常に迅速に分かりやすく報道されるので助かります。また、その正確さにも感心します。その受け取れる情報を活かせるよう、避難方法や避難場所など、自らできることを災害時により活用できるよう日頃から意識しておきたいです。（愛媛県・女性・60代）
わかりやすいもの（埼玉県・女性・20代）
別になし（北海道・男性・60代）
警報が出てから、避難所まで荷物を持って避難…と考えると、もしかしたら大丈夫かも？と思いギリギリまで待ってしまいそう。（千葉県・女性・40代）
防災情報は、機を逸せず早め情報を伝達することが生命の危険を防ぐ。空振り防ぐ。空振りは結果であり、何も被害がなかったから言えること。躊躇せず空振りでも構わないので迅速に対応することが非常に重要である。（福井県・男性・60代）
特になし（秋田県・女性・50代）

V. 巻末資料

避難する際は どうやって避難するのが最善か（車か徒歩か）知りたい（宮崎県・男性・20代）
ハザードマップを各家庭に配布するとういいですね。（福岡県・男性・60代）
携帯を活用して情報を強制的に知らせてほしい。（千葉県・男性・50代）
危険事項をいち早く知らせていただけるので、毎回参考にさせていただいています。（高知県・女性・50代）
特になし（長野県・女性・20代）
無し（神奈川県・女性・50代）
特にないです（北海道・女性・30代）
特になし（広島県・男性・30代）
実際にわが身に降りかからないとなかなか緊迫感を感じないのが問題だと思う（福岡県・女性・50代）
大雨や暴風の危険度の色分けは凄く良い。冬季なら降雪、積雪の危険度も色分けされているのでしょうか？表示や色分けはできるだけシンプルに、一目でどこがどれ程危険かと分かるよう、多色は避けてほしい。色があり過ぎると見辛く思う。また、『かなり危険』な場合は色分けだけではなく、アラーム及び上段に大きな文字で『-警告-〇〇エリアは直ちに避難』等表示されると危機感が増す。パソコンよりスマホの方が利用する機会が多いので、GPS や位置情報を活用して現在いる場所の情報をより明確に分かりやすく表示してほしい。（既にそうなっているかも？）（三重県・女性・40代）
特になし（静岡県・女性・40代）
空振りを恐れず、予報は出すべき。（兵庫県・男性・40代）
早めの情報がほしい（神奈川県・女性・60代）
もう少し切迫感があるように表現してほしい（千葉県・男性・60代）
自身のために迅速な対応をしたいと思います。（福岡県・男性・60代）
気象庁の情報だけでなく市町村の情報にも気を付けて行動したいと思います。（大分県・女性・60代）
特になし（鳥取県・男性・60代）
防災無線放送さえ聞こえない（沖縄県・男性・60代）
予測精度向上願う（千葉県・男性・40代）
とくにありません。（埼玉県・女性・40代）
自治体のハザードマップを見て、自分の所は安全だと思っているのであまり関心がなかったが、今後はもう少し気を付けるようにしたい。（東京都・男性・70代）
赤道付近の可視画像など見やすく提供し台風の卵のうちから見られるようにしてほしい。（茨城県・男性・60代）
特になし（埼玉県・女性・40代）
言い方が慎重すぎる（埼玉県・女性・60代）
なし（千葉県・女性・30代）
特にない（沖縄県・男性・40代）
避難場所まで安全に行けるか不安なとき、自宅で出来る対策を知りたい。（長崎県・女性・50代）
出来るだけ早く情報提供をお願いします（鹿児島県・男性・50代）
全員に速報をしてほしい（兵庫県・男性・20代）
特になし（大分県・男性・50代）
気象情報は当たるときと、当たらないときがあるから、いざ、準備してあっても使わなくなれば食品は困ります。（山梨県・女性・40代）
吾が地域は災害の少ない地域なので、あまり関心を持ったことがなかったが、近年思いもよらないところで災害が有りますので、関心をもって災害に向き合っていかなければと感じました。（岐阜県・女性・70代）
今年は災害が多く、より身近に防災の事を考える一年だったと思う。幸いにも、被害に遭うことはなかったが、災害にあった時にどういう行動をするかなど、家族で話す機会が増えたことは良かったし、これからも防災を意識して生活をしていきたいと思う。（島根県・女性・30代）

防災無線が雨音で聞こえない事があると聞いたのでインターネットなどで防災情報を収集していたが停電が長時間続くと地域の防災情報を得られなくなってしまう可能性がある所以对策が必要だと思った（山梨県・男性・20代）
特になし（大分県・男性・60代）
特にありません。（熊本県・男性・20代）
今年はすごい被害が多く、他人事ではないように感じ、備えを見直した（静岡県・女性・30代）
特に無し（静岡県・男性・60代）
肩透かしでもいいので 危険だと思う情報は必要です。（宮崎県・女性・60代）
防災の大きさによって携帯に危険を知らせる音の大きさを変えるか種類を変えてほしい（大阪府・男性・30代）
自分の所は大丈夫と思うのが人間の常であり、直面した場合に自分が行動に移せるか自信がない。（和歌山県・男性・70代）
特になし。（岐阜県・男性・70代）
今の対応で充分だが市町村ごとの被害情報をもっと充実していたらよい（福岡県・女性・40代）
なし（福井県・女性・40代）
的確な情報をお願いします（福岡県・女性・60代）
災害発生時はNHK、民放関係なく放送を全て打ち切り、気象庁や総務省のみがテレビやラジオで放送できるようにすべきだと思う。（神奈川県・男性・20代）
空振りの軽減徹底してほしい（秋田県・男性・20代）
警報がかなり広範囲に出る場合があるので実際には危険でなくても警報範囲に入ってしまう場合があるのではないかと思う。（神奈川県・男性・50代）
迅速で確実な情報提供をお願いしたいと思います。（神奈川県・女性・50代）
気象情報を見る事は好きだが、自分の住んでいるエリアはまあ大丈夫だろうという意識がある。（和歌山県・女性・60代）
年々、自然災害における被害の規模が酷くなってきていて想定外の事がおきているので危機感を今以上に持って、自主的に非難する事が大切なんだと思った。（静岡県・女性・40代）
正しい情報が速やかに流れ、知る事が出来ると良いと思います。また、健常者だけでなく、障害のある方や動けない方などを速やかに避難させる手順を、地域で徹底した方が良いと感じます。（千葉県・女性・40代）
別にありません（愛知県・男性・70代）
聞きたい、見たい、知りたい人が選んでその情報をいち早く得られると良いと思う。（北海道・女性・50代）
以前より天気の変動がだいぶ激しくなっているので、誰にでもわかるような情報提供が必要になると思います。これからは日本中どこでも危険だとみんなが心掛けなければいけない気がします。（宮城県・女性・40代）
大雨の恐れがある場所では観天望気をも行って、情報の精度を向上して欲しい（兵庫県・男性・70代）
避難専用施設があると安心できる（京都府・男性・20代）
避難すべき時近隣の避難場所へ行くのはわかるが、土砂災害時、台風時、浸水危険時で行く場所を変えるべきなのか悩む。近隣の避難場所は自宅よりも低い場所にあり浸水危険時だと意味が無いのでは？と思うことがあるし、近くの学校は坂を上った先にあり大雨の時はもうその坂は上れないほどの水が流れているだろうと思うので。適切な避難場所の案内もあると助かる。（長崎県・女性・40代）
最近警報が出るのが早くなってきていますが、全国でさまざまな災害があり、早めの避難が大切なので良いことだと思います。ただ、いざ自分が避難するとなると、なかなか迅速な判断は出来ず、少し待つてしまうなとも思います。（愛知県・女性・20代）
現在の気象報道は「命の危険があるので避難して」など、実際の避難行動につながる、分かりやすく切迫感があるもので、たとえ空振りであってもいいと思っている。（北海道・男性・60代）
軽い重いのが全く伝わらない、もっとリアルなイメージできやすい直接的な単語を選んでほしい（大阪府・女

V. 巻末資料

性・60代)
特になし(石川県・男性・40代)
特になし(北海道・男性・50代)
なし(東京都・女性・30代)
避難所の場所が一目で分かる様な工夫があれば、良いと思います。(秋田県・女性・50代)
どのレベルで避難が必要かを明確に示してほしい(東京都・男性・40代)
不安にならないように、ハザードマップ等を家族で見ても話しておきたい(愛媛県・女性・30代)
地域により、避難情報の伝達速度が異なる(栃木県・女性・40代)
外出しているときは、特に気象情報に留意すべきだと思う。(宮城県・女性・70代)
なし(岡山県・男性・30代)
最近は夜中に雨がひどくなることが多いので、地震以外でも避難警報のアラート機能が付くと嬉しいと思う(福岡県・女性・30代)
ない(東京都・男性・50代)
住民同士の情報共有が大事だと思う(茨城県・女性・50代)
特になし(滋賀県・男性・60代)
避難勧告や避難指示などよく聞かすが、危険度との関連が認知されてないように思われる。危険度を実感できる避難命令などの表現はできないのでしょうか(鹿児島県・男性・70代)
地域によって情報にばらつきが見られる都心部ばかりの報道が偏り テレビを見る機会が多い高齢者地域に情報が行き届いていない気がする情報が少なく、豪雨災害で対策を行わなかった地域が多く命が奪われることになったので高齢者にもわかりやすい報道がないか模索して欲しいです(福岡県・女性・30代)
無し(三重県・男性・60代)
特になし(千葉県・男性・50代)
特にない(岡山県・男性・60代)
迅速に情報を発表していただきたいです情報更新を多めにしていただきたいです(石川県・女性・40代)
できる限りのことは発信していると思う。でも必要なことは自分の地域のことだけでその情報がわかりづらい。(兵庫県・男性・60代)
特別警報というシステムが新たにできて、テレビで大きいアラーム音が流れると震災の津波の映像を思い出し、心臓がギュッと締め付けられそうになります。津波が来るから避難するように再三言われても、今まで大丈夫だったからと避難しなかった人たちの多くが犠牲になり、過信をしてはいけいないのだと強く植え付けられました。(神奈川県・女性・40代)
住んでいる地域に関しての事です市放送が大雨や風で聞き取れない事が多いのでなんとかして欲しい。(千葉県・女性・60代)
特になし(兵庫県・男性・50代)
特にありません。(福岡県・男性・60代)
非難に役立てたい。(茨城県・男性・60代)
特になし(茨城県・女性・40代)
ない(東京都・女性・50代)
今後の気象状況にそった避難箇所を教えてほしい(愛知県・男性・60代)
特にない(東京都・女性・60代)
シリアなど紛争地域取材に行き行って拉致されるのと同様に、大雨などで危険な地域にいて特別警報が出ているのに避難しないで被害にあうのは自己責任だと思う。(神奈川県・男性・50代)
なし(東京都・女性・50代)
特にありません(東京都・男性・60代)

洪水？氾濫の予想の河川の地図で、氾濫の具体的な個所でなく川の全体で示されている様に思います。危険性の高い箇所を具体的に見られればイイナと思います。(茨城県・男性・40代)
特になし(神奈川県・男性・50代)
高台に家があるので、洪水はあまり気にならないが、強風で窓ガラスが怖いので、その対策を考えようと思う(沖縄県・女性・60代)
大変だと思いますができる限り正確な情報をお願いしたいです。(岡山県・女性・40代)
個々人の判断が大切になってきていると思う(福島県・男性・60代)
ない(広島県・男性・40代)
特になし(栃木県・女性・20代)
アプリでなくてもスマホで地震に限らず特別警報でも警報音をした方がいいと思います。(千葉県・男性・50代)
とくになし(愛知県・女性・20代)
特になし(千葉県・男性・60代)
専門用語ではなく誰が見ても聞いてもわかりやすい言葉で。(東京都・女性・60代)
特になし(山口県・女性・40代)
大雨や洪水等の起こりやすい場所には住んでいないのであまり直接的に感じたことはありませんが、これから先どのような異常気象現象にわからないので精確、かつオオカミ少年的な情報にならないようにして頂けたらと思います。(東京都・女性・60代)
早め早めの対策をしようと思う(群馬県・女性・70代)
熊本地震体験者です。国民すべてが防災意識をもち、広く知らしめることが大切。日本中、どこでも起きうる。天災は忘れなくてもやって来る!!(熊本県・女性・60代)
災害の危険が迫ったとき、避難情報をもう少し詳しく携帯メールに知らせてほしい(兵庫県・男性・30代)
現状で十分助かっています。(岡山県・男性・30代)
特になし(埼玉県・女性・50代)
言い方が変わるのはいくつか。一貫してかつしつこいくらい啓もうすべき(埼玉県・女性・60代)
いま思いつかない(兵庫県・男性・70代)
気象情報は、最も大切ですが、身の安全を第一と考えてのはんだんがたいせつだとかがえています。(埼玉県・女性・70代)
早めの対応を考えたいので、出来るだけ詳しく情報を発信して欲しい。(奈良県・女性・60代)
信頼しているので、今後も解りやすく正確な情報を発信してください。(長野県・女性・50代)
特になし(佐賀県・女性・40代)
特にない(栃木県・女性・60代)
早い段階で知ることができれば対策できるので良いと思う(東京都・女性・30代)
うちは、海に近く海拔も低い土地に住んでいます。南海トラフで被害に遭うであろう地区です。ハザードマップ等よく見て慣れていこうと思います。浸水被害や液状化の地域ですが、大雨警報は良く出るので慣れてしまっていて危険度を感じにくく大雨警報での避難が中々考えられません。でも特別警報出てからだと遅いですし、大雨警報と特別警報の間に避難しなくちゃと思う何か知らせが欲しいです。(愛知県・女性・30代)
今まで身近にはないので、いざと言うときは少々不安(島根県・女性・60代)
もう少しテレビでも緊張感をもてるように、災害が発生したら、バラエティやドラマではなく、どのチャンネルにしても災害発生の情報番組にしてほしい(北海道・女性・30代)
特になし(静岡県・男性・50代)
なし(青森県・男性・20代)
特になし。(大阪府・男性・70代)
通勤で電車利用しているため大雨等により止まってしまうことが心配(神奈川県・女性・30代)

V. 巻末資料

詳しい地域まで知りたい（大阪府・男性・20代）
特になし（埼玉県・男性・40代）
なし（大阪府・男性・50代）
洪水、停電、断水等ならないようにもっと国が対策をしてほしいと思う（兵庫県・女性・20代）
特に無い（福岡県・男性・30代）
特になし（沖縄県・男性・30代）
なし（大阪府・男性・50代）
早めの避難が大事かなと思う（秋田県・女性・20代）
ヨメにきているのでこの土地の状況を知らないのではないかと不安。今までの災害記録がほしい（熊本県・女性・50代）
災害が多いので、気象情報にも関心を持つようになりました。（広島県・女性・40代）
特にありません。（大阪府・女性・70代）
最近、大げさに発表している。（愛知県・男性・60代）
高槻在住で今は地震が怖いです。（大阪府・女性・50代）
特にありません（東京都・女性・20代）
現状で満足している。（埼玉県・女性・50代）
誰でもがすぐわかる、簡単明瞭な分かりやすい言葉にしてほしい。（大阪府・女性・60代）
なかなか家を空けるのは勇気がいります。特に、家に動物がいると決断が鈍ります。（福岡県・女性・40代）
なし（千葉県・男性・40代）
ここ最近台風等異常気象が多いので、早めの情報が欲しいと思う（神奈川県・女性・40代）
地震などの予告はもうちょっと精度を上げてもらい誰でも逃げれるくらいの時間に余裕を持って知らせてほしい（茨城県・男性・30代）
未だ田舎ではゴミをたくさん燃やす人がいる。これだけ災害が多くなっているにも関わらずだ。（石川県・男性・70代）
常時避難用のものを用意しておく（静岡県・女性・50代）
活用しています（福島県・男性・60代）
特になし（神奈川県・男性・20代）
特になし（岐阜県・男性・70代）
特にありません（埼玉県・女性・50代）
もちろん正確な情報をいち早く知らせて貰えるととても有難いと思います。今は何が起こるか分からない世の中になりました。いろいろ言われる事も多いと思いますがより良くなるように期待しています。（神奈川県・女性・60代）
自然災害はいつ何時起こるか分からないので、早め早めの対応が必要だと思うので、気象情報は早めに得るようにしたい。（千葉県・女性・60代）
日頃からの意識が大切。（岐阜県・男性・50代）
今はテレビよりネットの方が早く情報が取れるので利用している。（神奈川県・男性・40代）
自分が住んでいる自治体の詳しい区分での防災情報が、地方テレビでも情報がわかるようになって欲しい（福岡県・女性・20代）
今迄の経験で気象情報は聞くようにしていますが、なかなか情報が的確ではなくあてにならないことが多いのでどうしても（静岡県・女性・70代）
我が家は高台なので普段あまり気にしていませんが、居場所が家ではない場合の対処はどうすべきかと思います（静岡県・女性・40代）
たとえ 予報が空振りでも丁寧な予報が良いと思います（神奈川県・女性・70代）

最新の情報をこまめにチェックして、自分で自分の身を守るようにする。(茨城県・女性・30代)
特にない(岡山県・女性・30代)
身近な情報があればわかりやすい。どうしても離れたところは人ごとのように聞いてしまう。(秋田県・女性・30代)
台風が近づいているとき、気象情報や避難準備情報はこまめに見るようにしているが、避難所が家から遠いので、歩いて避難するのは難しい。そこで、水害の恐れのある時は自宅の二階以上に避難しようと思っている。犬がいるので犬用の避難グッズも準備しているが、避難所が受け入れてくれない場合はどうすればよいのか困ってしまう。犬も一緒に受け入れてくれるようにぜひお願いしたい。(兵庫県・女性・60代)
避難。おかしでいく(群馬県・男性・30代)
特に無い(神奈川県・女性・40代)
避難する際の目安になるのでいいと思う。(沖縄県・女性・50代)
警報の出る回数が多く、学校が休みになるので困っています…(兵庫県・女性・40代)
過度な情報はやめてほしい。(長野県・男性・30代)
特になし(山口県・女性・60代)
公共交通機関の計画運休との関連性を明確にしてほしい。(兵庫県・女性・30代)
警報発令は早めに発表してほしい、それが、たとえ外れても人命優先で考えてほしい。(東京都・男性・70代)
最近では災害が多くて、被害も深刻になってきていて情報には気を付けてふれている。危険が迫っている時はきめ細やかな情報をこれからも出して欲しい。(新潟県・女性・60代)
なし(東京都・男性・20代)
ここ数年、大きな災害が当たり前ようになってきた。防災気象情報をなるべく見るようにして、早めの対策をしたいと思う。(秋田県・女性・60代)
あまり危険地区ではないので その時はその時と思っている(福島県・女性・50代)
高齢者のみの家庭にも分かりやすいものが必要。スマホやアプリだけだと高齢者には伝わらない。(神奈川県・女性・40代)
自分の住んでいる地域の危険度を知っておくことが大切だと思う。(神奈川県・男性・50代)
精度を上げて(埼玉県・男性・50代)
いいアプリを国が作っていただきたいです(神奈川県・男性・40代)
マンションなので、自治体からのハザードマップが、手にはいりにくいので、コンビニなど、配布してほしい。(京都府・女性・60代)
科学などの進歩により、天気予報も格段にきめ細かに気象情報として発信されるようになった。それに伴い受信者も発信された情報に対して迅速に動けるようにしたいものである。(青森県・女性・60代)
以前より情報はたくさん細かく出るようになったが、実際の避難行動につながらないことがあるのが課題だと思う。(愛媛県・女性・50代)
自然災害は何時でも起こる(栃木県・女性・60代)
特にない(千葉県・女性・50代)
特になし(徳島県・男性・60代)
特になし(福島県・男性・50代)
地震予報(愛知県・男性・30代)
特になし(神奈川県・女性・60代)
特になし(愛知県・女性・70代)
災害が最もひどい状況をテレビで放映するのが常ですが、それが静まったときや、その範囲を正確に知らせてほしいと思います。(東京都・女性・70代)
人ごとではない(大阪府・女性・40代)

V. 巻末資料

わからない（茨城県・女性・70代）
空振りでもいいので、あらゆるメディアを通して積極的に情報発信して欲しい。（東京都・男性・40代）
空振りでも良いので情報はきちんと出して欲しい（京都府・女性・60代）
特になし（愛知県・男性・50代）
さいたま市は災害が起き難いのであまり危機感が無い。（埼玉県・男性・60代）
ハザードマップ等を活用して災害に備えようと改めて思った。（茨城県・女性・30代）
自分の家は地盤もしっかりしていて高台なのでそこまで心配ではないけど坂を下った所が田んぼを埋め立てて住宅地にしたから防災情報などハザードマップはこれまでなかった危険基準なども含まれるので実際の気象状況など見ながら活用していきたいです。（宮城県・女性・30代）
特に（長崎県・男性・20代）
どうせ数時間後に警報が発令される可能性が大きくなる場合、学生は登校後悪天候の中帰宅することのないよう。朝の7時、9時に合わせて発令してほしい。親は心配で仕方がない。（兵庫県・女性・40代）
災害が発生したときは、ハザードマップなどの防災情報をテレビなどで見聞きする機会が増えるが、平時は何もない。世間の関心が低いからこそ報道がないとは思いますが、日ごろからの心構えや準備が必要と考え、みなのかえらから変える必要があると思う。（愛知県・女性・30代）
なし（富山県・女性・60代）
誰にも分かりやすく素早く伝わると良いと思う（千葉県・女性・40代）
無し（大分県・女性・50代）
早めの避難が大事だが、警報の見方などをもっと周囲に周知させるべきだと思う。（熊本県・女性・30代）
住宅密集地において、避難場所には全住民が避難できるキャパがあるとは思えない。気象情報は必要であるが、自治体の避難対策には限界を感じます。（静岡県・男性・60代）
特になし（東京都・女性・30代）
大雨の時に避難所へ行くよりも自宅に居た方が良い気がする。（福岡県・男性・50代）
こまめに新しい情報を知りたい（東京都・女性・40代）
大雨の中避難するのは子持ちにとって大変です手足が不自由な方や病気の方など、それぞれ置かれていた状況が違っているので、避難の仕方なども詳しくアドバイスが欲しい。（東京都・男性・30代）
特になし（徳島県・男性・60代）
行政から避難勧告の放送があるとき、寝具、食料、飲み物持参と放送があった。台風でこれだけ持参するには車がなかったら避難場所にいけない。年寄り一人で暮らしには無理だと思った（鹿児島県・女性・60代）
テレビなどで、災害の時は兎に角早めの避難を呼びかけているので、迷わずに避難しようと思う。（群馬県・女性・60代）
避難は大袈裟だと思うこともある。避難しなければいけないのにと後悔することのないよう、気軽に避難できるような仕組みが欲しい。例えば「避難カフェ」、不安な気持ちで避難するのではなく、おしゃべりするために避難しに行く。例えば「避難所de仕事」、避難所にオフィス機能がある。手伝いができる、仕事ができるなど、行けば何かすることができるとしたら、行く気持ちになる。避難所でじっと待つだけでも苦痛。（大阪府・男性・30代）
特にありません（東京都・男性・60代）
台風や大雨などの時にテレビ画面に常に情報を流れているのは良いと思う。（愛知県・女性・50代）
特になし（大阪府・男性・20代）
普段、選挙などの際に聞こえる市の放送が小さいので、防災無線の時もこのままでは困る気がする（千葉県・女性・20代）
なし（新潟県・男性・60代）
特になし（埼玉県・男性・50代）

避難勧告の「勧告」では危機感を感じられないため、「命令」に近い言葉を用いた方が良い。個人の自由なので「命令」と言う言葉は使えないため、「勧告」が「命令」に近い言葉だと言うことを国民に理解してもらわないといけない。(兵庫県・男性・30代)
同じ内容の警報の数が多すぎる。自分の地域の情報なら欲しいが、かなり離れている場所の警報はいらない。また高齢者のみの避難指示も高齢者でアプリや携帯を使いこなせる人が少ないので無意味だと思う。そういう人はテレビやラジオで情報を得ているから、警報で何回もしつこく出す必要はない。(北海道・女性・20代)
特になし(東京都・男性・60代)
早めの情報がほしいです。(東京都・女性・60代)
大雨で防災無線が聞こえないことがある(神奈川県・男性・50代)
アラートの正確性(宮城県・男性・20代)
居住地の状況により、情報が適用されない地区もあり、住民が情報を的確に判断して、「自分の命は自分で守る」心がけが必要だ。(大阪府・男性・70代)
100%の予測は難しいとは思いますが、予報予測の精度を上げて頂くことが防災につながると思います。(千葉県・男性・40代)
なし(東京都・女性・40代)
たくさん情報は提供さらているのに、どうしてもまだ大丈夫かな。家は大丈夫だろうなと思ってしまう。空振りでも良いから早めに避難をしようと思う。(三重県・女性・30代)
精度を高めて(岩手県・男性・60代)
早く通知して欲しい(大阪府・女性・60代)
自宅待機を行政主体でとして通知し、学校や職場の判断による差をなくしてほしい。(愛知県・男性・20代)
台風や大雨の情報は 早めに準備や避難が出きるので お年寄りでも分かりやすい情報提供が良いのではと思います。(大阪府・女性・50代)
電気が止まり、ランタンや懐中電灯や電池の用意、断水の時の為に、お風呂に水をはって置く、カセットボンベ、冬などは暖房の為に石油ストーブ(温風式でないもの)を用意して置く事を感じました。(北海道・女性・60代)
アプリは便利だが、もう少し詳しい情報があるといいと思うこともある。(愛知県・女性・40代)
地盤も固く、川や海の傍ではなく、斜面もないので、実感がnai。(東京都・男性・50代)
特になし(大阪府・女性・20代)
特にない(鹿児島県・女性・40代)
特にありません。(千葉県・男性・60代)
近所との連携が大事だと思う(千葉県・女性・70代)
避難したくても地域的に出来ない地区もあります。全てが共通でない事も視野に入れてほしいです。(広島県・女性・60代)
暴風警報を早く出しすぎ。何を基準に出してるのか不明。(愛知県・男性・20代)
お年寄りにもよくわかるようにしてもらいたいです。(広島県・女性・50代)
今年は台風が多く、天気予報によって仕事が休みになったりした。気象情報はとても重要で、精度の高い情報を期待する。休みになったが結局雨風は大したことがなかったというのは困る。(本来できた仕事が出来なくなったから)(静岡県・女性・20代)
なし(広島県・女性・70代)
特にない(兵庫県・男性・60代)
現代の科学では、地震予知はできない。むしろ、自然のなかから予知できる昔ながらの方法にも注目したい。(静岡県・男性・60代)
詳しい防災気象情報は気象庁のホームページに行かないと見れない状態では、なかなか情報の共有が難しいと思う。(茨城県・男性・40代)

V. 巻末資料

災害の少ない地域だが交通網の情報は早く知りたい（千葉県・女性・70代）
「特別警報」については、正直まだ世間的に正しく周知されているとは思えず、かえって混乱を招いているという話も聞いています。また、この「特別警報」の存在のおかげで、それまでの各種「警報」はもちろん、「避難情報」との「混同」もあると思われ、それがそういった「混乱」をより深めているとも考えられます。個人的には、現在の状況では「特別警報」を無くした方が分かりやすいと考えています。（東京都・男性・30代）
避難が必要な状況だと発表されても避難所が開設されていない、避難所が家よりも安全な場所だとは到底思えないなど、避難を躊躇うのが現状としてある。自治体との連携をはかるなどもっと現実的な避難情報になると良い（愛知県・女性・30代）
避難を早めに呼びかけるべきだと思う（徳島県・男性・20代）
過去、経験のないような、という風災害の情報が実感がない。（広島県・男性・60代）
危険が迫っていると自分では的確な判断が下さないのが、具体的なことばで行動を指示してくれると助かります。（神奈川県・女性・50代）
情報をまめに知ること（茨城県・女性・60代）
特になし（新潟県・男性・50代）
特になし（千葉県・女性・30代）
空振りでもよいので情報を出す。（長野県・女性・40代）
非難場所が遠い（千葉県・男性・60代）
空振りを気にせず、積極的に情報は発信して欲しい。（広島県・男性・60代）
特になし（静岡県・男性・50代）
自分や家族のために参考にさせてもらいたい（茨城県・男性・40代）
観光等で山間部にいる際には防災気象情報に注意したい（群馬県・男性・60代）
情報提供を早めにきっちりしてほしい（三重県・男性・50代）
外国人にもっとわかるようにしてほしい（三重県・男性・40代）
調べなくてはと思うが、どうしても他人事に思えて調べる気になれない（岩手県・女性・20代）
とにかく早めの情報をスマホに伝えて欲しい。（岩手県・男性・40代）
地域によって見舞われる災害のタイプや度合いは千差万別なので自治体が主体的な防災意識をしっかりとってそこに技術をもった専門機関がサポートしてほしいと考えます（茨城県・男性・30代）
正確で的確な情報が欲しい（埼玉県・女性・20代）
今の情報で十分だと思います。（福島県・男性・60代）
早めの情報を教えてほしい。（秋田県・女性・70代）
が特になし。（福岡県・女性・40代）
これからもっと精度が上がることを期待したい（愛知県・男性・40代）
特になし（茨城県・男性・30代）
各地域ごとより詳細な情報がリアルタイムで得られるとよい（愛知県・男性・60代）
危険度は、言葉や色分けだけですべて記憶するのは面倒なので、数字やアルファベットでも表示してほしい。最高レベルは★マークをつけるとか。（神奈川県・女性・50代）
広島岡山の災害のあと、少し大げさなくらいの台風実況報道されるようになってきましたが、それぐらいしないとなかなか行動に移せない国民性なのでもっと過激な指示でも良いと思う。（静岡県・女性・50代）
特になし（大分県・男性・60代）
川の氾濫だけは勘弁してほしい（茨城県・男性・40代）
情報が発信されていても、高齢者など携帯端末に親しみのない人には伝わらないこともあるたとえ避難したくとも移動手段がない場合はなすすべがない。独居世帯が被害の起きやすい山間部にも広まっており、緊急時には対応が容易ではない（兵庫県・女性・50代）

自分の住んでいる地域のハザードマップは機会あるごとに見ている。避難場所が特別高い場所ではないので大雨だと心配。大雨の時の避難判断をTVやスマホで地区ごとに知らせてもらえれば安心（埼玉県・女性・70代）
特になし（愛知県・男性・30代）
早期避難が1番（滋賀県・男性・30代）
警報が出てもどこが安全なのかなど良く分からないので結局家から動けない（広島県・女性・30代）
停電になった時に備えて地域無線を行なったほうが良いと思う。消防や警察の呼びかけも。（宮城県・女性・20代）
いつもの確な情報を流してほしい（大阪府・男性・60代）
町内放送で早期避難できるシステムをもっと確立してもらいたい（埼玉県・男性・40代）
早めの対策は非常に大切ですが、地区ではそう言う危険がないと思われる時も避難情報を出している早すぎるのではの気持ち強い出せば文句は言われぬ感が強すぎると感じる改善される事を望みます。（静岡県・女性・60代）
私どもの住んでいる地域はお陰様で余り災害の少ない地域ですので、他の地域の様な町内にスピーカー等の呼びかけなどはありません。したがってテレビとスマホでのみ情報を得ておりますが、テレビを見ていない時やスマホの近くにいない時の不安がぬぐえません。テレビを切っても音を出さず方法がないかメーカーさんと是非開発して頂きたいと思っております。（富山県・女性・70代）
情報が届かない人がいないようにしてほしい（北海道・女性・50代）
各自治体の現状にあわせて予想される災害別に訓練を実施すべきと考える。（千葉県・男性・60代）
ない（神奈川県・男性・50代）
特になし（三重県・男性・50代）
きめ細かい情報が伝わるとよい（東京都・女性・70代）
HPにわざわざ見に行くのはめんどくさいと思ってしまう。このアンケートで出てきた情報をまとめて見られるアプリがあったらダウンロードして利用したいと思うし、利用者はかなり増えると思う。（神奈川県・女性・20代）
家の近所にマップの看板を設置してほしい（静岡県・男性・40代）
ハザードマップを活用したいのだが、非常に、見るのが、確認が、困難。住宅地図のような、公的機関や、信号機の地番目印などが無いので、見極めるのが非常に困難である。使えない。（東京都・女性・60代）
外すことは気にせずに回数を重ねていき、広報だけでなく住民側の対応の精度も上げていければと思う（東京都・男性・30代）
避難準備、避難指示、避難勧告の意味が、多くの人々に伝わっていないように思います。もう少しわかりやすい表現の仕方があるのではないかと思います。（岩手県・男性・50代）
特段なし（兵庫県・女性・60代）
余りにしないで生活している（宮城県・男性・60代）
誰もがわかりやすく容易に入手できることが必要と感じます。（北海道・男性・40代）
どうしても自分の所は大丈夫という気持ちになりがち。可能であれば、細かく避難しなければならない地域をテレビや自治体放送で発信し、多少大袈裟になろうが危機感を煽った方が良い。誰かが命を落として泣かれるより、避難して何も無くて文句言われる方がずっと良い。（愛媛県・男性・30代）
勉強が大事（和歌山県・男性・40代）
積極的な情報共有にとっても助かっている。ありがとうございます。インターネットのリテラシーが低い人や移動困難なお年寄りなどへの対策が今後ますます重要になってくると思う。（東京都・男性・30代）
なし（埼玉県・男性・60代）
情報はできる限り見ておきたい（東京都・女性・40代）
防災気象情報は、言葉（単語）だけではわかりにくいものがある。誰でも理解できるよう 新聞・テレビで周知

V. 巻末資料

してほしい。(静岡県・男性・70代)
安全安心第一(長野県・男性・30代)
最近のTVの天気予報の精度は良くなってきた(千葉県・男性・60代)
我が家はマンションの11階ですので避難施設より高所にあります。それゆえに避難の判断が難しいと思っています。(東京都・男性・60代)
早く知りたい(富山県・男性・40代)
気象情報をライブでの放送を希望する(京都府・女性・60代)
的確な情報がほしい(千葉県・女性・50代)
みんなが見ると思うのでサーバーがダウンしないようにしてほしい(神奈川県・男性・20代)
なし(神奈川県・男性・30代)
格安スマホでも通知が来るようにすべき(愛知県・男性・30代)
特になし(岡山県・男性・40代)
緊急速報をこまめに発信して欲しい(静岡県・男性・30代)
災害に遭ってからでは遅いので、命の危険が少しでもあるなら、取り越し苦労になってもいいから早めの避難勧告が欲しい(奈良県・男性・30代)
煽っているような情報の時もあるので、正確な気象情報を知りたい。(東京都・女性・50代)
自宅(賃貸住宅の2階)の近くの指定避難所は、冠水しやすい道路を渡ったところにあるので、いざというときはむしろ避難せずに自宅にいた方が安全だと思う。(栃木県・女性・40代)
避難先での情報提供をもっとしてほしいと思います。(滋賀県・男性・60代)
別に(福岡県・男性・60代)
今回の関西を襲った台風は思っていた以上の被害があった。でも外に出る方が危険状態で避難する判断は難しい。安全を確保するためには自己判断基準を日頃から見極める必要を感じた。(大阪府・女性・70代)
最強では台風の発生も多く、これまでとは違う進路を辿ることも多いため、全国的に台風への備えや小さな頃からの災害に対する教育が必要だと感じる。各テレビ局の現地での台風中継はリポーター等の負担が大きく、また危険であるためやめたほうがいいと感じる。外の風景から風が強い等は十分、視聴者には感じ取れる。(福岡県・女性・20代)
同じ町内でも各家によって危険度も家族構成も異なるので一律に避難と言われてもにわかには信じられないことが多い。(香川県・女性・60代)
危険な気象条件に対して、社会人や企業への呼びかけをきちんとして欲しい(京都府・男性・20代)
なし(静岡県・男性・20代)
特になし(埼玉県・男性・60代)
早めの情報収集と対応が生死を分ける(福島県・女性・60代)
今後も宜しくお願いします?(宮崎県・女性・40代)
一蓮托生。自然災害には対抗することはできません。失うばかりです。(茨城県・男性・60代)
空振りが多いと、本当に危険な時に危機感が薄れてしまう気がする。(東京都・男性・30代)
高齢者も避難できるように、サポートが必要。地域の放送は聞こえないときがある。(岐阜県・女性・20代)
危険地域のテレビ放送に警報発令(神奈川県・男性・60代)
危険度マップで今後〇時間後にどのようになるかを、降雨予想マップのようにだしてもらえるとどれ位避難時間を稼げるか参考になる。(愛媛県・男性・30代)
空振りを気にせずどんどん情報を提供して欲しいものです(北海道・男性・60代)
特にありません。(東京都・男性・50代)
これからは、もっと情報に敏感になりたいと思います。(長野県・男性・40代)
空振りでもいいので早めに自治体は、情報を出して欲しい(広島県・男性・50代)

我が家は一級河川水系に近いため水位計情報で判断しています。河川水系の降雨情報精度が改善すれば役立つ。 (岐阜県・男性・70代)
各家庭に行政防災無線があればいいと思う(山形県・女性・50代)
地域別での詳細情報あれば助かります(宮城県・男性・70代)
大きさでも、早めの情報は大切だと思います。(東京都・女性・40代)
地図をもう少し詳細に解りやすくしてほしい(神奈川県・女性・60代)
わからん(北海道・男性・30代)
なし(島根県・男性・60代)
住んでいる建物はしっかりしているので、避難する時がわからない(神奈川県・女性・50代)
みんながもっと活用するといい(福岡県・女性・60代)
特になし(滋賀県・男性・50代)
特になし(埼玉県・男性・20代)
なし(千葉県・男性・30代)
特になし(福岡県・男性・40代)
防災気象情報に依存するだけでなく、個々の自覚と行動が大事だと思う。又 情報は時間経過の予報もふくめて 続けて出して欲しい。(高知県・女性・60代)
ここは津波と竜巻以外では危険ではないらしいので他人事だったりただのイベント的な印象。近くの避難所が 20M級の津波では耐えられないところなのが不安。その時は確実に津波が来ない高さの場所に避難したい。(千 葉県・女性・50代)
特になし(群馬県・女性・40代)
特にない(神奈川県・男性・40代)
言葉の使い方をより極端にしたほうが(危険・大変危険・非常事態)危機感が高まって良いと思う。批判は気にせ ずもっと危機を煽っても良いのではないか。(愛媛県・男性・20代)
早めの告知などしてほしい(東京都・男性・40代)
専用のチャンネルがあっても良いと思う(埼玉県・男性・40代)
放送、テレビなどで危険を知らされても、どこか他人事、自分は大丈夫と思いがちだと思うので、個々の災害意 識を高める事が必要だと思います。(千葉県・女性・40代)
どんどん進化して欲しい(奈良県・男性・40代)
スマホに避難場所の情報も受信できたらいいと思う(大阪府・女性・20代)
なし(京都府・男性・40代)
特になし(千葉県・男性・70代)
地元のハザードマップでいう一番近い避難場所が我が家から 2.0km 以上あるので、早めの行動をすべきと思う が、決断に至るタイミングを知りたい。(富山県・男性・50代)
特になし(大分県・男性・70代)
スマホで簡単に情報が入手できるとよい。(三重県・男性・60代)
河川の水の具合などもう少し分かりやすかったらいいのにとおもいます(兵庫県・女性・30代)
特にない(愛知県・男性・30代)
もっとわかりやすく見やすくしてほしい。(滋賀県・男性・50代)
結果はどうであれ、危険の可能性がある場合はどんどん警報を出して注意を促してほしいです。(北海道・男性・ 40代)
特になし(千葉県・男性・70代)
この15年の間に大きな災害が何回かあり死者もでています。じそれらを踏まえ自治体は常に防災対策を進めて います。くどいほどに。でもそのおかげで住民の意識は高いと思います。今年も防災特別警報も出されました、

V. 巻末資料

また避難勧告、避難誘導等もだされました。地域での役割、自助努力も以前より高まっていると思います。ただこれらは常に新しく更新していくものだと思います。(岐阜県・女性・50代)
特にない(千葉県・女性・60代)
異常気象が頻りに起きているので、これからも気象情報には注意していきたいと思います(福井県・男性・60代)
迅速(埼玉県・男性・50代)
まわりの方が避難していないから大丈夫と思わず、大げさでも早めに避難する事が大事(埼玉県・女性・30代)
命を守るためには、多少大げさでもいいので、命最優先な指示と行動を。(東京都・女性・40代)
テレビで、災害にあった方々の状況を見ると地域によっては気象庁の情報が、生かされていない事が、多々あると思う。(神奈川県・男性・40代)
高齢者に分かりやすく確実に伝わるよう、自治体との連携をうまくやってほしい(神奈川県・男性・60代)
速報でも音声でながしてほしい(愛知県・女性・20代)
特にありません。(愛媛県・男性・70代)
地域によって災害意識が全く違うので、それに見合ったテレビなどで放送して頂きたい。それと、都心部に近くにつれて放送頻度は高いが過ぎたら少なくなる気がする。(秋田県・男性・30代)
高齢者のために、機器などがなくても危険を理解させるシステムがあると良い(新潟県・男性・20代)
特にない(群馬県・男性・60代)
避難できる建物をもっと多くしてほしい。(大阪府・女性・60代)
早めに出して欲しい(愛知県・男性・30代)
他人事と思わず、防災意識を高めたいと思います(埼玉県・女性・60代)
山間地に居住している為、この情報は今後大いに活用していきたいと思う。(長野県・男性・60代)
細分化された警報や注意報はわかりにくい時がある もっと大まかでいいかもしれない(熊本県・男性・60代)
・自治体の自動車がスピーカーで注意喚起の放送をしても雨風の音で聞こえないので、スピーカーに頼るのは危険だ。(東京都・女性・60代)
なし(埼玉県・男性・70代)
情報はたくさんあるとかえって判断できなくなる。(東京都・男性・60代)
特にありません (宮崎県・女性・50代)
最近是想定外の災害も多いので、より安全なところに確実に避難等をして命の危険から少しでも逃れることができるようにどんな些細な情報でも発信して欲しいと思いました。(愛知県・女性・30代)
もっと精度を上げることが前提だが、地震アラートみたいにスマホに情報が来ると良い精度向上は必須!!!(埼玉県・男性・50代)
地域の繋がりが大事(大阪府・男性・50代)
災害がおこらないでほしい(東京都・女性・20代)
ない(滋賀県・女性・50代)
もっとピンポイントでリアルタイムで情報がもらえるとありがたいと思います。(東京都・男性・40代)
仕事よりも予防避難が優先されるような社会になればよいと思う。(東京都・男性・30代)
家族との連絡方法が一番心配(東京都・女性・60代)
テレビ画面の上下左右のサイドに 気象情報を流してくれるのは 助かる(福岡県・女性・50代)
信頼性の向上(兵庫県・男性・40代)
命に関わることなので情報や便利な機能をどんどん開発して欲しい(鹿児島県・男性・30代)
自然災害は予想外の事が起こるので過敏になってもいい(埼玉県・女性・60代)
特にない(千葉県・女性・30代)
近年想定外とか50年に一度等の災害情報を頻繁に耳にしますが、温暖化が進む中、空振りを恐れず、情報を提

供して欲しいと思う。特に、各地域ごとの詳細な情報を発信して欲しいと思う。(山梨県・女性・60代)
今の気象情報は正確で信頼できるものだと思います。(茨城県・男性・60代)
避難情報がたとえ空振りであっても、家族の命には代えられないので早めに知らせてほしい。信頼している。(静岡県・女性・60代)
とくになし (京都府・女性・60代)
特にありません。(静岡県・男性・40代)
危険である兆候があればためらうことなく知らせてほしい。(埼玉県・男性・60代)
1日後の気象予測の精度が高くなってほしい。週間天気予測が2週間先まで予測出来れば便利。(埼玉県・男性・60代)
今年は災害が多かったので、気になります。防災気象情報を見ようと思いました(大阪府・女性・30代)
各市町村との連携がうまくできていないと感じる。市町村に注意喚起することで市町村ももっと真剣に備えをするのではないかと思う。(栃木県・女性・60代)
全ての家庭に防災無線があった方がいいと思う。(福島県・女性・20代)
なるべく詳しく知りたい(茨城県・女性・40代)
日頃から関心を持って情報の意味を知っておくことが自分の命を守ることになるのだと思う(広島県・女性・50代)
言葉が多すぎて、警報とか注意報とか言われてもどれくらい危険なのかよくわからない。(神奈川県・女性・20代)
よく情報は把握しておき早めに行動を起こすようにする(大阪府・女性・60代)
町内会とかが防災、避難に大きくかかわるので、町内会という組織ではなく、防災の組織に変更・名前を変えるようにしたら防災意識も高まりそう(京都府・女性・40代)
各機関で微妙に情報が違うし、気象庁も正確性に欠ける。もっと精度を上げた情報が欲しい。(群馬県・女性・50代)
特になし(埼玉県・女性・20代)
気象情報とともに、どこにどうやって避難すればいいかもわかるとよい(東京都・女性・60代)
災害についてもっと警報を早く(愛媛県・女性・30代)
気象庁は良くやっている(東京都・男性・60代)
自治体と今まで以上に情報交換をお願いします。(群馬県・男性・60代)
異常気象で予報を立てるのが難しいとは思う。以前に比べて格段に進歩しているのでさらなる進歩を願います。(東京都・女性・40代)
テレビ テレビでどんどん特集をしてほしい(兵庫県・女性・20代)
なし(大阪府・女性・60代)
情報を絶えず活用し。早めの避難を心掛けたい。(埼玉県・男性・60代)
情報弱者にとってテレビ、ラジオからの情報が頼りです。特に地域のラジオ放送は重要だと思うのですが。(北海道・女性・60代)
特に無い(静岡県・男性・30代)
精度が高い情報がほしい(神奈川県・男性・20代)
どんなに気象の分析が研究されてもその土地の地質川底の深さ気の植林状態で危険度が違うので局所的な危険な場所は早めに対処するべきだと思う。河川の点検や川底の状況、川に育っている気や植物も川の流れに支障をきたすので、そういう点検もやるべきだと思う。(大阪府・女性・60代)
特になし(滋賀県・女性・60代)
他人事とおもわずしっかり情報を確認していきたい。先を考えて行動していきたい。(長野県・女性・50代)
今年は台風や大雨の災害が多く、天気の情報例年以上に気にかけていました。少しエリアが変わると天気の状

V. 巻末資料

態も変わるので、細かいエリア別時間別の天気の情報や、雨雲レーダーはとても便利でした。雨雲レーダーは数時間先までしか見れないものも多いので、もっと先まで（朝から夜までなど）見れるようになると、洗濯を干したり、外出の備えなど出来ていいと思います。（東京都・女性・40代）
年々、正確に情報を出していただいていると思うので、これからも暮らしに役立てたいと思います。（大阪府・男性・40代）
マンション高層階に住んでる為、あまり認識がないのが事実。（宮城県・男性・60代）
空振りを恐れずに情報提供してください。（長野県・男性・40代）
土地勘のない場所で、災害にあった時が心配です。（東京都・女性・70代）
なし（神奈川県・女性・30代）
避難勧告、避難指示等の言葉の意味があまり伝わっていないようなので言葉をもう少しわかりやすい内容に変更してはどうでしょうか？（静岡県・女性・60代）
地方のテレビ局がもっと地元の情報を発信するべき（埼玉県・男性・30代）
正確であってほしい。（神奈川県・女性・60代）
災害で命を落としてしまうのは本当に残念な事だと思うので、例え「おおかみ少年」と言われたとしても情報発信して欲しいです。（東京都・女性・40代）
どこの場所でも起こりうる事なので、一番身近にあるスマホに情報提供をいち早くいただければと思います。（宮城県・女性・30代）
ハザードマップも信用できないことを最近の自然災害で判明した。自治体の情報もあてにならない。（兵庫県・男性・50代）
特になし（長崎県・男性・40代）
各地域の防災無線の音声が大変聞き取りにくいので、聞きやすい方法を考える必要があります。また、避難所（地域センターや体育館など）を、トイレの数を増やしたりして、快適に過ごせるように、税金を使って工夫してほしいです。（東京都・女性・60代）
停電になったとき、役に立たない（大阪府・女性・70代）
気象庁の防災アプリの充実。（千葉県・男性・70代）
より地域ごとに特化した防災情報を入手できるよう取り組んでほしい。（千葉県・男性・30代）
今は特になし（千葉県・男性・60代）
正確な情報を、早めをお願いします。（静岡県・男性・50代）
木造の家なので、最悪の時は鉄骨の建物に避難する。（三重県・男性・60代）
もう少しピンポイントで場所がわかればうれしい（大阪府・女性・40代）
自助・共助・公助の基本を広く周知させる必要がある（大阪府・男性・50代）
特にありません。（東京都・男性・40代）
やはり空振りが多いと危機意識が下がる。（東京都・男性・30代）
身近に危険が起こったことが無いので無関心だったが、今後は参考にしたいと思った。（埼玉県・男性・50代）
大規模な台風や大雨が来る場合は、ヤフーのトップページやツイッターなどで報道してください。（宮城県・女性・40代）
ピンポイントの情報がわかるようなシステムであれば更によし（千葉県・男性・70代）
本当に避難勧告が発令されて全員が避難できる場所を確保しているのかが疑問（岡山県・女性・40代）
防災の音が怖さをさらに増す（兵庫県・女性・20代）
出来るだけ早目の情報が欲しい。（大阪府・女性・60代）
被害が出る前に避難できるように、スマホなどにすぐに情報が来るようにしてほしい。（鹿児島県・男性・30代）
災害時には迅速にそして分かり易く情報の提供をお願いしたい（東京都・男性・60代）
地域の防災無線の音量など使用条件が厳しすぎる。非常事態であれば、最大音量で放送できるようにすべき。（岐

岐阜・男性・60代)
特にない(東京都・女性・20代)
なし(大阪府・男性・40代)
特になし(東京都・男性・50代)
台風などがあつたときは避難情報を確認することが需要(東京都・女性・70代)
防災無線は役立つと思うが全ての地域にはないのでもっと自治体には整備をしてほしい(滋賀県・男性・60代)
小さな地震のときに警報で大きさにされるとかなり焦るので、でもしょうがないとは思いますが。(埼玉県・女性・20代)
天気予報が正確になった(埼玉県・女性・70代)
特になし(宮城県・男性・50代)
そのときの情報によってしようとおもう(広島県・女性・60代)
短時間で今後の気象情報が見れたらいい(愛媛県・男性・40代)
今年は集中豪雨等の被害が各地でありましたので、備えが大切だと感じています。(神奈川県・女性・30代)
無いです(埼玉県・男性・20代)
早めの非難を心掛けたい(神奈川県・男性・50代)
これからも空振りを恐れずに情報を提供して下さい(滋賀県・女性・60代)
防災後の安否確認と同様に、防災気象情報が危険で避難の必要な時にも、安否確認情報を知らせてもらい、避難場所への誘導が行えます。携帯・スマホによる安否確認情報を送って情報を返信してもらえることが大事な方法と考えます。有料で無く、国なり気象庁が率先してアプリを開発配布して、各市町村が有効に使えるようにして、避難誘導を適切に行つて安全の確保に役立てばと考えます。(大阪府・男性・60代)
参考にしています。(岡山県・女性・60代)
今年は、災害が無かったので良かったのですが、普段から気をつけていたいと思います。(広島県・女性・60代)
テレビ(千葉県・男性・70代)
分かりやすく地域に対応した情報提供が必要(鳥取県・男性・50代)
自然災害はこわい(東京都・女性・30代)
たまに誤報がある(千葉県・男性・20代)
何十年もこの地は自然災害が全く無かったという過去は、ナンセンスデアル(埼玉県・女性・60代)
なし(島根県・女性・70代)
とくになし(愛知県・女性・20代)
特に無し(福岡県・女性・50代)
これまで自然災害は他人事だと考えていたが今回の台風で誰でも起こりうると実感したので改めたいと思った。(宮城県・女性・60代)
特にない(青森県・女性・60代)
昔よりも的確な情報が早く得られている気がしてます。ただ、災害が増えている事実と共に、増えているからこそ慣れてしまい本当に避難が必要な時に『まだ大丈夫だろう』と思い逃げおくれることが起こりそうで怖い。あとは、スマートフォンなどは充電が必要なのでより多岐な情報発信の方法が増えれば良いと思う。(埼玉県・男性・20代)
スマホにくる警報等のアラームはびっくりするからもう少し静かな音にしてほしい(徳島県・女性・20代)
よくわからない(福岡県・男性・50代)
災害情報がわかりました。(福岡県・女性・70代)
昨今の異常気象では、思いもよらない大災害に変化することも十分考慮しなければならず、一人一人が関心をもって情報を得る努力が必要だろう。(千葉県・男性・60代)
動物をいっぱい飼っていると分かっているけど出来ない(茨城県・女性・60代)

V. 巻末資料

じよの様な時はやはり早めに心をなげけるべきと思う。あつと言う間に危険は襲って来る事を知った。(大阪府・女性・70代)
最近地震が多い。ゲリラ豪雨も多い。予防注意情報があると嬉しい(東京都・男性・40代)
特にありません(静岡県・男性・50代)
具体的な情報を分かり安く知りたい。(熊本県・女性・70代)
雨?よりも強風警報のほうが興味があり高台に家がたってるので強風の方が気になります(神奈川県・女性・60代)
正確な情報を少しでも早く知りたい。(兵庫県・男性・40代)
ない(大阪府・男性・50代)
とても参考になる。(群馬県・男性・50代)
近隣川の水位(愛知県・男性・30代)
手軽に利用できる方法を知りたい。(愛知県・女性・40代)
警報の種類があっても、その意味が分かりにくい気がする。大雨警報と大雨特別警報で何が違うの?となってしまうので、洪水避難警告とか6時間以内に絶対避難とか、文字や言葉の響きで状況をもっと直感的に察することができるようになったほうが良いのではないかなと思う。(埼玉県・女性・40代)
空振りが多いので、重要な情報の重要性がなくなる(広島県・男性・20代)
思いもよらない災害がこのところ多発していて、これから毎年のように各地で被害があるんだろうなと想像はするけど、自分の近くは大丈夫と思いきや自分が嫌になります、もう少し危機感をもって行動を起こしたいと思います。(三重県・女性・60代)
命第一(福岡県・男性・40代)
年々、異常気象が多くなってきているので予報、警告などあらかじめお知らせしてくれるシステムを作ってくれるのはありがたい。(愛知県・女性・40代)
特になし(静岡県・男性・60代)
特になし(茨城県・女性・60代)
なし(茨城県・女性・60代)
防災はとても重要なことだと思うので、応援しています。(東京都・男性・30代)
防災気象情報の認知や、行動に移す事がまだまだ世間一般では足りないと思っているので、防災に対する意識がもっと高まればいいなと思います。(岐阜県・男性・30代)
避難したことが無いので、タイミングがわからない。近所のタイムリーな被災情報がわかればきっかけになるのでは。(愛媛県・男性・50代)
災害が起こりそうな気象状況の際には不要不急の外出は極力控えています。ただ仕事を持っている人はなかなか思うようには行かないと思います。危険な場合にはテレビやSNSなどをどんどん使って情報発信をすることが必要だと思います。(東京都・女性・50代)
実際に被害に合わないと、なんとなく大丈夫だろうと気軽に考えてしまう。(茨城県・男性・40代)
特になし(兵庫県・女性・50代)
基本、自己防衛するしかないなので、情報を的確に得る努力をする必要があると思う(福島県・女性・60代)
エリアメールが来ると移動中などTVがない時やスマートフォンを持っていない人(年配者など)も状況を把握しやすくなると思う。(北海道・女性・40代)
なし(静岡県・女性・60代)
気象情報も大事ですが、宮城県に住んでいる私には、地震も心配しています。(宮城県・女性・60代)
特になし(宮城県・男性・60代)
気象庁と自治体の対応がちぐはぐではないか。マスコミの後知恵での批判を恐れて、過剰に警報、避難勧告等を出しているのではないか。(兵庫県・男性・40代)

とくにない（埼玉県・女性・60代）
空振りになろうと避難指示や警戒情報を提供するのは良いことだと思うので、速やかに伝達する方法を確立して欲しいです（東京都・女性・30代）
避難指定場所が居住地域より安全度が低い区域があるが、その様な場合は自身の判断で避難しなくても良いのか迷う。（山口県・男性・60代）
最近では災害の規模が大きくなっているのが不安（神奈川県・男性・30代）
過大警報でもいいから死人・怪我人が出るくらいなら早めに警報した方がいい！（埼玉県・女性・30代）
なさ（埼玉県・男性・30代）
自分の住んでいるところは災害の少ない地域なので今までほとんど危険を感じたことがなく、防災意識も薄かった。が、今年は日本中で災害が多く、地震にも遭ったので、今後は意識を改めたい。スマホアプリの災害情報が届くたびに意をつけて見るようにはしている。（大阪府・女性・60代）
特になし（茨城県・男性・70代）
各世帯にこういう災害情報を知らせる防災無線機を取り付けることを義務付けたほうが良いと思う（福井県・男性・30代）
今回 あらためて イロイロ 画像など 見て 参考になる（京都府・男性・60代）
良い（東京都・男性・30代）
なし（埼玉県・男性・60代）
ニュース等の文字が小さいので、特に危険な時は、大きい字で報道してほしいです。（熊本県・女性・40代）
空振りはよし、見逃しはアウト（長野県・男性・20代）
本当に危険が迫っていることを、非難する時間が確保できる時点で発表するようにしてほしい。現状では、危険が迫っているとの発表が出た時点で自宅から外に出ることが危険な状況が多いと感じている。（新潟県・男性・60代）
市の災害情報放送が聞きにくい（千葉県・女性・70代）
なし（埼玉県・男性・40代）
特に心配していない（茨城県・女性・60代）
特にありません（静岡県・男性・50代）
特にありません（愛知県・男性・60代）
特になし（千葉県・女性・60代）
なし（宮城県・女性・30代）
天災は忘れた頃にやって来るというけど、京都市内中心部は安全な場所であるというのは本当のことです。（京都府・女性・60代）
防災とその対応が必要な事は知っているが、自分のいる地域でのその危険性は少ないと感じている（東京都・男性・40代）
テレビは信用しない（大阪府・女性・40代）
特になし（福岡県・男性・40代）
これからは防災気象情報を積極的に利用しようと思った（高知県・男性・60代）
気象庁の情報を日本国民が各自所持しているスマホに GPS を活用して、リアルタイムで的確に伝達可能とするシステムやサービスの構築に、予算をかけるべき、と考えております。（神奈川県・男性・40代）
現在住んでいるマンションは、安全だと思うし周りの環境も良いので気象では問題ないと思う。怖いのは地震です。（神奈川県・男性・70代）
多言語対応（東京都・男性・40代）
「警報のお知らせ」が、あまりにも上品で優しすぎる！ もっと五感に届くシグナルが欲しい。神経を逆撫でするくらいのシグナルでも、危機感を煽る事が必要だと考える。シグナルが邪魔だから！と言って、遮断する事は

V. 巻末資料

あり得ない。(大阪府・男性・70代)
見にかかる危険度が示されていて危機感を持たせてくれていいと思う(東京都・男性・30代)
昨今 異常気象が多く発生しているので TV の D ボタンでの詳細な状況を欠かさず見えています。(福岡県・女性・60代)
ない(神奈川県・女性・30代)
とくにない(岡山県・男性・60代)
特になし(神奈川県・女性・40代)
今までは大丈夫だったが、いつ大きな災害が、自分の身に起こるかわからないので、これからは情報をより多くより早く取り入れるよう気をつけたい。(愛知県・女性・20代)
ない(愛知県・女性・30代)
気象情報でハザードマップを、もっと告知するべきだと思う。(埼玉県・男性・50代)
ある程度政府等が強制力を持って、退勤命令(勧告ではない)や帰宅命令を発出すべきである。(神奈川県・男性・40代)
特になし(愛媛県・男性・60代)
外れることも多いけど、何か起こるよりはずっと良いし、身構えることができるからどんどん情報を出していいと思う。(愛知県・女性・40代)
比較的自然災害がないと思われる環境に住んでいると思っているが気象情報にはこれからも留意していきたい。(埼玉県・男性・70代)
正確な情報がほしい(神奈川県・男性・40代)
わからない(愛知県・男性・40代)
近年、日本全国規模で豪雨や地震などの自然災害が多発し今現在、私の居住地域や実家、親戚には被害がないが、いつ起こってもいいように警報や特別警報の意味、避難場所やハザードマップの把握、災害時家族との待ち合わせ場所の確認など災害対策の事前準備が必須だと思う。また、私は災害対策や自然災害関連に興味があったため、ハザードマップの見方や警報、特別警報の意味などを理解していたが、理解するのが困難なお年寄りや災害関連に興味がない人にどれほど危険なことかテレビやラジオでわかりやすく解説をするのは当たり前ですが、体験型の施設を作ったり、地域ごとの避難訓練を強制的に実施すること、在留中の外国人のために複数の言語の防災気象情報やハザードマップを作ることが大切だと思います。(埼玉県・男性・20代)
もう少し、予報の精度を上げて欲しい(東京都・女性・60代)
よく〇〇県西部とか中部と云う表現が使われるが、自分の住んでいる所が、例えば西部なのか中部なのかかわからない。もっと具体的な言葉で表現してくれたら、感じる危険度に対するの注意力が増すのではないかと思う。(千葉県・女性・60代)
今まで通り頑張ってもらいたい(大阪府・女性・40代)
きめ細かくやって欲しい。(宮城県・男性・70代)
特にありません。(京都府・男性・60代)
正確な情報をできるだけ早く提供してもらえると助かります(神奈川県・女性・30代)
なし(北海道・女性・30代)
色々考えます。もっと情報を整理してほしい。ラインで知らせてほしい(神奈川県・女性・30代)
とくにない(福島県・男性・20代)
かなり前から情報があるので良いのですが、JR等使えなくなったときの対策を考案してほしい(兵庫県・女性・40代)
特に(愛知県・女性・20代)
私は心配性の性格なので、空振りの情報でもいいので今の精度でも予報は出していただいて、失敗したら次の成果につないでいただいてだんだん精度を上げていただいたらと思うのですが、心配性でない人はどうせ予報が当

たらないと思って無茶する人もいそうなのでそういう人をどうやって無くすかが問題かなとおもいます。主人はサラリーマンで天候が悪くても電車が動いていけば無理をしてでも仕事に向かわなくてははいけません。今、こういう時が一番危なくて心配です。そういう方がとても多いとも思います。なので、危ない予報なのであれば、天候が悪くなってからでは遅いので、悪くなる前に電車を止めて欲しいです。そういう法制度とかが進めばいいのにとおもいます。(大阪府・女性・30代)
早く避難する(埼玉県・女性・50代)
台風が上陸する前後のTVニュースなどで現地のアナウンサーが伝える映像の多くが危機感を感じないものが多いように思う。映像情報は危機感を伝えることもあればたいしたことがないとも感じることもなるので、もう少し工夫をしてはどうか。(新潟県・男性・60代)
心に止めておきたいと思います。(岡山県・男性・70代)
素早く正確な情報が欲しい!(福島県・女性・60代)
特になし(東京都・女性・20代)
ない(大阪府・女性・50代)
警報などはからぶるに越したことはないので大いに発表してほしい。(福岡県・男性・30代)
被害がでると気を付けなければと思うが自分のところは大丈夫とおもいがちなので地域の避難情報はしれるようにしておきたい(滋賀県・女性・50代)
予報精度の向上(兵庫県・男性・60代)
今まで知らなかったことが多く、これから利用したいと思う。(東京都・男性・70代)
特に無し(神奈川県・男性・60代)
自分自身でも、備えておくべきだ!(福岡県・女性・40代)
AIなどを活用した、新しい技術を取り入れてほしい。(大阪府・男性・40代)
警報ではなく、警告や勧告にして強制的に避難を促すようにすべき。(愛知県・男性・30代)
防災系のサイトは重いので軽くして欲しい(福岡県・男性・30代)
災害の少ない地域に住んでいることもあり、避難に対するハードルが高いです。気楽にと言うと語弊がありますが、避難しやすいマニュアルのようなものがあればいいな、と思います。(兵庫県・女性・30代)
特になし(大阪府・女性・30代)
避難するのがいつが良いか判断の基準を明確にして欲しい。範囲が広いので、迷う。(愛知県・女性・60代)
地域名を詳しく伝えてほしい。〇〇市〇〇町〇丁目というふうに。(大阪府・女性・30代)
特になし。(香川県・男性・60代)
空振りクレーム電話が来て大変だと思いますが、そんなのは無視していいです。とにかく苦勞が多いでしょうが、頑張ってください。(神奈川県・男性・40代)
例えば台風の場合外にでて危険があるかもしれない避難という行動に移すのが良いか、家の中でじっとしているのが安全なのかよくわからない。(静岡県・男性・40代)
視力が落ちて良い情報や資料があっても理解することが難しい(東京都・女性・60代)
なし(東京都・男性・20代)
避難場所が公民館学校などありますが、ほかに高いビルなど3~4階以上の建物の表示もお願いしたいです。(岡山県・女性・60代)
今回の大雨被害で、テレビを見ていると、緊急性をあまり感じる事が出来なかった。従来の放送を中止し、東日本大震災が起きた時のように、震災特番に切り替えたほうが良いと感じている。普通に番組がやっていると、安心してしまう気がした。(東京都・女性・30代)
特になし(兵庫県・女性・30代)
特にない(埼玉県・男性・50代)
災害のニュースや、警報が自分の地域には関係ないと思ってしまう。映像や情報が遠すぎて、実際の自分のいる

V. 巻末資料

場所と状況がかけ離れていることが多いからかもしれない（神奈川県・女性・40代）
特になし（神奈川県・女性・20代）
情報を集め、早目の避難が大切。（宮城県・女性・50代）
これからも参考にします（愛知県・女性・30代）
真夜中に防災情報をチェックするのは難しい。（京都府・女性・50代）
携帯/スマホへの緊急警報は重用するが、その後の対処や経過についても同様にプッシュ配信して欲しい。（大阪府・男性・60代）
てれび（千葉県・女性・30代）
間違いがあってもよいので早め早めの呼びかけをお願いしたい。（兵庫県・男性・50代）
避難ができなくなる前に正しい情報提供（愛知県・男性・30代）
テレビで放送してほしい。パソコン スマホは苦手です（大阪府・女性・60代）
特にない（東京都・男性・30代）
警報が出る前に早めに避難し命を守っていききたい（東京都・女性・60代）
要望することはないです。（北海道・男性・60代）
現在住んでいるところは洪水、土砂崩れ等の心配がないので、強いて言うなら、強風についてもっと細かく知らせて欲しい。（東京都・男性・60代）
東京は人が多いので皆が同じ意識で行動するのは難しいと思う。ましてや地域のつながりも薄いと思うので。一人暮らしをしているので特にそう思う。（東京都・女性・30代）
防災グッズの準備など日頃からできることはしっかり準備をして、家族とも防災について話し合うことが大切である（神奈川県・女性・30代）
特になし（熊本県・男性・60代）
非難に関しては日頃からの自治体と住民のコミュニケーションで決まると考える（新潟県・男性・50代）
大雨警報が出たときに、雨が弱まるのが結構ある。（北海道・女性・60代）
現在住んでいるところはハザードマップの危険地域ではないのですが、21号の台風で情報が確かなのか不安になってきた。後、停電の情報化大まかでした。もっと、きめ細やかに情報を伝えてほしい（大阪府・女性・60代）
特になし。（大阪府・女性・40代）
特になし（千葉県・男性・40代）
やはり目の前に危険がある程度見える、感じられないとあるいは周りの人が避難してないと、避難の決断は難しいです（東京都・男性・20代）
避難区域の範囲が不明瞭だと思う（大阪府・女性・20代）
大きな河川ではないがかわを前にしているので降雨には敏感になってます。（福島県・女性・70代）
なし（奈良県・男性・30代）
なし（福岡県・男性・60代）
特に無い（東京都・男性・50代）
特にないです。（神奈川県・女性・40代）
なし（東京都・男性・60代）
NHKのテレビ(Dボタン)で確認している（福岡県・女性・60代）
携帯電話に速報して欲しい。（東京都・女性・20代）
特になし（兵庫県・男性・50代）
早めに連絡してほしい（福岡県・女性・60代）
空振りになってもいいので、早め早めの避難指示が欲しい（東京都・男性・40代）
周りに山もないしなだらかな傾斜になっている土地なので水もたまることもないのであまり危機感がないのが

事実です。(北海道・女性・60代)
なるべく早めに予報・警報を出してほしい。(栃木県・男性・50代)
警報次第で子ども達が休みになると、仕事を休まなくてはいけないので、ある程度は必要かも知れないけど、過大な情報とか評価とか、早すぎる警報とか、遅すぎる解除とかはなるべく避けて欲しい。(奈良県・女性・40代)
最近の異常な豪雨など荒天が続くと、さすがにニュースを観る様にしています。「身の安全を確保して下さい」などの喚起は、脅されている様な気がして、少し大げさでは、と思ったりしますが、そこまで押されないと、実際避難という行動は取りにくいかも知れないです。未経験のことなので、その時自分がどういう行動をするか、不安も大きいです。出来る限り、正確な情報をお願いします。(東京都・女性・60代)
各自治体、必ず夕方の時間を伝達する放送を流してほしい。いざという時に自治体からの連絡が機能しないことを防ぐため。(東京都・男性・40代)
早めの行動をとろうと思った。(兵庫県・男性・50代)
ハザードマップ等を地方自治体から積極的に住民に説明し、防災意識を高めて災害時の適応効率アップを推進してほしい。(神奈川県・男性・60代)
ホームページは誰でも閲覧できますが、自ら見に行かない人がいると思います。若い人などはホームページよりもアプリを見ると思います。なので、公式アプリがあって、そこが充実しているといいなあと思います。(埼玉県・女性・30代)
避難場所に皆が入れるほど大きくないし、避難場所より自分の家の方が安全と思えるので、避難指示があっても都会ではあまり意味がないかも。(神奈川県・男性・60代)
どんな場合でも空振りを恐れずしっかりとした警報を出してください。私はテレビの天気予報だけを頼りにしていますので もっと 言葉の色々な情報を出してください 最近の予報士はタレント化しているので もっとしっかりとした情報をお願いします。(岡山県・女性・60代)
だんだん、気象情報は、当たってきてと思う(兵庫県・女性・50代)
大雨警報などの際に自治体からの放送が聞こえるが、何を言っているのかわからないのは正直いって問題だと思う。(広島県・女性・60代)
ない(神奈川県・男性・30代)
情報は地域ごとに詳細に出してほしい(北海道・男性・60代)
精度をあげてもらえると助かる。避難は1分1秒争うものだから。(青森県・男性・40代)
どんな場合でも注意は常に怠らない様にしたいと思っています。(大阪府・女性・70代)
避難所情報も詳しく書いてあるかリンク等あれば嬉しい(北海道・男性・30代)
特になし(千葉県・女性・70代)
なし(東京都・女性・50代)
特にありません。(宮城県・男性・60代)
避難指示と避難勧告の序列がわからない。避難命令とかわかりやすい言葉に変えてほしい。また、その指示に伴い会社の出勤停止などの国の措置に発展してほしい(大阪府・男性・30代)
いままで危険な目にあったことがなく、正常値バイアスがある。(東京都・男性・60代)
特に無し(東京都・女性・60代)
時代に即し、進化を感じています。(長野県・女性・70代)
マンションの頑丈な建物に住んでいるので、避難するのは迷う(福岡県・女性・60代)
特にありません。(北海道・男性・70代)
空振りをおそれずに勧告してほしい(神奈川県・女性・70代)
とにかく分かりやすく具体的な指示があれば避難を迷うことなく行えると思います。(大阪府・男性・30代)
早め早めの情報伝達をお願いします(東京都・男性・50代)
特にはない(神奈川県・女性・60代)

V. 巻末資料

避難は早いほうがよいが、同じ地域でも住居場所により、むしろ出かけないほうが安全と覚えることがしばしばある（兵庫県・女性・70代）
特になし（東京都・男性・20代）
マスコミによる情報は当然であるが、市町村単位への正確な情報伝達を心がけて欲しい（愛知県・女性・60代）
特にない（兵庫県・男性・30代）
少しでも危険な可能性があるなら、情報を公開すべき。（東京都・女性・40代）
首都圏などは持ち家でなく、賃貸に住んでいる人が多い。そういった場合、その地域や建物の特徴や地理的な危険度に関心が低いと思うから、賃貸契約の時に教えてもらえれば意識が変わりそう。（埼玉県・女性・20代）
自分からチェックしなくても 自分のいる場所が危険な時は勝手に知らせてくれる機能が有り難いです。（東京都・女性・40代）
なし（新潟県・女性・20代）
最近の防災気象情報は随分しっかりしてきていると思うので、個々がいかに的確に情報を収集し判断行動できるかが大事になってくると思う。（埼玉県・女性・50代）
冬に入り早めの避難が必要となるので、早めの気象情報が欲しい。（北海道・女性・60代）
なし（神奈川県・男性・60代）
特にない（北海道・女性・60代）
テレビの情報が一番入りやすいので、早い時点でテレビに情報をながしてほしい（東京都・女性・60代）
命に関わる警報など出ているのに、田んぼを見に行ったり、用水路にはまってしまって、命を落とさないでください。警報の重要性がわからないのでしょうか？（兵庫県・女性・60代）
居住地の防災サイレンが2重窓の普及で聞こえないので、インターネットでの情報の精度があがるといい。（茨城県・女性・50代）
北海道の9月の地震ではブラックアウトと云う停電になりましたたまたま当地では12時間程度で復旧しましたが、震源地の近くなると考えるとゾットします 折角情報があっても受信出来なければ何もなりません 全住民に周知出来るよう対策をお願いします（北海道・男性・70代）
特にありません（兵庫県・女性・60代）
特にない。今のままでいいと思う。（北海道・女性・70代）
災害にあった時のために事前に避難準備をして、いつでも情報を取り入れられるようにしないといけないと思いました。（大阪府・女性・20代）
特に思いつかない（大阪府・男性・70代）
無い（千葉県・男性・40代）
大変分かりやすくて良いと思います。（千葉県・女性・70代）
最低限の避難の時に持って行った方が良いもの（千葉県・女性・60代）
この地域の人はどこどこに避難してください、というような地域別の細やかな情報を出してくれたらと思います。（宮城県・女性・60代）
特にない（愛知県・男性・40代）
危険が想定されるときは躊躇せずにオーバー気味でも危険を知らせてほしい。（千葉県・女性・60代）
特になし（大阪府・男性・70代）